

## 八木橋文庫目録

## 序

昭和 61 年、弘前市が購入した「八木橋文庫」は、研究者は無論、一般市民からも「価値の高い郷土資料」として、その公開が期待されてきた。

当館で「八木橋文庫」の整理（分類・破本修理・装備・目録カード作成等）に着手したのは、昭和 63 年 4 月からである。途中（平成 2 年）、旧館から新館への移転作業のため、約半年の中断があったとはいえ、約 5 年にわたって、営々と資料整理は続けられてきたが、この度冊子目録の編集が終わり、巻末に書名索引を付した「八木橋文庫目録」が刊行される運びとなった。これによって、資料の保存管理や活用の上で大いに便宜になることと思う。今後、この目録が広く活用されんことを切望する次第である。

6222 点という大量の資料の整理と目録化を容易ならしめたのは、弘前大学教授長谷川成一氏等の「八木橋文庫の調査と仮目録作成（昭和 54～57 年）」があったればこそであり、本目録刊行にあたって、改めて、長谷川氏及び関係の方々へ感謝の意を表する次第である。合わせて、約 5 年間かけて、鋭意、資料整理・目録編集の仕事にとり組んでこられた山崎俊三・広野一郎両氏他関係職員のご労苦に深甚なる謝意を表し、本目録の序とする。

平成 5 年 3 月

弘前市立図書館長 熊谷 務

## 凡例（初版）

- 1 この目録は、故八木橋武美氏が収集し所蔵されていた記録・文書など 5,848 冊を取めたものである。（受け入れたのは、6、222 点であるが、それを一部合綴などして整理した結果の冊数である。）
- 1 資料の分類は、日本十進分類法を一部変更した本館郷土資料分類表によった。この分類表は巻末に附してある。
- 1 資料のなかには郷土地域に直接関係のないものもあるが、これらは郷土出身者が愛蔵し、また注釈・考証を朱筆入れなどしているの、特に郷土資料として取扱った。
- 1 分類項目内の排列は、利用上の便宜を考えて、類似主題のものを一括するよう、◇印によって区別して排列した場合もある。
- 1 個人伝記資料の排列は、被伝記者氏名の五十音順とし、また地誌においては、地域によって排列した。
- 1 書名・著者などの〔 〕は目録者の補足によるものであることを示し、（ ）は註記的なものである。
- 1 記載事項は、標題（書名・編著者名）出版事項（書写年）対照事項（冊数・大きさ・装釘）註記事項（註記・内容細目）などの順になっている。ただし、個人伝記資料に限り標目（被伝記者名）をたてる。
- 1 筆写本は「写」と明記した。これは刊本に対する写本で手書きのものを意味する。したがって、原本であっても「写」とした。
- 1 各図書右端の記号数字（例：YK215-5）は、その図書の請求記号である。
- 1 特別貴重資料など常時公開しない資料には、★印を附している。（公開は複写本による。）
- 1 常用漢字表・人名漢字表にある漢字については、その字体に統一するようにつとめた。
- 1 巻末に書名索引をつけて検索の便をはかった。（\*次段凡例参照・後註）

## 第 2 版（PDF 版）凡例

- 1 漢字の旧字体については、検索の便を考えて新字体とした。
- 1 JIS 漢字表にない漢字については、外字を作成せず、「□」の表示をしたほか、同義で置き換えられる漢字を当てた。
- 1 初版作成当時、注記としてつけられた現在市町村の所属は、その後の市町村合併により変更になっている地域もあるが、今回はそのままとした。
- 1 分類索引はページとしてつけず、本目録の使用に当たっては Adobe Reader の検索機能を利用されるほか、画面左側の「しおり」マークをクリックして索引を表示されたい。
- 1 書名索引は割愛した。

平成 25 年 10 月

## YK000 総記

## YK025 一般書目録 全国書誌

## 書籍目録 下 YK025-1

武村新兵衛  
京都 武村新兵衛 明和9 (1772) 刊 1冊 横小 和

## 奇書輯覧 前篇 YK025-2

伊藤竹酔  
昭和12 (1937) 謄 1冊 半紙 仮和

## YK026 稽古館版

## 礼記 乾 YK026-1-1

弘前 稽古館 文化8 (1811) 刊 1冊 美濃 和

## 礼記 坤 YK026-1-2

弘前 稽古館 文化8 (1811) 刊 1冊 美濃 和

## 四書 中庸 YK026-2-イ

〔弘前 稽古館〕刊 1冊 半紙 和

## 四書 中庸 YK026-2-ロ

〔弘前 稽古館〕刊 1冊 半紙 和

## 四書 論語 YK026-3

〔弘前 稽古館〕刊 1冊 半紙 和

## 四書 孟子 下 YK026-4-イ

〔弘前 稽古館〕文政2 (1819) 刊 1冊 半紙 仮和

## 四書 孟子 下 YK026-4-ロ

弘前 稽古館 文政2 (1819) 刊 1冊 半紙 和

## 四書 孟子 下 YK026-4-ハ

弘前 稽古館 文政2 (1819) 刊 1冊 半紙 和

## 五経白文 礼記 上 YK026-5-1

〔弘前 稽古館〕刊 1冊 半紙 和

## 五経白文 礼記 中 YK026-5-2

〔弘前 稽古館〕刊 1冊 半紙 和

## 五経白文 礼記 下 YK026-5-3-イ

〔弘前 稽古館〕刊 1冊 半紙 和

## 五経白文 礼記 下 YK026-5-3-ロ

〔弘前 稽古館〕刊 1冊 半紙 和

## 易经 YK026-6-イ

弘前 稽古館 文化10 (1813) 刊 1冊 美濃 和

## 易经 YK026-6-ロ

弘前 稽古館 文化10 (1813) 刊 1冊 美濃 和

## 蘭洲先生遺稿 自一至二 YK026-7-1

山崎道冲敬夫 (蘭洲)  
弘前 稽古館 文化2 (1805) 刊 1冊 美濃 和  
註：蘭洲〔(1733～1799)〕は字仲漢、初めの名明、通称丈助、函書。儒医、詩文家、書家、稽古館小司、大目付次順

## 蘭洲先生遺稿 三 YK026-7-2

山崎道冲敬夫 (蘭洲)  
弘前 稽古館 文化2 (1805) 刊 1冊 美濃 和

## 蘭洲先生遺稿 四 YK026-7-3

山崎道冲敬夫 (蘭洲)  
弘前 稽古館 文化2 (1805) 刊 1冊 美濃 和

## 蘭洲先生遺稿 五 YK026-7-4

山崎道冲敬夫 (蘭洲)  
弘前 稽古館 文化2 (1805) 刊 1冊 美濃 和

## 蘭洲先生遺稿 一・二・三・四 YK026-8-1

山崎道冲敬夫 (蘭洲)  
弘前 稽古館 文化2 (1805) 刊 1冊 美濃 和  
註：卷一・二、一部に写并欠あり

## 蘭洲先生遺稿 五 YK026-8-2

山崎道冲敬夫 (蘭洲)  
弘前 稽古館 文化2 (1805) 刊 1冊 美濃 和  
註：「獄雪楼遺稿」の朱書が表紙にあり

## 蘭洲先生遺稿 三 YK026-9-1

山崎道冲敬夫 (蘭洲)  
弘前 稽古館 文化2 (1805) 刊 1冊 美濃 和

## 蘭洲先生遺稿 四 YK026-9-2

山崎道冲敬夫 (蘭洲)  
弘前 稽古館 文化2 (1805) 刊 1冊 美濃 和

## 中朝事実 乾 YK026-10-1

山鹿高興 (素行)  
〔弘前 稽古館〕〔延宝9 (1681)〕刊 1冊 美濃 和  
註：寛文9年 (1669) 自序

## 中朝事実 坤 YK026-10-2

山鹿高興 (素行)  
〔弘前 稽古館〕〔延宝9 (1681)〕刊 1冊 美濃 和

## 礼記 下 YK026-11

弘前 稽古館 文化8 (1811) 刊 1冊 美濃 和

尚書 上 弘前 稽古館 刊 1冊 美濃 和	YK026-12-上	弘前 稽古館 文化11 (1814) 刊 1冊 半紙 和		写 1冊 半紙 仮和 註：内題「下沢文庫総目録」	
尚書 下 弘前 稽古館 刊 1冊 美濃 和	YK026-12-下	孝経 津軽 稽古館 寛政7 (1795) 刊 1冊 美濃 和	YK026-18	所蔵古文書略解 大正6 (1917) 写 1通 註：「大正6年夏、帝国大学史料編纂館へ所蔵文書貸附の際、添書として送る云云」とあり	YK029-8
三字経 〔(宋) 三応麟〕 弘前 稽古館 文政5 (1822) 刊 1冊 半紙 和	YK026-13	臣軌 上下 弘前 稽古館 文化9 (1812) 刊 1冊 美濃 和	YK026-19	北海道庁所蔵旧記解題索引 謄写 1冊 半紙 仮和	YK029-9
唐詩選 全 〔(明) 李攀龍編選 服部元喬点 〔弘前 稽古館〕刊 1冊 半紙 和	YK026-14	帝軌 上下 〔弘前 稽古館〕刊 1冊 美濃 和	YK026-20		
唐詩選 上 〔(明) 李攀龍編選 服部元喬点 〔弘前 稽古館〕刊 1冊 半紙 和	YK026-15-上		YK029 蔵書目録	YK049 雑書	
唐詩選 下 〔(明) 李攀龍編選 服部元喬点 〔弘前 稽古館〕刊 1冊 半紙 和	YK026-15-下	紛失品題帳 乾 コピー1冊 半紙 洋 註：原本は弘前図書館蔵 (昭和43年八木橋武実氏寄贈) 旧藩庁御日記他文書類の紛失分	YK029-1	拾芥輯 〔明治15 (1882)〕写 1冊 半紙 和 註：表類 (郡内一覧表、戸籍之部) 詔書類・公布達類 (社寺之部、御通輦之部) 沿革類・本県令達類 (社寺之部) 雑類 (西南の役戦死者)	YK049-1
唐詩選 上 〔(明) 李攀龍編選 服部元喬点 〔弘前 稽古館〕刊 1冊 半紙 和	YK026-16-上	稽古館蔵書目録 写 1冊 横小 仮和	YK029-2	有聴私記 弘化2年 盛雄 弘化2 (1845) 写 1冊 横小 仮和 註：郷村及秘考録	YK049-2
唐詩選 下 〔(明) 李攀龍編選 服部元喬点 〔弘前 稽古館〕刊 1冊 半紙 和	YK026-16-下イ	学問所御蔵書員数目録 司監 嘉永元 (1848) 写 1冊 半紙 仮和	YK029-3	雑録日記 全 清藤清則 写 1冊 半紙 和 註：清藤清則は御馬廻御蔵加役勤方	YK049-3
唐詩選 下 〔(明) 李攀龍編選 服部元喬点 〔弘前 稽古館〕刊 1冊 半紙 和	YK026-16-下ロ	雑書目録 写 1冊 半紙 仮和	YK029-4	〔雑記〕 写 1冊 半紙 仮和 註：津軽天明荒作日記抜萃、文政四年下斗米秀之進一件、野本道玄関係、西津軽郡探古考案抜書等	YK049-4
中庸 全	YK026-17	書物覚目録 写 1冊 横長 仮和	YK029-5	御撰剣槍炮柔術名家鑑 他 版式11枚 (1袋) 半紙 横長 註：他の内訳 諸国御固 (文久元) 武鑑 (一枚刷、安	YK049-5
		目録 昭和2～6 (1927～31) 写 1冊 半紙 仮和 註：書物目録、書画目録 他に漢詩や絵もあり	YK029-6		
		目録草按 (津軽歴史地理書類) 〔下沢陳平〕	YK029-7		

- 政年間、御役人衆) 御解書之写
- 拾ひ草 一 藤林久行** **YK049-6-1**  
安政4(1857)写 1冊 半紙 和  
註：手鑑
- 拾ひ草 二 藤林久行** **YK049-6-2**  
安政4(1857)写 1冊 半紙 和
- 日本書紀其他記録諸項** **YK049-7**  
写 1冊 半紙 和  
註：津軽歴史に関せし事項を24の諸書より摘抜せしもの
- 〔南谿子東遊記 後編〕 橘南谿** **YK049-8**  
写 1冊 半紙 和  
註：他に「南畝太田覃一話一言記載」「事実秘苑所載旧記書目」「松夷随筆」「閑田耕筆」等多く収録あり
- 参考諸記録 第一集一～六(合本)** **YK049-9-1**  
明治25(1892)写 1冊 半紙 和  
註：一卷には牡鹿郡蛇田郷古碑考(奥田直輔)  
四巻には他山工藤主善先生伝(外崎覚)  
他は目録のみにて内容欠
- 参考諸記録 第一集八、九** **YK049-9-2**  
写 1冊 半紙 和  
註：目録にあつて内容欠のものあり
- 参考諸記録 第一集十** **YK049-9-3**  
明治28(1895)写 1冊 半紙 和  
註：唐糸塚碑銘考証(山崎立朴)  
人皇統系及年号時代一覧表
- 羽芝集 一 安田孔甫編** **YK049-10-1**  
写 1冊 半紙 和  
註：新式目五十七ヶ條目外に三ヶ條  
全十巻内巻之三欠
- 羽芝集 二 安田孔甫編** **YK049-10-2**  
写 1冊 半紙 和  
註：諸御法度、御定、諸式(触・願・伺等)  
巻之三欠
- 羽芝集 四 安田孔甫編** **YK049-10-4**  
写 1冊 半紙 和  
註：雑(和漢)、雑文(和)、詩歌俳諧之類
- 羽芝集 五 安田孔甫編** **YK049-10-5**  
写 1冊 半紙 和  
註：書画学茶医僧雑人記 雑
- 羽芝集 六 安田孔甫編** **YK049-10-6**  
写 1冊 半紙 和  
註：雑(異王魯者の一件)、秀吉公御遺骸送り、暦之中  
段下段、諸礼文法、武器、米利幹文字、雑
- 羽芝集 七 安田孔甫編** **YK049-10-7**  
写 1冊 半紙 和  
註：天説、雑説、水火論、詩格、漢和、和語、丈類、一口談、  
雑、聖言、兵語
- 羽芝集 八 安田孔甫編** **YK049-10-8**  
写 1冊 半紙 和  
註：烈女貞説、哲規、雑説、兵談、帝記、聖淡、乾時考、  
日本地理、漢土地理、力士談
- 羽芝集 九 安田孔甫編** **YK049-10-9**  
写 1冊 半紙 和  
註：度量周漢尺、雑談、対句寄、奇文、浦賀湊異船一件
- 羽芝集 十 安田孔甫編** **YK049-10-10**  
写 1冊 半紙 和  
註：天地解、和文章
- 三上正躬筆記** **YK049-11**  
写 1冊 半紙 仮和  
註：浪岡城趾関係(長慶天皇御陵等)孝婦阿鉄、十三湊  
水戸口普請の節入潤明神宮境内より穿出した神仏古像  
119体の内略図絵、他
- 津軽宝記集 全** **YK049-12**  
大正3(1914)写 1冊 半紙 和  
註：金井の浦記(文久2)、八拾三騎石高書(文久2)  
御郭内弘前内御蔵図式(嘉永3)、諸加役諸在勤之族江  
御扶持并御手当定
- 十郎一万丸 三谷句仏** **YK049-13**  
写 1冊 横中 和  
書名の由来不明、内容は真淵家集抜書・天柱五獄考余論・  
大石十八ヶ條御吟味御申開之一件・蜀山人狂文三章・他
- 春亮聞話 手塚春亮** **YK049-14**  
写 1冊 半紙 仮和  
註：春亮は江戸期末の弘前藩医家
- 〔雑録〕** **YK049-15**  
〔明治25～28(1892～1895)?〕1冊 新聞切抜き  
10×38 仮和  
註：新聞「日本」より  
俳句、和歌、詩、近衛公爵の教育意見、他
- 〔新聞切り抜き綴〕(弘前見聞記・他)** **YK049-16**  
大正8(1919)1冊 新聞切り抜き 14×40 仮  
註：弘前新聞より  
弘前見聞記、高校敷地に就て、弘電問題、市制回顧、他

**残紅葉 第壹集之部** YK049-17

切り抜き 1冊 半紙 仮和

註：史詩譚屑（新甫里散人） 梧の落葉（故井上文部大臣逸事）他

**〔台湾通信抜萃〕** YK049-18

明治28（1895）新聞切り抜き 1冊 半紙 仮和

註：樺山総督台北に着す、伊東中将の実戦談、下関に於ける講和談判の様様、台湾の賊情、他

**〔切り抜き雑集〕** YK049-19

切り抜き 1冊 半紙 仮和

註：士族ノ現状、史論、政党ヲ団結セサル可カラズ、名誉論、急進保守二党ニ告グ、他

**〔なんでもこい〕** YK049-20

切り抜き 1冊 半紙 仮和

**〔朝鮮事変〕** YK049-21

明治17～明治18（1884～1885）切り抜き 1冊 半紙 仮和

註：京城の変または甲申の変ともいう

**〔台湾通信・北京通信切り抜き〕** YK049-22

明治28（1895）切り抜き 1冊 半紙 仮和

**新聞切ぬき帖** YK049-23

大正15～昭和3（1926～1928）切り抜き 1冊 半紙 仮和

註：徳富蘇峰「林述斎の蕉窓文章と蕉窓永言」「顔真卿の書」他

**秘事記録 全** YK049-24

写 1冊 横小 仮和

註：津軽古記録書名 弘前并御郡中調書、書御定 他

**書集記** YK049-25

文久2（1862）？写 1冊 美濃 仮和

註：江戸役払、蝦夷地警衛備場附、大地震之事、井伊掃部頭様より御届書写、斬奸趣意書、他

**〔雑留記〕** YK049-26

写 1冊 半紙 和

註：熊本藩八代藩主細川重賢の伝記「銀台遺事」の抜書、尾州侯臣梶原直景著「直景先生教戒」より

**事実見聞抄 附牛御前王子権現略利益記** YK049-27

下沢閑雲（保躬）

明治21（1888）写 1冊 半紙 仮和

註：自安政五年至明治四年（1858～1871）

内題「下沢日記後篇卷第一」「天下之実説風説及津軽藩布令并士民ノ事実見聞之事等ヲノセタリ」紙背文書

**当代与保久連婦し** YK049-28

明治元（1868）写 1冊 横長 仮和

註：「当代ちよぼくれぶし」のことか

**応接襍〔雑〕記** YK049-29

慶応4（1868）写 1冊 半紙 仮和

註：祖父・伯父・山崎清朴・他が語ったことを書き留めてある

**南窓雑記抜鈔**〔森矯〕 YK049-30

写 1冊 半紙 仮和

註：南塘四時記、浅虫夢宅菴〔庵〕の記、為信公御真蹟和歌及松平秀康の書翰に就て、金木屋呉服店と森五の關係、岩木山詠詩歌、山鹿家系譜、素行年譜、他

**夏篋 全**〔三谷句仏〕 YK049-31

文久3（1863）写 1冊 半紙半 和

註：読書抜書、覚書

**回漕方船便ニ而御下し御道具覚** YK049-32

写 1冊 半紙 仮和

**〔手控〕** YK049-33

明治4～6（1871～1873）写 1冊 折8×14

註：石田并坪之割、家坪割 皇国暁西洋暁、他

**〔雑記〕** YK049-34

明治35（1902）写 1冊 横小 和

註：覚書雑多

**閑雲諸書抄筆 卷第一 下沢保躬（閑雲）編** YK049-35

写 1冊 横中 仮和

**鏡湖楼坐右記 二 下沢保躬** YK049-36

明治15（1882）写 1冊 横中 仮和

註：破損甚だし 皇朝沿革図解抜萃、カラフト異聞の中、高景の伝考、他

**鏡湖楼坐右記 五 下沢保躬** YK049-37

明治16・17（1883～1884）写 1冊 横中 仮和

註：弘前士民諸家系図、他

**鏡湖楼坐右記 卷八 下沢保躬** YK049-38

明治4～6（1871～1873）写 1冊 横中 仮和

註：改正青森県職員録、内外公私秘記弘前藩札一件、弘前世襲卒一件 家禄渡一件、他

**鏡湖楼坐右記 卷第二十五 下沢保躬** YK049-39

写 1冊 横中 仮和

註：津軽人物古今印鑑留、津軽方言考、古史徴抜萃、他

- 鏡湖楼坐右記** 第拾 下沢保躬 YK049-40  
写 1冊 横中 仮和  
註：華族類別録、津軽領鄉村帳、系図、陸奥国郡誌、他
- 閑雲雜記** 卷第一 YK049-41  
下沢閑雲（保躬）集記  
明治21（1888）写 1冊 半紙 和  
註：人種・方言、風土地理・詩文歌（郷土并郷土外）
- 下沢雜集** 修史館預中 卷第二 YK049-42  
下沢保躬  
写 1冊 半紙 仮和  
註：修史の中の津軽関係、藩翰譜の中の津軽、その他
- 鏡湖楼手録** 第貳 下沢保躬 YK049-43  
明治5～8（1872～1875）写 1冊 半紙 仮和  
註：神仏混淆ノ仕分御布令ニ伴ウ神社ニ関スル書類等（主として高照御宮）
- 〔**鏡湖楼雜集**〕 下沢保躬 YK049-44  
写 1冊 半紙 仮和  
註：歌集印刷本「さみたれ集」の用紙利用  
下沢氏の著書目録
- 鏡湖楼雜集** 後編 下沢保躬編 YK049-45  
写 1冊 半紙 仮和  
註：題簽「閑雲漫筆」 紙背文書
- 鏡湖楼雜集** 卷第二 下沢保躬 YK049-46  
写 1冊 半紙 仮和  
註：御製、詩歌、習志野地名記、保躬歌、他
- 鏡湖楼雜集** 後編 卷第二 下沢保躬編 YK049-47  
写 1冊 半紙 仮和  
註：紙背文書
- 鏡湖樓雜集** 卷之七 下沢保躬 YK049-48  
明治9（1876）写 1冊 半紙 仮和  
註：人々伝アリ
- 鏡湖樓雜集**（続） 卷第八（彝用集） YK049-49  
下沢保躬  
明治20（1887）写 1冊 半紙 仮和  
註：この書は元来足立道海基治編集の「彝用集」であって寛文10年（1670）、門人に与えた三十巻の内の大尾のものを後に保躬が購求して当雜集に加えたもの
- 鏡湖樓雜集**（続二編） 卷之十 下沢保躬 YK049-50  
写 1冊 半紙 仮和  
註：青森県庁移転ニ付建言類、他
- 鏡湖樓雜集**（続） 卷拾貳 下沢保躬 YK049-51  
写 1冊 縦19×13 仮和
- 鏡湖樓雜集** 卷之第廿一 下沢保躬 YK049-52  
写 1冊 半紙 仮和  
註：黒森ノ稿料、耕作秘伝
- 鏡湖樓雜集** 卷第廿八 下沢保躬 YK049-53  
明治23（1890）写 1冊 半紙 仮和  
註：靈元天皇御製集、内閣上奏、地文学拔萃、詩俳諧新式大成ノ跋、他 紙背文書
- 鏡湖樓雜集** 卷第廿九 下沢閑雲編 YK049-54  
明治23（1890）写 1冊 縦19×13 仮和  
註：紙背文書
- 鏡湖樓雜集** 卷第三十五 下沢保躬編 YK049-55  
写 1冊 半紙 仮和  
註：周易既未濟三四両爻講開 錢屋五郎兵衛の偉績
- 鏡湖樓雜集** 卷第四十四 下沢保躬 YK049-56  
写 1冊 半紙半 仮和  
註：庚午九月御下問、藩治職制、県治條例、元老院、土木寮、他
- 鏡湖樓雜集** 卷四十五 下沢保躬 YK049-57  
写 1冊 半紙 仮和  
註：汗血千里之駒（坂本龍馬君之伝）  
仙北郡金沢之故城、他
- 鏡湖樓雜集**（続） 卷第三 下沢保躬 YK049-58  
明治25～26（1892～1893）写 1冊 横中 仮和  
註：詩文歌、維新史料、徳川制度下馬評、他 紙背文書
- 鏡湖樓雜集**（続） 卷第五 下沢保躬 YK049-59-1  
慶応2（1866）写 1冊 半紙半 仮和  
註：詩歌、東京ヨリ小坂通道中記 他 一部紙背文書
- 続鏡湖樓雜集** 第六 下沢保躬編 YK049-59-2  
写 1冊 半紙 和  
註：「閑雲老楽摘草 卷第一」
- 藩中葉草・御国溜一件・外** YK049-60  
和田正純考  
写 1冊 半紙 仮和
- 古今雜考** 上下合冊 下沢保躬 YK049-61  
明治4（1871）写 1冊 半紙 仮和  
註：原本は津藩斉藤徳蔵正謙述、里程・條里・戸口・事・豊太閣檄文・耳冢・浮田氏・子孫・北条早雲・系図売買・陸奥郡名・浮屠安覚・他
- 玄風雜考** 第三 下沢保躬 YK049-62

- 写 1冊 半紙 仮和
- [雑綴]** **YK049-63**  
写 1冊 半紙 仮和  
註：佐々木元俊、蒲田広、黒瀧儀任等についての資料、その他(切り張り)
- 希有覚留帳** **YK049-64**  
写 1冊 半紙 仮和
- 六阿弥陀**〔金剛経・諸書之序文・万葉目安〕 **YK049-65**  
竹谷慶輔  
写 1冊 半紙 和
- 二儀** 竹谷慶輔 **YK049-66**  
写 1冊 半紙 和  
註：大学・中庸・論語・孟子・成語考・四季草の抜書
- 深山雑話** 上下拔萃 **YK049-67**  
森内繁富著(下沢保躬拔萃写)  
明治12(1879)写 1冊 半紙 仮和  
註：繁富は宝暦頃の津軽藩士、通称佐兵衛「貞享規範」の著者
- 三才因縁弁疑**〔抄〕〔村上俊清〕 **YK049-68**  
写 1冊 半紙 仮和  
註：人一生立居行歩自由を働因縁
- [雑抜書]** **YK049-69**  
写 1冊 半紙 仮和
- 秘草** 乾 **YK049-70-1**  
写 1冊 半紙 和  
註：著述者(篇者)不明。「秘草」と「秘芽草」は同じ内容。凡例に「此編は他邦の著述にして諸書より拾ひ集めしを…」とある
- 秘草** 坤 **YK049-70-2**  
写 1冊 半紙 和
- 秘草** **YK049-71**  
嘉永2(1849)写 1冊 半紙 和
- 秘芽草** 乾 **YK049-72-1**  
写 1冊 半紙 和  
註：紙背文書
- 秘芽草** 坤 **YK049-72-2**  
写 1冊 半紙 和
- 緝熙艸稿** **YK049-73**  
写 1冊 半紙 仮和  
註：緝熙(1773～1828)は津軽中書永孚(弘前藩家老、藩校稽古館初代総司)
- 近世俊英列伝** 卷之第一 **YK049-74**  
下沢閑雲(保躬)編述  
写 1冊 半紙 仮和
- 探字庫** **YK049-75**  
昭和27～43(1952～1968)写 1冊 半紙 和
- 諸表抜書** **YK049-76**  
写 1冊 半紙 仮和  
註：白石紳書、貞享武鑑、元禄武鑑、御系譜附記、御系図、入官第一義、敬食微言、雲上明覧、春秋釈例、武教全書、献可録、養生訓、他(巻尾破損失)
- こころの巻** **YK049-77**  
写 1冊 半紙 和
- 註：職原抄、十種の尊、五位略、地蔵讃、血盆経、因果和讃、法然上人、玉緒抜、詞の本末、他
- 閑雲諸書抄筆** 五 下沢閑雲(保躬) **YK049-78**  
写 1冊 横中 仮和  
註：武教全書、水戸烈公ノウタ、哲学雑誌ノ中、華族類別譜ノ中、和歌四天王、維新史料ノ中、近藤勇ノ伝、他 紙背文書
- 新撰語園** 全 **YK049-79**  
天明5(1785)写 1冊 半紙 仮和  
註：内題「語園集」
- 閑雲雑記** 第三 下沢閑雲(保躬) **YK049-80**  
写 1冊 半紙 和  
註：同雑記第一はYK049-41、第二はKK049-シモ(本館所蔵本)にあり
- 諸雑集** 壺 **YK049-81-1**  
写 1冊 横中 和  
註：日本史・書籍考・他よりの抜き書き
- 諸雑集** 二 **YK049-81-2**  
写 1冊 横中 和  
註：新拾遺集、本藩濫腸実記の抜き書き、本草、漢法、他
- 諸雑集** 三 **YK049-81-3**  
写 1冊 横中 和  
註：海防備論、禦侮儲言、窮理図解、西洋事情、志学幼弁、他からの抜き書き(虫損本)
- [私案集]** 三上吉弥(弘前家中) **YK049-82**  
写 1冊 横中 仮和  
註：紙背文書。表紙に「文政六癸未年輕尻馬壺疋駄賃帳貴敏達 六月」とある。内容からみて、小さく書いてあ

- る「私案集」が外題であろう
- 〔雑記〕** **YK049-83**  
写 1冊 半紙 和  
註：元禄・宝永・正徳・享保の頃の落書・諷刺寸言・風説等を集めたもの
- 〔雑記留〕** **YK049-84**  
写 1冊 半紙 仮和  
註：文中に津軽藩士、俳人の笹村友山(1706～1789)、安永7年(1778)73歳の作「算法夜話」、その他津軽に係わる詩文等、外所載
- 覚**〔工藤素済(祐筆)〕 **YK049-85**  
嘉永元(1848)写 1冊 横小 仮和  
註：書翰・和歌・漢詩・壁書等の写し書き
- 謙齋問書** 鶴舎有節 **YK049-86**  
〔天保4～14(1833～1843)〕写 1冊 半紙 和  
註：詩家人名録、子丑年水魚帖跋、諸覚書、発句、句仏有節歌仙、仲龍百寿・百福、兼題、他  
謙齋は鶴舎有節の別号の一つ
- 書礼略式并薬法留** 弘化4年 **YK049-87**  
弘化4(1847)写 1冊 横小 仮和  
註：内容は他に「喰合禁物集」「師範家名前」等々もあり、「雑留記」になろう
- 万学留帳** 文政11年3月18日 **YK049-88**  
文政11(1828)写 1冊 横中 仮和  
註：以呂波、国尽、代附之大概、篇冠、初覚書初七夕の詩歌古書始、落筆墨移之伝、銘尽彫物之次第、目利心得の事
- 〔雑記〕** **YK049-89**  
文政12(1829)写 1冊 横中 和  
註：曲伝算法事 他 抜キ書キ  
半ばより「落嘶」(津軽の落嘶あり)、文政12丑年江戸出火焼失場所方角、焼原百人一首等
- やたら書** 清夢堂 **YK049-90**  
〔明治31～35(1898～1902)〕写 1冊 半紙 仮和  
註：〔南津軽郡大光寺村杉館、相馬林八覚書〕
- 深山雑話**〔森内繁富〕 **YK049-91**  
写 1冊 半紙 和  
註：内容は本館所蔵本「KK049-モリ」とは同じだが、「GK049-30、31」とは異なる。  
繁富は宝暦頃の津軽藩士、「貞享規範」の著者
- 深山雑話** 全〔森内繁富〕 **YK049-92**  
写 1冊 半紙 仮和  
註：内容はYK049-91に同じ
- 〔柳水庵仙路覚書〕** **YK049-93**  
文化11(1814)写 1冊 横小 和  
註：題簽に「本間□□□…」とある、□の部分消えて不明。表紙裏に「柳水庵仙路伴友右衛門の遺書なり。玉姫様御附の家老たりしと」とある。  
友右衛門は津軽信順・順承公時代の江戸定府の藩士、好学の士
- 懐船**(船) 二 星野子善 **YK049-94**  
写 1冊 半紙半 仮和 星野氏旧蔵  
註：五筆法、歌器之解、南北朝年号、八分之説、三弦弾、他
- 東都見合書** **YK049-95**  
写 1冊 横小 和  
註：大日本諸宗寺数、日本ヨリ唐土江道知、京都四親王方、御撰家方、京日本五山、関東五山、尼寺五ヶ山、異国道法、
- 日本東西道知、二十二社…薬之事、金子目形之事…他
- 赤穂之藩敵討**(瓦版) 明治4年 **YK049-96**  
和歌山 明治4(1871)刊 1冊 半紙 仮和  
註：紀伊国高野山の麓、神谷辻字黒石に於て赤穂藩士村上真輔の父の仇討のこと  
(明治4年2月29日)
- 見聞雑記** 明治24年自11月 橘玉浦 **YK049-97**  
明治24(1891)写 1冊 半紙 和  
註：諸書よりの抜書  
津軽百介宛花山院少将書簡等もあり
- 事実見聞抄** 全 自明治5年至同16年 **YK049-98**  
明治5～16(1872～83)写 1冊 半紙 仮和  
註：青森県下失火延焼ニ付救助全穀差出候者ニ賞金被下候仕訳書・正四位大君宛川越石太郎・七戸仲行建白書・皇漢学塾再興ニ付正四位津軽公宛建白書・斬害大久保内務卿書類 他
- 青森弘前外諸県公文書留** 完 下沢保躬 **YK049-99**  
明治2～5(1869～72)写 1冊 横中 仮和  
註：京都津軽藩邸留、官員職制・月給・旧神官士卒へ編入・米受取・官令風説目次・古文、明治大政新県以来諸願伺届写、他
- 留書** **YK049-100**  
明治6・13(1873・80)写 1冊 半紙 仮和  
註：大蔵省某仁江内聞之ヶ条件、津軽平八郎・森岡鶴翁非拳ニ係ル一件、荘内御征討之応援引揚ニ当ツテ御家老口達、明治13年弘前大火罹災者へノ救助金配布ノ件 他
- 〔留書〕** **YK049-101**  
明治26(1893)写 1冊 半紙 仮和  
註：勅語、祝辞、答辞、礼辞、祭詞、祭文、演説、祝詞、



送別文、感謝状、祝文等

**雑書** 〔鳴海敏行〕 **YK049-102**

〔昭和14.15(1939.40)〕写 1冊 半紙 仮和  
 註：鳴海氏はこの時79歳、80歳  
 「帝都遊覧見学感想一班」「明治天皇東北御巡幸ニ関スル  
 記念事項謹記」「一戸栗田両将軍閔歴梗概」

**〔切り抜き綴〕** **YK049-103**

〔昭和38(1963)？〕新聞切り抜き 1冊 半紙 仮和  
 註：陸奥新報連載  
 「街の文化財」「昔の生活紙上展」「碑を訪ねて」「津軽古  
 陶磁紙上展」「ふるさとの宝物」

**書簡必書帳** 明治20年旧2月より **YK049-104**

明治20(1887)写 1冊 半紙 仮和  
 註：書簡留書帳(紙背文書)  
 所有者は南津軽郡大光寺村あたりの人か

**〔新聞切抜資料〕** **YK049-105**

新聞切り抜き 1冊 半紙 仮和  
 註：今古名士書翰集(徳川光圀・赤埴源蔵・伊能忠敬・  
 山縣大弐・高野長英・山鹿素行・林羅山・高杉晋作・  
 他の書翰等)。後に森林助の「津軽史観」那須興一の子  
 孫(三)(四)がある

**万留書** **YK049-106**

写(ペン) 1冊 和  
 註：深浦沿革誌(海浦義観著)写、西ノ関係、藩公年代  
 暦、弘前市森町釣鐘、光信公御治世、津軽秘鑑、城西  
 岩木川堀替、工藤六郎入道道光、和徳城主考、他

**雑記** 佐藤要一 **YK049-107**

写 1冊 半紙 仮和  
 註：要一(1863～1936)は弘前の人、東奥義塾教師後、

弘前市会議員、青森県会議員、弘前市会議長

**慶応二丙寅日月星辰 天化地理人和之録** **YK049-108**

文久2・慶応元・2(1862・65・66)写 1冊 横長  
 仮和  
 註：嶋津分限書之写、異国船ニ付国々築囲、諸大名之形  
 勢魚之見立書、…御湯治ニ付御供御役人様御宿割帳、慶  
 応元年ヨリノ日記、地

**神太郎吉家色々入込** **YK049-109**

〔宝暦3～明治10(1753～1877)〕写 1袋(19点)  
 註：湯治往還御暇願、御役御免願、賀養子願、永代相讓  
 田方証文、建家書上之下書扣、家禄税受取証、他

**新聞切り抜き綴** **YK049-110**

大正7～9(1918～20)切り抜き 1冊 横長 仮和  
 註：弘前新聞ノ切り抜き  
 和算の大家(津軽藩に於ける)、陸奥鉄道開通、山田良  
 政弔詞、弘前政友会臨時総会、松陰先生来訪当時の弘  
 前藩

**留書** **YK049-111**

明治21(1888)写 1冊 半紙 仮和  
 註：墓表、令詞(令旨)、演説、讃、天長節唱歌、弔詞、  
 祝詞、答詞等

**YK050 逐次刊行物**

**開文雑誌** 自第一号至五号 自明治11年9月29日至明  
 治12年3月31日 脇山義保・今宗蔵編 **YK050-1**

弘前 東奥義塾内開文社 明治11・12(1878・79)  
 刊 1冊(合)21×16 仮和  
 註：一号、頭部4枚破損

**YK060 学会 博物館**

**田舎館城主千徳君并室小山内氏碑石建立同志ヲ集合スル報告**

明治14(1881)写 1冊 半紙 仮和 **YK060-1**  
 註：発起人、下沢保躬・岩間滴・棟方覚弥・清野栄

**博覧会物品目録** 第1号～第3号 明治7年8月5日ヨ  
 リ14日マデ陸奥国青森県弘前東奥義塾ニ於テ **YK069-1**

東奥義塾博覧会社  
 明治7(1874)石版刷 3枚

**YK070 ジャーナリズム 新聞**

**中外新聞** 合本 卷三 **YK070-1-1**

慶応4(1868)刊 1冊 四六 和  
 註：第十四号ヨリ第廿号マデ(慶応4年4月19日ヨリ  
 同年閏4月3日マデ)

**中外新聞** 合本 卷四 **YK070-1-2**

慶応4(1868)刊 1冊 四六 和  
 註：第廿一号ヨリ第廿七号マデ(慶応4年閏4月6日  
 ヨリ同年閏4月22日マデ)

**毎週新聞** 第9・10号 明治5年4・5月 **YK070-2**

横浜 横浜活版社 明治5(1872)刊 1冊 菊 仮和

**万国新聞** 第1～8号 明治5年正月・2月 **YK070-3**

東京 山中市兵衛 明治5(1872)刊 1冊 菊 仮和  
 註：第1～4号(正月)第5・6号(2月)第7号(正月)  
 第8号(2月)

**郵便報知新聞** 第3・27・40号 明治5・6年 **YK070-4**

東京 太田金右衛門 明治5・6(1872・73)刊 1冊(合)  
 菊 仮和  
 註：第3号(5年6月)第27号(5年11月)第40号  
 (6年2月)

日要新聞 第20号 明治5年4月 YK070-5  
東京 転新堂 明治5(1872)刊 1冊 菊 仮和

大使信報 第1号 明治5年正月 YK070-6  
大使事務局  
東京 山中市兵衛 明治5(1872)刊 1冊 菊 仮和

新聞雑誌 第1～14号・19～21号(合冊) 明治4年 YK070-7-イ  
東京 日新堂 明治4(1871)刊 1冊(合) 菊 仮和  
註:第1・2号(5月)第3～5号(6月)第6～8号(7月)  
第9～11号(8月)第12～14号(9月)第19～21号(11月)

新聞雑誌 第6・7号 明治4年7月 YK070-7-ロ  
東京 日新堂 明治4(1871)刊 1冊(合) 菊 仮和

内外新報 第四十三～四十五号 YK070-8  
慶応4(1868)刊 1冊(合綴) 半紙半 仮和

青森新聞 第154～169号 明治13年 YK070-9  
陸実(羯南)編集  
青森 真文社 明治13(1880)刊 33×25  
註:明治13年2月6日(第154号)ヨリ同年3月7日(第169号) マデ16部

### YK081.1 浪岡組代官所及び庄屋文書

御巡見使方御用留 天保9年正月 浪岡組 YK081-1-1  
天保9(1838)写 1冊 半紙 仮和  
註:御巡見使様御紋形図式書  
浪岡組・増館組・常盤組関係御用留

〔御巡見使御下向之儀御用留〕 YK081-1-2

写 1冊 横中 仮和  
註:浪岡組・常盤組・増館組・油川組関係

浪岡組上十川三嶋赤坂高館四ヶ村田山堰番出帳 YK081-1-3  
文久2年12月  
文久2(1862)写 1冊 横長 仮和

浪岡組村々人別統方并種初調帳 天保7年11月 YK081-1-4  
天保7(1836)写 1冊 横長 仮和

御用錢諸所山作人夫逸々留帳 文政5年12月 YK081-1-15  
大平長右衛門  
文政5(1822)写 1冊 横長 仮和

赤坂村三嶋村御領田畑覚 YK081-1-6  
写 1冊 横長 仮和

赤坂三嶋竹花諸色人夫留 YK081-1-7  
天保12年ヨリ安政4年迄  
天保12～安政4(1841～57)写 1冊 横長 仮和

浪岡組赤坂村本免田方当御検見引帳(御郡所行) YK081-1-8  
天保9年9月 御検見人 成田勘之丞  
天保9(1838)写 1冊 横長 和

浪岡組去巳年より戌年迄所々大川御番詰山作人夫并諸色御割合高調帳 YK081-1-9  
文政10年2月 間山鉄五郎 清藤左兵衛  
文政10(1827)写 1冊 横長 仮和  
註:文政4年(1821)より文政9年(1826)までの調べ。間山鉄五郎は性行勤務に裏表なく公正・直情で治績が多かった。天保の頃郡奉行兼勘定奉行になった

浪岡組赤坂村畑方開発堰下成御検地仕上帳 三拾九卷之内 廿三 YK081-1-10

文政6年8月 御検地人 川村小源太  
文政6(1823)写 1冊 半紙 和

田山堰由来御郡所御留帳写 YK081-1-11  
大平徳太郎・宇野貞助  
安政2(1855)写 1冊 半紙 和  
註:主として浪岡組関係 御郡所手代の御用留

济口留 YK081-1-12  
写 1冊 半紙 仮和  
註:浪岡組の三嶋・赤坂村などの畑開発にかかるとる济口留

第四区高館二雙子堤館三嶋赤坂上十川合六ヶ村戸籍入費調帳 YK081-1-13  
明治5年12月 大平良太郎  
明治5(1872)写 1冊 横長 和

浪岡組村々田畑去辰年御収納米高懸銀諸工諸家業御役錢共受払勘定帳 明治2年正月 御代官 YK081-1-14  
明治2(1869)写 1冊 半紙 和

浪岡組村々田畑去巳年御収納米高懸銀諸工諸家業御役錢共受払勘定帳 明治3年5月 民事属事 YK081-1-15  
明治3(1870)写 1冊 半紙 和

青森県管轄第四区戸籍総計 明治5年3月 YK081-1-16  
明治5(1872)写 1冊 半紙 和  
註:旧浪岡組21ヶ村

青森県管轄第四区職分総計 明治5年4月 YK081-1-17  
明治5(1872)写 1冊 半紙 仮和  
註:旧浪岡組21ヶ村

浪岡三組郷勇隊史料五点 YK081-1-18  
明治2(1869)写 5点1袋  
註:1.高覧被仰出浪岡三組罷出郷勇隊名前書上帳

2. 御内意口上之覚  
3. 賊徒追討ニ付テノ覚  
4. 鎌田勘三郎・鎌田健三郎書簡  
5. …御国御人数四小队官軍入校…
- 浪岡本免田当御取納米并高懸銀共勘定帳** YK081-1-19  
弘化3年11月 御代官  
弘化3(1846)写 1冊 半紙 和
- 浪岡組村々御割付米金判帳** 天保9年閏4月 YK081-1-20  
天保9(1838)写 1冊 半紙 和
- 浪岡組当御役所丑十月より寅九月中迄銭受払勘定帳**  
天保2年11月 浪岡組手代 鎌田平四郎 YK081-1-21  
天保2(1831)写 1冊 半紙 和
- 浪岡組御役所去酉十月より戌九月中諸出銭請払勘定帳**  
安政3年11月 引担手代 大平徳太郎 YK081-1-22  
安政3(1856)写 1冊 半紙 和
- 浪岡組村々当式才駒相改書上帳** 天保13年6月 御代官  
天保13(1842)写 1冊 半紙 和 YK081-1-23
- 御用留** 文政13年正月 浪岡組人別方 YK08-1-24  
文政13(1830)写 1冊 半紙 仮和
- 御用留** 文久2年中 YK081-1-25  
文久2(1862)写 1冊 半紙 和  
註：浪岡組、増館組、常盤組、特に浪岡組宛代官の御用状留帳
- 御用状留帳** 文久3年正月より12月中 浪岡組 YK081-1-26  
文久3(1863)写 1冊 半紙 仮和
- 御用留并御済口写書帳** 文政10年正月 YK081-1-27  
文政10(1827)写 1冊 半紙 仮和  
註：浪岡組赤坂村関係  
郡奉行(山形宇兵衛、釜范伊太郎、加藤与右衛門)より浪岡三ヶ組代官宛文書等
- 第四区赤坂村田畑当御貢米取ヶ帳** 明治5年10月  
組頭今米太郎 YK081-1-28  
明治5(1872)写 1冊 横長 仮和
- 第四区赤坂村当田畑地券取調下夕帳** 明治6年  
地券懸 宇野唯八 右同山口三之助 YK081-1-29  
明治6(1873)写 1冊 横長 仮和
- 地券税金上納取ヶ帳** 明治10年12月 YK081-1-30  
第二大区一小区赤坂村用係 中村伝衛  
明治10(1877)写 1冊 横長 和
- 御用銭割合人別未納帳** 明治10年第8月 YK081-1-31  
御用係 中村伝衛  
明治10(1877)写 1冊 横中 和
- 八幡宮雨除御堂葺替并花表神楽殿建立帳** 文政3年4月  
赤坂村講中 YK081-1-32  
文政3(1820)写 1冊 横長 和
- 浪岡組赤坂村宝暦年中より当荒調帳** YK081-1-33  
文政10年閏6月12日改  
文政10(1827)写 1冊 横長 仮和
- 御検見雛形内見帳** 明治6年第9月 YK081-1-34  
第二大区一ノ小区赤坂村組頭 宇野珍助  
明治6(1873)写 1冊 半紙 和
- 御用留一番** 明治6年第10月 YK081-1-35
- 四代目 宇野珍助  
明治6(1873)写 1冊 半紙 仮和
- 黒石道学十川へ架渡板橋積出帳** 明治7年第11月  
第二大区一ノ小区赤坂村組頭 宇野珍助 YK081-1-36  
明治7(1874)写 1冊 半紙 和
- 地租改正人民心得書** 明治8年第5月 YK081-1-37  
第二大区一小区赤坂村村用掛 宇野珍助  
明治8(1875)写 1冊 半紙 仮和
- 大二第区(第二大区)一ノ小区赤坂村貯粉貸附帳**  
明治6年第9月 組頭 宇野珍助 YK081-1-38  
明治6(1873)写 1冊 横長 仮和
- 第二大区一ノ小区赤坂村貯粉受取調髪帳** YK081-1-39  
明治6年第9月 組頭 宇野珍助  
明治6(1873)写 1冊 横長 仮和
- 第二大区一小区赤坂村貯粉受取有高帳** 明治6年第9月  
組頭 宇野珍助 YK081-1-40  
明治6(1873)写 1冊 横長 仮和
- 第二大区一ノ小区赤坂村御用銭創元帳** 明治6年11月  
組頭 宇野珍助 YK081-1-41  
明治6(1873)写 1冊 横長 仮和
- 第二大区一ノ小区赤坂村田畑当御貢米取ヶ帳**  
明治7年12月 組頭 宇野珍助 YK081-1-42  
明治7(1874)写 1冊 横長 仮和
- 甲戌御用銭取立帳** 明治8年第1月 YK081-1-43  
第二大区一ノ小区赤坂村組頭 宇野珍助  
明治8(1875)写 1冊 横長 仮和

甲戌御用銭創元取立帳 明治8年第1月 YK081-1-44  
赤坂村組頭 宇野珍助  
明治8(1875)写 1冊 横長 仮和

陸奥国津軽郡第二大区一小区赤坂村領此度三嶋村江入込二付支配野帳 YK081-1-45  
明治8年第6月 村用係 宇野珍助  
明治8(1875)写 1冊 横長 仮和

御用銭上納受払勘定帳 明治11年第3月 YK081-1-46  
第二大区一小区赤坂村 村用係 宇野珍助  
明治11(1878)写 1冊 横長 仮和

陸奥国津軽郡第二大区一ノ小区赤坂村耕地御改正御竿入野帳 一番～五番 明治8年第5月 YK081-1-47-1  
宇野珍助  
明治8(1875)写 1冊 横長 仮和  
註:一番「西池田」、二番「池田」 三番「東池田」、四番「川西田」 五番「西田」

陸奥国津軽郡第二大区一ノ小区赤坂村耕地御改正御竿入野帳 六番～拾番 明治8年第5月 YK081-1-47-2  
宇野珍助  
明治8(1875)写 1冊 横長 仮和  
註:六番「東西田」、七番「宮元」  
八番「北野綺」、九番「野サキ」  
拾番「北宮元」

諸賦課金割元帳 明治14年1月 YK081-1-48  
南津軽郡赤坂郵戸長役場  
明治14(1881)写 1冊 横長 仮和

覚 赤坂村庄屋 宇野兵助 YK081-1-49  
〔安政5・万延元・文久3(1858・60・63)写 1冊  
横長 仮和

註:(1)高(松)弥伝次・田 元一宛(安政5年)  
(2)(安政5年)  
(3)山七郎左衛門・助市太郎宛(申年)  
(4)工藤喜右衛門(亥年)

浪岡組御役所戌十月より亥九月中諸出銭請払勘定帳  
安政3年11月 引担千代 宇野兵助 YK081-1-50  
安政3(1856)写 1冊 半紙 和  
註:大平徳太郎と連名で、高松弥伝次、一戸祐也宛

当御取納并御用銭森出差引請取通 弘化3年12月29日改  
庄屋弥惣次 YK081-1-51  
弘化3(1846)写 1冊 横長 仮和  
註:「当御用銭并山作人夫割元表書出」と合綴

御蔵給地新開田畑百姓高無人別持高寄帳 寛政5年3月  
〔庄屋三之助〕 YK081-1-52  
寛政5(179S)写 1冊 横長 仮和  
註:工 弥太郎・奥 太次郎宛

浪岡組赤坂村当御検見瀬野帳 YK081-1-53  
安政6年9月 庄屋興吉  
安政6(1859)写 1冊 横長 和

浪岡組赤坂村当御検見御引上石人別判帳 YK081-1-54  
文政13年10月 庄屋 長四郎  
文政13(1830)写 1冊 横長 仮和  
註:黒 瀧五郎、工 彦兵衛宛

浪岡組赤坂村廃畑去辰年銀納成被仰付候表当御検地願野帳  
安政4年8月 庄屋兵吉 YK081-1-55  
安政4(1857)写 1冊 横長 和

口上之覚并書付綴 赤坂村 宇野今五郎 YK081-1-56  
写 1冊 横長 仮和

註:4通合綴

赤坂村三嶋二双子并高館竹鼻本郷上十川右村々用水堰水下  
反別 寛政6年4月改 庄屋又吉 YK081-1-57  
寛政6(1794)写 1冊 横長 仮和

浪岡組赤坂村杉木植附書上帳并文政十二己丑年六月書上表  
共有 文政9年2月 宇野又吉 YK081-1-58  
文政9・12(1826・29)写 1冊 半紙 仮和

口上之覚 浪岡組赤坂村 庄屋又吉 YK081-1-59  
写 1冊 横長 仮和  
註:小 専太郎、川 忠八、葛 忠太宛(開発畑ヨリ御  
取納取立ノ件)

浪岡組赤坂三嶋相沢細野村漆木相改実数書上帳  
文政13年8月 宇野又吉(漆守) YK081-1-60  
文政13(1830)写 1冊 半紙 和

御用銭上納御役所并村方五人組差引帳 文政10年12日  
庄屋亦吉 YK081-1-61  
文政10(1827)写 1冊 横長 仮和

浪岡組赤坂村田畑人別持切帳奥書印帳 YK081-1-62  
文政10年8月7日末 庄屋又七  
文政10(1827)写 1冊 横長 仮和

浪岡組赤坂村別免田畑人別調書上帳 文政10年3月  
庄屋又吉 YK081-1-63  
文政10(1827)写 1冊 横長 和

当諸上納銭五人組より受取上納覚帳 文政9年12月  
庄屋又吉 YK081-1-64  
文政9(1826)写 1冊 横長 仮和

- 三右衛門勤中去ル申年諸上納調方入用并新堰高田雇堰田山  
堰諸色人夫帳 文政8年より9年迄 12月 YK081-1-65  
代庄屋又吉  
文政8・9(1825・26)写 1冊 横長 仮和
- 口上之覚 代庄屋又吉 YK081-1-66  
〔文政7・8(1824・25)〕写 1冊 横長 仮和  
註：漆方御役人中、一戸与五右衛門宛1通  
山 半蔵、清 左兵衛宛1通(田方御見分願ノ件)
- 当座帳 寛政3年正月吉祥日 YK081-1-67  
宇野又吉(津軽赤坂 住)  
寛政3(1791)写 1冊 横長 仮和
- 諸上納銭五人組中御役所差引覚帳 文政8年12月  
文政9年12月 代庄屋又吉 YK081-1-68  
文政8・9(1825・26)写 1冊 横長 仮和
- 覚(御内意書并口上書) YK081-1-69  
写 1冊 横長 仮和
- 覚(漆木伐木之儀) YK081-1-70  
浪岡組相沢細野両村代庄屋重次郎  
写 1枚 横長  
註：辰の四月 花 斧弥、藤 永作宛
- 口上之覚(御貸付被仰付種初之儀) YK081-1-71  
赤坂上十川三嶋高館竹鼻本郷右村々庄屋共  
写 1冊 横長 仮和  
註：花 斧弥、藤 永作宛
- 浪岡組赤坂村出火御締人別連印調書帳 慶応3年2月  
庄屋岩太郎 YK081-1-72  
慶応3(1867)写 1冊 横長 和
- 浪岡組赤坂村当六月廿九日窮民救判帳 明治3年6月  
代庄屋又八 YK081-1-73  
明治3(1870)写 1冊 横長 和
- 浪岡組分赤坂村御買入田方御分与調帳 明治4年正月  
代庄屋亦八 YK081-1-74  
明治4(1871)写 1冊 半紙 和
- 当夫食米貸渡帳 明治4年6月 庄屋又七 YK081-1-75  
明治4(1871)写 1冊(2冊合綴)横長 仮和
- 黒石管下浪岡組赤坂村当手返初勘定帳 明治5年4月  
里正 宇野亦八 YK081-1-76  
明治5(1872)写 1冊 半紙 和
- 第四区赤坂村去ル未十二月ヨリ去ル七月迄当村茂合御聞届  
願帳 明治5年8月 元里正宇野亦八 YK081-1-77  
明治5(1872)写 1冊 横長 和
- 山林原野等実地丈量番操野牒 YK081-1-78  
陸奥国津軽郡第二大区一小区赤坂村  
〔明治9(1876)〕写 1冊 半紙 和
- 南津軽郡赤坂村戸長役場諸帳簿引継請取目録帳  
明治12年8月5日 戸長 今彦五郎 YK081-1-79  
明治12(1879)写 1冊 半紙 和  
註：先戸長宇野兵三郎宛 付「旧帳簿請目録」
- 十川架渡官費橋梁御修繕出来形帳 YK081-1-80  
第二大区一小区陸奥国津軽郡赤坂村  
〔明治7(1874)〕写 1冊 半紙 和
- 陸奥国津軽郡第二大区一小区畑林調帳 明治8年第6月  
赤坂村 YK081-1-81  
明治8(1875)写 1冊 半紙 和
- 田地并屋舗売買証文綴 明治7年 YK081-1-82  
明治7(1871)写 1冊 半紙 仮和
- 御賞与并御救助留書・違警犯処分心得・違式註違條例  
YK081-1-83  
〔明治11・12(1878・79)〕写 1冊 横小 和
- 田畑宅地持切反別調書書上帳 明治9年 YK081-1-84  
第二大区一小区陸奥国津軽郡赤坂村  
明治9(1876)写 1冊 半紙 和
- 他価配当御達綴 明治22年10月 YK081-1-85  
大字赤坂  
明治22(1889)写 1冊 半紙 仮和
- 布告記留 明治11年1月 YK081-1-86  
第二六区一小区赤坂村郵便係  
明治11(1878)写 1冊 半紙 仮和
- 明治十一年戸籍三総計 YK081-1-87  
南津軽郡赤坂村戸長  
明治11(1878)写 1冊 半紙 和  
註：送籍調、入籍調、死亡調 附「明治十二年国民軍人  
員調」
- 明治9年御布達一切留帳 YK081-1-88  
〔明治9(1876)〕写 1冊 半紙 仮和
- 約定証 赤坂村 宇野兵三郎 YK081-1-89  
明治14(1881)写 1綴 半紙 仮和  
註：田茂木町藤田斧次郎宛
- 地所売渡証 売渡人赤坂村宇野兵三郎 YK081-1-90  
明治21(1888)写 1綴 半紙 仮和

- 註：増館村山内与一郎宛
- 官地払下開墾願** 南津軽郡赤坂村宇野兵三郎 YK081-1-91  
明治19(1886)写 1冊 半紙 仮和  
註：株梗木村分九ヶ村戸長(鳴海)、青森県知事鍋嶋幹宛
- 田方所持地御仕分願** YK081-1-92  
願人南津軽郡赤坂村宇野兵三郎  
明治11(1878)写 1冊 半紙 仮和  
註：「田地旧証文之写書」と合綴
- 差引計算書** 原債主宇野兵三郎 YK081-1-93  
明治20(1887)写 1冊 半紙 仮和  
註：十五号、十六号、十七号、十八号合綴
- 地所無代価譲渡地券御書換願** YK081-1-94  
譲渡人陸奥国南津軽郡赤坂村持主宇野兵三郎  
明治18(1885)写 1冊 半紙 仮和
- [六郷村議会議録]** YK081-1-95  
〔明治21～31(1888～98)〕写 1冊 半紙 仮和
- 田畑万清帳** 寛政8年正月 宇野兵三郎 YK081-1-96  
寛政8(1796)写 1冊 横長 仮和
- 万日記帳** 元治元年11月20日 宇野兵三郎 YK081-1-97  
元治元(1864)写 1冊 横長 仮和
- 家作取建諸入用同大巧日数覚帳** 天保12年11月  
宇野兵三郎 YK081-1-98  
天保13(1842)写 1冊 横長 仮和  
註：「家作棟上御使并諸入用共」モ同綴
- 覚** 赤坂村宇野兵三郎 YK081-1-99  
写 1冊 横長 仮和
- 註：水張高、御収納米、夫銭等
- 土蔵式ヶ所修覆請入用帳** 嘉永元年5月 宇野兵三郎 YK081-1-100  
嘉永元(1848)写 1冊 横長 仮和
- 増館官所支配赤坂三嶋両村分与田方調書上帳** 明治4年  
第正月 赤坂村百姓宇野兵三郎 YK081-1-101  
明治4(1871)写 1冊 横長 仮和  
註：大庄屋宛
- 嘉兵衛特高田畑坪寄人役反別帳** 寛政9年正月  
浪岡組赤坂村宇野兵三郎 YK081-1-102  
寛政9(1797)写 1冊 横長 仮和
- 反別調** YK081-1-103  
写 1冊 横長 仮和
- 当辛未・己巳・戊辰年人別書出覚帳** 文化5・6・8年  
宇野兵三郎 YK081-1-104  
文化5・6・8(1808・09・11)写 1冊(3冊合)  
横長 仮和
- 当御収納上納小作人人別取ヶ帳** 文化10年11月  
宇野兵三郎 YK081-1-105  
文化10(1813)写 1冊 横長 仮和  
註：赤坂・三嶋・高館・上十川・野際
- 人別書出ス覚帳** 文化11・文政3・4年 宇野兵三郎 YK081-1-106  
文化11・文政3・4(1814・20・21)写 1冊 横長 仮和  
註：3冊合綴
- 当御収納米上納手形小作人より受取庭帳** 天保8年9月  
宇野兵三郎 YK081-1-107  
天保8(1837)写 1冊 横長 仮和
- 相沢細野両村持抱田方反別作人附覚** 天保9年10月  
宇野兵三郎 YK081-1-108  
天保9(1838)写 1冊 横長 仮和
- 当御収納米手形受取庭帳** 文久3年10月 宇野兵三郎 YK081-1-109  
文久3(1863)写 1冊 横長 仮和
- 黒石領田方作人より判取帳** 明治5年正月25日  
宇野兵三郎 YK081-1-110  
明治5(1872)写 1冊 横長 仮和
- 当御収納米作人より受取庭帳** YK081-1-111  
明治7年11月 二代目宇野兵三郎  
明治7(1874)写 1冊 横長 仮和
- 稲刈高并扱高石俵数共改覚帳** 天保10・11・12・13・14年 宇野兵三郎 YK081-1-112-1  
天保10～14(1839～43)写 1冊 横長 仮和  
註：5冊合綴
- 稲刈高并扱高石俵数共改覚帳** 弘化元・2・3・4年 宇野兵三郎 YK081-1-112-2  
弘化元～4(1844～47)写 1冊 横長 仮和  
註：4冊合綴
- 稲刈高并扱高石俵数共改覚帳** 嘉永元・3・4・5・6年 宇野兵三郎 YK081-1-112-3  
嘉永元・3～6(1848・50～53)写 1冊 横長 仮和  
註：5冊合綴
- 稲刈高并扱高石俵数共改覚帳** 安政元・2・3・4・5・

6年 宇野兵三郎 YK081-1-112-4  
 文政元～6 (1854～59) 写 1冊 横長 仮和  
 註：6冊合綴

稲刈高并扱高石俵数共改覚帳 万延元・文久元・2・3・  
 慶応元・2・3年 宇野兵三郎 YK081-1-112-5  
 万延元・文久元～3 慶応元～3 (1860・61～63・65  
 ～67) 写 1冊 横長 仮和  
 註：7冊合綴

稲刈高并扱高石俵数共改覚帳 明治2・3・6・8・11・14  
 年 宇野兵三郎 YK081-1-116  
 明治2・3・6・8・11・14 (1869・70・73・75・78・  
 81) 写 1冊 横長 仮和  
 註：6冊合綴

稲刈高并扱高石俵数共改覚帳 明治15・16・17・19・  
 22・23年 宇野兵三郎 YK081-1-112-7  
 明治15～17・19・22・23 (1882～84・86・89・  
 90) 写 1冊 横長 仮和  
 註：6冊合綴

稲刈調帳 明治32年旧8月 YK081-1-113  
 明治32 (1899) 写 1冊 横長 仮和

村々持抱田畑当御収納米取ヶ帳 文化13・14年  
 宇野兵三郎 YK081-1-114-1  
 文化13・14 (1816～17) 写 1冊 横長 仮和  
 註：2冊合綴

村々持抱田畑当御収納米取ヶ帳 文政元・2・3・4・5・  
 6年 宇野兵三郎 YK081-1-114-2  
 文政元～6 (1818～23) 写 1冊 横長 仮和  
 註：6冊合綴

村々持抱田畑当御収納米取ヶ帳 文政7・8・9・10・  
 11・12年 宇野兵三郎 YK081-1-114-3  
 文政7～12 (1824～29) 写 1冊 横長 仮和  
 註：6冊合綴

村々持抱田畑当御収納米取ヶ帳 天保元・2・3・(4)・5・  
 6・7年 宇野兵三郎 YK081-114-4  
 天保元～7 (1830～36) 写 1冊 横長 仮和  
 註：6冊合綴 天保4年「如意記」1冊も合綴

村々持抱田畑当御収納米取ヶ帳 天保9・10・11・12・  
 13・14年 宇野兵三郎 YK081-1-114-5  
 天保9～14 (1838～43) 写 1冊 横長 仮和  
 註：6冊合綴

村々持抱田畑当御収納米取ヶ帳 弘化元・2・3・4年  
 宇野兵三郎 YK081-1-114-6  
 弘化元～4 (1844～47) 写 1冊 横長 仮和  
 註：4冊合綴

村々持抱田畑当御収納米取ヶ帳 嘉永元・2・3・4・5・  
 6年 宇野兵三郎 YK081-1-114-7  
 嘉永元～6 (1848～53) 写 1冊 横長 仮和  
 註：6冊合綴

村々持抱田畑当御収納米取ヶ帳 文政元・2・3・4・5・  
 6年 宇野兵三郎 YK081-1-114-8  
 文政元～6 (1854～59) 写 1冊 横長 仮和  
 註：6冊合綴

村々持抱田畑当御収納米取ヶ帳 万延元・元治元・慶応元・  
 三年 宇野兵三郎 YK081-1-114-9  
 万延元・元治元・慶応元・3 (1860・64・65・67) 写  
 1冊 横長 仮和  
 註：4冊合綴

村々持抱田畑当御収納米取ヶ帳 明治元・2・3・4・5  
 年 宇野兵三郎 YK081-1-114-10  
 明治元～5 (1868～72) 写 1冊 横長 仮和  
 註：6冊合綴 (明治2年は2冊)

村々持抱田畑当御収納米取ヶ帳 明治6・7・8・9年  
 宇野兵三郎 YK081-1-114-11  
 明治6～9 (1873～76) 写 1冊 横長 仮和  
 註：4冊合綴  
 明治8年「村々持抱田畑地租金上納帳」1冊も合綴

村々持抱田畑当御収納米取ヶ帳 明治10・13・17・18  
 年 宇野兵三郎 YK081-1-114-12  
 明治10・13・17・18 (1877・80・84・85) 写 1冊  
 横長 仮和  
 註：4冊合綴

文庫蔵取建普請惣入目覚帳 YK081-1-115  
 文化14年2月 宇野氏  
 文化14 (1817) 写 1冊 横長 仮和

嘉要恵帳 嘉永7年5月 (宇野多三郎) YK081-1-116  
 嘉永7 (1854) 写 1冊 横長 仮和

十千郎中屋忠七方江詵諸入用留帳 万延2年2月  
 万延2 (1861) 写 1冊 横長 仮和 YK081-1-117

弟又八別宅家作入用覚帳 嘉永2年3月 YK081-1-118  
 嘉永2 (1849) 写 1冊 横長 仮和

おぼへ帳 嘉永2年8月 YK081-1-119  
 嘉永2 (1849) 写 1冊 横長 仮和

万覚帳 嘉永2年 YK081-1-120

- 嘉永2(1849)写 1冊 横長 仮和
- 万仮帳 明治2年8月15日 YK081-1-121  
明治2(1869)写 1冊 横長 仮和
- 田山堰一件入用 申ノ年 YK081-1-122  
写 1冊 横長 仮和
- 雑綴 YK081-1-123  
写 1冊 横長 仮和  
註：杉沢孫兵衛溜池入用山作人夫式拾四人式分、他
- 黒石出張所管下第四区中野村夫喰米貸付人別判帳  
明治5年5月 里正長谷川嘉次郎 YK081-1-124  
明治5(1872)写 1冊 横長 和
- 浪岡組上十川村貞享年中ヨリ当時迄田方田山堰水懸反別調帳  
文政8年11月 代庄屋忠兵衛 YK081-1-125  
文政8(1825)写 1冊 横長 和
- 年中雇人別留 嘉永3年正月 YK081-1-126  
大平兵左衛門  
嘉永3(1850)写 1冊 横長 仮和
- 明治九子年ヨリ十丑年ニ至ル一切之御用留  
大平兵左衛門 YK081-1-127  
明治9・10(1876・77)写 1冊 半紙 仮和  
註：第二大区一小区高館村(現黒石市)
- 明治十一戊寅年御布告并御布達一切留記 YK081-1-128  
大平兵左衛門  
明治11(878)写 1冊 半紙 仮和
- 浪岡組高館村五軒組合之者江山仕分ケ帳 文政3年4月 YK081-1-129  
庄屋弥十郎
- 文政3(1820)写 1冊 半紙 仮和
- 第四区二双子村当夫喰米貸渡人別判帳 明治5年6月 YK081-1-130  
里正高田小太郎  
明治5(1872)写 1冊 横長 仮和
- 第四区赤坂村夫喰米人別貸渡帳 明治5年6月 YK081-1-131  
里正宇野又八  
明治5(1872)写 1冊 横長 仮和
- 庄屋御用帳面渡方覚 YK081-1-132  
写 1冊 横長 仮和
- 竹鼻村別免田方成出作種切御願書上帳 天保7年11月 YK081-1-133  
庄屋宗次郎  
天保7(1836)写 1冊 横長 仮和
- 田山堰水下人別出銭取立帳 寛保元年6月2日 YK081-1-134  
赤坂村庄屋 三右衛門  
寛保元(1741)写 1冊 横長 仮和
- 持抱田畑反別人役坪奇改覚帳 寛政3年9月上旬 YK081-1-135  
寛政3(1791)写 1冊 横長 仮和
- 浪岡組赤坂村諸上納銭調書上帳 文政8年12月 YK081-1-136  
代庄屋又吉  
文政8(1825)写 1冊 横長 仮和  
註：表紙に「外ニ夫喰并村貯米子細無之儀 年月不相分」の付箋あり
- 浪岡組赤坂村諸上代御送銭人別判帳 文政13年7月 YK081-1-137  
庄屋長四郎  
文政13(1830)写 1冊 横長 仮和
- 浪岡組赤坂村本免田方当御検見願野帳 弘化2年9日
- 代庄屋彦市 YK081-1-138  
弘化2(1845)写 1冊 横長 仮和
- 浪岡組赤坂村廃畑当御見分願野帳 安政3年6月 YK081-1-139  
庄屋兵吉  
安政3(1856)写 1冊 横長 和
- 浪岡組赤坂村出火御締人別連印調書上帳 慶応3年2月 YK081-1-140  
庄屋岩太郎  
慶応3(1867)写 1冊 横長 和
- 〔赤坂村百姓願書〕 YK081-1-141  
〔赤坂村中百姓共組頭宇野珍助〕  
写 1冊 半紙 仮和
- 田方持抱調書上帳 明治3年閏10月 YK081-1-142  
赤坂村百姓 孫左衛門  
明治3(1870)写 1冊 半紙 仮和
- 村方産氏米作人より取ケ帳 明治4年12月 YK081-1-143  
宇野兵三郎  
明治4(1871)写 1冊 半紙 和
- 黒石領持抱田方御買上調書上帳 明治4年8月14日 YK081-1-144  
宇野兵三郎  
明治4(1871)写 1冊 横長 仮和
- 陸奥国津軽郡第二大区ノ内一ノ小区赤坂村田畑地券御渡願 明治6年 YK081-1-145  
明治6(1873)写 1冊 半紙 和
- 改正反別合計帳 明治8年第6月 YK081-1-146  
陸奥国津軽郡第二大区一小区高館村  
明治8(1875)写 1冊 半紙 和



第二大区一小区陸奥国津軽郡赤坂村田畑宅地丈量反別字毎  
等扱仕分帳 明治8年10月 宇野珍助 YK081-1-147  
明治8(1875)写 1冊 横長 仮和

人馬継立記帳 明治11年第9月 YK081-1-148  
第二大区一小区赤坂村用係宇野兵三郎  
明治11(1878)写 1冊 横長 仮和

宇野家覚書綴 YK081-1-149  
写 1冊 横長 仮和  
註：8点合綴

浪岡組塩割渡ノ判帳 天保7年11月 YK081-1-150  
天保7(1836)写 1冊 横長 仮和

田山堰水人別出銭取立帳 寛保元年6月2日  
赤坂村庄屋三右衛門 YK081-1-151  
寛保元(1741)写 1冊 横長 仮和

### YK081・2 大光寺組代官所及び庄屋文書

御用留帳 享保4年正月 御代官所 YK081-2-1-1  
享保4(1719)写 1冊 半紙 仮和  
註：大光寺組関係御用留  
(御済口之写・御用状之写・廻状之写・覚等)

御用留帳 文化6年正月 YK081-2-1-2  
文化6(1809)写 1冊 半紙 仮和  
註：大鱈組・大光寺組・尾崎組・猿賀組宛 郡奉行・代  
官所の御用状之写

御用状留帳 文化8年正月 大光寺組 YK081-2-1-3  
文化8(1811)写 1冊 半紙 仮和  
註：御用状・御済口之写等

御用状并御済口共留帳 文化15年正月 YK081-2-1-4  
大光寺組  
文化15(1818)写 1冊 半紙 仮和

〔御用留帳〕 YK081-2-1-5  
写 1冊 半紙 仮和  
註：大鱈組・尾崎組・大光寺組関係御用状、御済口之  
写并郡奉行演説之写等、代官所の御用留帳と思われる。  
郡奉行の氏名からいって文政6年のものではないか。

大光寺組村々御用状御済口留 文政7年正月  
増田永次郎 三浦新太郎 YK081-2-1-6  
文政7(1824)写 1冊 半紙 仮和

御用状留帳 YK081-2-1-7  
写 1冊 半紙 仮和  
註：文政10(1827)の頃か  
大光寺組関係、御用状、御口達・廻文・演説等の綴

御用状留帳 文政13年4月(二番) YK081-2-18  
山口門之丞 工藤清作  
文政13(1830)写 1冊 半紙 仮和  
註：大鱈三ヶ組(大鱈・猿賀・大光寺)関係の御用状、  
御口達、御演説等の写(御用人、郡奉行、代官、馬調方)

御用状留 YK081-2-1-9  
〔文政13・天保元(1830)〕写 1冊 半紙 仮和  
註：大光寺組の諸御用状の写等

〔御用留〕 御代官 YK081-2-1-10  
〔文政13～天保2(1830～1831)〕写 1冊 半紙  
仮和  
註：大鱈四ヶ組(大鱈・尾崎・猿賀・大光寺)代官所御  
用留(覚、郡奉行御演説之写、御済口之写、御用状之写等)  
間山銭五郎、珍田祐之助は郡奉行

大光寺組御用状留帳(二番) 天保3年7月 YK081-2-1-11  
山口門之丞・工藤清作  
天保3(1832)写 1冊 半紙 仮和

御用状留 天保4年正月 御代官 YK081-2-1-12  
天保4(1833)写 1冊 半紙 仮和  
註：大鱈組・尾崎組・大光寺組関係、御代官所の御用状、  
御済口、御演説等の写

御用状留 天保9年正月 YK081-2-1-13  
大光寺組  
天保9(1838)写 1冊 半紙 仮和  
註：大光寺組御用状留(御用人御演説の写、郡奉行所、  
代官所、御用状の写等)

御用状留帳 天保10年正月 YK081-2-1-14  
手代山口清之丞・佐藤伴内・小田桐太助  
天保10(1839)写 1冊 半紙 仮和  
註：大鱈・尾崎・大光寺組

御用状留帳 天保11年正月 大光寺組 YK081-2-1-15  
天保11(1840)写 1冊 半紙 仮和  
註：大光寺組(間山貴久司・清藤左兵衛)の御用状留帳

御用状留帳 天保15年正月 大光寺組 YK081-2-1-16  
天保15(1844)写 1冊 半紙 仮和  
註：大光寺組関係 代官所御用状之写等

御用留 弘化3年正月 YK081-2-1-17  
庄屋長太郎(大光寺組)  
弘化3(1846)写 1冊 半紙 仮和  
註：代官所御触書等

御用留帳 弘化3年正月 御代官所 YK081-2-1-18

- 弘化3(1846)写 1冊 半紙 仮和  
 註：大鱈組・尾崎組・大光寺組・猿賀組関係  
 御代官所の御用留
- 御用留帳** 弘化4年正月 御代官所 **YK081-2-1-19**  
 弘化4(1847)写 1冊 半紙 仮和  
 註：大鱈四ヶ組(大鱈・尾崎・大光寺・猿賀)関係  
 御代官所の御用状之写等
- 御用留帳** 嘉永2年正月 御代官所 **YK081-2-1-20**  
 嘉永2(1849)写 1冊 半紙 仮和  
 註：大鱈、尾崎、大光寺、猿賀四ヶ組関係  
 代官所御用留帳
- 御用状留** 嘉永6年正月より9月中 **YK081-2-1-21**  
 大光寺組  
 嘉永6(1853)写 1冊 半紙 仮和  
 註：大光寺組と郡奉行、代官関係の御用状留帳
- 御用状留帳** 嘉永7年10月より(安政2年9月中)  
**大光寺組** **YK081-2-1-22**  
 嘉永7～安政2(1854～55)写 1冊 半紙 仮和  
 註：大鱈、尾崎、大光寺、猿賀四ヶ組 特に大光寺組の  
 御用状留帳
- 御用状留帳** 安政3年10月より(同4年9月中)  
 花田長兵衛・菊地勘次郎 **YK081-2-1-23**  
 安政3～4(1856～57)写 1冊 半紙 仮和  
 註：大鱈四ヶ組(大鱈・尾崎・猿賀・大光寺)  
 手代宛御用状之写等
- 御用状留帳** 安政4年10月より(同5年9月中)  
 大光寺組 **YK081-2-1-24**  
 安政4～5(1857～58)写 1冊 半紙 仮和  
 註：大光寺組関係御用状之写等

- 御用状留帳** 安政5年10月より(同6年9月中)  
 菊地勘次郎 大川才次郎 **YK081-2-1-25**  
 [安政5～6(1858～59)]写 1冊 半紙 仮和
- [御用留] **YK081-2-126**  
 [安政5(1858)]写 1冊 半紙 仮和
- 御用状留帳**(貳番) 安政6年7月(同5年10月上り)  
 菊地勘次郎 大川才次郎 **YK081-2-1-27**  
 [安政5～6(1858～59)]写 1冊 半紙 仮和
- 御用留帳** 万延元年10月より(文久元年9月中)  
 菊地勘次郎・佐藤伴内 **YK081-2-1-28**  
 万延元～文久元(1860～61)写 1冊 半紙 仮和  
 註：大鱈四ヶ組(大鱈・尾崎・猿賀・大光寺)特に大光  
 寺組関係御用留
- 御用状留** 慶応4年10月ヨリ 御代官所 **YK081-2-1-29**  
 慶応4(1868)写 1冊 半紙 仮和  
 註：大鱈組、尾崎組、大光寺組、猿賀組関係  
 代官所御用状留類
- [諸用留] **YK081-2-1-20**  
 [明治3(1870)]写 1冊 半紙 仮和
- 諸用留** 従明治3年至同7年 **YK081-2-1-31**  
 明治3～7(1870～74)写 1冊 半紙 仮和
- 諸書付留** 明治従5年同至7年 **YK081-2-1-32**  
 明治5～7(1872～74)写 1冊 半紙 仮和
- 御用留** 明治6年 従1月 **YK081-2-1-33**  
 戸長(第二大区八小区)  
 明治6(1873)写 1冊 半紙 仮和

- 註：第二大区八小区(南津軽郡大光寺村、尾崎村、猿賀  
 村、金田村、尾上村)戸長の御用留綴
- 御用留**(二番) 明治6年 第6月 **YK081-2-1-34**  
 戸長(第二大区八小区)  
 明治6(1873)写 1冊 半紙 仮和
- 御用留** 明治7年従6月5日御達 **YK081-2-1-35**  
 戸長(第二大区八小区)  
 明治7(1874)写 1冊 半紙 仮和
- 御用留** 明治8年従第1月 **YK081-2-1-36**  
 戸長(第二大区八小区)  
 明治8(1875)写 1冊 半紙 仮和  
 註：戸長 一戸正之 副戸長 相馬驍
- 御用留** 明治8年従7月 **YK081-2-1-37**  
 戸長(第二大区八小区)  
 明治8(1875)写 1冊 半紙 仮和  
 註：戸長 一戸正之 副戸長 相馬驍
- 布達留**(地租改正二付) 明治8年 **YK081-2-1-38**  
 明治8(1875)写 1冊 半紙 仮和  
 註：地租改正凡例、地価取調帳雛形、地租改正弁、地方  
 官心得書、他
- [御用留] **YK081-2-1-39**  
 [明治8(1875)]写 1冊 半紙 仮和  
 註：第二大区八小区(旧大光寺組)戸長の日記形態の御  
 用留帳
- 諸用留** 従明治8年至明治10年 **YK081-2-1-40**  
 [相馬驍]  
 明治8～10(1875～77)写 1冊 半紙 仮和

- 御用留** 明治9年従1月至7月 **YK081-2-1-41**  
戸長(第二大区八小区)  
明治9(1876)写 1冊 半紙 仮和  
註:戸長 一戸正之 副戸長 相馬驍 副戸長 菊地健 左エ門
- [地元御調 文化7年]** **YK081-2-2**  
文化7(1810)写 1冊 半紙 仮和  
註:上中下田畑等の調べ
- 訊問書 御代官** **YK081-2-3**  
〔天保6~安政7(1835~60)〕写 1冊 半紙 仮和
- 諸書付留覚帳** 天保6年閏7月 庄屋甚吉 **YK081-2-4**  
天保6(1835)写 1冊 横長 仮和  
註:甚吉は大光寺組杉館村庄屋 口上之覚等
- 御巡見方該御用留** 天保8年11月 御代官 **YK081-2-5**  
天保8(1838)写 1冊 半紙 仮和  
註:大鱈組、尾崎組、大光寺組関係
- 諸書付留帳** 文化7年正月 工藤氏 **YK081-2-6**  
文化7(1810)写 1冊 半紙 仮和  
註:大光寺組関係 庄屋御用留
- [西根通廻郷一件]** **YK081-2-7**  
天保11(1840)写 1袋(3点)  
註:1. 西根通廻郷之節村役共江申聞之覚  
2. 役所定之事  
3. 大鱈三組上締役斎藤佐左衛門覚
- [御用状之写]** **YK081-2-8**  
写 1冊 半紙 仮和  
註:御代官より大鱈、尾崎、大光寺、猿賀四ヶ組宛
- [触書四通]** **YK081-2-9**  
写 1冊 半紙 仮和  
註:家作、農業余業、人別などに関しての触れ書き
- [覚] [郡奉行]** **YK081-2-10**  
写 1冊 半紙 仮和  
註:窮民一助のための食料製法など
- 大光寺組村々諸書附留帳** 天保14年正月 **YK081-2-11**  
御代官所  
天保14(1843)写 1冊 横長 仮和
- 御用窺帳** 安政3年10月より(4年)9月中  
大光寺組 **YK081-2-12-1**  
安政3~4(1856~57)写 1冊 半紙 仮和  
註:手代の記録
- 諸書付窺帳** 安政5年10月より6年9月中  
大光寺組 **YK081-2-12-2**  
安政5~6(1858~59)写 1冊 半紙 仮和  
註:手代の記録
- 諸書付窺帳** 文久元年10月より2年9月中  
大光寺組 **YK081-2-12-3**  
文久元~2(1861~62)写 1冊 半紙 仮和  
註:手代の記録
- 諸書付窺帳** 文久3年10月より元治元年9月中  
大光寺組 **YK081-2-12-4**  
文久3~元治元(1863~64)写 1冊 半紙 仮和  
註:手代の記録
- 御用窺帳** 明治2年10月より3年9月中 **YK081-2-12-5**  
大光寺組  
明治2~3(1869~70)写 1冊 半紙 仮和
- 註:手代、張合方の記録
- 県令手鑑** [佐藤兵八(御代官加勢)] **YK081-2-13**  
写 1冊 横中 仮和  
註:(大鱈・尾崎・大光寺三ヶ組取扱)  
馬之事、訴訟、公事誘、死人火事扱、旅人扱、海死扱、御上下之節
- 第二大区八小区士族家禄調** 明治7年11月 **YK081-2-14**  
戸長一戸正之、副戸長相馬驍・斎藤亦人  
明治7(1874)写 1冊 半紙 和
- 第二大区八小区地理研究調** 明治7年2月 **YK081-2-15**  
明治7(1874)写 1冊 半紙 和  
註:第二大区八小区内各組頭より正副戸長宛への報告
- 山林各種収利調** 第二大区八小区 **YK081-2-16**  
明治9(1876)写 1冊 半紙 和  
註:南津軽郡本町村・杉館村・長田村・新屋町村・小和森村・李平村・金屋村の調べ
- 学校御用留** 明治7年従第5月 **YK081-2-17**  
学区取締(一戸正之)  
明治7(1874)写 1冊 半紙 仮和
- 学務御達留** 従明治12年至同 **YK081-2-18**  
明治12(1879)写 1冊 半紙 仮和  
註:南津軽郡松崎村(旧大光寺組)
- 布令留** 明治5年より同21年マデ **YK081-2-19**  
明治5~21(1872~88)写 1冊 半紙 仮和  
註:津軽郡第十五区(第二大区八小区)(大光寺組)
- 日記** 明治9年 **YK081-2-20**  
明治9(1876)写 1冊 半紙 仮和

- 註：津軽郡第十五区（第二六区八小区）戸長一戸正之の日記か
- 諸書付雑誌 従明治4年至同 明治4（1871）写 1冊 半紙 仮和  
YK081-2-21  
註：第二大区八小区戸長ノ書付綴
- 〔大光寺組邑々分限帳覚〕 写 1冊 半紙 仮和  
YK081-2-22
- 由緒書（漆守工藤太七郎）天保14年11月 工藤太七郎（漆守）  
天保14（1843）写 1冊 半紙 和  
YK0812-23
- 大光寺組郵々分限帳 天保6年11月 御代官  
天保6（1835）写 1冊 半紙 仮和  
YK081-2-24
- 大光寺組邑々分限帳 天保6年11月 御代官  
天保6（1835）写 1冊 半紙倍 和  
YK081 2-25
- 大光寺組戸籍調着到并入用帳 役所帳合方  
明治5（1872）写 1冊 横長 仮和  
YK081-2-26
- 第十五区士族卒給禄調 明治5（1872）写 1冊 半紙 仮和  
YK081-2-27  
註：「同給禄御預米調」「同給禄一季渡調」も合綴
- 青森県管轄陸奥国津軽郡第十五区戸籍「館山村」  
写 1冊 半紙 仮和  
YK081-2-28-1
- 青森県管轄陸奥国津軽郡第十五区戸籍「田中村」  
写 1冊 半紙 仮和  
YK081-2-28-2
- 青森県管轄陸奥国津軽郡第十五区戸籍「李平村」  
写 1冊 半紙 仮和  
YK081-2-28-3
- 青森県管轄陸奥国津軽郡第十五区戸籍「杉館村」  
写 1冊 半紙 仮和  
YK081-2-28-4
- 青森県管轄陸奥国津軽郡第十五区戸籍「松崎村」  
写 1冊 半紙 仮和  
YK081-2-28-5
- 青森県管轄陸奥国津軽郡第十五区戸籍「中佐渡村」  
写 1冊 半紙 仮和  
YK081-2-28-6
- 青森県管轄陸奥国津軽郡第十五区戸籍「新屋町村」  
写 1冊 半紙 仮和  
YK081-2-28-7
- 青森県管轄陸奥国津軽郡第十五区戸籍「長田村」  
写 1冊 半紙 仮和  
YK081-2-28-8
- 青森県管轄陸奥国津軽郡第十五区戸籍「金屋村」  
写 1冊 半紙 仮和  
YK081-2-28-9
- 青森県管轄陸奥国津軽郡第十五区戸籍「館田村」  
写 1冊 半紙 仮和  
YK081-2-28-10
- 青森県管轄陸奥国津軽郡第十五区戸籍「松館村」  
写 1冊 半紙 仮和  
YK081-2-28-11
- 青森県管轄陸奥国津軽郡第十五区戸籍「苗生松村」  
写 1冊 半紙 仮和  
YK081 -2-28-12
- 青森県管轄陸奥国津軽郡第十五区戸籍「本町村」  
写 1冊 半紙 仮和  
YK081-2-28-13
- 青森県管轄陸奥国津軽郡第十五区戸籍「大光寺村」  
写 1冊 半紙 仮和  
YK081-2 28-14
- 青森県管轄陸奥国津軽郡第十五区戸籍「荒田村」  
写 1冊 半紙 仮和  
YK081-2-28-15
- 第十五区戸籍人員職分総計 明治5年5月 明治5（1872）写 1冊 半紙 和  
YK081-2-29  
註：大光寺村、本町村、館田村、苗生松村、館山村、松崎村、松館村、杉館村、長田村、中佐渡村、新屋町村、荒田村、小和森村、平田森村、李平村、田中村、金屋村、合十七ヶ村
- 第二大区八小区各村反別戸数調 明治9年第5月〔戸長一戸正之〕  
明治9（1876）写 1冊 半紙 仮和  
YK081-2-30
- 青森県第二大区八小区村々ヨリ五小区黒石駅マデ里数調 明治8年1月〔戸長一戸正之、副戸長相馬驍・同斎藤亦人〕  
明治8（1875）写 1冊 半紙 仮和  
YK081-2 31  
註：「掃除丁場調」合綴
- 〔太政官布告類〕 明治3（1870）写 1冊 半紙 仮和  
YK081-2-32
- 〔代官覚書〕 写 1冊 半紙 仮和  
YK081-2-33
- 花田長兵衛・菊地勘次郎・大川才次郎村々庄屋共詮儀之口書 安政7年4月 安政7（1860）写 1冊 半紙 仮和  
YK081-2-34  
註：大光寺組、花田長兵衛は代々郷士先手代、菊地勘次郎は代々郷士手代・大庄屋、大川才次郎は手代
- 荒田村庄屋五人組百姓共并新屋町村庄屋五人組百姓共詮議

之口書 安政3年7月 役処扣 YK081-2-35  
安政3(1856)写 1冊 半紙 仮和

大光寺組荒田村次三郎田中村専右衛門兩人詮儀之口書  
安政6年7月 御代官 YK081-2-36  
安政6(1859)写 1冊 半紙 仮和

大光寺組荒田村喜丈口聞詮義 天保9年4月 YK081-2-37  
御代官  
天保9(1838)写 1冊 半紙 和

大光寺組田中村多七郎詮儀之口書 YK081-2-38  
文久元年9月 大光寺組手代  
文久元(1861)写 1冊 半紙 仮和

大光寺組田中村辰事市右衛門伴勘助口聞詮儀 YK081-2-39  
文久2年閏8月 御代官  
文久2(1862)写 1冊 半紙 和

大光寺組田中村市右衛門娘かん詮議之口書 YK081-2-40  
文久3年6月 手代  
文久3(1863)写 1冊 半紙 和

金屋村六右衛門新屋村半十郎柏木町村由蔵口聞詮儀  
弘化4年8月 御代官所 YK081-2-41  
弘化4(1847)写 1冊 半紙 仮和

大光寺組金屋村喜右衛門・長兵衛・定次郎詮儀之口書  
安政6年4月 御代官 YK081-2-42  
安政6(1859)写 1冊 半紙 和

金屋村長太郎夫婦并娘いと田中村太四詮儀之口書  
万延2年2月 YK081-2-43  
万延2(1861)写 1冊 半紙 仮和

金屋村長太郎娘いと本郷村城成妻伴音作妻詮議之口書  
文久元年6月 YK081-2-44  
文久元(1861)写 1冊 半紙 仮和

杉館村花田十兵衛庄屋甚助詮儀之口書 文政6年5月  
永井彦太郎・三浦新太郎 YK081-2-45  
文政6(1823)写 1冊 半紙 仮和

大光寺組松館村三五郎詮儀口書 天保4年6月  
御代官 YK081-2-46  
天保4(1833)写 1冊 半紙 仮和

館山村山三郎并村方三者共口書 天保6年11月  
御代官 YK081-2-47  
天保6(1835)写 1冊 半紙 仮和  
註：大光寺組、御代官記録(お救い粉の一件)

大光寺組館山村之者并亀次郎山三郎口聞詮儀 天保7年  
御代官 YK081-2-48  
天保7(1836)写 1冊 半紙 仮和  
註：救い粉一件、3点合綴

館山村亀次郎・元・弥三郎・弥左衛門口書 天保7年3月  
御代官 YK081-2-49  
天保7(1836)写 1冊 半紙 仮和  
註：大光寺組、御代官記録(お救い粉の一件)

大光寺組新屋町村甚太郎伴金助藤兵衛伴久司三左衛門伴喜  
之助長七三男卯之助口聞詮儀 YK081-2-50  
万延元年9月 御代官  
万延元(1860)写 1冊 半紙 和

大光寺組館田村者共詮儀ノ口書 天保6年7月  
御代官 YK081-2-51  
天保6(1835)写 1冊 半紙 仮和

大光寺組館田村新助詮儀之口書 安政6年7月  
手代 御代官 YK081-2-52  
安政6(1859)写 1冊 半紙 仮和

医者玄幹後家口聞詮義〔儀〕之覚 天保14年11月  
大光寺組 御代官 YK081-2-53  
天保14(1843)写 1冊 半紙 仮和  
註：天保15年詮議扣も1冊同綴

大光寺組村々当戸数人別田畑相改惣括帳 慶応元・2・3・  
4年 御代官 YK081-2-54  
慶応元～4(1865～68)写 1冊 半紙 仮和  
註：5冊合綴(「覚」1冊含む)

大光寺組明治元年10月ヨリ同3年9月中御用钱受払勘定帳  
菊地勘次郎、佐藤伴内 YK081-2-55  
明治3・4(1870・71)写 1冊 半紙 仮和  
註：6冊合綴

大光寺組内八村当戸数人別増減取調帳 明治2年8月  
庄屋 代庄屋 YK081-2-56  
明治2(1869)写 1冊 横長 仮和  
註：中佐渡・長田両村(庄屋久作)李平村(代庄屋惣四郎)  
金屋村(庄屋長九郎)杉館村(庄屋三右衛門)館田村(庄  
屋源七)元町村(代庄屋太左衛門)平田森村(庄屋七兵衛)  
7冊合綴

大光寺組荒田・杉館両村当戸数人別実数牒 YK081-2-57  
文久3年8月 庄屋  
文久3(1863)写 1冊 半紙 仮和  
註：荒田村(庄屋治右衛門)1冊、杉館村(庄屋三右衛門)  
イ・ロ2冊、計3冊合綴

大光寺組金屋村当戸数人別田畑共取調帳 文久3年8月

- 庄屋長左衛門 YK081-2-58  
文久3(1863)写 1冊 半紙 仮和
- 大光寺組内五村当戸数人別実数帳 YK081-2-59  
慶応4年8月 庄屋  
慶応4(1868)写 1冊 半紙 和  
註：中佐渡・長田村(庄屋久作)元町村(代庄屋太左衛門)田中村(庄屋茂吉)新屋町村(庄屋久左衛門)の4冊合綴
- 大光寺組内四村当戸数人別実数并高反別取調書上帳  
慶応4年8月 庄屋 YK081-2-60  
慶応4(1868)写 1冊 半紙 仮和  
註：2冊合綴  
松崎・館山・松館三村(庄屋米吉)苗生松村(庄屋弥四郎)
- 大光寺組館田村当戸数人別并田畑馬共実数取調書上帳  
慶応4年8月 庄屋源七 YK081-2-61  
慶応4(1868)写 1冊 半紙 和
- 大光寺組本町村当戸数人別増減并田畑高反別馬数共取調書上帳 元治元年8月 庄屋万次郎 YK081-2-62  
元治元(1864)写 1冊 横長 和
- 大光寺組松崎村館山村松館村当戸数人別増減高反別取調書上帳 元治元年・慶応3年 庄屋 YK081-2-63  
元治元・慶応3(1864・67)写 1冊 横長 和  
註：元治元年(庄屋弥三郎)、慶応3年(庄屋米吉)の2冊合綴
- 大光寺組中佐渡長田両村当戸数人別増減取調牒  
元治元年8月・慶応3年8月 庄屋久作 YK081-2-64  
元治元・慶応3(1864・67)写 1冊 横長 仮和  
註：2冊合綴
- 大光寺組苗生松村当戸数人別増減高反別取調書上帳  
元治元年・慶応元年8月 庄屋弥四郎 YK081-2-65  
元治元・慶応元(1864・65)写 1冊 横長 仮和  
註：2冊合綴
- 大光寺組金屋村当戸数人別高反別増減取調書上帳  
慶応元年8月 庄屋長右衛門 YK081-2-66  
慶応元(1865)写 1冊 横長 和
- 大光寺組田中・杉館両村当戸数人別増減取調書上牒  
慶応3年8月 庄屋 YK081-2-67  
慶応3(1867)写 1冊 横長 仮和  
註：田中村(庄屋茂吉)杉館村(庄屋三右衛門)の二冊合綴
- 大光寺組村々庄屋等口上覚書綴 YK081-2-68  
写 1冊 横長 仮和  
註：長田村長松娘一件、他
- 〔代官詮儀之覚〕 YK081-2-69  
写 1冊 半紙 仮和
- 〔大光寺村寅吉覚〕 YK081-2-70  
写 1冊 半紙 仮和  
註：打擲一件
- 口換 一戸正之 YK081-2-71  
〔明治5・6(1872・73)〕写 1冊 横長 仮和  
註：一戸正之は第二大区八小区(旧大光寺組)の戸長
- 町方行人別扣ノ口 大光寺組 YK081-2-72  
写 1冊 横長 仮和  
註：館田、館山、杉館、大光寺、平田森、新屋町、元町、小和森、長田、中佐渡、金屋、田中、李平、荒田の村々
- 御検見中御用留帳 安政6年9月25日 YK081-2-73  
案内手代菊地勘二郎、大川才二郎  
安政6(1859)写 1冊 横長 仮和
- 大光寺組村々田畑当御検地願惣括書上帳 安政6年9月  
案内手代 菊地勘次郎 YK081-2-74  
安政6(1859)写 1冊 横長 仮和
- 大光寺組村々御巡見使御入用寄物御用立人別帳  
天保9年3月 御代官所 YK081-2-75  
天保9(1838)写 1冊 横長 仮和
- 御巡見使御下向之節庄屋平人并手伝人見斗人手附人夫共目論人別帳 天保9年4月 手代 YK081-2-76  
天保9(1838)写 1冊 横長 仮和
- 大光寺組村々畑方当仕付荒御検地願野帳 万延元年8月  
案内手代 村々庄屋 YK0812-77  
万延元(1860)写 1冊 横長 仮和  
註：御検地仕上之表書上帳(案内手代、佐藤伴内)大光寺、中佐渡、長田、新屋町、荒田、小和森の村々、6冊合綴
- 大光寺組村々田方当検見諸入用割合牒 万延元年10月  
万延元(1860)写 1冊 横長 仮和 YK081-2-78
- 大光寺組村々田方御検見当毛引高帳(御郡所)  
文久元年9月 御検見人石郷岡元弥 YK081-2-79  
文久元(1861)写 1冊 横長 仮和  
註：大光寺、元町、館田、苗生松、館山、新屋町の村々、6冊合綴
- 大光寺組大光寺村田方御検見当毛引高帳 文久3年9月  
御検見人 坂本清作 YK081-2-80  
文久3(1863)写 1冊 横長 仮和

## 大光寺組邑々田方当御検見願引高平均歩通書上帳

文久3年9月 案内手代 佐藤伴内 YK081-2-81  
文久3(1863)写 1冊 横長 仮和

## 〔大光寺組御用留断簡〕 YK081-2-82

〔文久3(1863)〕写 1冊 半紙 仮和

## 大光寺組田中金屋両村御蔵田方当御検見願平均分通書上帳

慶応2年10月 案内手代相馬三右衛門 YK081-2-83  
慶応2(1866)写 1冊 横長 和

## 〔大光寺組巡見使接待御用留〕 YK081-2-84

写 1冊 半紙 仮和

大光寺組村々田方当御検見引高帳 明治2年10月  
明治2(1869)写 1冊 横長 和 YK081-2-85

## 〔覚書〕 YK081-2-86

写 1冊 半紙 仮和  
註：大光寺組検見一件

## 〔大光寺組代官御用留綴〕 YK081-2-87

〔文政12(1829)〕万 1冊 半紙 仮和

## 〔大光寺組覚綴〕 YK081-2-88

〔安政2(1855)〕写 1冊 横長 仮和  
註：口上之覚等

大光寺組村々田畑当仕付目録 嘉永2年5月 YK081-2-89  
御代官

嘉永2(1849)写 1冊 半紙 仮和  
註：大光寺村当田畑仕付目録書上帳(代庄屋権八)、大光寺組元町村当田畑仕付目録(庄屋嘉兵衛)、大光寺組館田村田畑当仕付目録書上帳(庄屋永吉)の三冊合綴

大光寺村々田方当耕作手順調書上帳 天保13年正月  
御代官 YK081-2-90

天保13(1842)写 1冊 半紙 仮和  
註：大光寺・元寺・館田・苗生松・松崎・館山・杉館・中佐渡・長田・荒田・小和森・平田森・新屋町・李平・田中・金屋の16村と総括帳の17冊合綴

大光寺組村々貯糶蔵出入見届帳綴 文化11・文政元～9・11～13年 YK081-2-91

文化11・文政元～9・11～13(1814・18～26・28～30)写 1冊 半紙 仮和  
註：合計36冊合綴

大光寺組村々御借上米上納一紙請取留帳 天保11年3月  
御代官所 YK081-2-92

天保11(1840)写 1冊 半紙 和

大光寺組村々去去年御取納一紙表留帳 天保12年閉正月  
山口清之丈 佐藤伴内 YK081-2-93

天保12(1841)写 1冊 半紙 仮和  
註：同年3月上納一紙手形留帳(御代官)も同綴

大光寺組村々仮子引担人別名前書上帳 天保13年4月  
御代官 YK081-2-94

天保13(1842)写 1冊 半紙 和

地課金拝借願 明治10年7月・8月 YK081-2-95  
第二大区八・九小区

明治10(1877)写 1冊 美濃 仮和

大光寺組村々予備田方代銀突込直段書上ヶ牒 YK081-2-96  
明治5年3月 大庄屋

明治5(1872)写 1冊 半紙 和

大光寺組村々去去年御取納勘定牒 明治5年3月  
大庄屋 YK081-2-97

明治5(1872)写 1冊 半紙 和

大光寺組村々貯糶蔵出見届帳 明治4年8月 YK081-2-98  
佐藤要吉

明治4(1871)写 1冊 半紙 和

大光寺組村々貯糶去去年分当取建村々郷蔵江引入見届牒  
明治4年3月 成田文右衛門 YK081-2-99

明治4(1871)写 1冊 半紙 和  
註：続綴として同蔵出残糶見届ヶ帳あり

大光寺組村々田畑高反別并村貯糶組貯糶夫喰米戸数人別馬  
数共取調帳 明治4年8月 YK081-2-100

明治4(1871)写 1冊 半紙 和

大光寺組村々御買上屋鋪畑代銀御渡方願書上ヶ帳  
明治4年11月 大庄屋 YK081-2-101

明治4(1871)写 1冊 半紙 和

大光寺組村々御買上田方代銀御取納米差継願書上ヶ牒  
明治4年10月 大庄屋 YK081-2-102

明治4(1871)写 1冊 半紙 和

大光寺組村々当田畑御取納米銭免目録 明治3年10月  
菊地勘次郎 YK081-2-103

明治3(1870)写 1冊 半紙 和

廻状 YK081-2-104  
写 1袋(5通)

註：大光寺、大鰐、尾崎、猿賀組関係

山林原野地価取調書上帳 明治9年 YK081-2-105  
第二大区八小区

明治9(1876)写 1冊 半紙 仮和  
 註：金屋・平田森・新屋町・中佐渡・田中(2冊)の各  
 村6冊合綴

**山林原野番外地価帳** 明治9年 **YK081-2-106**  
 第二大区八小区  
 明治9(1876)写 1冊 半紙 仮和  
 註：平田森・新屋町・中佐渡・李平の村々  
 4冊合綴

**農業資本金(夫喰米)借用証綴** 明治13年 **YK081-2-107**  
 明治13(1880)写 1冊 美濃 仮和  
 註：青森県令山田秀典宛

**大光寺組村々旧帳合方并当六月以後入替ニ相成在役共取調帳**  
 明治3年10月 弘前官所大庄屋 **YK081-2-108**  
 明治3(1870)写 1冊 半紙 和

**田畑調方ニ付御勘定所ヨリ拝借諸帳面覚** 明治3年4月  
 大光寺組 帳合方 **YK081-2-109**  
 明治3(1870)写 1冊 半紙 仮和

**大光寺組村々御規数夫喰米取立勘定牒** 明治4年3月  
 役所引担 佐藤伴内 **YK081-2-110**  
 明治4(1871)写 1冊 半紙 和

**改正合斗帳** 明治8年第11月 **YK081-2-111**  
 第二大区八小区 館山 松館 松崎各村  
 明治8(1875)写 1冊 半紙 和

**蚕業会舎名簿** **YK081-2-112**  
 [明治8・9(1875・6)]写 1冊 美濃 和  
 註：「広告」「蚕業会社設立願之儀」(県参事宛)  
 「結社大意」などもあり

**第二大区八小区村々旧貢米高調帳** **YK081-2-113**  
 写 1冊 半紙 仮和

**民費賦課内訳表** 明治6年ヨリ同8年マデ **YK081-2-114**  
 第二大区八小区扱所  
 明治6～8(1873～75)写 1冊 半紙 和

**第二大区八小区諸品直段調** 明治7年第11月  
 [戸長一戸正之、副戸長相馬驍] **YK081-2-115**  
 明治7(1874)写 1冊 半紙 和

**第二大区八小区明治八年中諸入費調** **YK081-2-116**  
 [戸長一戸正之、副戸長相馬驍・同菊地健左エ門]  
 明治8(1875)写 1冊 半紙 和

**第二大区八小区地租改正入費調** 明治8年6月ヨリ明治9  
 年4月マデ **YK081-2-117**  
 [戸長一戸正之、副戸長相馬驍・同菊地健左エ門]  
 明治8・9(1875・6)写 1冊 半紙 和

**調書綴** 明治9年6・7月ヨリ12月マデ **YK081-2-118**  
 第二大区八小区区役所  
 明治9(1876)写 1冊 半紙 和  
 註：三等区費勘定下組調、人足調、旅費調等

**第二大区八小区各村田方用水堰掛反別調** 明治9年4月  
 [戸長一戸正之、副戸長相馬驍] **YK081-2-119**  
 明治9(1876)写 1冊 半紙 和

**経費予算内訳明細簿** 明治10年1月ヨリ12月マデ  
 第二大区八小区区役所 **YK081-2-120**  
 明治10(1877)写 1冊 半紙 和

**大光寺組村々諸書付留帳** 文化11・14年正月  
 御代官所 **YK081 2 121**

文化11・14(1814・17)写 1冊 横長 仮和  
 註：2冊合綴

**大光寺組村々諸書付留帳** 文政4・5・6年正月  
 御代官所 **YK081-2-122**  
 文政4～6(1821～23)写 1冊 横長 仮和  
 註：3冊合綴

**大光寺組村々諸書付留帳** 文政8・9・12・13年正月  
 御代官所 **YK081-2-123**  
 文政8・9・12・13(1825・26・29・30)写 1冊  
 横長 仮和  
 註：4冊合綴

**大光寺組村々諸書付留帳** 天保7・8・9年正月  
 御代官所 **YK081-2-124**  
 天保7～9(1836～38)写 1冊 横長 仮和  
 註：3冊合綴

**大光寺組村々諸書付留帳** 天保12・13・14・15・16年  
 正月 御代官所 **YK081-2-125**  
 天保12～16(1841～45)写 1冊 横長 仮和  
 註：4冊合綴

**大光寺組村々諸書付留帳** 弘化3・4・5年 **YK081-2-126**  
 御代官所  
 弘化3～5(1846～48)写 1冊 横長 仮和  
 註：3冊合綴

**大光寺組村々諸書付留帳** 嘉永2・3・4・5年正月  
 御代官所 **YK081-2-127**  
 嘉永2～5(1849～52)写 1冊 横長 仮和  
 註：4冊合綴

**大光寺組村々出書付留帳** 嘉永6・7年 **YK081-2-128**



- 御代官所  
嘉永6・7 (1853・54) 写 1冊 横長 仮和  
註：3冊合綴
- 大光寺組村々出書付留帳 安政3・4・5・6年  
〔御代官所〕 YK081-2-129  
安政3～6 (1856～59) 写 1冊 横長 仮和  
註：4冊合綴
- 大光寺組村々出書付留帳 万延元年 YK081-2-130  
菊地勘次郎、佐藤伴内  
万延元 (1860) 写 1冊 横長 仮和
- 大光寺組村々出書付留帳 文久元・2年 YK081-2-131  
菊地勘次郎、佐藤伴内  
文久元・2 (1861・62) 写 1冊 横長 仮和  
註：3冊合綴
- 大光寺組村々出書付留帳 元治元年 YK081-2-132  
御役所  
元治元 (1864) 写 1冊 横長 仮和  
註：10月ヨリ慶応元年9月中
- 大光寺組村々出書付留帳 慶応元・2・3・4年  
御代官所 YK081-2-133  
慶応元～4 (1865～68) 写 1冊 横長 仮和  
註：4冊合綴
- 大光寺組村々出書付留帳 明治2年 YK081-2-134  
郡政調方所  
明治2 (1869) 写 1冊 横長 仮和  
註：10月ヨリ来明治3年9月中
- 諸出書付并御用状共留帳 元治2年正月 YK081-2-135  
庄屋三右衛門
- 元治2 (1865) 写 1冊 横長 仮和
- 万覚帳 慶応3年8月 御買メ所 YK081-2-136  
慶応3 (1867) 写 1冊 横長 仮和
- 諸書付扣帳 常德 YK081-2-137  
写 1冊 横長 仮和
- 諸書付類纂 YK081-2-138  
写 1冊 横長 仮和  
註：安政三年「本町村庄屋勇八家財諸道具封印表留帳」  
(大光寺組手代小使) も同綴
- 大光寺組村々餓死調 YK081-2-139  
写 1冊 横長 仮和  
註：年代不明
- 大光寺組覚書綴 YK081-2-140  
写 1冊 横長 仮和
- 稲刈高覚帳 天保14年ヨリ YK081-2-141  
天保14～慶応2 (1843～66) 写 1冊 横長 仮和
- 去寅年御槻数夫喰米并別段拝借米共勘定帳 YK081-2-142  
嘉永5年2月 大光寺組  
嘉永5 (1852) 写 1冊 横長 仮和
- 大光寺組村々貯初人別貯三十ヶ年賦取建帳 YK081-2-143  
嘉永6年2月  
嘉永6 (1853) 写 1冊 横長 仮和
- 大光寺組諸御用銭割元帳 安政4・6年 YK081-2-144  
菊地勘次郎・大川才次郎・進藤四郎右衛門・佐藤伴内  
安政4・6 (1857・59) 写 1冊 横長 仮和  
註：2冊合綴 万延元年 (1860) マデ
- 大光寺組辰年田畑当御取納米御取ヶ帳 安政3年10月  
御代官所 YK081-2-145  
安政3 (1856) 写 1冊 横長 仮和
- 大光寺組村々天保十四卯年ヨリ村貯初実数取誦帳  
安政4年2月 花田長兵衛 菊地勘次郎 YK081-2-146  
安政4 (1857) 写 1冊 横長 仮和
- 御役所定例御小使歳末手当銭立替帳 安政6年12月  
安政6 (1859) 写 1冊 横長 仮和 YK081-2-147
- 大光寺組村々諸御用米銭取ヶ帳 安政6年10月ヨリ申9  
月中 進藤四郎右衛門 佐藤伴内 YK081-2-148  
安政6・万延元 (1859・60) 写 1冊 横長 仮和
- 当組護国神奉賀帳 安政6年3月 YK081-2-149  
大光寺村別当金剛院  
安政6 (1859) 写 1冊 横長 仮和
- 午十月ヨリ未九月中御役所詰合日記調帳 YK081-2-150  
写 1冊 横長 仮和
- 大光寺組村々拝借米初五丁目御蔵へ附上ノ分当役所并村々  
より附出し方取調帳 YK081-2-151  
文久2年6月 御代官所  
文久2 (1862) 写 1冊 横長 仮和
- 御郡所ニ而富田村へ御蔵御取建入用諸色差引帳  
文久2年間8月 大光寺組手代 YK081-2-152  
文久2 (1862) 写 1冊 横長 仮和
- 大光寺組村々黒石領并町方行人別取調牒 文久3年9月  
文久3 (1863) 写 1冊 横長 仮和 YK081-2-153

- 大光寺組村々諸職諸稼業取調書上帳 文久3年9月  
大光寺組手代 YK081-2-154  
文久3(1863)写 1冊 横長 和
- 大光寺組村々田畑新屋舗成取調書上帳 文久3年9月  
文久3(1863)写 1冊 横長 和 YK081-2-155
- 当御収納米上納附込牒 文久3年10月 YK081-2-156  
庄屋三右衛門  
文久3(1863)写 1冊 横長 仮和
- 〔藁〕細工御買上方懸合中詰合日記帳 慶応3年2日朔日  
慶応3(1867)写 1冊 横長 仮和 YK081-2-157
- 大光寺組村々別段夫喰米貸渡人別取調書上帳  
慶応3年6月 御代官 YK081-2-158  
慶応3(1867)写 1冊 横長 和
- 大光寺組村々農兵人別仕組書上帳 慶応4年11月  
手代 YK081-2-159  
慶応4(1868)写 1冊 横長 仮和
- 大光寺組村々青森詰非常御備人夫年齢名前書上帳  
慶応4年11月22日夕ヨリ YK081-2-160  
慶応4(1868)写 1冊 横長 仮和
- 大光寺組村々先納米一紙入用帳 慶応4年10月  
慶応4(1868)写 1冊 横長 仮和 YK081-2-161
- 大光寺組村々別段夫喰米貸渡人別判帳 慶応4年7月  
御代官 YK081-2-162  
慶応4(1868)写 1冊 横長 仮和  
註：館山三ヶ村、大光寺村、本町村、苗生松村
- 大光寺組村々農兵仕組人別書上帳 明治元・2年  
手代・御代官 YK081-2-163  
明治元・2(1868・69)写 1冊 横長 仮和  
註：2冊合綴
- 非常ニ付帯刀役人夫附添諸入用割合牒 明治2年5月  
明治2(1869)写 1冊 横長 仮和 YK081-2-164
- 大光寺組当巳年御用錢割元帳 明治2年10月ヨリ9月中  
菊地勘次郎 佐藤伴内 YK081-2-165  
明治2・3(1869・70)写 1冊 横長 仮和
- 大光寺組村々寄物并歩行夫代差引牒 明治2年10月  
明治2(1869)写 1冊 横長 仮和 YK081-2-166
- 大光寺組館山村館田村苗生松村杉館村粥焚出来并人別共取  
調書上帳 明治3年3月 庄屋源七 YK081-2-167  
明治3(1870)写 1冊 横長 仮和
- 大光寺組村々諸用錢割元帳 明治3・4年12月  
YK081-2-168  
明治3・4(1870・71)写 1冊 横長 仮和  
註：2冊合綴
- 大光寺組村々諸割合高反別取調帳 明治4年3月  
役所引担方 YK081-2-169  
明治4(1871)写 1冊 横長 和
- 大光寺組村々諸御用錢日々諸払帳 明治4年10月  
明治4(1871)写 1冊 横長 仮和 YK081-2-170
- 大光寺組村々山作人馬諸色割元帳 明治4年10月  
役所引担 YK081-2-171  
明治4(1871)写 1冊 横長 仮和
- 大光寺組去午ノ十月ヨリ未ノ九月中御役所組両茂合取調帳  
明治5年2月 YK081-2-172  
明治5(1872)写 1冊 横長 仮和
- 大光寺組村々庄屋御状留 明治4年 YK081-2-173  
明治4(1871)写 1冊 横長 仮和
- 郷藏建家等御改之上御封印ニ而御預ヶ被仰附候覚  
卯2月13日 YK081-2-174  
大光寺組館山村庄屋太郎右衛門  
写 1冊 横長 仮和
- 諸品成取調之表 文化8年ヨリ天保6年迄 YK081-2-175  
文化8～天保6(1811～1835)写 1冊 横長 仮和
- 御巡見使御下向節御用之覚書綴 天保9年 YK081-2-176  
大光寺組  
天保9(1838)写 1冊 横長 仮和
- 大光寺組諸村留帳 YK081-2-177  
写 1冊 横長 仮和
- 大光寺組代官所御用留 YK081-2-178  
写 1冊 横長 仮和
- 大光寺組村々当正馬御改メ諸入用請取帳 文久元年6月  
文久元(1861)写 1冊 横長 仮和 YK081-2-179
- 大光寺組村々当有馬実数惣括帳 文久元年6月  
文久元(1861)写 1冊 横長 仮和 YK081-2-180
- 大光寺組村々当正馬御改諸入用受払帳 元治元年6月  
元治元(1864)写 1冊 横長 仮和 YK081-2-181
- 馬調方御用状留 元治2年正月 YK081-2-182  
牛馬取扱 相馬三右衛門

- 元治2(1865)写 1冊 横長 仮和
- 大光寺組村々当出生駄(駒)取調帳** 安政3・5・元治元・明治4年 御代官 **YK081-2-183**  
安政3・5・元治元・明治4(1856・58・64・71)写 1冊 半紙 仮和  
註:4冊合綴
- 大光寺組村々買馬取調帳** 安政6・万延元・文久元・明治4年 御代官 **YK081-2-184**  
安政6・万延元・文久元・明治4(1859・60・61・71)写 1冊 半紙 仮和  
註:6冊合綴
- 大光寺組村々当売馬取調帳** 万延元・文久元・2・元治元・明治4年 御代官 **YK081-2-185**  
万延元・文久元・2・元治元・明治4(1860・61・62・64・71)写 1冊 半紙 仮和  
註:7冊合綴
- 大光寺組村々斃馬取調書上帳** 安政6・文久元・明治4年 御代官 **YK081-2-186**  
安政6・文久元・明治4(1859・61・71)写 1冊 半紙 仮和  
註:4冊合綴
- 大光寺組村々当有馬実数調帳** 安政5年6月 御代官 **YK081-2-187-1**  
安政5(1858)写 1冊 半紙 仮和
- 大光寺組村々当有馬実数調帳** 万延元年6月 中畑俊吉 工藤嘉助 **YK081-2-187-2**  
万延元(1860)写 1冊 半紙 仮和
- 大光寺組村々当有馬実数調帳** 文久元年5月
- 中畑俊吉 工藤嘉助 **YK081-2-187-3**  
文久元(1861)写 1冊 半紙 仮和
- 大光寺組村々当有馬実数調帳** 文久3年6月 中畑俊吉 工藤嘉助 **YK081-2-187-4**  
文久3(1863)写 1冊 半紙 仮和
- 大光寺組村々当有馬実数調帳** 元治元年6月 中畑俊吉 工藤嘉助 **YK081-2-187-5**  
元治元(1864)写 1冊 半紙 仮和
- 大光寺組村々当有馬実数調帳** 慶応2年6月 御代官 **YK081-2-187-6**  
慶応2(1866)写 1冊 半紙 仮和
- 大光寺組村々当有馬実数調帳** 慶応3年6月 御代官 **YK081-2-187-7**  
慶応3(1867)写 1冊 半紙 仮和
- 養蚕手引** 大光寺組 **YK081-2-188**  
写 1冊 半紙 仮和
- 第十五区邑々御規数夫喰米貸渡人別判帳** 明治5年7月 帳合方 相馬三右衛門 **YK081-2-189**  
明治5(1872)写 1冊 横長 和  
註:第十五区は旧大光寺組の一部をいう
- 第十五区村々諸用銭割元帳** 明治6年1月 **YK081-2-190**  
明治6(1873)写 1冊 横長 仮和
- 第二大区八小区諸出銭割元帳** 明治7・8年1月 **YK081-2-191**  
明治7・8(1874・75)写 1冊 横長 仮和
- 第二大区八小区米金出納誌** 明治7・8年従1月
- 戸長 **YK081-2-192**  
明治7・8(1874・75)写 1冊 横長 仮和  
註:2冊合綴
- 第二大区八小区村吏着到牒** 明治8・9年1月 **YK081-2-193**  
明治8・9(1875・76)写 1冊 横長 仮和  
註:2冊合綴
- 第二大区八小区諸出銭割合反別帳** 明治9年1月 **YK081-2-194**  
明治9(1876)写 1冊 横長 仮和
- 第二大区八小区諸税金出納誌** 明治9年 戸長 **YK081-2-195**  
明治9(1876)写 1冊 横長 仮和
- 第二大区八小区金屋村李平村田中村人別判帳** 明治9年2月 村用係 **YK081-2-196**  
明治9(1876)写 1冊 美濃 仮和  
註:6冊合綴
- 諸寺院印判帳** **YK081-2-197**  
写 1冊 26×19 仮名
- 共有墓地名簿調** 明治10年 **YK081-2-198**  
陸奥国津軽郡第二大区八小区  
明治10(1877)写 1冊 半紙 仮和  
註:本町、館田、杉館、長田、中佐渡、新屋、尾上、荒田、平田森、李平、田中、金屋の村々。14冊合綴
- 第十五区(大光寺組)御買入屋敷地取調書上ヶ帳** 明治5年7月 庄屋 **YK081-2-199**  
明治5(1872)写 1冊 半紙 仮和  
註:大光寺、本町、苗生松、館山、杉館、中佐渡、長田、

- 小和森、李平、田中、金屋、他横長 1。12 冊合綴
- 官民山林原野等正反別并地位等級分収利調合計帳**  
津軽郡第二大区八小区 YK081-2-200  
明治 9 (1876) 写 1 冊 半紙 仮和  
註：大光寺、本町、館山、松崎、松館、杉館、長田、中佐渡、新屋町、小和森、田中、金屋の各村。12 冊合綴
- 御郡所大光寺組本町村田方当御検見引高帳** YK081-2-201  
慶応 3 年 9 月 御検見人 一戸友弥  
慶応 3 (1867) 写 1 冊 横長 和
- 第二大区本町村消防組出頭人名調** YK081-2-202  
明治 9 (1876) 写 1 冊 半紙 仮和
- 川原寛藏家財調** YK081-2-203  
明治 7 (1874) 写 1 冊 半紙 仮和
- 第二大区八小区館田村印鑑調** YK081-2-204  
写 1 冊 美濃 仮和
- 割賦金未納調** (明治 7 年ヨリ同 10 年ニ至ル)  
明治 11 年 1 月 第二大区八小区館田村 YK081-2-205  
明治 11 (1878) 写 1 冊 半紙 仮和
- 大光寺組新屋町村別段利米拝借夫喰米貸渡人別判帳**  
慶応 4 年 5 月 庄屋久左衛門 YK0812-206  
慶応 4 (1868) 写 1 冊 横長 仮和
- 大光寺組中佐渡長田両村御概数夫喰米人別判帳**  
慶応 4 年 6 月 庄屋久作 YK081-2-207  
慶応 4 (1868) 写 1 冊 横長 仮和
- 大光寺組中佐渡長田両村川添田畑調野帳** YK081-2-208  
慶応 4 年 4 月 庄屋久作
- 慶応 4 (1868) 写 1 冊 横長 和
- 大光寺松館村館山村平川添并六羽川添田畑新開諸留落取調書上野帳** 慶応 4 年 4 月 庄屋米屋 YK081-2-209  
慶応 4 (1868) 写 1 冊 横長 和
- 大光寺館山村両村人夫代留牒** 嘉永 4 年正月  
相馬景茂 YK081-2-210  
嘉永 4 (1851) 写 1 冊 横長 仮和
- 持抱田畑高反別共取調書上帳** 天保 7 年 11 月  
松崎村 今井善七 YK081-2-211  
天保 7 (1836) 写 1 冊 横長 仮和
- 大光寺組田中村川添田方新開并川成共高反別取調案内野帳**  
慶応 4 年 3 月 庄屋茂吉 YK081-2-212  
慶応 4 (1868) 写 1 冊 横長 仮和
- 大光寺組平田森村彦左衛門持田畑取調書上帳** 安政 5 年 2 月  
庄屋久米之助 YK081-2-213  
安政 5 (1858) 写 1 冊 横長 仮和
- 明治 7 年第二大区八小区小和森村民費調** YK081-2-214  
明治 8 年 4 月 組頭今井嘉右衛門  
明治 8 (1875) 写 1 冊 半紙 和
- 成田屋太郎七・葛西半十郎小和森荒田両村領田方取引一件口書** 安政 5 年 11 月 YK081-2-215  
安政 5 (1858) 写 1 冊 半紙 仮和  
註：大光寺組、御代官記録
- 大光寺組小和森村御人役書上帳** 明治 2・3 年  
庄屋重次郎 YK081-2-216  
明治 2・3 (1869・70) 写 1 冊 半紙 仮和  
註：2 冊合綴
- 大光寺組小和森村ヨリ申出茂合割元牒** 明治 4 年 2 月  
庄屋重次郎 YK081-2-217  
明治 4 (1871) 写 1 冊 横長 仮和
- 十三人夫取扱諸入用取調帳** YK081-2-218  
明治 3 年 12 月  
明治 3 (1870) 写 1 冊 横長 和
- 覚書** 大光寺組 小和森村 YK081-2-219  
写 1 冊 横長 仮和
- 小和森村荒細工物附下之通** 慶応 3 年正月 YK081-2-220  
庄屋重次  
慶応 3 (1867) 写 1 冊 横半紙半 仮和
- 改正反別収穫等級調** YK081-2-221  
第二大区八小区津軽郡小和森村  
写 1 冊 半紙 仮和
- 大光寺組荒田村引座川添田畑図式表取調野帳**  
慶応 4 年 4 月 庄屋治右衛門 YK081-2-222  
慶応 4 (1868) 写 1 冊 横長 和
- 大光寺組荒田村役所着到牒** YK081-2-223  
明治 4 年 10 月  
明治 4 (1871) 写 1 冊 横長 仮和
- 村貯粉預証** 明治 8 年 10 月 YK081-2-224  
第二大区八小区荒田村村用係船水重次郎  
明治 8 (1875) 写 1 冊 半紙 仮和
- 大光寺組杉館村給地反別高書出帳** 正徳 3 年 4 月  
庄屋彦十郎 YK081-2-225  
正徳 3 (1713) 写 1 冊 半紙 仮和

杉館村壹升米一件 文化3年2月 御代官 YK081-2-226  
文化3(1806)写 1冊 半紙 仮和

大光寺組杉館村田方試開発位付帳 文化7年11月  
文化7(1810)写 1冊 半紙 仮和 YK081-2-227

毎年蕨賦人夫郷蔵人夫鶴上納方順番帳 文政11年  
庄屋甚助 YK081-2-228  
文政11(1828)写 1冊 横中 仮和  
註：弘化4年(1847)まで

大光寺組杉館村諸出銭勘定帳 天保10・13・15・弘化2・  
4・嘉永3・5年 庄屋茂助 YK081-2-229  
天保10・13・15・弘化2・4・嘉永3・5(1839・  
42・44・45・47・50・52)写 1冊 半紙 仮和  
註：10冊合綴

大光寺組杉館村去天保十四卯年ヨリ村貯粉引入見届ヶ帳  
安政6年7月 YK081-2-230  
安政6(1859)写 1冊 半紙 仮和

御用状之写 杉館邑(大光寺組) YK081-2-231  
文久元(1861)写 1冊 半紙 和  
註：郡奉行・御代官より大鱈四ヶ組手代宛の御用状留

大光寺組杉館村田畑当仕付目録 慶応4年5月  
庄屋三右衛門 YK081-2-232  
慶応4(1868)写 1冊 半紙 仮和

梶館邑田畑御収納米并御用钱御規数夫喰米其外山作人馬諸  
色共差引通 YK081-2-233  
明治4年10月 百姓 三右衛門  
明治4(1871)写 1冊 横中 仮和  
註：2冊合綴

大光寺組杉館村去ル辰巳兩年諸出銭受払取調勘定帳  
明治4年5月 代庄屋三之丞 YK081-2-234  
明治4(1871)写 1冊 半紙 和

第二大区八小区杉館村人別印調書上帳 明治9年  
村用孫 工藤彦三郎 YK081-2-235  
明治9(1876)写 1冊 美濃 和

大光寺組新屋町村田方当御検見願野帳 慶応3年9月  
庄屋久左衛門 YK081-2-236  
慶応3(1867)写 1冊 横長 和

大光寺組杉館村別免田方当御検見願野帳 天保7年  
庄屋甚吉 YK081-2-237  
天保7(1836)写 1冊 横長 仮和  
註：享和3年～文化6年 1冊、文化7年～天保7年  
1冊  
註：2冊合綴

大光寺組杉館村田方当御検見願野帳 天保10・15・弘化  
3年 庄屋茂助 YK081-2-238  
天保10・15・弘化3(1839・44・46)写 1冊 横長  
仮和  
註：3冊合綴

大光寺組杉館村田方当御検見願野帳 慶応元・明治2年  
庄屋三右衛門 YK081-2-239  
慶応元・明治2(1865・69)写 1冊 横長 仮和  
註：2冊合綴

大光寺組杉館村田方常御検見并大廻諸入用割合帳  
慶応4年10月 庄屋三右衛門 YK081-2-240  
慶応4(1868)写 1冊 横長 仮和

大光寺組杉館村田方当御検見諸入用差引帳  
慶応4年10月 庄屋三右衛門 YK081-2-241  
慶応4(1868)写 1冊 横長 仮和

大光寺組杉館村川添田畑取調野牒 慶応4年4月  
庄屋三右衛門 YK081-2-242  
慶応4(1868)写 1冊 横長 仮和  
註：諸入用割合帳(慶応4年10月)1冊合綴  
合計3冊合綴

大光寺組杉館村諸役人様御賄日記留帳 天保13・15・弘  
化2・嘉永2・3・4・5・6・7年 YK081-2-243  
庄屋茂助  
天保13・15・弘化2・嘉永2～7(1842・44・45・  
49～54)写 1冊 横長 仮和  
註：10冊合綴

大光寺組杉館村諸役人様御賄留日記帳 安政3・4・5・6年・  
万延元年・文久元・3年・慶応2・3・4年  
庄屋三右衛門 YK081-2-244  
安政3～6・万延元・文久元・3・慶応2～4(1856～  
59・61・63・66～68)写 1冊 横長 仮和  
註：10冊合綴

大光寺組村々重立貯粉并村貯粉共取立帳 嘉永3年2月  
庄屋茂助 YK081-2-245  
嘉永3(1850)写 1冊 横長 仮和

大光寺組梶館邑組貯粉取建帳 嘉永7年8月  
庄屋茂助 YK081-2-246  
嘉永7(1854)写 1冊 横長 仮和

大光寺組杉館村備粉割合帳 文久2年10月  
庄屋三右衛門 YK081-2-247  
文久2(1862)写 1冊 横長 仮和

非常入用草鞋取立差引帳 慶応4年2月 YK081-2-248

庄屋三右衛門

慶応4(1868)写 1冊 横長 仮和

大光寺組杉館村郷蔵取建入用割合帳 慶応元年10月

YK081-2-249

懸合重立甚助、庄屋三右衛門、五人組彦三郎

慶応元(1865)写 1冊 横長 仮和

大光寺組杉館村去ル辰年ヨリ子年迄諸色代銀割返人別判帳

天保13年9月 庄屋茂助

YK081-2-250

天保13(1842)写 1冊 横長 仮和

註：2冊合綴

大光寺組杉館村去ル巳年ヨリ子年迄別段銭并諸色代銀割返帳  
YK081-2-251

天保13年6月 懸合工藤万太郎 庄屋茂助

天保13(1842)写 1冊 横長 仮和

大光寺組杉館村当年中村茂合調書上帳 天保11・12年

庄屋茂助

YK081-2-252

天保11・12(1840・41)写 1冊 横長 仮和

註：2冊合綴

大光寺杉館村給地田畑高反別坪切書上ヶ帳

安永3年4月 庄屋彦十郎

YK081-2-253

安永3(1774)写 1冊 横長 仮和

註：寺社領の分1冊同綴

大光寺組杉館村年々夫喰米貸渡人別判帳 天保9年12月

庄屋茂助

YK081-2-254

天保9(1838)写 1冊 横長 仮和

大光寺組杉館邑死亡他散ニ而夫喰米不納人別取調書上帳

天保14年11月 庄屋茂助

YK081-2-255

天保14(1843)写 1冊 横長 仮和

大光寺組杉館村去ル酉年諸出銭江宮崎八十吉預上納人別判帳

天保15年正月 庄屋茂助

YK081-2-256

天保15(1844)写 1冊 横長 仮和

大光寺組杉館村組貯取立高反別人別書上帳

天保15年4月 庄屋茂助

YK081-2-257

天保15(1844)写 1冊 横長 仮和

大光寺組杉館村当戸数人別増減取調帳 慶応2年8月

庄屋三右衛門

YK081-2-258

慶応2(1866)写 1冊 横長 仮和

大光寺組杉館邑極窮之者共江御救米糶割渡人別判帳

明治2年10月 庄屋三右衛門

YK081-2-259

明治2(1869)写 1冊 横長 仮和

杉館邑足水堰穿通之入用人夫諸色附込帳 元治2年4月

御普請所

YK081-2-260

元治2(1865)写 1冊 横長 仮和

杉館邑足水堰穿通之入用人夫諸色御取ヶ牒 YK081-2-261

慶応元年閏5月 御普請懸合 代庄屋甚助

慶応元(1865)写 1冊 横長 仮和

馬調方御用状留帳 安政5年9月 YK081-2-262

相馬三右衛門

安政5(1858)写 1冊 横長 仮和

秣山草見銭并柴山銭出割合帳 天保14年10月

庄屋茂助

YK081-2-263

天保14(1843)写 1冊 横長 仮和

相館村庵寺再建ニ付入用銭割合帳 安政5年8月吉日

安政5(1858)写 1冊 横長 仮和

YK081-2-264

大光寺組杉館村田畑調帳

写 1冊 横長 仮和

YK081-2-265

大光寺組杉館邑当戸数増減取調帳 元治元年8月

庄屋三右衛門

YK081-2-266

元治元(1864)写 1冊 横長 仮和

大光寺組杉館村惣右衛門留御普請ニ付人夫諸色取稼帳

安政5年4月 懸合庄屋三右衛門

YK081-2-267

安政5(1858)写 1冊 横長 仮和

大光寺組杉館邑諸書付留帳 安政2年2月 YK081-2-268

庄屋茂助

安政2(1855)写 1冊 横長 仮和

大光寺組杉館村諸書付留帳 安政6年・万延元年

庄屋三右衛門

YK081-2-269

安政6・万延元(1859・60)写 1冊 横長 仮和

註：2冊合綴

大光寺組杉館邑諸出書付并御用状共留帳 慶応3・4年・

明治2年 庄屋三右衛門

YK081-2-270

慶応3・4・明治2(1867~69)写 1冊 横長 仮和

註：3冊合綴

大光寺組杉館村御用帳 明治2年12月 YK081-2-271

明治2(1869)写 1冊 横長 仮和

杉館村御取納米諸品差引御取ヶ表 宝暦13年9月

庄屋彦十郎

YK081-2-272

宝暦13(1763)写 1冊 横長 和

当御取納米上納手形取ヶ帳 天保7年10月 YK081-2-27  
代庄屋茂助

天保7(1836)写 1冊 横長 仮和

大光寺組杉館邑当御取納米上納手形取ヶ帳

天保10年10月 庄屋茂助 YK081-2-274

天保10(1839)写 1冊 横長 仮和

大光寺組杉館村当先納米割合帳 天保15年8月

庄屋茂助 YK081-2-275

天保15(1844)写 1冊 横長 仮和

大光寺組杉館村当御取納米取ヶ帳 天保14・15・弘化2・

4・嘉永元・2・6年 庄屋茂助 YK081-2-276

天保14・15・弘化2・4・嘉永元・2・6(1843・44・  
45・47・48・49・53)写 1冊 横長 仮和

註：7冊合綴

当御取納米上納手形留帳 弘化4・嘉永元・2・5・7年  
庄屋茂助 YK081-2-277

弘化4・嘉永元・2・5・7(1847・48・49・52・54)  
写 1冊 横長 仮和

註：5冊合綴

当御取納米上納留帳 嘉永3年10月 YK081-2-278

庄屋茂助

嘉永3(1850)写 1冊 横長 仮和

当御取納米上納手形日々留帳 嘉永4年10月

庄屋茂助 YK081-2-279

嘉永4(1851)写 1冊 横長 仮和

大光寺組杉館村当御取納米上納御取ヶ帳 嘉永3・4・5年

庄屋茂助 YK081-2-280

嘉永3～5(1850～52)写 1冊 横長 仮和

註：3冊合綴

大光寺組杉館邑御取納米上納手形附込帳 安政2年10月  
庄屋茂助 YK081-2-281

安政2(1855)写 1冊 横長 仮和

大光寺組杉館村田畑当御取納米上納御取ヶ帳 安政3・4・  
5・6年万延元年文久元年 庄屋三右衛門 YK081-2-282

安政3～6・万延元・文久元(1856～61)写 1冊  
横長 仮和

註：6冊合綴

当御取納米上納附込帳 安政3・4年 YK081-2-283-1

庄屋三右衛門

安政3・4(1856・57)写 1冊 横長 仮和

註：2冊合綴

当御取納米上納手形附込帳 万延元年10月

庄屋三右衛門 YK081-2-283-2

万延元(1860)写 1冊 横長 仮和

大光寺組杉館村当御取納米上納附込帳 文久元年10月

庄屋三右衛門 YK081-2-284

文久元(1861)写 1冊 横長 仮和

大光寺組杉館村田畑御取納米附込帳 文久2年10月

庄屋三右衛門 YK081-2-285

文久2(1862)写 1冊 横長 仮和

大光寺組杉館邑田畑当御取納米御取裸根 文久3年・慶  
応元年 庄屋三右衛門 YK081-2-286

文久3・慶応元(1863・65)写 1冊 横長 仮和

註：2冊合綴

大光寺組杉館村田畑当御取納米御取ヶ帳 文久2年・元

治元年 庄屋三右衛門 YK081-2-287

文久2・元治元(1862・64)写 1冊 横長 仮和

註：2冊合綴

大光寺組杉館村田畑当御取納米五日置寄帳 元治元年・慶  
応元年 庄屋三右衛門 YK081-2-288

元治元・慶応元(1864・65)写 1冊 横長 仮和

註：2冊合綴

大光寺組杉館村田方当御取納米上納手形附込帳 安政5・  
6年・慶応2年 庄屋三右衛門 YK081-2-289

安政5・6・慶応2(1858・59・66)写 1冊 横長  
仮和

註：3冊合綴

大光寺組杉館村田畑当御取納米御取ヶ帳 慶応2・3年

明治2年 庄屋三右衛門 YK081-2-290

慶応2・3・明治2(1866・67・69)写 1冊 横長  
仮和

註：3冊合綴

大光寺組杉館村当御取納米上納手形五日置寄牒

明治2年11月 庄屋三右衛門 YK081-2-291

明治2(1869)写 1冊 横長 仮和

大光寺組杉館村去ル申年ヨリ当亥年迄諸出銭差引帳

天保10年11月 庄屋茂助 YK081-2-292

天保10(1839)写 1冊 横長 仮和

大光寺組杉館村諸出銭割合取調書上帳 天保12年3月

庄屋茂助 YK081-2-293

天保12(1841)写 1冊 横長 仮和

大光寺組杉館村当諸出銭割合取ヶ帳 天保14年11月

庄屋茂助 YK081-2-294

天保14(1843)写 1冊 横長 仮和

諸御用銭高反別割合帳 天保7・8・9・11・15年

庄屋茂助 YK081-2-295  
天保7～9・11・15(1836～38・40・44)写 1冊  
横長 仮和  
註：5冊合綴

大光寺組杉館村諸御用銭割合帳 天保12・14年・弘化2・3年 庄屋茂助 YK081-2-296

天保12・14・弘化2・3(1841・43・45・46)写 1冊  
横長 仮和  
註：4冊合綴

大光寺組杉館村諸御用銭割元帳 弘化4年・嘉永元・2・3・5・6・7年 庄屋茂助 YK081-2-297-1

弘化4・嘉永元～3・5～7(1847～50・52～54)  
写 1冊 横長 仮和  
註：7冊合綴

大光寺組杉館村諸御用銭割元帳 安政3・4・5・6年・万延元年・文久元・2・3年 庄屋三右衛門 YK081-2-297-2

安政3～6・万延元・文久元～3(1856～63)写  
1冊 横長 仮和  
註：8冊合綴

大光寺組杉館村諸御用銭割元帳 元治元年・慶応元・2・3・4年・明治2年 庄屋三右衛門 YK081-2-297-3

元治元・慶応元～4・明治2(1864～69)写 1冊  
横長 仮和  
註：6冊合綴

大光寺組杉館村諸御用銭差引帳 嘉永元・2・4・5・6年 庄屋茂助 YK081-2-298

嘉永元・2・4～6(1848・49・51～53)写 1冊

横長 仮和  
註：5冊合綴

大光寺組杉館村諸御用銭取ヶ帳 天保15年・弘化4年

庄屋茂助 YK081-2-299  
天保15(1844)・弘化4(1847)写 1冊 横長 仮和  
註：2冊合綴

大光寺組杉館邑諸出銭割元帳 安政2年10月

庄屋茂助 YK081-2-300  
安政2(1855)写 1冊 横長 仮和

〔杉館村百姓御用銭書付〕 YK081-2-301

写 1冊 横長 仮和

大光寺組杉館村諸御用銭御取ヶ帳 万延元年12月

庄屋三右衛門 YK081-2-302  
万延元(1860)写 1冊 横長 仮和

大光寺組杉館村諸御用銭御取稼帳 安政2年12月

庄屋茂助 YK081-2-303  
安政2(1855)写 1冊 横長 仮和

大光寺組杉館村諸出銭取稼帳 安政3・4・5年

庄屋三右衛門 YK081-2-304  
安政3～5(1856～58)写 1冊 横長 仮和  
註：3冊合綴

大光寺組杉館村諸御用銭取稼帳 安政6年・文久元・2・3年・元治元年 庄屋三右衛門 YK081-2-305-1

安政6・文久元～3・元治元(1859・61～64)写  
1冊 横長 仮和  
註：5冊合綴

大光寺組杉館村諸御用銭取稼帳 慶応元・2・3・4年・

明治2年 庄屋三右衛門 YK081-2-305-2

慶応元～4・明治2(1865～69)写 1冊 横長 仮和  
註：5冊合綴

大光寺組杉館村山作人夫并諸色差引帳 弘化3年4月

庄屋茂助 YK081-2-306  
弘化3(1846)写 1冊 横長 仮和

大光寺組杉館村山作人夫并諸色留帳 弘化4・5年・嘉永2年 庄屋茂助 YK081-2-307

弘化4・5・嘉永2(1847～49)写 1冊 横長 仮和  
註：3冊合綴

山作人夫并諸色逸々割合帳 嘉永3年2月 YK081-2-308

庄屋茂助  
嘉永3(1850)写 1冊 横長 仮和

大光寺組杉館村山作人馬諸色割合帳 嘉永5年正月吉日

庄屋茂助 YK081-2-309  
嘉永5(1852)写 1冊 横長 仮和

大光寺組杉館村山作人夫差引帳 弘化2年4月

庄屋茂助 YK081-2-310  
弘化2(1845)写 1冊 横長 仮和

大光寺組杉館邑山作人夫諸色割元帳 安政2年

庄屋茂助 YK081-2-311  
安政2(1855)写 1冊 横長 仮和  
註：卯十月ヨリ辰ノ九月中(1855・10～1856・9)

大光寺組杉館村山作人夫諸色差引帳 安政3・7年・慶応3年 庄屋茂助・三右衛門 YK081-2-312

安政3・7・慶応3(1856・60・67)写 1冊 横長 仮和  
註：安政3年(茂助)安政7年、慶応3年(三右衛門)



計 3 冊合綴

大光寺組相館邑山作人馬諸色割元帳 嘉永 6・7 年  
庄屋茂助 YK081-2-313-1

嘉永 6・7 (1853・54) 写 1 冊 横長 仮和  
註：2 冊合綴  
丑ノ十月ヨリ寅ノ九月中 (1853・10～1854・9)  
寅ノ十月ヨリ卯ノ九月中 (1854・10～1855・9)

大光寺組杉館村山作人馬諸色割元帳 慶応元・2・3・4 年  
明治 2 年 庄屋三右衛門 YK081-2-313-2  
慶応元～4・明治 2 (1865～69) 写 1 冊 横長 仮和  
註：5 冊合綴

大光寺組杉館村山作人馬諸色差引牒 嘉永 3・5・7 年  
庄屋茂助 YK081-2-314-1  
嘉永 3・5・7 (1850・52・54) 写 1 冊 横長 仮和  
註：3 冊合綴

大光寺組杉館村山作人馬諸色差引牒 元治元年・慶応元・  
2・3 年・明治元年 庄屋三右衛門 YK081-2-314-2  
元治元・慶応元～3・明治元 (1864～68) 写 1 冊  
横長 仮和  
註：5 冊合綴

大光寺組杉館村山作人馬諸色代銭差引牒 明治 3 年正月  
庄屋三右衛門 YK081-2-315  
明治 3 (1870) 写 1 冊 横長 仮和

諸出銭之通 自天保 15 年至嘉永 7 年 YK081-2-316-1  
杉館村 (越石茂助・庄屋三右衛門)  
天保 15～嘉永 7 (1844～54) 写 1 冊 横中 仮和  
註：16 冊合綴

諸出銭之通 自安政 2 年至万延元年 YK081-2-316-2

杉館村 (越石茂助・庄屋三右衛門・他)  
安政 2～万延元 (1855～60) 写 1 冊 横中 仮和  
註：19 冊合綴

諸出銭之通 自文久元年至元治元年 YK081-2-316-3  
杉館村 (越石茂助・庄屋三右衛門)  
文久元～元治元 (1861～64) 写 1 冊 横中 仮和  
註：14 冊合綴

諸出銭之通 自慶応元年至明治 2 年 YK081-2-316-4  
杉館村 (越石茂助・庄屋三右衛門)  
慶応 2～明治 2 (1866～69) 写 1 冊 横中 仮和  
註：14 冊合綴

山作人夫諸色之通 嘉永 4・6・7 年・安政 2・3・4 年・  
文久 3 年・元治元年 杉館村 (越石茂助・三右衛門)  
YK081-2-317  
嘉永 4・6・7・安政 2・3・4・文久 3・元治元 (1851・  
53・54・55・56・57・63・64) 写 1 冊 横中 仮和  
註：10 冊合綴

諸茂合銭上納通 天保 10・11・12・13・14 年  
杉館村 (庄屋茂助) YK081-2-318  
天保 10～14 (1839～43) 写 1 冊 横中 仮和  
註：5 冊合綴

調達金上納手形留通 天保 7 年 5 月 YK081-2-319  
相館村  
天保 7 (1836) 写 1 冊 横中 仮和

調達米金并御巡見入用銭共受取通 天保 9 年閏 4 月  
杉館村 YK081-2-320  
天保 9 (1838) 写 1 冊 横中 仮和

諸役人衆賄手形留帳 天保 9・10・11・13 年

庄屋茂助 YK081-2-321  
天保 9～11・13 (1838～40・42) 写 1 冊 横中  
仮和  
註：4 冊合綴

諸役人様賄米之通 嘉永 2 年正月 YK081-2-322  
杉館村  
嘉永 2 (1849) 写 1 冊 横中 仮和

諸御用銭上納通 嘉永 5・6 年・慶応 3 年 YK081-2-323  
相館村 (庄屋三右衛門)  
嘉永 5・6・慶応 3 (1852・53・67) 写 1 冊 横中  
仮和  
註：3 冊合綴

当御収納米上納之通 慶応 3 年 10 月 YK081-2-324  
杉館村  
慶応 3 (1867) 写 1 冊 横中 仮和

金銭受払帳之写 安政 4 年 10 月 YK081-2-325  
大光寺組  
安政 4 (1857) 写 1 冊 横中 仮和  
註：金銭受取通 (安政 6 年) 合綴

駄下増銭之通 天保 12・13・14 年 YK081-2-326  
杉館村 (庄屋茂助)  
天保 12～14 (1841～43) 写 1 冊 横中 仮和  
註：3 冊合綴

石代金納取組通 明治 6 年第 12 月 YK081-2-327  
明治 6 (1873) 写 1 冊 横中 仮和  
註：「石代金差引通」合綴

去ル西亥諸出銭不納并御巡見入用不納上納通  
天保 13 年 6 月 杉館村 YK081-2-328

- 天保13(1842)写 1冊 横中 仮和
- 青森并所々人夫代銭取立通** 安政6年7月 YK081-2-329  
杉館村  
安政6(1859)写 1冊 横中 仮和
- 御賄米請取之通** 明治4年6月ヨリ YK081-2-330  
相馬三右衛門  
明治4(1871)写 1冊 横中 仮和  
註:「大光寺組田畑生荒調懸合役所引担御賄米受取通」  
(佐藤伴内)合綴
- 郷人馬順番帳** 嘉永2年8月 庄屋茂助 YK081-2-331  
嘉永2(1849)写 1冊 横中 仮和
- 御用手鑑帳** 文久3年10月 YK081-2-332  
文久3(1863)写 1冊 横中 仮和
- 人夫諸色代銭之通** 安政5・7年 YK081-2-333  
杉館村 三右衛門  
安政5・7(1858・60)写 1冊 横中 仮和  
註:2冊合綴
- 御借上米上納通** 天保10年正月 杉館村 YK081-2-334  
天保10(1839)写 1冊 横中 仮和  
註:「当御借上米上納之願留通」(12月)合綴
- 当御収納米上納手形留通** 自天保7年至天保10年  
杉館村 YK081-2-335-1  
天保7~10(1836~39)写 1冊 横中 仮和  
註:12冊合綴
- 当御収納米上納手形留通** 自天保11年至天保16年  
杉館村 YK081-2-335-2  
天保11~16(1840~45)写 1冊 横中 仮和
- 註:16冊合綴
- 当御収納米上納手形留通** 自弘化2年至安政6年  
杉館村 YK081-2-335-3  
弘化2~安政6(1845~59)写 1冊 横中 仮和  
註:24冊合綴
- 当御収納米上納手形留通** 自万延元年至明治2年  
杉館村 YK081-2-335-4  
万延元~明治2(1860~69)写 1冊 横中 仮和  
註:14冊合綴
- 米上高覚帳** 自文久元年至明治12年 YK081-2-336  
相馬氏  
文久元~明治12(1861~79)写 1冊 横中 仮和  
註:17冊合綴 標題が「新穀上高覚帳」「新穀覚」「米上り高附込帳」「新穀上高日誌」となっているものもある
- 生兵略解** 明治元年霜月 相馬宇津 YK081-2-337  
明治元(1868)写 1冊 横中 仮和
- 新穀上高附込牒** 慶応3年10月 相馬宇津  
慶応3(1867)写 1冊 横長 仮和 YK081-2-338
- 米銭貸方帳** 万延元年・元治2年・明治2年  
YK081-2-339  
万延元・元治2・明治2(1860・65・69)写 1冊  
横長 仮和  
註:3冊合綴
- 米銭附込牒** 安政2・4年 相馬景茂 YK081-2-340  
安政2・4(1855・57)写 1冊 横長 仮和  
註:2冊合綴
- 当御収納米上納手形取ヶ帳** 安政4年・慶応元・2・4年・
- 明治2年 相馬三右衛門 YK081-2-341  
安政4・慶応元・2・4・明治2(1857・65・66・68・69)写 1冊 横長 仮和  
註:4冊合綴
- 田畑持高取調帳** 万延元年6月 相馬景茂 YK081-2-342  
万延元(1860)写 1冊 横中 仮和
- 田畑高反別逸々扣帳** 天保10年正月吉日 YK081-2-343  
相馬氏  
天保10(1839)写 1冊 横長 仮和
- 米銭受払牒** 安政3年5月 YK081-2-344  
安政3(1856)写 1冊 横長 仮和
- 米銭受払日記帳** 安政6年10月ヨリ申ノ9月中  
相馬氏 YK081-2-345  
安政6・万延元(1859・60)写 1冊 横長 仮和
- 当用日記** 嘉永6年正月 相馬景茂 YK081-2-346  
嘉永6(1853)写 1冊 横長 仮和
- 万人払日記留帳** 嘉永6年正月吉日 YK081-2-347  
相馬氏  
嘉永6(1853)写 1冊 横長 仮和
- 出納日誌** 明治33年正月 YK081-2-348  
明治33(1900)写 1冊 横長 仮和
- 当坐附込帳** 嘉永2年・万延元年 YK081-2-349  
相馬氏  
嘉永2・万延元(1849・60)写 1冊 横長 仮和  
註:2冊合綴
- 万常座** 嘉永7年・安政6年・慶応3・4年

相馬景茂・宇津 **YK081-2-350**  
嘉永7・安政6・慶応3・4 (1854・59・67・68) 写  
1冊 横長 仮和  
註：4冊合綴

**万覚帳** 嘉永4年・安政2・4年・文久元年・元治2年・  
慶応2年明・治3年 相馬景茂・宇津 **YK081-2-351**  
嘉永4・安政2・4・文久元・元治2・慶応2・明治3 (1851・  
55・56・61・64・66・70) 写 1冊 横長 仮和  
註：8冊合綴

**山作人馬諸色代銭切替取ヶ帳** 安政4年10月  
菊地勘治郎・大川才治郎 **YK081-2-352**  
安政4 (1857) 写 1冊 横長 仮和

**六羽川大口并風吹山崎御普請ニ付人夫諸色取ヶ帳類綴**  
安政4年・文久2年 **YK081-2-353**  
懸合相馬三右衛門 佐々木弥左衛門  
安政4・文久2 (1857・62) 写 1冊 横長 仮和  
註：取ヶ帳・人夫并万作杭受取留帳・割元帳・附込帳・  
詰合日記帳等7冊合綴

**諸造作ニ付大工木挽左官手伝雇人馬共附込帳**  
従文久2年 相馬宇津 **YK081-2-354**  
文久2～明治28 (1862～95) 写 1冊 横長 仮和

**市中諸払日記** 元治元年8月28日ヨリ9月2日迄  
元治元 (1864) 写 1冊 横長 仮和 **YK081-2-355**

**釘之通** 明治5年 **YK081-2-356**  
明治5 (1872) 写 1冊 横長 仮和

**〔萱〕附馬及諸造作ニ付手伝留帳** 文久2年ヨリ  
相馬主 **YK081-2-357**  
文久2～明治29 (1862～96) 写 1冊 横長 仮和

**菩提寺江御仏供米奉納帳** 文久3年10月 **YK081-2-358**  
相馬宇津  
文久3 (1863) 写 1冊 横長 仮和  
註：菩提寺大行院

**無尽帳** 慶応3年11月ヨリ 相馬宇津 **YK081-2-359**  
慶応3～明治28 (1867～95) 写 1冊 横長 仮和

**冠婚葬祭ニ付贈到物日誌** 万延2年10月21日  
相馬宇津 **YK081-2-360**  
万延2 (1861) 写 1冊 横長 仮和

**御検地人様昼泊り諸入用** **YK081-2-361**  
写 1冊 横長 仮和

**材木諸色貸方帳** 明治7年第10月 **YK081-2-362**  
相馬宇津  
明治7 (1874) 写 1冊 横長 仮和

**地券調気憶〔記憶〕** 紀元2533年1月 **YK081-2-363**  
相馬主  
紀元2533 [明治6年 (1873)] 写 1冊 半紙 仮和  
註：地券御渡願書雛形綴

**YK091-1 中村良之進著書及び収集資料 (複製本)**

**目録** 一号 中村良之進 **★YK091-1-1-目1**  
写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：社寺、名勝旧蹟地、奇談珍説、人物詩文共、鐘銘、「津  
軽史料全」「本藩通観録六迄」「津軽事実考」「東日流由来記」

**目録** 二号 中村良之進 **★YK091-1-1-目2**  
写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：津軽民謡集 童謡 名所旧跡人物詩文共

奇談怪話 「見聞録」 著名事 「陸奥史料」

**目録** 三号 中村良之進 **★YK091-1-1-目3**  
写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：人物、名勝旧蹟、神社仏閣、殖産、奇談  
旧経済、旧藩主、天変、雑、「陸奥史料」

**目録別** 四号 中村良之進 **★YK091-1-1-目4**  
写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：切支丹号 「陸奥史料」「津軽史料」

**陸奥史料** 一之巻 中村良之進 **★YK091-1-1-1**  
写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：永禄日記前記 懷中重宝鏡 名所旧跡  
北辰堂ノ記事 弘前の青年

**陸奥史料** 二之巻 中村良之進 **★YK091-1-1-2**  
写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：永禄日記二

**陸奥史料** 三之巻 中村良之進 **★YK091-1-1-3**  
写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：永禄日記三

**陸奥史料** 四之巻 中村良之進 **★YK091-1-1-4**  
写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：永禄日記四止

**陸奥史料** 五之巻 中村良之進 **★YK091-1-1-5**  
写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：新田閑暇嘶 全 永禄日記ノ一種 大延間記 上

**陸奥史料** 六之巻 中村良之進 **★YK091-1-1-6**  
写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：永禄日記ノ一種 大延間記 下

御台所年中御本当仕立帳 下沢氏筆記録 鏡湖楼雑集

**陸奥史料** 七之巻 中村良之進 ★YK091-1-1-7

写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：弘藩明治一統誌神社縁起録 上

**陸奥史料** 八之巻 中村良之進 ★YK091-1-1-8

写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：弘藩明治一統誌神社縁起録 下 弘藩明治一統誌寺院縁起録 上

**陸奥史料** 九之巻 中村良之進 ★YK091-1-1-9

写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：弘藩明治一統誌寺院縁起録 下 真言五山由緒

**陸奥史料** 十之巻 中村良之進 ★YK091-1-1-10

写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：見聞心の月 新天間記 浄土宗諸寺院縁起 全

**陸奥史料** 十一之巻 中村良之進 ★YK091-1-1-11

写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：浄土真宗一派縁起 全、青森県管下各大区并小区別、弘前黒石両津軽家系図、徳川系図、津軽旧記目録、地租改正

**陸奥史料** 十二之巻 中村良之進 ★YK091-1-1-12

写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：津軽郡中組別村等位 御郡内行程記 (駄賃共) 弘前ヨリ各方面へノ行程 (名所旧跡附)

**陸奥史料** 十三之巻 中村良之進 ★YK091-1-1-13

写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：宿継日割附駄賃、在割付諸品直段、浦々湊出人御投銭并出物投銭、津軽古跡名勝調、大鰐湯ノ川原元祖、弘前養蚕創始

**陸奥史料** 十四之巻 中村良之進 ★YK091-1-1-14

写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：津軽旧事記 永文間記 津軽家并津軽ニ関スル無名ノ記

**陸奥史料** 十五之巻 中村良之進 ★YK091-1-1-15

写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：統鏡湖楼雑集 巻之三・四 詩歌文章之部

**陸奥史料** 十六之巻 中村良之進 ★YK091-1-1-16

写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：鏡湖楼雑集抄 五十終

**陸奥史料** 十七之巻 中村良之進 ★YK091-1-1-17

写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：鏡湖楼雑集抄巻卅九 鏡湖楼雑集後編巻ノ二 鏡湖楼座右記抄巻之四下 巻之二上 ○弘前都々逸

**陸奥史料** 十八之巻 中村良之進 ★YK091-1-1-18

写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：鏡湖楼座右記抄十、三 鏡湖楼雑集抄七、四十二、四十四、三十四、三十六、四十九、五十

**陸奥史料** 十九之巻 中村良之進 ★YK091-1-1-19

写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：鏡湖楼座右記一ノ抜抄、五ノ抜抄、六ノ抜抄

**陸奥史料** 二十之巻 中村良之進 ★YK091-1-1-20

写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：青森県史々料ノ内 南津軽郡八ヶ村進達 北津軽郡一ヶ村進達

**陸奥史料** 廿一之巻 中村良之進 ★YK091-1-1-21

写 1冊 B6 (縦ノート)

註：鏡湖楼雑集、抄録 鏡湖楼座右記、抄録 統鏡湖楼雑集、抄録

**陸奥史料** 廿二之巻 中村良之進 ★YK091-1-1-22

写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：稽古館詩稿 津嶋物語 信明公御詠歌

**陸奥史料** 廿三之巻 中村良之進 ★YK091-1-1-23

写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：下沢氏筆記、玄風雑考、弘前旧家子孫由緒 上

**陸奥史料** 廿四之巻 中村良之進 ★YK091-1-1-24

写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：弘前旧家子孫由緒 下 津軽古今曆代記 上 天明四年ヨリ天保七年迄

**陸奥史料** 廿五之巻 中村良之進 ★YK091-1-1-25

写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：津軽古今曆代記 下 (天明四年ヨリ天保七年ニ至ル) 津軽旧記類纂拾遺三巻ノ内上 (文化十年ヨリ明治廿四年ニ至ル)

**陸奥史料** 廿六之巻 中村良之進 ★YK091-1-1-26

写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：津軽旧記類纂拾遺三巻ノ内中 (文化十年ヨリ明治廿四年ニ至ル) 二回目・三回目ノ藩札発行、明治維新当時

**陸奥史料** 廿七之巻 中村良之進 ★YK091-1-1-27

写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：津軽旧記類纂拾遺三巻ノ内下 津軽風土記地理志巻二 一

**陸奥史料** 廿八之巻 中村良之進 ★YK091-1-1-28

写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：津軽風土記地理志 二

**陸奥史料** 廿九之卷 中村良之進 ★YK091-1-1-29  
写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：津軽風土記地理志 草稿三

**陸奥史料** 卅之卷 中村良之進 ★YK091-1-1-30  
写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：津軽風土記地理志 草稿四

**陸奥史料** 卅一之卷 中村良之進 ★YK091-1-1-31  
写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：津軽風土記地理志 草稿五

**陸奥史料** 卅二之卷 中村良之進 ★YK091-1-1-32  
写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：鏡湖楼坐右記 卷廿五 津軽古今人物伝銘録一

**陸奥史料** 卅三之卷 中村良之進 ★YK091-1-1-33  
写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：津軽古今人物伝銘録二

**陸奥史料** 卅四之卷 中村良之進 ★YK091-1-1-34  
写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：津軽古今人物伝銘録卷二・三・四 二

**陸奥史料** 卅五之卷 中村良之進 ★YK091-1-1-35  
写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：津軽古今人物伝銘録卷四、五 三 津軽古今人物事  
実概略一覧 一

**陸奥史料** 卅六之卷 中村良之進 ★YK091-1-1-36  
写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：津軽古今人物事実概略一覧 二 岩木山事記 津軽  
藩旧記伝類卷八 一

**陸奥史料** 卅七之卷 中村良之進 ★YK091-1-1-37  
写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：津軽藩旧記伝類卷八卷四卷六 二 津軽士民古今  
由緒伝記集成卷一 一

**陸奥史料** 卅八之卷 中村良之進 ★YK091-1-1-38  
写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：津軽士民古今由緒伝記集成二

**陸奥史料** 卅九之卷 中村良之進 ★YK091-1-1-39  
写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：津軽士民古今由緒伝記集成三 卷一ツヅキ 卷二

**陸奥史料** 四十之卷 中村良之進 ★YK091-1-1-40  
写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：弘前藩士古今由緒伝記集成四 津軽士民云々同種類

**陸奥史料** 四十一之卷 中村良之進 ★YK091-1-1-41  
写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：弘前士族由緒伝記集成五 津軽士民古今云々同種

**陸奥史料** 四十二之卷 中村良之進 ★YK091-1-1-42  
写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：津軽士民由緒伝記集成六

**陸奥史料** 四十三之卷 中村良之進 ★YK091-1-1-43  
写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：津軽士民系図由緒伝記集成七

**陸奥史料** 四十四之卷 中村良之進 ★YK091-1-1-44  
写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：津軽士民系図由緒伝記集成八

**陸奥史料** 四十五之卷 中村良之進 ★YK091-1-1-45  
写 1冊 B6 (縦ノート)

註：津軽士民由緒系図伝記集成九 止  
津軽古今社僧平民由緒事跡 一 卷一

**陸奥史料** 四十六之卷 中村良之進 ★YK091-1-1-46  
写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：津軽古今社僧平民由緒事跡 二 卷一ツヅキ

**陸奥史料** 四十七之卷 中村良之進 ★YK091-1-1-47  
写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：津軽古今社僧平民由緒事跡三 伝紀卷二

**陸奥史料** 四十八之卷 中村良之進 ★YK091-1-1-48  
写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：津軽古今士族社僧平民由緒四 事跡伝紀卷二ツヅキ三

**陸奥史料** 四十九之卷 中村良之進 ★YK091-1-1-49  
写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：津軽古今士族社僧平民由緒事跡伝紀五 卷三ツヅキ  
卷四

**陸奥史料** 五十之卷 中村良之進 ★YK091-1-1-50  
写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：津軽古今平民社僧由緒事蹟伝記六 卷五 卷六ツヅク

**陸奥史料** 五十一之卷 中村良之進 ★YK091-1-1-51  
写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：津軽古今社僧平民由緒事蹟記伝卷六ツヅキ  
○炭焼藤太ノ事 弘前士族由緒伝記卷七 津軽古今孝義  
録卷一、二 雑話 石川方面神社旧蹟

**陸奥史料** 五十二之卷 中村良之進 ★YK091-1-1-52  
写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：遠目鑑卷十 猿賀山縁起寛永六年外数種  
国風一監永禄十年ヨリ安永三年ニ至ル年代記

**陸奥史料** 五十三之巻 中村良之進 ★YK091-1-1-53

写 1冊 B6 (縦ノート)

註：津軽俗説千八百解、同俗説選 旧藩時代商業機関中買之事 寺院船沢村和徳村紀行、雑

**陸奥史料** 五十四之巻 中村良之進 ★YK091-1-1-54

写 1冊 B6 (縦ノート)

註：津軽相撲之話、御引上ヶ田畑調 大光寺組史料雑記

**陸奥史料** 五十五之巻 中村良之進 ★YK091-1-1-55

写 1冊 B6 (縦ノート)

註：郷土史資料ニツヅキ 座右ひかへ 座右記巻二、七、八、九 近世俊英列伝一 閑雲諸書抄筆一、四 鏡湖楼雑集卅五他

**陸奥史料** 五十六之巻 中村良之進 ★YK091-1-1-56

写 1冊 B6 (縦ノート)

註：郷土風土記地理誌八 弘前藩崇敬神社調 猿賀神社縁起 津軽歴史 稿三 史料五十五ヘツツク

**陸奥史料** 五十七之巻 中村良之進 ★YK091-1-1-57

写 1冊 B6 (縦ノート)

註：青森市沿革史中ノ内 青森県史ノ内ノ古文書 雑談 岩見氏雑記ノ内

**陸奥史料** 五十八之巻 中村良之進 ★YK091-1-1-58

写 1冊 B6 (縦ノート)

註：雑談、鏡湖楼雑集二十二、四十七 津軽風土記地理志巻十 古懸不動堂記

**陸奥史料** 五十九之巻 中村良之進 ★YK091-1-1-59

写 1冊 B6 (縦ノート)

註：隈部伊織小伝ヨリ (蓬田越前ノ系譜) 槌子鳥町新町ニ至ル迄アリ又先住民アリ芭蕉塚アリ其他 新旧雑談類也

**陸奥史料** 六十之巻 中村良之進 ★YK091-1-1-60

写 1冊 B6 (縦ノート)

註：岩木村、大浦村、床舞、湯船、古懸の紀行、旧藩時代、松森町御菜園楮畑、津軽の書道、同文人の筆蹟、刀剣

**陸奥史料** 六十一之巻 中村良之進 ★YK091-1-1-61

写 1冊 B6 (縦ノート)

註：人物、滑稽雑談、古績伝説、忠臣工藤定助

**陸奥史料** 六十二之巻 中村良之進 ★YK091-1-1-62

写 1冊 B6 (縦ノート)

註：殖林 御日記抄之内 御預人十五石 柳川豊前 芦 范村郷土史之内 人物并雑談色々

**陸奥史料** 六十三之巻 中村良之進 ★YK091-1-1-63

写 1冊 B6 (縦ノート)

註：弘藩明治一統誌人名録 上

**陸奥史料** 六十四之巻 中村良之進 ★YK091-1-1-64

写 1冊 B6 (縦ノート)

註：弘藩明治一統誌人名録 下 真言五山ノ順序、盆ノ 樺火焚ノハヤシ

**陸奥史料** 六十五之巻 中村良之進 ★YK091-1-1-65

写 1冊 B6 (縦ノート)

註：津軽歴世録 下 津軽新旧史料雑談

**陸奥史料** 六十六之巻 中村良之進 ★YK091-1-1-66

写 1冊 B6 (縦ノート)

註：相馬氏年代日月記 上

**陸奥史料** 六十七之巻 中村良之進 ★YK091-1-1-67

写 1冊 B6 (縦ノート)

註：相馬氏年代日月記 下

**陸奥史料** 六十八之巻 中村良之進 ★YK091-1-1-68

写 1冊 B6 (縦ノート)

註：九戸戦史抄 田地御分賦名簿 上 (明治四年)

**陸奥史料** 六十九之巻 中村良之進 ★YK091-1-1-69

写 1冊 B6 (縦ノート)

註：田地御分賦名簿ノ二 弘前二十二組ノ戸長 津軽歴世録抄ノ一

**陸奥史料** 七十之巻 中村良之進 ★YK091-1-1-70

写 1冊 B6 (縦ノート)

註：◎昔馬一疋ハ百石ナリト相馬氏実話

**陸奥史料** 七十一之巻 中村良之進 ★YK091-1-1-71

写 1冊 B6 (縦ノート)

註：京都の七夕祭并内裏の御燈籠 年中行事 他

**陸奥史料** 七十二之巻 中村良之進 ★YK091-1-1-72

写 1冊 B6 (縦ノート)

註：桜、弘前風俗、明治十四年御通輦当時談、滑稽談

**陸奥史料** 七十三之巻 中村良之進 ★YK091-1-1-73

写 1冊 B6 (縦ノート)

註：第一回より第五回迄の勸業博 一戸大将薨去七十七 東奥義塾新築落成式 他

**陸奥史料** 七十四之巻 中村良之進 ★YK091-1-1-74

写 1冊 B6 (縦ノート)

註：十腰内の山の館っ子図 弘前城史蹟地に指定? 国旗制定初メテ建テ 他

**陸奥史料** 七十五之巻 中村良之進 ★YK091-1-1-75

写 1冊 B6 (縦ノート)

註：公園四の北の土居切崩し 工藤他山の思齋塾 昔の

稽古館の建物

**陸奥史料** 七十六之巻 中村良之進 ★YK091-1-1-76  
写 1冊 B6 (縦ノート)

註：碁打の滑稽話 信枚公と信牧公の区別 他

**陸奥史料** 七十七之巻 中村良之進 ★YK091-1-1-77  
写 1冊 B6 (縦ノート)

註：五所川原四ヶ寺院の鐘ノ年月日、三ツ目内の遺蹟、  
新聞記事切り張り

**陸奥史料** 七十八之巻 中村良之進 ★YK091-1-1-78  
写 1冊 B6 (縦ノート)

註：広船日記(天の部) 其一 他

**陸奥史料** 七十九之巻 中村良之進 ★YK091-1-1-79  
写 1冊 B6 (縦ノート)

註：広船日記(天地の部) 其二

**陸奥史料** 八十之巻 中村良之進 ★YK091-1-1-80  
写 1冊 B6 (縦ノート)

註：広船日記其三

**陸奥史料** 八十一之巻 中村良之進 ★YK091-1-1-81  
写 1冊 B6 (縦ノート)

註：広船日記其四了 其他種々

**陸奥史料** 八十二之巻 中村良之進 ★YK091-1-1-82  
写 1冊 B6 (縦ノート)

註：津軽安倍家系譜、檀林寺、浪岡北畠氏閉伊ヨリ、佞  
武多喧嘩ノ闘士、信牧公

**陸奥史料** 八十三之巻 中村良之進 ★YK091-1-1-83  
写 1冊 B6 (縦ノート)

註：御日記抄一 寛文元より同十年(天和入ル)

**陸奥史料** 八十四之巻 中村良之進 ★YK091-1-1-84  
写 1冊 B6 (縦ノート)

註：御日記抄二 寛文十年より同十三年

**陸奥史料** 八十五之巻 中村良之進 ★YK091-1-1-85  
写 1冊 B6 (縦ノート)

註：御日記抄三 寛文十三年より延宝三年迄 同四年共

**陸奥史料** 八十六之巻 中村良之進 ★YK091-1-1-86  
写 1冊 B6 (縦ノート)

註：御日記抄四 延宝四年より同七年ニ至ル

**陸奥史料** 八十七之巻 中村良之進 ★YK091-1-1-87  
写 1冊 B6 (縦ノート)

註：御日記抄五 延宝七年より同八年ニ至ル

**陸奥史料** 八十八之巻 中村良之進 ★YK091-1-1-88  
写 1冊 B6 (縦ノート)

註：御日記抄六 延宝八年より天和二年ニ至ル

**陸奥史料** 八十九之巻 中村良之進 ★YK091-1-1-89  
写 1冊 B6 (縦ノート)

註：御日記抄七 天和二年より貞享元年ニ至ル

**陸奥史料** 九十之巻 中村良之進 ★YK091-1-1-90  
写 1冊 B6 (縦ノート)

註：御日記抄八 貞享元年より同三年ニ至ル

**陸奥史料** 九十一之巻 中村良之進 ★YK091-1-1-91  
写 1冊 B6 (縦ノート)

註：御日記抄九 貞享三年より同五年ニ至ル

**陸奥史料** 九十二之巻 中村良之進 ★YK091-1-1-92  
写 1冊 B6 (縦ノート)

註：御日記抄十 貞享五年より元禄三年ニ至ル

**陸奥史料** 九十三之巻 中村良之進 ★YK091-1-1-93  
写 1冊 B6 (縦ノート)

註：御日記抄十一 元禄三年より同五年ニ至ル

**陸奥史料** 九十四之巻 中村良之進 ★YK091-1-1-94  
写 1冊 B6 (縦ノート)

註：御日記抄十二 元禄五年より同七年ニ至ル

**陸奥史料** 九十五之巻 中村良之進 ★YK091-1-1-95  
写 1冊 B6 (縦ノート)

註：御日記抄十三 元禄七年より同

**陸奥史料** 九十六之巻 中村良之進 ★YK091-1-1-96  
写 1冊 B6 (縦ノート)

註：内二昭和十一年一月以来自分病中ノ事歴ヲ記セリ

**陸奥史料** 九十七之巻 中村良之進 ★YK091-1-1-97  
写 1冊 B6 (縦ノート)

註：野沢如洋画伯 日支事変種々

**陸奥史料** 別号一 中村良之進 ★YK091-1-1-別1  
写 1冊 B6 (縦ノート)

註：故事聞見記 寒沢尾太鋳山之記

**陸奥史料** 別号二 中村良之進 ★YK091-1-1-別2  
写 1冊 B6 (縦ノート)

註：津軽地方史蹟踏査并同史料断片

**陸奥史料** 別号三 中村良之進 ★YK091-1-1-別3  
写 1冊 B6 (縦ノート)

註：神社免久和(めぐり)

津軽珍書并史料目録一(津史別一号) ★YK091-1-2-1

- 中村良之進 輯  
写 1冊 B6 (縦ノート)
- 津軽珍書并史料目録二 (津史別二号) ★YK091-1-2-2**  
中村良之進輯  
写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：巻末雑記共
- 津軽群書解題一 (津史別三号) ★YK091-1-2-3**  
中村良之進輯  
写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：暦年亀鑑 津軽年代記 津軽古今暦代記 東照宮事蹟津軽深秘録 外浜集 鏡湖楼雑集 他
- 津軽群書解題二 (津史別四号) ★YK091-1-2-4**  
中村良之進輯  
写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：津軽士民近未実験明々暗々記 維新後の世のみより草 黒森山浄仙寺学校ノ生徒
- 津軽群書解題三 (津史別五号) ★YK091-1-2-5**  
中村良之進輯  
写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：重要史料多々アリ 狂歌大全
- 津軽群書解題四 (津史別六号) ★YK091-1-2-6**  
中村良之進輯  
写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：巻末雑記共 重要記事多々アリ 津軽安倍系図秘書 七戸南部津軽系図安倍氏 外崎寺内ノ古蹟
- 北門見聞録 (一名中村日記) 壹号 (1) ★YK091-1-3-1**  
中村北門 (良之進)  
明治36年～37年 (1903～1904) 写 1冊 B6 ノート  
註：独狐村其附近史料、長慶天皇御陵墓、三戸館村八幡

- 宮ノ宝物、本県ノ結婚離婚数、他
- 北門見聞録 (一名中村日記) 貳号 (2) ★YK091-1-3-2**  
中村北門 (良之進)  
明治37年～年 (1904～) 写 1冊 B6 ノート  
註：日露戦争雑感、工藤行幹病死、弘前第一番目ノ号外、他
- 北門見聞録 (一名中村日記) 参号 (3) ★YK091-1-3-3**  
中村北門 (良之進)  
明治37年～年 (1904～) 写 1冊 B6 ノート  
註：号外、堀越城跡測量、学生ノ風紀、牛ノ化石、他
- 北門見聞録 (一名中村日記) 四号 (4) ★YK091-1-3-4**  
中村北門 (良之進)  
明治37年～38年 (1904～1905) 写 1冊 B6 ノート  
註：軍事記録、義塾生ノ殴打事件、女学生ノ出産、他
- 北門見聞録 (一名中村日記) 五号 (5) ★YK091-1-3-5**  
中村北門 (良之進)  
明治38年～39年 (1905～1906) 写 1冊 B6 ノート  
註：軍事、古甕ト短刀ヲ堀出ス、土中ヨリ観音、愛国婦人会員、女学生ノ演劇、他
- 改正見聞録 六号 (6) ★YK091-1-3-6**  
中村北門 (良之進) 輯  
明治39年～40年 (1906～1907) 写 1冊 B6 ノート  
註：保存新聞紙目録、弘前青森間ノ電話開通、弘前ノ電灯会社ノ点灯数、弘電水力電気起工式、他
- 北門見聞録 (一名中村日記) 七号 (7) ★YK091-1-3-7**  
中村北門 (良之進)  
明治40年～41年 (1907～1908) 写 1冊 B6 ノート  
註：和徳町電信開始、青森市ト弘前市及中郡ノ人口戸数、男女学生ノ自然主義、藩祖銅像起工式、弘前水力電気工事落成 他

- 北門見聞録 (一名中村日記) 八号 (8) ★YK091-1-3-8**  
中村北門 (良之進)  
明治44年～年 (1911～) 写 1冊 B6 ノート  
註：弘前地方に於ける昔の流行唄、弘城政社瓦解、他
- 北門見聞録 (一名中村日記) 九号 (9) ★YK091-1-3-9**  
中村北門 (良之進)  
明治44年～45年 (1911～1912) 写 1冊 B6 ノート  
註：唐糸御前考、長勝寺ノ梵鐘考、時敏ト和徳ノ生徒喧嘩て、他
- 北門見聞録 (一名中村日記) 十一号 (10) ★YK091-1-3-10**  
中村北門 (良之進)  
大正2年～3年 (1913～1914) 写 1冊 B6 ノート  
註：弘前日報初号発行、大正二年ノ凶作、弘前ノ旧寺小屋ト木版本、他
- 改正見聞録 十二号 (11) ★YK091-1-3-11**  
中村北門 (良之進) 輯  
明治元～大正4 (1868～1915) 写 1冊 B6 ノート  
註：奥羽両国を七国に分つ、小学校教科用図書大要、長尾市長の失態市会の騒動、弘前へ飛行機、他
- 改正見聞録 十三号 (12) ★YK091-1-3-12**  
中村北門 (良之進) 輯  
大正4～6 (1915～1917) 写 1冊 B6 ノート  
註：大演習雑記、長慶天皇の後裔と称する前科者又々、尻矢崎附近の石器時代の遺趾、岩木山七日堂、他
- 改正見聞録 十四号 (13) ★YK091-1-3-13**  
中村北門 (良之進) 輯  
大正6～ (1917～) 写 1冊 B6 ノート  
註：弘前大火事、久渡寺の輪姦、塙保己一、露国大革命、他



**改正見聞録 十五号 (14) ★ YK091-1-3-14**

中村北門（良之進）輯  
大正 6～（1917～）写 1冊 B 6 ノート  
註：西津軽郡油田、種痘の始まり、当年の倭武多、大行院庭中の諸碑、他

**改正見聞録 十六号 (15) ★ YK091-1-3-15**

中村北門（良之進）輯  
大正 6～（1917～）写 1冊 B 6 ノート  
註：いろは教訓言集俚言金言歌、弘前図書館夜間開館、温湯温泉由来、軍隊と組織、日本の国歌、他

**改正見聞録 十七号 (16) ★ YK091-1-3-16**

中村北門（良之進）輯  
大正 6～7（1917～1918）写 1冊 B 6 ノート  
註：北畠大尉の妻トセ子自殺、屏風山の盗伐、一戸大将の昔物語、蒙古襲来の新史実

**改正見聞録 十八号 (17) ★ YK091-1-3-17**

中村北門（良之進）輯  
大正 7～（1918～）写 1冊 B 6 ノート  
註：大正六年中野火災損害、目屋鉄道敷設請願、津軽伯爵家御扱品目録（一）・（二）・（三）、他

**改正見聞録 十九号 (18) ★ YK091-1-3-18**

中村北門（良之進）輯  
大正 7～（1918～）写 1冊 B 6 ノート  
註：教育国庫補助、弘前観桜会余聞、発明家物語、東宮殿下青森へ行啓、他

**改正見聞録 二十号 (19) ★ YK091-1-3-19**

中村北門（良之進）輯  
大正 7～8（1918～1919）写 1冊 B 6 ノート  
註：弘前製紙会社、青森児童図書館、本県の死亡率が高い、西海鉄道、他

**改正見聞録 廿一号 (20) ★ YK091-1-3-20**

中村北門（良之進）輯  
大正 8～（1919～）写 1冊 B 6 ノート  
註：目星電灯会社、処女会、北辰会、津軽英磨公薨去、弘前市政友会全盛期

**改正見聞録 廿二号 (21) ★ YK091-1-3-21**

中村北門（良之進）輯  
大正 8～9（1919～1920）写 1冊 B 6 ノート  
註：満州与論沸騰、青森師範生同盟帰省、陸軍の大恐慌、青函間の無線電話

**改正見聞録 廿三号 (22) ★ YK091-1-3-22**

中村北門（良之進）輯  
大正 9～（1920～）写 1冊 B 6 ノート  
註：弘前局の年賀状教、中弘南の酒造高、銘酒白藤物語、弘前織物株式会社、他

**改正見聞録 廿四号 (23) ★ YK091-1-3-23**

中村北門（良之進）輯  
大正 9～10（1920～1921）写 1冊 B 6 ノート  
註：本県公設市場、御館神豊公の木像、弘前高山稲荷、弘前大円寺と阿弥陀如来国宝、他

**改正見聞録 廿五号 (24) ★ YK091-1-3-24**

中村北門（良之進）輯  
大正 9～10（1920～1921）写 1冊 B 6 ノート  
註：大鱈日精寺妙見尊、東照宮を公園に遷す説、深浦紀行、弘前公会堂、他

**改正見聞録 廿六号 (25) ★ YK091-1-3-25**

中村北門（良之進）輯  
大正 10～（1921～）写 1冊 B 6 ノート  
註：弘前第一大成の生徒殴打事件、乳井神社、弘前高等

学校開校の唱歌、藤田育英社、他

**見聞録 五十七号 (26) ★ YK091-1-3-26**

中村北門（良之進）輯  
大正 10～（1921～）写 1冊 B 6 ノート  
註：岩木山の御室上げ、岩木山登山競争、弘前市の地価、弘前公会堂地鎮祭、他

**見聞録 五十八号 (27) ★ YK091-1-3-27**

中村北門（良之進）輯  
大正 11～（1922～）写 1冊 B 6 ノート  
註：大隈重信薨去、五重塔保存会、山縣公薨去、東奥義塾再興、他

**見聞録 五十九号 (28) ★ YK091-1-3-28**

中村北門（良之進）輯  
大正 11～（1922～）写 1冊 B 6 ノート  
註：田の中から丸木舟、危機に迫まれる弘前機業界弘前倭武田喧嘩、弘前公会堂、他

**見聞録 六拾号 (29) ★ YK091-1-3-29**

中村北門（良之進）輯  
大正 11～（1922～）写 1冊 B 6 ノート  
註：弘前高等学校騒ぎ、弘前女学校同盟休業一戸大将、弘前工業学校落成式

**見聞録 六十一号 (30) ★ YK091-1-3-30**

中村北門（良之進）輯  
大正 12～（1923～）写 1冊 B 6 ノート  
註：農村の疲弊、弘前の機業、弘前の株式会社宮川呉服店、他

**見聞録 六十二号 (31) ★ YK091-1-3-31**

中村北門（良之進）輯  
大正 12～（1923～）写 1冊 B 6 ノート

註：弘前の午砲、第八師団サガレン派遣、藤代村革秀寺の御肖像、弘前和洋裁縫学校、他

**見聞録 六十三号 (32) ★ YK091-1-3-32**

中村北門（良之進）輯

大正 12～（1923～）写 1冊 B6 ノート

註：墳墓抄、弘前養生会、弘前野球流行、弘前公会堂開堂式、津軽地方の童謡、他

**見聞録 六十四号 (33) ★ YK091-1-3-33**

中村北門（良之進）輯

大正 12～13（1923～1924）写 1冊 B6 ノート

註：弘前市物産品評会、本県芸術教育に就て、十三湖の逆流で水害、本県政友会支部解散決議、他

**見聞録 六十五号 (34) ★ YK091-1-3-34**

中村北門（良之進）

大正 13～（1924～）写 1冊 B6 ノート

註：東奥義塾長に望む、新政倶楽部、長慶天皇御陵跡、大里大関となる、他

**見聞録 六十六号 (35) ★ YK091-1-3-35**

中村北門（良之進）輯

大正 13～（1924～）写 1冊 B6 ノート

註：小学校県外旅行に就て、弘前自動車ポンプ、浅虫海浜の実験所落成、一戸大将明治神宮々司、他

**見聞録 六十七号 (36) ★ YK091-1-3-36**

中村北門（良之進）輯

大正 13～14（1924～1925）写 1冊 B6 ノート

註：県下第一番の小作人組合、全国体育デー挙行、「ストトン」と「籠の鳥」の歌禁止、弘前実業団解散

**見聞録 六十八号 (37) ★ YK091-1-3-37**

中村北門（良之進）輯

大正 14～（1925～）写 1冊 B6 ノート

註：全日本スキー聯盟成る（大鰐大会）、女教員論、弘前昔の乞食、東海のテンポ唄

**見聞録 六十九号 (38) ★ YK091-1-3-38**

中村北門（良之進）

大正 14～（1925～）写 1冊 B6 ノート

註：弘前放火、藤助（福島）病死、弘前少年撃剣大会、同柔道大会、他

**北門見聞録（一名中村日記）七十号 (39) ★ YK091-1-3-39**

中村北門（良之進）

大正 14年～15年（1925～1926）写 1冊 B6 ノート

註：県下米価、妊娠調節論、菊池九郎翁逝去、石川町郷土史と乳井毘沙門堂縁起、他

**北門見聞録（一名中村日記）11号 (1) ★ YK091-1-4-1**

中村北門（良之進）

明治 25年～年（1892～）写 1冊 横中 ノート

註：巡查尊キカ知事卑シキカ、日本語ノ起原、文部省所轄学校并府県所轄学校数、大石良雄等起請文 他

**北門見聞録（一名中村日記）12号 (2) ★ YK091-1-4-2**

中村北門（良之進）

明治 25年～年（1892～）写 1冊 横中 ノート

註：東洋哲学者の国家説一斑、猫ト鼻息ノ歌、作文教授法ノ種類、アイヌ土人ノ教訓、岩木山ノ詩歌、他

**北門見聞録（一名中村日記）13号 (3) ★ YK091-1-4-3**

中村北門（良之進）

明治 25年～年（1892～）写 1冊 横中 ノート

註：染色術一斑、津軽陶器、東奥詞藻、流行性感冒、千二百年前の火、不敬退校、他

**北門見聞録（一名中村日記）14号 (4) ★ YK091-1-4-4**

中村北門（良之進）

明治 25年～年（1892～）写 1冊 横中 ノート

註：燕沢碑考、出稼人、養老ノ礼、木星第五ノ月、火星ノ小湖、太古の風俗、他

**北門見聞録（一名中村日記）15号 (5) ★ YK091-1-4-5**

中村北門（良之進）

明治 26年～年（1893～）写 1冊 横中 ノート

註：節婦お辰の伝、相馬大作、天明凶荒録、津軽山林制度、教有功績会章、吉利丹宗門、他

**北門見聞録（一名中村日記）16号 (6) ★ YK091-1-4-6**

中村北門（良之進）

明治 27年～年（1894～）写 1冊 横中 ノート

註：宮本武蔵、天理教毒ヲ流ス、平重盛ノ遺骨、朝鮮ニ於ケル日本人、慶長ノ諸将ノ年齢表、他

**北門見聞録（一名中村日記）17号 (7) ★ YK091-1-4-7**

中村北門（良之進）

明治 26年～27年（1893～1894）写 1冊 横中 ノート

註：弘前展覧会、古懸ノ不動尊焼ク、弘前ノ高齢者、教科書ノ審査、尊王ト勤王トノ別、他

**北門見聞録（一名中村日記）18号 (8) ★ YK091-1-4-8**

中村北門（良之進）

明治 27年～年（1894～）写 1冊 横中 ノート

註：銭屋五兵衛ノ碑、東西比観、世界最長ノ随〔燧〕道、教科書ノ抽籤、日本道德ノ中心、他

**北門見聞録（一名中村日記）19号 (9) ★ YK091-1-4-9**

中村北門（良之進）

明治 27年～年（1894～）写 1冊 横中 ノート

註：平尾魯仙箱館紀行抄并洋夷茗話抄、弘前義勇団、弘前軍人藩祖ニ誓ウ、日本ノ洛陽長安、他

**北門見聞録** (一名中村日記) 20号 (10) ★YK091-1-4-10  
 中村北門 (良之進)  
 明治27年～年 (1894～) 写 1冊 横中 ノート  
 註: 字訓考、征清軍戦勝ノ回数、支那国考、怪シキ火玉、明治以前ノ医者ノ受取、他

**北門見聞録** (一名中村日記) 21号 (11) ★YK091-1-4-11  
 中村北門 (良之進)  
 明治28年～年 (1895～) 写 1冊 横中 ノート  
 註: 劉永福ノ相貌、本県軍人死亡数、長慶天皇御遺跡考、箱館ノ大火、現時ノ陸軍将官、内閣諸大臣、他

**北門見聞録** (一名中村日記) 22号 (12) ★YK091-1-4-12  
 中村北門 (良之進)  
 明治29年～年 (1896～) 写 1冊 横中 ノート  
 註: 二百十日ノ大変、一戸兵衛中佐ノ戦争談、青森ノ電灯点火、本県多額納税者、弘前新聞、他

**北門見聞録** (一名中村日記) 23号 (13) ★YK091-1-4-13  
 中村北門 (良之進)  
 明治30年～年 (1897～) 写 1冊 横中 ノート  
 註: 三十一聯隊弘前へ移転、阿闍羅鳴動、扶桑沈没ノ怪事、日本人結髪ノ起原、巡查ノ強姦、他

**北門見聞録** (一名中村日記) 24号 (14) ★YK091-1-4-14  
 中村北門 (良之進)  
 明治31年～年 (1898～) 写 1冊 横中 ノート  
 註: 津軽養蚕ノ起原、佞武多取締規制、陸奥山水其一、他

**北門見聞録** (一名中村日記) 25号 (15) ★YK091-1-4-15  
 中村北門 (良之進)  
 明治31年～年 (1898～) 写 1冊 横中 ノート  
 註: 陸奥山水其二、午砲初マル、浅虫ノ不思議、他

**北門見聞録** (一名中村日記) 26号 (16) ★YK091-1-4-16

中村北門 (良之進)  
 明治32年～年 (1899～) 写 1冊 横中 ノート  
 註: 奥羽六県聯合物産共進会、津軽奇行録、玉成高等小学校開校式、弘前医者ノ激昂、他

**北門見聞録** (一名中村日記) 27号 (17) ★YK091-1-4-17  
 中村北門 (良之進)  
 明治33年～34年 (1900～1901) 写 1冊 横中 ノート  
 註: 西郡関村ノ古碑、娼妓自由廃業、津軽故人俳句集、津軽名人和歌集、金木屋株式会社トナル、第一女学校開校式、他

**北門見聞録** (一名中村日記) 28号 (18) ★YK091-1-4-18  
 中村北門 (良之進)  
 明治34年～35年 (1901～1902) 写 1冊 横中 ノート  
 註: 明和3年津軽大地震ノ事、渡舟、雪中行軍凍死ノ評林、第五聯隊ノ凍死、青森新聞一号、他

**北門見聞録** (一名中村日記) 29号 (19) ★YK091-1-4-19  
 中村北門 (良之進)  
 明治35年～年 (1902～) 写 1冊 横中 ノート  
 註: 弘前市ノ人口戸数、五聯隊捜索隊ノ非行、岩木山噴煙、青森県人口ト戸数、弘前ノ基督教徒、他

**北門見聞録** (一名中村日記) 30号 (20) ★YK091-1-4-20  
 中村北門 (良之進)  
 明治35年～36年 (1902～1903) 写 1冊 横中 ノート  
 註: 中郡宮館村古跡、青森県火災表、男女両性ノ鑑定、大盗三ヶ田徳次郎、他

**艸紙**〔草紙〕 一 中村良之進 ★YK091-1-5-1  
 写 1冊 半紙 仮洋 (ノート)  
 註: 弘前寺院縁起下調 甲号

**艸紙**〔草紙〕 二 中村良之進 ★YK091-1-5-2

写 1冊 半紙 仮洋 (ノート)  
 註: 弘前寺院縁起下調 (人物ノ部) 乙号

**艸紙**〔草紙〕 三 中村良之進 ★YK091-1-5-3  
 写 1冊 半紙 仮洋 (ノート)  
 註: 史料留書

**艸紙**〔草紙〕 四 中村良之進 ★YK091-1-5-4  
 写 1冊 半紙 仮洋 (ノート)  
 註: 平尾魯仙翁原稿、佞武多制作に対して、大浦村郷土史材料、八甲田登山紀行、他

**艸紙**〔草紙〕 五 中村良之進 ★YK091-1-5-5  
 写 1冊 半紙 仮洋 (ノート)  
 註: 美術品展覧会説明、津軽騒動記、堀越城騒乱、他

**艸紙**〔草紙〕 六 中村良之進 ★YK091-1-5-6  
 写 1冊 半紙 仮洋 (ノート)  
 註: 一鐘片、蓬田越前ノ事、芭蕉塚、最勝院ノ五大尊、戸建沢紀行、他

**艸紙**〔草紙〕 七 中村良之進 ★YK091-1-5-7  
 写 1冊 半紙 仮洋 (ノート)  
 註: 岩木村郷土史材料寄乙、狼倉ノ館考、大浦村八幡ノ九十九森、他

**艸紙**〔草紙〕 八 中村良之進 ★YK091-1-5-8  
 写 1冊 半紙 仮洋 (ノート)  
 註: 津軽永延間記 (永禄日記)、津軽地方先住民遺跡石土器出所地、大人物菊池九郎翁、他

**艸紙**〔草紙〕 九 中村良之進 ★YK091-1-5-9  
 写 1冊 半紙 仮洋 (ノート)  
 註: 西海岸ノ古碑、大浦村郷土史、梵珠山ノ事、弘前寺院に葬られし人物、岩木山、他

艸紙〔草紙〕 十 中村良之進 ★ YK091-1-5-10  
 明治43(1910)写 1冊 半紙 仮洋(ノート)  
 註：堀越村、大鰐町、東西目屋村史料、良之進履歴、杭止堰水門新設記念碑文、他

艸紙〔草紙〕 十一 中村良之進 ★ YK091-1-5-11  
 昭和15(1882)写 1冊 半紙 仮洋(ノート)  
 註：百沢寺重物「妙法蓮華經」ヲ長勝寺ニ寄進、大鰐の名木萩桂の由来、他

艸紙〔草紙〕 十二 中村良之進 ★ YK091-1-5-12  
 昭和13(1880)写 1冊 半紙 仮洋(ノート)  
 註：弘前城ニ関スル材料書類

艸紙〔草紙〕 十三 中村良之進 ★ YK091-1-5-13  
 昭和11(1936)写 1冊 半紙 仮洋(ノート)  
 註：津軽ノ霊場ニ就テ草稿、津軽史料文庫草稿、佞武多ノ由来、他

艸紙〔草紙〕 十五 中村良之進 ★ YK091-1-5-15  
 昭和13(1938)写 1冊 半紙 仮洋(ノート)  
 註：藤代村石渡ト菴中ト聯合ノ件ニ付材料、寺社御次第、他

津軽史料 一 中村良之進(北門) ★ YK091-1-6-1  
 明治36(1903)写 1冊 B6 ノート  
 註：津軽永延間記 本名永禄日記

津軽史料 二 中村良之進(北門) ★ YK091-1-6-2  
 明治36(1903)写 1冊 B6 ノート  
 註：最勝院縁記 外卅種、誓願寺縁記 外廿二種

津軽史料 三 中村良之進(北門) ★ YK091-1-6-3  
 明治36(1903)写 1冊 B6 ノート  
 註：神宮僧侶由緒 外八種

津軽史料 四 中村良之進(北門) ★ YK091-1-6-4  
 写 1冊 B6 ノート  
 註：津軽系図 外五種(乞食頭長助 長吏由緒書など)

津軽史料 五 中村良之進(北門) ★ YK091-1-6-5  
 写 1冊 B6 ノート  
 註：本藩暦年図其二 外数十種

津軽史料 六 中村良之進(北門) ★ YK091-1-6-6  
 写 1冊 B6 ノート  
 註：神社微細社司由緒調書上帳 一〔安政二年(1855)、最勝院〕

津軽史料 七 中村良之進(北門) ★ YK091-1-6-7  
 写 1冊 B6 ノート  
 註：神社微細社司由緒調書上帳 一、二〔安政二年(1855)、最勝院〕

津軽史料 八 中村良之進(北門) ★ YK091-1-6-8  
 写 1冊 B6 ノート  
 註：神社微細社司由緒調書上帳 二、三〔安政二年(1855)、最勝院〕

津軽史料 九 中村良之進(北門) ★ YK091-1-6-9  
 写 1冊 B6 ノート  
 註：神社微細社司由緒調書上帳 三、四、五〔安政二年(1855)、最勝院〕

津軽史料 十 中村良之進(北門) ★ YK091-1-6-10  
 写 1冊 B6 ノート  
 註：神社微細社司由緒調書上帳 五、六〔安政二年(1855)、最勝院〕

津軽史料 十一 中村良之進(北門) ★ YK091-1-6-11  
 写 1冊 B6 ノート  
 註：神社微細社司由緒調書上帳 六、七〔安政二年(1855)、最勝院〕

津軽史料 十二 中村良之進(北門) ★ YK091-1-6-12  
 写 1冊 B6 ノート  
 註：神社微細社司由緒調書上帳 七、八止〔安政二年(1855)、最勝院〕

津軽史料 十三 中村良之進(北門) ★ YK091-1-6-13  
 写 1冊 B6 ノート  
 註：曹洞諸寺院縁起志 外、乳井福王寺住職次第、新法師付記、遠目鑑、他

津軽史料 十四 中村良之進(北門) ★ YK091-1-6-14  
 写 1冊 B6 ノート  
 註：香具屋吉左衛門旧記(文政八年陽気祭、七夕祭、ネブタ)、石碑ノ梵字ノ書式、古碑、梵鐘、史跡、他

津軽史料 十五 中村良之進(北門) ★ YK091-1-6-15  
 写 1冊 B6 ノート  
 註：本県古木調査表、中郡中崎村三浦茂左衛門所有ノ古文書類、藩政時代殿様御登御行列并道中記、諸家、諸派伝統系譜、他

津軽史料 十六 中村良之進(北門) ★ YK091-1-6-16  
 写 1冊 B6 ノート  
 註：絵画、その他諸派伝統系譜、神社仏閣、梵鐘、他

津軽史料 十七 中村良之進(北門) ★ YK091-1-6-17  
 写 1冊 B6 ノート

註：弘前市土手町蓬莱橋ノ欄干擬宝珠ノ銘、弘前市各尋常小学校来歴調、他

**津軽史料** 十八 中村良之進（北門） ★YK091-1-6-18

大正3（1914）写 1冊 B6 ノート

註：津軽根元記、船水館ノ図式、田畑御定積

**津軽史料** 十九 中村良之進（北門） ★YK091-1-6-19

写 1冊 B6 ノート

註：浅瀬石村と猫衝不動尊、弘前新町の事并神田の先祖の事、高德院金毘羅由来記、蓬莱橋と朝陽橋、他

**津軽史料** 廿 中村良之進（北門） ★YK091-1-6-20

写 1冊 B6 ノート

註：津軽図書保存会所蔵の図書目録、弘前図書館の創立、内海草坡帖、他

**津軽史料** 廿一 中村良之進（北門） ★YK091-1-6-21

写 1冊 B6 ノート

註：内海草坡帖（続）、弘前各寺院檀家数調、法隆殿考（浅瀬石村）、豊田村郷土史、他

**津軽史料** 廿二 中村良之進（北門） ★YK091-1-6-22

写 1冊 B6 ノート

註：豊田村郷土史（読）、津軽俗説千八百解 前編、他

**津軽史料** 廿三 中村良之進（北門） ★YK091-1-6-23

写 1冊 B6 ノート

註：明治二年（1869）長利仲聴御用留記、東奥義塾の由来、青森県神社神職名簿、弘前市中・中津軽郡神社全部、他

**津軽史料** 廿四止 中村良之進（龍門） ★YK091-1-6-24

写 1冊 B6 ノート

註：乳井神社并附近の遺跡、農政家平沢三右衛門の開発、他

**大鰐蔵館・堀越資料**（1～8）中村良之進

★YK091-1-7-1

写 1冊（合本）B5 仮和

註：1. 阿闍羅縁起 2. 大鰐町郷土史原稿 3. 大鰐の神社・大鰐の珍木萩桂・大鰐御仮屋 4. 堀越村ノ史蹟 5. 宿川原 6. 三ツ目内ノ神社 7. 阿闍羅山専称院 8. 福村熊野宮他

**紙漉沢考証資料** 二 中村良之進 ★YK091-1-8-1

写 1冊 17×22 ノート

**合浦奇談（巻ノ二）・谷の響（下）・宏斎抄志（甲）**

中村良之進（月川）

★YK091-1-9-1

明治24（1891）写 1冊 横中 ノート

註：原本作者は平尾魯仙

**津軽古記**

★YK091-1-10-1

写 1冊 13×20 ノート

註：内題「北門古史」 外題下に「野村伊右衛門殿ヨリ到来」とある

**〔船沢村郷土史草 前部〕**

★YK091-1-11-1

〔中村良之進〕

写 1冊 半紙 仮和

註：合綴 古碑序文、青森県史批評古文書ノ曾我氏、弘前の神社、同寺院ノ一部

**〔叢録〕** 中村良之進

★YK091-1-12-1

写 1冊 半紙 仮和

註：船沢村郷土史草前、和徳・蔵館・所々村落の神社調、文政四年白沢事件実録、郡所物書工藤留吉見聞書、長勝寺梵鐘考、山崎道冲、他

**史料** 中村良之進

★YK091-1-13-1

明治29（1896）写 1冊 13×21 ノート

註：戊辰戦争関係（慶応4年～明治2年）（1868～1869）

**史料** 中村雪松（良之進） ★YK091-1-13-2

明治27（1894）写 1冊 13×21 ノート

註：太政官日誌之内ヨリ「函館戦争史（史料三）」

**中村良之進先生の遺稿** 中村良之進 ★YK091-1-14-1

写 1冊 半紙 仮和

註：「中津軽郡船沢村郷土史蹟」

**本県雑事（新聞切り抜き）一ノ一号** YK091-1-15-1ノ1

中村良之進編

明治23～37（1890～1904）新聞切り抜き 1冊

横長 和

註：本県の各種銀行、株式会社、合資会社、葡萄状鬼胎の一実験ニ就て、兼平石に就て、吹雪に就ての実験、他

**本県雑事（新聞切り抜き）一ノ二号** YK091-1-15-1ノ2

中村良之進編

明治39～44（1906～1911）新聞切り抜き 1冊

横長 和

註：目屋小学校の怪物騒ぎ、弘前青森両市主要工産物比較表、弘前市賃貸価格標準、本県警察犯処罰令、鷹揚園の記、他

**本県教育界雑事（新聞切り抜き）一ノ三号**

中村良之進編

YK091-1-15-1ノ3

明治41～42（1908～1909）新聞切り抜き 1冊

横長 和

註：東北の教育（楨山文部視学官）、道德教育の科学的研究（同上）、中学校の風紀、某教諭の学生観、他

**津軽史蹟（新聞切り抜き）一ノ四号** YK091-1-15-1ノ4

中村良之進編

明治41～大正2（1908～1913）新聞切り抜き 1冊  
横長 和

註：浪岡附近史蹟探検、陸奥丸沈没記事、他

**津軽史料**（新聞切り抜き）一ノ五号 YK091-1-15-1ノ5

中村良之進編

明治41～43（1908～1910）新聞切り抜き 1冊

横長 和

註：津軽史論（佐藤弥六）、津軽為信公記事、熊野宮境内ノ古碑（附 津軽古史）、掃苔之記（中村良之進古碑調）

**津軽史料**（新聞切り抜き）一ノ六号 YK091-1-15-1ノ6

中村良之進編

明治40～42（1907～1909）新聞切り抜き 1冊

横長 和

註：弘前美以教会の略歴、弘前の時鐘、津軽伯爵家、田舎館城址、勤王の犠牲、山鹿素行、古英雄の末裔（石田三成と杉山氏）、佐藤愛麿、堀江佐吉他

**津軽史料**（新聞切り抜き）一ノ七号 YK091-1-15-1ノ7

中村良之進編

明治38～44（1905～1911）新聞切り抜き 1冊

横長 和

註：津軽維新前の学校（百川烟霞）、旧藩時代の学風（佐藤弥六）、七戸不二郎氏事跡、率土の浜風（青森の旧事）、甲田の奥、三厩の史談、他

**津軽史料**（新聞切り抜き）一ノ八号 YK091-1-15-1ノ8

中村良之進編

明治25～36（1892～1903）新聞切り抜き 1冊

横長 和

註：弘前監獄沿革概要、後方羊蹄考、萩桂、明和三年津軽大地震、岩木川、野辺地馬門間戦闘、凶荒惨記（津軽）他

**津軽史料**（新聞切り抜き）一ノ九号 YK091-1-15-1ノ9

中村良之進編

明治41～（1908～）新聞切り抜き 1冊 横長 和

註：南朝皇孫津軽へ御下向始末 附北山氏勤王略記、秋田紀行（長慶天皇御事蹟調査）（森矯撰）

**本県史料**（新聞切り抜き）一ノ十号 YK091-1-15-1ノ10

中村良之進編

明治39～40（1906～1907）新聞切り抜き 1冊

横長 和

註：遠野紀行、田名部半嶋の史料、長慶帝御事蹟調査復命書、田名部半嶋の史料（森矯撰）

**本県雑事**（新聞切り抜き）二ノ一号 YK091-1-15-2ノ1

中村良之進編

明治23～32（1890～1899）新聞切り抜き 1冊

横長 和

註：暴民西津軽郡会を騒がす（郡役所移庁問題）義勇団体の組織、青森県士官養成会、後備歩兵第四聯隊の凱旋、他

**本県雑事**（新聞切り抜き）二ノ二号 YK091-1-15-2ノ2

中村良之進編

明治33～38（1900～1905）新聞切り抜き 1冊

横長 和

註：千年村の大闘争、五所川原木造町民の大争闘、中学生殺さる、三十四年八月十日の地震、三十一聯隊の移転、一戸將軍旅順戦局談、他

**本県雑事**（新聞切り抜き）二ノ三号 YK091-1-15-2ノ3

中村良之進編

明治38～大正2（1905～1913）新聞切り抜き 1冊

横長 和

註：飛行機の現状、弘電の水力応用、弘前市賃貸価格調、宅地の等級、東奥戒壇、稀有の大降雹と被害地の惨状、他

**本県雑事**（新聞切り抜き）二ノ四号 YK091-1-15-2ノ4

中村良之進編

大正2～7（1913～1918）新聞切り抜き 1冊 横長 和

註：弘前公園修築内容、旧藩時代の于蘭盆、稀有の大惨事（古間木下田間汽車衝突）、不合理極まる市費の補助（弘前市）、他

**津軽史料**（新聞切り抜き）二ノ五号 YK091-1-15-2ノ5

中村良之進編

新聞切り抜き 1冊 横長 和

註：津軽藩人物略伝 上（閑雲遺稿拔萃）

西館孤清翁遺書 世に知られざる歌人 上

**津軽史料**（新聞切り抜き）二ノ六号 YK091-1-15-2ノ6

中村良之進編

明治33～35（1900～1902）新聞切り抜き 1冊

横長 和

註：津軽藩人物略伝 下（閑雲遺稿拔萃）、同書家列伝、同画家列伝、世に知られざる歌人 下

**津軽史料**（新聞切り抜き）二ノ七号 YK091-1-15-2ノ7

中村良之進編

大正7～（1918～）新聞切り抜き 1冊 横長 和

註：忙中閑（絵画類、青海波塗、津軽産の陶器、鋳物師、渡辺近江の作）津軽の馬（牧場、馬術、青沼氏、木立守貞、乗馬大意）他

**津軽史料**（新聞切り抜き）二ノ八号 YK091-1-15-2ノ8

中村良之進編

大正4～5（1915～1916）新聞切り抜き 1冊 横長 和

註：津軽俳諧小史、閑なるまゝ（津軽文藝雑語）、俳人、俳書、翁塚

二ノ九号 欠本

津軽史料（新聞切り抜き）二ノ十号 YK091-1-15-2ノ10

中村良之進編

大正3～（1914～）新聞切り抜き 1冊 横長 和  
註：郷土史談、津軽相撲の話、偉人の跡、他

津軽史料・本県雑談（新聞切り抜き）二ノ十一号

中村良之進編

YK091-1-15-2ノ11

明治44～大正6（1911～1917）新聞切り抜き 1冊  
横長 和  
註：贈従五位平沢三右衛門事歴、饑饉昔話、勇狂僧門及、津軽飢饉の昔噺、他

津軽史料（新聞切り抜き）二ノ十二号

中村良之進編

YK091-1-5-2ノ12

明治39～44（1906～1911）新聞切り抜き 1冊  
横長 和  
註：藩祖三百年祭、弘前開市三百年祭、信政公、弘前県社八幡宮三百年祭

津軽史料（新聞切り抜き）二ノ十三号

中村良之進編

YK091-1-15-2ノ13

大正2～6（1913～1917）新聞切り抜き 1冊 横長 和  
註：弘前藩ノ京都ニ於ケル勤王始末「赤石復讐録（赤石行敏勤王事歴）」、津軽藩勤王始末（奥羽ニ於ケル）

津軽藩史料（新聞切り抜き）二ノ十四号

中村良之進編

YK091-1-15-2ノ14

大正5～6（1916～1917）新聞切り抜き 1冊 横長 和  
註：弘前藩ト討庄討南ノ二役、津軽承昭公

本県史料（新聞切り抜き）二ノ十五号

中村良之進編

YK0911-15-2ノ15

明治31～35（1898～1902）新聞切り抜き 1冊  
横長 和  
註：東奥義塾（同塾ノ党派分并人物評共）、旧藩主菩提

寺へ土族ヨリ寄附セシ共有田地ニ関スル紛擾

津軽藩史料（新聞切り抜き）二ノ十六号

中村良之進編

YK091-1-15 2ノ16

大正5～（1916～）新聞切り抜き 1冊 横長 和  
註：津軽山林制度（佐藤弥六）

県外雑事（新聞切り抜き）二ノ十七号

中村良之進編

YK091-1-15-2ノ17

明治25～大正3（1892～1914）新聞切り抜き 1冊  
横長 和  
註：内閣更迭沿革、伊藤公暗殺さる、日韓併合公表、青森県教育大会、青年実行事項、社頭の杉、金木屋の店  
條目、名家の家訓、他

津軽俳句集 中村良之進

YK091-1-16-1

写 1冊 18×20 ノート

古面古物図〔中村北門（良之進）〕

YK091-1-17-1

写 1冊 半紙 仮和

津軽歴史地理資料〔中村良之進編〕

YK091-1-18-1

〔明治13（1880）以降〕写 1冊 横（半紙）和  
註：板碑、古仏、鰐口、肖像画、絵図、城跡等

親綴〔中村良之進編〕

YK091-1-19-1

〔明治30（1897）〕写 1冊 半紙 和  
註：明治二十三年東奥義塾、地租改正、新聞の写し、祢婦多御検査願、当国三十三所須拝并三観音七観音、中村良之進氏の祖先、句伝有節等の俳句

城跡・館跡写真集 中村良之進

YK091-1-20-1

明治40～大正13（1907～24）写 1冊 半紙 仮和  
註：中・南津軽郡

中津軽地方ニ於ケル館跡ノ調査図

YK091-1-20-2

中村良之進

大正3～9（1914～20）写 1冊 半紙（広）仮和  
註：現弘前市・中津軽郡岩木町・他二南津軽郡大鰐町三ッ目内高館1枚アリ

狼倉の館 中村良之進稿

YK091-1-21-1

昭和5（1930）新聞切り抜き 1冊 半紙 和

註：東奥日報連載

狼倉の館は一名新館又は狼館、中津軽郡岩木村（現岩木町）新法師に在り

夢酒松風解訳 中村良之進

YK091-1-22-1

〔昭和4（1929）〕写 1冊 半紙 仮和

註：「夢酒松風」は乳井貢の作と云われているが不詳。

本稿は講演メモ

郷土史講演材料 中村良之進

YK091-1-23-1

写 1冊 半紙 仮和

岩木村史蹟一斑〔中村良之進〕

YK091-1-23-2

昭和5（1930）写 1冊 半紙 仮和

註：獄場小学校に於ける講演要項

### YK091-2 棟方悌二著書及び収集資料

黙齋研究資料 1 棟方悌二

YK091-2-1-1

写 1冊 13×20 ノート

註：「弘藩明治一統志抄」（原本ハ内藤官八郎編、明治15年刊17冊）

黙齋研究資料 2 棟方悌二

YK091-2-1-2

写 1冊 A5 ノート

註：「山崎半蔵と間宮林蔵」（附、寒葉齋画譜序、他）

**黙齋研究資料 3 棟方悌二 YK091-2-1-3**  
写 1冊 B6 ノート  
註：〔国宝・重要文化財〕硯、壺、木彫（仏像）、鐘、面、器、鏡、釜、爐、銅鐸、他

**黙齋研究資料 4 〔棟方悌二〕 YK091-2-1-4**  
昭和15（1940）写 1冊 菊 ノート  
註：〔覚え書き〕永田雲登翁のこと、秘宝前世界の裸人形（土偶ノコトカ）、永田雲登略伝、短歌、俳句、他

**黙齋研究ノート 5 棟方悌二 YK091-2-1-5**  
写 1冊 B6 ノート  
註：〔取材資料〕廃藩置県、成田求馬、御用格巻一、他

**黙齋研究資料 6 棟方悌二 YK091-2-1-6**  
写 1冊 B6 ノート  
註：〔取材資料〕弘前藩庁御国日記抜書（延宝三年～八年）（1675～1680）、東日流文林小伝、他

**黙齋研究資料 7 棟方悌二 YK091-2-1-7**  
写 1冊 A5 ノート  
註：「小島氏家記抄」明治元年（1868）、野辺地戦争に於て中隊長として戦死した津軽藩士小島左近（貞邦）の日記の内より。天保九年～文久三年（1838～1863）

**黙齋研究資料 8 棟方悌二 YK091-2-1-8**  
写 1冊 A5 ノート  
註：〔取材資料〕百沢ヨリ獄ニ至ル所ヨリ岩木山ヲ望ム（絵）山鹿素行ト津軽藩トノ関係、他

**黙齋研究資料 9 棟方悌二 YK091-2-1-9**  
明治43（1910）写 1冊 A5 ノート  
註：〔日本近世教育史抄〕原本ハ文学士横山達三著

**黙齋研究資料 10 棟方悌二 YK091-2-1-10**

写 1冊 A5 ノート  
註：〔取材資料〕明治43年（1910）弘前中学校運動会プログラム商品等、練兵説略（嘉永四年刊、山鹿素水著）、他

**黙齋研究資料 11 棟方悌二 YK091-2-1-11**  
写 1冊 16×20 ノート  
註：館山氏記録 一（明治維新、弘前藩ノ勤王ノ士、館山善左衛門有孚ニ就テ、館山氏家系、他）

**黙齋研究資料 12 棟方悌二 YK091-2-1-12**  
大正7（1918）写 1冊 16×20 ノート  
註：〔館山氏記録 二〕館山善左衛門勤王事歴 他に田名部彦一、山田良政、他

**黙齋研究資料 13 棟方悌二 YK091-2-1-13**  
写 1冊 B6 ノート  
註：石井三庵津軽聞書・寺社一列外雑抄

**黙齋研究資料 14 棟方悌二（黙齋） YK091-2-1-14**  
大正11（1922）写 1冊 菊 ノート  
註：津軽領分大道小道磯辺道并船路之帳、慶安津軽領絵図解題 上記の帳は慶安2年（1649）、絵図は慶安元年（1648）のもの

**黙齋研究資料 15 棟方悌二 YK091-2-1-15**  
写 1冊 B6 ノート  
註：邦内俳人小伝（小山内鈞月編）、邦内俳句七十吟（下沢閑雲編）、俳諧六々集、他

**黙齋研究資料 16 棟方悌二 YK091-2-1-16**  
写 1冊 B6 ノート  
註：〔国語科教授事項〕取材資料 他

**黙齋研究資料 17 YK091-2-1-17**  
写 1冊 半紙 仮和

註：「青森県西津軽郡大戸瀬村大字関並金井ヶ沢郷土史下稿」大正十一年（1922）「折曾の関—大戸瀬郷土史—」として発行 中村良之進の自筆を黙齋が所有していたものか

**黙齋研究資料 18 棟方悌二 YK091-2-1-18**  
写 1冊 半紙 仮和  
註：「藤田雑集目録」津軽系図并歴譜前代系図及前代歴譜藩祖略記前史ノ正誤 南部故実拔萃ノ正誤

**黙齋研究資料 19 棟方悌二 YK091-2-1-19**  
写 1冊 半紙 仮和  
註：日記抄（寛文元年より）弘前藩庁御国日記（寛文元年～延宝五年）（1661～1677）ヨリ

**黙齋研究資料 20 棟方悌二 YK091-2-1-20**  
写 1冊 半紙 仮和  
註：〔取材資料〕御内書御目録（天正の頃より元禄の頃迄）（1573～1704）、他

**黙齋研究資料 21 棟方悌二（黙齋） YK091-2-1-21**  
大正11（1922）写 1冊 半紙 仮和  
註：「狂歌奇人譚抄」原文は八島定岡著（文政七年）（1824）

**黙齋研究資料 22 棟方悌二 YK091-2-1-22**  
大正13（1924）写 1冊 半紙 仮和  
註：「郷土史稿」弘前時鐘の沿革

**黙齋研究資料 22 棟方悌二 YK091-2-123**  
写 1冊 半紙 仮和  
註：「青森県史大綱」自津軽為信時代至同信義時代

**黙齋研究資料 24 棟方悌二 YK091-2-1-24**  
写 1冊 半紙 仮和



註：「青森県史大綱」自津軽信政時代至同信明時代

**黙齋研究資料 25 棟方悌二 YK091-2-1-25**

大正4(1915)写 1冊 美濃 仮和

註：〔取材資料〕編輯歷程、頌徳表草案、藤崎城墟碑文、功臣名土墳墓調、代表的神社仏閣名所旧蹟調書、他

**黙齋研究資料 26 棟方悌二 YK091-2-1-26**

写 1冊 半紙 仮和

註：「維新当時津軽藩同盟論の一面」外題に「岡兵一手記抄・本多庸一書上」の添書があり、内題は「激徒の真相（明治維新の或る人の日記から）」とある。

**黙齋研究資料 27 YK091-2-1-27**

田名部彦一編（棟方悌二補訂）

写 1冊 半紙 仮和

註：管内名所旧蹟志

**黙齋研究資料 28 棟方悌二 YK091-2-1-28**

明治37(1904)写 1冊 半紙 仮和

註：「津軽志料雑抄 一（地理）」津軽塗、岩木山、亀ヶ岡の遺跡、十腰内遺跡、森田の竪穴、八甲田山、他

**黙齋研究資料 29 棟方悌二 YK091-2-1-29**

写 1冊 半紙 仮和

註：「津軽地名考 全」原本は津軽藩儒、稽古館経学学頭松田常蔵善奇〔宝暦7～天保元（1757～1830）〕の撰

**黙齋研究資料 30 棟方悌二 YK091-2-1-30**

写 1冊 半紙 仮和

註：「白旗白懐古」旅行日誌一節

**黙齋研究資料 31 棟方悌二 YK091-2-1-31**

写 1冊 半紙 仮和

註：〔津可呂の奥（一）～（四）〕原著者ハ菅江真澄

附、拳長亭の記

**黙齋研究資料 32 棟方悌二（黙齋） YK0912-1-32**

明治43(1910)写 1冊 半紙 仮和

註：「鷹城詞華 第壹輯」本藩壽詩（安永七年1778）分題詩集（寛政）草堂集（天明・寛政）他

**黙齋研究資料 33 棟方悌二 YK091-2-1-33**

写 1冊 半紙 仮和

註：「鷹城詞華 第貳輯」信牧公御歌（元和五年1619）信義公御歌、他

**黙齋研究資料 34 棟方悌二 YK091-2-1-34**

写 1冊 半紙 仮和

註：「鷹城詞華 第三輯」西遊詩稿

**黙齋研究資料 35 棟方悌二（黙齋） YK091-2-1-35**

大正4(1915)写 1冊

註：「津軽俳諧の研究」内題「旧藩時代の俳諧」

**黙齋研究資料 36 棟方悌二（黙齋） YK091-2-1-36**

大正9(1920)写 1冊 半紙 仮和

註：「棟方実勝雜記抄」寛政学界の半面

**黙齋研究資料 37 棟方悌二 YK091-2-1-37**

大正7(1918)写 1冊 半紙 仮和

註：「津軽順承公事績大要」

**郷土誌類解題 単 YK091-2-1-38**

棟方悌二（黙齋）輯録

写 1冊 半紙 仮和

**郷土誌類解題（弘前教育史資料 七） YK091-2-1-39**

〔棟方悌二輯録〕

写 1冊 半紙 仮和

**山鹿素行と津軽 棟方悌二 YK091-2-1-40**

大正5(1916)写 1冊 半紙 仮和

註：大正五年 弘前毎日新聞「お国自慢」中ノ所載

**〔雑記〕〔棟方悌二〕 YK091-2-2-1**

〔大正2(1913)〕写 1冊 四六 ノート

註：解釈例、津軽、南部の史書の抜き書き、駒越村如来瀬杭戸堰神宮由来、古碑、探訪等 他

**雑纂 黙齋学人（棟方悌二） YK091-2-2-2**

明治37～40(1904～1907)写 1冊 菊 仮洋

註：大鏡、十訓抄、十六夜日記、東関紀行の註記

**YK091-3 森林助著書及び収集資料**

**神代史雑稿 卷ノ一、二、三 YK091-3-1-1**

素鶴（森林助）

大正2(1913)写 1冊 半紙 仮和

註：巻末に「三種の神器附壺切剣」あり

**〔雑稿〕 森林助（素鶴） YK091-3-2-1**

明治38～42(1905～1909)写 1冊 半紙 仮和

註：蝦夷史（未完）東洋史稿（未完）東洋史参考書下巻（未完）

**津軽藩切支丹史料 森林助 YK091-3-3-1**

写 1冊 半紙 仮和

註：題簽「津軽関係資料 切支丹類族（兵法、馬術巻物）」

**津軽雑稿（藤崎安東氏）森林助 YK091-3-3-2**

大正15(1926)～昭和6(1931)写 1冊 半紙 仮和

**雑稿 第一ノ一（津軽関係）森林助 YK091-3-3-3**

大正9(1920)写 1冊 半紙 仮和

- 註：長慶天皇ニ関スル史料、故田中博士を懐ふ、津軽領分大道小道磯辺路之帳抄出、他
- 津軽雑稿「杉山氏関係記録」** YK091-3-3-4  
森林助（素鶴）  
大正6～大正11（1917～1922）写 1冊 半紙 仮和
- 雑稿** 森林助 YK091-3-3-5  
大正14～15（1925～1926）写 1冊 半紙 仮和  
註：津軽俗説後拾選、近来発見の郷土資料の記念物に就て（妙見の鳥居と斗賀の鱗口）、五稜郭出征、画人蓑虫に就て、他
- 雑記（大石関係記録）** 森林助（素鶴） YK091-3-4-1  
大正7～大正14（1918～1925）写 1冊 半紙 仮和
- 北畠史料ノート（イ）** 森林助 YK091-3-5-1  
写 1冊 半紙 仮和  
註：波岡近郷旧蹟考、波岡名所旧蹟考（抜書）
- 北畠史料ノート（ロ）** 森林助 YK091-3-5-2  
大正4～大正12（1915～1923）写 1冊 半紙 仮和  
註：「波岡御所史料」北畠系図、波岡系図、波岡御所断片、弘前藩土浪岡氏、津軽郡中名字、金光上人伝、西光寺、他
- 波岡史料** 森林助（素鶴） YK091-3-5-3  
大正13～昭和7（1924～1932）写 1冊 半紙 仮和  
註：白井秀雄「外浜奇勝」抜書、成田伝作氏史料、大和田氏史料、他
- 黒石藩史料** 森林助 YK091-3-6-1  
写 1冊 半紙 仮和
- 御検地覚書（黒石藩史料）** 森林助（素鶴） YK091-3-6-2
- 大正15（1926）写 1冊 半紙 仮和  
註：境氏蔵本「津軽黒石藩史所領編」写、弘前小納（戸）方書認遣様
- 黒石藩年中行事** 森林助 YK091-3-6-3  
昭和2（1927）写 1冊 半紙 仮和  
註：原本ハ安政五年（1858）黒石藩町奉行記録
- 黒石藩史料 黒石室史料** 森林助 YK091-3-6-4  
昭和元（1926）写 1冊 半紙 仮和  
註：要記秘鑑（弘前図書館蔵）写本、御勝手御用書、黒石家中一列次第及目見以上名員、他
- 黒石藩史料** 素鶴（森林助） YK091-3-6-5  
昭和9（1934）写 1冊 半紙 仮和  
註：〔吉良史料〕津軽家江戸御日記抜書 中村良之進「黒石侯の系図について新発見」の論文より写す
- 青森県史草稿、一部** YK091-3-7-1  
写 1冊 半紙 仮和  
（森林助氏旧蔵）
- 南部関係資料** 森林助 YK091-3-8-1  
写 1冊 半紙 仮和
- 南部文書研究資料（三）** 森林助 YK091-1-9-1  
昭和8（1933）写 1冊 半紙 仮和
- 史料（花山院忠長、柳川調興、相良清兵衛、附三甫）**  
森林助（素鶴） YK091-3-10-1  
大正5（1916）写 1冊 半紙 仮和
- 曾我氏史料** 森林助 YK091-3-11-1  
写 1冊 半紙 仮和  
註：新戸部文書、斎藤文書、宮崎文書
- 神仏資料** 森林助 YK091-3-12-1  
昭和2（1927）写 1冊 半紙 仮和
- 素鶴雑稿（甲）** 森林助 YK091-3-13-1  
昭和7（1932）写 1冊 半紙 仮和  
註：弘前稽古館出版、佐竹侯の書状、北條氏興書状、五重塔史料、他
- 講演原稿・外記事** 森林助（素鶴） YK091-3-14-1  
昭和7～8（1932～1933）写（一部ガリ版）1冊 半紙 仮和  
註：郷土史講演（吉野朝時代ニ於ケル津軽ノ形勢、戦国時代ノ津軽、津軽信政ト山鹿素行、長慶天皇御事蹟、明治維新ト弘前藩）外（略）
- 講演原稿** 森林助（素鶴） YK091-3-14-2  
昭和6（1931）写 1冊 半紙 仮和  
註：郷土史、附猿賀史料
- 国学院在学作文集 全** 森林助 YK091-3-15-1  
明治32～明治35（1899～1902）写 1冊 半紙 和
- 雑叢（在陸奥木造）** 森林助（素鶴） YK091-3-16-1  
明治37～42（1904～1909）写 1冊 半紙 仮和  
註：外国トノ講和、日本国号、清国分割、皇族、文学發達史、歌のはなし、文部省告示第百五十八号（文法上許容スベキ事項）他
- 草案・試験問題参案・内田正誼塾記** 森林助 YK091-3-17-1  
明治34～40（1901～1907）写 1冊 半紙 仮和  
註：草案内容「人ニ妖怪ヲ聞キシ話ヲ記ス」「森氏始祖源義隆伝」他 内田王誼塾記ハ活版

原稿雑稿 森林助 YK091-3-18-1  
昭和4～7(1929～1932)写 1冊 半紙 仮和  
註:「青戸先生の隠れたる功績」「贈皇太后新中和門と津軽家」他(ガリ版刷り)

来状綴 YK091-3-19-1  
昭和8(1933)写 1冊 半紙 仮和  
(森林助旧蔵)  
註:出張願、出張命令、招請状、旅費請求、講師依頼、他書簡類

明治天皇御遺跡建碑資料、同御通輦五十年記念奉賛会資料  
森林前編 YK091-3-20-1  
昭和2・5(1927・30)写・刊 1冊 半紙 仮和

#### YK091-4 小野慎吉著書及び収集資料

今日庵雑記〔1〕 小野慎吉 YK091-4-1-1  
写 1冊 B6(縦ノート)  
註:抄録之部(和歌・俳句)、稽古館和歌会式、他

〔今日庵雑記〕〔2〕 小野慎吉 YK091-4-1-2  
写 1冊 B6(縦ノート)  
註:三上敏造由緒書、織田久内親類書、斎藤鉞右衛門由緒書、他

今日庵雑記〔3〕 小野慎吉 YK091-4-1-3  
写 1冊 B6(縦ノート)  
註:抄録之部、広田家由緒書、同親類書、佐藤重成君伝、竹内健助由緒書、他

今日庵雑記〔4〕 小野慎吉 YK091-4-1-4  
写 1冊 B6(縦ノート)  
註:日記抄(安永9～天明4)、コンシュル、津軽御留守居を英国狂言に案内、御菓子御本当、織座御本当、

弘前在浦々造酒屋ノ覚、他

〔今日庵雑記〕〔5〕 小野慎吉 YK091-4-1-5  
写 1冊 B6(縦ノート)  
註:通貨ノ覚、他

〔今日庵雑記〕〔6〕 小野慎吉 YK091-4-1-6  
写 1冊 B6(縦ノート)  
註:津軽先哲小伝、附公系秘録

今日庵雑記〔7〕 小野慎吉 YK091-4-1-7  
写 1冊 B6(縦ノート)  
註:山田彦兵衛闇討之事、斎藤規房三代小伝、相馬伊重蔵由緒書、草坡翁年表、渋江抽齋刻本急就篇、他

今日庵雑記〔8〕 小野慎吉 YK091-4-1-8  
写 1冊 B6(縦ノート)  
註:石山雅朝翁歌集(文化十年)、奥富士物語より、工藤五族系譜、風流浮世咄、御祝歌帖、齋文、他

〔今日庵雑記〕〔9〕 小野慎吉 YK091-4-1-9  
写 1冊 B6(縦ノート)  
註:殉難録(毛内良胤、他)桜田日記抄、川越日記抄、津経史研究参考本ノ一部、里見家由緒書、三浦家由緒及親類書、他

〔今日庵雑記〕〔10〕 小野慎吉 YK091-4-1-10  
写 1冊 B6(縦ノート)  
註:「狂句太郎」中の百人一首、大日本史抜書(長慶天皇、後龜山天皇)俗謡、津軽歌舞伎年代記、他

〔今日庵雑記〕〔11〕 小野慎吉 YK091-4-1-11  
写 1冊 B6(縦ノート)  
註:方言採取帳

〔今日庵雑記〕〔12〕 小野慎吉 YK091-4-1-12  
写 1冊 B6(縦ノート)  
註:美人百詠(天保七年、鈴木松嵐纂)、串戯二日酔(文化八年、十返舎一九)

〔今日庵雑記〕〔13〕 小野慎吉 YK091-4-1-13  
写 1冊 B6(縦ノート)  
註:天保十五甲辰洪水記、鹿内伊右衛門由緒書、鹿内家蔵「智囊」ト云ウ書

〔今日庵雑記〕〔14〕 小野慎吉 YK091-4-1-14  
写 1冊 B6(縦ノート)  
註:赤石愛太郎一件、宝永三年御豆腐屋被仰付候、野呂万蔵由緒書、他

〔今日庵雑記〕〔15〕 小野慎吉 YK091-4-1-15  
写 1冊 B6(縦ノート)  
註:山崎蘭洲経歴と門人(四天王)、小山佳斎由緒略、千葉艸々庵(胤任)系図略、他

〔今日庵雑記〕〔16〕 小野慎吉 YK091-4-1-16  
写 1冊 B6(縦ノート)  
註:拾万石之御朱印頂戴願、田井家由緒書草稿、三上太弘由緒書、高木家由緒略

〔今日庵雑記〕〔17〕 小野慎吉 YK091-4-1-17  
写 1冊 B6(縦ノート)  
註:詩歌俳 詩人小伝(奥東風雅ヨリ)

〔今日庵雑記〕〔18〕 小野慎吉 YK091-4-1-18  
写 1冊 B6(縦ノート)  
註:歌人資料

〔今日庵雑記〕〔19〕 小野慎吉 YK091-4-1-19  
写 1冊 B6(縦ノート)

- 註：俳人之部
- 〔今日庵雑記〕〔20〕 小野慎吉 YK091-4-1-20  
写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：書家之部 (津軽の書家)、相馬大作隠密一件、宮本桶屋由緒書、安門山 (暗門) 瀑布図解
- 〔今日庵雑記〕〔21〕 小野慎吉 YK0914-1-21  
写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：画家之部 (我藩の絵事)
- 〔今日庵雑記〕〔22〕 小野慎吉 YK0914-1-22  
写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：儒者小伝
- 〔今日庵雑記〕〔23〕 小野慎吉 YK091-4-1-23  
写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：雑人物、雑事
- 〔今日庵雑記〕〔24〕 小野慎吉 YK091-4-1-24  
写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：文久三年御郡内面改実数惣括之覚、本多庸一家由緒書及親類書
- 〔今日庵雑記〕〔25〕 小野慎吉 YK091-4-1-25  
写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：游魂図説 (久渡寺幽霊)、万家人名録抜書、寺社縁起
- 〔今日庵雑記〕〔26〕 小野慎吉 YK091-4-1-26  
写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：発句集、春興帖、俳諧独歩集員外、俳諧之連歌、他
- 〔今日庵雑記〕〔27〕 小野慎吉 YK091-4-1-27  
写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：安永年間前句集略記、明和八年文卿四十賀句集
- 〔今日庵雑記〕〔28〕 小野慎吉 YK091-4-1-28  
写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：年中行事諸規式抜抄
- 〔今日庵雑記〕〔29〕 小野慎吉 YK091-4-1-29  
写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：転切支丹覚、南部諸土家由緒
- 〔今日庵雑記〕〔30〕 小野慎吉 YK091-4-1-30  
写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：由緒書、大瀬十之進、棟方弥五兵衛、同勇八、同多間、沢貞吉
- 〔今日庵雑記〕〔31〕 小野慎吉 YK091-4-1-31  
写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：郷土雑記、増え手紙 (増江マタハ増衛)、三上定衛門事跡、雁の考察、他
- 〔今日庵雑記〕〔32〕 小野慎吉 YK091-4-1-32  
写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：黒甜瑣語抄、信義公時代の和歌、柳宮略譜ノ内満天姫、謹奉言上御目安
- 〔今日庵雑記〕〔33〕 小野慎吉 YK091-4-1-33  
写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：享保年間町屋敷割、最勝院古記録抜書
- 〔今日庵雑記〕〔34〕 小野慎吉 YK091-4-1-34  
写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：津軽家御系図、梨田左源司親類書、他
- 〔今日庵雑記〕〔35〕 小野慎吉 YK091-4-1-35  
写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：俳諧「卒土の浜」(普安撰)
- 〔今日庵雑記〕〔36〕 小野慎吉 YK091-4-1-36  
写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：年表 (天文23～天正14) (寛政元～明治8)、十四代将軍家茂公御上洛、すゝみくさ (建部綾足)、平田鍬胤書翰
- 〔今日庵雑記〕〔37〕 小野慎吉 YK091-4-1-37  
写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：俳句
- 〔今日庵雑記〕〔38〕 小野慎吉 YK091-4-1-38  
写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：御家中御由緒之覚、久保田家由緒書、同上親類書 (享保、元和)
- 〔今日庵雑記〕〔39〕 小野慎吉 YK091-4-1-39  
写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：梅軒詩集 (補遺共) 伊東祐〔裕〕之翁詩 討南紀略上、下、包木翁 (兼松石居) 著 詩 (釜菴尚貞・清水桂山)
- 〔今日庵雑記〕〔40〕 小野慎吉 YK091-4-1-40  
写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：柳田国男死去 (新聞切抜)、佐野川咲之助関係
- 〔今日庵雑記〕〔41〕 小野慎吉 YK091-4-1-41  
写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：菊地治部左衛門系図、松前家過去帳、明治七年黒石町戸籍
- 〔今日庵雑記〕〔42〕 小野慎吉 YK091-4-1-42  
写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：高岡祭司役・人物名寄一、二 高岡御宮御執建役人
- 〔今日庵雑記〕〔43〕 小野慎吉 YK091-4-1-43

- 写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：建部綾足伝
- 〔今日庵雑記〕〔44〕 小野慎吉 YK091-4-1-44  
写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：伊吹茂草上下 (赤石愛太郎ノコト)、他
- 〔今日庵雑記〕〔45〕 小野慎吉 YK091-4-1-45  
写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：寛政七年人別方御用取扱條例、隠商過料定牒 (寛政八年)、お城 (弘前城濠ノ水)、小笠原良八書簡
- 〔今日庵雑記〕〔46〕 小野慎吉 YK091-4-1-46  
写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：奥富士物語、永禄日記、津軽大成記抜粋、他
- 〔今日庵雑記〕〔47〕 小野慎吉 YK091-4-1-47  
写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：津軽十代藩主信順室増衛と笠原近江のこと  
〔駒水物語卷三～卷五 (主として卷四) 抜萃〕
- 〔今日庵雑記〕〔48〕 小野慎吉 YK091-4-1-48  
写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：石井三庵手記「津軽系図」「津軽記」、花少将安忠書簡、三上助元由緒書、町中酒造稼石高調、他
- 〔今日庵雑記〕〔49〕 小野慎吉 YK091-4-1-49  
写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：小国村鉄吹式拾四人組御判紙 (寛永21年) 安済丸乗組分限帳 (慶応3年)、中むら楼ノコト
- 〔今日庵雑記〕〔50〕 小野慎吉 YK091-4-1-50  
写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：独楽徒然集乾坤、奥富士物語目録、三戸伝九郎由緒書
- 〔今日庵雑記〕〔51〕 小野慎吉 YK091-4-1-51  
写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：渋江抽斎家系
- 〔今日庵雑記〕〔52〕 小野慎吉 YK091-4-1-52  
写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：探涼三軍陸奥の旅 (新聞切抜キ)、「寛山居士日記」 (天保年間) 抜書
- 〔今日庵雑記〕〔53〕 小野慎吉 YK091-4-1-53  
写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：森内繁富、津軽寧親、笹森序左衛門、奥瀬一学、内海草坡、三谷坦斎、以上略伝 津軽短歌附考証、演説 (「宝蔵院流十文字鎌鎧」一戸三之助)、先祖由緒伝書日記、他
- 〔今日庵雑記〕〔54〕 小野慎吉 YK091-4-1-54  
写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：寺社御仕置御定書、古記大全抜書並ニ信牧御黒印ノ事、中村宗三郎由緒書、追悼歌並詩
- 〔今日庵雑記〕〔55〕 小野慎吉 YK091-4-1-55  
写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：小沢館趾、種里城趾、村市館、成田家由緒書、廿日草 (天明四年 蟻国記)
- 〔今日庵雑記〕〔56〕 小野慎吉 YK091-4-1-56  
写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：陸奥古碑集 (下調用済ミ)、東奥日報一万号用町村の調一部分あり
- 〔今日庵雑記〕〔57〕 小野慎吉 YK091-4-1-57  
写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：弘前 (本町、新町、親方町)、深浦、浅瀬石ノ名家由緒書
- 〔今日庵雑記〕〔58〕 小野慎吉 YK091-4-1-58  
写 1冊 A5 ノート  
註：広須木造両新田開墾者成田家ノ記録 由緒書 田方千人役耕作手順相定メ日記 他
- 〔今日庵雑記〕〔59〕 小野慎吉 YK091-4-1-59  
写 1冊 B6 (縦ノート)  
註：文政十年御用金、町方盛衰見聞記 (文政年中ヨリ明治20年迄)、斎藤佐左衛門由緒書
- 郷土資料 〔一〕〔小野慎吉〕 YK091-4-2-1  
写 1冊 A5判 (ノート)  
註：為信公像賛、弘前徒町屋敷割解題、渋江道純履歴抜萃、夢想の連歌、学問所、道場経費、奥女伝、他
- 〔郷土資料 二〕〔小野慎吉〕 YK091-4-2-2  
写 1冊 菊判 (ノート)  
註：土族在着付附
- 〔郷土資料 三〕〔小野慎吉〕 YK091-4-2-3  
写 1冊 A5判 (ノート)  
註：三世寺小山家、茶道近藤友斎家
- 〔郷土資料 四〕〔小野慎吉〕 YK091-4-2-4  
写 1冊 菊判 (ノート)  
註：旧和徳村保存ノ文書、堀内家文書、山鹿流兵学省略系、片谷家略譜、十百韻俳諧之連歌、他
- 郷土資料 〔五〕〔小野慎吉〕 YK091-4-2-5  
写 1冊 半紙 仮和  
註：先住民ノ遺跡 (千年山、小栗山…)
- 郷土資料 〔六〕〔小野慎吉〕 YK091-4-2-6  
写 1冊 半紙 仮和

- 註：岩木村、豊田村、船沢村
- 〔郷土資料 七〕〔小野慎吉〕 YK091-4-2-7  
写 1冊 A5判(ノート)  
註：鮭ほり下書之事、碓関口出人下書之事、鯡ヶ沢沖口出来下書之事
- 〔郷土資料 八〕〔小野慎吉〕 YK091-4-2-8  
写 1冊 A5判(ノート)  
註：織田虎五郎孝久ノ由緒書、ハルク形三本櫓安済丸、イロハ分ケ由緒書抄出、他
- 〔郷土資料 九〕〔小野慎吉〕 YK091-4-2-9  
写 1冊 B6判(ノート)  
註：鬼沢庄屋
- 郷土資料 〔十〕〔小野慎吉〕 YK091-4-2-10  
写 1冊 半紙 仮和  
註：山鹿素行先生日記ヨリ
- 〔郷土資料 十一〕〔小野慎吉〕 YK091-4-2-11  
写 1冊 判(ノート)  
註：片谷家略系(過去帳)
- 〔郷土資料 十二〕〔小野慎吉〕 YK091-4-2-12  
写 1冊 19.5×15.5判(ノート)  
註：杉山家由緒書
- 〔郷土資料 十三〕〔小野慎吉〕 YK091-4-2-13  
写 1冊 A5判(ノート)  
註：信牧、信牧ノ事 斎藤陸氏家系略
- 〔郷土資料 十四〕〔小野慎吉〕 YK091-4-2-14  
写 1冊 A5判(ノート)  
註：雑纂(郷土に関係ある分)
- 〔郷土資料 十五〕〔小野慎吉〕 YK091-4-2-15  
写 1冊 20×16判(ノート)  
註：津軽地内逸語録
- 〔郷土資料 十六〕〔小野慎吉〕 YK091-4-2-16  
写 1冊 A5判(ノート)  
註：数学、暦学、七戸覚蔵晴睦伝、中田勇蔵武軌伝
- 〔郷土資料 十七〕〔小野慎吉〕 YK091-4-2-17  
写 1冊 16×20判(ノート)  
註：雑
- 〔郷土資料 十八〕〔小野慎吉〕 YK091-4-2-18  
写 1冊 B6判(ノート)  
註：成田敏吉由緒書、平田門人津経国学者名前覚え
- 津軽古跡名勝調 〔小野慎吉〕 YK091-4-3-1  
明治17(1884)写 1冊 菊 仮和
- YK091-5 特別貴重資料**
- 足利成氏御内書 ★ YK091-5-1  
写 1通  
註：宇都宮右馬頭あて 成氏は古河公方の初代(阿保左一郎旧蔵)
- 足利高基書状 ★ YK091-5-2  
永正11(1541)か。写 1通  
註：宇都宮弥三郎あて 高基は古河公方3代、(阿保左一郎旧蔵)
- 足利晴氏御内書 ★ YK091-5-3  
写 1通  
註：晴氏は古河公方4代。(阿保左一郎旧蔵) 文松蔵主あて
- 鎌倉御所足利持氏感状 ★ YK091-5-4  
永享4(1432)写 1通  
註：小野崎越前三郎あて 持氏は、第4代鎌倉公方。(阿保左一郎旧蔵)
- 芦名主計頭書状 ★ YK091-5-5  
写 1通  
註：芦名主計頭義広か 宇都宮帯刀あて
- 花山院静屋書状 ★ YK091-5-6  
万治3(1660)か 写 1通  
註：傍嶋九郎左衛門あて 傍嶋太兵衛死去の悔状
- 喜連川義氏御内書 ★ YK091-5-7  
写 1通  
註：昌純喝食あて(阿保左一郎旧蔵)
- 久祥院消息 ★ YK091-5-8  
写 1軸(軸装)  
註：四代藩主信政の生母 津軽大蔵あて 年頭祝儀の礼
- 北義信書状 ★ YK091-5-9  
写 1通  
註：小野崎越前守あて 義信は佐竹氏支流北家の二代(阿保左一郎旧蔵)
- 光聚院消息 ★ YK091-5-10  
写 1通  
註：梅津内蔵丞あて 「佐竹修理大夫義隆公夫人光聚院様より老臣梅津内蔵丞へ賜りたる御文」(阿保左一郎旧蔵)
- 佐竹義昭書状 ★ YK091-5-11  
写 1通

註:佐竹義篤の子 小野崎越前守あて (阿保左一郎旧蔵)

**佐竹義重書状** ★ YK091-5-12

写 1通

註:小野崎越前守あて 小野崎氏へ出陣を命じたもの(阿保左一郎旧蔵)

**佐竹義宣書状** ★ YK091-5-13

文禄2(1593)か。写 1通

註:和田安房あて「佐竹中将義宣肥前名護屋陣中ヨリ国家老和田氏ニ送りタル書」(阿保左一郎旧蔵)

**佐竹義隆書状** ★ YK091-5-14 (イ)

写 1通

註:宇都宮恵斎あて「鑑照院様ヨリ恵斎ニ被下候御直書」。恵斎は初め結城七郎と称す。(阿保左一郎旧蔵)

**佐竹義隆年譜** ★ YK091-5-14 (ロ)

註:「寛政重修諸家譜」より抜粋か。

YK091-514の解説。(阿保左一郎旧蔵)

**津軽為信書状** ★ YK091-5-15

慶長12(1607)か。写(原本)1通

内容:塩越にて盗賊に会い、楯岡豊前守へ申入 大和泉讃岐守あて

**南部利敬書状** ★ YK091-5-16

写 1通

註:南部第36代藩主

**南部信真書状** ★ YK091-5-17

写 1通

註:八戸藩8代藩主 分部若狭守あて

**南部英之助(信経)書状** ★ YK091-5-18

写 1通 切紙

註:成瀬隼人正あて

**松平讃岐守(頼真)書状** ★ YK091-5-19

写 1通

註:讃岐高松藩第6代藩主

**向右近(宣政)書状** ★ YK091-5-20

慶長14(1609)か。写 1通

註:大泉讃岐あて 花山院蝦夷ヶ島御下向の記事あり(阿保左一郎旧蔵)

**弘前藩主江戸ニ於テノ正式御行列図** ★ YK091-5-21

写 1卷

註:「朱書説明は後で旧藩時代の御行列方故古川斧八氏より聞取りて書加えたるものなり」とあり

**YK100 哲学**

**YK121 日本思想**

**聖教要録 全**〔山鹿高祐(素行)〕 YK121-1  
寛文5(1665)写 1冊 美濃 和

**聖教要録 全** 山鹿素行 YK121-2  
寛文5(1665)写 1冊 美濃(大) 和  
註:山鹿先生門人等謹題

**志録卷 全** YK121-3  
元禄11(1698)写 1冊 横中 仮和

**山鹿語類 警戒 全** YK121.6-1  
写 1冊 美濃 和  
註:内題「先生自警」  
別名「山鹿語類自警」「山鹿素行自警」

**原源発機** 山鹿素行 YK121.6-2  
写 1冊 美濃 和  
註:虫損本

**YK123 経書**

**五六略** 山崎顯貞清朴輯 YK123-1  
写 1冊 美濃半 仮和  
註:清朴(1788~1815)は津軽藩表医者  
「永禄日記」「館越日記」を書いた立朴の子

**繫辞伝略説** 津軽緝熙 YK123.1-1  
写 1冊 半紙 和  
註:繫辞は文王の作ったという卦辞  
緝熙(1773~1828)は津軽中書永孚(弘前藩家老、藩校稽

- 古館初代総司)
- 繫辞伝略説** 津軽緝熙 **YK123.1-2**  
写 (ペン書) 1冊原稿用紙 仮和  
註：繫辞は文王の作ったという卦辞。緝熙 (1773～1828) は津軽中書永孚 (弘前藩家老、藩校稽古館初代総司)
- 毛詩** (詩経) 上 **YK123.1-1**  
刊 1冊 半紙 和
- 礼記** **YK123.4-1**  
刊 1冊 美濃 和
- 四書片加奈附孟子** 全 **YK123.8-1**  
刊 1冊 菊 和
- YK124 儒教**
- 积奠御儀式** 四冊之内 **YK124-1**  
写 1冊 美濃 仮和  
註：孔子を祀る御祭礼掌事の記録  
蔵印「御日記方」
- 昌平坂积奠備物** **YK124-2**  
写 1冊 半紙 仮和  
註：巻頭に「文化三丙寅年九月林家より来る (1806)」とある
- YK125 中世及び近世思想**
- 急就篇** 史游撰 **YK125-1**  
〔天保8 (1837)〕刊 1冊 美濃 和  
註：本書は四巻のうちの一巻。一巻を34章に分ち、万物の名及び人の姓字を列叙し、之解釈したるもので童

蒙簡牘を学ぶものに作りたるもの。游は元帝の時の黄門令。巻末の小島知足識「後書」に渋江抽斎の名が見える。

**YK133 近代哲学 米英哲学**

- 自由之理** 第一冊 **YK133-1-1**  
(英) 弥爾 (ミル) 著 中村敬太郎 (正直) 訳  
静岡 須原屋善蔵 (木平謙一郎蔵版) 明治4 (1871)  
刊 1冊 半紙 和
- 自由之理** 第二冊上 **YK133-1-2**  
(英) 弥爾著 中村敬太郎 (正直) 訳  
静岡 須原屋善蔵 (木平謙一郎蔵版) 明治4 (1871)  
刊 1冊 半紙 和
- 自由之理** 第二冊下 **YK133-1-3**  
(英) 弥爾著 中村敬太郎 (正直) 訳  
静岡 須原屋善蔵 (木平謙一郎蔵版) 明治4 (1871)  
刊 1冊 半紙 和
- 自由之理** 第三冊 **YK133-1-4**  
(英) 弥爾著 中村敬太郎 (正直) 訳  
静岡 須原屋善蔵 (木平謙一郎蔵版) 明治4 (1871) 刊  
1冊 半紙 和
- 自由之理** 第四冊 **YK133-1-5**  
(英) 弥爾著 中村敬太郎 (正直) 訳  
静岡 須原屋善蔵 (木平謙一郎蔵版) 明治4 (1871)  
刊 1冊 半紙 和
- 自由之理** 第五冊 **YK133-1-6**  
(英) 弥爾著 中村敬太郎 (正直) 訳  
静岡 須原屋善蔵 (木平謙一郎蔵版) 明治4 (1871)  
刊 1冊 半紙 和

**YK148 相法 易占**

- 古学王版図** 平田篤胤 **YK148-1**  
天保5 (1834) 写 1帖 折 (18×8×4)  
註：河図、八卦、太界古曆伝、八卦八運分道発生図、生涯年卦図、喉音三行分生図、字音仮字三会図、太早古律十二管、五十音訂正図、部首五運図、赤縣歴代尺、他
- 天啓顕真秘術書** 卷之一卷之二卷之三 **YK148-2**  
久佐賀義孝  
東京 久佐賀満吉 明治24 (1891) 刊 1冊 半紙 仮和  
註：卷之一伝「天地季節原因秘密之巻」  
喜之二伝「十二宮性質詳解之巻」  
卷之三伝「天地季節活用秘訣書之巻」
- YK150 倫理学 道德**
- 和漢文明記・道德仁義説** 合刻 **YK150-1**  
小南慥斎  
江戸 和泉屋庄治郎 文政8 (1825) 刊 1冊 半紙 和  
註：慥斎 (1771～1860) ハ江戸後期ノ儒者 (壬生藩)
- YK156 武士道**
- 武士心得之筋聞書** **YK156-1**  
写 1冊 半紙 和
- 武士嗜** **YK156-2**  
写 1冊 半紙 和  
註：諸書ヨリノ拔萃
- 主従心得抄** 完 **YK156-3**  
清野外衛正 (17歳)



- 嘉永4(1851)写 1冊 半紙 和
- YK157 報徳教 石門心学**
- 我津衛** 上中下 手島堵庵 **YK157-1**  
京都 小川多左衛門 安永4(1775)刊 1冊 半紙 和  
註：別名「我杖」(心学道話)
- 我津衛** 上 手島堵庵 **YK157-2**  
〔明和7(1770)〕刊 1冊 半紙 和  
註：別名「我杖」(心学道話)
- YK159 人生訓 教訓**
- 家範** 明治38年8月21日 **YK159-1**  
明治38(1905)写 1冊 半紙 和  
註：津軽伯爵家 付家政條規
- 近衛家家憲** **YK159-2**  
活字本 1冊 洋紙19×27 仮和
- 窮居余論** 完 森内佐兵衛繁富 **YK159-3**  
文化3(1806)写 1冊 半紙 和  
註：西目屋村川原平蟄居中ノ著作
- 孝貞義之者取調之覚** 公務方書記 **YK159-4**  
写 1冊 半紙 仮和  
註：町在浦之孝子、節婦、義僕についての調べ覚書
- 津軽郡古今孝義録** 全 下沢保躬編 **YK159-5**  
明治8(1875)写 1冊 半紙 仮和  
註：明治4年(1871)7月以前は不残旧記類纂へ編入
- 無名郷** 全 乳井貢 **YK159-6**  
写 1冊 半紙 和
- 註：乳井了子翁七十歳編之と末尾にあり
- 無名郷** 全 **YK159-7**  
明治2(1869)写 1冊 半紙 和  
註：原著者は乳井貢
- 深山惣次** 卷之三・四・五(五卷之内) **YK159-8**  
乳井貢  
写 1冊 半紙 和  
註：大小の弁、金貨利息の沙汰、道法の水懸論、変化の見式、  
聖賢の亢慢、物価の分別、質の弁、智恵の詮議、他
- 世の中見やう善悪の事** **YK159-9**  
写 1冊 半紙 仮和  
註：「世の中見やう善悪之事」「春之彼岸七日之内に悪年  
を知る」「七月朔日より七日立内甲子悪年を知る」「往  
古よりきゝん年」「耕作伝書」他
- 新田閑暇咄** 全 菊地寛司著述 **YK159-10**  
安永5(1776)写 1冊 半紙 和  
註：寛司は名は正礼。津軽藩郡奉行、勘定奉行職。開田  
の持ち抱えと家中上着の趣意を建議して寛政の善政に  
寄与。本書の内容寓言佳話多し。
- 新田閑暇咄** 安永5年春 菊地寛司著述 **YK159-11**  
安永5(1776)写 1冊 半紙 和
- 新田閑暇咄** 菊地寛司著述 **YK159-12**  
安永5(1776)写 1冊 半紙 和
- 〔**新田閑暇咄**〕〔菊地寛司著述〕 **YK159-13**  
安永5(1776)写 1冊 半紙 和
- 恒陳家訓** 恒好 **YK159-14**  
明治25(1892)写 1冊 半紙 仮和
- 初学訓** 一 貝原益軒(篤信) **YK159-15-1**  
京都 植村藤右衛門 文化12(1815)刊 1冊 半紙 和
- 初学訓** 二 貝原益軒(篤信) **YK159-15-2**  
京都 植村藤右衛門 文化12(1815)刊 1冊 半紙 和
- 初学訓** 三 貝原益軒(篤信) **YK159-15-3**  
京都 植村藤右衛門 文化12(1815)刊 1冊 半紙 和
- 初学訓** 四 貝原益軒(篤信) **YK159-15-4**  
京都 植村藤右衛門 文化12(1815)刊 1冊 半紙 和
- 初学訓** 五終 貝原益軒(篤信) **YK159-15-5**  
京都 植村藤右衛門 文化12(1815)刊 1冊 半紙 和
- 民家育草**(絵入)上 大蔵永常 **YK159-16-上**  
江戸 須原屋茂兵衛 文政10(1827)刊 1冊 半紙 和  
註：教訓
- 民家育草**(絵入)中 大蔵永常 **YK159-16-中**  
江戸 須原屋茂兵衛 文政10(1827)刊 1冊 半紙 和  
註：教訓
- 民家育草**(絵入)下 大蔵永常 **YK159-16-下**  
江戸 須原屋茂兵衛 文政10(1827)刊 1冊 半紙 和  
註：教訓
- 修身叢語** 卷之上 川嶋梅坪 輯 **YK159-17-上**  
明治19(1886)写 1冊 半紙 和
- 修身叢語** 卷之下 川嶋梅坪 輯 **YK159-17-下**  
明治19(1886)写 1冊 半紙 和
- 女訓要旨** 全 水野秋彦 **YK159-18**

- 東京 錦森堂 明治13(1880)刊 1冊 半紙 和
- 女小学 全** **YK159-19**  
江戸 山城屋平助 刊 1冊 半紙 和
- 白川候〔侯〕御著述「鸚鵡詞」「求龍説」全** **YK159-20**  
松平定信  
天明7(1787)写 1冊 半紙 和  
(木立守貞旧蔵)
- 深山惣次 壹ヨリ式迄〔乳井貢〕** **YK159-21**  
写 1冊 半紙 和  
註：貢(1712～1792)は市郎左衛門建福(建富)ともいう。宝暦・安永の頃の勘定奉行・経済学者
- 深山惣次 二〔乳井貢〕** **YK15912**  
写 1冊 半紙 和
- 告志篇〔徳川斉昭〕** **YK159-23**  
天保4(1833)写 1冊 半紙 和
- 復政談 森内繁富** **YK159-24**  
写 1冊 半紙 仮和  
註：繁富は通称佐兵衛、宝暦頃津軽藩士。「貞享規範」の著者
- 女中庸** **YK159-25**  
写 1冊 半紙 和
- 無名郷 乳井貢(八十歳)** **YK159-26**  
天保3(1832)写 1冊 半紙 仮和
- 養勇御弁** **YK159-27**  
天明6(1786)写 1冊 半紙 和  
註：巻尾に「奥州津軽一郡之城主信政君より奉授与之」

とある。御側役唐牛頼母親弥、授与之小倉荷休根豊、授与之田中宗前衛門真武より森岡金吾へ。この金吾は天明4年家督を継いだ森岡金吾元民のことか。

- 女中金駒蔵(女重宝記追加手鑑)全** **YK159-28**  
油屋藤七郎板 元禄16(1703)刊 1冊 半紙 和

- 分限心之的(教訓式目)好花堂野亭** **YK159-29**  
大阪 河内屋茂兵衛 天保14(1843)刊 1冊  
美濃半 和  
註：野亭(1788～1846)は狂歌師

- 和語陰騭文絵抄 卷上** **YK159-30-1**  
袁了凡著 南里亭其楽増補 葛飾戴斗画  
江戸 須原屋茂兵衛 文政3(1820)刊 1冊 半紙 和

- 和語陰騭文絵抄 卷下** **YK159-30-2**  
袁了凡著 南里亭其楽増補 葛飾戴斗画  
江戸 須原屋茂兵衛 文政3(1820)刊 1冊 半紙 和

- 孝行萌草 梧桐庵** **YK159-31**  
江戸 山口屋藤兵衛 天保14(1843)刊 1冊  
美濃半 和

- 工藤先生教示録 明治12年〔笹森儀助編〕** **YK159-32**  
明治12(1879)写 1冊 半紙 仮和  
註：工藤先生とは旧津軽藩士・教育者・学者の他山先生工藩主膳(1818～1889)のこと。  
笹森儀助宛白筆の書翰あり。

- 経世宝言 完 横須賀安枝(静齋)** **YK159-33**  
東京 著者 明治28(1895)刊 1冊 半紙 和  
註：友人である思想家・教育家の西村茂樹(1828～1902)の序あり

**YK160 宗教**

- 八戸保古良嫂** **YK160-1**

明治28(1895)写 1冊 半紙 和  
註：原文は元禄四(1691)年  
他「扒摺(えぶりずり)之大意」

- 寺社領分限帳 正徳元年4月** **YK160-2-1**

正徳元(1711)写 1冊 半紙 和  
(寛政七年作事吟味役備付)  
註：津軽諸寺社の分限帳。6冊の内3冊のみ(本書ハ長勝寺他)。但し本館所蔵「津軽古図書保存会文庫」に本書6冊の合本(乙1367～372)がある

- 寺社領分限帳 正徳元年4月** **YK160-2-2**

正徳元(1711)写 1冊 半紙 和  
(寛政七年作事吟味役備付)  
註：津軽諸寺社の分限帳。6冊の内3冊のみ(本書ハ貞昌寺他)。但し本館所蔵「津軽古図書保存会文庫」に本書6冊の合本(乙1367～372)がある

- 寺社領分限帳 正徳元年4月** **YK160-2-3**

正徳元(1711)写 1冊 半紙 和  
(寛政七年作事吟味役備付)  
註：津軽諸寺社の分限帳。6冊の内3冊のみ(本書ハ本行寺他)。但し本館所蔵「津軽古図書保存会文庫」に本書6冊の合本(乙1367～372)がある

- 寺社領分限帳 正徳元年4月** **YK160-3**

正徳元(1711)写 1冊 美濃 仮和  
蔵印「御日記方」  
註：津軽諸寺社の分限帳。6冊の内1冊のみ。(本書ハ貞昌寺他)但し本館所蔵「津軽家文書」に〔本行寺、他(TK-160-7)〕1冊がある

- 本藩寺社帳** 天保7年6月 YK160-4  
天保7(1836)写 1冊 横中 和  
註：宗派別津軽諸寺庵・同支配社家禄高・御扶持并御目見以下寺社
- 御寄附知寺社方** 宝暦6年12月 YK160-5  
宝暦6(1756)写 1冊 美濃 仮和
- 津軽御郡内寺社調** YK160-6  
写 1冊 半紙半 和  
註：最勝院支配社家調(文化10年1813)青森新県取斗調、在後不残黒石往還調
- 寺社旧記抜書** YK160-7  
〔文化13(1816)〕写 1冊 半紙 和  
註：津軽領内
- 寺社御仕置御定書** YK160-8  
写 1冊 半紙 仮和  
蔵印：「刑律方」
- 寺社領御新換元帳(貞享調)** 天保7年10月 YK160-9  
御山方  
天保7(1836)写(謄)1冊 半紙 仮和
- 寺社一列御次第并録〔禄〕高御扶持方惣録〔禄〕并惣録〔禄〕並御目見以下之寺社調帳扣** 天保5年10月 YK160-10  
天保5(1834)写 1冊 横長 仮和  
蔵印：「社寺方」  
註：嘉永七甲寅年(1854)三月廿四日御日記方江相廻候表
- 寺社覚 全** YK160-11  
写 1冊 半紙 和  
註：末尾に「此一冊妙心公御代書」とある。妙心公は
- 四代藩主津軽信政(1646～1710)
- 弘前并在々浦々建立社堂帳面** 長利薩摩 YK160-12-イ  
写(謄)1冊 半紙 仮和  
註：原本は寛延3年(1750)6月書  
内題「御領分中社堂古来ヨリ御上江不申出下仁而建立候覆之部」
- 弘前并在々浦々建立社堂帳面** 長利薩摩 YK160-12-ロ  
写(ペン)1冊 原稿紙 仮和
- 寺社御仕置御定書** YK160-13  
写 1冊 美濃 仮和
- 寺社一列** YK160-14  
写 1冊 横小 仮和  
註：津軽領内
- 長勝寺高岡御告帳** 文政元年4月ヨリ同年10月12日迄御家老 YK160-15  
文政元～10(1818～1827)写 1冊 半紙 仮和
- 三山草創記之内抜書** 太田松儒 YK160-16  
明治25(1892)写 1冊 半紙 仮和  
註：仏水山万勝寺満願護国院記、羽黒山本社、湯殿山七口開基、他
- 社寺由緒** 清野清(神職・清風軒玉峰) YK160-17  
写 1冊 半紙 仮和  
註：内題「配下宮帳扣 元禄書上 大行院」
- 堂社縁記修験道由緒** 長利薩摩 YK160-18  
写 1冊 半紙 仮和
- 青森旧記之写堂社建立記** YK160-19
- 佐藤理左衛門・村井新助(青森御派頭)  
写 1冊 半紙 仮和  
蔵印「御日記方」
- 社堂縁起** 小野若狭正益(最勝院支配) YK160-20  
元禄15(1702)写 1冊 半紙 和  
註：小野若狭は弘前八幡宮神主
- 社堂縁記修験道由緒** 長利薩摩 YK160-21  
昭和11(1936)写(ペン書)1冊 原稿紙 仮和  
註：原本は大行院大先達法印長慶の記〔元禄15年(1702)〕長利薩摩は弘前熊野宮宮司
- 神社明細誌** 寺院明細誌 YK160-22  
〔明治15(1882)?〕写 1冊 半紙 和  
(青森県戸籍掛旧所有)
- 〔北海道寺社由緒〕** YK160-23  
昭和4(1929)写 1冊 美濃 仮和  
註：北海道江差の藤枝修衡氏所蔵書の写
- 神社仏閣掲額編** 第一巻 下沢陳平編 YK160-24  
大正4(1915)写 1冊 半紙 仮和  
註：弘前市内神社仏閣
- 〔神社仏閣境内墓碑編 第壹巻〕** YK160-25  
写 1冊 半紙 仮和  
註：明治末期の編纂か
- 寺社関係資料** 上(藩政期) YK160-26  
昭和9(1934)写(ペン書)1冊 半紙大 仮和  
註：県庁所蔵書類抄
- 古社寺境内絵図面綴** 明治28年調 YK160-27  
明治28(1895)写 1冊 半紙 和

- 註：弘前市内三社十七個寺
- 東武年祭宮すすめ** YK160-28  
江戸 翫月堂 享和3(1803)刊 1冊 30×39  
註：「江戸中神仏月並縁日」「年中所々祭礼」  
附「買物案内」
- 熊野宮・実性庵・旧淡嶋神社境内地坪并立木調**  
明治7年4月調 YK160-29  
明治7(1874)写 1冊 半紙 仮和
- 元禄十一年社堂縁記** 田村鷹建立社堂 安倍貞世(季平)  
元禄11(1698)写 1冊 半紙 仮和 YK160-30  
註：「別段御用向勤務 下沢保躬(明治4年 1871)」  
が巻尾二合冊
- YK170 神道**
- 津軽神霊旧事録** YK170-1- 乾  
〔明治15(1882)〕写 1冊 半紙半 和  
註：石神村(現青森市内)佐藤直橘之秘本の写本
- 津軽神霊旧事録** YK170-1- 坤  
〔明治15(1882)〕写 1冊 半紙半 和  
註：石神村(現青森市内)佐藤直橘之秘本の写本
- 御秘事御用扣** YK170-2  
〔文政6(1823)〕写 1冊 横中 仮和  
註：津軽寧親公御寿像一件と山王一実神道
- 神儒仏弁書** 工藤外母藤原広保(深浦神明宮社司)  
天保2(1831)写 1冊 半紙 仮和 YK170-3
- 神風記** 匹田以正 YK170-4  
寛文8(1668)刊 1冊 半紙 仮和
- 註：以正(コレマサ)は徳川初期の神道学者
- 一事重位奥秘伝** YK170-5  
寛政元(1789)写 1冊 半紙 仮和
- 中臣三箇五箇八箇之大事秘伝** 永沢奉実 YK170-6  
文久3(1863)写 1冊 半紙 仮和  
註：原文は寛政5年(1793)、津軽藩学問所和学方御用係・高岡祭司役手伝斎藤規房(1769～1839)書
- 吉川家神祇道伝授書** 吉川源十郎(従奥)から諏訪勤宅へ  
享保20(1735)写 1通 YK170-7  
註：「付紙」あり。吉川源十郎(従方)より諏訪行貞へ  
文政5(1822)5月
- YK171 神道思想 神道説**
- 惟足ニ関する書類** 永沢得右衛門 YK171-1  
大正4～5(1915～1916)写 1冊 半紙 仮和  
註：幕府神道方吉川惟足(津軽信政師)の関係資料。得右衛門は「津軽史」の編纂者
- 〔吉田流神道〕** YK171-2  
写 1冊 半紙 仮和
- 唯一神道秘〔祓〕三部鈔三種太秘〔祓〕俗解** 上下并序  
吉田定俊 YK171-3  
元禄2(1689)刊 1冊 半紙 和
- 異理和理阿者勢鏡抄書**〔増穂残口〕 YK171-4  
写 1冊 半紙 仮和  
註：残口(1655～1742)は江戸中期の国学者、戯作者
- YK175 神社 神職**
- 留日記 全** YK175-1  
宝暦4(1754)写 1冊 半紙 和  
註：(熊野宮、山王宮)両社御神器之事有社領反別有
- 就日光御修復兩度御登山日記** 天和3年 YK175-2  
天和3(1683)写 1冊 美濃 和  
註：從九月十三日 至干同十九日 從十一月二日至干同  
十二日 江戸～日光
- 就日光御修復被仰渡覚帳** 天和3年 YK175-3  
津軽玄蕃、田村藤大夫、堀佐左衛門  
天和3(1683)写 1冊 美濃 和  
註：從閏五月廿六日至干貞享元甲子年三月廿九日
- 日光御社参御行列御泊御休覚** 享保13年 YK175-4  
享保13(1728)写 1冊 横小 仮和  
註：四月十三日御発駕 同廿一日還御 日光一日御逗留
- 日光御参詣御行列御役人附** 天保14年4月 YK175-5  
天保14(1843)写 1冊 横小 和
- 参詣之次第** YK175-6  
斎藤熊蔵規冲  
嘉永3(1850)写 1冊 卷紙 136×17
- 山王江竹千代様御宮参り之御行列書** YK175-7  
元文2(1737)写 1冊 横長 和  
註：竹千代は十代將軍徳川家治の幼名
- 惣司扣役勤** YK175-8  
宝暦8(1758)写 1冊 半紙 仮和  
註：神社関係
- 湯船小屋敷両村産神操合書付留** YK175-9  
文久3(1863)写 1冊 半紙 仮和

- 註：鼻和庄・赤石組湯船村小屋敷村（現鯉ヶ沢町鳴沢）  
一部紙背文書
- 大性邑神明宮旧記補伝考** 下書 YK175-10  
写 1冊 半紙 仮和
- 御宮御調書上帳** 寛政12年12月 YK175-11  
佐々木常陸（宮地村諏訪宮社司）  
寛政12（1800）写 1冊 半紙 仮和  
註：宮地村ハ現岩木町（中津軽郡）
- 奇〔寄〕進帳** 宝暦12年6月 YK175-12  
工藤加賀（御用書付方）  
宝暦12（1762）写 1冊 半紙 仮和  
註：工藤加賀は鯉ヶ沢町白幡宮宮司
- 尾天山御遷宮并御神楽覚帳** 明和4年5月 YK175-13  
斎藤長門守（神主）  
明和4（1767）写 1冊 半紙 仮和
- 神子舞衆差貫一件帳** 慶応3年12月 YK175-14  
斎藤長門（神明宮神主）  
慶応3（1867）写 1冊 半紙 仮和
- 長利仲房隠居被仰付候一件** 文政3年3月 YK175-15  
文政3（1820）写 1冊 半紙 仮和
- 諏訪宮御迁（遷）宮料・御神楽料・御鷹御祈祷料御調帳**  
享保元年5月 YK175-16  
佐々木常陸（宮地村諏訪宮社司）  
享和元（1801）写 1冊 半紙 仮和
- 来ル十八日高岡江御寄附状御神領目録被献候取扱調帳**  
安政6年11月 YK175-17  
安政6（1859）写 1冊 半紙 和
- 高岡御大祭二付御番人被仰付相勤候通記置** YK175-18  
寛政2年7月23日 対馬文治郎  
寛政2（1790）写 1冊 半紙 仮和  
註：紙背文書
- 御行列帳** 御行列係 YK175-19  
写 1冊 横長 仮和  
註：明治初年ノ御神輿行列か
- 神事政事之一体** YK175-20  
写 1冊 半紙 仮和
- 御答書下書** 覚 清野備前（八幡宮下社家） YK175-21  
写 1冊 半紙 仮和
- 覚（斎藤少式書状留）** 斎藤少式（長門）（弘前神明宮神主）  
弘化2（1845）写 1冊 半紙 仮和 YK175-22
- 神社定則** 壬申（明治5年）2月 太政官 YK175-23  
明治5（1872）写 1冊 半紙 和  
註：「神社名并祭神一覽」ト合冊
- 御宮并霞共ニ和田宇門広田伊門相預ヶ候覚** YK175-24  
享保15年8月6日  
享保15（1730）写 1冊 半紙 仮和
- 神明宮文化六年以来諸神事留記** YK175-25  
〔文久2（1862）〕写 1冊 半紙 仮和
- 御廻状并私用支配共留記** 安永10年正月 YK175-26  
斎藤長門（弘前神明宮神主）  
安永10（1781）写 1冊 半紙 仮和
- 御宮廻リ御用留帳** 支配宮兵 享保11年正月11日
- 〔斎藤長門（弘前神明宮神主）〕 YK175-27  
享保11（1726）写 1冊 半紙 仮和
- 覚（百沢御宮廻彫物作調）** YK175-28  
写 1冊 横小 仮和
- 東照宮御法会御番人被仰付候留** 文化12年4月  
文化12（1815）写 1冊 半紙 仮和 YK175-29
- 高岡岩木山記事** YK175-30  
写 1冊 半紙 和 一部蔵印「御日記方」  
註：高照霊社縁記（享保13年）、御宮御宝器（明和3年）、  
高岡御埋葬御行列、年中御供物（元文5年）、御神楽配役、  
御神馬被献御神事式（寛政12年）（蔵印「御日記方」）、  
岩木山、御名代調（慶応4年）
- 住吉社記事** 小見山橋守胤伝之（自命守親写之）  
天明7（1787）写 1冊 半紙 和 YK175-31  
註：住吉本殿末社神名記、住吉名所旧跡并古歌、住吉社  
内間数、年中行事
- 〔高岡〕**鎮宮一貫記** 斎藤鋳右衛門（藤原規房）  
文化14（1817）写 1冊 美濃 和 YK175-32  
註：本書は天保4年（1833）の再写
- 藤崎村鎮座堰神社誌** 安倍金吾編輯 YK175-33  
大正4（1915）活 1冊 23×16 仮和  
森素鶴（林助）旧蔵
- 藤崎堰神宮由緒留書** 写 寛政3年6月 YK175-34  
堰八吉宮  
嘉永元（1848）写 1冊 半紙 和  
註：吉宮は吉宮太夫、堰神宮神主。（豊後守安延か）
- 藤崎堰神宮之記并由緒書** 安政4年3月 YK175-35

- 安政4(1857)写 1冊 半紙 和
- 福田宮縁〔縁〕記** 天保6年 **YK175-36**  
天保6(1835)写 1冊 半紙 仮和  
註：福田宮は「福田宮堰神社」(藤崎堰神宮)のこと
- 堰神乃由来** 大平義宜 **YK175-37**  
安政6(1859)写 1冊 半紙 仮和  
註：「福田宮堰神社」(藤崎堰神宮)の由来
- 堰神宮由来記** **YK175-38**  
万延元(1860)写 1冊 半紙 仮和  
註：「福田宮堰神社」(現南津軽郡藤崎町)の由来。巻尾に「津軽文学子源道仲〔沖〕識『合浦善知鳥』がある
- 海童神社誌** **YK175-39**  
青森県北津軽郡板柳町鎮座郷社海童神社社務所  
活 1冊 半紙 仮洋
- 行岳八幡宮誌** **YK175-40**  
大正14(1925)写 1冊 半紙 仮和  
註：郷社浪岡八幡宮由緒  
後半にペン書原稿あり
- 熊野奥照神社本殿について** (重要文化財指定記念)  
林清美(宮司) **YK175-41**  
昭和30(1955)活 1冊(7頁)菊 仮洋  
註：附「熊野宮絵はがき」
- 高岡御祭礼一件** 文久3年7月 横山真勝 **YK175-42**  
文久3(1863)写 1冊 横中 和
- 高岡御大祭図式四枚** 宝暦10年 **YK175-43**  
宝暦10(1760)写(図式)1袋(5枚)  
註：御大祭4枚の外に高岡御大祭御神事之節詰席并衛
- 護之図1枚が添えられている
- 御用留廻文留差上帳** 御用状等入 **YK175-44**  
明治2(1869)写 1袋(8点)
- 諸神社微細調社司由緒書上** 工藤耆岐 **YK175-45**  
安政2(1855)写 1冊 半紙 和  
註：工藤耆岐は深浦町神明宮社司
- 諸神社微細御調社司由緒書上帳** **YK175-46**  
安政3年8月 工藤播磨(広須組川端村)  
安政2(1855)写 1冊 半紙  
蔵印「御日記方」  
註：工藤播磨は川端村八幡宮(現西津軽郡柏村)の社司
- 社司由緒書上写** 斎藤肥後(清水八幡宮社司) **YK175-47**  
写(ペン)1冊 原稿紙 和  
註：清水八幡宮は現弘前市桜庭字清水流にあり  
本書は昭和18年、須藤千尋が斎藤氏より由緒書を借り  
受け写本、それを八木橋武美氏が再写
- 神社由緒** **YK175-48**  
写 1冊 半紙 和  
註：明治初期ノ記方
- 神社由緒・縁起** **YK175-49**  
写 1冊 半紙 仮和  
註：鹿島神社・鬼神宮・行岳八幡宮・行岳冤狭大神宮
- 神社由緒書並彙録** **YK175-50**  
清野清(神職・清風軒玉峯)  
昭和10(1935)写(複)1冊 半紙 仮和  
註：清野清は北津軽郡鶴田村稲荷神社社掌
- 浪岡源常林縁記** 有馬伊予(社司) **YK175-51**
- 安政6(1859)写 1冊 半紙 仮和  
註：姥神大明神縁起  
有馬伊予は北中野広峰神社(現南津軽郡浪岡町)の社司か
- 浪岡源常林姥神大明神縁記**〔有馬伊予(神主)〕  
安政6(1859)写 1冊 半紙 仮和 **YK175-52**
- 弘前神社略縁記** 中村良之進 **YK175-53**  
写(ペン書)1冊 半紙 仮和
- 社堂縁起記 神宝并境内記** 全 **YK175-54**  
〔小野若狭(弘前八幡宮神主)〕  
元禄17(1704)写 1冊 半紙 和
- 紛失縁紀之申伝** 小野磐根 **YK175-55**  
写 1冊 半紙 仮和  
註：小野磐根ハ弘前八幡宮宮司(1833～1889)
- 青森古録浪岡八幡宮記** 全 宮間将義 **YK175-56**  
安政4(1857)写 1冊 半紙 和
- 巖鬼山縁起書** **YK175-57**  
昭和5(1930)写 1冊 美濃 仮和  
註：「巖鬼山神社縁起」(安政元年・二年1854～55十  
腰内村社司長見貞司)合冊
- 第二大区八小区各村廃社地調** 明治7年2月 **YK175-58**  
明治7(1874)写 1冊 半紙 和
- 神仏混淆神社調帳** 乾 明治3年7月 **YK175-59-乾**  
小野磐根(弘前八幡宮宮司)、長利薩雄(弘前熊野宵宮司)  
明治3(1870)写 1冊 半紙 和  
註：弘前并東西直触
- 神仏混淆神社調帳** 坤 明治3年7月 **YK175-59-坤**

- 小野磐根（弘前八幡宮宮司）、長利薩雄（弘前熊野宮宮司）  
明治3（1870）写 1冊 半紙 和  
註：東西浦并中通新田共
- 御内意**〔小野磐根（弘前八幡宮宮司）〕 **YK175-60**  
〔明治元（1868）？〕写 1冊 横長 仮和  
註：弘前八幡宮由緒等并神主二関スル覚書
- 〔弘前管内藩内大小神社調 壹〕** **YK175-61- 壹**  
写 1冊 半紙 仮和
- 弘前管内藩内大小神社調 貳** **YK175-61- 貳**  
写 1冊 半紙 仮和
- 廃社調帳 社家長** **YK175 62- ㄨ**  
明治4（1871）写 1冊 半紙 仮和  
註：旧弘前藩領内
- 廃社調帳 社家長** **YK175-62- ㄩ**  
明治4（1871）写 1冊 半紙 仮和  
註：旧弘前藩領内
- 廃社調帳 社家長** **YK175-62- ハ**  
明治5（1872）写 1冊 半紙 仮和  
註：旧弘前藩領内
- 神明門前勤向規則書 明治3年12月** **YK175-63**  
斎藤千木（神主地頭）  
明治3（1870）写 1冊 半紙 仮和
- 大光寺組村々産神社地境内取調之表** **YK175-64**  
佐藤伴内（大庄屋）  
明治4（1871）写 1冊 半紙 仮和
- 社寺取調御達留 明治7年** **YK175-65**
- 明治7（1874）写 1冊 半紙 仮和  
註：「社寺調心得雑誌」「社寺取調規則写」（前半）と合冊
- 祝祭典有志名簿 明治31年5月** **YK175-66**  
長利仲聴（発起人…弘前熊野宮宮司）  
明治31（1898）写 1冊 半紙 仮和  
註：国学者荷田、加茂、本居、平田四大人、神靈ノ功得  
ヲ仰ギ奉リテノ祭祀
- 霊社起請文 上卷** **YK175-67**  
写 1冊 半紙 仮和  
（星野六蔵旧蔵）
- 事代主神事蹟考 附録伊豆国府考 完** **YK175-68**  
萩原正夫  
明治45（1912）活 1冊 菊 和  
註：一名伊豆三島神社祭神考
- 藩内大小神社考** **YK175-69**  
写 1冊 半紙 和
- 皇太神宮大麻奉祀式** **YK175-70**  
〔明治6（1873）？〕写 1冊 半紙 仮和
- 三種神宝極秘之伝 寛政11年孟春** **YK175-71**  
星野藤原尚賢  
寛政11（1799）写 1冊 半紙 和  
（星野六蔵旧蔵）
- 神宮統秘伝問答 全** **YK175-72**  
長利薩摩守仲朝  
安永2（1773）写 1冊 半紙 和
- 六根清浄太祓** **YK175-73**  
写 1冊 半紙 仮和
- 白山姫神社田植祭々神 附記農業関係諸神ノ系統**  
清野清（神職 弘前市祢宜町） **YK175-74-1**  
昭和10（1935）写 1冊 半紙 仮和  
註：清野清ハ北津軽郡鶴田村村社諸神社社掌
- 白山姫神社田植祭々神 附記農業関係諸神ノ系統**  
清野清（神職 弘前市祢宜町） **YK175-74-2**  
昭和10（1935）写 1冊 半紙 仮和  
註：神社由緒調書並彙録、他資料合冊
- 岩木山神社高照神社宝物拝観 昭和10年6月23日**  
昭和10（1935）写 1冊 半紙 仮和 **YK175-75**
- 神武着具并事相秘伝論 他** **YK175-76**  
1袋（10点余）
- 神社写生帖 中村良之進** **YK175-77**  
明治34～大正10（1901～1921）写 1冊 半紙  
仮和  
註：現弘前市并ソノ周辺、青森市
- 〔弘藩〕明治一統誌神社縁起録 内藤官八郎編著**  
写 1冊 半紙 仮和 **YK175-78**  
註：明治30年頃脱稿したと思われ、他二月令雜報摘要  
抄 寺院縁起録等と共に叢書をなす
- 津軽古今神社考諺解略 下沢保躬編輯** **YK175-79**  
弘前 編者 明治15（1882）刊 1冊 半紙 仮和
- 神風講社名簿帳 明治20年12月 講黒石神宮分教会所**  
明治20（1887）写 1冊 半紙 仮和 **YK175-80**
- 覚** **YK175-81**  
写 1冊 半紙 仮和

註：(中津軽郡)兼平村御神領一件、  
末尾に打越太郎の「神明宮講中」「警察掛御中」〔明治8  
年(1875)〕の書簡が添えられている

### YK176 祭祀

高岡御大祭御番人相勤候覚書 万延元年8月 YK176-1  
万延元(1860)写 1冊 横中 仮和

〔高岡御宮在番諸役勤書〕 YK176-2  
写 1冊 横中 仮和

尾太山年々御神楽山元二而相勤申候一件 享保15年  
享保15(1730)写 1冊 半紙 仮和 YK176-3

津軽神楽略史 完(高照公叢書第三卷) YK176-4  
一戸岳逸編

青森 青森通俗図書館 昭和12(1937)写(謄)1冊  
半紙 仮和

註：昭和11年清野清が編纂した神楽輯録を本編とし、  
附録に神楽式 神子舞神拝和歌式 吉川惟足と津軽信  
政公(外崎覚)高照神社明細及宝物調 国幣小社岩木  
山神社宝物調神道の大家吉川惟足(外崎覚)がある

津軽神楽略史 田中作左衛門編 YK176-5

青森 青森県神職会 昭和13(1938)活 1冊 菊 仮  
註：附「吉川惟足と津軽信政公(外崎覚)、国幣小社岩  
木山神社宝物調(外崎覚)」他

津軽神楽略史抄録 清野清(神職) YK176-6

昭和17(1942)写(複) 1冊 半紙 仮和  
註：当時、清野清は北津軽郡板柳町海童神社社掌(号清  
風軒 玉峯)

東照宮御祭礼神秘式 覚範(沙門不動金剛) YK176-7

文政元(1818)写 1冊 美濃 和

註：御祭礼神秘式・年中行事法式・遷宮神秘式・御遷  
座御供養神秘式・五十年御神忌大祭会略記・祭奠軌則・  
附「御社参式」(文政9年1826)。覚範は岩鬼由葉玉院  
(現弘前市笹森町)十三世の法印

葬祭小神楽式 文久元年 YK176-8

田名部吉宮守  
文久元(1861)写 1冊 半紙 和

龍雷之伝秘 YK176-9

安政6(1859)写 2通  
内容：龍雷之伝秘、身曾貴祓  
註：神祇道吉川家門人斎藤熊蔵から神太郎吉へ

### YK180 仏教

聖徳太子日本国未来記 全 YK180-1

京都 平楽寺 村上勘兵衛 慶安2(1649)重刊 1冊  
美濃 和

羽翼原人論(略解)自行思惟附 完 YK180-2

円通(日本三縁山恵照律院比丘)  
京都 永田調兵衛 文政7(1824)刊 美濃 和

### YK181 仏教教理 仏教哲学

拾二宗翻訳書宗宝鑑 第一 法相宗 子 YK181-1-1

写 1冊 半紙 和

拾二宗翻訳書宗宝鑑 第二 三輪宗 丑 YK181-1-2

写 1冊 半紙 和

拾二宗翻訳書宗宝鑑 第三 俱舍宗 寅 YK181-1-3

写 1冊 半紙 和

拾二宗翻訳書宗宝鑑 第四 成実宗 卯 YK181-1-4

写 1冊 半紙 和

拾二宗翻訳書宗宝鑑 第五 華嚴宗 辰 YK181-1-5

写 1冊 半紙 和

拾二宗翻訳書宗宝鑑 第六 律宗 己 YK181-1-6

写 1冊 半紙 和

拾二宗翻訳書宗宝鑑 第七 天台宗 午 YK181-1-7

写 1冊 半紙 和

拾二宗翻訳書宗宝鑑 第八 真言宗 未 YK181-1-8

写 1冊 半紙 和

拾二宗翻訳書宗宝鑑 第九 禅宗 申 YK181-1-9

写 1冊 半紙 和

拾二宗翻訳書宗宝鑑 第十 浄土宗 酉 YK181-1-10

写 1冊 半紙 和

拾二宗翻訳書宗宝鑑 第十一 真宗 戌 YK181-1-11

写 1冊 半紙 和

拾二宗翻訳書宗宝鑑 第十二 法華宗 亥 YK181-1-12

写 1冊 半紙 和

### YK184 法話 説教集

小夜時雨 YK184-1

写 1冊 半紙 和

註：仏教説話、末尾に「作事奉行小山内又右ヱ門ノ筆蹟」  
の書き込みあり。又右ヱ門は幕末の人。他に青森町奉行、  
新田奉行等も勤める。



魚鳥教諭秘決 大阿闍梨覚範 YK184-2  
文政3(1820)写 1冊 横中 和  
註:覚範は岩鬼山薬王院叡平寺十三世法印(弘前笹森町)

駒越組兼平村孫助存生来由物語 全 YK184-3  
写 1冊 半紙 和  
註:浄土真宗、兼平村渡辺孫助(文化6年没、文化8年没、安政2年没)三代の過去帳写(大正15年、教応寺)が添付されている。

### YK185 寺院 僧職

御代々様御位牌之覚 拾番 式冊之内 御尊牌調覚 十一番 式冊之内 YK185-1  
寺社奉行町田助太郎  
文化3(1806)拾番写 文化4(1807)十一番写  
合本 1冊 半紙 仮和  
註:御日記方ノ朱印アリ

法峠日記 妙経寺日記 法峠鐮打事件 法立寺日乘法峠記 写 1冊 横半紙倍 仮和 YK185-2

〔御霊殿御見分・諸拜礼等之節之図〕 YK185-3  
写 1冊 半紙倍 仮和

弘前寺院縁起志(草稿) 中村良之進編 YK185-4  
昭和7(1932)写 1冊 半紙 仮和  
註:弘前市内六拾ヶ寺全部

最勝院の五重の塔 中村良之進 YK185-5  
大正15(1926)新聞切り抜き 1冊 半紙 仮和  
註:弘前新聞記載

護国山久渡寺誌 卷一 森林助 YK185-6

写 1冊 半紙 仮和  
註:第一編 沿革 第二編 史蹟、名勝、雑稿  
附 久渡寺資料

寺院御目見扣 文政3年正月 松下和泉 YK185-7  
文政3(1820)写 1冊 横小 仮和

諸事留帳 自享保9年至寛保3年 慈雲院 YK185-8  
享保9~寛保3(1724~1743)写 1冊 半紙 仮和  
註:内題「慈雲院縁起并諸用記」慈雲院は享保10年(1725)、大行院跡地=現弘前高校(新寺町)の地に建てられ、明治の初め薬師寺(黒石市)へ合併、廃寺。

写書〔最勝院書状留〕 YK185-9  
安政3~4(1856~1857)写 1冊 半紙 仮和

御目付支配宗旨証文改帳 天保6年10月 YK185-10  
三浦孫六  
天保6(1835)写 1冊 半紙 和  
註:定府井上方御留守居組・御中小姓同格・御目見以上御留守居支配

虚無僧沓件 嘉永6年9月 YK185-11  
嘉永6(1853)写 1冊 横中 仮和  
註:虚無僧拾六ヶ条御定ノ覚(慶長14年1609)、尺八唐音

御郡中寺庵宗旨覚 文化元年4月 YK185-12  
文化元(1804)写 1冊 横小 仮和

高野山遍照学院旧記抜書 YK185-13  
〔嘉永2(1849)〕写(コピー)1冊 半紙判 仮和

光信公様御事長勝寺記録之内書取 乾坤合巻 YK185-14  
〔享保15(1730)〕写 1冊 半紙 仮和

註:功樹院公(津軽家遠祖大浦光信)御尊像一件関連記事として「御祭事之儀」「寺社役覚」が合冊「長勝寺役寮覚」が添えられている。巻尾に下沢保躬の一文あり。

大平山長勝寺三十七代璞応喚山和尚行実草藁 YK185-15  
法孫 松軒述  
昭和33(1958)写 1冊 半紙 仮和  
註:喚山和尚(文化4年~明治20年)(1807~1887)

護国山幽吳〔霊〕の図のこぼ YK185-16  
写 1冊 半紙 仮和  
註:護国山は久渡寺  
このあとに「大道寺久繁うじのよろこびの詞」がある

由緒書(法輪山真教寺)公存(真教寺十六世) YK185-17  
安政3(1856)写 1冊 半紙 和  
蔵印「御日記方」

由緒書(遍照山法源寺)恵静(法源寺) YK185-18  
安政3(1856)写 1冊 半紙 和  
蔵印「御日記方」

毘沙門天古記之写 午正月 YK185-19  
佐藤理左衛門(青森町年寄)  
写 1冊 半紙 仮和  
蔵印「御日記方」  
註:巻尾に「本教 神道事務局なる…」の新聞切り抜き(明治10年12月20日)あり

愛宕大権現資料〔下沢陳平集録〕 YK185-20  
写 1冊 半紙 仮和  
註:愛宕山橋雲寺資料  
後半紙背文書

曹洞諸寺院縁〔縁〕起志 革秀十一世顕古牛 YK185-21

- 元禄 15 (1702) 写 1冊 半紙 和  
註：革秀は津軽山革秀寺（現弘前市藤代）のこと
- 地藏菩薩壹万体印行縁起** 大僧都徳春識 YK185-22  
嘉永 5 (1852) 木版 1冊 半紙 和  
（台嶺不動院蔵版）  
註：台嶺は比叡山の異称
- 庚申之縁記** YK185-23  
写 1冊 半紙 和
- 陸奥国津軽郡合浦外ヶ濱三厩泊龍馬山観世音縁記**  
藤原憲隆 YK185-24  
明治 36 (1903) 写 1冊 半紙 和
- 奥州津軽合浦外浜三厩龍馬山勧世音縁記** 如現（龍馬山現住沙門） YK185-25-イ  
延宝元（1673）木版 1冊 半紙 仮和  
註：見開キ「東都藍田珊然図」は寛政 11 年（1799）
- 奥州津軽合浦外浜三厩龍馬山勧世音縁記** 如現（龍馬山現住沙門） YK185-25-ロ  
延宝元（1673）木版（後刷）1冊 半紙 仮和
- 浄土真宗一派縁記** 法輪山真教寺浄瑞 YK185-26  
元禄 14 (1701) 写 1冊 半紙 仮和  
註：本書は大正 4 年（1918）の写  
真教寺・塔頭・末寺・専徳寺・末寺・円明寺・末寺
- 宗旨証札之事** 弘前天徳寺 YK185-27  
慶応 2 (1866) 写 1枚 32×43
- 本尊大日如来略縁記写** 鳴海清吉 YK185-28  
弘化 2 (1845) 写 1冊 半紙 仮和  
註：神岡山高伯寺（現南津軽郡大鰐町蔵館）、本尊縁起
- 縁起写** 橋雲寺 YK185-29  
写真 1冊 半紙大 ホチキス  
註：原本内題「愛宕山勝寿院橋雲寺」  
〔元禄 14 年（1701）伝灯大阿闍梨法印宥智ノ記〕
- 浄土宗諸寺院縁起** 全 YK185-30  
念蓮社一誉良専上人清南和尚  
元禄 14 (1701) 写 1冊 美濃 和  
註：清南和尚は月窓山貞昌寺栄源院九世住職
- 浄土真宗一派縁起** 法輪山真教寺浄瑞 YK185-31  
元禄 14 (1701) 写 1冊 美濃 和
- 阿闍羅山** YK185-32  
写 1冊 半紙 仮和  
註：阿闍羅山は中世、修験揚が栄えた地
- 岩木山百沢寺旧記** YK185-33  
写（複）1冊 美濃 仮和
- 弘前寺院縁起志** 中村良之進 YK185-34  
昭和 7 (1932) 写（ペン書）1冊 原稿紙 仮和  
註：昭和 8 年陸奥史談会発行の原稿
- 寺庵姓名調**（小一区）明治 6 年 2 月 長勝寺 YK185-35  
明治 6 (1873) 写 1冊 半紙 仮和  
註：西茂森町・新寺町・覚仙町・笹森町・銅屋町・田町の各寺院住職名
- 身延山記** YK185-36  
天保 8 (1837) 再板 1冊 美濃 和
- 人となる道** 完 葛城慈雲 YK185-37  
明治 9 (1876) 刊 1冊 半紙 和
- （真言宗大教院蔵版）
- 釈門事物紀原** 初篇全巻 大内青巒纂輯 YK185-38  
明治 17 (1884) 刊 1冊 半紙 和  
（鴻盟社蔵版）
- 〔**釈氏常言**〕 楠美則徳 YK185-39  
写 1冊 半紙 和  
註：則徳は津軽藩土楠美荘司のこと 平曲家楠美太素の祖
- 塔之図式** 中村八郎 YK185-40  
昭和 9 (1934) 写 1冊 半紙 仮和  
註：原書は八郎の父中村北門（良之進）の筆
- 青森寺院志** 全 一戸岳逸編 YK185-41  
青森 青森通俗図書館 昭和 9 (1934) 写（謄）1冊 半紙 仮和
- 〔**弘藩**〕 **明治一統誌寺院縁起録** 内藤官八郎編著  
写 1冊 半紙 仮和 YK185-42  
註：明治 30 年頃脱稿したと思われ、ほかに月令雑報摘要抄神社縁起録等と共に叢書をなす
- 〔**檀徒布施札** 壱〕 YK185-43-1  
明治 3 (1870) 写 1綴 半紙 仮和
- 〔**檀徒布施札** 弐〕 YK185-43-2  
明治 3 (1870) 写 1綴 半紙 仮和
- 薬師如来堂再建覚書** YK185-44  
写 1冊 半紙 仮和
- 隣松寺鐘銘** 隣松十三世嗣祖比丘不学黙禪 YK185-45  
寛保 2 (1742) 写 1冊 半紙 仮和  
註：隣松寺は曹洞宗幡龍山隣松寺（弘前市西茂森町）、

- 長勝寺の末寺、津軽家の廟所
- 津軽藩ニ於ケル浄土宗専称寺直末寺ノ系統** YK185-46  
謄写 1冊 半紙 (広) 版洋
- 由緒書** (専徳寺) 安政3年 YK185-47  
安政3 (1856) 写 1冊 半紙 和  
蔵印「御日記方」(朱)  
註：本館所蔵 YK288-103 に本書のコピーが (専徳寺歴代住職) としてもあり
- 薬王院衆徒千寿院** 寺領寄進之目録 YK185-48 1  
寛文元 (1661) 写 1枚 34 × 17  
切紙 (信政黒印)
- 薬王院衆徒千寿院** 寺領寄進之目録 YK185-48-2  
宝暦6 (1756) 写 1通 折紙  
(信寧黒印)
- 薬王院衆徒千寿院** 寺領寄進目録 YK185-48-3  
文政8 (1825) 写 1通 折紙  
(信順黒印)  
註：千手院と同寺
- 報恩寺衆徒理教院** 寺領目録奉書 YK185-49-1  
松浦甚左衛門 桜庭太郎左衛門連署  
正徳2 (1712) 写 1通 32 × 83
- 報恩寺衆徒理教院** 寺領目録奉書 YK185-49-2  
蒔黄牛兵衛 唐牛平次連署  
元文元 (1736) 写 1通 31 × 87
- 報恩寺衆徒理教院** 寺領寄進目録 YK185-49-3  
天保11 (1840) 写 1通 折紙  
(順徳黒印)
- 報恩寺衆徒正善院** 寺領目録 YK185-50  
元文元 (1736) 写 1通 折紙  
(信著黒印)
- 薬王院衆徒** 寿福院 寺領寄進目録 YK185-51-1  
寛政6 (1794) 写 1通 折紙  
(寧親黒印)
- 薬王院衆徒** 寿福院 寺領寄進目録 YK185-51-2  
安政6 (1859) 写 1通 折紙  
(承烈黒印)
- YK186 仏会 (巡礼)**
- 津軽三拾三所順礼** [筆者本町甚五郎] YK186-1-イ  
[寛延4 (1751)] 写 1冊 横中 和  
註：甚五郎は弘前本町の商人か。十七番相内に「此宮加慶二年の造立今寛延四年迄三百六十四年ニ成」とある。前半に「札所と御詠歌」があり後半に「三十三所道程名所」を設け、里数・縁起・案内等を記してある。
- 津軽三拾三所順礼** YK186-1-ロ  
コピー 1冊 横中 和  
註：[寛延四年本] のコピー
- 津軽三拾三所観世音順拜之御詠歌** 完 YK186-2  
高坂滑脱  
[弘前] 護国山観音院久渡寺 明治28 (1895) 刊  
1冊 半紙半 仮和
- YK188 各宗**
- 摩利支天菩薩鉄鞭深秘法** YK188-1  
三国伝法大阿闍梨覚範示之
- 文政4 (1821) 写 1冊 横中 仮和  
註：覚範は岩鬼山薬王院叡平寺 (現弘前市笹森町) の十三世覚範法印のこと 受者は武田広明
- 六十六部の負仏** (弘前無一山専求院) 三浦寺水 YK188-2  
写 1冊 半紙 仮和
- 御本山御奉書記** (浄土真宗) YK188-3  
[明治3 (1870)] 写 1冊 四六判 和
- 唱導** YK188-4  
[文化10 (1813)] 写 1冊 横中 和
- 要覧集** (浄土教) YK188-5  
写 1冊 半紙 仮和
- 貞伝上人東域念仏利益伝** 卷上 YK188-6-1 (上)  
宝洲 (洛東獅谷蓮社沙門)  
京都 洛陽書房 元文2 (1737) 刊 1冊 美濃 和  
註：貞伝上人伝記  
貞伝 [元禄3 ~ 享保16 (1690 ~ 1731)] は今別村 (東津軽郡) 本覚寺 (浄土宗) 三世
- 貞伝上人東域念仏利益伝** 卷下 YK188-6-2 (下イ)  
宝洲 (洛東獅谷蓮社沙門)  
京都 洛陽書房 元文2 (1737) 刊 1冊 美濃 和
- 貞伝上人東域念仏利益伝** 卷下 YK188-6-2 (下ロ)  
宝洲 (洛東獅谷蓮社沙門)  
京都 洛陽書房 元文2 (1737) 刊 1冊 美濃 和
- 貞伝上人東域念仏利益伝** 卷上 YK188-7-1 (上)  
宝洲 (洛東獅谷蓮社沙門)  
京都 書林 (沢田吉左叡門) 元文2 (1737) 刊 1冊 美濃 和

貞伝上人東域念仏利益伝 卷下 YK188-7-2 (下)  
宝洲 (洛東獅谷蓮社沙門)  
京都 元文2 (1737) 刊 1冊 美濃 和

貞伝上人東域念仏利益伝 卷上 YK188-8-1 (上)  
宝洲 (洛東獅谷蓮社沙門)  
元文2 (1737) 刊 1冊 美濃 和

貞伝上人東域念仏利益伝 卷下 YK188-8-2 (下)  
宝洲 (洛東獅谷蓮社沙門)  
元文2 (1737) 刊 1冊 美濃 和

直心浄国禅師語録 乾上 YK188-9-1 (乾上)  
岸沢惟安編纂  
東京 鴻盟社 大正5 (1916) 活 1冊 菊 和  
註：直心海図禅師は八戸市港町出生の四有松山 (権大  
教正・曹洞宗管長・大本山総持寺独佳三世、1821～  
1910) のこと

直心浄国禅師語録 乾下 YK188-9-2 (乾下)  
岸沢惟安編纂  
東京 鴻盟社 大正5 (1916) 活 1冊 菊 和

直心浄国禅師語録 坤上 YK188-9-3 (坤上)  
岸沢惟安編纂  
東京 鴻盟社 大正5 (1916) 活 1冊 菊 和

直心浄国禅師語録 坤下 YK188-9-4 (坤下)  
岸沢惟安編纂  
東京 鴻盟社 大正5 (1916) 活 1冊 菊 和

勸詞小笠 卷之上 YK188-10  
菅原繹智洞 (能州明専寺)  
明和6 (1769) 板 1冊 美濃 和

註：能州 (能登国=石川県北部)  
別名「真宗安心勸詞小笠」

南嶺殊勝記 YK188-11  
刊 1冊 半紙 和

本腹いわる取越喜 YK188-12  
写 1冊 半紙 和

### YK190 キリスト教

切支丹宗門御改留書 斎藤長門 YK190-1  
元禄3～16 (1690～1703) 写 1冊 半紙 仮和  
註：斎藤長門は弘前神明宮神主 (代々長門襲名)

〔宗門改帳〕 YK190-2  
宝暦6 (1756) 写 1冊 半紙 仮和  
註：切支丹証文  
独狐村 (手代喜兵衛) 宮館村 (手代三太夫) 鶴田村 (手  
代三右衛門)、紙背文書

南蛮寺興廃記 全 (史籍集覧) YK190-3  
東京 近藤瓶城 明治18 (1885) [30×2頁] 四六 和  
註：付「邪教大意」(雪窓宗崔著)

切支丹改証文 野呂三蔵 YK190-4  
嘉永7 (1854) 写 1枚 25×34

### YK200 歴史

#### YK202 考古学

新古祝饗品類之図 菅江真澄 YK202-1  
大正5 (1916) 写 1冊 半紙 仮和  
註：本書は弘前の郷土史家中村良之進の写

津軽藩古碑図考 完 YK202-2  
昭和17 (1942) 写 1冊 半紙 和

陸奥古碑集 中村良之進 YK202-3  
弘前著者 昭和2 (1927) 石版 1冊 半紙 和  
註：良之進 (1864～1940) は陸奥史談会創立者の一人、  
同会長、弘前の郷土史家

陸奥古碑集 中村良之進 YK202-4-イ  
弘前 成田末五郎 (陸奥史談会会長) 昭和48 (1973)  
復刊 1冊 半紙 仮洋  
註：初版ハ昭和2年 (1927) 石版

陸奥古碑集 中村良之進 YK202-4-ロ  
弘前 成田末五郎 (陸奥史談会会長) 昭和48 (1973)  
復刊 1冊 半紙 仮洋

陸奥古碑集 中村良之進 YK202-4-ハ  
弘前 成田末五郎 (陸奥史談会会長) 昭和48 (1973)  
復刊 1冊 半紙 仮洋

新古碑考 大瀬梅郷 (熊三郎) YK202-5  
写 1冊 35×25 仮和  
註：梅郷 (1867～1902) は青森・油川・小湊等小学  
校教員

古碑考 間山甚五郎、金清右衛門 YK202-6

- 写 1冊 美濃 仮和  
註：間山は江戸後期の歌人、津軽寧親の御使番格紀伝学頭扱、享和2年(1802)用人毛内有右衛門の依託で金と二人で「津軽郡内古碑図考」を著わした
- 陸奥考古 一** 中村良之進 **YK202-7-1**  
弘前 著者 昭和3(1928)石版 1冊 B5 仮和
- 陸奥考古 二** 中村良之進 **YK202-7-2**  
弘前 著者 昭和5(1930)石版 1冊 B5 仮和
- 陸奥考古 三** 中村良之進 **YK202-7-3**  
弘前 著者 昭和5(1930)石版 1冊 B5 仮和
- 陸奥考古 四** 中村良之進 **YK202-7-4**  
弘前 著者 昭和6(1931)石版 1冊 B5 仮和
- 陸奥考古 五** 中村良之進 **YK202-7-5**  
弘前 著者 昭和6(1931)石版 1冊 B5 仮和
- 陸奥考古 六** 中村良之進 **YK202-7-6**  
弘前 著者 昭和9(1934)石版 1冊 B5 仮和
- 陸奥考古 七** 中村良之進 **YK202-7-7**  
弘前 著者 昭和10(1935)石版 1冊 B5 仮和
- 古石碑之銘** 享和2年8月 **YK202-8**  
写 1冊 半紙 仮和  
註：高杉組宮館村、藤代組小友村・三世寺村、赤石組関村
- 松岡山図・船氏墓誌** **YK202-9**  
写 山図1枚 28×41 墓誌2枚 36×12
- 撞鐘古石碑調之覚** **YK202-10**  
享和2(1802)写 1冊 半紙 和
- 同志を募りて壺の碑を探討せんことを謀るの書** (老学石居兼松成吉〔言〕録) 明治壬申 **YK202-11**  
明治5(1872)写 1冊 半紙 仮和  
註：「多賀城碑」あり、兼松成言(1810～1877)は津軽藩校稽古館の督学、東奥義塾創設者の一人
- 古銭尽・古銭鑿** (鑑) **YK202-12**  
京都 寿楽堂 文化元(1804)刊 1冊 半紙 和
- 中別所村板碑図説** 成田末五郎 **YK202-13-イ**  
中津軽郡船沢 対馬忠郷 昭和16(1941)謄写 1冊 半紙 横(広) ホチキス  
註：船沢・中別所ともに現在弘前市。成田末五郎(1895～1979)は県文化財保護協会副会長・弘前図書館長
- 中別所村板碑図説** 成田末五郎 **YK202-13-ロ**  
中津軽郡船沢 対馬忠郷 昭和16(1941)謄写 1冊 半紙 横(広) ホチキス
- 津軽古今碑文集** 卷一 下稿 **YK202-14**  
下沢保躬編輯  
〔明治28(1895)〕写 1冊 半紙 和  
註：漢文部「波岡碑石文章諸先生刪正評論」「霊墓碑(種里)」「十三城故趾」「弘前城碑」他
- YK203 辞書 書目 年表 絵図**
- 亀ヶ岡古城図** 成田嘉作 **YK203-1**  
写 1舗 65×64
- 奥州津軽郡弘前之城図** 津軽越中守 **YK203-2**  
元禄7(1694)写 1舗 92×66  
註：「右絵図朱引之所普請申付度奉願候」の記あり
- 〔領内館図〕** 中村北門 **YK203-3**  
昭和8～9(1933～34)写 1冊 半紙 横 和  
註：昭和8…三ツ目内館蹟図式其一～其五、昭和9…八幡ノ館、袴腰ノ館
- 諸絵図目録** 桜庭伴太夫・秋元弥七 **YK203-4**  
宝暦7(1757)写 1冊 半紙 仮和  
註：宝暦七丁丑年八月御日記方ヨリ相渡リ候
- 東奥年表録** **YK203-5**  
写 1冊 横小 仮和  
註：初為信公代ヨリ12承昭公代マデ
- 蝦夷年代記** 松浦武四郎・阿倍弘 **YK203-6**  
慶応3(1867)写 1冊 美濃 和
- 津軽年表 一** **YK203-7-1**  
自永長元年至慶長12年(1096～1607)写 1冊 半紙 和  
註：秀栄公～為信公 凡512年
- 津軽年表 二** **YK203-7-2**  
自慶長13年至明暦元年(1608～1655)写 1冊 半紙 和  
註：信枚公～信義公 凡49年
- 津軽年表 三** **YK203-7-3**  
自明暦2年至貞享3年(1656～1686)写 1冊 半紙 和  
註：信政公～ 凡31年
- 津軽年表 四** **YK203-7-4**  
自貞享4年至宝永7年(1687～1710)写 1冊 半紙 和  
註：信政公～ 凡24年

- 津軽年表 五** YK203-7-5  
自宝永7年至享保16年(1710～1731)写 1冊  
半紙 和  
註：信寿公～ 凡22年
- 津軽年表 六** YK203-7-6  
自享保16年至延享元年(1731～1744)写 1冊  
半紙 和  
註：信著公～ 凡14年
- 津軽年表 七** YK203-7-7  
自延享元年至宝暦6年(1744～1756)写 1冊  
半紙 和  
註：信寧公～ 凡13年
- 津軽年表 八** YK203-7-8  
自宝暦6年至明和4年(1756～1767)写 1冊  
半紙 和  
註：信寧公～ 凡12年
- 津軽年表 九** YK203-7-9  
自明和5年至安永6年(1768～1777)写 1冊  
半紙 和  
註：信寧公～ 凡10年
- 津軽年表 十** YK203-7-10  
自安永7年至天明3年(1778～1783)写 1冊  
半紙 和  
註：信寧公～ 凡6年
- 津軽年表 十一** YK203-7-11  
自天明4年至寛政3年(1784～1791)写 1冊  
半紙 和  
註：信明公～ 凡8年
- 津軽年表 十二** YK203-7-12  
自寛政4年至文化4年(1792～1807)写 1冊  
半紙 和  
註：寧親公～ 凡16年
- 津軽年表 十三** YK203-7-13  
自文化5年至文政5年(1808～1822)写 1冊  
半紙 和  
註：寧親公～ 凡15年
- 津軽年表 十四** YK203-7-14  
自文政4年至文政8年(1821～1825)写 1冊  
半紙 和  
註：寧親公～ 凡5年
- 津軽秘鑑 全** YK203-8  
写 1冊 半紙 和  
註：元祖金沢右京亮家信公ヨリ十二代津軽出羽守信明公  
マデ
- 〔津軽年代記〕** YK203-9  
享和2(1802)写 1冊 半紙 和  
註：御元祖光信公ヨリ信政公寛文十一年代マデ
- 〔年代記書足下書(文化二年ヨリ)〕** YK203-10  
文化2～文化6(1805～1809)写 1冊 横長 仮和
- 〔年代記〕** YK203-11  
天文9～慶応3(1540～1867)写 1冊 半紙 和
- 年代記(第参号)** YK203-12  
明治20～明治32(1887～1899)写 1冊 半紙 和
- 年代記(第四号)** YK203-13  
明治30～明治36(1897～1903)写 1冊 半紙 和
- 津軽藩年代記〔上下〕旧藩日記方編** YK203-14  
寛文元～文政12(1661～1829)写(複写)1冊  
半紙 和  
註：上 寛文元～文化2(1661～1805)、下 文化元  
～文政12(1804～1829)
- 本藩暦年亀鑑図** YK203-15  
刊 1冊 半紙半 和  
註：初代光信公没年大永6年(1526)カラ寛保3年(1743)  
マデ
- 津軽暦年亀鑑 完** 葛西清雄著 YK203-16  
大永6～文化8(1526～1811)写 1冊 半紙 和  
註：本書は下沢保躬氏慶応3年(1867)の写本、末尾  
に下沢陳平氏の補筆の部あり
- 本藩暦年図** YK203-17  
大永6～文化7(1526～1810)写 1冊 半紙 和
- 国風一覧 全** YK203-18  
文久2(1862)写 1冊 半紙 和  
註：「本藩暦年図」と内容同じ、但し、大永6年(1526)  
から文化8年(1811)まで
- 津軽歳代考記** 平野屋兼吉 YK203-19  
嘉永5(1852)写 1冊 横中 仮和  
註：内題「津軽年代記」、御始代金沢右京亮家信公(年  
月不詳15～16世紀頃)ヨリ宝永6年(1709)マデ
- 〔津軽家年代記〕** YK203-20  
写 1冊 半紙半 仮和  
註：天正13(1584)ヨリ寛永7(1630)マデ

- 津軽古記目録 YK203-21  
写 1冊 半紙 和
- 津軽年表 (一名奥羽北海道年表) YK203-22  
下沢保躬編  
写 1冊 横中 和  
註:一部紙背文書、奥羽北海道年表(自元中至天正・慶長)(1384~1615)承保(1074~1077)モ入交ル、続正徳元(1711)マデ。大日本地誌抜萃も合冊
- 津軽建国史料 (年表稿) YK203-23  
写 1冊 半紙 仮和
- 津軽歴史年表 (初稿) 下沢陳平編著 YK203-24  
明治45(1912)写 1冊 半紙 仮和  
註:自応永元年(1394)至明治四年(1871)
- 〔津軽年代考記ノ内一~四〕橋本月川 YK203-25  
明治16(1883)写 1冊 横長 仮和  
註:自正保4(1647)至文化10(1813)
- 津軽古事年代記聞書 YK203-26  
写 1冊 半紙 仮和  
註:自天文十九年至元禄七年(1550~1694)
- 津軽年代考記 全 YK203-27  
写 1冊 菊 仮和  
註:原文は寛政元年(1789)都谷森甚之丞正祥之編
- 明治藩政略誌 (弘前) YK203-28  
明治元~18(1868~1885)写 1冊 半紙半 仮和  
註:紙背文書
- 部寄郷土史資料 YK203-29  
写 1冊 半紙 仮和
- 註:政治、産業、文学、医学、宗教、美術、音楽、建築、風俗、史料
- 陸奥国南部十郡之図 YK203-30  
元禄12(1699)写 1枚 78×68  
註:公儀書出ノ高(郡別石高并邑数)
- 〔徳丸原演習図〕 YK203-31  
写 1鋪 68×62  
註:徳丸原は寛政4年以降幕府の大筒試射の訓練場、現東京都板橋区
- 〔関ヶ原合戦図〕(山形岳泉?) YK203-32  
明治9(1876)写 1鋪 86×55
- 〔関ヶ原布陣図〕 YK203-33  
写 1鋪 81×59
- 大日本年歴箋 全 鶴峯彦一郎 YK203-34  
江戸 菊屋幸三郎 天保15(1844)刊 1冊 横小 和
- 和漢年代重宝記 全 松亭金水選 YK203-35  
江戸 森屋治郎兵衛 嘉永元(1848)刊 1冊 横小 和
- 皇朝歴代沿革図解 大槻東陽編 YK203-36  
京都 銭屋惣四郎 明治3(1870)刊 1冊 17×11
- 中古京師内外地図 全 (故実叢書) YK203-37  
今泉定介編  
東京 林縫之助 明治34(1901)刊 1枚 104×112
- 大阪城之旧図 YK203-38  
浦上正三(第四師団司令部酒保)  
大阪 著作者 昭和4(1929)刊 1枚 79×73  
註:豊臣時代ノ壯観並慶長19年冬陣東西軍配備ノ概況
- 世界大年表 歴史研究会編 YK203-39  
大阪 又間安次郎 明治36(1903)刊 1冊 B5 和
- 津軽年代記 (一名奥羽北海古今年表) YK203-40  
写 1冊 横中 仮和  
註:大浦光信(1460~1526)の大永年代より明治中期に至る、表紙に「津軽年代記ノ卷ノ三 但東山道北海道モ入ル稿」とある
- YK204 論文 史話 雑著
- 津軽事実考 全 YK204-1  
小山内清隆  
安政6(1859)写 1冊 半紙 和  
註:崇神帝頃ヨリ慶長16年(1611)マデ
- 郷史百話 全 大瀬正穎(梅郷、梅酒舎) YK204-2  
明治35(1902)写 1冊 半紙 和  
註:筆者の本名は熊三郎、慶応3~明治35(1867~1902)、小学校教員
- 修史余滴 自卷第一至卷之第三 YK204-3  
下沢保躬編  
写 1冊 半紙 仮和  
註:内題「修史局出仕中抄録」
- 阿部比羅夫船師考 前田喜一郎(石楸老人) YK204-4  
昭和14(1939)写(ガリ版)1冊 半紙 仮和
- 蝦夷征伐考・安東氏考・浪岡考 YK204-5  
写 1冊 半紙 仮和
- 弘前藩歴史地理資料古文書古記録類聚 卷二 YK204-6  
下沢保躬

- 写 1冊 半紙 仮和  
 註：種里八幡宮略縁起、津賀野村ノコト、茂森山観世音  
 普門庵縁起略、山鹿将監の事、家老心術、他。巻一は  
 一般郷土資料にあり
- 津軽古今雑記類纂 完** 下沢保躬編集 **YK204-7**  
 明治15(1882)写(コピー)1冊 横18×26 仮洋  
 註：末尾に弘前藩勤王家小伝あり
- 郷土史料雑録 第一** **YK204-8-1**  
 写 1冊 半紙 仮和  
 註：下沢保躬関係手紙類
- 郷土史料雑録 第二** **YK204-8-2**  
 写 1冊 半紙 仮和  
 註：寛政・文化～明治10年、松前蝦夷地警備・飢饉等  
 ニ伴ウ借財・出費等藩財出費等藩財政ノ御噂ノ書取・  
 旧弘前藩禄制ノ末ニ五口小役米ノ明細ノ解、他
- 郷土史料雑録 第三** **YK204-8-3**  
 写 1冊 半紙 仮和  
 註：和徳城主考、食人の淵の人柱、津軽の人柱、堀内系  
 図、御制札、他
- 郷土史料雑録 第四** **YK204-8-4**  
 写 1冊 半紙 仮和  
 註：十三湊新城記、津軽ニテ漢和聯区・連歌・両吟之事、  
 深浦十二景(漢詩・俳句)
- 郷土資料** **YK204-9**  
 写 1冊 半紙 仮和  
 註：弘前寺院墓碑考(島川観水編)、猿賀山長命院神宮  
 寺沿革史(小嶋繁樹筆記)、文化財巡り解説(成田末五  
 郎編)、七戸地方文化財の栞、他

**YK205 雑誌 逐次刊行書**

- 西津軽郡種里、関、金ヶ沢地方史蹟調査報告**ほか  
 森林助等 **YK205-1**  
 昭和6(1931)写(ガリ版)1冊 半紙 仮和  
 註：「十二湖附近の水河遺跡について」(荒川謙治)、「隠  
 れたる天下の奇勝仏ヶ浦」(本田静六)、「本県ニ於ケル  
 竪穴遺跡ニ就テ」(佐々木新七)
- 奥羽史料** 佐沢広胖編(香雪精舎仙台市) **YK205-2**  
 明治22～明治23(1889～1890)刊本 1冊 合本  
 12×17 仮洋  
 註：自第一編～第八編、至第二回第二号
- 古跡めぐり 1** 郷土考古学研究同志会 **YK205-3**  
 謄写 1冊 半紙 ホチキス
- 館城 第7号** **YK205-4**  
 工藤正(田舎館村郷土誌研究会)編  
 昭和32(1957)謄写 1冊 半紙 ホチキス  
 註：田舎館村出土の土器について(土器類の絵図集I)、  
 貞享四年御検地水帳(集計帳)、庭田植

**YK209 有識故実 儀式典礼 行幸啓 御成**

- 長慶帝御世譜** 栗田寛 **YK209-1**  
 明治31(1898)写 1冊 半紙 和  
 註：附、泉田清右衛門書簡、原文は明治31年史学会発  
 行の史学雑誌に記載あるを中村良之進写取
- 伝奏御馳走御用御大名附** 延宝8年ヨリ年々 **YK209-2**  
 延宝8(1680)～天明3(1783)写 1冊 半紙 仮和  
 註：蔵印「弘前日記方」
- 服忌令 全** **YK209-3**

- 文化8(1811)写 1冊 横小 和
- 服忌令** 元文元年御改 **YK209-4**  
 元文元(1736)写 1冊 半紙 和
- 服忌令(御改正)** **YK209-5**  
 元禄6(1693)刊 1冊 半紙半 和  
 註：附 諸社通用神祇服忌令大成 元禄8(1695)
- 服忌令** 天保6年7月 **YK209-6**  
 天保6(1835)写 1冊 横小 和
- 家記頭書服忌令 全** 吉川惟足 **YK209-7**  
 天和3(1683)写 1冊 半紙 和
- 服忌令公案集成 完** **YK209-8**  
 弘化2(1845)写 1冊 半紙 和
- 官位相当表** 明治2年8月 **YK209-9**  
 須原屋茂兵衛、和泉屋市兵衛  
 明治2(1869)官板 1舗 56×71
- [紙漉沢長慶帝御陵参考資料]**〔成田末五郎〕 **YK209-10**  
 写 1冊 17×20 ノート  
 註：美屋ま乃桜(深山の桜)、新葉和歌集、大日本皇室譜、  
 大統明鑑、他
- 長慶天皇御陵墓参考記** 成田末五郎 **YK209-11**  
 昭和9(1934)ガリ版刷 1冊 半紙 仮洋
- 紙漉沢中心の御陵墓研究資料・同上研究の新資料・同上研  
 究の遺失資料** 成田末五郎 **YK209-12**  
 昭和10(1935)新聞切り抜き 1冊 19×28 仮和
- [長慶天皇御陵墓と八幡嶽麓住吉神社・長慶天皇の七戸八**



**幡宮御潜幸概況] YK209-13**

小原第吉・成田券治（七戸史蹟調査会）  
昭和9～昭和10（1934～1935）1冊 新聞切り抜き  
17×25 仮和

**[大婚廿五年御祝典] YK209-14**

明治27（1894）切り抜き 1冊 半紙 仮和  
註：末尾に奉祝の文、和歌あり（毛筆）

**封内雑記 紙漣沢 橋本月川 YK209-15**

明治15（1882）写 1冊 半紙 仮和  
註：上皇廟堂縁紀、波丘縁記（縁記ハ縁記カ縁起カ）、  
附本朝通鑑卷第五十、国史略卷之三（抜書）

**長慶天皇御陵墓御遺跡御調査方請願書 YK209-16**

七戸史蹟調査会  
昭和9（1934）ガリ版刷 1冊 美濃 仮和

**明治天皇御巡幸報告 岸田吟香 YK209-17**

明治11（1878）新聞切り抜き 1冊 半紙 仮和

**御用伝拔書 一 御日記方 YK209-18-1**

寛保4～寛政3（1744～1791）写 1冊 半紙 和  
蔵印「御日記方」（朱）  
註：公儀向

**御用伝拔書 二 御日記方 YK209-18-2**

寛保4～天明6（1744～1786）写 1冊 半紙 和  
蔵印「御日記方」（朱）  
註：御着城 御発駕

**御用伝拔書 三 御日記方 YK209-18-3**

寛保3～寛政3（1743～1791）写 1冊 半紙 和  
蔵印「御日記方」（朱）  
註：御役、御出、高覧、御名代

**御用伝拔書 四 御日記方 YK209-18-4**

寛保4～天明9（1744～1789）写 1冊 半紙 和  
蔵印「御日記方」（朱）  
註：御祝儀事、御料理事

**御用伝拔書 五 御日記方 YK209-18-5**

寛保4～天明9（1744～1789）写 1冊 半紙 和  
蔵印「御日記方」（朱）  
註：御能御囃子、被仰出

**御用伝拔書 六 御日記方 YK209-18-6**

寛保4～寛政3（1744～1791）写 1冊 半紙 和  
蔵印「御日記方」（朱）  
註：御役替御褒美、誓詞

**御用伝拔書 七 御日記方 YK209-18-7**

延享3～寛政3（1746～1791）写 1冊 半紙 和  
蔵印「御日記方」（朱）  
註：御書出、頂戴物、差上物、近衛様他領并 御逢

**御用伝拔書 八 御日記方 YK209-18-8**

延享2～寛政2（1745～1790）写 1冊 半紙 和  
蔵印「御日記方」（朱）  
註：高岡并御告、御法事并寺社、請願申渡、御家老中差  
合之節御用人出席

**御用伝拔書 九 御日記方 YK209-18-9**

寛保4～天明9（1744～1789）写 1冊 半紙 和  
蔵印「御日記方」（朱）  
註：見分、三之丸

**御用伝拔書 十 御日記方 YK209-18-10**

寛保4～寛政3（1744～1791）写 1冊 半紙 和  
蔵印「御日記方」（朱）

註：不時

**御用伝拔書 十一 御日記方 YK209-18-11**

寛保4～寛政3（1744～1791）写 1冊 半紙 和  
蔵印「御日記方」（朱）  
註：行事

**御用伝拔書 十二終 御日記方 YK209-18-12**

延享2～寛政3（1745～1791）写 1冊 半紙 和  
註：御機嫌伺、変、凶事

**凶事帳 御家老 YK209-19**

天保9～明治2（1838～1869）写 1冊 半紙 仮和

**御在国御留守御用格 YK209-20**

元文元～明和5（1736～1768）写 1冊 横中 和

**勅書写并勅使持参御書付写御演達之写口達 YK209-21**

文久3（1863）写 1冊 半紙 仮和  
註：攘夷之儀

**大覚寺永君御方御入寺御行列 享和元年3月26日**

享和元（1801）写 1冊 横中 和 YK209-22  
註：警固に「津軽越中守殿留守居小見山直右衛門」の名  
がある。

**若殿様御持鎗御先格茂有之候ニ付青貝柄為御持一件**

嘉永5年10月 YK209-23  
嘉永5（1852）写 1冊 半紙 仮和  
蔵印：弘前日記方  
註：若殿様は通称武之助、津軽承祐のこと

**御先払 YK209-24**

写 1冊 横小 和

- 若殿様御迎御行列** 安政4年7月 **YK209-25**  
安政4(1857)写 1冊 横小 和  
註:「御供揃眺七半時御内玄関江相揃候様」と表書きあり
- 所々御出御行列帳** (御省略御年限中) 文政13年8月  
御徒目付 **YK209-26**  
文政13(1830)写 1冊 横小 和
- 御供順并家来名前** [五十嵐新吉] **YK209-27**  
〔元治元・2(1864・65)〕写 1冊 横長 仮和  
註:御供番割
- 覚書** **YK209-28**  
明和4(1767)写 1冊 横小 仮和  
註:元禄二己巳年八月早瀬野石之塔江御参詣被成候由ニ而同所より山越被成秋田江御越被成候ニ付御迎え諸士覚(津軽兵庫信章越境事件)
- 長慶院山陵事蹟考資料** 下沢陳平 **YK209-29**  
明治44(1911)写 1冊 半紙 仮和  
註:前半は紙背文書(明治35年1902)
- 長慶天皇御陵墓考** (福島県下白河ノ郡) **YK209-30**  
中村良之進(雪松齋)  
明治27(1894)写 1冊 半紙 和
- 上皇廟図記** 附宮館旧跡図 **YK209-31**  
写 1冊 半紙 和  
註:「青森新報」よりの写
- 東巡日誌** [第六~第十] **YK209-32**  
東京 須原屋茂兵衛〔明治元(1868)〕官版 1冊  
半紙 和  
註:明治天皇東京行幸(京都発明治元年9月20日、京都還同年12月22日)、本誌は同崎御発輦(9月29日より東京御着輦(10月13日)まで
- 犬追物記** 全 **YK209-33**  
元文3(1738)写 1冊 半紙 和
- 犬追物御覧記** **YK209-34**  
写 1冊 横中 和
- 出軍乾之巻伝記** **YK209-35-1**  
天明4(1784)写 1冊 半紙 和  
星野六蔵(尚賢)旧蔵  
註:伊藤幸氏一石川半平一加藤貞懿一平田九郎兵衛貴徳ヨリ星野六蔵へ(破損ひどし)
- 出軍坤之巻伝記** **YK209-35-2**  
天明4(1784)写 1冊 半紙 和  
星野六蔵(尚賢)旧蔵
- 武宗雑類** 完 **YK209-36**  
安永2(1773)写 1冊 半紙 和  
隨古堂(星野六蔵)旧蔵  
註:伊藤甚右衛門幸氏一石川半平久忠一加藤猪右衛門貞懿一平田九郎兵衛貴徳ヨリ星野六蔵(尚賢)へ
- 産所諸色集** **YK209-37**  
安永3(1774)写 1冊 半紙 和  
星野六蔵(尚賢)旧蔵  
註:小笠原大膳太夫長時一(略)一伊藤甚右衛門幸氏一(略)一平田九郎兵衛貴徳ヨリ星野六蔵へ
- 衣文愚童訓** 全 **YK209-38**  
壺井鶴翁著、星野素閑写  
明和6(1769)写 1冊 半紙 和  
星野六蔵(素閑)旧蔵  
註:鶴翁(1657~1735)は名は義和、通称安左衛門、河内国の人、徳川中期の故実家
- 嘉礼口授** 寛政元年9月清書畢 星野尚賢 **YK209-39**  
寛政元(1789)写 1冊 半紙 和  
註:当流献方口伝書、御嫁入道具飾、仮粒眉作書、床飾温奥、古実舞台
- 綏靖天皇・安寧天皇陵図** **YK209-40**  
写 2枚 28×41  
星野氏旧蔵
- 御上洛御用掛供奉御行烈附** 文久3年2月 **YK209-41**  
文久3(1863)刊 1枚 44×147  
註:將軍家(徳川家茂)上洛
- 奥羽御巡幸明細日誌** 第6~10号 **YK209-42**  
大塚禹吉編  
東京 編者 明治9(1876)5冊合本 B6 仮和  
註:仙台一松島一仙台一吉岡一水沢一沼宮内一青森一函館一皇居
- 御巡幸供奉之方々并宿割** 明治9年2月10日 **YK209-43**  
明治9(1876)写 1冊 横中 仮和  
註:宿は現青森市内
- 明治天皇の御事蹟** **YK209-44**  
明治9・14(1876~1881)写 1冊 半紙 仮和  
註:明治9年の奥羽御巡幸、明治14年の青森県御通輦
- 旧知事公御下向ニ関スル書類** 明治18年 **YK209-45**  
明治18(1885)写 1冊 半紙 仮和  
註:正五位(黒石11代藩主津軽承叙)ヨリ御一門へ来状之写・正四位様(津軽12代藩主津軽承昭)御廟許トシテ御下向ニ付旧士族有志中御迎送御饗応ノ条件、他

- 女之称号 YK209-46  
写 1冊 半紙 和
- 長慶天皇佩劍の考証 外崎寛・外 YK209-47  
明治26(1893)写 1冊 半紙 仮和  
註：長慶天皇御陵関連の資料
- 御遷座御儀式 YK209-48  
京都 丁字屋九郎右衛門 天保6(1835)刊 1冊 菊  
仮和
- 明治天皇御巡幸 昭和2年8月8日整理 YK209-49  
〔～昭和3(1928)〕新聞切り抜き 1冊 半紙 仮和  
註：大正14年(1925)(3月7日～3月25日)弘前  
新聞掲載「明治天皇御巡幸回顧録」他
- 明治大帝御遺蹟碑ニ関スル記事及書類 昭和5年10月 YK209-50  
30日ヨリ  
昭和5(1930)新聞切り抜き 1冊 横半紙 仮和  
註：昭和5年11月23日までの東奥日報・弘前新聞・  
大正報の切り抜き(「明治天皇行在旧蹟碑」の馬渡新五  
書の不祥事件)
- 紙漉沢考証資料 一 明治38年4月以来 YK209-51  
〔下沢陳平〕  
明治38(1905)写 1冊 半紙 仮和  
註：長慶天皇御陵考証資料
- 御通輦ニ付御手当御書取 青森県 兼平直之あて YK209-52  
明治14(1881)写 1通
- 津軽開基 藤原憲隆 YK210-1  
明治28(1895)写 1冊 半紙 和
- 註：津軽御先祖之事(1代光信公～11代信興公)、岩木山  
伝記、津軽郡分之事、御陣立、御手前道具、焼道具之覚
- 三橋家日記 十二冊ノ中ノ一 YK210-2-1  
永禄元(1592)～寛永8(1631)写 1冊 半紙 和
- 三橋家日記 十二冊ノ中ノ二 YK210-2-2  
寛永8(1631)～明暦2(1656)写 1冊 半紙 和
- 三橋家日記 十二冊ノ中ノ三 YK210-2-3  
明暦3(1657)～宝永7(1710)写 1冊 半紙 和
- 三橋家日記 十二冊ノ中ノ四 YK210-2-4  
正徳元(1711)～享保7(1722)写 1冊 半紙 和
- 三橋家日記 十二冊ノ中ノ五 YK210-2-5  
享保8(1723)～享保20(1735)写 1冊 半紙 和
- 三橋家日記 十二冊ノ中ノ六 YK210-2-6  
元文元(1736)～宝暦5(1755)写 1冊 半紙 和
- 三橋家日記 十二冊ノ中ノ七 YK210-2-7  
宝暦6(1756)～明和元(1764)写 1冊 半紙 和
- 三橋家日記 十二冊ノ中ノ八 YK210-2-8  
明和2(1765)～明和7(1770)写 1冊 半紙 和
- 三橋家日記 十二冊ノ中ノ九 YK210-2-9  
明和8(1771)～安永9(1780)写 1冊 半紙 和
- 三橋家日記 十二冊ノ中ノ十 YK210-2-10  
天明元(1781)～天明4(1784)写 1冊 半紙 和
- 三橋家日記 十二冊ノ中ノ十一 YK210-2-11  
天明4(1784)～天明5(1785)写 1冊 半紙 和
- 三橋家日記 十二冊ノ中ノ十二 YK210-2-12  
天明6(1786)～天明8(1788)写 1冊 半紙 和
- 御日記 上 YK210-3-上  
元亀2(1571)～明和元(1764)写 1冊 半紙 和  
註：年代記抜書
- 御日記 下 YK210-3-下  
明和2(1765)～寛政3(1791)写 1冊 半紙 和
- 〔年代記〕 YK210-4  
写 1冊 縦 12×15 和  
註：日本神代、中国、日本新年代記抜書、寛文六年(1666)  
より以前也、天和2年(1682)までの記事あり
- 〔永代年代記大成〕 細河並輔編 YK210-5  
弘化3(1846)刊 1冊 半紙 仮和
- 松前氏世家・毛呂正孝行状・藩史編集手録 YK210-6  
写 1冊 半紙 仮和  
註：「松前世家」(岡本柳之助北海道史稿ノ中)「毛呂正  
孝行状」(欠)「藩史編集手録」(巻二、明治七八九年、  
下沢)…横長
- 松前国記録 一名新羅記 YK210-7  
高木不二夫  
昭和11(1936)謄写 1冊 半紙 和(北海道庁所蔵)  
註：正保3年(1646)、三井寺北院勅免探題法印舜亮記  
之畢と末尾にある
- 松前年代記 全 YK210-8  
写 1冊 半紙 仮和
- 津軽一統志 首巻 礼 YK210-9-1

## YK210 通史 文化史

- 相坂兵右衛門源則武・伊東八右衛門藤原祐則輯録・桜庭半兵衛藤原正盈校正  
写 1冊 半紙 和  
註：序、凡例あり
- 津軽一統志 一・二・三ノ巻 楽** YK210-9-2  
相坂兵右衛門源則武・伊東八右衛門藤原祐則輯録・桜庭半兵衛藤原正盈校正  
写 1冊 半紙 和
- 津軽一統志 四・五・六ノ巻 射** YK210-9-3  
相坂兵右衛門源則武・伊東八右衛門藤原祐則輯録・桜庭半兵衛藤原正盈校正  
写 1冊 半紙 和
- 津軽一統志 七・八・九ノ巻 御** YK210-9-4  
相坂兵右衛門源則武・伊東八右衛門藤原祐則輯録・桜庭半兵衛藤原正盈校正  
写 1冊 半紙 和
- 津軽一統志 十ノ巻・十ノ中巻 書** YK210-9-5  
相坂兵右衛門源則武・伊東八右衛門藤原祐則輯録・桜庭半兵衛藤原正盈校正  
写 1冊 半紙 和
- 津軽一統志 十ノ下巻・附巻・大尾 数** YK210-9-6  
相坂兵右衛門源則武・伊東八右衛門藤原祐則輯録・桜庭半兵衛藤原正盈校正  
写 1冊 半紙 和
- 津軽一統志 首巻** YK210-10-1  
相坂兵右衛門源則武・伊東八右衛門藤原祐則輯録・桜庭半兵衛藤原正盈校正  
写 1冊 半紙 和  
註：序、凡例、附巻あり

- 津軽一統志 一・二** YK210-10-2  
相坂兵右衛門源則武・伊東八右衛門藤原祐則輯録・桜庭半兵衛藤原正盈校正  
写 1冊 半紙 和  
註：津軽屋形様御先祖次第あり、三巻欠
- 津軽一統志 四・五** YK210-10-3  
相坂兵右衛門源則武・伊東八右衛門藤原祐則輯録・桜庭半兵衛藤原正盈校正  
写 1冊 半紙 和
- 津軽一統志 六** YK210-10-4  
相坂兵右衛門源則武・伊東八右衛門藤原祐則輯録・桜庭半兵衛藤原正盈校正  
写 1冊 半紙 和
- 津軽一統志 七・八** YK210-10-5  
相坂兵右衛門源則武・伊東八右衛門藤原祐則輯録・桜庭半兵衛藤原正盈校正  
写 1冊 半紙 和
- 津軽一統志 九・十** YK210-10-6  
相坂兵右衛門源則武・伊東八右衛門藤原祐則輯録・桜庭半兵衛藤原正盈校正  
写 1冊 半紙 和
- 津軽一統志 一** YK210-11-1  
写 1冊 半紙 和  
註：付巻并津軽屋形様御先祖次第が巻頭にあり
- 津軽一統志 二・三** YK210-11-2  
写 1冊 半紙 和
- 津軽一統志 四・五** YK210-11-3

- 写 1冊 半紙 和
- 津軽一統志 六** YK210-11-4  
写 1冊 半紙 和
- 津軽一統志 七** YK210-11-5  
写 1冊 半紙 和
- 津軽一統志 八** YK210-11-6  
写 1冊 半紙 和
- 津軽一統志** YK210-12  
相坂兵右衛門源則武・伊東八右衛門藤原祐則輯録・桜庭半兵衛藤原正盈校正  
写 1冊 半紙 和  
註：七冊之内序、附巻
- 津軽一統志 三（七冊之内）** YK210-12-2  
写 1冊 半紙 和
- 津軽一統志 四（七冊之内）** YK210-12-3  
写 1冊 半紙 和
- 津軽一統志 五（七冊之内）** YK210-12-4  
写 1冊 半紙 和
- 津軽一統志** YK210-13  
相坂兵右衛門源則武・伊東八右衛門藤原祐則輯録・桜庭半兵衛藤原正盈校正  
写 1冊 半紙 和  
註：序、凡例、首巻、附巻、津軽屋形様御先祖次第、東日流（津軽）と行岳（浪岡）、合戦記、愚耳旧聴記老第一序
- 津軽一統志 首巻** YK210-14-1  
相坂兵右衛門源則武・伊東八右衛門藤原祐則輯録・桜庭

- 半兵衛藤原正盈校正  
写 1冊 美濃 和  
註：附巻が巻末ニアリ
- 津軽一統志 附 YK210-14-2  
相坂兵右衛門源則武・伊東八右衛門藤原祐則輯録・桜庭  
半兵衛藤原正盈校正  
写 1冊 美濃 和
- 津軽一統志 附巻 YK210-15  
写 1冊 半紙 和
- 津軽一統志 (校定) 附巻 YK210-16  
写 1冊 半紙 和  
註：抄録
- 津軽一統志 十 YK210-17  
蝦夷蜂起 附  
写 1冊 半紙 和
- 津軽一統志旧伝雑記 YK210-18  
写 1冊 半紙 和  
註：温泉、神社仏閣
- 津軽一統志 九 YK210-19-1  
写 1冊 半紙 和
- 津軽一統志 十 YK210-19-2  
写 1冊 半紙 和
- 津軽一統志 附録 YK210-19-3  
写 1冊 半紙 和
- 校定津軽一統志原本 惣目録及首巻 YK210-20  
相坂兵右衛門源則武・伊東八右衛門藤原祐則輯録・桜庭
- 半兵衛藤原正盈校正  
写 1冊 美濃 和  
註：序、凡例、惣目録、首巻
- 津軽一統志 四・五・六 YK210-20-2  
写 1冊 半紙 和
- 本藩古今通観録 一・二・三 YK210-21-1  
下沢八三郎久輔 (保躬)  
元治元年 (1864) 写 1冊 半紙 和  
註：原本ハ一名「木立日記」
- 本藩古今通観録 四・五・六 YK210-21-2  
下沢八三郎久輔 (保躬)  
元治元年 (1864) 写 1冊 半紙 和  
註：七・八・九巻欠
- 本藩古今通観録 十・十一・十二 YK210-21-3  
下沢八三郎久輔 (保躬)  
元治元年 (1864) 写 1冊 半紙 和  
註：信著公御家督ヨリ信寧公天明四年卒去迄
- 本藩古今通観録 十三・十四・大尾 YK210-21-4  
下沢八三郎久輔 (保躬)  
元治元年 (1864) 写 1冊 半紙 和  
註：信明公自天明四年至寛政三年
- 本藩古今通観録拔書 YK210-22  
永禄 10年～寛政 3年 (1567～1791) 写 1冊 半紙 和
- 本藩古今通観録略抄 木立要左衛門守貞編輯 YK210-23  
写 1冊 半紙 和
- 津軽旧事異聞録 YK210-24  
明治 28 (1895) 写 1冊 半紙 和
- 註：他に「多賀城碑弁説」「壺碑考」(山崎立朴)、津軽  
前譜 (兼松成言)、慈公小伝あり
- 本藩通観録 壺 木立要左衛門守貞編 YK210-25-1  
写 1冊 半紙 仮和  
註：津軽編覧日記の抄略本、本書は更にその抜書、本藩  
濫觴実記附録、本藩通観録首巻、本藩濫觴実記通観録  
附録「御当家御遠祖之事」(信政公マデ)
- 〔本藩通観録 二〕 木立要左衛門守貞編 YK210-25-2  
慶長 12～寛文 12 (1607～1672) 写 1冊 半紙  
仮和  
註：津軽編覧日記の抄略本、本書は更にその抜書
- 〔本藩通観録 三〕 木立要左衛門守貞編 YK210-25-3  
寛永 8～延宝 7 (1631～1679) 写 1冊 半紙 仮和
- 〔本藩通観録 四〕 木立要左衛門守貞編 YK210-25-4  
天和元～宝永 3 (1681～1706) 写 1冊 半紙 仮和
- 〔本藩通観録 五〕 木立要左衛門守貞編 YK210-25-5  
宝永 7～宝暦 5 (1710～1755) 写 1冊 半紙 仮和
- 〔本藩通観録 六〕 木立要左衛門守貞編 YK210-25-6  
明和 2～安永 9 (1765～1780) 写 1冊 半紙 仮和
- 〔本藩通観録 七〕 木立要左衛門守貞編 YK210-25-7  
安永 10～寛政 3 (1781～1791) 写 1冊 半紙 仮和
- 本藩通観録 従壺至式 YK210-26-1  
木立要左衛門守貞編  
写 1冊 半紙 仮和  
註：内題「本藩濫觴実記 附録壺」「津軽編覧日記 首  
巻式」

- 本藩通観録** 従三至四 **YK210-26-2**  
木立要左衛門守貞編  
写 1冊 半紙 仮和  
註：内題「本藩古今通観録三」為信公永禄 10年(1567)ヨリ、「本藩通観録四」慶長 12年為信公逝去マデ
- 本藩通観録** 従五至六 **YK210-26-3**  
木立要左衛門守貞編  
写 1冊 半紙 仮和  
註：五ハ信牧公慶長 12年(1607)ヨリ寛永 8年(1631)マデ、六ハ信義公寛永 8年(1631)ヨリ明暦元年(1655)マデ
- 津軽秘事記** 卷一 下沢保躬編(未定稿) **YK210-27**  
明治 12(1879)写 1冊 半紙 和  
註：内題「津軽古今秘事記 卷第一」
- 〔東日流大成記〕** **YK210-28**  
写 1冊 半紙 和  
註：津軽開闢ヨリ為信公一統マデ
- 津軽事実考** 中村良之進 **YK210-29**  
明治 44(1911)写 1冊 半紙 和  
註：原文は安政 6年(1859)、小山内清隆集録
- 古記大全(全)** 藤田貞元 **YK210-30**  
明治 9(1876)写 1冊 半紙 和  
註：上中下(巻ヨリ巻十マデ)の合本、藤田貞元の草稿を合本して古記大全と題せるものにして主として古文書の書写日記記録類の抜書及びその考証である。
- 津軽歴史余考** 卷一 **YK210-31**  
明治 9(1876)写 1冊 半紙 仮和
- 自東日流左衛門至信寿公記(日記方所蔵)** 共三冊其上  
写 1冊 半紙 仮和 **YK210-32-上**
- 註：蔵印「御日記方」、虫食本、二則信公ヨリ十三為信公マデ
- 自東日流左衛門至信寿公記(日記方所蔵)** 共三冊其中  
写 1冊 半紙 仮和 **YK210-32-中**  
註：蔵印「御日記方」、虫食本、十四信建公ヨリ十八信義公マデ
- 自東日流左衛門至信寿公記(日記方所蔵)** 共三冊其下  
写 1冊 半紙 仮和 **YK210-32-下**  
註：蔵印「御日記方」、虫食本、十九信政公ヨリ廿二信寿公マデ
- 参考津軽古記之内** 傍島正郡(松軒)輯 **YK210-33**  
写 1冊 半紙 和  
註：「小笠原伊勢信浄駱伝」「高屋家記」「対馬家記」「平沢貞次小伝」写本シタノハ明治年間カ?
- 参考津軽古記** 中村良之進 **YK210-34**  
明治 35(1902)写 1冊 半紙 和  
註：原本ハ傍島正郡(松軒)私記
- 津軽根元由来記** **YK210-35**  
写 1冊 半紙 仮和  
註：内題「愚耳旧聴記 卷第一上」
- 津軽旧記類纂余録** 卷第二(不審問答并余論) **YK210-36**  
下沢保躬編  
写 1冊 半紙 仮和
- 著書稿** 下沢保躬 **YK210-37**  
明治 15(1882)写 1冊 半紙 仮和  
註：書簡類綴
- 津軽古今事実録** 全 下沢保躬編 **YK210-38**
- 明治 9(1876)写 1冊 菊 仮和  
註：紙背文書
- 津軽古今沿革考・岩木山靈異記** 抄略 **YK21019**  
遊雲(下沢陳平)  
明治 36(1903)写 1冊 半紙 仮和
- 東日流大成記(一名津陽実録)** 上 **YK210-40-上**  
中村良之進  
大正 2(1913)写 1冊 半紙 和  
註：南津軽郡石川村字薬師堂福士武雄氏所持の本を写す、東日流開闢の事に始まり御先祖代々考まで、津軽実録の異名もある
- 東日流大成記(一名津陽実録)** 中 **YK210-40中**  
中村良之進  
大正 2(1913)写 1冊 半紙 和
- 東日流大成記(一名津陽実録)** 下 **YK210-40-下**  
中村良之進  
大正 2(1913)写 1冊 半紙 和
- 〔津軽郷土史の研究〕** 森林助・中村良之進 **YK210-41**  
明治 39～明治 43(1906～1910)新聞切り抜き  
1冊 16×23 仮和  
註：近衛家と大石家、津軽史観(森林助)、二千刈の古碑、阿闍羅千坊考(中村良之進)他
- 捨掻集** 玉峯 高田竹山・森林助 **YK210-42**  
大正 8～大正 15(1919～1926)新聞切り抜き 1冊  
半紙 仮和  
註：末と羊、千島アイヌの巨人伝説、板垣退助薨去(東京日日新聞)、和徳城主の建碑(青森日報)、津軽家と大石家との関係、相良清兵衛の事蹟(弘前新聞)

**津軽郷土史料** YK210-43

新聞切り抜き 1冊 菊仮 和

註：大正2、3年(1913、1914)以降、名勝旧跡天然記念物、高德院金毘羅由来記、津軽言葉の一、二に就きて(竹内運平)他

**新聞切り抜き綴**(工藤鉄男氏の講演・他) YK210-44

大正4～大正5(1915～1916)1冊 新聞切り抜き 38×19

註：田中義成博士の講話、明治天皇と欧州戦乱(堀内文次郎)、少年義勇団(吉田熊次)、工藤鉄男氏の講演、他

**新聞切抜帳**(津軽郷土史料) YK210-45

大正9～大正11(1920～1922)1冊 新聞切り抜き 17×25 仮和

註：稲作と肥料、旧藩主家の徧歴代御命日、津軽の馬、関村古碑考、東宮摂政就任の大詔、海舟翁一夕話(徳富蘇峰)他

**郷土史談** 前田喜一郎 YK210-46

大正10(1921)1冊 新聞切り抜き 17×25 仮和

註：浪岡附近郷土史談異聞考、岩手県下に於ける本県史料、浪岡地方旧蹟考、王余魚沢の名称及大豆の坂

**津軽郷土史資料番外** YK210-47

昭和4(1929)1冊 新聞切り抜き 15×22 仮和

註：歴代師団長物語、とら女漂流譚、東京へ行く名物の話

**郷土史料**(東奥義塾開校・他) YK210-48

明治44～大正11(1911～1922)1冊 新聞切り抜き 17×25 仮和

註：青森新聞時代(山鹿元次郎)、来年度限りの東奥義塾、義塾開校(祝賀式含ム)、弘前教会略史、本多庸一、他

**〔郷土史資料〕** YK210-49

写 1冊 半紙 仮和

註：石川・乳井等を中心とした郷土資料

**郷土史参考資料**(乳井毘沙門堂由来・他) YK210-50

昭和4(1929)1冊 新聞切り抜き 16×23 仮和

註：津軽の人魚の話、建部綾足、乳井毘沙門堂由来、柏木町附近の史蹟と史談、南部の崇り田ネブタと盆踊り、他

**郷土史資料**(弘前招魂祭史・他) YK210-51

大正2～大正5(1913～1916)1冊 新聞切り抜き 15×23 和

註：三水利組合沿革、元和ノ饑饉、津軽相撲の話、貞昌寺托鉢修行、天守閣地鎮祭、他

**津軽郷土史資料**(金光上人・他) YK210-52

明治39～昭和4(1906～1929)1冊、新聞切り抜き 16×24 和

註：弘前新聞、大正報、北辰日報、東京日日新聞、東奥日報「石垣金光上人、十三瀉の伝説、藩祖為信公、相良清兵衛事跡、珍田捨己伯、他

**陸奥評林論津軽史** 丙 佐藤弥六 YK210-53

〔明治44(1911)〕1冊 新聞切り抜き 17×23 和

**切抜帳**(弘前藩御日記の話・他) YK210-54

昭和4(1929)1冊 新聞切り抜き 半紙版 仮和

註：燕鳥の海猫、弘前藩御日記の話、光信公とその御木像、他

**〔津軽史研究〕** YK210-55

明治42～昭和4(1909～1929)判 1冊 半紙 仮洋

註：弘前中学校校友会報、青森師範学校校友会誌より、津軽の古蹟、大浦城跡、慈雲の回想、山鹿素行先生と津軽藩、坂上田村磨伝説、他

**〔新聞切り抜き帳〕**(長慶天皇に聞する研究) YK210-56

昭和5(1930)1冊 新聞切り抜き 19×27 仮和

註：長慶天皇に聞する研究、弘前の桜花石川城の縦穴と瓢形古墳に就て、他

**津軽郷土史料新聞切抜帖**(盤山の鍾馗、他) YK210-57

昭和2(1927)新聞切り抜き 1冊 17×23 仮和

註：(弘前新聞掲載)盤山の鍾馗、津軽采女正と其著河羨録、他

**〔松窓雑談七編 上〕**(陸奥評林・他) YK210-58

大正3(1914)新聞切り抜き 1冊 半紙 和

註：弘前新聞連載、陸奥評林(佐藤弥六)、明治年間米況、旧津軽藩貯穀制度他

**〔松窓雑談八編 上〕**(青森の開市・他) YK210-59

明治39(1906)新聞切り抜き 1冊 半紙 和

註：東奥日報連載、四方拝、青森の開市、長慶帝御事蹟、あけび籠他

**〔松窓雑談八編 中〕**(津軽飢饉の昔話) YK210-60

新聞切り抜き 1冊 半紙 和

註：津軽飢饉の昔斬(佐藤弥六)

**〔松窓雑談八編 下〕**(津経史批判) YK210-61

新聞切り抜き 1冊 半紙 和

註：文学博士森林太郎及外崎寛両先生文壇の下に、公開書を致し、徳川十五代史中津軽の條を弁論するの書に反対して、相馬大作の事に及ぶ、他

**〔松窓雑談十編 中〕**(為信・寧親・他) YK210-62

大正元～大正6(1912～1917)新聞切り抜き 1冊 半紙 和

註：東京朝日新聞、茨木毎日新聞、青森実業新報、報知新聞、東奥日報、陸奥日報、国民新聞より。津軽為信

- 大仏が鼻並和徳責の史蹟、寧親公と露西亜他
- 〔松窓雑談二編 上〕 (善知鳥神社の縁由・他) **YK210-63**  
 明治 37～大正 2 (1904～1913) 新聞切り抜き 1冊 半紙 和  
 註：東奥日報、国民新聞、摂生新聞、やまと新聞、函館毎日新聞、青森市善知鳥神社の縁由、石田三成と杉山氏、弘前藩史、他、附、長寿法
- 〔郷土史資料〕 (佐々木元俊を想う) **YK210-64**  
 大正 5～14 (1916～1925) 新聞切り抜き 1冊 横長 仮和  
 註：(弘前毎日新聞切り抜き) 佐々木元俊を想ふ、小山内釣月先生、菊池九郎葬儀、伊東重先生の略歴、贈位津軽先哲略譜、相内地方史蹟、他
- 〔郷土資料〕 (新田村の吉五郎と星井弘道) **YK210-65**  
 天声子  
 明治 44 (1911) 新聞切り抜き 1冊 横長 仮和  
 註：弘前新聞連載
- 郷土資料 (新聞切り抜き集) **YK210-66**  
 昭和 3～4 (1928～1929) 切り抜き 1冊 半紙 仮和  
 註：(東奥日報掲載) 南北の両雄会見野沢如洋、御日記の話、法峠詣り、他
- 郷土資料 (新聞切り抜き) **YK210-67**  
 昭和 5～昭和 6 (1930～1931) 切り抜き 1冊 半紙 仮和  
 註：東京日日新聞、東奥日報、東奥サンデー掲載、郷土伝説、アイヌ探訪記、津軽西海岸の古碑を探る、他
- 古記録抄 **YK210-68**  
 写 1冊 半紙 仮和
- 註：朧月古記、貞享規範下、封内事実苑、津軽一統志
- 久渡寺の幽霊・津軽旧藩時代の正月 **YK210-69**  
 切り抜き 1冊 14×24 仮和  
 註：久渡寺の幽霊 昭和 11年 (1936) 東京朝日青森県版 (小野慎吉、弥富破摩雄、松野武雄) 旧藩時代の正月 昭和 12年 (1937) 東奥日報 (松野武雄)
- 新聞切抜 **YK210-70**  
 昭和 5 (1930) 切り抜き 1冊 B5 仮和  
 註：横内城 (西田源蔵)、志士高野長英の人相に就て (森林助)、他、東奥日報掲載
- 津軽郷土史研究資料 **YK210-71**  
 新聞切り抜き 半紙 仮和  
 註：津軽為信公の功績、大鰐の由来、往昔の藤崎は安東氏の城地、歴史から見た深浦港、他
- 文政白沢実録 **YK210-72**  
 大正 2 (1913) 新聞切り抜き 1冊 20×27 仮和  
 註：弘前新聞連載、佐藤弥六蒐集  
 附：津軽と南部境界山論、南部と津軽 (中央新聞)
- 郷土史料 (十和田保勝論・他) **YK210-73**  
 昭和 2 (1927) 新聞切り抜き 1冊 半紙 仮和  
 註：十和田保勝論 (青森県知事武田千代三郎)、山は富士湖は十和田 (大町桂月)、桂月先生隨遊記、下北めぐり (秋蝶)、旧弘前藩功臣事歴、他
- 青森県史談 第一編 **YK210-74-1**  
 写 1冊 半紙 和  
 註：第一章古代ノ史、第二章中世ノ史、第三章近世ノ史
- 青森県史談 第二編 **YK210-74-2**  
 写 1冊 半紙 和
- 註：第一章 風俗、第二章 仏教、第三章 政治、第四章 文学、第五章 産業
- 青森県史談 第三編 **YK210-74-3**  
 写 1冊 半紙 和  
 註：第一章 故墟、第二章 神社仏閣
- 青森県史談 第四編 **YK210-74-4**  
 写 1冊 半紙 和  
 註：第一章 津軽為信、第二章 武田源左衛門
- 青森県史談 第五編 増補ノ部 **YK210-74-5**  
 写 1冊 半紙 和
- 〔青森県史談 第六編 増補ノ部〕 **YK210-74-6**  
 写 1冊 半紙 和
- 旧記御取調并旧記 永沢得右衛門集録 **YK210-75**  
 写 1冊 半紙 仮和  
 註：夢想之連歌、独吟、七夕祭、盆踊、樺太、夜宮、花火、煤取など
- 津軽歴史資料 **YK210-76**  
 写 1冊 16×20 (ノート)  
 註：津軽人物参考 (長泉院、鴨ノ十兵衛、他)
- 郷土誌 第一巻 (津軽名所旧蹟詩文集・他) **YK210-77**  
 写 1冊 半紙 仮和  
 註：津軽名所旧蹟詩文集 (榎本武揚、大鳥圭介、山崎蘭州、伴健尹、他)、弘藩名数考 (黒石領含ム)
- 津軽旧記類編纂余材録 巻第弐 **YK210-78**  
 写 1綴 横 仮和  
 (継志斎 (下沢陳平) 旧蔵)  
 註：巻第弐第参は K210-16 にあり



## 参考津軽古記

YK210-79

写 1冊 半紙 仮和

註：北畠家譜、浪岡氏別記抄、藩史遺事金氏、津軽藩旧記伝類跋（下沢保躬）、藩翰譜津軽、他

## 外の漣 卷一

YK210-80-1

明治 25～28（1892～1895）新聞切り抜き 1冊 横小 和

註：牧畜ニ関ス旧藩制、北畠氏城墟碑、銭屋五兵衛子孫、他

## 外の漣 卷二

YK210-80-2

明治 ～（～）新聞切り抜き 1冊 横小 和

註：青森県案内、長慶帝山陵考、長慶天皇佩剣ノ考証、天明凶荒録

## 外の漣 卷三

YK210-80-3

明治 ～（～）新聞切り抜き 1冊 横小 和

註：長慶天皇御陵墓、津軽人ノ詩歌句、俳諧たねふくべ、北畠氏古城墟に於ける碑文の謬妄、建部陵足、穆山和尚ノ伝

## 外の漣（小波）卷四

YK210-80-4

明治 ～（～）新聞切り抜き 1冊 横小 和

註：善知鳥神社ノ由来、豊太閤ノ木像、西館孤清ノ伝、野辺地馬門戦闘、深浦沿革誌、乳井丁閑貢、他

## 外の漣 卷五

YK210-80-5

明治 33～（1900～）新聞切り抜き 1冊 横小 和

註：津軽糖部両郡疆域考、津軽為信遠征志考、東奥義塾沿革史、南部ト津軽ノ記事ニ就テ、文苑、政公考秘書他

## 外の漣 卷六

YK210-80-6

明治 34～（1901～）新聞切り抜き 1冊 横小 和

註：八耕田遊記、豪商故野村治三郎君伝、津軽伯家ノ公

債事件、故江渡茂吉翁、東奥詞藻他

## 外の漣 卷七

YK210-80-7

明治 29～（1896～）新聞切り抜き 1冊 横小 和

註：無名郷（故人乳井貢翁稿）

## 〔雜留記〕

YK210-81

文久 3（1863）写 1冊 半紙 仮和

註：津軽家年代記（御初代ヨリ延享三年 1746 マデ）、貞享五年（1688）御家中人数、正徳四年（1714）御家中知行分限、町割、他

## 東日流開蒼集盛記

YK210-82

写 1冊 半紙 和

註：内題「津軽開蒼集盛記」、津軽三庄のことより記し、寛文元年（1661）津軽信政入部まで

## 東国大平堅秘録 斎藤玄祢吉行貞

YK210-83

弘化 2（1845）写 1冊 半紙 仮和

註：文化 5 年（1808）南部大膳太夫（利敬）20 万石高直の際の秘聞

## 〔雜留記〕

YK210-84

写 1冊 横長 仮和

註：真田氏由緒、武田紀伊守守信、為信公大仏ヶ鼻夜討之事、和徳責之事

## 〔陸奥史料 第五綴〕

YK210-85

写 1冊 半紙 仮和

註：深浦観音堂什物御正体裏文・棟札、革秀寺鐘銘、石田三成子孫関係ノ件、弘前城内建神稻荷像、他

## 津軽実録 式全

YK210-86

写 1冊 半紙 和

註：「第式拾四奥瀬善九郎追討之事」より以下記載、本書

は「東日流成記」「津軽大成記」「津陽実録」と同じもの

## 東北太平記 棟方悌二

YK210-87

大正 11（1922）写 1冊 半紙 仮和

註：原本は別に「北部御陣日記」とも呼ばれ、作者は羽州秋田郡久保田の福士長俊にて、江戸時代初期の作といわれる、本書は、解題、目録、津軽に関する分の抜抄である

## 〔青森県史資料〕 棟方悌二

YK210-88

写（複写）1綴 半紙 仮和

註：弘前の起源及変遷、維新の際津軽藩勤王始末、弘前地方の教化、教育に関する資料

## 津軽旧記類 一 下沢保躬（主編纂）

YK210-89-1

明治 16（1883）写 1冊 半紙 和

註：従永長元年至明暦元年（1096～1655）秀栄公ヨリ信義公マデ

## 津軽旧記類 二 下沢保躬（主編纂）

YK210-89-2

明治 16（1883）写 1冊 半紙 和

註：従明暦 2 年至享保 16 年（1656～1731）信政公ヨリ信寿公マデ

## 津軽旧記類 三 下沢保躬（主編纂）

YK210-89-3

明治 16（1883）写 1冊 半紙 和

註：従享保 16 年至寛政 3 年（1731～1791）信著公ヨリ信明公マデ

## 津軽旧記類 四 下沢保躬（主編纂）

YK210-89-4

明治 16（1883）写 1冊 半紙 和

註：従寛政 3 年至文政 8 年（1791～1825）寧親公

## 津軽旧記類 五 下沢保躬（主編纂）

YK210-89-5

明治 16（1883）写 1冊 半紙 和

- 註：從文政8年至安政6年（1825～1859）信順公ヨリ順承公マデ
- 津軽旧記類** 六 下沢保躬（主編纂） **YK210-89-6**  
明治16（1883）写 1冊 半紙 和  
註：從安政6年至明治元年（1859～1868）承昭公
- 津軽旧記類** 七止 下沢保躬（主編纂） **YK210-89-7**  
明治16（1883）写 1冊 半紙 和  
註：從明治2年至明治15年（1869～1882）承昭公
- 神皇正統記**（評註校訂）一 北畠親房 **YK210-90-1**  
京都 永田調兵衛 慶応2（1866）板 1冊 美濃 和  
註：原版ハ慶安2年（1649）
- 神皇正統記**（評註校訂）二 北畠親房 **YK210-90-2**  
京都 永田調兵衛 慶応2（1866）板 1冊 美濃 和
- 神皇正統記**（評註校訂）三 北畠親房 **YK210-90-3**  
京都 永田調兵衛 慶応2（1866）板 1冊 美濃 和
- 神皇正統記**（評註校訂）四 北畠親房 **YK210-90-4**  
京都 永田調兵衛 慶応2（1866）板 1冊 美濃 和
- 神皇正統記**（評註校訂）五 北畠親房 **YK210-90-5**  
京都 永田調兵衛 慶応2（1866）板 1冊 美濃 和
- 神皇正統記**（評註校訂）六 北畠親房 **YK210-90-6**  
京都 永田調兵衛 慶応2（1866）板 1冊 美濃 和
- 皇朝史略** 七・八 青山延干 **YK210-91**  
刊 1冊 半紙 和  
註：延干（のぶゆき）1776～1843）ハ江戸中期、水戸藩の儒者、通称量介、拙齋と号す
- 統皇朝史略** 四・五 青山延干 **YK210-92**  
刊 1冊 半紙 和
- 日本姦臣列伝** 全 附 逆臣 釈氏 **YK210-93**  
飯田忠彦  
活（72×2頁）1冊 B6 仮洋  
註：野史卷二百七十六～二百八十一（姦臣・叛臣・逆臣・釈氏）
- 神代卷講書** 一上（発端開闢） **YK210-94-1**  
斎藤規房（八郎左衛門、鉦右衛門）  
文政8（1825）写 1冊 美濃 和  
註：日本書記神代卷注釈、卷末に「（北川）正喜応需而規房書授之也」とある、規房は、当時津軽藩学問所和学方御用係、高岡祭司役手伝
- 神代卷講書** 一下（二ノ卷天孫降臨） **YK210-94-2**  
斎藤規房（八郎左衛門、鉦右衛門）  
文政8（1825）写 1冊 美濃 和
- 神代卷講書** 二上（三才開始一書） **YK210-94-3**  
斎藤規房（八郎左衛門、鉦右衛門）  
文政8（1825）写 1冊 美濃 和
- 神代卷講書** 二下（返矢之段） **YK210-94-4**  
斎藤規房（八郎左衛門、鉦右衛門）  
文政8（1825）写 1冊 美濃 和
- 神代卷講書** 三上（八神化生） **YK210-94-5**  
斎藤規房（八郎左衛門、鉦右衛門）  
文政8（1825）写 1冊 美濃 和
- 神代卷講書** 三下（一句附属） **YK210-94-6**  
斎藤規房（八郎左衛門、鉦右衛門）  
文政8（1825）写 1冊 美濃 和
- 神代卷講書** 四上（八洲起源） **YK210-94-7**  
斎藤規房（八郎左衛門、鉦右衛門）  
文政8（1825）写 1冊 美濃 和
- 神代卷講書** 四下（龍宮） **YK210-94-8**  
斎藤規房（八郎左衛門、鉦右衛門）  
文政8（1825）写 1冊 美濃 和
- 神代卷講書** 五上（万物出生） **YK210-94-9**  
斎藤規房（八郎左衛門、鉦右衛門）  
文政8（1825）写 1冊 美濃 和
- 神代卷講書** 五下（龍宮） **YK210-94-10**  
斎藤規房（八郎左衛門、鉦右衛門）  
文政8（1825）写 1冊 美濃 和
- 神代卷講書** 六上（劍玉誓） **YK210-94-11**  
斎藤規房（八郎左衛門、鉦右衛門）  
文政8（1825）写 1冊 美濃 和
- 神代卷講書** 七上（蛇之段） **YK210-94-12**  
斎藤規房（八郎左衛門、鉦右衛門）  
文政8（1825）写 1冊 美濃 和  
註：蛇は蛇の異体字、オロチ、大蛇なり
- 神代卷講書** 八上（岨之一書） **YK210-94-13**  
斎藤規房（八郎左衛門、鉦右衛門）  
文政8（1825）写 1冊 美濃 和
- 神代卷講書** 九上（小彦名） **YK210-9414**  
斎藤規房（八郎左衛門、鉦右衛門）  
文政8（1825）写 1冊 美濃 和
- 皇国執政** 自神代天正迄 **YK210-95**

- 写 1冊 美濃半 和  
註：天正（1573～1591）
- 大日本史料抜萃**〔下沢陳平〕 **YK210-96**  
写 1冊 半紙大 和綴  
註：陸奥国関係ノ抜萃、紙背文書
- 御誓勅註解** 吉嘉之輔（神代復古誓願監督）著 **YK210-97**  
明治22（1889）写 1冊 半紙 和  
註：御誓勅とは明治天皇「五箇条の誓文」（明治元年1868）をいう
- 佐竹三卷史** 首卷 志賀祐五郎 **YK210-98**  
秋田市 鈴木鉄治 明治27（1894）刊 1冊 菊 和
- 中山破問録** **YK210-99**  
写 1冊 半紙 和
- 南部鹿角根元記** 森林助 **YK210-100**  
大正12（1923）写 1冊 半紙 仮和
- YK214 江戸時代以前**
- 東日流記** 高屋豊前 **YK214-1**  
写（コピー）1冊 半紙横 仮和  
註：津軽御代々之事
- 〔**東日流話記**〕 **YK214-2**  
写 1冊 横小 仮和  
註：御先祖金沢左京亮ヨリ十代藩主信順マデ、附…古今之記
- 〔**津軽家歴代系譜**〕 **YK214-3**  
写 1冊 半紙 仮和  
註：田中太郎五郎旧記之写、御先祖様御位階之儀堂上方
- 記録之写
- 浪岡御所系図、浪岡季令家記、北畠系図略、山崎氏所蔵北畠系譜、後村上帝綸旨、北畠左近顕忠書牘** **YK214-4**  
明治25（1892）写 1冊 半紙 仮和  
註：付大正日記、古事聞見記、津軽故事考後
- 旧聴記** 天明3年3月吉日 高鑑 **YK214-5**  
天明3（1783）写 1冊 半紙 和  
註：東日流旧聴記、（津軽開基岩木山伝記、御先祖乃事、津軽郡分之事、津軽合戦記抜書、御陣出立、御手前道具、外）
- 藩祖略記 討南北記略 系図類 津軽史略 秀栄公年回**  
兼松成言纂輯 **YK214-6**  
明治8（1875）写 1冊 半紙 和
- 〔**大浦政信記**〕 下沢保躬 **YK214-7**  
明治11（1878）写 1冊 半紙 仮和  
註：津軽政信朝臣於和徳河原戦死セラレタル事蹟
- 津軽記 一・二・三** **YK214-8**  
写 1冊 半紙 和  
註：一、津軽記（往古東日流郡、津軽惣覚書、津軽家御系図等）、二、津軽記序（愚耳旧聴記卷之二）、三、津軽記愚耳旧聴記卷之三、追加2、為信誕生より病死まで
- 津軽記 下** **YK214-9**  
写 1冊 半紙 和  
註：「南部勢浅瀬石江寄る事」より「為信公御病死之事」まで
- 津軽記 卷之七 小杉武兵衛** **YK214-10**  
文政10（1827）写 1冊 半紙 和  
註：神社仏閣
- 津軽記** 元治元歳 **YK214-11**  
元治元（1864）写 1冊 半紙 和  
註：愚耳旧聴記「為信公御誕生附大浦江御聳入之事」より「北畠左近忠弟之道尽之事」まで
- 〔**津軽記 卷之一、卷之二**〕 **YK214-12**  
写 1冊 半紙 仮和
- 津軽記**（石井三庵手簡写） **YK214-13**  
菊地新右衛門  
明治10（1877）写 1冊 半紙 和  
註：原本は寛永9（1632）年、石井伊賀の家来小田嶋馬左衛門に送った石井三庵の手簡、宝永8（1711）年岩間宇右衛門がそれを写し、更にそれを写したものが本書である
- 津軽記** **YK214-14**  
写 1冊 半紙 和  
註：内題「津軽記一名為信一代記」
- 愚耳旧聴記 全** **YK214-15**  
宝暦13（1763）写 1冊 半紙 和
- 愚耳旧聴記**〔添田儀左衛門源貞俊〕 **YK214-16**  
写 1冊 半紙 和  
註：原文は寛文年間（1661～1672）の著述、本書は巻第一上「為信公御誕生カラ北畠左近忠弟之道尽之事マデ」
- 〔**愚耳旧聴記 卷第一上**〕 **YK214-17**  
添田儀左衛門源貞俊  
写 1冊 半紙 和  
註：原文は寛文年間（1661～1672）の著述、「為信公御誕生ヨリ北畠左近忠弟之道尽之事マデ」
- 〔**津軽記愚耳旧聴記 卷之三**〕 **YK214-18**

- [添田儀左衛門源貞俊]  
写 1冊 半紙 和  
註：原文は寛文年間(1661～1672)の著述、油川之城主奥瀬善九郎聞落之事ヨリ、為信公御逝去之事マデ」、附、追加
- 津軽紀譚 乾 小山内建磨撰 YK214-19- 乾**  
弘化4(1847)写 1冊 半紙 和  
註：内題「津軽軍記 巻第一～第三」
- 津軽紀譚 坤 小山内建磨撰 YK214-19- 坤**  
弘化4(1847)写 1冊 半紙 和  
註：内題「津軽軍記 巻第四～第六」
- [津軽旧事異聞録] YK214-20**  
小山内建本考訂(下沢保躬補註)  
写 1冊 半紙 仮和  
註：本書に収録「小山内又右ヱ門清隆筆記」「後方羊蹄考」「愚耳旧聴記」「津軽根元記」「津軽大宝記」「南部史要抄」「野史巻二百七十七」
- 津陽旧事記 全 YK214-21**  
写 1冊 半紙 和
- 東日流由来記 全 中村良之進 YK214-22**  
明治30(1897)写 1冊 半紙 和  
註：原文は寛文2年(1662)
- 東日流由来(秘書) YK214-23**  
万延2(1861)写 1冊 半紙 和  
註：内題「東日流由来記」
- 津陽開記 添田儀左衛門貞俊 YK214-24**  
写 1冊 半紙 和  
註：原本「愚耳旧聴記」(延宝2年-1674-)を異名(本書名)で書写したもの
- 津陽開記 上 添田儀左衛門貞俊 YK214-25**  
写 1冊 半紙半 和  
註：原本「愚耳旧聴記」(延宝2年-1674-)を異名(本書名)で書写したもの
- 津陽開記 全 添田儀左衛門貞俊 YK214-26**  
写 1冊 半紙 和  
註：原本「愚耳旧聴記」(延宝2年-1674-)を異名(本書名)で書写したもの
- 津軽創業記 上 YK214-27- 上**  
天保10(1839)写 1冊 半紙 仮和  
註：延宝2年(1674)、添田儀左衛門貞俊の著作「愚耳旧聴記」の異名
- 津軽創業記 下 YK214-27- 下**  
天保10(1839)写 1冊 半紙 仮和  
註：延宝2年(1674)、添田儀左衛門貞俊の著作「愚耳旧聴記」の異名
- 藩中旧事記 YK214-28**  
嘉永2(1849)写 1冊 半紙 和  
註：永禄元～貞享四年(1558～1687)
- 津軽開基記 YK214-29**  
明治6(1873)写 1冊 半紙 和
- 異聞天正日記 森林助 YK214-30**  
昭和4(1929)写 1冊 美濃 仮和
- 本藩濫觴実記 乾 YK214-31- 乾**  
永沢得右衛門藤原奉実  
文久2(1862)写 1冊 半紙 和  
註：従往古神武天皇御宇到天文十辛丑年(1541)
- 本藩濫觴実記 坤 YK214-31- 坤**  
永沢得右衛門藤原奉実  
文久2(1862)写 1冊 半紙 和  
註：御遠祖旧記附録、津軽部分名所旧跡、編覧日記首巻、従天文十一壬寅年到永禄九丙寅年(1542～1566)
- 北門古史・津軽前史 全 黒瀧儀任 YK214-32**  
明治40(1907)活版 1冊 14×23和
- 東日流記・津陽開記・愚耳旧聴記(校合本) YK214-33**  
継志斎(下沢陳平)  
大正10(1921)写 1冊 半紙 仮和  
註：三冊ハ異名同書ナリ、延宝2年(1674)、添田貞俊著作
- 愚耳〔旧〕聴記〔卷一上〕 YK214-34**  
写 1冊 A5 和  
註：原本は延宝2年(1674)、添田儀左衛門貞俊の著作
- 愚耳旧聴記 二 添田儀左衛門貞俊 YK214-35**  
延宝2(1674)写 1冊 半紙 和  
註：油川之城聞落之事(1585)より、為信公御病死之事(1607)まで、一欠
- 奥州津軽弘前藩旧記 二 源正躬 YK214-36**  
慶応2(1866)写 1冊 半紙 和  
註：佐藤記、金記、八木橋記、津島記、田中記
- [家記抜書] YK214-37**  
永禄10～寛永10(1567～1633)写 1冊 半紙 仮和  
註：原本は「永禄日記」か?

- 津軽合戦記** YK214-38  
写 1冊 美濃 和  
註：延宝2年(1674)、添田儀左衛門貞俊著作の「愚耳旧聴記」の異名写書、内題下に「又、治国記と有」ともある、裏表紙には「明治三十二亥歳六月清旦更作表紙竹内安久 七十四叟記」とある
- 〔愚耳旧聴記〕** YK214-39  
写 1冊 半紙 和  
註：前文に「津軽開基、津軽郡之事、津軽御先祖之事」あり巻末に「聞書(天文19～天明3)(1550～1783)」あり
- 創業記 全** YK214-40  
享保年中(1716～1736)写 1冊 半紙 和  
註：内題「津軽創業記上」「愚耳旧聴記全」原著 添田儀左衛門貞俊 延宝2年(1674)
- 本藩濫觴実記** YK214-41  
天保13(1842)写 1冊 半紙 仮和  
註：原本は寛政5年(1793)、木立要左衛門旧記の書写
- 本藩濫觴実記(津軽・秘本) 全 義智** YK214-42  
安政3(1856)写 1冊 半紙 和
- 本藩濫觴実記** YK214-43  
写 1冊 半紙 和
- 本藩濫觴実記 附録** YK214-44  
写 1冊 半紙 和
- 武家軍艦 三之四 終** YK214-45  
写 1冊 半紙 仮和  
註：京鎌倉両公方并両上形宮領の事、日本に鉄砲のはじまりし事、北条氏康鉄砲におどろきて武篇に成し事、他
- 津軽短歌** YK214-46  
写 1冊 半紙 仮和  
註：附考証
- 武家沿革図考(日本中古) 全** YK214-47  
刊 1冊 美濃半 和
- 岩淵夜話 全〔大道寺友山(重祐)〕** YK214-48  
写 1冊 半紙 和  
註：巻之一～五(紙数62枚)、友山(1639～1730)は福井越前藩士、山鹿素行の高弟、兵学者。津軽藩の喜多村久道・久域(建部綾足)の祖父、綾足の母が友山の娘
- 〔津軽前史資料断片〕** YK214-49  
写 1冊 半紙 仮和  
註：正式ノ書名、著者名不明
- 津軽古今治乱記 一、津軽記抜書 古今神社考諺解略巻第一** YK214-50  
写 1冊 半紙 仮和  
註：(1)自津軽家曩祖至光信公大永六年(1526) (2)天正十九年八月南部信直津軽為信ヲ伐タントシテ果サズ(1591) (3)藤崎村城墟及ヒ八幡鹿島堰八宮事蹟
- YK215 江戸時代**
- 御当家深秘録 覚範** YK215-1  
文政5(1822)写 1冊 半紙 和  
註：津軽信枚公東叡山ノ法嗣タル由来、覚範…岩鬼山薬王院別当十三世
- 深秘録 全** YK215-2  
写 1冊 半紙 和  
(稽古館旧蔵本)
- 津軽慶延間記 一名慶長日記** YK215-3  
慶長2(1597)～延享元(1744)写 1冊 半紙 和  
註：巻末に(下表紙ノ裏ニ左ノ如クアリ)とあり、次の如し、浪岡の医者、但慶長日記、浪岡日記、佐藤只之助日記
- 日記 天保13年從正月至6月** YK215-4  
天保13(1842)写 1冊 半紙 和
- 〔日記〕** YK215-5  
天明3(1783)写 1冊 14×22 仮和  
註：江戸勤番津軽藩士の日記(10月1日～12月22日)
- 御日記 天和3年** YK215-6  
天和3(1683)写 1冊 半紙 和  
註：弘前藩庁日記(国日記)天和三年五月の写本
- 日記 從天正13年至宝暦13年 葛西清雄編** YK215-7  
文化3(1806)写 1冊 半紙 和  
註：從天正十三乙酉至宝暦十三癸未日記(1585～1763)
- 津軽諸家日記** YK215-8  
昭和5(1930)写 1冊 半紙 仮和  
註：附・蘭州先生印譜
- 日記 嘉永7年自3月至5月** YK215-9  
嘉永7(1854)写 1冊 半紙 和
- 南部津軽両御境目日記 延宝3年3月18日ヨリ** YK215-10  
延宝3(1675)写 1冊 半紙 和  
註：三月十八日ヨリ十二月晦日マデ
- 南部津軽両御境目日記 延宝7年5月18日ヨリ** YK215-11  
延宝7(1679)写 1冊 半紙 和

註：五月十八日ヨリ八月四日マデ。巻尾に「正徳四歳午ノ七月廿九日右之通公儀江指上候下帳也」とある

**南部津軽両御境目日記** 宝永6年2月15日ヨリ  
宝永6(1710)写 1冊 半紙 和 **YK215-12**  
註：二月十五日ヨリ十月廿八日マデ

**〔南部津軽両御境目日記〕** **YK215-13**  
写 1冊 半紙 仮和  
註：正月二日ヨリ十二月廿六日マデ。巻尾に「正徳四年午ノ七月廿九日、右之通公儀江指上候下帳」とある

**大平家日記 壺** **YK215-14-1**  
写 1冊 半紙 仮和  
註：大仏カ鼻ノ高信事、小笠原作左衛門浄種家ノ事、永禄十年(1567)ヨリ慶長十二年(1607)マデ

**大平家日記 式** **YK215-14-2**  
写 1冊 半紙 仮和  
註：慶長十三年(1608)ヨリ元禄二年(1689)マデ

**大平家日記 三** **YK215-14-3**  
写 1冊 半紙 仮和  
註：元禄三年(1690)ヨリ元文五年(1740)マデ

**大平家日記 四** **YK215-14-4**  
写 1冊 半紙 仮和  
註：寛保元年(1741)ヨリ寛政四年(1792)マデ

**大平家日記 五** **YK215-14-5**  
写 1冊 半紙 仮和  
註：寛政四年(1792)ヨリ文化三年(1806)マデ

**大平家日記 六** **YK215-14-6**  
写 1冊 半紙 仮和

註：文化四年(1807)ヨリ文化十四年(1817)マデ

**大平家日記 七** **YK215-14-7**  
写 1冊 半紙 仮和  
註：文政元年(1818)ヨリ文政八年(1825)マデ

**大平家日記 八** **YK215-14-8**  
写 1冊 半紙 仮和  
註：文政九年(1826)ヨリ天保十年(1839)マデ

**秘書日記** **YK215-15**  
写 1冊 半紙 和

**日記** 天明元年ヨリ文化2年ニ至ル **YK215-16**  
天明元(1781)～文化2(1805)写 1冊 半紙 和

**年代拾遺** **YK215-17**  
文化元(1804)～文政6(1823)写 1冊 半紙 和

**嘉永六癸丑覚** **YK215-18**  
嘉永6(1853)写 1冊 横中 仮和

**〔金木屋日記(二番)乾〕** 嘉永6年 **YK215-19-1**  
武田又三郎  
嘉永6(1853)写 1冊 半紙 仮和  
註：正月ヨリ七月中マデ

**〔金木屋日記(三番)坤〕** 嘉永6年 **YK215-19-2**  
武田又三郎  
嘉永6(1853)写 1冊 半紙 仮和  
註：八月朔日ヨリ十二月卅日マデ

**〔金木屋日記(四番)乾〕** 嘉永7年・安政元年 **YK215-19-3**  
武田又三郎  
嘉永7(1854)～安政元年(1854)写 1冊 半紙

仮和  
註：正月元日ヨリ七月十日マデ

**〔金木屋日記(五番)坤〕** 嘉永7年・安政元年 **YK215-19-4**  
武田又三郎  
嘉永7(1854)～安政元(1854)写 1冊 半紙 仮和  
註：七月朔日ヨリ十二月卅日マデ

**〔金木屋日記(六番)乾〕** 安政2年 **YK215-19-5**  
武田又三郎  
安政2(1855)写 1冊 半紙 仮和  
註：正月元日ヨリ七月廿九日マデ

**〔金木屋日記(七番)坤〕** 安政2年 **YK215-19-6**  
武田又三郎  
安政2(1855)写 1冊 半紙 仮和  
註：八月朔日ヨリ十二月廿九日マデ

**〔金木屋日記(東浜へ下浜日記入)〕** **YK215-19-7**  
武田又三郎  
安政2(1855)写 1冊 半紙 仮和  
註：安政二乙卯年六月二日、黒石へ廻り、青森之下浜日記。紙背文書

**〔金木屋日記 乾〕** 安政3年 **YK215-19-8**  
武田又三郎  
安政3(1856)写 1冊 半紙 仮和  
註：正月元旦ヨリ六月晦日マデ

**〔金木屋日記 坤〕** 安政3年 **YK215-19-9**  
武田又三郎  
安政3(1856)写 1冊 半紙 仮和  
註：七月朔日ヨリ極月(十二月)卅日マデ、但し七月二日ヨリ、十月晦日マデ欠

- 〔金木屋日記 乾〕 安政4年 YK215-19-10  
武田又三郎  
安政4(1857)写 1冊 半紙 仮和  
註：正月元日より六月晦日マデ
- 〔金木屋日記 坤〕 安政4年 YK215-19-11  
武田又三郎  
安政4(1857)写 1冊 半紙 仮和  
註：七月朔日より十二月晦日マデ
- 〔金木屋日記 乾〕 安政5年 YK215-19-12  
武田又三郎  
安政5(1858)写 1冊 半紙 仮和  
註：正月元日より六月廿九日マデ
- 〔金木屋日記 坤〕 安政5年 YK215-19-13  
武田又三郎  
安政5(1858)写 1冊 半紙 仮和  
註：七月朔日より十二月晦日マデ
- 〔金木屋日記 乾〕 安政6年 YK215-19-14  
武田又三郎  
安政6(1859)写 1冊 半紙 仮和  
註：正月元日より六月晦日マデ
- 〔金木屋日記 坤〕 安政6年 YK215-19-15  
武田又三郎  
安政6(1859)写 1冊 半紙 仮和  
註：七月朔日より極月(十二月)晦日マデ
- 〔金木屋日記 乾〕 安政7年 YK215-19-16  
武田又三郎  
安政7(1860)～万延元(1860)写 1冊 半紙 仮和  
註：正月元日より六月晦日マデ
- 〔金木屋日記 坤〕 文久元年 YK215 19-17  
武田又三郎  
文久元(1861)写 1冊 半紙 仮和  
註：八月朔日より九月六日マデ
- 〔金木屋日記〕 文久2年 YK215-19-18  
武田又三郎  
文久2(1862)写 1冊 半紙 仮和  
註：正月元日より七月晦日まで欠、八月朔日より八月廿八日マデ、附、京都風説書
- 〔金木屋日記(一番)〕 元治元・2・慶応元年 YK215-19-19  
武田又三郎(敬之)  
元治元(1864)～元治2(1865)・慶応元(1865)写 1冊 横16×31 和  
註：八月朔日より三月廿九日まで、表紙ニ敏之(花押)あり。紙背文書。附、京都并江戸色々之風説書写
- 〔金木屋日記〕 二 YK215-19-20  
天保8(1837)写 1冊 半紙 和  
註：正月元日より同年五月二十二日マデ并年中行事。一欠、敬之の署名、花押書きの袋入
- 〔金木屋日記〕 三 YK215-19-21  
天保8(1837)写 1冊 半紙 和  
註：五月廿三日より同年八月十五日マデ。卷末に天保十三年正月元旦より同月卅日までの日記あり、敬之の署名、花押書きの袋入(二と三のみ)
- 代官日記 二 從寛保2年至同3年 YK215-20-1  
寛保2(1742)～寛延3(1750)写 1冊 半紙 和  
註：紙背文書、表紙に次のことも書かれている。從延享元甲子年至同四丁卯年、從寛延元戊辰年至同三庚午年
- 代官日記 四 從宝暦9年間14年迄今年明和と改元 YK215-20-2  
宝暦9(1759)～明和元(1764)写 1冊 半紙 和  
註：紙背文書
- 代官日記 六 從明和7年至同8年 YK215-20-3  
明和7(1770)～明和8(1771)写 1冊 半紙 和  
註：紙背文書
- 代官日記 七 從安永元年至2年 YK215-20-4  
安永元(1772)～安永2(1773)写 1冊 半紙 和  
註：紙背文書
- 代官日記 八 從安永3年至5年 YK215-20-5  
安永3(1774)～安永5(1776)写 1冊 半紙 和  
註：紙背文書
- 代官日記 九 從安永6年至同7年 YK215-20-6  
安永6(1777)～安永7(1778)写 1冊 半紙 和  
註：紙背文書
- 代官日記 十 從安永8年至同9年 YK21-20-7  
安永8(1779)～安永9(1780)写 1冊 半紙 和  
註：紙背文書
- 代官日記 十六 從寛政7年至同8年 YK215-20-8  
寛政7(1795)～寛政8(1796)写 1冊 半紙 和  
註：辛亥〔寛政3(1791)〕甲寅〔寛政6(1794)〕年之記混入
- 代官日記 十七 從寛政9年至同10年 YK215-20-9  
寛政9(1797)～寛政10(1798)写 1冊 半紙 和  
註：紙背文書
- 藤崎村川越茂助家日記留之内抜書 YK215-21  
天保7(1836)写 1冊 半紙 仮和

- 註：慶長九年ヨリ安永三年迄ノ日記ヨリ抜書（文化八年  
操武軒七拾七翁写）紙背文書
- 日記 全** **YK215-22**  
〔宝暦5（1755）〕～天明3（1783）～寛政3（1791）  
写 1冊 半紙 和  
註：天明の凶作・八代藩主信明公逝去前御登等
- 〔日記抜書〕** **YK215-23**  
天保4（1833）～安政7（1860）写 1冊 半紙 仮和  
註：津軽藩庁関係
- 〔梅田日記抜書〕** **YK215-24**  
安政5（1858）写 1冊 半紙 仮和  
註：慶長九年ヨリ安政年間マデ
- 鬼沢庄屋事件（津軽伯爵家御所蔵御日記抜書）** **YK215-25**  
写 1冊 半紙 和  
註：文化十年（1813）の民次郎一揆、附、不作徒党事  
件共
- 合浦日記抄 梅川両亭印 全** **YK215-26**  
傍島吉之進正郡  
嘉永6（1853）写 1冊 半紙 和  
註：梅田日記抜書、藤崎川越茂助家之日記抄
- 五重塔之部（弘前藩御日記抜書）** **YK215-27**  
寛文6（1666）～文久元（1861）写 1冊 半紙 和  
註：弘前藩御日記抜書（津軽伯爵家御所蔵）五重塔之部  
（自昭和二年十二月至昭和四年十月）写、末尾に「永禄  
日記」「津軽歴代記類」抜書をも添綴
- 〔元禄九年御日記抜書〕** **YK215-28**  
元禄9（1696）写 1冊 半紙 仮和
- 慶長年中ヨリ抜書** **YK215-29**  
慶長12（1607）～享保12（1727）写 1冊 半紙 和
- 日記実録（外川家日記）天弘両全** **YK215-30**  
天保8（1837）～弘化元（1844）写 1冊 半紙 和  
註：天保八年正月元日ヨリ風雨気候書
- 加賀鍋 鶴舎有節** **YK215-31**  
文化5（1808）～文久（1862）写 1冊 横中 仮和  
註：幕末津軽ノ俳人、弘前ノ商家鶴屋、本姓武田
- 炫鍋 第二 鶴舎有節** **YK215-32**  
文久3（1863）～慶応4（1868）写 1冊 横中 仮和
- 炫鍋 一 鶴舎有節** **YK215-33-1**  
慶応4（1868）～明治3（1870）写 1冊 横中 和
- 炫鍋 二 鶴舎有節** **YK215-33-2**  
明治3（1870）～明治4（1871）写 1冊 横中 和
- 文久二戌年記** **YK215-34**  
文久2（1862）写 1冊 半紙 和  
註：京都表風説、紙背文書
- 日記 五冊ノ内** **YK215-35**  
元禄15（1702）コピーB4 64枚 仮和  
註：津軽藩庁日記、従三月七日至十三日
- 日記 三冊ノ内** **YK215-36**  
元禄15（1702）コピーB4 83枚 仮和  
註：津軽藩庁日記、従四月廿一日至三十日
- 日記（交代登ニ付）** **YK215-37**  
安政6（1859）～万延元（1860）写 1冊 横中 仮和  
註：三月廿三日ヨリ翌年四月三日マデ
- 日記** **YK215-38**  
文久元（1861）～文久2（1862）写 1冊 横中 仮和  
註：三月廿三日ヨリ翌年五月四日マデ
- 〔日記抜書〕** **YK215-39**  
慶安3（1650）～文化7（1810）写 1冊 横中 仮和
- 日記抜書** **YK215-40**  
天保5（1834）写 1冊 横小 和
- 晴雨日記 天保15年ヨリ嘉永2年迄 政則** **YK215-41-1**  
天保15（1844）～嘉永2（1849）写 1冊 半紙  
仮和  
註：原本は常德記と思われるが、虫食のため新しく政則  
が書き写したものが本書である
- 晴雨日記 安政5歳ヨリ文久3年マデ 常德** **YK215-41-2**  
安政5（1858）～文久3（1863）写 1冊 半紙 仮和
- 晴雨日記 文久4年ヨリ元治2年マデ両歳 常德** **YK215-41-3**  
文久4（1864）～元治2（1865）写 1冊 半紙 仮和
- 晴雨日記 慶応2年 常治** **YK215-41-4**  
慶応2（1866）写 1冊 半紙 仮和
- 〔晴雨日記〕 慶応3年** **YK215-41-5**  
慶応3（1867）写 1冊 半紙 仮和
- 晴雨日記 慶応4年** **YK215-41-6**  
慶応4（1868）写 1冊 半紙 仮和  
註：「天時地理人和万物変易誌」
- 晴雨日記 明治2年** **YK215-41-7**



- 明治2 (1869) 写 1冊 半紙 仮和  
註：「万物変易誌」
- 晴雨日記** 明治5年 **YK215-41-8**  
明治5 (1872) 写 1冊 半紙 仮和
- 川越日記抄** **YK215-42**  
慶長9 (1604) ~安永3 (1774) 写 1冊 半紙 仮和  
註：此記藤崎行川越茂介方之留ヨリ拔出致日記、附…  
横嶋寿栄続記〔天明3 (1783) ~文化8 (1811)〕
- 津軽家御日記抜萃** 中村氏 **YK215-43**  
寛文11 (1671) ~天保9 (1838) 写 1冊 半紙 仮和  
註：明治以後の複写 (藩庁御国日記ヨリ抜萃)
- 〔信寿公・信著公御治世攷要〕** **YK215-44**  
寛文9 (1669) ~寛保2 (1742) 写 1冊 横小 和  
註：津軽五代・六代藩士
- 〔秋田国事要略年表〕** **YK215-45**  
写 1冊 半紙 和  
註：従慶長元年寛延元年迄百五十三年、附京都江戸御吉凶
- 義宣公御伝記抜萃** (佐竹秘書) **YK215-46**  
大正2 (1913) 写 1冊 半紙 仮和  
註：表紙に「津軽歴史ノ欠ケタル所及誤レル所ヲ正スベキモノヲ写取シナリ」と書かれている
- 〔上洛諸留書〕** 五十嵐所吉貞隆 **YK215-47**  
文久3 (1863) 写 1冊 半紙 仮和  
註：文久3年、小見山藤兵衛が、京都津軽屋鋪留守居をしていた時、五十嵐所吉が上洛する際の諸覚書 (紙背文書)
- 此度為御守衛上京被仰付ニ付伺書并御濟口留** 文久3年5月22日 五十嵐所吉 (御馬廻壱番組頭) **YK215-48**
- 文久3 (1863) 写 1冊 半紙 仮和  
註：紙背文書
- 〔覚〕 下沢保躬** **YK215-49**  
安政4~6 (1857~1859)、慶応3 (1867) 写  
1冊 横中 仮和  
註：「杉出様上京御人数名前」「廻小人岩館打次郎越後国於赤塚駅逢難候節諸書付」(慶応3年) 他安政4~6年の覚、一部紙背文書
- 駿府御加番勤方帳** 文化4年5月 **YK215-50**  
津軽三十郎  
文化4 (1807) 写 1冊 美濃 和  
註：五月。三十郎は黒石八代領主津軽親足
- 松前箱館御固御用留** 乾 (弘前青森三厩迄記) 寛政9年  
高杉勝美 (源次郎) **YK215-51**  
寛政9 (1797) 写 1冊 半紙 和
- 松前夷蜂起物語** **YK215-52**  
正徳3 (1713) 写 1冊 半紙 和
- 惣非常心覚** 安政3年4月 **YK215-53**  
安政3 (1856) 写 1冊 横小 和  
註：松前并公儀衆御尋之節御答、御人数積、御武器積、寛政文化公辺江御達之儀
- 箱館表罷越候日記** 安政5年 **YK215-54**  
安政5 (1858) 写 1冊 半紙 和
- 蝦夷地エトロフ嶋之内江異人漂着長崎表江護送一件** 弘化ノ年 **YK215-55**  
弘化3年 (1846) 写 1冊 半紙 仮和  
註：松前藩記録
- 異国舟来着ニ付出張被仰付廿二日曉過達直様出立人数**  
弘化5年3月 **YK215-56**  
弘化5 (1848) 写 1冊 半紙 仮和
- 赤賊襲来記** 文化4年6月 **YK215-57**  
文化4 (1807) 写 1冊 半紙 和  
註：七月、松前城下表ニ而書之 (この年、魯人、エトロフに侵寇、松前奉行設置)
- 松前詰合日記 全** **YK215-58**  
津軽藩士殉難者の慰霊碑を建立する合綴  
昭和48 (1993) 活版 1冊 A5 和  
註：文化4 (1807) 年5月弘前出立より文化5 (1808) 年8月弘前帰着まで、津軽藩士の斜里地方警備の日記 (筆者…斎藤勝利)
- 平館御陣屋勤方心得** 安政3年3月7日 **YK215-59**  
安政3 (1856) 写 1冊 横小 和
- 箱館御国一件** 寛政9年 **YK215-60**  
山田剛太郎  
寛政9 (1797) 写 1冊 半紙 和  
註：山田剛太郎、この時、箱館番所詰 (松前警備隊長) 11月より翌年8月まで藩兵295人の侍大将
- 北地聞書 全** **YK215-61**  
文化5 (1808) 写 1冊 半紙 和
- 公儀方一件** 文化2年9月 **YK215-62**  
海老名長英以静 (三厩詰)  
文化2 (1805) 写 1冊 半紙 仮和
- 公儀御役人御大勢松前御渡海留帳** 文化4年8月  
文化4 (1807) 写 1冊 半紙 仮和 **YK215-63**

- 公儀方御取扱留帳 文化6年2月 YK215-64  
海老名長英以静  
文化6(1809)写 1冊 半紙 仮和
- 松前御奉行様御下向差添御取扱留帳 文化6年3月  
文化6(1809)写 1冊 半紙 仮和 YK215-65
- 〔松前出張留書〕〔一〕 YK215-66-1  
寛政9(1797)写 1冊 半紙 仮和  
註：十月三日ヨリ十二月晦日マデ
- 〔松前出張留書〕〔二〕 YK215-66-2  
寛政10(1798)写 1冊 半紙 仮和  
註：正月元日ヨリ六月廿三日マデ
- 蝦夷地警衛一件 YK215-67  
写 1冊 半紙 和  
註：寛文9(1669) 則田安信記、寛政9(1797) 高杉源次記、安政5(1858) 工藤丘朝記、明治元(1868) 三橋栄作記
- 平館詰覚書 安政3年3月ヨリ9月迄 YK215-68  
安政3(1856)写 1冊 横小 和
- 松前箱館陣中必用内外記 全 自安政3年至同5年  
下沢八三郎 YK215-69  
安政3(1856)～安政5(1858)写 1冊 半紙 仮和  
註：附、自安政六年三月至万延元年五月須藤五郎太夫在勤中御用留
- 平館御陣屋御用留 安政2年正月ヨリ3月中 YK215-70  
安政2(1855)写 1冊 半紙 和  
註：正月ヨリ3月中
- 平館御陣屋詰勤中日記 嘉永5年正月5日ヨリ3月7日迄  
嘉永5(1852)写 1冊 半紙 和 YK215-71
- 平館湊心覚 安政5年10月朔日 YK215-72  
五十嵐貞隆(所吉)  
安政5(1858)写 1冊 半紙 仮和  
註：紙背文書
- 蓬田勤番心得書 天保13年11月ヨリ YK215-73  
天保13(1842)写 1冊 半紙 和
- 公儀御役人様御通行ニ付浪岡王余魚沢水木三ヶ村御昼御小休御扱向取調伺帳 文久2年7月 YK215-74  
文久2(1862)写 1冊 半紙 和
- 北蝦夷地へ上陸異国人共居小家見分御届書写 YK215-75  
嘉永7年小4月朔日 奥川嘉助  
嘉永7(1854)写 1冊 半紙 仮和
- 公儀御書附之写 YK215-76  
安政3(1774)?写 1冊 半紙 仮和  
註：浪人・六拾六部・虚無僧等二関書附
- 御触留 野呂専之進 YK215-77  
安政2(1855)～安政5(1858)写 1冊 半紙 和
- 〔御触書色々留〕 YK215-78  
慶応4(1868)～明治2(1869)写 1冊 半紙 仮和
- 諸御触事 全 YK215-79  
写 1冊 半紙 和  
註：天保年間
- 御用留帳 宝暦5年8月 YK215-80  
宝暦5(1755)写 1冊 横中 仮和  
註：紙背文書
- 拾宝 YK215-81  
写 1冊 横中 和  
註：文化8年(1811)以後に書かれた諸覚
- 藤田家記 上 YK215-82  
宝暦元(1751)～享和2(1802)写 1冊 半紙 和  
註：附「公私覚書(從享和三年至文化七年)」  
原本(藤田氏ノ一連ノ家記)より、中村良之進(弘前の郷土史家、昭和15年没)が抜書した写本
- 藤田家記 下 YK215-83  
天明3(1783)～文化8(1811)写 1冊 半紙 和  
註：附「日新(文政十年ヨリ文政十二年迄)」
- 〔封内事実秘苑 卷之五〕 YK215-84  
〔工藤源左衛門行一〕  
安永5～天明3(1776～1783)写 1冊 半紙 仮和  
註：破本(末尾欠落)、津軽藩編年史で別名「工藤家記」、戒香公(津軽信寧)安永5年～天明3年
- 封内事実秘苑附録 旧記拾遺上古之巻 YK215-85  
工藤源左衛門行一  
写 1冊 半紙 仮和  
註：附「寺社由来記」、工藤源左衛門は寛政～弘化年間の津軽藩士(碓ヶ関町奉行・青森町奉行・大目付・大組足軽頭格など)他に「御定法古格」の著書あり
- 封内事実秘苑(続) 抜萃 YK215-86  
天保13～安政5(1842～1858)写 1冊 半紙 和  
註：続封内事実秘苑并諸家記録類聚
- 封内事実秘苑 寧親公 一 YK215-87-1  
寛政4～8(1792～1796)写(コピー)1冊 B5 洋  
註：内題「封内事実秘苑 寧親公ノ一」

- 封内事実苑** 寧親公 二 YK215-87-2  
寛政9～12(1797～1800)写(コピー)1冊 B5 洋  
註:内題「封内事実秘苑 寧親公ノ二」
- 封内事実苑** 寧親公 三 YK215-87-3  
文政元～8(1818～1825)写(コピー)1冊 B5 洋  
註:内題「封内事実苑 文政元～八」寧親公七
- 封内事実苑** 信順公 一 YK215-87-4  
文政8～10(1825～1827)写(コピー)1冊 B5 洋  
註:内題「封内事実苑 文政八～十」
- 封内事実苑** 信順公 二 YK215-87-5  
文政11～12(1828～1829)写(コピー)1冊  
B5 洋 註:内題「封内事実苑 文政十一、十二」
- 封内事実苑** 信順公 三 YK215-87-6  
天保元～3(1830～1832)写(コピー)1冊 B5 洋  
註:内題「封内事実苑 天保元年ヨリ天保三年迄」
- 封内事実苑** 信順公 四 YK215-87-7
- 封内事実苑** 順承公 乾 YK215-87-8
- 封内事実苑** 順承公 坤 YK215-87-9
- 平山日記** 元龜元年ヨリ貞享4年マデ YK215-88-1  
元龜元年～貞享4年(1570～1687)写1冊 半紙 和
- 平山日記** 元禄元年ヨリ正徳2年マデ YK215-88-2  
元禄元年～正徳2年(1688～1712)写1冊 半紙 和
- 平山日記** 正徳3年ヨリ享保20年マデ YK215-88-3  
正徳3年～享保20年(1713～1735)写1冊 半紙 和
- 平山日記** 元文元年ヨリ宝暦13年マデ YK215-88-4  
元文元年～宝暦13年(1736～1763)写1冊 半紙 和

- 平山日記** 明和元年ヨリ天明8年 YK215-88-5  
明和元年～天明8年(1764～1788)写1冊 半紙 和
- 平山日記** 寛政元年ヨリ享和3年マデ YK215-88-6  
寛政元年～享和3年(1789～1803)写1冊 半紙 和
- 古老遺譚** 一 YK215-89-1  
工藤行一(源左衛門)  
文政5(1822)写1冊 半紙 和  
註:明治八年(1875)木村政次郎写。奥富士其ノ他諸書ヨリ拔萃セルモノ
- 古老遺譚** 二・三 YK215-89-2  
工藤行一(源左衛門)  
文政5(1822)写1冊 半紙 和
- 〔山形家記〕** 二十 YK215-90-1  
〔山形宇兵衛長年〕編  
寛政10年～享和3年(1798～1803)写(自筆)  
1冊 半紙 和  
註:山形長年自筆本であるが、題名がなく「岩見文庫」同様「山形家記」とした、「山形日記」ともいわれている。卷十、十一、十二、十三、二十七は「岩見文庫」に属している。
- 〔山形家記〕** 二十一 YK215-90-2  
〔山形宇兵衛長年〕編  
享和4年～文化3年(1804～1806)写(自筆)1冊  
半紙 和
- 〔山形家記〕** 二十二 YK215-90-3  
〔山形宇兵衛長年〕編  
文化4年～文化5年(1807～1808)写(自筆)1冊  
半紙 和

- 〔山形家記〕** 二十四 YK215-90-4  
〔山形宇兵衛長年〕編  
文化11年～文政元年(1814～1818)写(自筆)1冊  
半紙 和
- 〔山形家記〕** 二十五 YK215-90-5  
〔山形宇兵衛長年〕編  
文政元年～文政6年(1818～1823)写(自筆)1冊  
半紙 和
- 可足権僧正筆記之写** YK215-91  
写1冊 半紙 和  
註:他に「金氏由緒書」「秘譜」あり
- 慶安間記** 一 YK215-92-1  
慶応3(1867)写1冊 半紙 和
- 慶安間記** 二 YK215-92-2  
慶応3(1867)写1冊 半紙 和
- 慶安間記** 三 YK215-92-3  
慶応3(1867)写1冊 半紙 和
- 津軽編覧日記** 一 YK215-93-1  
木立要左衛門藤守貞編  
寛政5(1793)写1冊 半紙 和  
註:為信公御代日記、従永禄十年到慶長十二年、題簽は編覧。欠の卷八は弘前図書館所蔵(KK215/ツガ)にあり。編者の要左衛門(1726～1801)は、八条流馬術の師範で、大変な蔵書家でもあった。
- 津軽編覧日記** 二 YK215-93-2  
木立要左衛門藤守貞編  
寛政5(1793)写1冊 半紙 和  
註:信牧公御代日記 従慶長十二年至寛永八年、信義

- 公御代日記 從寛永八年到明暦元年、題簽は編覧
- 津軽編覧日記 三** **YK215-93-3**  
木立要左衛門藤守貞編  
寛政5(1793)写 1冊 半紙 和  
註：信政公御代日記 上從明暦二年到元禄六年
- 津軽編覧日記 四** **YK215-93-4**  
木立要左衛門藤守貞編  
寛政5(1793)写 1冊 半紙 和  
註：信政公御代日記 下從元禄七年到宝永七年
- 津軽編覧日記 五** **YK215-93-5**  
木立要左衛門藤守貞編  
寛政5(1793)写 1冊 半紙 和  
註：信寿公御代日記 從宝永七年到享和十六年
- 津軽編覧日記 六** **YK215-93-6**  
木立要左衛門藤守貞編  
寛政5(1793)写 1冊 半紙 和  
註：信著公御代日記 從享保十六年到延享元年
- 津軽編覧日記 七** **YK215-93-7**  
木立要左衛門藤守貞編  
寛政5(1793)写 1冊 半紙 和  
註：信寧公御代日記 元從延享元年到宝暦七年、欠の巻八は弘前図書館所蔵(KK215/ツガ)にあり
- 津軽編覧日記 九** **YK215-93-9**  
木立要左衛門藤守貞編  
寛政5(1793)写 1冊 半紙 和  
註：信寧公御代日記 利從安永元年到天明二年
- 津軽編覧日記 十** **YK215-93-10**  
木立要左衛門藤守貞編
- 寛政5(1793)写 1冊 半紙 和  
註：信寧良御代日記 貞從天明三年到天明四年
- 津軽編覧日記 十一** **YK215-93-11**  
木立要左衛門藤守貞編  
寛政5(1793)写 1冊 半紙 和  
註：信明公御代日記上 從天明四年到天明七年
- 津軽編覧日記 十二** **YK215-93-12**  
木立要左衛門藤守貞編  
寛政5(1793)写 1冊 半紙 和  
註：信明公御代日記中 從天明七年到寛政元年
- 津軽編覧日記 十三止** **YK215-93-13**  
木立要左衛門藤守貞編  
寛政5(1793)写 1冊 半紙 和  
註：信明言御代日記下 從寛政元年到寛政三年
- [津軽編覧日記 卷一] **YK215-94**  
木立要左衛門藤守貞編  
寛政5(1793)写 1冊 半紙 和  
註：吉崎潔吉の写、為信公御代日記 從永禄十年到文禄四年
- 津軽編覧日記 八(ロ)** **YK215-95**  
木立要左衛門藤守貞編  
寛政5(1793)写(コピー)1冊 半紙 和  
註：信寧公御代日記享、從宝暦八年到明和八年 弘前図書館所蔵同書巻八(K K215/ツガ)をコピーしたもの
- 封内事実秘苑 一・二・三** **YK215-96-1**  
工藤四郎右衛門行一  
文政2(1819)写 1冊 半紙 和  
註：瑞祥(為信)公、津梁(信枚)公、桂光(信義)公、自永禄十年(1567)至明暦元年(1655) 題簽は封内事
- 実苑、一名工藤行一日記または工藤家記。四郎右衛門は源左衛門と改名する以前の通称。
- 封内事実秘苑 四・五・六** **YK215-96-2**  
工藤四郎右衛門行一  
文政2(1819)写 1冊 半紙 和  
註：御四代信政公 自明暦二年(1656)至元禄九年(1696)
- 封内事実秘苑 七・八・九** **YK215-96-3**  
工藤四郎右衛門行一  
文政2(1819)写 1冊 半紙 和  
註：信政公 玄圭(信寿)公 自元禄十年(1697)至享保十六年(1731)
- 封内事実秘苑 十・十一・十二** **YK215-96-4**  
工藤四郎右衛門行一  
文政2(1819)写 1冊 半紙 和  
註：顕休(信著)公 戒香(信寧)公 自享保十七年(1732)至宝暦五年(1755)
- 封内事実秘苑 十三** **YK215-96-5**  
工藤四郎右衛門行一  
文政2(1819)写 1冊 半紙 和  
註：戒香(信寧)公 自宝暦六年(1756)至宝暦十三年(1763)
- 封内事実秘苑 十四** **YK215-96-6**  
工藤四郎右衛門行一  
文政2(1819)写 1冊 半紙 和  
註：戒香(信寧)公 自明和元年(1764)至明和六年(1769)
- 封内事実秘苑 十五** **YK215-96-7**  
工藤四郎右衛門行一

- 文政2(1819)写 1冊 半紙 和  
註：戒香(信寧)公 自明和七年(1770)至安永四年(1775)
- 封内事実秘苑** 十六・十七・十八 **YK215-96-8**  
工藤四郎右衛門行一  
文政2(1819)写 1冊 半紙 和  
註：戒香(信寧)公 体孝(信明)公 自安永五年(1776)至天明五年(1785)
- 封内事実秘苑** 十九・二十 **YK215-96-9**  
工藤四郎右衛門行一  
文政2(1819)写 1冊 半紙 和  
註：信明公 体孝(信明)公 自天明六年(1786)至寛政三年(1791)
- 封内事実秘苑** 二十一 **YK215-96-10**  
工藤四郎右衛門行一  
文政2(1819)写 1冊 半紙 和  
註：上仙(寧親)公 自寛政四年(1792)至寛政十二年(1800)
- 封内事実秘苑** 廿二・廿三・廿四 **YK215-96-11**  
工藤四郎右衛門行一  
文政2(1819)写 1冊 半紙 和  
註：上仙(寧親)公 自享和元年(1801)至文化五年(1808)
- 封内事実秘苑** 廿五・廿六大尾 **YK215-96-12**  
工藤四郎右衛門行一  
文政2(1819)写 1冊 半紙 和  
註：上仙(寧親)公 自文化六年(1809)至文化十四年(1817)
- 近代公実嚴秘録** 一 **YK215-97-1**
- 文政11(1828)写 1冊 半紙 和  
註：雑史、題簽は公殿嚴秘録
- 近代公実嚴秘録** 二 **YK215-97-2**  
文政11(1828)写 1冊 半紙 和
- 近代公実嚴秘録** 三 **YK215-97-3**  
文政11(1828)写 1冊 半紙 和
- 近代公実嚴秘録** 四 **YK215-97-4**  
文政11(1828)写 1冊 半紙 和
- 近代公実嚴秘録** 五 **YK215-97-5**  
文政11(1828)写 1冊 半紙 和
- 遠眼鑑** 山形宇兵衛撰 **YK215-98**  
文政10(1827)写 1冊 半紙 和  
註：天明四年(1784)ヨリ寛政六年(1794)マデ(卷之一～卷之三)
- 遠眼鑑** 卷第一～卷第七大尾 **YK215-99**  
山形宇兵衛撰  
写 1冊 半紙 和  
註：明治十九年(1886)、下沢保躬写之
- 遠眼鑑** 卷第一 山形宇兵衛撰 **YK215-100**  
写 1冊 半紙 和  
註：宇兵衛は9代藩主寧親の家臣、足輕物頭、柿園主人と号す、嘉永6年没80余歳、他に「耕作一件」などの著書あり。
- 遠眼鑑** 自卷第一至卷第六 山形宇兵衛撰 **YK215-101**  
文政10(1827)写 1冊 半紙 和  
註：大正6年(1917)、岩見氏蔵本により写之。自信明公天明四年御入部(1784)至寧親公文政八年御隠居(1825)
- 遠眼鑑** 六 山形宇兵衛撰 **YK215-102**  
コピー1冊 コピー用紙17×26(14×19) 仮和  
註：史料館所蔵津觀察文書のコピー、寛政二年(1790)より文化九年(1812)まで
- 津軽藩史** 乾 工藤主膳 **YK215-103-乾**  
明治23(1890)活字 1冊 半紙 和  
註：卷之一～卷之四、藩祖瑞祥公(為信)より七代藩主戒香公(信寧)まで。主膳は津軽藩教育者、号は他山(1818～1889)
- 津軽藩史** 坤 工藤主膳 **YK215-103-坤**  
明治24(1891)活字 1冊 半紙 和  
註：卷之五～卷之七、八代藩主体孝公(信明)より十一代藩主政徳公(順承)まで
- 津藩旧記** 上 **YK215-104-上**  
永禄元～文政7(1558～1824)写 1冊 横中 和
- 津藩旧記** 下 **YK215-104-下**  
文政8～文久2(1825～1862)写 1冊 横中 和
- 駒水物語** 上 [珍田祐之丞有敬] **YK215-105-上**  
写 1冊 半紙 和  
註：明治11～14(1878～1881)、直筆を下沢保躬が写本、本書目次二まで
- 駒水物語** 下 [珍田祐之丞有敬] **YK215-105-下**  
写 1冊 半紙 和  
註：本書目次三より四尾まで
- 駒水物語** 天 [珍田祐之丞有敬] **YK215-106-天**  
写 1冊 半紙 和

- 註：津軽信順の代（文政8～天保10）（1825～1839）の事を批判的に記す。祐之丞は9代藩主寧親から12代藩主承昭まで4代に勤仕（勘定奉行、郡奉行など）、慶応元年（1865）没、74歳
- 駒水物語 地**〔珍田祐之丞有敬〕 **YK215-106-地**  
写 1冊 半紙 和
- 駒水物語 卷一～卷五（合本）** **YK215-107**  
〔珍田祐之丞有敬〕  
膳 1冊 半紙 和  
註：青森郷土会叢書第13～第17巻（合本）昭和38年カ
- 〔家記〕** **YK215-108**  
写 1冊 半紙 和  
註：津軽家「慶長十三年（1608）より天保八年（1837）の事実を載」、附土岐繁太郎上絵及各細工、土岐恒蔵之小伝
- 津軽古今一貫録（一名土岐抄録）完** **YK215-109**  
下沢久輔（保躬）  
元治元（1864）写 1冊 半紙 和  
註：原本（土岐繁太郎氏蔵）に題号なく、下沢氏が「東日流古今一貫録」と号した、その経緯は凡例に記してある、慶長十三年（1608）より天保八年（1837）まで
- 津軽旧記類纂拾遺 全** **YK215-110**  
下沢閑雲（保躬）  
明治24（1891）写 1冊 半紙 仮和  
註：宮川善四郎の編した豊凶録（文化10年～明治8年）の記事に補註を加え明治9年より同24年まで増補したもの、吉凶、天下のこと、世界のこと、津軽のこと、年々天候等。紙背文書
- 深浦勤中 相馬右太郎** **YK215-111**  
嘉永4（1851）写 1冊 半紙 和
- 註：深浦町勤番中の留書
- 〔覚〕 武田又三郎** **YK215-112**  
享和元（1801）写 1冊 半紙 仮和  
註：金木屋（山一）武田又三郎の日記風覚書
- 正徳三年黒石領論山留書 全** **YK215-113**  
樋口理左衛門  
正徳3（1713）写 1冊 半紙 仮和  
註：内題「江戸ニ而論山之儀ニ付留書」黒石領平内ト南部領馬門ノ境界争ノ一件
- 御当家深秘録** **YK215-114**  
写 1冊 半紙 和
- 御当家深秘録** **YK215-115**  
写 1冊 半紙 和
- 御当家深秘録** **YK215-116**  
三上正躬  
元治元（1864）写 1冊 半紙 和
- 津軽根元記** **YK215-117**  
文政10（1827）写 1冊 半紙 和  
註：寛政五年（1793）、日記方が木立家の旧記を清書して「津軽古今通観録」と題したものと異名同種である
- 永禄日記 上（作者不詳）** **YK215-118-上**  
文政10（1827）写 1冊 半紙 和  
註：従永禄元年至承応三年（1558～1654）
- 永禄日記 下（作者不詳）** **YK215-118-下**  
文政10（1827）写 1冊 半紙 和  
註：従宝永三年至延享元年（1706～1744）
- 北畠日記 第壹卷・第貳卷** **YK215-119**  
大正13（1924）写（複写）1冊 半紙 和  
註：異名「館越日記」「永禄日記」「梅田日記」「山崎記」…原本「館越北畠徳本氏蔵本」を書写
- 永禄日記 全（作者不詳）青森郷土会編** **YK215-120**  
写（謄写）1冊 半紙 仮洋（和）  
註：従永禄十年至天和三年（1567～1683）、北畠徳本氏蔵「永禄日記」巻二を抄写、青森郷土会叢書第十二巻
- 〔永禄日記〕（作者不詳）** **YK215-121**  
文政2（1819）写 1冊 和  
註：従永禄元年至宝永七年（1558～1710）
- 永禄日記（作者不詳）福士貞蔵筆** **YK215-122**  
昭和28（1953）写 1冊 和  
（福士貞蔵手沢本）  
註：従永禄元年至宝永七年（1558～1710）
- 永禄日記（作者不詳）** **YK215-123**  
棟方悌二写蔵本→森林助手写→竹内運平筆写  
大正14（1925）写 1冊 半紙 仮和  
註：従永禄十年至天和三年（1567～1683）、館ノ越北畠徳本氏所蔵本の写、巻二は抜書
- 永禄日記（作者不詳）** **YK215-124**  
明治43（1910）写 1冊 半紙 和  
註：従永禄元年至寛保4年（1558～1744）
- 永禄日記（作者不詳）** **YK215-125**  
写 1冊 半紙 仮和  
註：従永禄元年至宝永七年（1558～1710）
- 日記（壹番）** **YK215-126**  
永禄元～元文5（1558～1740）写 1冊 半紙 和

- 註：永禄日記とは内容が違うが関連は？
- 斎藤長門筆記** YK215-127  
写 (コピー) 1冊 半紙版 仮和  
註：斎藤長門は慶長～寛永 (1596～1643) 頃の人、弘前神明宮二代神主以後、代々長門を襲名
- 御用状之写** 高杉組御代官 YK215-128  
嘉永7 (1854) 写 1冊 半紙 和
- 〔覚書〕** 〔工藤勘十郎〕 YK215-129  
〔寛延元～宝暦9 (1748～1759)〕 写 1冊 横長 仮和  
註：公私留書、勘十郎は宝暦8年 (1758) に大間越町奉行となる
- 騒動風説留** YK215-130  
万延元 (1860) 写 1通  
註：桜田門外の変
- 〔覚書〕** 〔竹内清次郎〕 YK215-131  
〔享保元～延享2 (1716～1745)〕 写 1冊 横中 仮和  
註：日記風覚書、清次郎は旧姓乳井、享保15年 (1730)、竹内六右衛門 (享保20年御馬廻格) の養子となる
- 〔領内廻郷留書〕** YK215-132  
写 1冊 横長 仮和  
註：年代不明、6月13日弘前表出立、青女子、桑木田、木作、館岡、十三、鯉ヶ沢、中村、枯木平、湯段、尾太、藤川、同月22日帰館
- 於桜田御門外水府侯御家来乱防一件** YK215-133  
安政7 (1860) 写 1冊 横長 和
- 諸事留帳** YK215-134
- 天保4～5 (1833～1834) 写 1冊 横長 仮和  
註：文政13年 (1830)、岩木川、洪水に引き続く大凶作による領内の窮地の様子并参政者の処罰等が日記風に書かれている。紙背文書
- 拔書** YK215-135  
写 1冊 半紙 仮和
- 秘事記・古老秘伝業** 合本 藤田貞元撰 YK215-136  
明治3 (1870) 写 1冊 半紙 和  
註：備・軍役ノ覚、高照宮御遺鑑・御日記方年代記抜書、御城郭ノコト
- 〔津嶋物語〕** 下沢保躬編 YK215-137  
写 1冊 半紙 仮和  
註：三代藩主信義排斥事件裏切者北村久左衛門ヲ村山七左衛門ガ御城中ニテ討事、聞書集、津軽雑話、黒石侯系図、下沢集草、秘事ノ類
- 永禄日記** 津軽旧事異聞録 森林助 YK215-138  
大正12 (1923) 写 1冊 半紙 仮和  
註：附・津軽安東系図
- 奥富士物語** 一 藤原〔今〕通磨 YK215-139-1  
明和2 (1765) 写 1冊 半紙 和  
註：蔵印「御日記方」(朱)、津軽信政公の事蹟を詳記したもので職制、町割、風俗、行列次第、公の逸話等、又、召抱の士族、職人、芸人の各人の家歴等も記されている
- 奥富士物語** 二ノ上 藤原〔今〕通磨 YK215-139-2  
明和2 (1765) 写 1冊 半紙 和
- 奥富士物語** 三 藤原〔今〕通磨 YK215-139-3  
明和2 (1765) 写 1冊 半紙 和
- 奥富士物語** 四ノ上 藤原〔今〕通磨 YK215-139-4 上  
明和2 (1765) 写 1冊 半紙 和
- 奥富士物語** 四ノ下 藤原〔今〕通磨 YK215-139-4 下  
明和2 (1765) 写 1冊 半紙 和
- 奥富士物語** 五 藤原〔今〕通磨 YK215-139-5  
明和2 (1765) 写 1冊 半紙 和
- 奥富士物語** 六 藤原〔今〕通磨 YK215-139-6  
明和2 (1765) 写 1冊 半紙 和
- 奥富士物語** 七 藤原〔今〕通磨 YK215-139-7  
明和2 (1765) 写 1冊 半紙 和
- 奥富士物語** 一 藤原〔今〕通磨 YK215-140  
明和2 (1765) 写 1冊 半紙 仮和  
註：流布本
- 奥富士物語** 二 藤原〔今〕通磨 YK215-141  
明和2 (1765) 写 1冊 半紙 和 (損傷)
- 奥富士物語** 第三 藤原〔今〕通磨 YK215-142  
明和2 (1765) 写 1冊 半紙 和
- 奥富士物語** 七 藤原〔今〕通磨 YK215-143  
明和2 (1765) 写 1冊 半紙 和
- 奥富士物語附録** 単 YK215-144  
写 1冊 半紙 仮和
- 沿革考** YK215-145  
写 1冊 半紙 仮和  
註：自瑞祥公抵寛広公 抛封内事実秘苑

- 津島正菴家記抜萃 継志斎（下沢陳平） YK215-146  
 明治45（1912）写 1冊 半紙 仮和  
 註：兵庫殿并妻子共従佐竹様請取御国江引取候節之行列
- 遠目鑑 卷六 YK215-147  
 コピー 1冊 横 18×26 仮和  
 註：原本は山形宇兵衛（津軽九代藩主寧親の家臣）の撰
- 古記及青森町銘記 YK215-148  
 天明2（1782）写 1冊 半紙 和  
 註：浪岡村八幡宮縁記写、寛政元年松前蝦夷人騒擾ニ付御加勢人数御定并行烈書、青森図式銘表
- 〔家記抜書〕 YK215-149  
 寛文元～宝永5（1661～1708）写 1冊 半紙 仮和  
 註：四代藩主津軽信政の頃
- 津島物語（秘書） YK215-150  
 文政4（1821）写 1冊 半紙 仮和  
 註：村山七左衛門が家老北村久左衛門を殺害した事件
- 異国船一条に付風説書留覚 YK215-151  
 写 1冊 半紙 和  
 註：安政五年（1858）、日米修好条約調印、外四ヶ国と通商条約を締結するに至る経緯と当時の国情（世情）
- 異国船浦賀へ着船御達書 YK215-152  
 嘉永6（1853）写 1冊 半紙 和
- 御巡見日記（鳴鶴子玄通誌）手塚玄通 YK215-153  
 宝暦11（1761）写 1冊 半紙 和  
 註：巡見御使松前下向の際の御船中御付添医師手塚玄通（1729～1808、津軽藩医・政治家）の留書、巡見御使向曆、行列、御船飾り、御用掛等
- 御巡見使御下向御用留帳 YK215-154  
 天保9（1838）写 1冊 半紙 和  
 註：御徒目付、足軽目付御用留
- 御巡見使御船中御馳走役勤方覚留帳 YK215-155  
 山中六左衛門（大組足軽頭）  
 宝暦11（1761）写 1冊 半紙 仮和  
 註：宝暦11年6月、御巡見使が三馬屋（三厩）より、松前へ罷越す船中での接待
- 御巡見使御下向ニ付小栗山御出向勤書 YK215-156  
 山中内膳（御旗奉行式番組）  
 天保9（1838）写 1冊 半紙 仮和
- 御巡見使被遊御下向候節在々御通筋村并就御用ニ罷出候者共被仰渡之覚書付 YK215-157  
 延享3（1746）写 1冊 半紙 仮和
- 御巡見使御用手扣帳 盛徳 YK215-158  
 天保9（1838）写 1冊 横中 仮和  
 註：御巡見使御下向之節ノ諸役勤覚
- 諸事聞留帳 YK215-159  
 嘉永6（1853）写 1冊 半紙 和  
 註：異国船浦賀表へ渡来等、江戸詰藩士ノ聞留帳
- 梅田日記（一名永禄日記又館越日記）上 YK215-160-上  
 下沢保躬  
 明治9（1876）写 1冊 半紙 和  
 註：内題「永禄日記卷之一」自永禄元年至享保十二年（1688～1727）
- 梅田日記 下 下沢保躬 YK215-160-下  
 明治9（1876）写 1冊 半紙 和  
 註：内題「永禄日記卷之二」自享保十二年至安永七年（1727～1778）
- 本藩旧記 上 青森郷土会 YK215-161-上  
 昭和8（1933）写（ガリ版）1冊 半紙 仮洋  
 （青森郷土会叢書第六卷）  
 註：自永禄11年至正徳5年（1568～1715）、凡148年間家記集
- 本藩旧記 中 青森郷土会 YK215-161-中  
 昭和8（1933）写（ガリ版）1冊 半紙 仮洋  
 （青森郷土会叢書第六卷）  
 註：自享保元年至宝暦13年（1716～1763）、凡48年間家記集
- 本藩旧記 下 青森郷土会 YK215-161-下  
 昭和8（1933）写（ガリ版）1冊 半紙 仮洋  
 （青森郷土会叢書第六卷）  
 註：自明和元年至寛政11年（1764～1799）、凡36年間家記集
- 御用留（万用記抄） YK215-162-1  
 昭和9（1934）写 1冊 半紙 仮和  
 註：天保11年（1840）から文久・慶応（1867）頃迄の深浦町年寄広田氏所蔵の御用留を写したもの〔筆者は竹内運平氏か〕
- 御用留 YK215-162-2  
 文久3（1863）写 1冊 半紙 仮和  
 註：初めに「深浦町広田氏（元、町年寄の家）所蔵のもの全部写す、昭和九年第十月」とある、竹内運平氏筆か（ペン字）
- 御用留（抄） YK215-162-3  
 文久4（1864）写 1冊 半紙 仮和  
 註：（竹内運平先生ノ筆写）、深浦町年寄広田由左衛門の



- 御用留の抜抄
- 御用留**〔齋藤清九郎(用人楠美庄司内)] **YK215-163**  
文久4(1864)写 1冊 半紙 仮和  
註:津軽藩の主として御触留
- 〔御用留〕**〔(用人楠美庄司内)] **YK215-164**  
元治元~明治元(1864~1868)写 1冊 半紙 仮和  
註:楠美庄司・泰太郎父子、戊辰戦争の際、藩事国事に奔走、その他私事にわたって内容多岐
- 御用留** 齋藤清九郎(用人楠美庄司内) **YK215-165**  
慶応4(1868)写 1冊 半紙 仮和  
註:津軽藩の御居留、廻状留等
- 御用留** 齋藤清九郎〔用人楠美庄司内] **YK215-166**  
文久3(1863)写 1冊 半紙 仮和  
註:津軽藩の主として御触留
- 御用留** 式〔用人楠美庄司内] **YK215-167**  
安政2~3(1855~1856)写 1冊 半紙 仮和  
註:津軽藩の主として御触留
- 御用留** 齋藤清九郎〔用人楠美庄司内] **YK215-168**  
慶応2(1866)写 1冊 半紙 仮和  
註:津軽藩の主として御触留
- 御用留**〔齋藤清九郎(用人楠美庄司内)] **YK215-169**  
文久2(1862)写 1冊 半紙 仮和  
註:津軽藩の主として御触留
- 狄蜂起ニ付集書** 則田安右衛門賀忠 **YK215-170**  
寛文10(1670)写 1冊 横中 仮和
- 公儀御目付衆并御勘定吟味役衆御船中御差添御用留**
- 工藤民弥・当麻右源司(御徒目付) **YK215-171**  
嘉永7(1854)写 1冊 半紙 和  
註:相馬石太郎宛の手紙あり(別添)
- 公義〔儀〕御書付之写** **YK215-172**  
元治2~慶応2(1865~1866)写 1冊 横小 仮和
- 攘夷論** **YK215-173**  
安政4(1857)写 1冊 半紙 仮和  
註:景山公歎願書(朝廷宛)、景山は水戸藩主徳川斎昭のこと
- 高嶋四郎太夫被召捕始末書** **YK215-174**  
天保14(1843)写 1冊 半紙 和  
註:高嶋四郎太夫は幕末の兵学者、近代的砲術の先駆者高嶋秋帆のこと、国防に尽力して却って保守の勢力に妬まれて獄に投ぜられた時のこと
- アメリカ一條** **YK215-175**  
〔安政4(1857)]写 1冊 半紙 和  
註:林大学頭、目付津田半三郎、米人応接之次第并條約締結事情を朝廷に陳述せる大意、他
- 両都見聞録** **YK215-176**  
文久2(1862)写 1冊 半紙 仮和  
註:勅使三條実美、副使姉公路公知9月東に下り、11月江戸誠に於て攘夷の勅書を將軍家茂に授けた内容、翌12月の家茂の奏上等
- 女中差紙扣 上** **YK215-177**  
寛政12(1800)写 1冊 半紙 仮和  
註:藩奥女中の昇任・昇給、新規召抱之お達し状、「菜銭四季施(小渡物)並合之通」
- 剪紙扣 御用人** **YK215-178**
- 天保6(1835)写 1冊 半紙 和  
註:天保6年正月~12月
- 御用留帳** 齋藤甚五郎、山形喜興言 **YK215-179**  
文久4・元治元(1864)写 1冊 半紙 仮和  
註:五月廿六日御着城、十月三日御発駕、正月~十二月中通用番ノ御用留
- 大坂戦争之次第書上** **YK215-180**  
明治3(1870)写 1冊 横中 仮和  
註:内題「大坂御陣佐竹右京太夫義宣手ニ而論合之次第」〔慶長19~20(1614~1615)]、終尾に「貞享式甲子年姑洗〔三月〕日写之とあるヲ享保四年己亥三月五日写之」とある
- 御下浜先御用留并御用状扣** 堀五郎左衛門 **YK215-181**  
文久元(1861)写 1冊 半紙 和  
註:堀五郎左衛門(利之)は津軽藩家老。十二代藩主承烈(承昭)公、八月十八日御発駕、東浜の警備状況及び新田地方の視察、九月十二日御帰城
- 十三市正舎御用留(四十三)** **YK215-182**  
田中小兵衛・奥瀬和次郎  
天保2(1831)写 1冊 半紙 仮和  
註:市正は市官の長・市司の長官(今人の市長)の唐名、従って、市正舎は市長舎、ここでは町奉行所をいう、十三町奉行所関係御用留。田中・奥瀬ともに十三町奉行
- 要用留** 齋藤清九郎 **YK215-183**  
嘉永7~文久2(1854~1862)写 1冊 半紙 仮和  
註:御用人楠美庄司内齋藤清九郎の覚・留書等
- 諸事留帳** 工藤仙之助 **YK215-184**  
安政2(1855)写 1冊 半紙 和  
註:御徒目付工藤仙之助の諸事覚書等

御用向諸事留帳 卷の二 成田清許 YK215-185

明和5～安永5 (1768～1776) 写 1冊 半紙 仮和

御用状扣〔控〕(御在国年) 御家老 YK215-186

寛政2 (1790) 写 1冊 半紙 仮和

註：九月字御飛脚差立なし、御用番 津軽主水七月・十一月、添田儀左衛門 八月・十月・十二月

御用状扣〔控〕(御留守中) 御家老 YK215-187

寛政3 (1791) 写 1冊 半紙 仮和

註：御用番 津軽主水 八月・十月、津軽多膳 九月・十一月

御用状扣〔控〕(御在国) 御家老 YK215-188

寛政12 (1800) 写 1冊 半紙 仮和

註：御用番 高倉五兵衛 十月、津軽主水 十一月、喜多村監物 十二月

御用状扣〔控〕(御社国) 三冊之内 YK215-189-1

御家老

文化7 (1810) 写 1冊 半紙 仮和

註：「五月十二日青森江御出被遊候」、御用番 津軽頼母 五月・六月・八月、津軽監物 七月

御用状扣〔控〕(御留守年) 三冊之内 YK215-189-2

御家老

文化8 (1811) 写 1冊 半紙 仮和

註：「三月十五日御着城」(寧親公)、御用番 津軽監物 正月、渡辺将監 二月・三月

御用状扣〔控〕(御在国) 三冊之内 YK215-189-3

御家老

文化8 (1811) 写 1冊 半紙 仮和

註：御用番 津軽頼母 四月・六月、渡辺将監 五月・

七月

御用状扣〔控〕(御在国) 御家老 YK215-190

文化15 (1818) 写 1冊 半紙 仮和

註：五月廿一日〔四月廿二日〕文政ト改元(藩日記デハ 五月四日) 八月廿日御発駕(寧親公参府)、御用番 渡辺将監 五月・七月、津軽頼母 六月・八月。一部紙背文書

御用留 十三町奉行(菊池源助・奥瀬和次郎)

文政13 (1830) 写 1冊 半紙 仮和 YK215-191

註：十三町奉行所の日記形態御用留、7月、菊池は十三町奉行から鯨ヶ沢町奉行に役替、奥瀬は十三町奉行に着任

桃能積雪 全 YK215-192

安政7・万延元(1860) 写 1冊 半紙 仮和

註：安政6年8月、安政の大獄により、水戸藩では藩主斉昭が永蟄居、家老安島帯刀、芽根伊予之介等は投獄死刑に処せられ、翌万延元年3月3日には水戸浪士により、大老井伊直弼が桜田門外で殺害された一件が書かれている

風説書 YK215-193

万延元(1860) 写 1冊 横長 仮和

註：三月三日の桜田門外の変并その仕末

水戸殿御直書之写 YK215-194

写 1冊 横長 仮和

註：家中から百姓町人に至るまで、質素・孝道・勸業に日夜怠らずつとめるようにとの郡官宛水戸藩主の訓諭

〔桜田門外の変仕末〕 YK215-195

文久2 (1862) 写 1冊 半紙 仮和

註：横死した井伊直弼大老関係者の処分、薩長土之三藩建白書(覚)

水府浪人懐中上書之写 YK215-196

〔万延元(1860)〕 写 1冊 半紙 仮和

註：桜田門外の変(水戸浪士) 関係

江戸外桜田騒動記 写 YK215-197

安政7 (1860) 写 1冊 半紙 仮和

水府浪人井伊掃部頭様討取候事件 YK215-198

安政7 (1860) 写 1冊 半紙 仮和

註：紙背文書

江戸表風説書 YK215-199

安政7 (1860) 写 1冊 半紙 仮和

註：桜田門外の変関係

江戸表騒動一条 YK215-200

万延元(1860) 写 1冊 半紙 仮和

註：水戸藩に於ける安政の大獄の断罪并桜田門外の変の仕末

長州討手之書付 YK215-201

元治元(1864) 写 1冊 半紙 仮和

註：八月十三日、幕府、征長総督徳川慶勝、副将松平茂昭に、萩藩征討部署を示して、急遽出陣を命じた際の書付

山縣一統志 全 芹川高 YK215-202

写 1冊 半紙 仮和

註：山縣大弑と竹内式部(正庵)・藤井右門・八幡屋伝左衛門・吉田玄蕃等との関係や尊皇斥覇を唱えた為、幕府から叛逆罪に問われ、斬罪獄門、又は切腹遠島に処せられた経緯が記されている

松平越中守様御上書写 YK215-203

嘉永6 (1853) 写 1冊 半紙 仮和

- 註：桑名藩主松平定猷のこと、幕府の諮問に応じて米国に通商を許可するの可否について上陳した際の上書
- 有馬遠江守様応接之一条** YK215-204  
文久3(1863)写 1冊 半紙 仮和  
註：内題「於神奈川有馬遠江守様応接之一条」越前丸岡藩主有馬道純のこと(文久3年、若年寄を経て老中に進んだ)英国代表との応接之大意が書かれている
- 御書付之写** YK215-205  
寛政2(1790)写 1冊 半紙 仮和  
註：在町浦々之者共の着衣や料理茶屋之酒宴等奢侈之風俗を戒める為の町年寄宛口達之覚等
- 諸事覚扣** 中村尚弥 YK215-206  
註：嘉永元～嘉永5(1848～1852)写 1冊 横長 仮和
- 御内意** YK215-207  
写 1冊 半紙 仮和  
註：至急所用注進の村方文書
- 〔逸話録〕** YK215-208  
写 1冊 半紙 仮和  
註：津軽三代藩主信義から七代藩主信寧までの藩主自身やその他の人物、事件等の逸話
- 御用留帳** 斎藤甚五郎・山形喜興吉 YK215-209  
慶応4(1868)写 1冊 半紙 和  
註：月中通用番御用留
- 書状控** 御用人 YK215-210  
慶応元(1865)写 1冊 半紙 仮和  
註：江戸上方、黒石其他外共
- 留記**〔三浦〕 YK215-211  
〔安政5～慶応元(1858～1865)〕写 1冊 半紙 仮和  
註：津軽11代藩主順承公御代役人名、御家老・御用人の口達・演説等、諸大名参勤割合、その他諸覚書
- 信明公・寧親公・信順公御自達并口達** 下沢保躬  
明治8(1875)写 1冊 半紙 仮和 YK215-212  
註：内題「体孝公・上仙公・寛広公御自筆写御家老口達トモ」原本は旧家老職大道繁禎所蔵
- 雑事留記** YK215-213  
安政5(1858)写 1冊 半紙 仮和  
註：浦賀・下田湊ニ異国船渡来関係・御目付ヨリ海防之儀存寄申上候書付之写(嘉永二年)・藤堂和泉守ヨリ津軽越中守宛墨利加條約之次第御書付
- 〔覚書〕** 合原惣蔵 YK215-214  
〔慶応2(1866)〕写 1冊 半紙 仮和  
註：嘉永6年(1853)、米艦浦賀入港時ノ騒ギノ一件
- 御深筆之写・御家老口達書** YK215-215  
嘉永6(1853)写 1冊 半紙 仮和  
註：異国船渡来・漂白ノ儀
- 異国船之儀ニ付御触書** YK215-216  
嘉永2(1849)写 1冊 半紙(一部横長)和  
註：松平大隈守御達(天保十五年)、橋三本之異国船相見得候(平館詰相馬元太郎報告=横長)
- 深浦勤中** YK215-217  
弘化3(1846)写 1冊 半紙 和  
註：深浦勤番御用留・文法(書状規範)・他雑
- 〔御註(注)進一件〕** 下沢陳平 YK215-218
- 大正7(1918)写 1冊 半紙 仮和  
註：「御注進由来」(小島嘉兵衛)その他相馬大作事件史料
- 〔覚〕** 相馬助吉・成田是左衛門 YK215-219-1  
〔文政5(1822)〕写 1冊 横長 仮和  
註：相馬大作一件の覚書、下斗米秀之進・関良助牢居并吟味の様子等江戸よりの津軽隠密の報告
- 〔覚〕** 相馬助吉・成田是左衛門 YK215-219-2  
〔文政5(1822)〕写 1冊 横長 仮和  
註：相馬大作一件の覚書、大作の江戸での動静、南部重臣との関係、大作逮捕の状況、南部江戸屋敷混乱等、津軽隠密の苦心の報告(国元帰着後)
- 南部於大浦御廻船破船見分手鑑** YK215-220  
万延元(1860)写 1冊 横小 和
- 大坂表御書付之写** 昌幸 YK215-221  
慶応2(1866)写 1冊 半紙半 仮和  
註：老中松平伯耆守を横浜に遣わし、各国公使と面議せん時の談判趣意、大樹公御口上書 他
- 北亜墨利加合衆国測量船自差出横文字和解** YK215-222  
安政2(1855)写 1冊 半紙 仮和  
註：測量船主頭より日本国執権江、後半に松平薩摩守の口演の覚あり
- アメリカ使節申立の趣** YK215-223  
安政4(1857)写 1冊 半紙 和  
註：十月廿六日、老中堀田備中守宅ニ於テ墨利加使節ノ申立之趣
- 〔維新風聞〕** YK215-224  
元治元(1864)写 1冊 半紙 仮和  
註：長州侯嘆願書・書翰、芸州侯御達書、他聞取書等、

- 別添として「張紙文書之写」(佐久間象山)
- 〔水戸殿家米騒動始末〕** **YK215-225**  
写 1冊 横長 仮和  
註：安政の大獄に於ける水戸家来への処罰并桜田門外の変後、熊本藩邸(細川越中守)に徒党の者が自首した際の口上の写
- 〔京都警衛覚書〕** **YK215-226**  
元治2(1865)写 1冊 横中 仮和  
註：近衛公江御挨拶之事、松平越中守(京都所司代)より公儀飛脚野斃介抱に対する謝礼の件
- 〔覚〕** 薄田勇次郎 **YK215-227**  
写 1冊 半紙 仮和  
註：蒔苗、鶴田、小嶋、宮館、中別所、鼻和、植田、八幡、賀田、高屋、熊嶋の各庄屋宛の御代官達書(変事取調等の御家老口達書)の覚
- 諸事聞書** **YK215-228**  
嘉永4(1851)写 1冊 半紙 和  
註：代官所留書か
- 諸用覚帳** **YK215-229**  
天保5(1834)写 1冊 横小 和  
(素鶴森林助旧蔵)  
註：文化15年～天保5年(1818～1834)ノ諸用
- 碓ヶ関町名主竹内源左衛門記録** **YK215-230**  
安政2～文久元(1855～1861)写 1冊 半紙 和
- 津軽校尉聴書** **YK215-231**  
写 1冊 半紙 仮和  
(佐藤弥六旧蔵本)  
註：内題「津軽校尉政方上江申上書付」、校尉は正徳5
- (1715)より享保14(1729)死マデ家老職
- 〔下沢〕保躬秘蔵記** 下沢忠義(保躬) **YK215-232**  
万延元(1860)写 1冊 横小 和  
(継志斎下沢陳平旧蔵本)  
註：桜田の変、津軽嫡流之伝系、妙公御代御家中、分限、那須改易変事
- 〔戒公孝公御自筆之写〕** **YK215-233**  
〔宝暦7～安政6(1757～1859)〕写 1冊 半紙 和  
註：戒香院(七代藩主信寧)宝暦7年、安永2・9年、天明3年、体孝院(八代藩主信明)天明4・5・6年、寛政2年、御当代〔十一代藩主順承〕安政6年、御家老口達「御世嗣の儀」
- 御教諭書写** **YK215-234**  
文化2(1805)写 1冊 美濃 和  
註：長崎に於て阿魯齊亜人(おろしや人)江、末尾に「長崎奉行申論書」あり
- 〔長州追討留書〕** **YK215-235**  
元治元(1864)写 1冊 横小 仮和
- 表医者御用留抜書** 手塚元瑞 **YK215-236**  
安永7～安政2(1778～1855)写 1冊 半紙 仮和  
註：元瑞(1828～1900)は津軽藩漢学者、明治期は第59銀行頭取など
- 〔贖金一件之覚〕** **YK215-237-イ**  
写 1冊 半紙 仮和  
註：秋田大館粕田辺に於ける事件(津軽藩領への影響)  
「イ」と「ロ」は内容が殆ど同じだが、「イ」は後半欠落
- 〔贖金一件之覚〕** **YK215-237-ロ**  
写 1冊 半紙 仮和
- 御用状之写** 庄屋所 **YK215-238**  
文久2(1862)写 1冊 半紙 仮和  
註：庄屋が郡奉行より代官宛の用状を書き写したもの(衣服着用等奢侈の風俗の引き締め)
- 〔諸記留〕** **YK215-239**  
安永3～天保元(1774～1830)写 1冊 横中 仮和  
註：松前様御参府先規留書、米金銭調帳、公儀御触書之覚、船法度之事、弘前在方九浦人別戸数仕分之覚 他
- 素朴儉約相守可申旨厳敷被仰付右御触之写書当御役人ニ於被仰付候** **YK215-241**  
嘉永7(1854)写 1冊 半紙 仮和
- 〔雑記留〕** **YK215-242**  
享和元～3(1801～1803)写 1冊 横中 仮和  
註：享和元年之改惣戸数人別(弘前・九浦・在方)、田畑之事(寛政年間)、御家督、御誕生御逝去御年付、御次第、他
- 〔覚〕** **YK215-243**  
慶応元～3(1865～1867)写 1冊 半紙 和  
註：承昭公左近衛少将昇進之御礼、西館宇膳殿御家老被仰付候覚、御目見以上武芸調、甲冑御貸渡、子供等風儀御締方之各触、慶応三年始到来(学問所之儀)、御家老口達(時局覚悟)
- 於宝恵** 天保5年5月 **YK215-244**  
天保5(1834)写 1冊 横小 仮和  
註：代官所手代の覚書か、御本陣・他御宿の宿泊者名、人数等

〔証抛之巻 甲 乙 弘化3年4月〕 YK215-245  
弘化3 (1846) 写 1冊 横小 和  
註：松前藩勘定方・寺仕方等関係覚書、巻末に天保14年 (1843) 2月当時の松前藩御役人名前一覧あり

松前箱館御固御用書鑑 YK215-246  
寛政9～10 (1797～1798) 写 1冊 半紙 仮和  
註：「弘前ヨリ青森三馬屋迄」(寛政9年) ト「三馬屋ヨリ箱館迄・箱館陣屋」(寛政10年)

覚 (蒔苗七右衛門) 蒔苗金次郎 YK215-247  
写 1冊 横長 仮和  
註：親蒔苗七右衛門 (蒔苗村庄屋・高杉駒越両組大庄屋) の御鷹野御宿再仰付願の件覚書

御詮儀ニ付御答奉申上候書付 松木屋豊吉 YK215-248  
写 1冊 半紙 仮和  
註：松木屋彦右衛門家

諸事日記 嘉永6年3月 YK215-249  
嘉永6 (1853) 写 1冊 横中長 和  
註：雑留書

成田家代々覚書 成田文次郎 YK215-250  
明和3 (1766) 写 1冊 半紙 仮和  
註：内題「家督以後覚書 (明和三丙戌年正月)」(紙背文書)

玉露叢拔書 追加或私記 完 YK215-251  
写 1冊 半紙 和  
註：内題「続記後編」

玉露叢 全 YK215-252  
〔享保5 (1720) 写 1冊 半紙 和

新撰論語見立 YK215-253  
写 1冊 横長 仮和

津軽落書集録 自寛政4年至文政11年 YK215-254  
〔下沢陳平編〕  
写 1冊 半紙 和  
註：寛政四壬子年落書桜田維徳、開帳の落書、御宝物、表具、馬鹿四天王ノ短尺、角力之落書、江戸落書、うた落書、親下り役者番附、他

天明三癸卯年式月十日之出来事 (年代日月記之内) YK215-255  
写 1冊 半紙 仮和  
註：本館所蔵「年代日月記」(GK210-15) の内にある。岩木山の奇異、他に「御布令」が1枚付いている

〔王政御一新御制札〕 太政官 YK215-256  
〔慶応4 (1868)〕 写 1冊 半紙 仮和

〔京都御警衛留書〕 YK215-257  
〔京都留守居 小見山藤兵衛・五十嵐所吉〕  
写 1綴 横長 仮和

座右飛可え YK215-258  
〔明治4 (1871)〕 写 1冊 横長 仮和  
註：水戸前中納言蟄居に係わる一件、弘前御沙汰之事

〔高杉組代官所留書〕 YK215-259  
写 1冊 横長 仮和  
註：江戸時代末期、嘉永以前と推定。高杉組、藤代組、駒越組関係

亜墨理加ヨリ献上貢物目録 神盛昉 YK215-260  
嘉永7 (1854) 写 1冊 横長 仮和

アメリカ船の儀ニ付御警衛場所御大名持場之事  
安政5 (1858) 写 1冊 半紙 和 YK215-261

演説 御用人 YK215-262  
写 1冊 横長 仮和  
註：「近年打続不熟作ニ付御勝手方…」と始まっている

見聞諸記 文久3年7月ヨリ YK215-263  
文久3 (1863) 写 1冊 横長 仮和  
註：文久3年は攘夷決定の年、この年の風説書の留書

大坂大変之仕末 稲垣左近左衛門 (松平遠江守内) YK215-264  
天保8 (1837) 写 1冊 半紙 仮和  
註：大塩平八郎の乱の風説書

亜墨理加使節蕃語 安政5年6月 YK215-265  
安政5 (1858) 写 1冊 半紙 和

古記大全信政公記目録大要 YK215-266  
写 1冊 半紙 和

栗原泰芸御預之覚書 YK215-267  
天和2年 (1682) 写 1通  
内容：津軽配流の経緯、親族の現状

御朱印写 YK215-268  
写 4通  
内容：文昭院様家宣公 (津軽土佐守あて 正徳2)、有徳院様吉宗公 (津軽土佐守あて 享保2)、惇信院家重公 (津軽岩松あて 延享3)、俊明院様家治公 (津軽出羽守あて 宝暦11)

江戸屋舗地御帳面名前書改め願并覚 寛政3年  
津軽和二郎 YK215-269  
寛政3 (1791) 写 2通

- 津軽領海辺通村調下書 YK215-270  
文化4(1807)か 写 1通
- 御用言書覚 YK215-271  
文政5(1822)か 1通  
註：相馬大作が召捕られた後の江戸の風聞
- 北蝦夷地クシュンコタンへ異国船出沒ニ付公辺江御届申上候間御知らせ YK215-272  
松前勘解由(崇徳)、藤倉官五(保民)、下国図書(季定)連署。大道寺族之助・堀五郎左衛門あて  
写 1通
- 〔松前地方之内異国船相見得候ニ付〕 YK215-273  
牛丸良太(成武)野上亘あて  
天保( )か 写 1通  
註：野上亘は津軽江戸家中の人、「御日記方」の印あり
- 覚 箱館御用懸 蟹田町奉行等あて YK215-274  
写 1通  
註：酒井左衛門尉様御人数外浜通り不通の達し
- 松前御家老より御国御家老衆江御達之表写 YK215-275  
文化4(1807)写 1通  
註：外に、江戸表より御飛脚にて「松前西蝦夷地一園に召上げ」の件についての記事あり
- 〔幕末記録〕 YK215-276  
写 1通 16×136  
註：幕末(元治元年頃)、幕臣にて職掌不相当之者への判決(北条新太郎等4名)
- 鰯ヶ沢表江出張御用留 明治2年2月 YK216-1  
明治2(1869)写 1冊 横長 仮和
- 日誌 YK216-2  
明治18(1885)～大正9(1920)写 1冊 半紙 仮和
- 公務(議)日誌 公議方 下沢保躬編 YK216-3  
明治2(1869)写 1冊 半紙 仮和  
註：六月廿七日より、但し元年辰の十二月よりあり
- 〔日記〕 YK216-4  
写 1冊 半紙 仮和  
註：戊辰戦争関係
- 〔明治日記〕 YK216-5  
明治元(1868)～明治20(1887)写 1冊 半紙 和
- 勤務日誌 相馬恒吉 YK216-6  
明治6(1873)写 1冊 半紙 仮和  
註：相馬恒吉は津軽郡第十五区杉館邑(平賀)副戸長
- 〔日記抜書〕 YK216-7  
写 1冊 半紙 仮和
- 徳川家晩籍日誌 YK216-8  
慶応4(1868)～明治2(1869)写 1冊 半紙 和  
註：八月十九日ヨリ翌年七月廿二日マデ函館戦争始末記、附…万国新聞抜書、討北紀略(兼松成言纂輯)
- 日記草稿 慶応4年従11月 三上正芳 YK216-9  
慶応4(1868)～明治2(1869)写 1冊 半紙 仮和  
註：十一月朔日ヨリ翌年三月廿七日マデ。紙背文書
- 西京弘前藩邸紀事 全 自嘉永3年至元治慶応 YK216-10
- 嘉永3(1850)～慶応元(1865)写 1冊 半紙 仮和  
註：津軽藩家老大道寺族之助上京御用留之抜萃、津軽承昭公御上京中の記
- 京都府中留守宦藩印御渡一件 下沢保躬 YK216-11  
明治3(1870)写 1冊 半紙 和
- 両京勤中抄録(両京公用又二京勤務大全卷式) YK216-12  
下沢保躬  
明治3(1870)写 1冊 横中 和
- 〔桜田元司覚書〕 YK216-13  
写 1冊 半紙 仮和  
註：庄内表江出張被仰付候之件
- 田中坤松前日誌 田中坤 YK216-14  
明治2(1869)写 1冊 半紙 和
- 〔松前侯平館表江御着船之始末并御扱致野呂源太口達之覚〕  
〔明治元(1868)〕写 1冊 半紙 仮和 YK216-15  
註：松前侯は福山藩主松前志摩守徳広のこと
- 松前侯平館表江御着船ニ付取扱御始末御達之写 辰11月  
〔明治元(1868)〕写 1冊 半紙 仮和 YK216-16  
註：松前侯は福山藩主松前志摩守徳広のこと
- 四月九日松前戦争一件書 YK216-17  
明治2(1869)写 1冊 半紙 仮和
- 御布令留 明治5年 YK216-18  
三上正躬  
明治5(1872)写 1冊 半紙 和  
註：紙背文書
- 藩制 明治3年11月 YK216-19

- 明治3 (1870) 写 1冊 半紙 仮和  
註：附、士族江告論、士在江告論
- 御布令留帳** 明治6年第3月 葛西藏之助 **YK216-20**  
明治6 (1873) 写 1冊 半紙 仮和
- 弘前藩記事** 一 自慶応3年至明治元年2月 **YK216-21-1**  
慶応3～明治元 (1867～1868) 写 1冊 半紙 和  
註：戊辰正月・二月
- 弘前藩記事** 二 明治元年3月 **YK216-21-2**  
明治元年 (1868) 写 1冊 半紙 和  
註：戊辰三月
- 弘前藩記事** 三 明治元年4月 **YK216-21-3**  
明治元年 (1868) 写 1冊 半紙 和  
註：戊辰四月
- 弘前藩記事** 四 明治元年閏4月 **YK216-21-4**  
明治元年 (1868) 写 1冊 半紙 和  
註：戊辰閏四月
- 弘前藩記事** 五 明治元年5月 **YK216-21-5**  
明治元年 (1868) 写 1冊 半紙 和  
註：戊辰五月
- 弘前藩記事** 六 明治元年6月・7月 **YK216-21-6**  
明治元年 (1868) 写 1冊 半紙 和  
註：戊辰六月・七月
- 弘前藩記事** 七 明治元年8月 **YK216-21-7**  
明治元年 (1868) 写 1冊 半紙 和  
註：戊辰八月
- 弘前藩記事** 八 明治元年9月 **YK216-21-8**
- 明治元年 (1868) 写 1冊 半紙 和  
註：戊辰九月
- 弘前藩記事** 九 明治元年10月上中下3冊 (上)  
明治元年 (1868) 写 1冊 半紙 和 **YK216-21-9**  
註：戊辰十月上
- 弘前藩記事** 十 明治元年10月上中下3冊 (中)  
明治元年 (1868) 写 1冊 半紙 和 **YK216-21-10**  
註：戊辰十月中
- 弘前藩記事** 十一 明治元年10月上中下3冊 (下)  
明治元年 (1868) 写 1冊 半紙 和 **YK216-21-11**  
註：戊辰十月下
- 弘前藩記事** 十二 明治元年11月上中下3冊 (上)  
明治元年 (1868) 写 1冊 半紙 和 **YK216-21-12**  
註：戊辰十一月上
- 弘前藩記事** 十三 明治元年11月上中下3冊 (中)  
明治元年 (1868) 写 1冊 半紙 和 **YK216-21-13**  
註：戊辰十一月中
- 弘前藩記事** 十四 明治元年11月上中下3冊 (下)  
明治元年 (1868) 写 1冊 半紙 和 **YK216-21-14**  
註：戊辰十一月下
- 弘前藩記事** 十五 明治元年12月上下2冊 (上)  
明治元年 (1868) 写 1冊 半紙 和 **YK216-21-15**  
註：戊辰十二月上
- 弘前藩記事** 十六 明治元年12月上下2冊 (下)  
明治元年 (1868) 写 1冊 半紙 和 **YK216-21-16**  
註：戊辰十二月下
- 弘前藩記事** 十七 明治2年正月 **YK216-21-17**  
明治2年 (1869) 写 1冊 半紙 和  
註：己巳正月
- 弘前藩記事** 十八 明治2年2月 **YK216-21-18**  
明治2年 (1869) 写 1冊 半紙 和  
註：己巳二月
- 弘前藩記事** 十九 明治2年3月 **YK216-21-19**  
明治2年 (1869) 写 1冊 半紙 和  
註：己巳三月
- 弘前藩記事** 廿 明治2年4月上中下ノ内上  
明治2年 (1869) 写 1冊 半紙 和 **YK216-21-20**  
註：己巳四月上
- 弘前藩記事** 廿一 明治2年4月上中下ノ内中  
明治2年 (1869) 写 1冊 半紙 和 **YK216-21-21**  
註：己巳四月中
- 弘前藩記事** 廿二 明治2年4月上中下ノ内下  
明治2年 (1869) 写 1冊 半紙 和 **YK216-21-22**  
註：己巳四月下
- 弘前藩記事** 廿三 明治2年5月上中下ノ内上  
明治2年 (1869) 写 1冊 半紙 和 **YK216-21-23**  
註：己巳五月上
- 弘前藩記事** 廿四 明治2年5月上中下ノ内中  
明治2年 (1869) 写 1冊 半紙 和 **YK216-21-24**  
註：己巳五月中
- 弘前藩記事** 廿六 明治2年5月上中下ノ内下  
**YK216-21-26 (25欠)**  
明治2年 (1869) 写 1冊 半紙 和

- 註：己巳五月下
- 弘前藩記事** 廿七 明治2年6月上 **YK216-21-27**  
明治2年(1869)写 1冊 半紙 和  
註：己巳六月上
- 弘前藩記事** 廿八 明治2年6月下 **YK216-21-28**  
明治2年(1869)写 1冊 半紙 和  
註：己巳六月下
- 弘前藩記事** 廿九 明治2年7月8月9月10月  
明治2年(1869)写 1冊 半紙 和 **YK216-21-29**  
註：己巳七月、八月、九月、十月
- 弘前藩記事** 卅 明治2年11月・12月 **YK16-21-30**  
明治2年(1869)写 1冊 半紙 和  
註：己巳十一月、十二月
- 弘前藩記事** 卅一 明治3年正月ヨリ3月ニ至ル  
明治3年(1870)写 1冊 半紙 和 **YK216-21-31**  
註：庚午正月、二月、三月
- 弘前藩記事** 卅二 明治3年4月ヨリ5月ニ至ル  
明治3年(1870)写 1冊 半紙 和 **YK216-21-32**  
註：庚午四月、五月
- 弘前藩記事** 卅三 明治3年6月 **YK216-21-33**  
明治3年(1870)写 1冊 半紙 和  
註：庚午六月
- 弘前藩記事** 卅四 明治3年7月ヨリ10月ニ至ル  
明治3年(1870)写 1冊 半紙 和 **YK216-21-34**  
註：庚午七月、八月、九月、十月
- 弘前藩記事** 卅五 明治3年閏10月ヨリ12月ニ至ル  
明治3年(1870)写 1冊 半紙 和 **YK216-21-35**  
註：庚午閏十月、十一月、十二月
- 弘前藩記事** 卅五ノ次 明治4年正月 **YK216-21-35ノ次**  
明治4年(1871)写 1冊 半紙 和  
註：辛未正月
- 弘前藩記事** 卅六 明治4年2月 **YK216-21-36**  
明治4年(1871)写 1冊 半紙 和  
註：辛未2月
- 弘前藩記事** 卅七 明治4年3月 **YK216-21-37**  
明治4年(1871)写 1冊 半紙 和  
註：辛未三月
- 弘前藩記事** 卅八 明治4年4月 **YK216-21-38**  
明治4年(1871)写 1冊 半紙 和  
註：辛未四月
- 弘前藩記事** 卅九 明治4年5月ヨリ7月ニ至ル  
明治4年(1871)写 1冊 半紙 和 **YK216-21-39**  
註：辛未五月、六月、七月
- 弘前藩記事** 四十 明治4年8月ヨリ11月ニ至ル大尾  
明治4年(1871)写 1冊 半紙 和 **YK216-21-40**  
註：辛未八月、九月、十月、十一月、大尾
- 弘前藩記事** 四十一 明治2年 **YK216-21-41**  
明治2年(1869)写 1冊 半紙 和  
註：賞典調共五ノ一
- 弘前藩記事** 四十二 明治2年 **YK216-21-42**  
明治2年(1869)写 1冊 半紙 和  
註：賞典調共五ノ二
- 弘前藩記事** 四十三 明治2年 **YK216-21-43**  
明治2年(1869)写 1冊 半紙 和  
註：賞典調共五ノ三
- 弘前藩記事** 四十四 明治3年 **YK216-21-44**  
明治3年(1870)写 1冊 半紙 和  
註：賞典調共五ノ四
- 弘前藩記事** 四十五 明治3年 **YK216-21-45**  
明治3年(1870)写 1冊 半紙 柏  
註：賞典調共五ノ五
- 弘前藩記事** 四十六 明治元年・同2年 **YK216-21-46**  
明治元年～2年(1868～1869)写 1冊 半紙 和  
註：藩政治革調上
- 弘前藩記事** 四十七 明治2年 **YK216-21-47**  
明治2年(1869)写 1冊 半紙 和  
註：藩政治革調中
- 弘前藩記事** 四十八 明治3年 **YK216-21-48**  
明治3年(1870)写 1冊 半紙 和  
註：藩政治革調下
- 弘前藩記事** 四十九 明治元年 **YK216-21-49**  
明治元年(1868)写 1冊 半紙 和  
註：官藩出張調上
- 弘前藩記事** 五十 明治元年 **YK216-21-50**  
明治元年(1868)写 1冊 半紙 和  
註：官藩出張調中
- 弘前藩記事** 五十一 明治2年 **YK216-21-51**  
明治2年(1869)写 1冊 半紙 和  
註：官藩出張調下



**弘前藩記事** 五十二 明治元・2年 YK216-21-52  
明治元年～2年(1868～1869)写 1冊 半紙 和  
註：松前戦争届全

**弘前藩記事** 五十三 明治元・2年 YK216-21-53  
明治元年～2年(1868～1869)写 1冊 半紙 和  
註：松前遁寓調全

**弘前藩記事** 五十四 YK216-21-54  
明治9年(1876)写 1冊 半紙 和  
註：履歴調共六冊一(大小参事)

**弘前藩記事** 五十五 YK216-21-55  
明治9年(1876)写 1冊 半紙 和  
註：履歴調共六冊二

**弘前藩記事** 五十六 YK216-21-56  
明治9年(1876)写 1冊 半紙 和  
註：履歴調共六冊三

**弘前藩記事** 五十七 YK216-21-57  
明治9年(1876)写 1冊 半紙 和  
註：履歴調共六冊四

**弘前藩記事** 五十八 YK216-21-58  
明治9年(1876)写 1冊 半紙 和  
註：履歴調共六冊五

**弘前藩記事** 五十九 YK216-21-59  
明治9年(1876)写 1冊 半紙 和  
註：履歴調共六冊六

**弘前藩記事** 六十 YK216-21-60  
明治2年(1869)写 1冊 半紙 和

註：戦死履歴共二冊上

**弘前藩記事** 六十一 YK216-21-61  
明治2年(1869)写 1冊 半紙 和  
註：戦死履歴共二冊下

**弘前藩記事** 六十二 YK216-21-62  
明治2年(1869)写 1冊 半紙 和  
註：細川援兵調全

**弘前藩記事** 六十三 YK216-21-63  
明治2年(1869)写 1冊 半紙 和  
註：招魂祭調共二冊上

**弘前藩記事** 六十四 YK216-21-64  
明治2年(1869)写 1冊 半紙 和  
註：招魂祭調共二冊下

**弘前藩記事** 六十五 自慶応3年至明治元年 YK216-21-65  
慶応3～明治元(1867～1868)写 1冊 半紙 和  
註：明六調上(明治六年朝廷御達ニ依ル取調進達ノ写)

**弘前藩記事** 自明治2年至同3年 YK216-21-66  
明治2年～3年(1869～1870)写 1冊 半紙 和  
註：明六調下(明治六年朝廷御達ニ依ル取調進達ノ写)

**弘前藩誌** 戊辰役藩情調 全 YK216-22  
明治8年(1875)写 1冊 半紙 和  
註：明治八年五月東京旧藩主公へ差登候控なり

**旧弘前戊辰之役藩情之顛末** YK216-23  
明治8(1875)写 1冊 半紙 和  
註：明治八年十二月東京表ニ於テ歴史課へ差出候扣也

**弘前藩記録拾遺** 一 慶応3年從12月明治元年至7月 YK216-24-1

慶応3年～明治元年(1867～1868)写 1冊 半紙 和

**弘前藩記録拾遺** 二 明治元年從8月至9月 YK216-24-2  
明治元年(1868)写 1冊 半紙 和

**弘前藩記録拾遺** 三 明治元年從10月至12月 YK216-24-3  
明治元年(1868)写 1冊 半紙 和

**弘前藩記録拾遺** 四 明治2年從正月至5月 YK216-24-4  
明治2年(1869)写 1冊 半紙 和

**弘前藩記録拾遺** 五 明治2年從6月同3年至6月 YK216-24-5  
明治2年～明治3年(1869～1870)写 1冊 半紙 和

**弘前藩記録拾遺** 六 尾 YK216-24-6  
明治3年～明治4年(1870～1871)写 1冊 半紙 和  
註：明治三年庚午從七月同四年辛未至十一月

**維新前後津軽弘前藩政秘鑑** 卷一 YK216-25  
写 1冊 半紙 仮和

註：内題「維新勤王諸藩誠忠之人物略伝卷之第十号拔萃陸奥国津軽郡弘前藩士の岩田成蔵、小山内寛蔵、小山内建磨、毛内監物、西館、神、一戸、一町田、其他数十人

**津軽藩勤王始末**(山崎所左エ門日記) YK216-26  
写 1冊 半紙 和  
註：所左衛門(1813～1891)、名は清良、津軽藩士(大目付、討庄応援隊大隊長など)

**浪岡組以東青森管轄之一件留** YK216-27  
写 1冊 横中 仮和  
註：藩庁監正署用覚・御触・御用状之写等

- 討南略記** 全 包木翁〔兼松石居〕著 **YK216-28**  
 明治3(1870)写 1冊 半紙 和  
 註：原本は「討南紀略」、明治元年、南部との戦争を主として述べている(奥羽戊辰戦争)、石居(1810～1877)は津軽藩儒者、稽古館督学、東奥義塾初代塾長
- 奥羽北海治乱記** 全 下沢保躬 **YK216-29**  
 明治元・2(1868・1869)写 1冊 半紙 和  
 註：戊辰戦争(奥羽・松前・函館)関係、保躬(1838～1896)は津軽藩士、国学者、史家
- 明治元・二両年中征討内外両京松前所々戦状紀事**  
 下沢保躬 **YK216-30**  
 [明治2(1869)?]写 1冊 半紙 和  
 註：津軽従四位少将承昭公代、内題「松前表報知一件」
- 参考函館戦史** 北門中村良之進著 **YK216-31**  
 写 1冊 半紙 仮和  
 註：良之進(1864～1940)は弘前の郷土史家、北門、雪松、守愚などと号した
- 函館戦史** 中村良之進編輯 **YK216-32**  
 写 1冊 半紙 仮和
- 維新資料** **YK216-33**  
 慶応4～明治元(1868)写 1冊 半紙 仮和
- [奥羽鎮定記]** **YK216-34**  
 写 1冊 13×21 和
- 弘前藩維新史料** 壺 山崎有信 **YK216 35 1**  
 明治45(1912)新聞切り抜き 1冊 菊 和
- 弘前藩維新史料** 式 山崎有信 **YK216-35-2**
- 明治45(1912)新聞切り抜き 1冊 菊 和
- 弘前藩情** 全 下沢保躬 **YK216-36**  
 慶応4(1868)写 1冊 半紙 和  
 註：太政官ヨリ上申方被命則上申ノモノノ写ナリ(下沢)
- 維新前後津軽弘前藩政秘鑑抜萃** **YK216-37**  
 明治23(1890)写 1冊 半紙 仮和  
 註：津軽藩之勤王家毛内監物など、本書は昭和2年(1927)中村良之進の写
- 西南役の新聞切抜** 東京日日新聞 **YK216-38**  
 明治10(1877)新聞切り抜き 1冊 半紙 仮和
- 明治元年同二年当藩戦死者墳墓明細調**(同青森埋葬調)  
 下沢陳平 **YK216-39**  
 写 1冊 13×21 ノート  
 註：日本鑄工史稿、佐々木伝司親類書、木村虎之助方由緒書、他(中村良之進の書入れもあり)  
 陳平(1881～1923)は下沢保躬の二男、文筆家、郷土史家
- 御用留** 三上虎平大(小二区戸長) **YK216-40**  
 明治5(1872)写 1冊 半紙 仮和  
 註：第二十区(弘前)小二区(下白銀丁、元寺町、一番丁、他13町)戸長の御用留(牛馬調、職業、居住、戸籍に関して)
- 在方御用留** **YK216-41**  
 明治4(1871)写 1冊 半紙 仮和  
 註：弘前官所(管轄=弘前・高杉組・藤代組・駒越組・和徳組・堀越組・大鰐組・大光寺組・猿賀組・尾崎組・田舎館組・藤崎組・赤田組)関係御用留類
- 旧藩庁エ出頭問答之箇條心得書** **YK216-42**
- 明治3(1870)写 1冊 半紙 仮和
- 御奏聞書并同御別紙写** 御許容書写京坂風説書と母〔も〕  
 慶応元(1865)写 1冊 半紙 仮和 **YK216-43**
- 道中筋物騒風説書** 小山内周吉 **YK216-44**  
 写 1冊 半紙 和  
 註：幕末の志士、水戸藩尊攘党首領武田耕雲斎のこと
- 東山北陸奥羽不残此度風説留置扣** **YK216-45**  
 写 1冊 半紙 仮和  
 註：奥羽鎮撫時に於ける官軍勢并関東勢方之風説書
- 上方騒動一件留** 小見山藤兵衛 **YK216-46**  
 元治元(1864)写 1冊 半紙 和  
 註：内題「元治元甲子六月京師出張長州勢建白」。筆者は幕末津軽藩士(生年・歿年不詳)
- [大坂城御軍議之次第]** **YK216-47**  
 元治元(1864)写 1冊 半紙 仮和
- 御用状留** 二冊之内上 **YK216-48-1**  
 相馬宇津  
 明治3(1870)写 1冊 半紙 仮和  
 註：弘前官所支配大庄屋関係御用状留(太政官、知事、大参事、小参事、租税掛大属等)
- [御用状留** 二冊之内下) **YK216-48-2**  
 明治4～5(1871～1872)写 1冊 半紙 仮和  
 註：青森県弘前支庁・大庄屋関係御用状留
- 風説之写** 常徳 **YK216-49**  
 元治元～明治4(1864～1868)写 1冊 半紙 仮和  
 註：庄内江参候書状之写、深浦表二而船頭申出之覚、長州軍船書到来写、新撰論語訳、京都辺之落書、南部落城

- 之六歌仙、壁書、時務策、他
- 風説書并御使者一条楽書共筆之留** YK216-50  
慶応4～明治2(1868～1869)写 1冊 半紙 仮和  
註：慶応四辰年正月十一日京都表出立二月一日御国許到着、御留守居支配工藤峯次郎見聞書、御用書江差出候写(工藤行幹鳥羽伏見の戦見聞記)、秋田表風説、他
- 風説書** 下沢保躬 YK216-51  
明治2(1869)写 1冊 半紙 仮和  
註：兵部省河田左久馬建白写、西国方製造金価、外国人取引規則、京都事情之内巷説、他、大垣藩職等当表仮調添付
- 御触下藩巨細調** 下牒 YK216-52  
明治3(1870)写 1冊 22×23 仮和
- 朝廷御書付写新聞誌留** 下 YK216-53  
慶応4(1868)写 1冊 半紙 和
- 諸願書付和** 名主 YK216-54  
明治2(1869)写 1冊 半紙半 仮和
- 〔覚〕 赤石礼次郎** YK216-55  
〔慶応3(1867)〕写 1冊 半紙 仮和  
註：当時、赤石は津軽藩京都御留守居役。幕命により二条城に出頭した時の覚
- 御自筆之写・御家老中口達・京都御書付** YK216-56  
〔慶応3(1867)〕写 1冊 半紙 和  
註：内題「京都表ヨリ申来候御用之覚」、当時京都留守居役 赤石礼次郎
- 御意書並御告諭其外御口達御書付** YK216-57  
明治3(1870)写 1冊 半紙 仮和
- 註：知藩事覚、大参事口達、藩庁規則、他
- 諸御届** 下沢保躬 YK216-58  
明治2(1869)写 1冊 半紙 仮和  
註：弘前藩より朝廷へ、西京表へ公より御書案、江戸諸邸書上、御触下各藩明細
- 御所ヨリ御書付之写并御自筆之写、行軍約定書、御触書筆之留** YK216-59  
慶応4～明治2(1868～1869)写 1冊 半紙 仮和  
註：御所ヨリ御書付、法令書、油川村御陣規則、油川村番兵規則、他家老口達・用人演説等
- 朝廷御書附之写** YK216-60  
明治5(1872)写 1冊 半紙 仮和  
註：太政官、東京府より御渡御書付の写、一部印刷綴込
- 降伏人謹慎中人数調帳** 儀兵衛 YK216-61  
明治2(1869)写 1冊 横長 和  
註：各隊(彰義隊・見国隊・陸軍隊・一聯隊・騎兵隊・遊撃隊・額兵隊・伝習隊・神木隊・他)別降伏人名
- 奥羽騒動・松前騒擾誌** YK216-62  
慶応4～明治2(1868～1869)写 1冊 横長 和
- 佐竹様江為惣援出張被仰付候御人数書** YK216-63  
慶応4(1868)写 1冊 横小 仮和  
註：この時、馬廻組頭山本三郎左衛門を大隊長として、討庄応援の為に陣すべきところ、事故ありて之を止める
- 行軍帳** YK216-64  
慶応4(1868)写 1冊 横小 仮和  
註：庄内征討二付大館佐竹大和出軍付属調
- 軍中日記扣** 柴田健之・進藤藤原清康(津軽弘前藩二番手器械方) YK216-65  
明治元・2(1868・1869)写 1冊 横中 和  
註：個人ノ荷、台場御備、斥候、弘前表ヨリ、運送ノ品、器械方心得之事、各藩袖印、他
- 朝敵征〔討〕中日記** 相馬貞太郎則正 YK216-66  
明治2(1869)写 1冊 横中 仮和  
註：箱館戦争従軍記…出航、乙部村上陸、木古内村、釜谷村、有川村等々へノ進撃〔津軽藩(隊長木村奎之助)ノ矢不來ノ戦功アリ〕、五稜郭開城、弘前着マデ
- 南部百姓共并松前江脱藩歎〔嘆〕願書之写** YK216-67  
奥羽諸藩御所置写  
明治2(1869)写 1冊 半紙 和  
註：三戸五戸北郡惣百姓嘆願書候事、各県当分御規則、陸奥国北郡三戸二戸之内郷村高帳、詔書之写、他
- 松前詰病氣御達帳** 六番組ニ相成八番組司令士 YK216-68  
明治2(1869)写 1冊 横長 仮和  
註：病氣ニヨル勤務ノ出欠并氏名ノ覚書
- 鎮将府日誌** 四 YK216-69  
明治元(1868)官版 1冊 半紙 和  
註：第十六～第廿一(戊辰戦争関係)
- 雨窓紀聞** 上 YK216-70-上  
小杉雅之進(幕府軍艦開陽丸士官)  
明治6(1873)刊 1冊 半紙 和  
註：明治2年晩秋の候、津軽弘前最勝院幽窓の下で函館戦争を海軍側から記述したもの
- 雨窓紀聞** 下 YK216-70-下  
小杉雅之進(幕府軍艦開陽丸士官)  
明治6(1873)刊 1冊 半紙 和

- 廿四藩触下藩銘** YK216-71  
写 1冊 横長 仮和  
註：廿四藩触下藩名録
- 戊辰見聞記** 三上繁太郎留記 YK216-72  
慶応4(1868)写 1冊 横中 仮和  
註：維新史料(京都大坂騒勤之事件見聞書)
- 青森口総督府・箱館府・諸藩役員名簿** YK216-73  
〔明治2(1869)〕写 1冊 横長 仮和  
註：清水谷様附役之名前、箱館府御役員、清水谷様御内、長州役員、福山役員、松前藩役員、伊州(津藩)役員、筑後(久留米)藩役員、備前(岡山)藩役員、鷹翼隊(福山藩)
- 日誌 上(三冊ノ内)** YK216-74- 上  
葛西剛太郎(藤原善直)  
明治5(1872)写 1冊 半紙 和  
註：原文は慶応4年(1868)記箱館戦争関係、紙背文書
- 徳川脱籍日誌 中(三冊ノ内)** YK216-74- 中  
葛西剛太郎(藤原善直)  
明治5(1872)写 1冊 半紙 和  
註：上下はただ「日誌」となっている、原文は慶応4年(1868)記箱館戦争関係、本館所蔵本「徳川脱賊日記(K216-20)」の内容と殆んど同じ。紙背文書
- 日誌 下(三冊ノ内)** 葛西剛太郎 YK216-74- 中  
明治4(1871)写 1冊 半紙 和  
註：戊辰戦争奥羽関係御達書、御書付、御触、廻文、嘆願書、御届書、調書等の写。(紙背文書)
- 野辺地戦争資料・櫛引錯斎事歴抄** 下沢陳平 YK216-75  
大正11(1922)写 1冊 半紙 和  
註：野辺地戦争資料は大正8年「小島左近之筆蹟」に依り書写、櫛引錯斎事歴抄は大正10年発行の櫛引純二郎著「錯斎先生言行録」上より抄出
- 辰ノ八月五日於秋田表炮戦両目付御達之写** YK216-76  
慶応4・明治2・4(1868・1869・1871)写 1冊 半紙 仮和  
註：慶応4年8月5日は討庄出兵の中隊長成田求馬を含む9人が戦死した日である。両目付とは御徒目付と足軽目付
- 徳川脱籍日誌** YK216-77  
慶応3～明治2(1867～1869)写 1冊 半紙 和  
註：箱館戦争関係、本館所蔵本「徳川脱賊日記(K216-20)」と内容が同じ
- 戦争御届** YK216-78  
明治3(1870)写 1冊 半紙 仮和  
註：内題「庄内征討出兵始終戦争之概略」
- 日記 下** 葛西剛太郎 YK216-79  
明治2(1869)写 1冊 半紙 和  
註：箱館戦争関係(正月ヨリ十月迄)紙背文書
- 各国新聞諸藩藩臈願届伺** 下沢保躬 YK216-80  
明治2～5(1869～1872)写 1冊 半紙 仮和  
註：弘前藩公用局の蔵印あり、「公用方ノ印アルハ重複ニ而不用ユエ頂戴イタシ置後年数百冊編集ノ節ノ用ニ充ントス 保躬」
- 戊辰誌 全** 一戸岳逸編 YK216-81  
昭和14(1939)謄写 1冊 半紙 仮和  
註：印刷・発行 青森通俗図書館。岳逸(1873～1939)ハ和徳村生、陸奥日報・東奥日報記者、後、重役、青森通俗図書館設立経営ナド
- 討南紀略** 兼松成言 YK216-82
- 写 1冊 半紙 仮和  
註：対叛賊南部利剛之記(漢文)
- 振武隊附録** YK216-83  
慶応4(1871)写 1冊 半紙 仮和  
註：振武隊は幕末長州藩諸隊の1つ、庄内征討に於ける佐竹藩控「御用状、御条目、執達、軍法、道中人数押前之事、定(高札案)、御軍令条々、他
- 檄文** 山田登 YK216-84  
慶応4(1868)写 1冊 半紙 仮和  
註：幕末、津軽藩参政者(奸徒一味)へノ痛憤ノ触書、「但シ七月四日朝六ツ半時頃東長町御制札尔張付ノ表ニ有之由」と表書にある。登(1821～1876)は津軽藩士(武芸家・勘定奉行・用人等)
- 京都風説聞書** YK216-85  
慶応4(1868)写 1冊 半紙半 仮和  
註：伏見鳥羽の変後、徳川追討の号令が下った後の京都に於ける各藩及び津軽藩の動き、又、桑名・大垣・小浜・宮津四ヶ所征伐の事等
- 王政御一新御宸翰之写并御自筆御口達之写** YK216-86  
明治元～2(1868～1869)写 1冊 半紙 仮和  
註：他に御政体御改革之覚等あり
- 〔雜留記〕** YK216-87  
元治元～明治8(1864～1875)写 1冊 半紙 仮和  
註：上大樹公殿下書、太政官日記写、朝鮮返翰之写、板垣退助奏聞文
- 人民告諭大意** YK216-88  
明治2・3(1869・1870)写 1冊 半紙 仮和  
註：告諭大意(第一・二篇)、奥羽人民告諭、規則、藩庁規則、市在戸口書上雛形、他

## 〔御征討御応援庄内表江出張之覚〕 YK216-89

写 1冊 横長 仮和

註：出張御人数組ノ諸役職掌、一列御次第、御援兵出立手順、庄内御追討御援兵、陣営規則、御征討御応援御人数調御改之規則、他

## 〔雑留記〕 YK216-90

慶応4・明治元(1868)写 1冊 半紙 和

註：貢士策問條件、羽州久保田表八月廿日仕出大山格之助来状節録、三職、八局、御誓文、陸軍編成、松平肥後歎願書写、辰七月十六日於津軽深浦庄船分捕一件、他

## 函館戦争一件 YK216-91

写 7冊 半紙 仮和

註：中村良之進著「函館之役」を含む

## 藤田留兵衛手昨年九月大館戦争御人数名前 YK216-92

明治2(1869)写 1冊 半紙 仮和

## 野田大参事より朝廷に往々伺之写 施政事務章程ヶ条

明治4(1871)写 1冊 半紙 仮和 YK216-93

註：野田豁通は最初の弘前県大参事、後の初代青森県知事

## 〔松前・函館戦争留書〕 YK216-94

明治2(1869)写 1冊 半紙 和

註：小口書には「脱艦征討紀聞他」とある。参謀・会議所留書、津軽藩総隊長杉山上総書付等

## 〔鯨ヶ沢表江出張之人別覚書〕 YK216-95

〔明治2(1869)？〕写 1冊 横長 仮和

註：幕末・明治初年、藩の農兵隊募集に応募した駒越組の村方の者達か

## 〔函館戦争留書〕 YK216-96

〔明治2(1869)〕写 1冊 半紙 仮和

## 〔留書〕 YK216-97

明治3～5(1870～1872)写 1冊 半紙 和

註：御自筆之写及口達、同田園御分興之儀ニ付御告諭、士卒蔵禄ノ義ニ付御告諭、斗南藩書簡、杉山龍江建白書等、他

## 〔雑新書留〕 YK216-98

写 1冊 半紙 和

## 箱館并所々台場戦争一件 山崎盛園 YK216-99

明治4(1871)写 1冊 半紙 仮和

註：原本は弘前藩鳴海氏書

## 秋田大館ノ役及松前ノ役一件 YK216-100

写 1袋(12点)

註：覚書、書簡等、大館・花輪・小坂付近地図、討死・手負氏名、法立寺入、降伏人最勝院入人員帳、心得手鑑

## 戊辰始末 YK216-101

写 1冊 半紙 和

註：函館戦争以前マデノ奥羽ニ於ケル戊辰戦争始末

## 諸国諸藩戦争風説留帳 YK216-102

慶応4(1868)写 1冊 半紙 和

註：戊辰戦争関係

## 官軍戦死墳墓之図 YK216-103

本版 1冊 半紙 仮和

註：羽州秋田矢橋、全良寺、慶応4年(1868)戦死月日・戦死場所・所属藩名・氏名・行年

## 就奥羽騒擾各出張并参謀添役勤中留記 YK216-104

館山有孚

慶応3～明治8(1867～1875)写 1冊 半紙 和

註：有孚(アリタケ)は津軽藩士、副参謀として醍醐参謀を補佐、本書を書き終わった明治8年病没

## 秋田表江出張ニ付御用留井諸用及日記 YK216-105

〔織田藤治？〕

慶応4(1865)写 1冊 横中 仮和

## 〔棹持夫八十四人〕 YK216-106

明治2(1869)写 1冊 横長 仮和

註：表抜書「右之通被仰出候御人数連々日割弘前ヨリ番立出兵於青森御勢揃被仰付候事、殿様御仮屋ニ御滞陣外手御人数寺院町屋ニ宿陣之事」

## 〔戊辰戦役諸記事〕 下沢継志斎(陳平) YK216-107

大正7(1918)写 1冊 半紙 仮和

註：日譜(明治元～4、楠美氏ノ稿本)、漆山行道中日記(一戸祐也主筆)、姓実名調(楠美氏ノ稿本)、戊辰・己巳戦死墳墓明細調(原筆者不明)、己巳各藩戦死青森葬埋調(楠美氏ノ稿本)

## 藤代・高杉両組農兵共資料 YK216-108

慶応4(1868)写 1袋(横長1点書付3点)

註：「出張日記覚帳」(岩谷定吉)1冊(横長・和)「藤代組中崎村岩谷定吉要用」「口上覚」「演説」(各1点宛)館戦争関係]

## 後成録・維新以来封内米金出入目標記 下稿

下沢保躬

YK216-109

明治19(1886)写 1冊 半紙 仮和

註：「衆説粉々ノ条」「明治十三年五月弘前大火ニ就キ損亡費概略愚按」「明治三年旧弘前藩ヨリ民部省へ上申ノ陸奥国津軽郡之内郷村高帳二十一冊ノ中総括之部」、巻尾に三谷治平の書簡添付

- 益子力太都留書** 益子力太郎 **YK216-110**  
写 1冊 横中 仮和  
註：奥羽戦争に於ける黒石藩の状況及び西南の役大要、力太郎は旧黒石藩士、戊辰戦争（馬門戦争）参加、県会議員一期、南津軽郡中郷村長一期
- 〔**覚書**（戊辰前後）〕 **YK216-111**  
写 1冊 横長 仮和  
註：庄内降伏心得方、他
- 早瀬野村江出張ニ付到着帳** 慶応4年8月23日  
慶応4（1868）写 1冊 横長 仮和 **YK216-112**
- 〔**秋田戦争出張覚書**〕 **YK216-113**  
写 1冊 横長 仮和  
註：主として五十嵐所吉（弘前藩銃隊頭）関係
- 耳順隨草** 孤靄（鶴）斎 **YK216-114**  
慶応4（1868）写 1冊 半紙 和
- 東京藩政紀事** 式 明治3・4・5年 **YK216-115**  
下沢保躬  
明治3～5（1870～72）写 1冊 半紙 仮和  
註：津軽従四位藤原朝臣承昭公代
- 主要記事** 自明治19年至同21年 **YK216-116**  
明治19～21（1886～88）写 1冊 半紙 和  
註：日本国内外重要事件日表
- 日々用々留** 明治6年 **YK216-117**  
明治6（1873）写 1冊 横中 仮和  
註：明治6年6月6日、北海道江差漁民減税強訴の為蜂起、これを鎮撫に派遣された津軽の一隊士の勤務日誌
- 大日本護国幼年会加盟者人名** 明治38年1月吉日
- 弘前支会水雷貢献申込所 **YK216-118**  
明治38（1905）写 1冊 横中 仮和  
註：水雷艇製造費貯蓄の為
- 朝鮮事変録** 坤 **YK216-119**  
〔明治15（1882）〕写 1冊 半紙 和
- 別段御用懸被仰付候ニ付心得覚帳** 明治2年正月元日ヨリ  
明治2（1869）写 1冊 横中 仮和 **YK216-120**
- 職別一列御改正ニ付ヶ条書** **YK216-121**  
明治2（1869）写 1冊 半紙 仮和
- 弘前藩庁告諭** **YK216-122**  
写 1冊 半紙 仮和  
註：庁内役人に対して
- 今廿日本莊様江早打到着咄合之表** 細井猪太郎（江戸常府）  
〔明治元（1868）〕写 1冊 半紙 仮和 **YK216-123**  
註：本状ノ写
- 弘前支庁留書** **YK216-124**  
〔明治5（1872）〕写 1冊 半紙 仮和
- 御用候条出庁方御達** 多賀大監察 木村権大属あて  
明治 写 1通 **YK216-125**
- 御意振** **YK216-126**  
明治4（1871）写 1通  
註：明治4年田地買上の際の賞詞
- 御印鑑**（奥羽鎮撫総督朱印肩章） **YK216-127**  
1枚（現物）12×9 布製
- 藩制一覽** **YK216-128**
- 明治3（1870）か 写 1枚 34×48  
**YK230 弘前市 中津軽郡**
- 和徳城** 中村良之進述 **YK230-1**  
大正15（1926）新聞切り抜き 1冊 半紙 仮和  
註：弘前新聞連載
- 弘前城沿革史料** 森林助 **YK230-2**  
写 1冊 半紙 仮和  
註：林助（1880～1935）は福島県の人、弘前中学校教諭、地方史研究ノ功績大
- 弘前太平城沿革概略** 佐藤弥六 **YK230-3**  
写（コピー）1冊 24cm  
註：弘前市史材料2（小野土格編）よりコピーしたもの、弥六（1842～1923）は幕末から明治当初にかけて国事に奔走、県会議員、産業振興、地方史研究等の業績大
- 玉手箱** 明治12歳 **YK230-4**  
明治12～16（1879～83）写 1冊 横中 和  
註：郡長・県令宛諸願・届等ノ留書、「弘前景況建白（勇馬等）」などもあり。当時ノ中津軽郡（弘前ヲ含ム）郡長ハ笹森儀助
- 弘前市資料** **YK230-5**  
永山源之丞（青森県立弘前高等女学校教諭）編  
大正11（1922）写 1冊 半紙 仮和  
註：弘前市交通の沿革、弘前市特殊なる風習、駅通、駅通扱振、県史編纂参考史料
- 正四位様英麿様御下向ニ付手控帳** 明治18年 **YK230-6**  
三浦能定（坂本町・西川岸町・山下町・田代町・徒町惣代）  
明治18（1885）写 1冊 半紙 和  
註：正四位様（津軽承昭）（津軽）英麿様御墓参として、

弘前江御下向に付弘前旧士族有志輩集會各町江惣代相立候事（手控草稿-紙背文書）

**郷土史** **YK230-7**

写 1冊 半紙 仮和

知新小学校（明治9年～昭和16年、弘前市立福村小学校前身）旧蔵、昭和35年弘前市役所競売、八木橋氏落札入手

註：旧中津軽郡福村・福田村・境関村・外崎村・高田村・小比内村・新里村・豊田村

**当村役義高書上覚帳** 天保9年正月11日 **YK230-8**

岩屋甚四郎

天保9～明治7（1838～74）写 1冊 横長 仮和

註：中崎村（藤代組、現弘前市）岩谷家

**高杉組御用留帳** 壺番 天保3年正月 **YK230-9-1**

御代官所

天保3（1832）写 1冊 横長 仮和

**高杉組御用留帳** 二番 天保3年 **YK230-9-2**

御代官所

天保3（1832）写 1冊 横長 仮和

**高杉組御用留帳** 天保8年 御代官所 **YK230-9-3**

天保8（1837）写 1冊 横長 仮和

**高杉組御用留帳** 一番 天保14年正月 **YK230-9-4**

御代官所

天保14（1843）写 1冊 横長 仮和

註：表紙「諸御用留帳」、二番「高杉組諸御用留帳」も合綴

**高杉組御用留帳** 嘉永6年正月 御代官 **YK230-9-5**

嘉永6（1853）写 1冊 横長 仮和

**YK240 黒石市 南津軽郡**

**郷土考**（一）吹田葭声老人 **YK240-ト（一）**

昭和21（1946）写 1冊 菊 和

註：南津軽郡平賀町大字吹上（紙背文書）

**郷土考**（二）吹田老人 **YK240-ト（二）**

昭和21（1946）写 1冊 菊 和

註：南津軽郡平賀町大字吹上（紙背文書）

**藤崎町郷土史** **YK240-2**

大正13（1924）写（コピー）1冊 半紙 和

**碓関村誌資料**（古懸村之部） **YK240-3**

写 1冊 半紙 仮和

**碓ヶ関村歴史史料書抜** **YK240-4**

写 1冊 半紙 仮和

註：碓ヶ関、湯ノ沢銀山、碓ヶ関孝子円介伝、他

**当本年御収納米一紙目録** **YK240-5**

弘化4（1847）年12月 1枚 32.8×296.5 切紙

註：田舎庄平賀 付け紙（22.7×4.8）

**去亥年御収納米一紙目録** **YK240-6**

天保11（1840）年5月 1枚 33.7×289.8 切紙

註：田舎庄平賀

**開発田畑当戌年御収納米一紙目録** **YK240-7**

文化11（1814）年12月 1枚 29×230.5 切紙

註：田舎庄平賀

**YK260 八戸市 十和田市 三沢市 上北郡 三戸郡**

**八戸南部氏勤王史の研究**（原稿） 森林助 **YK260-1**

昭和9（1934）写 1冊 菊洋

註：直筆原稿

**史蹟調査図** 七戸附近の部 成田券治 **YK260-2**

七戸町七戸史蹟調査会 昭和3（1928）謄写 1冊

半紙（広） 仮和

註：券治（1892～1963）は上北郡七戸の人、七戸史蹟調査会・北奥古代文化研究会会長等

**YK280 伝記**

**揺池院夫人伝、上仙院寛広院政徳院有孝院四公并夫人伝**

下沢保躬

**YK280-1**

明治9（1876）写 1冊 半紙 和

**一木萩** 一・二 鶴川政治郎盛矩編 **YK280-2-1**

写 1冊 半紙 和

註：一之巻 光信公、為信公、信枚公、信義公、二之巻 信政公、信寿公、信著公、信寧公、編者鶴川政治郎盛矩書状（五十風所吉宛）一通貼付

**一木萩** 三・四 鶴川政治郎盛短編 **YK280-2-2**

写 1冊 半紙 和

註：三之巻 信明公、寧親公、信順公、御前様方、四之巻 土家 光信公代ヨリ信義公代迄人物

**一木萩** 五・六 鶴川政治郎盛矩編 **YK280-2-3**

写 1冊 半紙 和

註：五之巻 信政公代ノ人物、六之巻 信政公代 武芸家、神学、能狂言

**一木萩** 七・八 鶴川政治郎盛矩編 **YK280-2-4**

写 1冊 半紙 和

註：七之巻 信寿公代ヨリ信寧公代迄人物、八之巻 信寧公ヨリ寧親公代迄人物

**一木萩** 九・十 鶴川政治郎盛矩編 **YK280-2-5**

写 1冊 半紙 和

註：九之巻 土家 寧信公ヨリ信順公ノ代迄、拜謁以下陪臣 但シ為信公ノ代ヨリ寧信公代迄ノ人モ入ル、十之巻 為信公ヨリ順承公代迄、医師・画工・神仏・力士・儒工・商漁

- |  |           |  |           |   |            |
|--|-----------|--|-----------|---|------------|
| 津軽藩旧記伝類 卷第一 下沢保躬<br>明治16(1883)写 1冊 半紙 和<br>註：公族之部  | YK280-3-1 | 註：内題「津軽古今四民偉業記 卷第一 下沢閑遊子編述」  |           |   |            |
| 津軽藩旧記伝類 卷第二 下沢保躬<br>明治16(1883)写 1冊 半紙 和<br>註：公族・夫人                                       | YK280-3-2 | 津軽士民明々暗々記 卷之第一<br>幽閑斎(斗穂)〔下沢保躬〕<br>明治19(1886)写 1冊 半紙 仮和<br>註：紙背文書  | YK280-5-1 | 津軽名家小伝 上<br>写 1冊 菊 仮和                               | YK280-10-上 |
| 津軽藩旧記伝類 卷第三 下沢保躬<br>明治16(1883)写 1冊 半紙 和<br>註：藩士之部  | YK280-3-3 | 津軽士民明々暗々記 卷之第二<br>幽閑斎(斗穂)〔下沢保躬〕<br>明治23(1890)写 1冊 半紙 仮和<br>註：紙背文書  | YK280-5-2 | 津軽名家小伝 下<br>写 1冊 菊 仮和                               | YK280-10-下 |
| 津軽藩旧記伝類 卷第四 下沢保躬<br>明治16(1883)写 1冊 半紙 和<br>註：藩士  | YK280-3-4 | 津軽士民明々暗々記 卷之第三<br>幽閑斎(斗穂)〔下沢保躬〕<br>明治( )写 1冊 半紙 仮和<br>註：紙背文書   | YK280-5-3 | 西館孤清・南部師行・南部政長・広沢安任<br>写 1冊 半紙 仮和<br>註：冒頭欠          | YK280-11   |
| 津軽藩旧記伝類 卷第五 下沢保躬<br>明治16(1883)写 1冊 半紙 和<br>註：藩士  | YK280-3-5 | 津軽古今人物伝銘録 卷一 下沢保躬編<br>明治8(1875)写 1冊 半紙 仮和  | YK280-6   | 稲番現物語 乳井貢<br>写 1冊 美濃 仮和                             | YK280-12   |
| 津軽藩旧記伝類 卷第六 下沢保躬<br>明治16(1883)写 1冊 半紙 和<br>註：藩士  | YK280-3-6 | 津軽当今人物 下沢保躬編<br>明治6～明治13(1873～1880)1冊 新聞切り抜き<br>半紙半 仮和   | YK280-7   | 弘藩名臣譜 全<br>安政6(1859)写 1冊 半紙 和<br>註：内題「津軽名臣伝」(乳井建福撰) | YK280-13   |
| 津軽藩旧記伝類 卷第七 下沢保躬<br>明治16(1883)写 1冊 半紙 和<br>註：文学・兵学・弓馬・劍槍・炮術                              | YK280-3-7 | 弘藩名臣伝 全 乳井建福撰<br>写 1冊 半紙 仮和<br>註：昭和十年(1935)再々写、建福(ノリトミ)は貢(1712～1792)のこと、津軽家勘定奉行、家老、後失脚                                   | YK280-8   | 弘藩名臣伝 全<br>写 1冊 半紙 和                                | YK280-14   |
| 津軽藩旧記伝類 卷第八止 下沢保躬<br>明治16(1883)写 1冊 半紙 和<br>註：諸礼・孝義・勸農・医術・歌人・書画・僧侶・茶道・<br>工芸・俳諧・佞幸・奸人・反人 | YK280-3-8 | 殉難録稿四十抜萃(毛内良胤青雲録第四)<br>継志斎(下沢陳平)<br>明治40(1907)写 1冊 半紙 仮和<br>註：内容は伊東武明、服部良章、毛内良胤。原文の「殉難録」は宮内省編纂(編纂主任外崎覚)外崎覚氏より原稿を借りて写したもの | YK280-9   | 弘藩名臣伝 全 千葉平氏敏修<br>嘉永7(1854)写 1冊 半紙 和                | YK280-15   |
| 津軽古今偉業記 一 下沢保躬<br>明治19(1886)写 1冊 半紙 和  | YK280-4   |  |           | 津軽名臣伝<br>写 1冊 半紙 和<br>註：原本は乳井建福撰                    | YK280-16   |
|  |           |  |           | 津軽名臣伝 全 附師伝<br>祐倫 天保2(1831)写 1冊 半紙 和<br>註：原本は乳井建福撰  | YK280-17   |
|  |           |  |           | 津軽名臣伝 全 附師伝<br>祐倫 天保2(1831)写 1冊 半紙 和<br>註：原本は乳井建福撰  | YK280-18   |



- 津軽名臣伝** 角田定一 **YK280-19**  
 明治5(1872)写 1冊 半紙 和  
 註:原本は乳井建福撰
- 津軽名臣伝 全** **YK280-20**  
 [文政12(1829)]写 1冊 半紙 和  
 註:原本は乳井建福撰
- 津軽名臣伝 文久元年8月** **YK280-21**  
 文久元(1830)写 1冊 半紙 和  
 註:原本は乳井建福撰
- 津軽古今偉業記 二** 下沢閑雲(保躬)編集 **YK280-22**  
 写 1冊 半紙 和  
 註:内題「津軽古今四民偉業記」「津好古今人物伝銘録」
- 津軽古今人物伝銘録 卷第二** **YK280-23-1**  
 下沢保躬編集  
 写 1冊 半紙 仮和  
 註:浪岡北畠氏及諸家系譜アリ
- 津軽古今人物伝銘録 卷第三** **YK280-23-2**  
 下沢保躬編集  
 写 1冊 半紙 仮和
- 津軽古今人物伝銘録 卷第四** **YK280-23-3**  
 下沢保躬編集  
 写 1冊 半紙 仮和  
 註:明治6年(1873)の頃より集めたるもの、但、戊辰の役のことも入たり、千葉氏(諸手物頭千葉相良)、永宝丸を焼の条あり
- 津軽古今人物伝銘録 卷第五** **YK280-23-4**  
 下沢保躬編集  
 写 1冊 半紙 仮和
- 人名詳伝** **YK280-24**  
 写 1冊 半紙 和  
 註:対島瀬兵衛・樋口弥三郎・小山内新吉・吉沢庄左衛門・小野所吉・角田弥三左衛門等18名、附「近衛様御書之写」
- 追費一話 完** 勝安房(海舟) **YK280-25**  
 東京 博文館 明治24(1891)[100頁]1冊 美濃 和
- 先哲叢談 自一至二** 原善(念斎) **YK280-26-1**  
 京都 植村藤右衛門、江戸 和泉屋庄二郎 文化13(1816)1冊 美濃 和  
 註:念斎(1774~1820)は通称三右衛門、字は公道、徳川中期の儒者
- 先哲叢談 自三至四** 原善(念斎) **YK280-16-2**  
 京都 植村藤右衛門、江戸 和泉屋庄二郎 文化13(1816)1冊 美濃 和
- 先哲叢談 自五至六** 原善(念斎) **YK280-26-3**  
 京都 植村藤右衛門、江戸 和泉屋庄二郎 文化13(1816)1冊 美濃 和
- 先哲叢談 自七至八** 原善(念斎) **YK280-26-4**  
 京都 植村藤右衛門、江戸 和泉屋庄二郎 文化13(1816)1冊 美濃 和
- 先哲叢談年表 全** 東條耕(琴台) **YK280-27**  
 江戸 慶元堂和泉屋庄二郎 文久10(1827)板 1冊 美濃 和  
 註:琴台(1795~1878)は江戸の人、幕末明治に互る学者、(津軽俳人の生没年月日を記載せり、下沢陳平氏の編か…八木橋武美記)
- 都鄙今昔崎人伝 卷一** 下沢保躬編述 **YK280-28**  
 写 1冊 半紙 仮和  
 註:玉松操君小伝、上杉鷹山公伝略并年譜、松平楽翁君伝、細川銀台公伝略、津軽信明君伝略、津軽政徳君伝略、他
- 都鄙今昔崎人伝 卷二** 下稿 **YK280-29**  
 下沢保躬編述  
 写 1冊 半紙 和  
 註:「三條実美公ノ遺事」「久須美佐渡守」「秋山安房守」「堀長門守」「秋月政太郎」「本多伯耆守」「小笠原図書頭」「渡辺臨池堂」「寺部鄰明」「船水吉郎」「今村源三郎」「養心庵狂歌」「笠原八郎兵衛」「春日讃岐守」白川楽翁公遺事」、他
- 津軽人物誌 一名津軽古今人名辞書** **YK280-30**  
 [下沢陳平力]  
 明治45(1912)写 1冊 半紙 仮和  
 註:内容は文人に限られている。附「津軽古今碑文鐘銘」、句集「佐ミ堂れ集」広告原簿の活字の上に毛筆で書いたもの
- 近世崎人伝 卷一** 三熊思考 **YK280-31-1**  
 京都 藤井孫兵衛 寛政2(1790)刊 1冊 美濃 和  
 註:思考(1730~1794)は江戸中期の画家、加賀の人、号は花顛
- 近世崎人伝 卷二** 三熊思考 **YK280-31-2**  
 京都 藤井孫兵衛 寛政2(1790)刊 1冊 美濃 和
- 近世崎人伝 卷三** 三熊思考 **YK280-31-3**  
 京都 藤井孫兵衛 寛政2(1790)刊 1冊 美濃 和
- 近世崎人伝 卷四** 三熊思考 **YK280-31-4**  
 京都 藤井孫兵衛 寛政2(1790)刊 1冊 美濃 和
- 近世崎人伝 卷五** 三熊思考 **YK280-31-5**

- 京都 藤井孫兵衛 寛政2 (1790) 刊 1冊 美濃 和
- 統近世崎人伝 卷一 三熊思考 YK280-32-1  
京都 藤井孫兵衛 寛政9 (1797) 刊 1冊 美濃 和
- 統近世崎人伝 卷二 三熊思考 YK280-32-2  
京都 藤井孫兵衛 寛政9 (1797) 刊 1冊 美濃 和
- 統近世崎人伝 卷三 三熊思考 YK280-32-3  
京都 藤井孫兵衛 寛政9 (1797) 刊 1冊 美濃 和
- 統近世崎人伝 卷四 三熊思考 YK280-32-4  
京都 藤井孫兵衛 寛政9 (1797) 刊 1冊 美濃 和
- 統近世崎人伝 卷五 三熊思考 YK280-32-5  
京都 藤井孫兵衛 寛政9 (1797) 刊 1冊 美濃 和
- 殉難士伝 上 馬杉繫 YK280-33  
東京 温知塾 明治10 (1877) 刊 1冊 菊 和  
註：藤田誠之進、吉田寅次郎、梅田源次郎、頼三樹三郎、堀織部正、大橋順蔵
- 本朝武家評林 卷之上下 YK280-34  
弘化3 (1846) 写 1冊 半紙 仮和
- 一戸栗田両勝軍建碑ニ関スル書翰 YK280-35  
昭和7・8・9 (1932・33・34) 写 1綴 24×20 仮和  
註：軍神広瀬武夫海軍中佐の兄の妻広瀬春江、広瀬中佐の部下栗田富太郎海軍少将の友人松村菊男海軍中將、弘前出身浅田良逸男爵陸軍中將の書翰
- 秋田前賢史談 全 山方泰治 (旭嶺) YK280-36-イ  
秋田市 石岡政吉 明治38 (1905) 刊 1冊 半紙 和  
註：山方は昭和14 (1939) 81歳で没、「秋田人物伝」の著者
- 秋田前賢史談 全 山方泰治 (旭嶺) YK280-36-ロ  
秋田市 石岡政吉 明治38 (1905) 刊 1冊 半紙 和
- YK280.3 人名辞書 人名録 (分限帳 知行帳)
- 十三町家別名調之覚 YK280.3-10  
写 1冊 横小 和  
註：他見不許なり、油川町家別名前書記有り
- 御郡中村々肝煎名前附 天保10年ヨリ改 井上氏 YK280.3-11  
天保10 (1839) 写 1冊 横小 和
- 江戸定府姓名録 (元治元年) 東京公用局職員録 (明治三年) 弘前藩高明細書 (明治二年及五年) 下沢保躬 YK280.3-12  
元治元 (1864) ~明治五 (1872) 写 1冊 横中 和
- 〔常府御家中御役調〕 元治元 (1864) 写 1冊 半紙 仮和 YK280.3-13  
註：大正五年ノ写本、附…儒医万年 (弘前毎日新聞からの写)
- 官員録 全 (改正) 彦根正三編 (博公書院) YK280.3-24  
明治15 (1882) 活版 1冊 横小 和
- 改正官員録 (府県) 活版 1冊 横小 和 YK280.3-25
- 改正官員録 上 博公書院 明治18 (1885) 活版 1冊 横小 和 YK280.3-26
- 改正官員録 全 YK280.3-27
- 活版 1冊 横小 和
- 鳴津分限松平薩摩守殿武家知行附 文化4 (1807) 写 1冊 横中 仮和 YK280.3-30
- 薩州分限帳写 文化4 (1807) 写 1冊 半紙 和 YK280.3-31  
註：内題「薩州文化三寅年十一月御書上分限帳写」弘前藩中石橋書記の朱印あり
- 致身温故録 全 伴矩道輯 複写 1冊 半紙 和 YK280.3-32  
註：明暦4年 (1658) より享保11年 (1726) までの津軽武鑑集 (諸紋尽、諸武鑑類より抜萃)、抽斎渋江全善の跋あり
- 致身温故録 伴矩道輯 複写 1冊 半紙 和 YK280.3-33  
註：明暦4年 (1658) より享保11年 (1726) までの津軽武鑑集 (諸紋尽、諸武鑑類より抜萃)、抽斎渋江全善の跋あり
- 致身温故録 伴矩道輯 コピー 1冊 半紙 和 YK280.3-34
- 松平薩摩守様分限帳問書 文化3年5月 文化3 (1806) 写 1冊 半紙 和 YK280.3-38
- 仙南嶋三邦分限 写 1冊 横小 和 YK280.3-39  
註：南部・仙台・嶋津三邦分限、附…松前御家中天保十四年二月改
- 藩名録 全 東京 須原屋茂兵衛 [明治2 (1869) ~明治4 (1871)] YK280.3-44

- 版本 1冊 横小 和
- 〔**官員録**〕 **YK280.3-46**  
明治元（1868）写 1冊 横小 仮和
- 諸家陪臣鑑** **YK280.3-47**  
安政6（1859）写 1冊 横小 和  
註：名鑑
- 改正官員録** **YK280.3-48**  
東京 彦根正三編（博公書院）明治14（1881）活版  
1冊 横小 和
- 明治官員録 全 大崎善四郎編** **YK280.3-49**  
明治13（1880）活版 1冊 横小 和
- 〔**改正官員録**〕 **難波源蔵編** **YK280.3-50**  
東京 博厚堂 明治11（1878）活版 1冊 横小 和
- 職員録** **YK280.3-51**  
東京 須原屋茂兵衛 明治3（1870）刊 1冊 横小 和
- 嶋津薩摩守殿御家来分限書上之写** **YK280.3-52**  
慶応3（1867）写 1冊 横中 仮和
- 御大名衆** **YK280.3-53**  
元禄8（1695）写 1冊 半紙 和
- 都而御屋鋪江御**〔往来御名前〕 **YK280.3-54**  
嘉永2（1849）写 1冊 横小 和
- 江戸参府并勤番共名前** 嘉永2年11月 **YK280.3-55**  
嘉永2（1849）写 1冊 横小 和
- 函館伊達島津南部佐竹五家臣名録** **YK280.3-56**  
安政6（1859）写 1冊 横小 和  
註：附「松前道法」
- 函府人名録** **YK280.3-57**  
写 1冊 横長 和
- 東西蝦夷地場所詰公義御役人名前** 安政3年12月分  
安政3（1856）写 1冊 横小 和 **YK280.3-58**
- 町奉行勤役順** **YK280.3-59**  
写 1冊 横小 和  
註：公義江戸町奉行（天正年間～嘉永年間）
- 芙蓉之間御廊下詰御家老御城代御役調上** 寛政元年以来  
**YK280.3-60**  
寛政元（1789）～慶応3（1867）写（コピー）1冊  
半紙 和
- 御役人調 三ノ二 従寛文元年** **YK280.3-61**  
寛文元（1661）～天明8（1788）写 1冊 半紙 仮和  
註：御家老、御城代、御用人。蔵印「御日記方」
- 御家老衆ヨリ諸役御中小姓格迄** 安政4年正月元日  
安政4（1857）写 1冊 横小 和 **YK280.3-62**  
註：氏名
- 〔**覚**〕 **YK280.3-63**  
写 1冊 横小 仮和  
註：弘前藩御家中次第帳、明治元（1868）年の頃、裏に藤原広行（花押）あり
- 青森居勤并**〔詰〕 **御役人名前扣** **YK280.3-64**  
安政4（1857）写 1冊 横小 和
- 写（コピー）1冊 半紙 和 **YK280.3-65**  
註：寛政元（1789）年以来慶応3（1867）年迄
- 上仙院様御隠居後御附人数・侍従様御隠居後御附人数**  
天保11（1840）写 1冊 横長 仮和 **YK280.3-66**  
註：附「楽翁様御隠居後御附御役人并未々之者調書」天保十一年庚子十月十八日御家老津軽多膳殿ヨリ右取調伺相成候扣、御奉書火消御人数行列、他
- 元禄五年ヨリ宝暦十二年迄之御役替留帳** 天保2年10月  
対島瀬兵衛 **YK280.3-67**  
天保2（1831）写 1冊 横長 仮和  
註：紙背文書
- 鯨ヶ沢町奉行并諸所役人町役名** **YK280.3-68**  
写 1冊 横小 和
- 人別増減年々書上留牒** **YK280.3-70**  
福上伝七・森川豊作  
万延元（1860）写 1冊 横長 仮和  
註：伝七は旧大組足軽、豊作は旧長柄、伝七方江同居
- 〔**藩況一覽**〕 筆者未詳 **YK280.3-71**  
〔万延元（1860）〕写 1冊 横小 仮和  
（下沢保躬旧蔵本）  
註：弘前家中各町住居姓名簿、大組足軽警護并同与力次第、諸手足軽同、長勝寺門前住居姓名同裏門前同、津軽御家中一列
- 陸奥国弘前藩家老用人三奉行大小目付古来姓名年月留完**  
下沢保躬編 **YK280.3-72**  
明治8（1875）写 1冊 半紙 仮和
- 〔**郷土人物**〕（工藤仙来翁・他） **YK280.3-73**  
大正5（1916）新聞切り抜き 1冊 半紙 和

- 註：永沢得右衛門翁、工藤仙来翁、菊池定次郎氏、佐藤才八氏、伊東重氏 他
- 弘藩明治一統誌人名録 全** YK280.3-74  
内藤官八郎  
昭和 10 (1935) 写 (ガリ版) 1 冊 半紙 和  
註：津軽旧記刊行会発行、原本は明治 5 (1872) の書
- 秋田佐竹領知行高御家中有増** YK280.3-75  
天保 6 (1835) 写 1 冊 横小 和
- 南部七浦并三拾三官所大臣名前扣** YK280.3-76  
万延元 (1860) 写 1 冊 横小 和  
註：南部領内郡別石高・御家門衆・高知衆・高家衆の・石高氏名、寺院名・石高
- 南部分限** YK280.3-77  
写 1 冊 横小 和  
註：南部家中、高家、平士、百石以上警師礼座、御託方礼座、馬別当礼座……以下小身
- 江戸御役人上方御合力并京大阪役人上方町人ハ合力御扶持被下方** 藤原寛隆 YK280.3-78  
明治 33 (1900) 写 1 冊 半紙 和  
註：天保・弘化・嘉永・安政年間
- 三拾俵以下田畑割調** YK280.3-79  
写 1 冊 夜中 仮和  
註：明治 4 年 (1871) 士族卒在着之節の 30 俵以下該当者村別氏名
- 〔在宅帳〕** YK280.3-80  
写 1 冊 横小 仮和  
註：拾五俵以上在宅者名簿 (村名付・給禄別)
- 弘前藩士姓名名調** YK280.3-81  
写 1 冊 半紙 和
- 御役附分限帳 乾** YK280.3-82-1  
慶応 3 (1867) 写 1 冊 横長 和
- 御役附分限帳 坤** YK280.3-82-2  
慶応 3 (1867) 写 1 冊 横長 和
- 〔御国知行役寄分限〕** YK280.3-83  
宝暦 6 (1756) 写 1 冊 美濃 仮和  
註：破損甚シ
- 御役附分限帳 坤** YK280.3-84  
〔天保 6 (1835)〕写 1 冊 美濃 和  
蔵印：御日記方  
註：江戸中期後半ヨリ江戸末期
- 三拾石以上江戸御家中石取分限調牒** 文政 9 年 5 月  
関口吉郎・八木橋市郎 (御用掛) YK280.3-85  
文政 9 (1826) 写 1 冊 半紙 仮和  
註：附「士卒拾五俵以上」(員数)
- 江戸常府御家中様方御引越ニ付御名札御勘定所ヨリ御廻シ被仰付表** 慶応 3 年 10 月 3 日 YK280.3-86  
慶応 3 (1867) 写 1 冊 半紙 仮和  
註：附、覚「弘前青森鱈ヶ沢并浦々分限之族除在方分限之族其外重立之人数」
- 旧藩諸彦姓名** 明治 40 年 YK280.3-87  
明治 40 (1907) 写 1 冊 半紙 仮和  
註：雅名調 (文政六癸未年詩稿、稽古館詩稿、別稿詩稿)
- 〔御役附分限帳〕** YK280.3-88  
写 1 冊 夜中 仮和
- 註：文化中期より文政中期頃か
- 〔上方分限帳〕** YK280.3-89  
寛保 3 (1743) 写 1 冊 横中 仮和  
蔵印：弘前藩中石橋書記 (朱)  
註：江戸・大阪・京都詰藩士分限帳
- 〔御召馬役分限帳〕** YK280.3-90  
安政 7・万延元 (1860) 写 1 冊 横長 仮和
- 〔瑞祥院様御代御奉公申上候面々之子孫〕** 文化 3 年 11 月  
文化 3 (1806) 写 1 冊 横長 仮和 YK280.3-91  
註：瑞祥院は初代藩主津軽為信
- 御取立書付** 文久 2 年 8 月 YK280.3-92  
文久 3 (1863) 写 1 冊 横長 仮和  
註：安政 5 年 (1858) より文久 3 年 (1863) まで
- 御家中御次第書** 文政 2 年 7 月 YK280.3-93  
中村直弥 (清通)  
文政 2 (1819) 写 1 冊 横中 和  
註：天保 10 年 (1839)、天保 11 年 (1840)、天保 15 年 (1844)、弘化 2 年 (1845) ノ加筆アリ
- 文化分限帳** YK280.3-94  
写 1 冊 横中 仮和
- 八拾三騎人数覚書** YK280.3-95  
写 1 冊 横長 和
- 津軽家八十三騎石高記** YK280.3-96  
明治 27 (1894) 写 1 冊 半紙半 和  
註：文久 2 年 (1862) 写の再写
- 〔御役附分限帳〕** YK280.3-97

- 写 1冊 横小 和
- 〔御家中分限帳〕 YK280.3-98  
明治29(1896)写 1冊 半紙半 和  
註：安政6年(1859)写の再写
- 常府御家中帳 天保4年7月 YK280.3-99  
天保4(1833)写 1冊 横小 和
- 嘉永元年申年改分限帳(佐竹藩) YK280.3-100  
嘉永元(1848)1冊 横中 和  
註：秋田久保田藩
- 御馬廻七組 弘化2年正月改 YK280.3-101  
弘化2(1845)1冊 横小 和
- 御馬廻七組遠近帳〔神盛由〕 YK280.3-102  
写 1冊 横小 仮和  
註：文政・天保・弘化・嘉永年間
- 御台所分限帳 万延元年3月 YK280.3-103  
写 1冊 15×10 仮和
- 早道分限帳 文久3年7月 YK280.3-104  
斎藤常次郎・鈴木福次郎  
文久3(1863)写 1冊 横長 仮和
- 隠密方分限帳 隠密方 YK280.3-105  
明治3(1870)写 1冊 半紙 和
- 弘前藩御家中御目見以上分限(文政元年)公儀一列御役次第  
東京并京都上下藩士人夫帳控(明治3年) YK280.3-106  
文政元(1818)、明治3(1870)写 1冊(合)横長 和  
(継志斎下沢陳平旧蔵)
- 妙心院様御代御家中分限帳 貞享2年 YK280.3-107  
貞享2(1685)写 1冊 横小 和  
註：妙心院は四代藩士津軽信政
- 徒早足町附名前 安政4年12月改 YK280.3-108  
安政4(1857)写 1冊 横小 仮和  
註：御徒目付・同代目付・早道小頭・早道之者・同見習、  
足軽目付・同代目付・御目付・九浦町奉行・御代官
- 文政十年分限帳之内 YK280.3-109  
文政10(1827)写 1冊 横小 和
- 〔御茶道坊主・御近習坊主 分限帳〕 YK280.3-110  
文政10(1827)慶応3(1867)写(ペン書)1冊(合)  
横小 仮和  
註：文政十年「家中御次第帳ヨリ抄出」慶応三年「御役  
附分限帳より抄出」
- 〔御家中分限一覽〕 YK280.3-111  
〔文化2(1805)〕写 1枚 30×45
- 〔覚(藩士名前)〕 YK280.3-112  
写 1冊 横小 仮和
- 〔覚(藩士名前)〕 YK280.3-113  
〔明治2(1869)〕写 1冊 横長 仮和
- 御家中苗字尽 YK280.3-114  
文久2(1862)写 1冊 半紙半 和  
註：いろは別
- 両組格役共名前 弘化2年2月分 YK280.3-115  
弘化2(1845)写 1冊 横小 和  
註：(紙背文書)  
御手廻組、御馬廻組
- 元禄分限調 完 YK280.3-116  
元禄8(1695)写 1冊 半紙 仮和  
註：弘前御家中分限帳
- 弘前士族卒禄高并人員調 明治3年12月 YK280.3-117  
明治3(1870)写 1冊 半紙 和
- 御家中在宅之族村寄 寛政7年3月 YK280.3-118  
寛政7(1795)写 1冊 半紙 和
- 陸奥国津軽弘前御家中様御武〔賦〕与田方頂戴諸組村々在  
住被仰付写書 明治4年7月 YK280.3-119  
斎藤末吉  
明治7(1874)写 1冊 半紙 和  
註：巻尾に「七十二歳之翁書之」とある
- 田方御分与名前留(参拾俵以上) 明治4年7月  
明治4(1871)写 1冊 横小 和 YK280.3-120-1
- 田方御分与名前留(拾五俵以上) 明治4年7月  
明治4(1871)写 1冊 横小 和 YK280.3-120-2
- 復郷員鑑 乾 YK280.3-120-1  
写 1冊 横小 和
- 復郷員鑑 坤 YK280.3-121-2  
写 1冊 横小 和
- 士族卒帛農調 明治3年 YK280.3-122  
明治3(1870)写 1冊 半紙 仮和
- 在着士族卒名員 明治13年2月 YK280.3-123  
明治13(1880)写 1冊 半紙 仮和

- 〔三奉行并浦々町奉行御代官三目付役名前留帳〕  
安政4年7月改 YK280.3-124  
安政4(1857)写 1冊 横小 和
- 高岡村人別 葛西常吉 YK280.3-125  
写 1冊 横小 和
- 神代復古誓願人名簿 YK280.3-126  
写 1冊 美濃 仮和
- 青森県職員録 明治10年 伊藤祐胤編 YK280.3-127  
青森 編者 明治10(1877)刊 1冊 横小 仮和
- 青森県職員録 明治17年 YK280.3-128  
明治17(1884)刊 1冊 横小 仮和
- 東日流文林小伝 全 YK280.3-129  
小山内鈎〔鈎〕月編・高山文堂補  
1冊 半紙 仮和  
註：大正3年(1914)高山文堂写、大正4年(1915)  
古川房雄写、〔大正8年(1919)〕下沢継志斉(陳平)写
- 仙台中略 YK280.3-130  
写 1冊 横小 和  
下沢閑雲旧蔵(明治14年購求)  
註：「仙台御家中分限」
- 仙台侯伊達陸奥守殿当藩士系伝 YK280.3-131  
写 1冊 横中 和  
下沢閑雲旧蔵(明治15年購求)  
註：閑雲曰ク「此書…歴史家之珍書也」
- 御役人名前 YK280.3-132  
天保6(1835)か、写 1通
- 八拾俵水帳 藩庁 YK280.3-2  
明治4(1871)写 1冊 半紙 和  
註：百四拾四番 石岡三之助
- 八拾俵水帳 藩庁 YK280.3-6  
明治4(1871)写 1冊 半紙 和  
註：貳百五拾六番 矢川文内
- 五拾俵水帳 藩庁 YK280.3-8  
明治4(1871)写 1冊 半紙 和  
註：貳番 木村吉郎
- 四拾俵水帳 藩庁 YK280.3-1  
明治4(1871)写 1冊 半紙 和  
註：百貳拾六番 工藤斧吉
- 四拾俵水帳 藩庁 YK280.3-9  
明治4(1871)写 1冊 半紙 和  
註：百貳拾五番 奈良新五郎
- 三拾俵水帳 藩庁 YK280.3-3  
明治4(1871)写 1冊 半紙 和  
註：百六拾七番 竹内理門
- 三拾俵水帳 藩庁 YK280.3-4  
明治4(1871)写 1冊 半紙 和  
註：四百貳番 藤田小右衛門
- 三拾俵水帳 藩庁 YK280.3-5  
明治4(1871)写 1冊 半紙 和  
註：貳百三拾五番 成田乙治
- 三拾俵水帳 藩庁 YK280.3-69  
明治4(1871)写 1冊 半紙 和  
註：八拾四番 長尾久蔵
- 拾五俵水帳 藩庁 YK280.3-7  
明治4(1871)写 1冊 半紙 和  
註：四番 須藤直作
- 鎌倉武鑑 二編ノ下 YK280.3-36  
岩戸屋喜三郎  
文政12(1829)刊 1冊 半紙半 和
- 応仁武鑑(京都將軍家所領役考)一 YK280.3-29-1  
栗原信充  
天保15(1844)刊 1冊 半紙半 和
- 応仁武鑑(京都將軍家所領役考)二 YK280.3-29-2  
栗原信充  
天保15(1844)刊 1冊 半紙半 和
- 応仁武鑑(鎌倉管領所領役考)続篇一 YK280.3-29-3  
栗原孫之丞信充  
刊 1冊 半紙半 和  
註：内題「京都將軍家所領役考卷第三」
- 応仁武鑑(鎌倉管領所領役考)続篇二 YK280.3-29-4  
栗原孫之丞信充  
刊 1冊 半紙半 和  
註：内題「京都將軍家所領役考卷第四」
- 寛文武鑑 全 YK280.3-40  
寛文8(1668)写 1冊 半紙半 和
- 〔正徳武鑑〕 YK280.3-45  
正徳(1711~1715)版本 1冊 半紙半 和  
註：破本のため年号「正徳」は假定
- 安永武鑑 御役人衆 卷之三 YK280.3-37

- 安永 10 (1781) 刊 1冊 半紙半 和
- 寛政武鑑** 西御丸附 卷之四 **YK280.3-21**  
寛政 (1789 ~ 1801) 刊 1冊 半紙半 和
- 寛政武鑑** 西御丸附 卷之四 **YK280.3-22**  
寛政 (1789 ~ 1801) 刊 1冊 半紙半 和
- 文化武鑑** 御大名衆 卷之一 **YK280.3-17-1**  
文化 (1804 ~ 1818) 刊 1冊 半紙半 和
- 文化武鑑** 御大名衆 卷之二 **YK280.3-17-2**  
文化 (1804 ~ 1818) 刊 1冊 半紙半 和
- 文化武鑑** 御役人衆 卷之三 **YK280.3-17-3**  
江戸 須原屋茂兵衛 文化 (1804 ~ 1818) 刊 1冊 半紙半 和
- 文化武鑑** 御役人衆 卷之三 **YK280.3-17-4**  
江戸 須原屋茂兵衛 文化 (1804 ~ 1818) 刊 1冊 半紙半 和
- 文化武鑑** 西御丸附 卷之四 **YK280.3-17-5**  
文化 (1804 ~ 1818) 刊 1冊 半紙半 和
- 文化武鑑** 西御丸附 卷之四 **YK280.3-17-6**  
文化 (1804 ~ 1818) 刊 1冊 半紙半 和
- [**天保武鑑** 御大名衆 卷之二] **YK280.3-23-1**  
天保 (1830 ~ 1844) 刊 1冊 半紙半 和
- 天保武鑑・御三家御附** **YK280.3-23-2**  
天保 (1830 ~ 1844) 刊 1冊 半紙半 和
- 弘化武鑑** 御大名衆 卷之一 **YK280.3-15-1**
- 弘化 (1844 ~ 1848) 刊 1冊 半紙半 和
- 弘化武鑑** 御大名衆 卷之二 **YK280.3-15-2**  
弘化 (1844 ~ 1848) 刊 1冊 半紙半 和
- 弘化武鑑** 御役人衆 卷之三 **YK280.3-15-3**  
江戸 須原屋茂兵衛 弘化 (1844 ~ 1848) 刊 1冊 半紙半 和
- [**弘化武鑑** 西御丸附 卷之四] **YK280.3-15-4**  
弘化 (1844 ~ 1848) 刊 1冊 半紙半 和
- [**嘉永武鑑** 御大名衆 卷之一] **YK280.3-19-1**  
嘉永 (1848 ~ 1854) 刊 1冊 半紙半 和
- 嘉永武鑑** 御役人衆 卷之三 **YK280.3-19-2**  
江戸 須原屋茂兵衛 嘉永 (1848 ~ 1854) 刊 1冊 半紙半 和
- 嘉永武鑑** 西御丸附 卷之四 **YK280.3-19-3**  
嘉永 (1848 ~ 1854) 刊 1冊 半紙半 和
- 安政武鑑** 御大名衆 卷之二 **YK280.3-18-1**  
安政 (1854 ~ 1860) 刊 1冊 半紙半 和
- [**安政武鑑** 御大名衆 卷之二] **YK280.3-18-2**  
安政 (1854 ~ 1860) 刊 1冊 半紙半 和
- [**安政武鑑** 御大名衆 卷之二] **YK280.3-18-3**  
安政 (1854 ~ 1860) 刊 1冊 半紙半 和
- [**安政武鑑** 西御丸御附 卷之四] **YK280.3-18-4**  
安政 (1854 ~ 1860) 刊 1冊 半紙半 和
- 大成武鑑** (御役人衆 卷之三) **YK280.3-41**
- 江戸 出雲寺万次郎 安政 (1858) 版 1冊 半紙半 和
- 文久武鑑** 御大名衆 卷之一 **YK280.3-16-1**  
文久 (1861 ~ 1864) 刊 1冊 半紙半 和
- 文久武鑑** 御大名衆 卷之二 **YK280.3-16-2**  
文久 (1861 ~ 1864) 刊 1冊 半紙半 和
- 文久武鑑** 御役人衆 卷之三 **YK280.3-16-3**  
江戸 須原屋茂兵衛 文久 (1861 ~ 1864) 刊 1冊 半紙半 和
- 文久武鑑** 西御丸附 卷之四 **YK280.3-16-4**  
文久 (1861 ~ 1864) 刊 1冊 半紙半 和
- 文久武鑑・御三家御附** 全 **YK280.3-16-5**  
文久 (1861 ~ 1864) 刊 1冊 半紙半 和
- 雲上明覽大全** 上 **YK280.3-14 上**  
文久 3 (1863) 刊 1冊 半紙半 和
- 雲上明覽大全** 下 **YK280.3-14 下**  
文久 3 (1863) 刊 1冊 半紙半 和
- 万世雲上明鑑** (壬戌改正) 坤 **YK280.3-35**  
文久 2 (1862) 刊 1冊 半紙半 和  
註：内題「新刊雲上明鑑下巻」
- 袖珍武鑑** **YK280.3-43**  
江戸 須原屋茂兵衛 文久 4 (1864) 版 1冊 横小 和
- 京都武鑑** (袖中) 石田治兵衛 **YK280.3-28**  
文久 4 (1864) 本活 1枚 45 × 43 表裏
- 袖玉武鑑** 全 **YK280.3-42**

江戸 須原屋茂兵衛 元治元(1864) 版本 1冊  
横小 和

**慶応武鑑** 御大名衆 卷之一 **YK280.3-20-1**  
慶応(1865～1868) 刊 1冊 半紙半 和

**慶応武鑑** 西御丸附 卷之四 **YK280.3-20-2**  
慶応(1865～1868) 刊 1冊 半紙半 和

### YK288 系譜 家伝 紋章

**相坂氏系譜** **YK288-244**  
写(ペン書) 1冊 原稿紙 仮和  
註: 相坂謙之助(則義) 明治11年(1878)まで

**池田家代々覚書**(池田兵司家) **YK288-259**  
写 1袋(29点)  
註: 親類書(元禄15～文政12年 7冊)  
代数調、差物出図、他

**五十嵐家代々覚書**(五十嵐所吉貞隆家) **YK288-257**  
写 1袋(7点)  
註: 由緒書(天保4年1833) 親類書(天明2年1782)  
(文化6年1809) 履歴書(明治8年1875) 他所吉勤書  
3点 計7点

**五十嵐所吉家族書** **YK288-181**  
写 1冊 半紙 仮和  
註: 小人町三十三番屋敷居住士族五十嵐所吉家族  
鳴海家(所吉曾祖母ノ実家力) 代数調  
若党町十番屋鋪居住士族斎藤家家族

**宇野家由緒書**(上十川村) 宇野安七 **YK288-117**  
写 1枚 200×17

**奥羽旧事** 完 斎藤馨(竹堂)(順治) **YK288-287**  
宮城県 斎藤大三郎 明治20(1887) 刊 1冊 菊 和  
註: 葦名氏、島山氏、大寄氏、葛西氏、二階堂氏馨(1815  
～1852)は宮城県遠田郡の生まれ、漢学者

**岡氏系図** **YK288-241**  
写(ペン書) 1冊 罫紙 仮和  
註: 岡許之(明治期)まで

**覚**(津軽武之助親類書) **YK288-216**  
写 1冊 半紙 和  
註: 武之助は津軽承祐のこと

**〔覚(由緒書綴)〕** **YK288-270**  
写 1綴 横長 仮和  
蔵印「御日記方」  
註: 天文・慶長之頃(1532～1615) 御奉公申上候者  
之子孫由緒、付知行目録写、口上之覚(書)

**覚書**(五十嵐貞隆家) **YK288-109-2**  
〔明治2(1869)〕 写 1冊 半紙 仮和  
註: 五十嵐家由緒書、五十嵐所吉貞隆は武芸締方取扱・  
青森湊目付・御馬廻番頭・禁裏御所御守衛親兵等とし  
て幕末に活躍

**覚書**〔下沢保躬〕 **YK288-253**  
写 1冊 横中 仮和  
註: 北津軽郡館ノ越北畠系ノ中、顕義一顕昇一顕永。  
長慶天皇御陵の義二付御届、他  
弘前城郭所々蔵并屋敷付諸色置所之覚

**〔御世代記〕** **YK288-53**  
明和7(1770) 写 半紙 半和  
註: 公儀御世代家康公～家重公、御当家御世代記光信公  
～信著公

**改定津軽系図** 鈴木真年 **YK288-26**  
明治17(1884) 写 1冊 半紙 仮和  
註: 津軽系図并校正津軽前代系図

**可足権僧正筆記** 全(写) **YK288-66**  
元治2(1865) 写 1冊 半紙 和  
註: 附小山内清隆考

**可足権僧正筆記** **YK288-266**  
写 1冊 半紙 仮和  
註: 可足権僧正は津軽信政の弟。津軽家の先祖の略記及  
系図で、信政の御尋によって差出した記録の写

**家伝記**(村上利右衛門家) **YK288-289**  
写 1冊 半紙 仮和  
註: 利右衛門(1736～?)は村上家7代宗内英則、  
関係のものとして本館所蔵YK288-165「由緒書扣」  
YK288-237「親類書」がある

**家老譜** **YK288-247**  
写 1冊 半紙 仮和  
註: 津軽藩老職譜(昭和10年写)と合冊

**喜多村家系譜** 佐藤弥六 **YK288-65**  
大正4(1915) 新聞切り抜き 1冊 半紙 仮和  
註: 弘前大正報連載

**旧家子孫由緒** 上 安政3年調査 **YK288-265**  
安政3(1856) 写 1冊 半紙 和  
蔵印「御日記方」のものもあり、継志斎(下沢陳平) 旧蔵  
註: 瑞祥公(初代藩主津軽為信) 御代御奉公申上候者の  
子孫 唐流ノ点羽ハ皆御用人本多東作ノ自筆也

**〔旧説伝聞紀略 上〕** **YK288-69- 上**



- 写 1冊 半紙 和  
註：上巻の初めに首巻あり（地図・系図・石高・座列等）  
盛岡南部系図は40〔39〕代利侯〔信侯（信義）〕まで  
本文上巻は26代信直まで、下巻は38代利済まで
- 〔旧説伝聞紀略 下〕 YK288-69-下  
写 1冊 半紙 和
- 〔旧説伝聞紀略 上〕 YK288-70-上  
写 1冊 半紙 和
- 〔旧説伝聞紀略 下〕 YK288-70-下  
写 1冊 半紙 和
- 桂光院様御代御奉公申上候面々之子孫由緒取調候名前目録  
写（コピー）1冊 半紙大 仮和 YK288-255  
註：桂光院は三代藩主津軽信義
- 〔系図〕 浪岡真一 YK288-30  
写 1冊 半紙 仮和  
註：波岡氏
- 京坂御家中明細書 YK288-102  
写 1冊 半紙 和  
註：二十五家
- 系譜 全 YK288-17  
写 1冊 半紙 和  
註：大浦光信公より十二代藩主承烈（承昭）公まで
- 玄圭院様御系累之覚 御日記方 YK288-290  
弘前日記方  
写 1通 33×212  
註：玄圭院（津軽信寿）の系累、津軽鍋之助は、信寿の弟（信寿の従弟とあり）
- 弘藩暦代系譜 YK288-49  
写 1冊 半紙 仮和
- 御家系 継志斎（下沢陳平） YK288-36  
大正7（1918）写 1冊 半紙 仮和  
註：本書原本は亀岡周吉氏所蔵  
第十三代寧親公（九代藩主）まで
- 御家系図 川越次泰 YK288-19  
写 1冊 半紙 平和  
註：金沢右京克則信より土佐守藤原承烈公（十二代藩主承昭）まで
- 御家中由緒書 五冊合本（森岡・足立・桜庭・櫛引・佐藤） YK288-97  
写 1冊 半紙 和  
註：森岡金吾元候・足立矢柄真暉・桜底力之進正徳・櫛引左門・佐藤慶吉の諸家
- 御家中由緒書（夕之部） YK288-81-1  
写 1冊 美濃 仮和  
註：天保8年（1837）頃迄
- 御家中由緒書（ハ～ニ之部） YK288-81-2  
写 1冊 美濃 仮和  
註：天保8年（1837）頃迄
- 御家中由緒書 三（イ之部） YK288-81-3  
写 1冊 美濃 仮和  
註：天保8年（1837）頃迄
- 御家中由緒書 八（オ之部） YK288-81-4  
写 1冊 美濃 仮和  
註：天保8年（1837）頃迄
- 御家中由緒書 十（オ～ワ之部） YK288-81-5  
写 1冊 美濃 仮和  
註：天保8年（1837）頃迄
- 御家中由緒書（キ～ユ之部） YK288-81-6  
写 1冊 美濃 仮和  
註：天保8年（1837）頃迄
- 御家中由緒書 十一（ツ～カ之部） YK288-81-7  
写 1冊 美濃 仮和  
註：天保8年（1837）頃迄
- 御家中由緒書 卅三（サ之部） YK288-81-8  
写 1冊 美濃 仮和  
註：天保8年（1837）頃迄
- 御家中由緒書 卅四（サ之部） YK288-81-9  
写 1冊 美濃 仮和  
註：天保8年（1837）頃迄
- 御家系中由緒書（シ・ジの部） YK288-81-10  
写 1冊 美濃 仮和  
天保8年（1837）頃迄
- 御家中由緒書 四十六（モ～セ之部） YK288-81-11  
写 1冊 美濃 仮和  
註：天保8年（1837）頃迄
- 御家中由緒書 YK288-100  
写 1冊 横中 仮和  
註：二十七家分
- 御家督 YK288-51  
写 1冊 横小 和  
註：津軽家、藩祖為信公より十代藩士信順公まで

御家老譜 写 1冊 半紙 和	YK288-248	写 1冊 美濃 和 註：南部家御系図 26世信直より37世利用までの若君・姫君の系譜		写 1冊 半紙 仮和 註：寛政12(1800)写 藩祖父大浦政信公より6代藩主津軽信著公まで	
〔国祥便覧〕 静堂陳人編 享和2(1802)版 1冊 横小 和 註：名鑑(徳川家系類)	YK288-59	御系譜 信 写 1冊 美濃 和 註：南部家御系図(伝記) 山田主水殿、市兵衛町、喜菴殿、〔麴〕町、三田、外記殿、新邸、角邸、中邸、下邸、戸沢家	YK288-73-信	御年代記 元禄6年 元禄6(1693)写 1冊 半紙 和	YK288-45
御系図 全 写 1冊 半紙 和	YK288-9	高源院様御代御奉公申上候面々之子孫由緒取調候名前目録 写(コピー)1冊 半紙大 仮和 註：高源院は二代藩主津軽信枚 下沢保躬書入あり	YK288-254	近衛家一條家醍醐家那須家家系并履歴 完 下沢保躬 明治2(1869)写 1冊 半紙 和	YK288-55
御系図旧事記 写 1冊 半紙 和	YK288-7	古今人物并由緒 系図 卷第二 下沢保躬編輯 写 1冊 半紙 仮和 註：近世俊英列伝の追加	YK288-260	近衛家と大石家 森林助 大正8(1919)1冊 新聞切り抜き 23×16 仮和 註：青森市 陸奥日報社発行 陸奥日報所蔵 自大正八年十一月七日至今年十二月一日 十八回	YK288-56
〔御系譜〕 写 1冊 半紙 仮和 註：十一代信寧公(七代藩主)まで	YK288-24	御先祖様御由緒書并御先祖様御位階之義堂上方御記録之写 写 1冊 横長 仮和 註：藩主4代信政より7代信寧までの関係	YK288-8	近衛公御系図江統御当家御系図 写 1冊 半紙 和	YK288-5
御系譜 仁 写 1冊 美濃 和 註：南部家御系図 清和天皇より40世利剛(謹敦)に至る系図	YK288-73-仁	御前代御系譜 慶応4(1868)写 1冊 半紙 和	YK288-2	近衛忠熙公・忠房公・篤磨公御伝記略稿 下沢保躬編 写 1冊 半紙 和 註：附、近衛尚通公以来御系譜(明治10写)篤磨公に関する新聞切り抜き〔明治37(1904)〕	YK288-54
御系譜 義 写 1冊 美濃 和 註：南部家御系図(伝記) 28世重直より38世利済までの伝記 (1世光行より27世利直までは仁ノ巻にあり)	YK288-73-義	御当家 写 1冊 横長 仮和 註：黒石津軽氏(元祖信英～七代典暁)	YK288-50	小森殿御家系来由 小森典葉頭頼之 万延元(1860)写 1冊 半紙 仮和	YK288-39
御系譜 礼 写 1冊 美濃 和 註：南部家御系図(伝記) 26世信直より37世利用まで奥方・妾の系譜	YK288-73-礼	御当家旧鑑・御由緒 写 1冊 半紙半 仮和 註：九代氏藩主寧親公マデ	YK288-37	御由緒之覚 写 1冊 横中 仮和	YK288-27
御系譜 智 写 1冊 半紙 和	YK288-73-智	御当家御法名譜 写 1冊 半紙 和	YK288-52	御両敬御統合 写 1冊 半紙 仮和	YK288-42
				貞彦記抜書 全	YK288-12

- 大正2(1913)写 1冊 半紙 和  
 註：貞彦記抜書全ト題スル筆記本ハ中村範氏所蔵ノモノナルヲ臨写セシモノナリ 大正二年七月廿九日 中村良之進
- 士家由緒書** YK288-101  
 写 1冊 横中 和  
 註：原本「士家由緒書」「御家中由緒書」(イ、ハ、ニ、ホ、ヘ、ト迄合本)
- 士族代数調** (第二十区内小四区) 七冊之内 戸長 YK288-272  
 明治5(1872)写 1冊 半紙 仮和  
 註：坂本丁、西川岸丁、田代丁、山下丁
- 士族代数調** (第二十区内小四区) 七冊之内 戸長 YK288-273  
 明治5(1872)写 1冊 半紙 仮和  
 註：緑丁、徳田丁
- 士族代数調** (第二十区内小四区) 七冊之内 戸長 YK288-274  
 明治5(1872)写 1冊 半紙 仮和  
 註：代官丁
- 士族代数調** (第二十区内小四区) 七冊之内 戸長 YK288-275  
 明治5(1872)写 1冊 半紙 仮和  
 註：南瓦ヶ丁、中瓦ヶ丁、北瓦ヶ丁
- 士族代数調** (第二十区内小四区) 七冊之内 戸長 YK288-276  
 明治5(1872)写 1冊 半紙 仮和  
 註：和徳町、萱丁、南横丁、北横丁、茶畑丁、同新割丁
- 士族代数調** (第二十区内小五区) 七冊之内 戸長 YK288-277  
 明治5(1872)写 1冊 半紙 仮和  
 註：小人町、若党町、春日町、亀甲町
- 士族代数調** (第二十区内小三区) 七冊之内 戸長 YK288-278  
 明治5(1872)写 1冊 仮和  
 註：田町、田茂木町、穰(禰)宜町、笹森町、長坂町、蔵主町、大浦町
- 代数調** 津軽家一門外 YK288-279  
 [明治5兼平(1872)]写 1冊 半紙 和  
 註：一町田、西館、兼平、津軽、佐田、大道寺、傍島、梶川、戸沢、金、瀧川、高倉、山鹿、堀、喜多村、添田、牧野、笠原、田井、足立、山田、溝江、板垣、乳井の諸家
- 士族代数調** 二冊ノ内上 小六区戸長 YK288-280  
 [明治5(1872)]写 1冊 半紙 仮和  
 註：紺屋町、浜ノ町、袋町、五十石町
- 士族代数調** 二冊ノ内下 小六区戸長 YK288-281  
 [明治5(1872)]写 1冊 半紙 仮和  
 註：新町、西大工町、鷹匠町、駒越町、平岡町、馬屋町
- 士族代数調** 小一区戸長 YK288-282  
 [明治5(1872)]写 1冊 半紙 仮和  
 註：在府町、相良町、本町、新寺町、北新寺町、新寺町新割町
- 士族代数調** 小三区戸長 YK288-283  
 [明治5(1872)]写 1冊 半紙 仮和  
 註：富田町、同新町、土手町、松森町、楮町
- 士族代数調** 小三区戸長 YK288-284
- [明治5(1872)]写 1冊 半紙 仮和  
 註：品川町、新品川町、山道丁、住吉町
- 士族代数調** 小一区戸長 YK288-285  
 [明治5(1872)]写 1冊 半紙 仮和  
 註：上白銀町、塩分町、森町、古割町、同新割町、覚仙町、茂森町、西茂森町、茂森新町
- 七戸文書** (弘前藩) YK288-203  
 写 1冊 半紙 仮和  
 (素鶴森林助旧蔵)  
 註：代数調、家族調  
 附「箱館御奉行津田近江守様御下向御先触写」
- 従一位太政大臣近衛尚通公庶長男津軽家中興祖大浦左京大夫従四位下藤原政信君并森岡君御討死之地所并天津院之一件**  
 下沢保躬 YK288-44  
 明治14(1881)写 1冊 半紙 和
- 将軍家御代々記** YK288-60  
 写 1冊 折本 7×16  
 註：内題「武陽将軍略記」  
 裏に享保十一年付で「津軽一統志」編輯についての記事あり
- 小家雑弁** (棟方家) YK288-245  
 写 1冊 美濃 和  
 註：棟方瀧根家系譜、前半に御遺訓あり
- 諸家由緒書** 五冊合本 (西館・溝江・山本・進藤・添田) YK288-98  
 写 1冊 半紙 和  
 註：西館元之進森定・溝江伝左衛門景昇・山本喜美蔵・進藤杳吉・添田岩吾郎孝貞の諸家
- 諸家由緒書** YK288-99

- 写 1冊 半紙 和  
註：附。瑞祥院様御代御奉公申上候面々之子孫  
由緒取調候名前目録之写
- 新撰津軽前代系譜** YK288-1  
写 1冊 半紙 和  
註：秋元氏秘書
- 親類書** (相坂謙之助家) YK288-170  
慶応4年3月  
相坂謙之助(則義) 慶応4(1868) 写(ペン書) 1冊  
原稿紙 仮和  
註：御留守居支配
- 親類書** (秋元佐太右衛門家) 天保2年12月15日  
秋元佐太右衛門(次房) または(次宗) YK288-171  
天保2(1682) 写 1冊 半紙 仮和  
註：御用人支配 御武具奉行 紙背文書
- 親類書** (荒木関宇八郎家) 宝暦13年5月 YK288-174  
荒木関宇八郎  
宝暦13(1763) 写 1冊 美濃 和  
註：御馬廻四番組 宇兵衛若続ノ子
- 親類書** (荒木関宇兵衛家) 延享4年 YK288-173  
荒木関宇兵衛(若続)  
延享4(1747) 写 1冊 美濃 和  
註：御家老附表右筆
- 親類書** (荒木関治右衛門家) 享保12歳12月23日  
荒木関治右衛門 YK288-172  
享保12(1727) 写 1冊 半紙 和  
註：御台所目付
- 親類書** (五十嵐家) YK288-182
- 写 1枚 29×19  
註：袋のみ、読書、貼付書付あり
- 親類書** (五十嵐正一郎家) 慶応4年 YK288-180  
五十嵐正一郎  
慶応4(1868) 写 1冊 半紙 仮和  
註：山本三郎左衛門 御馬廻三番組 五十嵐所吉貞隆の子
- 親類書** (五十嵐所吉家) 天保13年 YK288-179-イ  
五十嵐所吉(貞隆)  
天保13(1842) 写 1冊 半紙 和  
註：兼平帯刀組 御馬廻壱番組
- 親類書** (五十嵐所吉家) 天保13年 YK288-179-ロ  
五十嵐所吉(貞隆)  
天保13(1842) 写 1冊 半紙 仮和  
註：兼平帯刀組 御馬廻壱番組
- 親類書** (五十嵐所吉家) 天保11年12月 YK288-178-イ  
五十嵐所吉(貞隆)  
天保11(1840) 写 1冊 半紙 仮和  
註：兼平帯刀組 御馬廻壱番組
- 親類書** (五十嵐所吉家) 天保11年12月 YK288-178-ロ  
五十嵐所吉(貞隆)  
天保11(1840) 写 1冊 半紙 仮和  
註：兼平帯刀組 御馬廻壱番組
- 親類書** (五十嵐忠右衛門家) 安永6年 YK288-175-イ  
五十嵐忠右衛門(貞正)  
安永6(1777) 写 1冊 半紙 仮和  
註：津軽十次郎組 御手廻壱番組 所吉貞隆の曾祖父
- 親類書** (五十嵐忠右衛門家) YK288-175-ロ  
五十嵐忠右衛門(貞正)
- 安永6(1777) 写 1冊 半紙 仮和  
註：津軽十次郎組 御手廻壱番組  
所吉貞隆の曾祖父
- 親類書** (五十嵐直蔵家) 文化6年 YK288-177-イ  
五十嵐直蔵(貞正)  
文化6(1809) 写 1冊 半紙 仮和  
註：黒石弥左衛門組 御中小姓壱番組 直蔵は所吉貞隆  
の父屯蔵貞正のこと
- 親類書** (五十嵐直蔵家) YK288-177-ロ  
五十嵐直蔵(貞正)  
文化6(1809) 写 1冊 半紙 仮和  
註：黒石弥左衛門組 御中小姓壱番組 直蔵は所吉貞隆  
の父屯蔵貞正のこと 紙背文書
- 親類書** (五十嵐兵太郎家) 天明2年 YK288-176-1  
五十嵐兵太郎(貞彬)  
天明2(1782) 写 1冊 半紙 仮和  
註：黒石弥左衛門組 御中小姓壱番組  
兵太郎は所吉貞隆の祖父
- 親類書** (五十嵐兵太郎家) 文化6年5月 YK288-176-2  
五十嵐兵太郎(貞彬)  
文化6(1809) 写 1冊 半紙 仮和  
註：五十嵐直蔵親類書は此の親類書を元にして認むとあ  
る 兵太郎は所吉貞隆の祖父。紙背文書
- 親類書** (石岡要助家) 安永6年 YK288-183  
石岡要助(武良)  
安永6(1777) 写 1冊 半紙 和  
註：白取数馬組御留主居二番組
- 親類書** (石黒玄味家) 延享4年 YK288-184  
石黒玄味

- 延享4(1747)写 1冊 美濃 仮和  
註:表医者 後半欠除
- 親類書**(岡本銀蔵家・八木橋岩五郎家) **YK288-185**  
写 1冊 半紙 仮和  
註:岡本銀蔵は安政の頃、溝江伝左衛門組御馬廻七番組、八木橋岩五郎(善久)は文化13年(1816)頃、御家老与力
- 親類書**(織田藤次家)寛政4年 **YK288-187**  
織田藤次(以静)  
寛政4(1792)写 1冊 半紙 和  
註:郡奉行支配、郡所小頭格物書
- 親類書**(小山久太左衛門家)宝暦11年 **YK288-186**  
小山久太左衛門(秀昌)  
宝暦11(1761)写 1冊 半紙 仮和  
註:御鷹御用、藤代組堰奉行等  
小山村(現弘前三世寺)ノ住
- 親類書**(葛西左太郎家)延享4年 **YK288-188**  
葛西左太郎  
延享4(1747)写 1冊 半紙 仮和  
註:御台所請払役
- 親類書**(木村吉郎家)安永4年 **YK288-189**  
木村吉郎(長保)  
安永4(1775)写 1冊 半紙 和  
註:山中六左衛門支配、御留主居壺番組支配
- 親類書**(木村兵次郎家)文化12年 **YK288-190**  
木村兵次郎(長慶)  
文化12(1815)写 1冊 半紙 仮和  
註:御手廻式番組与力
- 親類書**(工藤貞蔵家)文化6年 **YK288-191**  
工藤貞蔵(武貞)  
文化6(1809)写 1冊 半紙 和  
註:桜庭半兵衛組 御手廻五番組
- 親類書**(九戸市之丞家) **YK288-192**  
九戸市之丞(景美)  
文政2(1819)写 1冊 半紙 仮和  
註:三上理左衛門組 御馬廻格御中小姓壺番組
- 親類書**(古川儒泊家)文化9年 **YK288-193**  
古川儒泊(貢定)  
文化9(1812)写 1冊 半紙 和  
註:御坊主頭支配 御近習坊主
- 親類書**(斎藤熊蔵家) **YK288-194**  
写 1冊 半紙 仮和  
註:御手廻四番組
- 親類書**(笹勝之丞家)享和2年 **YK288-198**  
笹勝之丞(盛直)  
享和2(1802)写 1冊 半紙 和  
註:桜庭半兵衛組 御馬廻三番組  
忠左衛門盛福へ贅養子
- 親類書**(笹源太家)安永4年 **YK288-197-1**  
笹源太(盛福)  
安永4(1775)写 1冊 半紙 和  
註:成田茂左衛門組 御中小性式番組  
忠左衛門盛方へ養子、後、忠左衛門ヲ襲名
- 親類書**(笹源太家)天明5年8月 **YK288-197-2**  
笹源太(盛福)  
天明5(1785)写 1冊 半紙 和  
註:白取数馬組 御馬廻式番組
- 忠左衛門盛方へ養子、後、忠左衛門を襲名
- 親類書**(笹善蔵家)延享4年 **YK288-196**  
笹善蔵(盛方)  
延享4(1747)写 1冊 美濃 和  
註:大瀬四郎左衛門組 御中小性壺番組  
忠左衛門ノ養子、後、忠左衛門ヲ襲名
- 親類書**(笹忠左衛門家)享保12年12月 **YK288-195**  
笹忠左衛門  
享保12(1727)写 1冊 半紙 和  
註:御徒目付
- 親類書**(佐藤奥弥家)享和2年 **YK288-200**  
佐藤奥弥  
享和2(1802)写 1冊 半紙 和  
註:御目見以下御留守居式番組支配  
文化三年(1806)同与力被仰付の加筆あり
- 親類書**(佐藤林之丞家)安永6年 **YK288-199**  
佐藤林之丞  
安永6(1777)写 1冊 半紙 仮和  
註:郡奉行支配郡所小頭格在目付  
林之丞孫奥弥の加筆あり(享和2年1802)
- 親類書**(柴田勝左衛門家)安政3年 **YK288-201**  
柴田勝左衛門(長久)  
安政3(1856)写 1冊 半紙 和  
註:御目付支配 御中小性格
- 親類書**(七戸甚四郎家)文化13年 **YK288-202**  
七戸甚四郎  
文化13(1816)写 1冊 半紙 仮和  
註:西館宇膳組 御手廻式番組 御右筆兼

**親類書** (神吉郎次家) 元文 3 年 **YK288-205**

神吉郎次 (盛時)  
元文 3 (1738) 写 1 冊 美濃 和  
註: 笹森勘解由左衛門組 御馬廻五番組  
安永 8 年 (1779) に書き替えをしている

**親類書** (神宗作家) 天保 4 年 **YK288-208-1**

禅宗作 (盛章)  
天保 4 (1833) 写 1 冊 半紙 和  
註: 唐牛三左衛門組 御馬廻六番組、神吉郎司盛由の子

**親類書** (神宗作家) 天保 4 年 **YK288-208-2**

禅宗作 (盛章)  
天保 4 (1833) 写 1 冊 半紙 和  
註: 唐牛三左衛門組 御馬廻六番組、神吉郎司盛由の子  
原文は文政十二年 (1829) に書かれたものであるが、  
天保四年十二月御手廻壱番組の加筆あり

**親類書** (神宗作家) 天保 4 年 **YK288-208-3**

禅宗作 (盛章)  
天保 4 (1833) 写 1 冊 半紙 和  
註: 唐牛三左衛門組 御馬廻六番組、神吉郎司盛由の子  
天保十一年 (1840) の加筆あり

**親類書** (神宗作家) 天保 4 年 **YK288-208-4**

禅宗作 (盛章)  
天保 4 (1833) 写 1 冊 半紙 和  
註: 唐牛三左衛門組 御馬廻六番組、神吉郎司盛由の子  
前半欠除

**親類書** (神太郎吉家) 嘉永 5 年 **YK288-209**

神太郎吉 (盛昉)  
嘉永 5 (1852) 写 1 冊 半紙 和  
註: 津軽右近組 御手廻五番組  
神弥次兵衛の孫宗作の子

**親類書** (神忠司家) 文化 6 年 **YK288-207**

禅忠司 (盛由)  
文化 6 (1809) 写 1 冊 半紙 和  
註: 竹内衛士組 御馬廻七番組、神弥次兵衛盛之に聳養子、  
(吉郎次盛時の孫にして後、吉郎次を名乗る)

**親類書** (神弥次兵衛家) 享保 14 年 11 月 **YK288-204**

神弥次兵衛 (盛茂)  
享保 14 (1729) 写 1 冊 半紙 和  
註: 御米方支配 御馬廻格

**親類書** (神弥次兵衛家) 文化 6 年 **YK288-206-イ**

神弥次兵衛 (盛之)  
文化 6 (1809) 写 1 冊 半紙 和  
註: 大道寺宇左衛門組 御手廻四番組、神吉郎次盛時の子

**親類書** (神弥次兵衛家) 文化 6 年 **YK288-206-ロ**

神弥次兵衛 (盛之)  
文化 6 (1809) 写 1 冊 半紙 和  
註: 大道寺宇左衛門組 御手廻四番組、神吉郎次盛時の子

**親類書** (相馬三太夫家) 宝永 3 年 **YK288-210**

相馬三太夫  
宝永 3 (1706) 写 1 冊 半紙 仮和  
註: 御持足軽壱番組

**親類書** (相馬多門家) 相馬多門 **YK288-211**

[天保 10 (1839) ?] 写 1 冊 半紙 仮和  
註: 対馬刑部支配 御目見以下御留守居支配 三番組

**親類書** (竹内健助家) 天保 5 年 **YK288-214-イ**

竹内健助 (嘉徳)  
天保 5 (1834) 写 (コピー) 1 冊 B 5 仮和  
註: 多田三左衛門組 御馬廻六番組

**親類書** (竹内健助家) 天保 5 年 **YK288-214-ロ**

天保 5 (1834) 写 1 冊 半紙 和  
註: 健助は天保 2 年 (1831) 御馬廻六番組江組入

**親類書** (竹内忠蔵家) 明和 6 年 **YK288-213**

竹内忠蔵 (嘉次)  
明和 6 (1769) 写 1 冊 半紙 和  
註: 添田主計組 御馬廻三番組

**親類書** (竹内長右衛門家) 享保 8 年 3 月 **YK288-212-1**

竹内長右衛門 (嘉柄)  
享保 8 (1723) 写 1 冊 半紙 和  
註: 渡辺治太夫組 御馬廻六番組

**親類書** (竹内長右衛門家) 享保 12 年 閏正月 **YK288-212-2**

竹内長右衛門 (嘉柄)  
享保 12 (1727) 写 1 冊 美濃 和  
註: 渡辺治太夫組 御馬廻六番組

**親類書** (竹内長左衛門家) 延享 4 年 **YK288-212-3**

竹内長左衛門 (嘉柄)  
延享 4 (1747) 写 1 冊 美濃 和  
註: 森山主膳組 御馬廻三番組、長右衛門嘉柄の子

**親類書** (田村吉蔵家) 天保 11 年 **YK288-215**

田村吉蔵 (武則)  
天保 11 (1840) 写 1 冊 半紙 仮和  
註: 山奉行支配 山方締役

**親類書** (成田市次郎家) 明治 3 年 **YK288-222**

成田市次郎 (勝喜)  
明治 3 (1870) 写 1 冊 半紙 仮和  
註: 佐野知方隊二等銃隊一番隊

- 親類書** (成田勘次郎家) 寛延 4 年 **YK288-220**  
成田勘次郎 (勝令)  
寛延 4 (1751) 写 1 冊 美濃 仮和  
註: 牧野左次郎組 御手廻貳番組、成田市左衛門の子  
(成田勘兵衛勝豊の孫)
- 親類書** (成田勘兵衛家) 天和 2 年 **YK288-217**  
成田勘兵衛 (勝好)  
天和 2 (1682) 写 1 冊 美濃 仮和  
註: 進藤庄兵衛組 御馬廻
- 親類書** (鳴海半四郎家) 天和 2 年 **YK288-223**  
鳴海半四郎 (友久)  
天和 2 (1682) 写 1 冊 美濃 仮和  
註: 高倉主計組 御馬廻
- 親類書** (成田武右衛門家) 貞享 2 年 **YK288-218**  
成田武右衛門 (勝豊)  
貞享 2 (1685) 写 1 冊 美濃 仮和  
註: 添田儀左衛門組 御馬廻、成田勘兵衛方江智養子
- 親類書** (成田弥次右衛門家) 享保 21 年 5 月 **YK288-219**  
成田弥次右衛門  
享保 21 (1736) 写 1 冊 半紙 仮和  
註: 大組二番組 警固
- 親類書** (成田弥門家) **YK288-221-1**  
成田弥門 (勝見)  
嘉永 4 (1851) 写 (ペン書) 1 冊 原稿紙 仮和  
註: 御手廻四番組
- 親類書** (成田弥門家) 安政 3 年 **YK288-221-2**  
成田弥門 (勝見)  
安政 3 (1856) 写 (ペン書) 1 冊 原稿紙 仮和  
註: 津軽平八郎組 御手廻四番組
- 親類書** (馬場勝太郎家) 文化 13 年 **YK288-224**  
馬場勝太郎  
文化 13 (1816) 写 1 冊 半紙 仮和  
註: 唐牛三左衛門組 御留守居一番組
- 親類書** (堀川田字十郎) 享保 13 歳 **YK288-225**  
堀川田字十郎  
享保 13 (1728) 写 1 冊 半紙 和  
註: 八拾参騎 御馬廻格
- 親類書** (松野伊右衛門家) 寛政 7 年 11 月 **YK288-226-イ**  
松野伊右衛門 (清高)  
寛政 7 (1795) 写 1 冊 半紙 仮和  
註: 御長柄壺番組、伊右衛門治辰の父
- 親類書** (松野伊右衛門家) 寛政 7 年 11 月 **YK288-226-ロ**  
松野伊右衛門 (清高)  
寛政 7 (1795) 写 1 冊 半紙 仮和  
註: 御長柄壺番組、伊右衛門治辰の父
- 親類書** (松野伊右衛門家) 文化 5 年 **YK288-227**  
松野伊右衛門 (治辰)  
文化 5 (1808) 写 1 冊 半紙 仮和  
註: 津軽元太郎組大組壺番足軽、伊右衛門清高の子
- 親類書** (松野伊平家) 天保 12 年 **YK288-228**  
松野伊平 (治辰)  
天保 12 (1841) 写 1 冊 半紙 和  
註: 対馬刑部組御留守居三番組
- 親類書** (松野広吉家) 明治 3 年 **YK288-229**  
松野広吉 (治正)  
明治 3 (1870) 写 1 冊 半紙 和  
註: 予備司令士支配 造営方属事次席革方取扱松野伊平
- の子
- 親類書** (間山鉄五郎家) 文政 7 年 **YK288-230**  
間山鉄五郎 (伝)  
文政 7 (1824) 写 1 冊 半紙 和  
註: 山田文作預組 御馬廻三番組
- 親類書** (三上定右衛門家) 文久元年 **YK288-232**  
三上定右衛門 (助久)  
文久元 (1861) 写 (ペン書) 1 冊 原稿紙 仮和  
註: 御目付
- 親類書** (三上正躬家) 三上正躬 **YK288-231**  
写 1 冊 横中 仮和  
註: 宇多源氏三上氏親類縁戚留
- 親類書** (村上岩次郎家) 扣 文政 5 年 **YK288-236**  
村上岩次郎 (則宗)  
文政 5 (1822) 写 1 冊 半紙 和  
註: 西館宇膳組 御手廻二番組、村上文弥の子
- 親類書** (村上宗内家) 元禄 15 年 12 月 15 日 **YK288-233**  
村上宗内  
元禄 15 (1702) 写 1 冊 半紙 仮和  
註: 棟方十左衛門組 御馬廻七番組
- 親類書** (村上文弥家) 寛政 5 年 **YK288-235**  
村上文弥 (則盛)  
寛政 5 (1793) 写 1 冊 半紙 和  
註: 津軽蔵人組 御馬廻三番組、(後、碓ヶ関町奉行)、  
村上岩次郎の父
- 親類書** (村上弥三郎家) 享保 10 年 5 月 **YK288-234-1**  
村上弥三郎 (則朗)  
享保 10 (1725) 写 1 冊 半紙 和

- 註：森岡内蔵助組 御馬廻二番組、弥三郎は文弥の祖父、岩次郎や利右衛門の曾祖父
- 親類書** (村上弥三郎家) 享保 12 年閏正月 **YK288-234-2**  
村上弥三郎 (則朗)  
享保 12 (1727) 写 1 冊 美濃 和  
註：森岡内蔵助組 御馬廻二番組、弥三郎は宗内の父、岩次郎、利右衛門の曾祖父
- 親類書** (村上弥三郎家) 元文 3 年 3 月 **YK288-234-3**  
村上作三郎 (則朗)  
元文 3 (1738) 写 1 冊 半紙 和  
註：御馬廻二番組  
弥三郎は、宗内の子、文弥の祖父、岩次郎・利右衛門の曾祖父
- 親類書** (村上利右衛門家) 天保 11 年 **YK288-237**  
村上利右衛門 (則良)  
天保 11 (1840) 写 1 冊 半紙 和  
註：御馬廻六番組番頭、村上岩次郎ノ弟
- 〔崇廟祭名録〕** **YK288-62**  
刊 1 冊 半紙 和  
註：清和帝を始奉り新田徳川家の御当今分派に至らせ給ふ迄の御法号年月御霊廟御牌所の件々ヲ抄録 (月毎)。清和帝〔元慶 4 (880)〕～徳川家齊公〔天保 12 (1841)〕
- 先祖代々讓帳由緒留** (葛西藏之助家) 安政 4 年 4 月  
葛西藏之前 (久治) **YK288-122**  
安政 4 (1857) 写 1 冊 半紙 仮和  
註：葛西家親類書・明治 5 年書上由緒書等合冊  
明治 12 年まで加筆あり、久治は諸手足輕
- 先祖由緒書** (安倍数馬家) 安政 3 年 9 月 **YK288-105**  
安倍数馬
- 安政 3 (1856) 写 1 冊 半紙 和  
蔵印：御日記方  
註：岩木山下居宮神主職
- 前代・近世御系譜** **YK288-21**  
写 1 冊 美濃 和  
(蔵印：御日記方)  
註：附「津輕氏家譜」
- 前代御系譜 前譜慈公小伝附 全** **YK288-14**  
慶応 2 (1866) 写 1 冊 半紙 和
- 前譜 兼松誠 (石居)** **YK288-268**  
慶応 2 (1866) 写 1 冊 半紙 和  
註：津輕家の先祖 (為信公以前) の系譜
- 大道寺・喜多村両家系図** 中村良之進 **YK288-251**  
明治 40 (1907) 写 1 冊 半紙 仮和  
註：「宗高・宗吉件名甲二就テ」の記事あり
- 橘系図 (下沢系図) 一二三 下沢保躬** **YK288-252**  
〔明治 12 (1879)〕写 1 冊 美濃 仮和
- 館越山崎家 覚書** **YK288-288**  
カーボン複写 1 冊 半紙 仮和  
註：家事手鑑、先祖留書等
- 〔長吏覚書〕** **YK288-79**  
写 1 冊 長小 和  
註：諸国長吏由緒書  
津輕長吏「乞食頭丁助」のことなど
- 長吏由緒写 源定長** **YK288-76**  
寛永 8 (1631) 写 1 冊 半紙 仮和  
註：長吏 (穢多・非人ノ長) 定長の「秘系由緒傳」
- 本書は嘉永 7 年 (1854) の写
- 津輕家一門并六家系譜 完** **YK288-15**  
大道寺繁充編述  
明治 8 (1875) 写 1 冊 半紙 和
- 津輕家譜草案** 川越石太郎 **YK288-31**  
明治 27 (1894) 写 1 冊 半紙 和  
(御宝庫内御手文庫入)  
註：妙心院様御自筆写、系譜御尋御答書、小太膳記抄、天保四年書上瑞祥公御代被召仕候面々調
- 津輕家系譜 完** **YK288-29**  
藤田貞元  
写 1 冊 半紙 和  
註：中興政信公以来御系譜明細 附・分家  
貞元の父は津輕藩士。実業家、著述家
- 津輕家系図 全** **YK288-13**  
長谷部友賢  
文化 7 (1810) 写 1 冊 横中 和  
註：於江戸表 廿一歳
- 津輕系図** **YK288-23**  
写 1 冊 半紙 和  
註：異本異説類、尋答記類  
近津両家書面
- 津輕系図略** **YK288-38**  
明治 10 (1877) 写 1 冊 半紙 仮和  
註：十二代藩主承昭公嗣英磨まで
- 津輕系図略 下沢保躬編** **YK288-40**  
明治 10 (1877) 12 頁 1 冊 半紙 和  
註：十二代藩主承昭公まで



- 津軽系譜略** 楠美晩翠 **YK288-22**  
 明治17(1884)写 1冊 半紙 仮和  
 註：十一代藩主順承まで  
 晩翠(1837～1887)は津軽藩士、幕末、藩事、国事に奔走、平曲、詩文をよくす
- 津軽系譜** 石井三庵 **YK288-32-イ**  
 写 1冊 半紙 和  
 註：津軽為信も手当を受けた津軽家の抱え医者二階堂三庵(1573～1643)と同人
- 津軽系譜** 石井三庵 **YK288-32-ロ**  
 写 1冊 半紙 和  
 註：複写本
- 津軽系譜略** 同承昭年譜 **YK288-43**  
 楠美晩翠  
 明治17(1884)写 1冊 半紙 仮和
- 津軽家御先祖** 安永9年5月吉日 **YK288-35**  
 山形高鑑  
 安永9(1780)写 1冊 半紙 和
- 〔津軽家歴代系譜〕** **YK288-33**  
 写 1冊 横長 仮和  
 註：十二代藩主承昭公まで
- 〔津軽家歴代系譜〕** **YK288-34**  
 写 1冊 半紙 和  
 註：十一代藩主順承公まで  
 附、分家
- 東日流御先祖之由来** 紫峰 **YK288-6**  
 明治25～26(1892～1893)写 1冊 半紙 仮和
- 津軽御先祖** **YK288-25**  
 写 1冊 美濃半 和  
 註：津軽信興〔父五代藩主信重(信寿)〕まで  
 付、津軽古代記
- 津軽小湊ニ於ケル打越四代** **YK288-242**  
 写 1冊 半紙 仮和  
 註：後半欠落
- 津軽士民系図由緒伝記集成** 巻第五 **YK288-261**  
 下沢保躬編集  
 写 1冊 半紙 仮和  
 註：内題表記の通り  
 表紙「津軽士民由緒伝記集成五」
- 津軽士民系図由緒伝記集成** 巻第六 **YK288-262**  
 下沢保躬編集  
 写 1冊 半紙 仮和  
 註：内題「弘前藩御家中由緒書五」  
 本書、日記方御元帳「弘前藩家中由緒書巻五」抜粋
- 津軽士民系図由緒伝記集成** 巻第七 **YK288-263**  
 下沢保躬編輯  
 写 1冊 半紙 仮和
- 〔東日流前代系譜〕** **YK288-3**  
 写 1冊 半紙 仮和  
 註：安倍系図。本藩通観禄(録)日記大略 奥州五十四郡分ル事并津軽郡村分 本藩濫觴実記
- 津軽祖先略記** **YK288-48**  
 天保10(1839)写 1冊 半紙 仮和  
 註：自光信至信寧
- 〔津軽藩御系譜〕** **YK288-18**  
 写 1冊 半紙 和  
 註：初代南部彦六郎源則信公より十六代信順公(十代藩主)まで
- 津軽秘事記** 稿 巻第二 **YK288-64**  
 下沢保躬編  
 写 1冊 半紙 仮和
- 津軽老職譜** **YK288-250**  
 写 1冊 半紙 仮和
- 津嶋家由緒** 対馬瀬兵衛(祐正) **YK288-145**  
 天保3(1683)写 1冊 半紙 仮和  
 註：内題「津嶋家記 傍嶋正郡考案」  
 傍嶋正郡は幕末～明治の歌人(平内居住)
- 津軽家由緒考証** 下沢〔陳平〕 **YK288-146**  
 写 1冊 半紙 仮和  
 註：対馬瀬兵衛家一族
- 天皇御略記** 村上松太郎編集・画 **YK288-286**  
 東京 武田次郎吉 明治14(1881)刊 1冊 半紙半 和
- 浪岡北畠家事蹟** **YK288-67**  
 明治14(1881)写 1冊 半紙 和
- 南山小譜抄・護良親王二王子伝・正平御兄弟**  
 谷森善臣(赤心居士) **YK288-269**  
 大正4(1915)写 1冊 半紙 仮和  
 註：善臣(1817～1911)は幕末・明治の国学者、京都の人
- 南部諸士由緒記** 文京子 **YK288-71**  
 文政4(1821)・嘉永4(1851)写 1冊 半紙 仮和

- (中村良之進旧蔵本)  
 註：諸士家数二百九家、内七家ノ由緒を欠く  
 附、南部家古書  
 本書は明治26年(1893)の写し。末尾に津軽編纂史要の内より明治44年(1911)の抜書あり
- 〔南部諸士家由緒〕** YK288-75  
 明治26(1893)写 1冊 半紙 仮和
- 南部世譜附録** 太田代恒徳著 YK288-72  
 大正11(1922)写 1冊 半紙 仮和  
 註：本書は青森県史編纂の参考史料として同上年、中道等氏が写したもの
- 西尾御系譜** YK288-57  
 写 1冊 半紙 仮和  
 註：蔵印「弘前日記方」
- 乳井家系** YK288-156  
 写 1冊 半紙 仮和  
 註：南郡薬師堂村熊沢神社祠官福土氏所蔵
- 人別書上牒** 松野堅吉 YK288-77  
 享和3(1803)写 1冊 半紙 和  
 註：享和三年松野家の人別覚書
- 年々人別書上扣帳** 松野伊平 YK288-78  
 天保15(1844)写 1冊 半紙 仮和  
 註：天保十五年松野家の人別覚書
- 信明公・寧親公〔系譜〕** YK288-20  
 写 1冊 美濃 和  
 註：信明公(八代藩主)、寧親公(九代藩主)
- 信政公御筆津軽家譜草案** YK288-4  
 写 1冊 半紙 和  
 註：妙心院様御筆之写  
 御家御宝庫内御手文庫に御所蔵之御品なりしかよしありて拝見せしものなり 建麿
- 信政公重臣へ御系図御尋并小山内清隆考** YK288-46  
 小山内又右衛門清隆  
 写 1冊 半紙 仮和  
 註：清隆78歳
- 橋本家系図之巻** YK288-246  
 写 1冊 半紙 和  
 註：馬医橋本成光家の系譜、末尾に嘉永5年(1852)の碑文あり
- 旗之紋 幕之紋 家之紋** YK288-80  
 津軽越中守  
 寛政12(1800)写 1冊 美濃 和  
 蔵印：御日記方
- 藩翰譜補正** 南部氏部 YK288-61  
 下沢保躬  
 明治7(1874)写 1冊 横中 仮和
- (藩侯系譜)** YK288-10  
 写 1冊 横長 仮和  
 註：初代為信公より八代信明公まで
- (藩侯系譜)** YK288-11  
 写 1冊 横長 仮和  
 註：初代為信公より十代信順公まで
- 〔藩侯系譜〕** 乳井市郎左衛門建福 YK288-16  
 宝暦5(1755)  
 写 1冊 横中 仮和
- 註：明治九年十二月十二日下沢保躬写
- 藩史並家譜種類** 下沢保躬編 YK288-63  
 写 1冊 半紙 仮和  
 註：津軽承昭世家、津軽藩祖略記異同并旧藩公御代々碑文秀季公頭家卿へ合祭始末九戸政実伝、明治九年宮内省へ上申親類書、他
- 尾州大道寺江文通留** YK288-239  
 文政13(1830)天保9(1838)天保10(1839)写 1冊 半紙 和
- 秀栄公後従記** YK288-47  
 写 1冊 半紙 和  
 註：藤原秀栄公より津軽為信公まで
- 弘前藩名家系譜** YK288-249  
 写 1冊 半紙 仮和  
 註：22家  
 内題「名家古文集 壺式参尾」
- 聞老遺事 上** YK288-74-上  
 [梅内祐訓著]  
 [文政5(1822)写 1冊 半紙 仮和]  
 註：奥州盛岡藩主南部氏系図并事跡(清和天皇ヨリ37世利用マデノ系図1世先行ヨリ25世晴継マデノ事跡)
- 聞老遺事 下** YK288-74-下  
 [梅内祐訓著]  
 [文政5(1822)]写 1冊 半紙 仮和  
 註：奥州盛岡藩主南部氏系図并事跡(26世信直、27世利直ノ事跡)
- 本家熊谷家之由緒書写** YK288-126

- 写 1冊 半紙 仮和  
註：津軽信政に取り立てられ、弘前南富田の清水湧出所に紙漉場を建て製紙をはじめた熊谷吉兵衛の家
- 本朝武家系図** (源氏) 一 YK288-58-1  
広長幹遠藤元閑敬休子  
元禄 13 (1700) 刊 1冊 半紙 和  
註：内題「本朝武家評林大系図巻之一」  
元閑は江戸中期京都の茶人
- 〔本朝武家系図 平家 二〕** YK288-58-2  
広長幹遠藤元閑敬休子  
元禄 13 (1700) 刊 1冊 半紙 和  
註：内題「本朝武家辞林大系図」
- 〔本朝武家系図 諸氏 三〕** YK288-58-3  
広長幹遠藤元閑敬休子  
元禄 13 (1700) 刊 1冊 半紙 和  
註：内題「本朝武家評林系図巻之三」
- 本朝武家系図 藤原 四** YK288-58-4  
広長幹遠藤元閑敬休子  
元禄 13 (1700) 刊 1冊 半紙 和  
註：内題「本朝武家評林系図巻之四」
- 本朝武家系図 源氏 五** YK288-58-5  
広長幹遠藤元閑敬休子  
元禄 13 (1700) 刊 1冊 半紙 和  
註：内題「本朝武家評林系図巻之五」
- 松嶋屋吉六先祖ヨリ相続之由緒書御上様江書上候下書**  
天保八年七日吉日 松嶋屋吉六 YK288-160  
天保 8 (1837) 複写 1冊 半紙 仮和  
註：津軽藩御用商人
- 三上・小林・野村系図** YK288-243  
写 1冊 半紙 仮和
- 〔三上家代々覚書 (三上正躬家)〕** 明治 2 年正月  
写 1袋 (31点) YK288-258  
註：由緒書、家のかたり草稿、親戚名簿、別家之伝へ、家屋敷券、神宮教関係、他
- 昔物語 古人物語** YK288-68  
安永 5 (1776) 写 1冊 半紙 仮和  
註：佐竹藩初代藩主義宣 (浄光院) ノ父義重 (知足院) ヨリ六代藩主義真 (通霄院) マデ (1547 ~ 1753)
- 棟方系図** YK288-240  
写 (ペン書) 1冊 原稿紙 仮和  
註：棟方瀧根貞正 明治 2 年 (1869) まで
- 〔村上家代々覚書 (村上岩次郎則宗家)〕** YK288-256  
写 1袋 (6点)  
註：中興系図 1、家伝記 2、親類書 1、由緒書 1、勤書 1 (計 6点)
- 名家古文集 三冊合本全** YK288-271  
藤田貞元  
明治 11 (1878) 写 1冊 半紙 和  
註：本書は貞元自筆本、津軽藩名家系譜・由緒等  
壺 (杉山龍江、高倉良蔵、山田誠、貴田稲城、瀧川平十郎、傍島正郡高瀬直世) 式 (岡文左衛門、大石良弼、木村一太郎、堀孝蔵、添田岩五郎、溝江力弥、棟方瀧根、山鹿幡之進) 参 (山口武樹、竹森六之進、石山雅朝、伊藤祐宗、笠原是三郎)
- 屋形様御実名御法号** YK288-28  
写 1冊 折本 8 × 14
- 山内弥五兵衛家系譜概略** YK288-238  
写 (ペン書) 1冊 原稿紙 仮和
- 山屋佐藤二関スル記録** YK288-264  
写 (ペン書) 1冊 原稿紙 仮和  
註：由緒書・親類書等
- 由緒書 (秋元新三郎家) 天保 8 年 12 月** YK288-104  
天保 8 (1837) 複写 1冊 半紙 仮和  
註：新三郎の父は鳶の又八  
新三郎子秋元友吉の明治 5 年の加筆あり 卒→士族
- 阿部勇蔵由緒書** 文化 3 年 7 月 YK288-106  
阿部勇蔵  
文化 3 (1806) 写 (ペン) 1冊 原稿紙 仮和  
註：町同心
- 由緒書 (五十嵐勘一家) 明治 8 年 8 月** YK288-110  
五十嵐勘一 (貞治)  
明治 8 (1875) 写 1冊 半紙 仮和  
註：青森県医師、元弘前藩第三等銃隊、五十嵐所吉二男
- 由緒書 (五十嵐所吉家) 慶応 4 年** YK288-109-1  
五十嵐所吉 (貞隆)  
慶応 4 (1868) 写 1冊 半紙 和  
註：所吉は御馬廻番頭、禁裏御所御守衛親兵、銃隊頭、槍隊頭等として幕末活躍
- 由緒書 (五十嵐忠右衛門家) 明和 2 年** YK288-107-イ  
五十嵐忠谷衛門 (貞正)  
明和 2 (1765) 写 1冊 半紙 和  
註：御馬廻壺番組、五十嵐所吉の曾祖父
- 由緒書 (五十嵐忠右衛門家) 明和 2 年** YK288-107-ロ  
五十嵐忠右衛門 (貞正)

- 明和2(1765)写 1冊 美濃 和  
註：御馬廻壱番組、五十嵐所吉の曾祖父
- 由緒書** (五十嵐屯蔵家) 天保4年11月 **YK288-108-イ**  
五十嵐屯蔵(貞正)  
天保4(1833)写 1冊 半紙 和  
註：御馬廻四番組、五十嵐所吉の父
- 由緒書** (五十嵐屯蔵家) 天保4年11月 **YK288-108-ロ**  
五十嵐屯蔵(貞正)  
天保4(1833)写 1冊 半紙 和  
註：御馬廻四番組、五十嵐所吉の父
- 由緒書** (石川音吉家) 天保6年 **YK288-111**  
石川音吉(清定)  
天保6(1835)写 1冊 半紙 和  
註：御持筒壱番組足軽
- 由緒書** (石川新八郎家) 慶応2年2月 **YK288-112-1**  
石川新八郎(行正)  
慶応2(1866)写 1冊 半紙 和  
註：御家具小頭加勢、御台所受払役加勢
- 由緒書** (石川新八郎家) 明治5年 **YK288-112-2**  
石川新八郎(行正)  
明治5(1872)写 1冊 半紙 和  
註：卒(外使上締)
- 由緒書** (石黒玄味家) 文政7年 **YK288-84**  
石黒玄味(由午)  
文政7(1824)写 1冊 半紙 仮和  
蔵印：弘前日記方  
註：表医者
- 由緒書** (磯谷権太夫家) **YK288-113**  
写 1冊 半紙 和  
註：内題「兄之家」  
磯谷権太夫は磯谷平助(介)のち十介(助)のこと、山鹿素行の門人
- 磯谷権太夫跡桜田勘作 由緒書** **YK288-114**  
桜田勘作  
写(ペン書)1冊 原稿紙 仮和  
註：茂森町拾五番屋敷 卒
- 由緒書** (伊東春昌家) 文政7年6月 **YK288-85**  
伊東春昌(脩徳)  
文政7(1824)写 1冊 半紙 和  
蔵印：弘前日記方  
註：表医者
- 由緒書** (岩崎藤右衛門勝久家) **YK288-115**  
写 1枚 横長  
註：岩崎勝久は諸手足軽頭、貞享2年(1685)病死
- 由緒書** (宇野要七家) **YK288-116**  
写 1冊 横長 仮和  
註：宇野家は赤坂村・上十川村(現黒石市)の住
- 由緒書** (岡本形七家) 享和3年 **YK288-118**  
岡本形七(成澄)  
享和3(1803)写 1冊 半紙 和  
註：御馬廻二番組
- 由緒書** (小山内三益家) 文政7年 **YK288-86**  
小山内三益(清白)  
文政7(1824)写 1冊 半紙 和  
蔵印：弘前日記方  
註：表医者
- 由緒書** (長利薩摩家) 文政3年9月 **YK288-120**  
長利薩摩(仲聴)  
安政3(1856)写 1冊 半紙 和  
蔵印：御日記方  
註：熊野山王両社神主職
- 由緒書** (長利豊前家) **YK288-119**  
写 1冊 半紙 仮和
- 由緒書** (笠原近江家) 下書 天保4年 **YK288-121-1**  
笠原近江(皆充)  
天保4(1833)写(ペン書)1冊 原稿紙 和  
註：御用人(翌天保5年家老、同7年免職)
- 由緒書** (笠原近江家) 天保4年 **YK288-121-2**  
笠原近江(皆充)  
天保4(1833)写 1冊 半紙 仮和  
註：御用人(翌天保5年家老、同7年免職)
- 由緒書** (北岡太淳家) 文政7年 **YK288-87**  
北岡太淳(正衡)  
文政7(1824)写 1冊 半紙 和  
蔵印：弘前日記方  
註：表医者
- 工藤幸吉由緒書** **YK288-124**  
写 1冊 半紙 仮和  
註：石川村(現弘前市石川)
- 由緒書** (工藤太七郎家) 天保14年 **YK288-123**  
工藤太七郎(保定)  
天保14(1843)写 1冊 半紙 仮和  
註：御目見郷土
- 由緒書** (窪田三郎右衛門家) 天保7年6月 **YK288-125**

- 窪田三郎右衛門(義房)  
天保7(1836)写 1冊 半紙 仮和  
註:浦町組里美(見)村郷侍
- 由緒書**(古川儒伯家) 安政5年4月 **YK288-128**  
古川儒伯  
安政5(1858)写 1冊 半紙 仮和  
註:御附御近習坊主、工藤他山の父
- 由緒書・親類書**(古川忠蔵家) 古川忠蔵 **YK288-127**  
写 1冊 原稿紙 20×15 仮和  
註:御長柄三番組  
原本は由緒書(文久2年 1862)、親類書(明治5年 1872)
- 由緒書**(小島杏栄家) 文政7年 **YK288-83**  
小嶋杏栄(維冲)  
文政7(1824)写 1冊 半紙 和  
藤田:弘前日記方  
註:御近習医者格
- 由緒書**(小嶋長兵衛家) 小島恵助 **YK288-129**  
写 1冊 原稿紙 仮和  
註:三代長兵衛は高杉組の新田開発に挺身、小島村を創設、以後、大庄屋役、高杉御蔵奉行、鷹野御膳所、郷土、堰役等。恵助は七代(乗馬名手)
- 由緒書**(後藤理右衛門家) **YK288-130-イ**  
後藤理右衛門(奇和)  
明治5(1872)写 1冊 半紙 仮和  
註:士族(御使番格)ヨリ高照神社社務取扱
- 由緒書**(後藤理右衛門家) 後藤理右衛門 **YK288-130-ロ**  
明治5(1872)写 1冊 半紙 仮和  
註:士族、高照神社社務取扱
- 由緒書**(金家) **YK288-131**  
タイプ版 1冊 半紙 仮和  
註:先祖金筑前時信より十代金治兵則久まで  
〔天喜5年(1057)頃より延宝3年(1675)頃まで〕
- 由緒書**(斎藤衛門家) 斎藤衛門(行篤) **YK288-132**  
慶応4(1868)写 1冊 半紙 仮和  
註:黒石藩御蔵立合(勘定奉行配下)
- 由緒書**(佐々木源五郎家) 明和3年11月 **YK288-134**  
佐々木源五郎(軌之)  
明和3(1766)写 1冊 半紙 仮和  
註:勘定人
- 由緒書**(佐々木元龍家) 文政7年 **YK288-88**  
佐々木元龍  
文政7(1824)写 1冊 半紙 和  
藤田:弘前日記方  
註:表医者 末尾ノ部分欠落
- 由緒書**(佐々木宗寿家) 文政7年 **YK288-89**  
佐々木宗寿(高通)  
文政7(1824)写 1冊 半紙 仮和  
蔵印:弘前日記方  
註:表医者
- 由緒書**(佐々木綱次郎家) 天保5年 **YK288-135**  
佐々木綱次郎  
天保5(1834)写 1冊 半紙 仮和  
註:御馬廻壺番組与力
- 由緒書**(笹忠左衛門家) 明和3年 **YK288-133**  
笹忠左衛門(盛方)  
明和3(1766)写 1冊 美濃 仮和
- 註:大納戸役
- 由緒書**(三戸則安家) 天保5年 **YK288-136**  
三戸(伝九郎)則安  
天保5(1834)写(ペン書)半紙 仮和  
註:勘定小頭
- 由緒書**(七戸勝弥家) 天保4年12月 **YK288-137**  
七戸勝弥(定宅)  
天保4(1833)写 1冊 半紙 仮和  
註:御手廻格御右筆
- 由緒書**(神吉郎次家) 天保4年 **YK288-139**  
神吉郎次(盛由)  
天保4(1833)写 1冊 半紙 和  
註:御手廻五番組
- 由緒書**(進藤杏吉家)〔進藤杏吉〕 **YK288-138**  
〔寛政10(1798)〕写 1冊 半紙 和  
註:御留守居一番組・御手廻一番組・寄合・(御手廻組頭)、進藤太郎左衛門正朝俣
- 由緒書**(杉山貞五郎家) 天保4年11月 **YK288-140**  
杉山貞五郎(成範)  
天保4(1833)写 1冊 美濃 和  
註:貞五郎は千石寄合格、杉山源吾(石田三成二男)の十二代目子孫
- 由緒書**(専徳寺歴代住職) 安政3年 **YK288-102**  
専徳寺了山  
安政3(1856)コピー 1冊 半紙 仮和  
蔵印:御日記方  
註:十六代智什まで
- 由緒書**(相馬権蔵家) 享和2年 **YK288-141**

- 相馬権蔵（貞久）  
享和2（1802）写 1冊 半紙 仮和  
註：御中小性格御広敷御番人
- 由緒書**（竹内仁右衛門家）明和3年 **YK288-142**  
竹内仁右衛門（安富）  
明和3（1766）写 1冊 半紙 和  
註：御馬廻六番組
- 由緒書**（竹内長左衛門家）明和3年 **YK288-143-イ**  
竹内長左衛門（嘉春）  
明和3（1766）写 1冊 半紙 仮和  
註：御作事奉行
- 由緒書**（竹内長左衛門家）明和3年 **YK288-143-ロ**  
竹内長左衛門（嘉春）  
明和3（1766）写 1冊 美濃 和  
註：御作事奉行
- 由緒書**（武田勇吉家）武田勇吉 **YK288-144-イ**  
写 1冊 半紙 仮和  
註：下土手町金木屋→青森→蟹田→平館
- 由緒書**（武田勇吉家）武田勇吉 **YK288-144-ロ**  
写 1冊 原稿紙 仮和  
註：下土手町金木屋→青森→蟹田→平館
- 由緒書**（手塚春亮家）文政7年 **YK288-90**  
手塚春亮（惟孝）  
文政7（1824）写 1冊 半紙 和  
蔵印：弘前日記方  
註：表医者
- 由緒書**（道川五右衛門家）道川五右衛門 **YK288-147**  
天保14（1843）写 1冊 半紙 和
- 註：門外村清水森新堰道川堰役
- 由緒書**（鳶ノ鷲蔵）寛政4年2月 鷲蔵 **YK288-148**  
寛政4（1792）写 1冊 半紙半 仮和  
下沢保躬の父
- 由緒書・親類書**（富田村賢吉家） **YK288-149**  
富田村賢吉  
享和3（1803）写 1冊 半紙 仮和  
註：掃除小人
- 由緒書**（中村東眠家）文政7年 **YK288-95**  
中村東眠  
文政7（1824）写 1冊 半紙 和  
蔵印：弘前日記方  
註：表医者格
- 由緒書**（成田伝太郎家）明和3年11月 **YK288-151**  
成田伝太郎（勝春）  
明和3（1766）写 1冊 美濃 仮和  
註：御留守居壺番組
- 由緒書**（成田邑司家）弘化2年 **YK288-150**  
成田邑司（勝全）  
弘化2（1845）写 1冊 半紙 和  
註：御中小性二番組
- 由緒書**（鳴海市左衛門家） **YK288-153**  
鳴海市左衛門（勝詮）  
文化12（1815）写 1冊 半紙 和  
註：御中小性
- 由緒書**（鳴海久左衛門家）鳴海久左衛門 **YK288-152**  
写 1冊 半紙 仮和  
註：豪農鳴海久兵衛の傍系か？ 紙背文書
- 由緒書**（二唐松左衛門家）明治5年5月 **YK288-155**  
二唐松左衛門（重直）  
明治5（1872）写 1冊 半紙 和  
註：卒
- 由緒書**（二唐万左衛門）天保13年12月 **YK288-154**  
二唐万左衛門  
天保13（1842）写 1冊 半紙 和  
註：御鉄炮師
- 由緒書**（野崎弥三五郎家）野崎弥三五郎 **YK288-157**  
明治3（1870）写 1冊 原稿紙 仮和  
註：松前運送御用、尾太今泉両山御用取扱、御貸渡味噌御用取扱
- 由緒書**（平沢三右衛門家）文化3年 **YK288-158**  
平沢三右衛門（貞次）  
文化3（1806）写 1冊 半紙 仮和  
註：勘定人格郡所物書 後、勘定小頭格、津軽新田開発の功勞者
- 由緒書**（広瀬養甫家）文政7年 **YK288-91**  
広瀬養甫  
文政7（1824）写 1冊 半紙 和  
蔵印：弘前日記方  
註：表医者
- 由緒書**（船水音太郎家）天保7年6月 **YK288-159**  
船水音太郎（秀方）  
天保7（1836）写 1冊 半紙 和  
註：元町村郷士（現南津軽郡平賀町）
- 由緒書**（古郡道作家）文政7年 **YK288-82**  
古郡道作（邦彦）

- 文政7 (1824) 写 1冊 半紙 和  
蔵印：弘前日記方  
註：御近習医者
- 由緒書** (松野伊右衛門家) 本牒 文化9年 **YK288-161-1**  
松野伊右衛門 (治辰)  
文化9 (1812) 写 1冊 半紙 仮和  
註：足輕目付、伊平 (治辰) と同じ人物
- 由緒書** (松野伊平) 治辰 **YK288-161-2**  
天保5 (1834) 写 1冊 半紙 仮和  
註：御徒目付、伊右衛門 (治辰) と同じ人物 紙背文書
- 由緒書** (松野伊平家) 松野伊平 (治辰) **YK288-161-3**  
天保5 (1834) 写 1冊 半紙 仮和  
註：御徒目付
- 由緒書** (松野伊平家) 扣 天保5年7月 **YK288-161-4**  
松野伊平 (治辰)  
天保5 (1834) 写 1冊 半紙 仮和  
註：勘定小頭・海岸御締方懸合→御留守居三番組
- 由緒書** (松野家) 断片 **YK288-161-5**  
写 1冊 半紙 仮和  
註：(先祖) 樋屋町金七以前
- 由緒書** (松野家) 断片 **YK288-161-6**  
写 1冊 半紙 仮和  
註：(先祖) 樋屋町金七以後
- 由緒書** (松野因策家) 文政7年 **YK288-96**  
松野因策 (博民)  
文政7 (1824) 写 1冊 半紙 和  
蔵印：弘前日記方  
註：表医者格
- 由緒書** (松山玄三家) 文政7年6月 **YK288-92**  
松山玄三 (知常)  
文政7 (1824) 写 1冊 半紙 和  
蔵印：弘前日記方  
註：表医者
- 由緒書** (間山鉄五郎家) 明和3年 **YK288-162**  
間山鉄五郎 (祐休)  
明和3 (1766) 写 1冊 美濃 和  
註：御馬廻三番組
- 由緒書** (三浦万十郎家) 明和3年11月 **YK288-164**  
三浦万十郎 (鎮利)  
明和3 (1766) 写 1冊 半紙 仮和  
註：御馬廻六番組
- 由緒書** (三上道周家) 文政7年 **YK288-93**  
三上道周 (正貞)  
文政7 (1824) 写 1冊 半紙 和  
蔵印：弘前日記方  
註：表医者
- 妙心院様御代被遊御正候古代御系譜書上之内抜取候写**  
完 工藤武正 **YK288-41**  
写 1冊 半紙 和  
註：此書文化年中野呂某ヨリ密に借用写置候、「可足権僧正筆記之写」他上書4点
- 由緒書** (宮本六右衛門家) 宮本六右衛門 **YK288-163**  
写 (ペン書) 1冊 原稿紙 仮和  
註：御用桶屋
- 由緒書** (村上金九郎家) 天保4年 **YK288-167-1**  
村上金九郎 (則良)  
天保4 (1833) 写 1冊 半紙 和
- 註：御手廻
- 由緒書** (村上金九郎家) 天保5年 **YK288-167-2**  
村上金九郎 (則良)  
天保5 (1834) 写 1冊 半紙 和  
註：七代村上利右衛門英則の孫、御手廻四番組
- 由緒書** (村上文弥家) 村上文弥 (則盛) **YK288-166**  
写 1冊 半紙 仮和  
註：御手廻四番組
- 由緒書扣** (村上利右衛門家) **YK288-165-イ**  
村上利右衛門 (英則)  
享和3 (1803) 写 1冊 半紙 仮和  
註：御目付
- 由緒書扣** (村上利右衛門家) 享和3年 **YK288-165-ロ**  
村上利右衛門 (英則)  
享和3年 (1803) 写 1冊 半紙 仮和  
註：御目付
- 由緒書** (八木橋平馬家) 八木橋平馬 (繁央) **YK288-168**  
天保4 (1833) 写 1冊 原稿紙 25×18 仮和  
註：御馬廻五番組
- 由緒書** (柳福之丞家) 明和3年11月 **YK288-169**  
柳福之丞 (安清)  
明和3 (1766) 写 1冊 半紙 仮和  
註：御鷹匠
- 由緒書** (和田友輔家) 文政7年 **YK288-94**  
和田友輔 (英仁)  
文政7 (1824) 写 1冊 半紙 和  
蔵印：弘前日記方  
註：御表医者

- ◇
- 藩翰譜 序 新井君美 (白石) YK288-267-1  
写 1冊 美濃 和  
註:本書は浅岡教山斎筆 (寛政 12 年 1800)  
序文、凡例、目次
- 藩翰譜 壹 新井君美 (白石) YK288-267-2  
写 1冊 美濃 和  
註:越前家、尾張家、紀伊家、水戸家、保科家、甲府家、  
館林家
- 藩翰譜 二 新井君美 (白石) YK288-267-3  
写 1冊 美濃 和  
註:形原、深溝、能見、萩生、桜井、藤井、長沢の各松平
- 藩翰譜 三 新井君美 (白石) YK288-267-4  
写 1冊 美濃 和  
註:水野、(久松)松平、増山
- 藩翰譜 四上 新井君美 (白石) YK288-267-5  
写 1冊 美濃 和  
註:酒井、本多、井伊、榊原
- 藩翰譜 四中 新井君美 (白石) YK288-267-6  
写 1冊 美濃 和  
註:大久保、石川、鳥居、内藤、植村、安部、渡辺
- 藩翰譜 四下 新井君美 (白石) YK288-267-7  
写 1冊 美濃 和  
註:(戸田)松平、戸田、牧野、(松井)松平、三宅、西  
郷、土岐、高木
- 藩翰譜 五 新井君美 (白石) YK288-267-8

- 写 1冊 美濃 和  
註:酒井、土井、阿部、青山、永井、安藤、板倉、井上、  
森川、久世、稲垣、西尾、三浦、米津、伊丹
- 藩翰譜 六 新井君美 (白石) YK288-267-9  
写 1冊 美濃 和  
註:奥平、小笠原、岡部、諏訪、土屋、屋代、丹羽、山  
口、加々爪、北条、秋元、稲葉、堀田、太田、朽木、内田、  
柳生、小堀
- 藩翰譜 七上 新井君美 (白石) YK288-267-10  
写 1冊 美濃 和  
註:池田、浅野、前田、京極、黒田、有馬、山内、堀
- 藩翰譜 七下 新井君美 (白石) YK288-267-11  
写 1冊 美濃 和  
註:伊達、細川、加藤、藤堂、森
- 藩翰譜 八上 新井君美 (白石) YK288-267-12  
写 1冊 美濃 和  
註:毛利、嶋津、鍋嶋、蜂須賀
- 藩翰譜 八下 新井君美 (白石) YK288-267-13  
写 1冊 美濃 和  
註:上杉、佐竹、岩城、秋田、相馬、丹羽、立花、新庄、  
土方
- 藩翰譜 九上 新井君美 (白石) YK288-267-14  
写 1冊 美濃 和  
註:真田、九鬼、金森、分部、遠山、遠藤、一柳、市橋、  
桑山、仙石、溝口
- 藩翰譜 九下 新井君美 (白石) YK288-167-15  
写 1冊 美濃 和  
註:南部、戸沢、津軽、六郷、水谷、那須、大田原、大

- 関、伊藤、亀井、中川、有馬、大村、毛列
- 藩翰譜 十上 新井君美 (白石) YK288-267 16  
写 1冊 美濃 和  
註:稲葉、脇坂、小出、加藤、谷、木下、相馬、秋月、宗、  
松村、五嶋、久留嶋
- 藩翰譜 十下 新井君美 (白石) YK288-267-17  
写 1冊 美濃 和  
註:織田、建部、片桐、青森、伊藤
- 藩翰譜 十一 新井君美 (白石) YK288-267-18  
写 1冊 美濃 和  
註:薩摩守殿、七郎殿、上総介殿、駿河殿、竹谷松平、水野、  
大須賀、平岩、本多、高力、天野、菅沼、北條、山岡、  
小笠原、皆川、酒井、堀
- 藩翰譜 十二上 新井君美 (白石) YK288-267-19  
写 1冊 美濃 和  
註:松平 (蒲生・金吾・福嶋・加藤・最上・堀尾・田中・  
中村・筒井・里見・生駒・寺沢)
- 藩翰譜 十二下 新井君美 (白石) YK288-267-20  
写 1冊 美濃 和  
註:富田、稲葉、徳永、西尾、古田、山崎、本多、松下、  
高橋、関、杉原、前田、松倉、坂崎、戸川、平岡、藤田、  
竹中、佐久間、村上、石川、日根野、成田、佐野、瀧川
- ◇
- 嵯峨野之露 谷森善臣 YK288.4-1  
東京 青山清吉 明治 35 (1902) 1冊 半紙 和  
註:「長慶天皇考」  
谷森善臣は幕末明治時代の国学者 (1817 ~ 1911) 京  
都の人、学習院国学教授、諸陵助



## YK289 一個人の伝記

## 相坂 謙

相坂謙先生系譜 YK289-53-1  
 明治40(1907)写 1冊 半紙 仮和

## 赤石愛太郎

〔仇討一件〕内藤槐村 YK289-451  
 写 1冊 半紙 和  
 註：嘉永7甲寅年六月常州於水戸表御留守居支配赤石愛太郎母之仇吉之進打留之細末取扱一件

攻而茂草 明治40年5月 熊野熊助 YK289-45-2  
 明治40(1907)写(謄)1冊 半紙 仮和  
 註：内題「津軽藩士赤石愛太郎君復実録及同家旧記蒐集」

伊吹茂草 工藤喜右衛門編 YK289-45-3  
 大正4(1915)写 1冊 半紙 仮和  
 註：上巻(朱書佐藤忠正事沢水訂正)下巻(佐藤忠正訂正本)本書は上下合冊

伊吹茂草(赤石愛太郎復讐実録) YK289-45-4  
 外崎覚・清野熊助共述  
 写 1冊 半紙 仮和  
 註：覚(1859～1932)は漢学者・史家、弘前の人

赤石行道復讐実記 全 YK289-45-5  
 写 1冊 半紙 仮和  
 註：内題「赤石愛太郎復讐実記」

赤石愛太郎復讐録 全 清野熊助編(写) YK289-45-6  
 明治40(1907)写 1冊 半紙 和  
 註：内題「津軽藩士赤石愛太郎君復讐実録及同家旧記蒐集」

弘前藩士赤石復讐録 全 YK289-45-7  
 下沢閑雲(保躬)  
 明治14(1881)写 1冊 半紙 仮和  
 註：内題「奥州津軽藩士赤石復讐録」、乾坤合本

赤石行道ノ靈魂ヲ慰メン YK289-45-8  
 写 1冊 半紙 仮和  
 註：行道の自刃は安政元年7月29日(1854)年20歳、「純孝院恵雲文燈行道居士」

赤石愛太郎於常洲水戸表母之仇打留候ニ付御取扱之一件 YK289 45-9  
 嘉永7(1854)写 1冊 半紙 和

赤石愛太郎関係旧記蒐録 YK289-45-10  
 五十嵐所吉筆写  
 嘉永7・安政2(1854、55)写 1冊 横長 仮和  
 註：巻頭に八木橋武美氏が、この資料についての説明を付してある(昭和28年)

## 阿保忠秋

寛永昇進録 YK289-90-1  
 写 1冊 半紙 和  
 註：忠秋(1602～1675)は豊後守、徳川初期の大名(武蔵国忍城主)、老中

## 阿保貞範

阿保貞範日記 YK289-25-1  
 阿保貞範節正叔(清雅堂主人)  
 天保5(1834)写 1冊 半紙 仮和  
 註：「天保五甲午」54歳日記 紙背文書

阿保貞範日記 YK289-25-2  
 阿保貞範正叔(清雅堂主人)  
 天保7(1836)写 1冊 半紙 仮和  
 註：「天保七丙申」56歳日記

阿保貞範日記 YK289-25-3  
 阿保貞範正叔(清雅堂主人)  
 天保8(1837)写 1冊 半紙 仮和  
 註：「天保八丁酉」57歳日記

阿保貞範日記 YK289-25-4  
 阿保貞範正叔(清雅堂主人)  
 天保9(1838)写 1冊 半紙 仮和  
 註：「天保九戊戌年」58歳日記

阿保貞範日記 YK289-25-5  
 阿保貞範正叔(清雅堂主人)  
 天保10(1839)写 1冊 半紙 仮和  
 註：「天保十己亥年」59歳日記

阿保貞範日記 YK289-25-6  
 阿保貞範正叔(清雅堂主人)  
 天保14(1843)写 1冊 半紙 仮和  
 註：「天保十四癸卯之記」63歳日記

阿保貞範日記 YK289-25-7  
 阿保貞範正叔(清雅堂主人)  
 天保15(1844)写 1冊 半紙 仮和  
 註：「天保十五甲辰紀」64歳日記

阿保貞範日記 YK289-25-8  
 阿保貞範正叔(清雅堂主人)  
 弘化2(1845)写 1冊 半紙 仮和  
 註：「弘化二年乙巳之紀」65歳日記

阿保貞範日記 YK289-25-9  
 阿保貞範正叔(清雅堂主人)  
 弘化3(1846)写 1冊 半紙 仮和  
 註：「弘化三年丙午紀」66歳日記

- 阿保貞範日記** YK289-25-10  
阿保貞範正叔（清雅堂主人）  
弘化5（1848）写 1冊 半紙 仮和  
註：「弘化五年戊申紀」 68歳日記
- 阿保貞範日記** YK289-25-11  
阿保貞範正叔（清雅堂主人）  
嘉永3（1850）写 1冊 半紙 仮和  
註：「嘉永三庚戌之紀」 70歳日記
- 有海七太夫**  
**知行之日録** YK289-134-1  
宝暦6（1756）写 1通 折紙（信寧黒印）
- 知行目録** YK289-134-2  
寛政6（1794）写 1通 折紙（寧親黒印）
- 有海栄作**  
**三等銃卒小隊司令士申付候事** 議定堂 YK289-146-1  
明治3（1870）写 1枚 21×54  
註：議定堂の朱印あり
- 五十嵐貞隆（所吉）**  
〔五十嵐貞隆身上書〕 五十嵐貞隆（所吉） YK289-46-1  
明治9（1876）写 1冊 半紙 仮和  
註：幕末・明治初年津軽弘前藩第二等銃隊司令士  
（元書院番組頭、禁裏御親兵貢献隊長）
- 亀甲小学二等学校係**（差免）辞令（五十嵐貞隆）  
青森県庁 YK289-46-2  
明治11（1878）写 1枚 20×26  
註：五十嵐貞隆は旧藩時代津軽藩武芸締方取扱、青森湊  
目付、御馬廻番頭、禁裏御所御守衛親兵等
- 〔要用留〕〔自明治5年至明治19年〕 YK289-46-3

- 五十嵐真際  
明治5～19（1872～1886）写 1冊 半紙 仮和  
註：貞隆（所吉）一族及び関係文書
- 褒状並辞令** YK289-46-4  
明治2・3・11（1869・70・78）写 3枚  
註：明治2年秋田水沢戦鬪慰勞ノ褒状（宛名は八木橋平  
八と併記）、明治3年高岡御宮番辞令、明治11年為信  
公高照神社江御合祭（明治10年）尽力ヘノ褒状
- 〔御用之儀有之候間、登城可有之候〕五十嵐所吉あて  
慶応4（1868）年 1通 YK289-46-5
- 池田嶋之助**  
**惣御地之表知行帳** 明暦3年 YK289-47-1  
明暦3（1657）写 1冊 美濃 仮和
- 池田定一**  
**諸事留帳** 明治10年1月 YK289-89-1  
〔明治10（1877）〕写 1冊 横中 仮和  
註：定一（青森県貫属士族）の履歴
- 伊勢屋長兵衛**  
**伊勢屋長兵衛書翰** YK289-72-1  
写 1冊 半紙 和  
註：伊勢屋彦一郎・同俊助宛
- 伊東梅軒**  
**伊東梅軒** 昭和2年8月14日整理 YK289-79-1  
〔大正4（1915）〕新聞切り抜き、1冊 横長 和  
註：大正3・4年（1914・15）頃の弘前毎日新聞（北  
辰社発行）の切り抜き、一・四・十二・十八・十九・  
二十・三十五を欠く。附、補遺及海軒と海防 海軒  
（1815～1877）は幕末の津軽藩士、勤皇家

- 海老名東太郎**  
**海老名東太郎日記** YK289-21-1  
明治44（1911）～昭和4（1929）写 1冊 半紙 仮和  
註：吉田長五郎作御館神之鈴之行衛アリと表紙に書かれて  
いる
- 大郷常五郎**  
**大郷常五郎書状** 五十嵐所吉あて YK289-180-1  
写 1通
- 小笠原明大**  
**小笠原明大君伝** 学海依田百川撰 YK289-75-1  
明治23（1890）写 1冊 半紙 仮和  
註：依田学海（？～1909）は千葉県佐倉の人、漢学者、  
修史局修撰、文部有権少書記官
- 岡本運八**  
**知行目録奉書** 松浦甚左衛門唐牛甚右衛門連署  
正徳2（1712）写 1通 35×51 YK289-148-1
- 岡本専蔵**  
**岡本専蔵書状** 篠崎藤（東）四郎あて YK289-173-1  
写 1通
- 葛西音弥**  
〔葛西音弥の資料〕 柴田長兵衛 YK289-41-1  
昭和5（1930）写（一部複写）1冊 半紙 仮和  
註：葛西音弥先生勤学当時関係事項（津軽藩江戸日記の  
内より）附、山田登之事、外崎覚宛笹森儀助書状写
- 葛西藤太**  
**諸用留帳** 天保15年より 葛西藤太 YK289-69-1  
天保15～明治4（1844～1871）写 1冊 半紙 仮和  
註：御奉公自分留帳

- 監正署申付書 YK289-69-2  
写 1通  
註：民事局附属御普請懸合申付
- 葛西文右衛門（善真）  
聳養子願書付 YK289-154-1  
文化4（1807）写 1枚 24×33  
註：葛西文右衛門三男鉄弥を永沢久次郎娘へ聳養子とする願書控 文化4年3月4日付
- 兼平直之  
褒状 YK289-83-1  
明治13（1880）写 1冊 19×52  
註：明治13年弘前大火罹災の窮民恤救金寄付に対して
- 兼松石居  
碩儒兼松石居先生 森林助 YK289-34-1  
写 1冊 半紙 仮和  
註：初稿（未完）
- 兼松石居翁史料 森林助 YK289-34-2  
昭和6（1931）写 1冊 半紙 仮和  
註：勝海舟史料も入る
- 兼松先生行実 下沢保躬 YK289-34-3  
〔明治〕：写 1冊 半紙 仮和  
註：東京史館編輯長重野安統ニ兼松翁ノ碑文ヲ撰センコトヲ乞イタル原稿
- 川越藤左衛門（茂脩）  
誓詞（御勝手メ方） YK289-149-1  
延享2（1745）写 1通
- 川原田盛美  
川原田盛美書簡（ハガキ） YK289-189
- 下沢保躬宛
- 菊地楯衛  
菊地楯衛翁 YK289-37-1  
明治44（1911）1冊 新聞切り抜き 15×41 仮和  
註：菊地楯衛翁、馬鈴薯の開山は荒田村の吉五郎と星井弘道
- 北川仁兵衛  
北川仁兵衛（元和二年三月より祖父仁兵衛代より勤方）  
寛永19年8月15日 YK289-56-1  
大正4（1915）写 1冊 半紙 仮和  
註：寛永19年は1642年 「諸事覚書帳万治元年正月北川仁兵衛」（1658）「先祖代々未覚書延宝六年八月白戸清右衛門行増」（1678）と合冊
- 北代正臣  
北代正臣（青森県権令）書翰 YK289-73-1-イ  
明治7（1874）コピー 1冊 半紙 仮和  
註：青森県四課諸君暨支庁諸君宛
- 北代正臣（青森県権令）書簡 YK289-73-1-ロ  
明治7（1874）写 1冊 半紙 仮和  
註：青森県四課諸君暨支庁諸君宛
- 喜多村源八  
〔喜多村源八覚書〕 YK289-59-1  
写 1冊 半紙 仮和  
註：明和6年（1769）より安永7年（1778）まで家老就任前の監物親守か
- 喜多村監物  
口章 津軽頼母あて YK289-59-2  
写 1通  
註：他行願
- 口章 津軽主水あて YK289-59-3  
写 1通  
註：添田儀左衛門母病気付添御断り
- 喜多村源八（久武）  
喜多村源八（久武）書状 津軽監物あて YK289-184-1  
写 1週
- 喜多村監物  
喜多村監物書状 津軽内膳あて YK289-185-1  
写 1通
- 喜多村監物書状 津軽内膳あて YK289-185-2  
写 1通
- 喜多村監物書状 主水あて YK289-185-3  
写 1通
- 喜多村監物書状 津親頼母あて YK289-185-4  
写 1通
- 喜多村監物窺書状 YK289-185-5  
写 1通
- 喜多村監物窺書状 YK289-185-6  
写 1通  
註：「頭書信重公御筆」とあり
- 木村吉郎  
弘前藩知事給禄遺状 YK289-147-1  
明治4（1871）写 1枚 20×70  
註：弘前藩印あり
- 木村莊蔵

- 御賞書付** 弘前藩会計局 YK289-145-1  
 明治2(1869)か、写 1通 21×74  
 註：加禄給付状
- 木村長蔵**  
**静勝日誌抜書** 全 YK289-16-1  
 明治2(1869)写 1冊 半紙 和  
 註：奥羽賊徒征討官軍教導被仰付大坂出帆より之日誌抜書大略之覚
- 静勝日誌** YK289-16-2  
 明治元(1868)写 1冊 横小 仮和  
 註：辰八月十七日より同九月廿日迄
- 静勝日誌** YK289-16-3  
 明治元(1868)写 1冊 横小 和  
 註：辰十月十五日より十一月晦日迄
- 静勝日誌** YK289-16-4  
 明治元(1868)写 1冊 横小 和  
 註：十二月
- 静勝日誌** YK289-16-5  
 明治2(1869)写 1冊 横小 和  
 註：己四月中
- 静勝日誌** YK289-16-6  
 明治2(1869)写 1冊 横小 和  
 註：己五月中より八月中迄
- 静勝日誌** YK289-16-7  
 明治2(1869)写 1冊 横小 和  
 註：己十二月中
- 静勝日誌** YK289-16-8  
 明治3(1870)写 1冊 横小 和  
 註：庚二月中
- 静勝日誌** YK289-16-9  
 明治3(1870)写 1冊 横小 和  
 註：庚三月中
- 静勝日誌** YK289-16-10  
 明治3(1870)写 1冊 横小 和  
 註：庚午五月六月中
- 静勝日誌** YK289-16-11  
 明治3(1870)写 1冊 横小 和  
 註：自九月至十二月
- 木村奎介**  
**木村奎介書状** 大道寺隼人津軽鞆負あて YK289-160-1  
 写 1通 折紙  
 註：千寿(千住)御発足、料理支度被仰付
- 楠美甚之助**  
**〔楠美甚之助日記〕**一 楠美甚之助(則理) YK289-20-1  
 享保3(1718)～享保18(1733)写 1冊 半紙 和  
 註：享保20～元文5年の分は岩見文庫にあり
- 〔楠美甚之助日記〕**二 楠美甚之助(則理) YK289-20-2  
 享保19(1734)写 1冊 半紙 和
- 楠美荘司(則敏)**  
**楠美荘司書状** 工藤直世、沢与左衛門あて YK289-156-1  
 文久元(1861)写 2通  
 註：「文久」と年号改元の知らせ
- 楠美荘司書状** 杉山八兵衛外御一統様あて YK289-156-2  
 元治元(1864)か、写 1通
- 註：砲隊、奇兵隊上京の件
- 工藤形次郎**  
**〔覚書〕** 工藤形次郎 YK289-43-1  
 安永元～寛政4(1772～1792)写 1冊 横長 仮和  
 註：形次郎の御目見、父太市の隠居、家督御近習小性としての勤中書留書等
- 工藤淡遠**  
**覚** YK289-64-1  
 [明治3(1870)]写 1冊 半紙 仮和  
 註：戸口書上表
- 栗田富太郎**  
**栗田將軍書状写** [森林助編] YK289-35-1  
 写 1冊 半紙 仮和
- 栗田海軍少将資料** 森林助輯 YK289-35-2  
 昭和3～8(1928～1933)写 1冊 半紙 仮和  
 註：栗田富太郎奉職履歴、東奥人名録抜書、戸籍抄本、旅順閉塞隊名簿、感状写、書翰、端書、サンデー東奥所載草稿、他
- 慶林夫人**  
**慶林夫人消息** 津軽監物あて YK289-93-1  
 天保2(1682)か 写 1通  
 註：津軽三代藩主信義の妻、富宇姫  
 内容：家老役祝義
- 幸山礼庵**  
**書翰**(大坂和作宛) 幸山礼庵 YK289-88-1  
 写 1冊 17×18
- 斎藤主**  
**成功せる冒険家「斎藤主氏の奮闘活歴譚」** YK289-40-1

- 明治45(1912)新聞切り抜き 1冊 41×16 仮和  
註：弘前新聞連載
- 斎藤雄蔵(建定)**  
**斎藤雄蔵書状** 五十嵐所吉あて **YK289-181-1**  
写 1通
- 榊原越中守**  
**榊原越中守書状** 津軽越中守あて **YK289-166-1**  
写 1通
- 佐藤新蔵**  
**御用留** 藤原惟清(佐藤新蔵) **YK289-42-1**  
文化6(1809)写 1冊 半紙 仮和  
註：父親病死と家督相続の際の留書
- 佐藤甚内**  
**一代覚書**(佐藤甚内) **YK289-58-1**  
写 1冊 半紙 仮和  
註：甚内は金作の改名 文政11(1828)より天保13年(1842)まで(紙背文書)
- 佐藤綱五郎**  
**雑日記** 安政7年自正月 **YK289-14-1**  
安政7(1860)写 1冊 半紙 仮和
- 篠崎進(重秀)**  
**篠崎竜之助書状** 五十嵐所吉 諏訪彦太郎あて  
写 1通 **YK289-172-1**  
註：竜之助は通称
- 篠崎竜之助書状** 五十嵐所吉あて **YK289-172-2**  
写 1通
- 篠崎竜之助書状** 五十嵐所吉 諏訪彦太郎あて
- 写 1通 **YK289-172-3**
- 篠崎進書状** 五十嵐所吉あて **YK289-172-4**  
写 1通  
註：釜菴是太郎(景春)と連絡書状
- 篠崎竜之助書状** 五十嵐所吉 諏訪彦太郎あて  
写 1通 **YK289-172-5**
- 篠崎東四郎**  
**御格式ニ御取立之願書**(下書) 神茂左衛門 佐々鍊弥太あて **YK289-171-1**  
天保11(1840)写 1冊
- 下沢忠一**  
〔下沢忠一書翰〕 **YK289-70-1**  
〔明治2(1869)〕写 1綴 横長 仮和  
註：忠一の父下沢八三郎(保躬)泉
- 下沢保躬**  
**閑雲先生年譜**(稿本) 卷之一 **YK289-54-1**  
下沢陳平(継志斎)  
明治37(1904)写 1冊 半紙 和  
註：下沢保躬(閑雲)年譜 自天保9年(1838)至慶応3年(1867)
- (下新田村小知行) 六左衛門  
**御勘定より目録** **YK289-121-1**  
寛文4(1664)写 1枚 31×42 堅紙
- 下斗米将真**  
**文政白沢実録** 上 **YK289-38-1-上**  
新聞切り抜き 1冊 菊 和  
註：相馬大作事件
- 文政白沢実録** 下 **YK289-38-1-下**  
新聞切り抜き 1冊 半紙 和  
註：附津軽南部境界山論
- 神吉郎次  
**知行之目録** **YK289-135-1**  
宝暦6(1756)写 1通 折紙  
(信寧黒印)
- 知行帳控** 御用ニ付本帳御勘定所へ差出候ニ付  
安永3(1774)写 1冊 半紙 和 **YK289-135-2**
- 神左馬丞**  
**知行之目録** **YK289-108-1**  
慶長14(1609)写 1枚 35×17  
切紙(信牧黒印)
- 知行之目録** **YK289-108-2**  
元和7(1621)写 1枚 34×16  
切紙(信牧黒印)
- 知行之目録** **YK289-108-3**  
寛永9(1632)写 1枚 34×15  
切紙(信吉黒印)
- 知行之目録** **YK289-108-4**  
寛永11(1634)写 1枚 34×16  
切紙(信吉黒印)
- 神弥次兵衛**  
**知行宛行状頂戴覚書** **YK289-108-5**  
正徳2(1712)写 1枚 30×44
- 神宗作**  
**知行目録** **YK289-140-1**

- 天保11(1840)写 1通 折紙  
(順徳黒印)
- 神太郎吉**  
村議員・学務委員・聯合会議員辞令 YK289-84-1  
明治16・17(1883・84)写 4通  
註：南津軽郡第廿五組薬師堂村(現弘前市)  
16年 村議員、聯合会議員  
17年 村会議員、学区学務委員
- 知行目録** YK289-84-2  
安政6(1859)写 1週 折紙  
(承烈黒印)
- 神忠司**  
知行目録 YK289-139-1  
文政8(1825)写 1通 折紙  
(信順黒印)
- 神弥次兵衛**  
知行帳 寛政5年 YK289-137-1  
享和3(1803)写 1冊 半紙 和
- 神弥次兵衛**  
知行目録 YK289-137-2  
寛政6(1794)写 1通 折紙  
(寧親黒印)
- 杉山小藤太**  
御内状答 喜多村監物あて YK289-164-1  
写 1通  
註：YK289-164-2との一件文書
- 内状** 喜多村監物あて YK289-164-2  
写 1通
- 註：文中に「弘前塗」あり
- 杉山八兵衛**  
〔杉山八兵衛書状〕 YK289-104-1  
写 1通  
内容：御番交代、能見物  
註：杉山八兵衛成武か
- 杉山八兵衛(吉成)**  
知行之目録 YK289-104-2  
寛永21(1644)写 1枚 35×48  
縦紙(信義黒印)
- 杉山八兵衛**  
上書 YK289-104-3  
写 1通 17×21  
註：古懸国上寺より御詫〔託〕宣書差上の件
- 上書** YK289-104-4  
写 1通 17×26  
註：返済米御用状下書についての伺書
- 上書** YK289-104-5  
写 1通 17×19  
註：道中行列帳清書の伺い
- 上書** YK289-104-6  
写 1通 17×29  
註：佐竹右京様への進上馬吟味、御貸馬などの件についての伺書
- 杉山龍江**  
杉山龍江書簡 東あて YK289-165-1  
写 1通  
註：印紙不貼用犯則の件
- 杉山上総**  
杉山上総書状 十左衛門あて YK289-165-2  
写 1通  
註：上総は後「龍江」となる
- 鈴木三右衛門(清久)**  
誓詞 YK289-153-1  
享保16(1731)写 1通
- 傍島九郎左衛門(重郷)**  
傍島九郎左衛門書状 神保三右衛門連署、渡辺次太夫・高倉五兵衛・北村弥右衛門・傍島大兵衛あて YK289-92-1  
延宝7(1679)か 写 1通  
註：敦賀廻米、上級家臣知行打出し分蔵入
- 傍島九郎左衛門書状** 神保三右衛門連署、北村弥右衛門・高倉五兵衛・渡辺次太夫・傍島太兵衛あて YK289-92-2  
註：谷口仁兵衛倅、小姓推せん的一件
- (大光寺村) **三郎左衛門**  
知行之目録 YK289-110-1  
元和7(1621)写 1枚 35×16  
切紙(信牧黒印)
- 高杉昌伯**  
公私勤中秘書 高杉昌伯(勝美のち源次) YK289-33-1  
寛保3～享和2(1743～1802)写 1冊 半紙 仮和  
註：筆者は御近習番か
- 高田屋嘉兵衛**  
高田屋嘉兵衛を語る 須藤孝太郎 YK289-39-1  
昭和10(1935)新聞切り抜き 1冊 17×25 仮和  
註：弘前新聞連載

## 高橋茂右衛門

**御印書替覚状** (下荒田村六左衛門頂戴) YK289-124-1  
一戸儀右衛門、出町安兵衛連印  
貞享2 (1685) 写 1枚 31×21 切紙

**御印之覚** YK289-124-2  
貞享2 (1685) 写 1枚 横切紙

## 高谷小平太

**日記** 高谷小平太 YK289-23-1  
天保4 (1833) 写 1冊 横中 仮和  
註：紙背文書

## 竹内亀之助 (嘉柄)

**知行不足地願書付控** YK289-128-1  
宝永8 (1711) 写 1枚 30×22

## 竹内健助

**知行目録** YK289-141-1  
天保11 (1840) 写 1通 折紙  
(順徳黒印)

## 竹内長右衛門

**知行之目録** YK289-117-1  
寛文元 (1661) 写 1枚 36×50  
豎紙 (信政黒印)

## 竹内長右衛門

**知行目録奉書** 蒔苗市兵衛 唐牛平次連署  
元文元 (1736) 写 1通 31×85 YK289-117-2

## 竹内長左衛門

**知行之目録** YK289-136-1  
宝暦6 (1756) 写 1通 折紙  
(信寧黒印)

## 竹内長左衛門

**知行目録** YK289-136-2  
安政6 (1859) 写 1通 折紙  
(承烈黒印)

## 竹内又兵衛

**知行目録** YK289-113-1  
寛永10 (1633) 写 1枚 33×47  
豎紙 (信吉黒印)

## 武田源左衛門

**武田源左衛門事蹟** 佐藤弥六編 YK289-62-1  
大正4 (1915) 新聞切り抜キ 1冊 菊判 仮和  
註：自大正四年八月三日至同年九月七日  
弘前大正報所載

## 館山文弥

**知行帳之写** 宝暦10年5月 YK289-50-1  
宝暦10 (1760) 写 1冊 半紙 仮和  
註：高百石

## (館山村) 弥兵衛

**知行之目録** YK289-119-1  
寛文元 (1661) 写 1枚 36×17  
切紙 (信政黒印)

## 伊達行朝

**伊達行朝勤王事歴** 卷一 大槻文彦著 YK289-28-1-1  
明治33 (1900) 活版 1冊 半紙 和  
(伊達氏観瀾閣蔵版)  
註：附載 男宗遂 孫政宗 曾孫氏宗 玄孫持宗事歴

**伊達行朝勤王事歴** 卷二 大槻文彦著 YK289-28-1-2  
明治33 (1900) 活版 1冊 半紙 和

(伊達氏観瀾閣蔵版)

**伊達行朝勤王事歴** 卷三 (附録) 大槻文彦著  
明治33 (1900) 活版 1冊 半紙 和 YK289-28-1-3  
(伊達氏観瀾閣蔵版)

## 田村藤太夫 (幸則)

**田村藤太夫書状** 堀伝左衛門 (利盛) 連署木村柰助あて  
天和3 (1683) か 写 1通 YK289-96-1  
内容：日光普請の件

## 丹野序右衛門 (広幸)

**丹野序右衛門書状** 今井源五右衛門、堀五郎左衛門、館  
山善左衛門、唐牛十郎右衛門連署、間宮九郎左衛門あて  
宝永7 (1710) 写 1通 YK289-99-1  
内容：八木橋利兵衛外江戸出立姫様御供

**丹野序右衛門書状** 今井源五右衛門、堀五郎左衛門、館  
山善左衛門連署間宮九郎左衛門あて YK289-99-2  
宝永7 (1710) 写 1通  
内容：馬廻、表右筆江戸出立

## 津軽為信

**津軽為信公伝** (異聞天正日記・南部諸士由緒記)  
写 1冊 半紙 和 YK289-1-1  
註：「梅雨集」と云う印刷本に明治28年以後に書き写  
したるもの)

〔藩祖略記〕 兼松成言編 YK289-1-2  
写 1冊 半紙 仮和

**藩祖略記** 完 兼松誠成言纂輯 YK289-1-3  
慶応2 (1866) 写 1冊 半紙 和

**津軽藩祖略記** 全 兼松成言纂輯 YK289-1-4 ｲ

- 明治9 (1876) 写 1冊 30頁 半紙 和
- 津軽藩祖略記 全** 兼松成言纂輯 **YK289-1-4 口**  
明治9 (1876) 写 1冊 30頁 半紙 和
- 前譜附藩祖略記 全** 兼松誠成言纂輯 **YK289-1-5**  
写 1冊 半紙 和  
註：叙に慶応丙寅仲冬下浣川村直良撰とある  
慶応丙寅 (1866)
- 為信公御旧記調書 稿** 下沢保躬編 **YK289-1-6**  
明治13 (1880) 写 1冊 半紙 仮和  
註：「御日記方」の朱印あり
- 津軽為信書状写** 藤屋与右衛門あて **YK289-1-7**  
慶長12 (1607) か、写 1通  
内容：出国の節の礼
- 為信公御直書写** 下沢保躬 **YK289-1-8**  
明治 ( ) か 写 2通  
註：藤屋与右衛門あて
- 津軽信政**
- 信政公御意之筋間伝業 完** **YK289-4-1**  
享保2 (1717) 写 1冊 半紙 和
- 津軽信政事蹟紀要 上・下** 一戸岳逸編 **YK289-4-2**  
昭和13 (1938) 印刷 (ガリ版) 半紙 和  
註：高照公叢書第五巻、第七巻合本
- 御意書** 伊藤祐明編 **YK289-4-3**  
享保2 (1717) 写 1冊 半紙 仮和  
註：内題「明君夜話近土口伝集」(明君とは津軽信政公のこと)
- 妙心院様信政公様御意記** **YK289-4-4**  
写 1冊 半紙 和  
註：内題「信政公御意之筋間伝集」
- 近世人鏡録之内津軽越中守信政伝** 下沢保躬  
明治3 (1870) 写 1冊 半紙 和 **YK289-4-5**  
註：原本は豊後国岡藩角田箇大著
- 津軽明元間記** **YK289-4-6**  
写 1冊 半紙 和  
註：一名信政公記、明暦日記
- 武徳明君記 全** **YK289-4-7**  
享保丁酉 (1717) 写 1冊 半紙 和  
(弘前医官渋江氏蔵書記の印)
- 高照神君夜話記 全** 中村良之進 **YK289-4-8**  
明治41 (1908) 写 1冊 半紙 和  
註：和徳町小野氏所有ノ古写本 (安永七年) ナルヲ騰写  
セシ者也  
序文…信政公御意之筋書伝集
- 鑑盤拔萃** (信政公日記) 自貞享元年至宝永5年  
**YK289-4-9**  
貞享元 (1684) ~宝永5 (1708) 写 1冊 半紙 仮和
- 古往万徳集 全** **YK289-4-10**  
写 1冊 半紙 仮和  
註：古往万徳集巻之上 (津軽信政公伝)
- 古往万徳集 上** **YK289-4-11-1**  
写 1冊 美濃 和  
註：津軽藩主御四代信政公御徳行
- 古往万徳集 下** **YK289-4-11-2**  
写 1冊 美濃 和
- 古往万徳集 全** **YK289-4-12**  
写 1冊 美濃 和
- 古往万徳集 全** **YK289-4-13**  
写 1冊 美濃 和  
註：内題は「古往万徳集」だが、外題は「往古万徳集」
- 古往万徳集 全** **YK289-4-14**  
天明3 (1783) 写 1冊 半紙 和  
註：内題「御四代妙心院様之御意書」
- 貞享規範録 上中** 下沢八三郎忠義 (保躬)  
安政6 (1859) 写 1冊 半紙 和 **YK289-4-15-1**  
註：原本は森内繁富著 (文化三年)
- 貞享規範録 下** 下沢八三郎忠義 (保躬)  
安政6 (1859) 写 1冊 半紙 和 **YK289-4-15-2**
- 貞享規範録 上下合巻** 一戸岳逸校訂 **YK289-4-16**  
昭和12 (1937) ガリ版刷 1冊 半紙 仮和  
註：高照公叢書第一巻
- 明君夜話近土口伝業** 一戸岳逸編 **YK289-4-17**  
昭和14 (1939) 写 (ガリ版) 1冊 半紙 仮和  
註：高照公叢書第八巻 (青森通俗図書館発行)  
明君とは四代藩主津軽信政公
- 名君津軽信政と偉人山鹿素行** 森林助 **YK289-4-18**  
写 1冊 半紙 仮和
- 信政公御大徳守実記** **YK289-4-19**  
天保7 (1836) 写 1冊 半紙 和



- 信政公御意書 全** YK289-4-20  
文久元(1861)写 1冊 半紙 和  
註：本館所蔵岩見文庫、伊藤祐明編「高照霊社御意書(GK289-3)」「明君夜話近土口伝集(GK289-4)」「信政公御意之筋口伝集(GK289-5)(GK289-6)」「高照霊社御意書(GK289-7)」「高照霊社玉話記(GK289-8)」に同じ
- 高岡神社絵巻写(高照公叢書第四卷)** YK289-4-21  
一戸岳逸編  
昭和12(1937)写(騰)1冊 半紙 仮和  
註：青森通俗図書館発行
- 高照神社縁起 全(高照公叢書第二卷)** YK289-4-22  
下沢保躬編  
昭和12(1937)写(騰)1冊 半紙 仮和  
註：青森通俗図書館(一戸岳逸)発行
- 〔高照霊社玉話記〕** YK289-4-23  
写 1冊 半紙 和
- 陸奥津軽県社高照神社縁起 全** 下沢保躬編輯  
〔明治18(1885)〕写 1冊 半紙 仮和 YK289-4-24
- 津軽信寿**
- 津軽信寿書状** 津軽校尉、津軽帯刀あて YK289-5-1  
享保13(1728)写 1通  
註：九百両落手
- 津軽信寿書状** 津軽内膳、佐藤帯刀あて YK289-5-2  
写 1通  
註：昨秋千両、当年千両落手
- 津軽信著**
- 津軽信著書状** 津軽監物あて YK289-6-1  
写 1通
- 註：「沾峨」は信著の俳号、内容は時候の挨拶
- 津軽信寧**
- 津軽越中守跡式奉願候覚** YK289-7-1  
天明4(1784)写 3通
- 津軽信明**
- 御行実老譚(下沢忠清)** YK289-8-1  
安政4(1857)写 1冊 半紙 和  
註：体孝院殿御行実 体孝院は八代藩主津軽信明公
- 体孝明君伝 全** YK289-8-2  
寛政7(1795)写 1冊 半紙 和  
註：八代藩主津軽信明公伝
- 津軽孝公行実記** 天保15年正月吉日 栗原末吉藤原盛行  
天保15(1844)写 1冊 半紙 仮和 YK289-8-3  
註：原本は寛政7(1795)年、吉田献可識 孝公は第八代藩主津軽信明
- 津軽孝公行実記 勝清** YK289-8-4  
文久3(1863)写 1冊 半紙 仮和  
註：原本は寛政7(1795)年、吉田献可識
- 津軽孝公行実 全** 吉田献可 YK289-8-5  
寛政7(1795)写 1冊 半紙 和  
(弘前医官渋江氏旧蔵)
- 津軽孝公行実 全** 吉田献可 YK289-8-6  
寛政7(1795)写 1冊 半紙 和
- 津軽信明書状** 喜多村監物あて YK289-8-7  
写 1通  
註：城中講釈の件
- 津軽信明書状** 津軽主水、喜多村監物あて YK289-8-8  
写 1通  
註：津軽内膳病気療養致し相勤候様
- 津軽信明書状** 棟方兵衛、津軽内膳、森岡主膳あて  
写 1通 YK289-8-9  
註：年忘御祝儀の料理差上度
- 津軽土佐守跡式奉願候覚** YK289-8-10  
寛政3(1791)写 1通
- 津軽寧親**
- 寧親公と露西亜 一〜八(完)** YK289-9-1  
田名部彦一(松坡)  
大正5(1916)新聞切り抜き 1冊 半紙 仮和  
註：大正五年七月陸奥史談会主催「贈位先哲記念祭に於ける講演」記録
- 津軽越中守(寧親)書状** 津軽監物あて YK289-9-2  
文政8(1825)か、写 1通  
註：田安家との婚儀の件
- 津軽寧親書状** YK289-9-3  
文化6(1809)写 1通  
註：新田開発奨励
- 津軽越中守(寧親)書状** 津軽頼母あて YK289-9-4  
文化9(1812)写 1軸  
註：山論一件、乳井村一件、板留湯治
- 津軽越中守(寧親)書状** 津軽監物あて YK289-9-5  
文化12(1815)写 1通  
註：信順初下向、江戸不作
- 津軽越中守(寧親)書状** 三橋左十郎あて YK289-9-6

- 文政2(1819)か、写 1通  
註：参勤、天候心配
- 津軽越中守(寧親)書状** 津軽監物あて **YK289-9-7**  
文政4(1821)写 1通  
註：南部一件の情報、辰巳橋改築
- 津軽越中守(寧親)書状** 津軽監物あて **YK289-9-8**  
文政8(1825)か、写 1通  
註：笠原八郎兵衛、用人へ登用の件
- 津軽寧親書状** **YK289-9-9**  
文化7(1810)か、写 1通
- 津軽寧親書状** 喜多村監物あて **YK289-9-10**  
写 1通  
註：ロシヤ船取扱の件
- [寧親公御筆]** **YK289-9-11**  
写 1枚  
註：寧親公詠歌
- 津軽寧親書状** 津軽監物あて **YK289-9-12**  
寛政9(1797)写 1通  
註：刑法帳成立
- 津軽信順**
- 津軽信順書状** 津軽多膳あて **YK289-10-1**  
写 1通  
註：御内書「発駕日限申付」
- 津軽信順書状** 津軽監物あて **YK289-10-2**  
写 1通  
註：姫路、福山洪水など
- 津軽順徳(順承)**
- 順徳御自筆之写** 祐房 **YK289-11-1**  
天保10(1839)写 1冊 半紙 仮和  
註：順徳公は天保13年(1842)に順承と改名、黒石藩主順徳は天保10年津軽11代藩主となり、この年6月、人事の刷新をはかり、節儉方針をたてる、その時の御自筆の写、御家老口達、御用人演説、家訓條々、御家老申渡之覚が載っている
- 津軽順承**
- 津軽順承書状** 喜多村監物あて **YK289-11-2**  
写 1通  
註：「内用」江戸屋敷の件
- 津軽承昭**
- 津軽承昭君** **YK289-12-1**  
写 1冊 半紙 仮和
- [御史伝ノ内抜書]** **YK289-12-2**  
写 1冊 半紙 仮和  
註：安政4(1857)～明治31(1898)
- 旧藩侯履歴書抄録** 控 **YK289-12-3**  
〔明治2(1869)〕写 1綴 26×7.5
- 津軽従五位(承昭)書状** 杉山龍江あて **YK289-12-4**  
明治 写 1通
- 津軽承昭書状写** **YK289-12-5**  
文久3(1863)か、写 1通
- 津軽三十郎(黒石8代藩主親足)**
- 急御躰養子取計一件** 文化2年閏8月 **YK289-13-1**  
文化2(1805)写 1冊 美濃 和  
註：弘前日記方の印あり
- 津軽親足**
- 津軽甲斐守(親足)書状** 小野所吉、竹内甚左衛門、海老名彦左衛門、北川族、衣笠半助あて **YK289-13-2**  
写 1通  
註：時候挨拶
- 津軽英磨**
- 家範草案ニ就キテノ意見概略** 津軽英磨 **YK289-86-1**  
明治38(1905)写 1冊 半紙 仮和  
註：英磨(1872～1919)は津軽家12代藩主承昭の養嗣子、伯爵
- 津軽英磨書簡** 佐藤正雄宛 **YK289-86-2**  
写 1通
- 津軽永孚**
- 故津軽永孚事績** **YK289-78-1**  
謄写 1冊 美濃 仮和  
註：永孚(1773～1828)は弘前藩家老、藩校稽古館初代総司
- 津軽金三郎**
- 知行目録** **YK289-143-1**  
天保11(1840)写 1通 折紙  
(順徳黒印)  
註：津軽千之助模久のこと
- 津軽玄蕃(政朝)**
- 津軽玄蕃書状** 津軽大学あて **YK289-94-1**  
天和3(1683)か、写 1通  
註：日光社参準備
- 津軽玄蕃書状** 津軽大学あて **YK289-94-2**  
天和3(1683)か、写 1通

- 註：東廻船参着、上方才覚金首尾能、足軽不足対策
- 津軽玄蕃書状** 津軽大学あて **YK289-94-3**  
天和3(1683)か、写 1通  
註：日光普請の件
- 津軽玄蕃書状** 津軽大学あて **YK289-94-4**  
天和3(1683)か、写 1通  
註：日光九輪の儀
- 津軽監物(政広)**
- 北村源八書状** 山鹿八郎左衛門あて **YK289-103-1**  
写 1通  
註：具足拝領祝儀献上
- 津好校尉(政方)**
- 津軽校尉御用之覚** **YK289-98-1**  
元禄12(1699)か、写 1通  
註：古懸不動尊出汗
- 津軽校尉稿元旦祝詞** **YK289-98-2**  
元禄17(1704)写 1枚
- 津軽監物軍法誓紙** 山野十右衛門あて **YK289-98-3**  
享保4(1719)写 1週  
註：軍法誓紙
- 耕道子記志書** **YK289-98-4**  
享保2(1717)写 1枚  
註：耕道子は政方の号
- 津軽校尉消息** お篤あて **YK289-98-5**  
写 1通  
註：参観無事
- 津軽校尉御用之覚** 津軽信寿あて **YK289-98-6**  
写 1通  
註：御用事大赦の件(頭書信重公御筆)
- 津軽校尉御用之覚** 津軽信寿あて **YK289-98-7**  
写 1通  
註：御用、人事(頭書御筆信重公)
- 津軽校尉書状** 津軽類母、佐藤帯刀、添田儀左衛門あて **YK289-98-8**  
写 1通  
註：勝千代様～破魔矢差上披露
- 御用之覚** **YK289-98-9**  
写 1通
- 津軽大字(政実)**
- 津軽大学書状** 津軽鞆負、大道寺単人あて **YK289-95-1**  
天和3(1683)か、写 1通  
註：日光社参
- 津軽多膳**
- 御用之覚** 喜多村監物あて **YK289-183-1**  
写 1通
- 津軽多膳宛書状** **YK289-183-2**  
写 1通  
註：津軽信順よりの書状か
- 津軽兵庫**
- 津軽兵庫殿秋田江御越之節覚書** 全 添田儀左衛門 **YK289-32-1**  
元禄2(1689)写 1冊 半紙 和  
註：兵庫は四代藩主信政の異母弟、元禄2年6月家族全員と家来を全部連れて、大鰐早瀬野から秋川佐竹藩に越境した事件の覚書。この時、儀左衛門(貞俊)は御馬廻組頭か、数年後家老となる
- 津軽平三郎(好古)**
- 津軽平三郎書状** 喜多村監物あて **YK289-105-1**  
写 1通  
註：書物の交換を感謝 好古は六代藩主信著の第二子で、仙石孫兵衛家へ養子
- 津軽平三郎書状** 喜多村監物あて **YK289-105-2**  
写 1通  
註：夜食招待の件
- 津軽平三郎書状** 喜多村監物あて **YK289-105-3**  
写 1通  
註：訪問要請
- 津軽平三郎書状** 喜多村監物あて **YK289-105-4**  
写 1通  
註：御悦義来参御礼
- 津軽平三郎(好古)書状** 喜多村監物あて **YK289-105-5**  
写 1通
- 津軽平三郎(好古)書状** 喜多村監物あて **YK289-105-6**  
写 1通
- 津軽屋吉三郎**
- 津軽屋吉三郎書状** 斎藤清九郎あて **YK289-163-1**  
写 1通
- 津軽屋三右衛門**
- 津軽屋三右衛門(隆光)書状** 七戸金五郎あて **YK289-162-1**  
写 1通
- 津軽屋三右衛門(矩之)書状** 斎藤清九郎あて **YK289-162-2**  
写 1通

津軽屋三右衛門書状 佐藤才吉あて YK289-162-3  
写 1通

#### 津軽鞠負（広庸）

津軽鞠負書状 往心院権僧正あて YK289-152-1  
元禄12（1699）か、写 1通  
註：「山鹿大学御暇に関する古文書」とあり

#### 津軽鞠負（広当）

津軽鞠負書状 木村空助あて YK289-97-1  
写 1通  
註：宝塔供養、廻船々頭路銀、船代金、運賃支払  
津軽鞠負（広当）は隈部伊織広当のこと

津軽鞠負書状 木村空助あて YK289-97-2  
写 1通  
註：心要院様御三回忌

#### 対馬貞勝

辞令 YK289-85-1  
明治8・9（1875・76）写 6通  
註：対馬貞勝は青森県巡查

#### 対馬忠平

捕亡申付候事 YK289-87-1  
〔明治5（1872）〕写 1枚 19×53  
註：捕亡は捕吏（警官の前職名）

#### 対馬弥右衛門

知行物成帳 YK289-48-1  
写 1冊 美濃 仮和  
註：天正・慶長の頃、津軽為信の家老、後、信枚の守役  
だった津島弥右衛門政利のことか？

#### 土岐礼次郎

土岐礼次郎書状 五十嵐所吉あて YK289-177-1  
写 1通

#### 徳川斉昭

〔常陸帯 上巻〕藤田東湖（彪） YK289-30-1  
天保15（1844）写 1冊 半紙 和  
註：徳川斉昭事蹟（伝記）

#### 徳川光圀

西山遺事 一・二・三・四・五〔安積寛〕等著、三木  
幾右衛門之幹等篇 YK289-66-1  
宝永7（1710）写 1冊 半紙 和

西山遺事 五・六・七〔安積寛〕等著、三木幾右衛門  
之幹等篇 YK289-66-2  
宝永7（1710）写 1冊 半紙 和

西山遺事 八・九・十〔安積寛〕等著、三木幾右衛門  
之幹等篇 YK289-66-3  
宝永7（1710）写 1冊 半紙 和

#### 徳川頼宣

対山遺事 YK289-67-1  
写 1冊 半紙 和  
註：紀伊権大納言徳川頼宣（1602～1671）の伝記

#### （徳舞村）野呂二郎四郎

徳舞村荒地知行之日録 YK289-109-1  
慶長16（1611）写 1枚 34×17 切紙  
（信枚黒印）

#### 〔十腰内本肝煎〕八郎五郎

知行之日録 YK289-111-1  
元和7（1621）写 1枚 33×16 切紙

（信枚黒印）

#### 外崎与惣之助

士族新規召出辞令 YK289-81-1  
明治3（1870）写 1枚 20×82

#### 長尾安左衛門（景佳）

誓約 YK289-161-1  
安永3（1774）写 1通

#### 永野四方之助（建善）

永野四方之助書状 五十嵐所吉あて YK289-182-1  
写 1通

#### 那須資明

那須資明書状 棟方作兵衛あて YK289-174-1  
写 1通  
註：雅号「芝山」

#### 那須資明書状

写 1通 YK289-174-2

#### 那須資礼

那須資礼書状 YK289-175-1  
写 1通  
註：雅号「松風菴」、那須資明（芝山）の養子

#### 成田蔵之丞

知行帳 寛政7年 YK289-51-1  
寛政7（1795）写 1冊 美濃 仮和  
註：高百石

#### 知行取箇帳 寛政7年

寛政7（1795）写 1冊 美濃 仮和 YK289-51-2

## 新里村太郎左衛門

## 知行之目録

YK289-186-1

寛永9 (1632) 写 1通 切紙  
(信吉黒印)

## 西田源蔵

## 西田源蔵書状 (6通) (森林助宛)

YK289-76-1

昭和4・5 (1929・30) 写 1綴 半紙 仮和

註：他に青森市出身童話文学者川合勇太郎 (1897～?) の書状一通、青森県立図書館の「津軽見聞記寄贈ノ件」の書状一通。西田源蔵 (1885～1932) は青森日報主筆、油川町長

## 西館宇膳 (建通)

## 誓詞 (御家族)

YK289-150-1

延享2 (1745) 写 1通

## 西館宇膳 (建国)

西館宇膳書状 笠原八郎兵衛あて  
写 1通

YK289-157-1

註：「胴乱」御下しについての礼状

## 西館織部

## 西館織部書状 喜多村監物あて

YK289-168-1

写 1通

註：御用達三人之者、戸ノ免許の件

## 西館孤清

## 西館孤清翁遺書 贈従四位 成田雪洞編纂

YK289-74-1

弘前 弘前新聞 [明治34 (1901)] 切り抜き1冊

16×13 仮和

註：勤皇の津軽藩士西館孤清 (1829～1892) 遺存の書類を蒐めたもの

## 西館孤清翁碑文銘 中州三嶋毅撰

YK289-74-2

[明治37 (1904)] 写 1冊 半紙 仮和

註：勤皇の土津軽藩士孤清のこの碑は、弘前公園護国神社境内にあり。三嶋中州 (1830～1919) は岡山県生まれ、漢学者、二松学舎創立者

## 新渡戸太素 (伝)

## 〔嗚呼新渡戸父子〕 秋水

YK289-36-1

[明治43 (1910) ?] 1冊 新聞切り抜き 菊 和

## 乳井左市之助

## 高百石

YK289-49-1

写 1冊 美濃 仮和

## 乳井貢

## 高岡靈驗記 一戸岳逸編

YK289-188-1

昭和13 (1938) 謄写 1冊 半紙 和

## 高岡靈驗記 上

YK289 188- 2-1

明治27 (1894) 写 1冊 半紙半 和

## 高岡靈驗記 中

YK289-188-2 2

明治27 (1894) 写 1冊 半紙半 和

## 高岡靈驗記 下

YK289-188-2-3

明治27 (1894) 写 1冊 半紙半 仮和

## 〔高岡靈驗記 上中下 全〕

YK289-188-3

写 1冊 半紙 和

## 高岡靈驗記 下

YK289-188-4

写 1冊 半紙 仮和

## 高岡靈驗記 上

YK289-188-5-1

写 1冊 半紙 和

註：文化・文政頃、青森港居住の豪商 (一説に医を業と

する) にして和漢学の識者なる奥野庄右衛門寿応の自書 (異本か?)

## 〔高岡靈驗記 中〕

YK289-188-5-2

写 1冊 半紙 和

## 高岡靈驗記 下

YK289-188-5-3

写 1冊 半紙 和

## 高岡靈驗記 全 石沢実正

YK289-188-6

写 1冊 半紙半 和

註：中表紙に地巻とあるが、実は中の巻か?

陸奥国津軽騒動四回目 (乳井貢権威横行邪政の乱)

## 高岡靈驗記 上

YK289-188-7-1

写 1冊 半紙 和

## 高岡靈驗記 下

YK289-188-7-2

写 1冊 半紙 和

## 高岡靈驗記 弘化4年

YK289-188-8

弘化4 (1847) 写 1冊 半紙 和

## 高岡靈驗記

YK289-188-9

写 1冊 半紙 和

## 高岡靈驗記 上中下 全

YK289-188-10

写 1冊 半紙 和

## 高岡靈驗記 上

YK289-188-11

写 1冊 半紙 和

## 野元道玄

## 野本道玄略伝

YK289-61-1

写 1冊 半紙 仮和

註：巻尾に昭和6年（1931）青森県養蚕組合聯合会の「野本道玄略伝」の貼付あり

**野元道玄略伝** YK289-61-2

写 1冊 半紙 仮和  
註：附「後藤利朴、中田清嘉」

**野元道玄略伝** YK289-61-3

写 1冊 半紙 仮和  
註：附「後藤利朴、中田清嘉」

**野呂九兵衛**

**誓詞申付度伺** 毛内有右衛門あて YK289-169-1

写 1通  
註：足輕目付引取被仰付候二付

**野呂小十郎**

**知行目録奉書** 蒔苗市兵衛、唐牛平次連署  
元文元（1736）写 1通 31×87 YK289-133-1

**野呂次五右衛門**

**知行目録奉書** 松浦甚左衛門、唐牛甚右衛門連署  
正徳2（1712）写 1通 34×51 YK289-120-1

**野呂次五兵衛**

**知行之日録** YK289-114-1  
寛永21（1644）写 1通 33×47 豎紙  
（信義黒印）

**野呂忠左衛門**

**知行之日録** YK289-131-1  
元文元（1736）写 1通 折紙  
（信著黒印）

**知行目録奉書** YK289-131-2

蒔苗市兵衛、唐牛平次連署  
元文元（1736）写 1通 31×87

（町田村）**野呂陸右衛門**

**知行之日録** YK289-115-1  
寛永21（1644）写 1枚 32×15 切紙  
（信義黒印）

**花田次左衛門**

**知行之日録** YK289-125-1  
貞享4（1687）写 1通 折紙  
（信政黒印）

**花田半之丞**

**知行之日録** YK289-116-1  
寛文元（1661）写 1枚 36×50 豎紙  
（信政黒印）

**はつ**

**差上申御請状之事** YK289-155-1  
文化14（1817）写 1枚 31×45  
註：上総国坂本村長助が、はつの身元保証を津軽越中守様御内勝本水右衛門御内衆中へあてたもの

**平井東堂**

**東堂先生手紙** 元治元年從5月至10月 YK289-26-1  
平井東堂（俊章）  
元治元（1864）写 1冊 半紙 和  
註：五月四日ヨリ十月十六日マデ  
津軽藩士、書家平井東堂江戸在住日記

**平井元三郎**

**平井元三郎書状** 七戸貞次郎あて YK289-102-1  
写 1通

**平川棟世**

**家禄奉還願** 明治八年 YK289-159-1  
明治8（1875）写 2枚  
註：就産目途副書添付

**平田鏡胤**

**平田鏡胤書状** 鶴舎有節あて YK289-170-1  
註：下沢八三郎久輔（保躬）の件

**平田鏡胤書状** 今村要太郎等あて YK289-170-2

写 1卷（5通）  
註：書物の値段書あり

**広沢安住**

**広沢安任交遊録** YK289-71-1  
昭和53（1978）切り抜き 1冊 26×13 仮和  
註：夕刊東奥日報連載（自昭和53年9月4日至昭和53年9月9日）

**広田佐太郎**

**知行之日録** YK289-127-1  
元禄12（1699）写 1通 折紙  
（信政黒印）

**知行之日録**

YK289-127-2  
正徳2（1712）写 1通 折紙  
（信重黒印）

**知行之日録奉書** 松浦甚左衛門、唐牛甚右衛門連署  
正徳2（1712）写 1通 35×51 YK289-127-3  
註：佐太郎のち次郎右衛門となる

**広田次郎右衛門**

**知行之日録** YK289-127-4  
享保15（1730）写 1通 折紙

- (信寿黒印)
- 知行之目録** **YK289-112-1**  
寛永3(1626)写 1枚 36×52 豎紙  
(信枚黒印)
- 知行之目録** **YK289-112-2**  
寛文元(1661)写 1枝 36×50 豎紙  
(信政黒印)
- 広田平作**
- 知行目録** **YK289-142-1**  
天保11(1840)写 1通 折紙  
(順徳黒印)
- 深津安郎左衛門**
- 知行宛行状** **YK289-123-1**  
寛文12(1672)写 1枚 36×50 豎紙  
(信政黒印)
- 蒔苗市兵衛**
- 知行之目録** **YK289-130-1**  
正徳2(1712)写 1通 折紙  
(信重黒印)
- 知行之目録** **YK289-130-2**  
元文元(1736)写 1通 折紙  
(信著黒印)
- 知行目録奉書** 唐牛平次署 **YK289-130-3**  
元文元(1736)写 1通 31×88
- 知行目録** **YK289-130-4**  
寛政6(1794)写 1通 折紙  
(寧親黒印)
- 知行目録** **YK289-130-5**  
安政6(1859)写 1通 折紙  
(承烈黒印)
- 与力知行之目録** **YK289-130-6**  
安政6(1859)写 1通 折紙  
(承烈黒印)
- 蒔苗清三郎**
- 知行之目録** **YK289-126-1**  
元禄7(1694)写 1通 折紙  
(信政黒印)
- 蒔苗孫右衛門**
- 知行宛行状、同目録** **YK289-122-1**  
寛文12(1672)写 2枚 36×50、32×48 豎紙  
(信政黒印)  
註：目録は渡辺弥五右衛門、久保田市郎左衛門連署
- 与力知行之目録** **YK289-122-2**  
文政8(1825)写 1通 折紙  
(信順黒印)
- 蒔苗村奥左衛門**
- 勤替願書付** **YK289-151-1**  
元禄9(1696)写 1通  
註：前部欠
- 巻野喜之助**
- 巻野喜之助書状** 七戸あて **YK289-167-1**  
写 1通
- 満佐姫**
- 満佐姫様御離縁一件御用留** 文化14年従3月
- 文化14(1817)写 1冊 半紙 仮和 **YK289-15-1**  
註：弘前日記方の朱印あり
- 増衛**
- 増衛よりの消息** おすえあて **YK289-106-1**  
写 1通  
註：増衛は10代藩主信順の側室、内容は因幡様(津軽因幡玄正か)の記事
- 町田勝右衛門**
- 知行之目録** **YK289-107-1**  
慶長14(1609)写 1枚 35×17 切紙  
(信牧黒印)
- 町田村から右衛門**
- 知行之目録** **YK289-107-2**  
寛永11(1634)複写 1枚 写真1枚  
(信吉黒印)
- (町田村) **勝右衛門**
- 差上ヶ申書物之事** 御膳衆あて **YK289-107-3**  
延宝2(1674)写 1枚 32×43 豎紙  
註：由緒書上
- 松嶋屋**
- 〔御内意口上之覚〕** 松嶋屋吉六・嘉助 **YK289-29-1**  
写 1冊 横長 仮和  
(蔵印…御日記方)  
註：末尾に「古キ書物宝曆年中ニ奉差上候様茂伝承り候乍恐御尋ニ付又々御内意奉申上候」とあり、松嶋屋の由緒、跡目相続、家業、御用達、御能拝見、御料理頂戴の御礼等を述べている
- 間宮求馬**
- 間宮求馬書状** 五十嵐所吉外あて **YK289-179-1**

- 写 1通  
註：間宮求馬（勝正）か
- (万五郎屋敷村) 弥五左衛門  
**知行之目録** YK289-118-1  
寛文元（1661）写 1枚 34×17 切紙  
（信政黒印）
- 三上助直  
**三上助直勤書** 文化13年中 YK289-55 1  
文化13（1816）写 1冊 半紙 仮和  
註：文化十三丙子年中御触并勤書
- 棟方作右衛門（貞良）  
**棟方作右衛門書状** 喜多村監物連署藩主信重あて  
享保9（1724）か 写 1通 YK289-100-1  
註：頭書信重公御筆  
内容：武藤丹宮、御米方御用懸伺、御用金繰出の件
- 村上惣内  
**知行之目録** YK289-129-1  
正徳2（1712）写 1枚 折紙  
（信重黒印）
- 知行目録奉書** 松浦甚左衛門、唐牛甚右衛門連署  
正徳2（1712）写 1通 35×75 YK289-129-2
- 村上英則  
**英則行事之事** 村上弥三郎（則朗） YK289-17-1  
写 1冊 横中 仮和  
註：付、先祖より代々行事之覚
- 村上文弥  
**知行目録** YK289-138-1  
文政8（1825）写 1通 折紙

- （信順黒印）
- 村上弥三郎  
**知行之目録** YK289-132-1  
元文元（1736）写 1通 折紙  
（信著黒印）
- 知行之目録写** YK289-132-2  
宝暦6（1756）写 1通 折紙  
（信寧黒印）
- 村上弥三兵衛  
**村上弥三兵衛書置** 村上弥三兵衛 YK289-63 1  
〔貞享2（1685）〕写 1冊 半紙 仮和
- 村上利右衛門  
**知行目録** YK289-144-1  
安政6（1859）写 1通 折紙  
（承烈黒印）
- 毛内雲林  
**毛内雲林書状** 棟方晴吉あて YK289-158-1  
写 1通  
註：毛内有右衛門茂幹、「雲林」は画号
- 毛内良胤  
**毛内良胤青雲志録** 第一 下沢保躬編述 YK289-60-1  
明治2（1869）写 1冊 半紙 仮和  
註：内題「先帝山陵衛士毛内良胤一代略伝」  
第四「毛内良胤青雲録」はYK280-9「殉難録稿四十拔萃」  
に収録されている
- 毛内良胤（於京師戦死）建碑但内実一件帳** 第二  
明治2年11月 下沢保躬編輯 YK289-60-2  
明治2（1869）写 1冊 半紙 和

- 註：内題「毛内監物始末 内編 卷第一」  
第四「毛内良胤青雲録」はYK280-9「殉難録稿四十拔萃」  
に収録されている
- 毛内良胤青雲録** 第三 明治2年5月27日  
下沢保躬編集 YK289-60-3  
明治2（1869）写 1冊 美濃 仮和  
註：内題「毛内良胤伝原稿」  
第四「毛内良胤青雲録」はYK280-9「殉難録稿四十拔萃」  
に収録されている
- 毛呂正孝  
**毛呂正孝先生行状並碑銘** 土方怒平 YK289-77-1  
明治23（1890）刊 1冊 菊 仮和  
註：行状は明治14年（1881）土方怒平謹状、碑文は  
明治15年（1882）池田賚撰、毛呂正孝は莊内松山藩物頭、  
戊辰出羽戦長浜戦争の節、小隊長
- 森林助  
**在京日記** 下（森林助） YK289-22 1  
明治35（1902）～明治37（1904）写 1冊 半紙 和  
註：二冊ノ内上欠
- 門及  
**門及和尚伝** 下沢閑雲（保躬） YK289-65-1  
明治21（1888）写 1冊 半紙 仮和  
註：聞岌とも書く、莊嚴寺（現西津軽郡深浦町岡町）住  
職、天明の飢饉の時の義僧
- 八木橋平馬（繁央）  
**八木橋平馬書状** 五十嵐所吉あて YK289-176-1  
嘉永6（1853）か、写 1通
- 八木橋平馬書状** 五十嵐所吉あて YK289-176-2  
写 1通



註：岩木山参詣人の記事あり

## 山岡鉄舟

**山岡鉄舟君功績偉談** YK289-80-1

〔明治21(1888)〕写 1冊 半紙 和

註：鉄舟(1836～1888)は鉄太郎、旧幕の名士、子爵。付「武蔵正宗の記」「弘前本行寺往職協日熙・一町田大江・今敬一・長利仲聴・岩間滴・下沢保躬等ノ追悼詩歌」

## 山鹿将監(政実)

**申渡之覚** YK289-95-2

元禄12(1699)写 1通 33×46

註：召放状

## 山鹿素行

**山鹿誌** 津軽政方(耕道軒) YK289-68-1

宝永7(1710)写 1冊 半紙 仮和

註：山鹿素行伝記

政方は喜多村校尉のこと、津軽藩の家老で兵学者、母は素行の娘。附「磯谷氏伝」、本誌は肥前国北松浦郡平戸村山鹿文五郎氏所蔵原本の複製。「明治41年(1908)9月26日於平戸瑞雲寺山鹿素行子祭典祭文等と合綴

## 山田登

**〔山田登関係 史料〕** YK289-44-1

〔明治7(1874)〕写 1冊 半紙 仮和

註：県政不満出訴事件始末大般

本館所蔵岩見文庫に関連資料あり(GK216-129)

## 山野茂樹

**山野茂樹家記** YK289-31-1

写 1冊 横中 和

註：山野茂樹(1823～1882)は津軽藩士で士族授産の功労者、本書は紙背文書であるが、裏表紙に「此帳簿ハ兵法ノ事ヲ書キシモノナリ其レヲ慶応三年ニ求メタリト

ノ意ナルベシ」とあるのは、元の文書の説明であろう

**山野茂樹日記** 明治9年より明治10年 YK289-31-2

山野茂樹

明治9・10(1876・77)写 1冊 横中 仮和

註：茂樹(1823～1882)は藩校稽古館総司(第9・11代)藩政時代は用人・参政、廃藩後は士族授産の功労大、りんご試植者の一人  
紙背文書

## 瑠池院

**瑠池院消息** 津軽監物あて YK289-101-1

文化3(1806)か、写 1通

註：瑠池院は津軽信明の室、喜佐姫のこと。内容は溜池普請一件の礼

**瑠池院消息** 津軽監物あて YK289-101-2

写 1通

註：年始御礼

**瑠池院消息** 越中守あて YK289-101-3

写 1通

註：本所新御殿の件

## 横山常吉

**御賞書付** YK289-82-1

明治2(1869)写 1枚 20×78

註：戊辰役に於て矢嶋口(秋田)、蝦地各所、桔梗野等で力戦した功に対しての賞

## 吉川源十郎(従方)

**吉川源十郎(従方)書状** 諏訪門弥あて YK289-187-1

写 1通

**吉川源十郎(従方)書状** 諏訪門兵衛あて

写 1通 折紙

YK289-187-2

## 和嶋安左衛門

**和嶋安左衛門書状** 五十嵐所吉あて YK289-178-1

写 1通

## 渡辺次太夫(正敏)

**渡辺次太夫書状** 盛岡主膳、北村弥右衛門、進藤庄兵衛あて YK289-91-1

延宝5(1677)か、写 1通

註：駿河台火消役仰付、柳川素庵の件

**渡辺治太夫書状** 盛岡主膳、北村弥右衛門、進藤庄兵衛あて YK289-91-2

延宝6(1678)か、写 1通

註：御山祝儀、御山祭り、唐牛与右衛門上方首尾能

**渡辺次太夫書状** 盛岡主膳、北村弥右衛門、進藤庄兵衛あて YK289-91-3

写 1通

註：内意申入沙汰なし

**渡辺次太夫書状** 盛岡主膳、北村弥右衛門、進藤庄兵衛あて YK289-91-4

写 1通

内容：報恩寺後住の件

◇

## 〔日記〕

明治19(1886)写 1冊 半紙 仮和

註：正月～十月

YK289-18

## 〔日記〕

明治25(1892)写 1冊 半紙 仮和

YK289-19

註：正月～十月朔日

**文化辛未** YK289-24

文化8 (1811) 写 1冊 半紙 仮和  
註：私日記

**〔日記〕** YK289-27

写 1冊 半紙 仮和

**知行帳** 享保5歳10月 YK289-52

享保5 (1720) 写 1冊 美濃 仮和

**〔藩士某勤書〕** YK289 57

写 1冊 半紙 仮和  
註：文化7年～天保7年 (1810～1836)  
前後欠落

### YK290 地理学 (地誌 紀行)

**陸奥の礫石** 全 大瀬熊三郎 YK290-1

写 1冊 半紙 和  
註：熊三郎 (1867～1902) は小学校教員 (主として青森市・東津軽郡)、漢詩人 (号は咬菜・正穎・梅ノ舎主人・梅郷)、油川沿革誌・平内沿革誌等を完成

**日本名山図会** 天 谷文晁画・河村元善編 YK290-2-1

江戸 須原屋茂兵衛 文化元 (1804) 1冊 美濃 和

**日本名山図会** 地 谷文晁画・河村元善編 YK290-2-2

江戸 須原屋茂兵衛 文化元 (1804) 刊 1冊 美濃 和

**日本名山図会** 人 谷文晁画・河村元善編 YK290-2-3

江戸 須原屋茂兵衛 文化元 (1804) 刊 1冊 美濃 和

**奥州鹿角伝記** 全 下沢保躬 YK290-3

明治19 (1886) 写 1冊 美濃 仮和  
註：附録「錦木塚由来 (伊藤為憲記)」の写

**東北風談** 肝付兼武 (七之進) YK290-4-イ

安政5 (1858) 写 1冊 半紙 和  
註：本文末尾に「薩藩桜島陣人肝付兼武述通称七之進」とある

**東北風談** 肝付兼武 (七之進) YK290-4-ロ

安政5 (1858) 写 1冊 半紙 和

**東北風談** 肝付兼武 (七之進) YK290-4-ハ

安政5 (1858) 写 1冊 半紙 和

**越洲考** 井上頼国 YK290-5

東京〔神習舎〕明治刊 1冊 美濃 和  
註：頼国 (1839～1914) は、幕末・明治時代の国学者 (文学博士)、私塾神習舎主人

**秋田男鹿名勝誌** 上 狩野徳蔵 YK290-6

秋田 秋田活版社〔明治17 (1884)〕刊 1冊 半紙 和  
註：徳蔵 (1832～1925) は漢詩人、新聞人 大館市生まれ、号は旭峰

**日本地名鑑** 全 YK290-7

刊 1冊 四六 和  
註：文化6年 (1809) 以降、江戸期の本であろう

**〔阿波地誌〕** YK290-8

写 1冊 半紙 和

**出羽国風土記** 首巻 荒井太四郎編 (著) YK290-9-1

山形 編者 明治17 (1884) 刊 1冊 半紙 和  
註：秋田の漢詩人・新聞人狩野徳蔵 (1832～1925) 校訂

**出羽国風土記** 巻一 荒井太四郎編 (著) YK290-9-2

山形 編者 明治17 (1884) 刊 1冊 半紙 和

**出羽国風土記** 巻二 荒井太四郎編 (著) YK290-9-3

山形 編者 明治17 (1884) 刊 1冊 半紙 和

**出羽国風土記** 巻三 荒井太四郎編 (著) YK290-9-4

山形 編者 明治17 (1884) 刊 1冊 半紙 和

**出羽国風土記** 巻四 荒井太四郎編 (著) YK290-9-5

山形 編者 明治17 (1884) 刊 1冊 半紙 和

**出羽国風土記** 巻五 荒井太四郎編 (著) YK290-9-6

山形 編者 明治17 (1884) 刊 1冊 半紙 和

**出羽国風土記** 巻六 荒井太四郎編 (著) YK290-9-7

山形 編者 明治17 (1884) 刊 1冊 半紙 和

**出羽国風土記** 巻七 荒井太四郎編 (著) YK290-9-8

山形 編者 明治17 (1884) 刊 1冊 半紙 和

**出羽国風土記** 巻八 荒井太四郎編 (著) YK290-9-9

山形 編者 明治17 (1884) 刊 1冊 半紙 和

**奥羽観蹟聞老志** 一 佐久間義和 YK290-10-1

宮城県蔵版 明治16 (1884) 刊 1冊 四六 和  
註：義和 (1653～1736) は仙台の人、徳川中期の儒者・書画家。原本は享保4年 (1719) の著

**奥羽観蹟聞老志** 二 佐久間義和 YK290-10-2

宮城県蔵版 明治16 (1883) 刊 1冊 四六 和

**奥羽観蹟聞老志** 三 佐久間義和 YK290-10-3

宮城県蔵版 明治16 (1883) 刊 1冊 四六 和

- 奥羽観蹟聞老志 四 佐久間義和 YK290-10-4  
宮城県蔵版 明治16 (1883) 刊 1冊 四六 和
- 奥羽観蹟聞老志 五 佐久間義和 YK290-10-5  
宮城県蔵版 明治16 (1883) 刊 1冊 四六 和
- 奥羽観蹟聞老志 六 佐久間義和 YK290-10-6  
宮城県蔵版 明治16 (1883) 刊 1冊 四六 和
- 奥羽観蹟聞老志 七 佐久間義和 YK290-10-7  
宮城県蔵版 明治16 (1883) 刊 1冊 四六 和
- 奥羽観蹟聞老志 八 佐久間義和 YK290-10-8  
宮城県蔵版 明治16 (1883) 刊 1冊 四六 和
- 奥羽観蹟聞老志 九 佐久間義和 YK290-10-9  
宮城県蔵版 明治16 (1883) 刊 1冊 四六 和
- 奥羽観蹟聞老志 十 佐久間義和 YK290-10-10  
宮城県蔵版 明治16 (1883) 刊 1冊 四六 和
- 奥羽観蹟聞老志 十一 佐久間義和 YK290-10-11  
宮城県蔵版 明治16 (1883) 刊 1冊 四六 和
- 奥羽観蹟聞老志 十二 佐久間義和 YK290-10-12  
宮城県蔵版 明治16 (1883) 刊 1冊 四六 和
- 奥羽観蹟聞老志 十三 佐久間義和 YK290-10-13  
宮城県蔵版 明治16 (1883) 刊 1冊 四六 和
- 奥羽観蹟聞老志 十四 佐久間義和 YK290-10-14  
宮城県蔵版 明治16 (1883) 刊 1冊 四六 和
- 奥羽観蹟聞老志 十五 佐久間義和 YK290-10-15

- 宮城県蔵版 明治16 (1883) 刊 1冊 四六 和
- 奥羽観蹟聞老志 十六 佐久間義和 YK290-10-16  
宮城県蔵版 明治16 (1883) 刊 1冊 四六 和
- 奥羽観蹟聞老志 十七 佐久間義和 YK290-10-17  
宮城県蔵版 明治16 (1883) 刊 1冊 四六 和
- 奥羽観蹟聞老志 十八 佐久間義和 YK290-10-18  
宮城県蔵版 明治16 (1883) 刊 1冊 四六 和
- 奥羽観蹟聞老志 十九 佐久間義和 YK290-10-19  
宮城県蔵版 明治16 (1883) 刊 1冊 四六 和
- 奥羽観蹟聞老志 二十 佐久間義和 YK290-10-20  
宮城県蔵版 明治16 (1883) 刊 1冊 四六 和
- 日本国ヨリ万国へノ里程并国名 YK290-11  
顛文堂版 1枚 24×18  
(下沢保躬旧蔵)
- 海外国勢便覧 完 内田正雄 YK290-12  
江戸 須原屋茂兵衛 明治3 (1870) 刊 1冊 横中 和  
註：正雄 (1838～1876) は旧幕臣 (軍艦頭)、江戸の生まれ。教育者 (大学南校中博士)
- 国郡全図 上 青生元宣 (東谿) YK290-13-1  
大坂 河内屋喜兵衛 天保8 (1837) 刊 1冊 美濃 和  
註：青生東谿 (アアウトウケイ) は徳川末期地理学者
- 国郡全図 下 青生元宣 (東谿) YK290-13-2  
大坂 河内屋喜兵衛 天保8 (1837) 刊 1冊 美濃 和
- 名所図絵 (詩歌古記尽しるす) YK290-14  
茂林齋 (曲漢菅原陳之) 編

〔文化14 (1817)〕刊 1冊 29×9 折本  
註：別名「陸奥名碑略」  
塩釜神社神官藤塚東郷共編

- 伊豆七島全図 全 東条信耕 (琴治) YK290-15  
天保13 (1842) 刊 1枚 76×106  
註：附、無人島八十嶼図・相武房総海岸図  
校訂者 (琴台の門人3名) の中に「弘前傍島正心」がいる。正心 (太兵衛) は津軽藩御小納戸役、傍島正郡の父
- 新製地球全図 東溟毛幹編 YK290-16  
文化4 (1807) 写 1枚 101×198  
註：東溟毛幹は津軽9代藩主寧親の用人だった毛内有右衛門茂幹 (?～1837)、雲林のこと、和漢学・地理・曆法・茶道・華道・書道・特に絵画にすぐれていた

### YK290.3 地図 絵図

- 御家中屋舗絵図 宝暦9年9月改 YK290.3-1  
宝暦9 (1759) 写 1冊 半紙 和
- 十三町より小友村迄之通、舞戸村より独孤村まで中別所より百沢迄之通 有恒 嘉永7年9月 YK290.3-2  
嘉永7 (1854) 写 1冊 半紙 仮和  
註：於小泊村写之
- 宝暦前弘前士族町割図 YK290.3-3  
写 1冊 横小 和
- 町屋敷図 式冊之内 YK290.3-4  
写 1冊 横小 仮和  
註：本町支配、親方町支配、土手町支配、富田町、楮町、鍛冶町支配、東長町支配家数帳
- 町屋敷図 式冊之内 YK290.3-5

- 写 1冊 横小 仮和  
註：和徳町支配、茂森町支配、新町支配、染屋町支配、  
亀甲町支配、馬喰町支配家数之帳
- 御家中寺社屋舗町割** YK290.3-6  
写 1冊 横小 和
- 〔御家中町割〕 八木橋吉弥頼正 YK290.3-7  
文政5(1822)写 1冊 半紙 和  
註：御家中惣家数〆千五百十軒
- 享和三年御家中町割 全** YK290.3-8  
享和3(1803)写 1冊 半紙 和
- 文化四年御家中町割 全** 織田参吉 YK290.3-9  
文化4(1807)写 1冊 半紙 和
- 御家仲町割振** 享和3年正月14日 YK290.3-10  
享和3(1803)写 1冊 半紙 仮和  
註：寛政十戊午十月割方之写
- 〔御家中町割図〕 YK290.3-11  
写 1冊 横小 仮和
- 御家中町割** YK290.3-12  
文化6(1809)写 1冊 横小 和
- 中山通沢名帳** 明治4年正月 YK290.3-13  
柴田専助藤原利正  
明治4(1871)写 1冊 半紙 和
- 中通** 嘉永7年8月22日 YK290.3-14  
嘉永7(1854)写 1冊 半紙 仮和
- 中山通御山絵図** YK290.3-15  
写 1冊 美濃 和
- 〔御家中町割〕 佐藤文三郎 YK290.3-16  
寛延(1748~1750)?写 1冊 横中 和
- 西海岸長延略図** 天 YK290.3-17  
写 1冊 半紙 仮和  
註：従赤石至須郷崎
- 西海岸長延略図** 地 YK290.3-18  
写 1冊 半紙 仮和  
註：従龍鼻崎至赤石
- 東海岸長延略図** 人 YK290.3-19  
写 1冊 半紙 仮和  
註：従小湊村至龍鼻崎
- 津軽山沢絵図** YK290.3-20  
写 1冊 美濃 仮和  
註：奥州津軽郡中御沢帳(各組山役人預り明示)
- 山図式并両新田図書開発図式共** 文政9年吉日  
北沢吉郎司 YK290.3-21  
文政9(1826)写 1冊 美濃 和
- 山沢考** YK290.3-22  
写 1冊 美濃 和  
註：付…本書発見入手と贈呈の経緯を認めた大島氏書簡  
(昭和7年11月1日)、同書簡に三重県沖森書店より購  
求 八木橋武実の裏書あり(山役人預の明示)
- 津軽沿革地図** YK290.3-23  
写 1袋 津軽沿革図4葉、他1葉  
註：津軽沿革図(第一号津軽六郡并外ヶ浜之古図、第  
二号天文二年津軽鼎足割処之図、第三号津軽三郡之図、
- 第四号津軽一郡三荘之図)、他津軽郡第三大区之図
- 長勝寺門前ノ図** YK290.3-24  
元禄12(1699)写 1舗 83×44
- 鱒ヶ沢図** 中村正良 YK290.3-25  
大正14(1925)写 1舗 55×41  
(中村良之進旧蔵)
- 境松村図** YK290.3-26  
写 1枚 34×24  
註：采女様御知行
- 黒石領地図** 中村正良 YK290.3-27  
大正13(1924)写 1舗 108×78  
(中村良之進旧蔵)  
註：平内の分
- 〔津軽領内図〕 YK290.3-28  
写 1綴 半紙横 仮和  
註：弘前御城内三之丸御家形御住居、青森堤川付近図、  
長勝寺門前津軽風土地理志(大森村古城跡、君墓絵図  
面、)大鱒温泉場之図、碇ヶ関図、黒石領境界之図、津  
軽地形之図、九十三里沿海図、他
- 津軽絵図手鑑 完** YK290.3-29  
安政3(1856)写 1舗 11×40
- 〔小湊絵図〕 YK290.3-30  
慶応4(1868)写 1舗 66×72
- 〔南部境図〕 YK290.3-31  
写 1舗 56×36
- 〔岩木山図〕 YK290.3-32

- 写 1枚 28×21
- 〔岩木山図〕 YK290.3-33  
写 5 舗 (1 舗 47×33)、1 枚 34×25  
註：岩木山前面東向之図、岩木山西面之図、岩木山南面之図、岩木山北面之図、岩木山頂并道者道之図、岩木山之内硫黄岱西向
- 〔津軽・秋田領境界付近沢図〕 柴田利正 YK290.3-34  
慶応4 (1868) 写 1 舗 71×68  
註：碓ヶ関山境より大和沢山境に至る
- 下北郡の図 YK290.3-35  
写 1 舗 78×64  
註：松山の吟味下書 赤羽
- 中津軽郡藤代村地図 YK290.3-36  
大正7 (1918) 写 1 舗 132×78  
註：大正七年六月 致遠尋常小学校備付の図式を謄写す
- 三馬屋ヨリ平内迄沢名留帳略 YK290.3-37  
柴田専助藤原利正  
慶応4 (1868) 写 1 冊 横 17×24 和
- 陸奥国津軽郡 全 YK290.3-38  
写 1 冊 美濃 和
- 陸奥津軽海辺之図 YK290.3-39  
写 1 舗 166×147
- 第五大区九小区全図 YK290.3-40  
写 1 冊 美濃 仮和
- 陸奥国津軽領大図 YK290.3-41  
写 1 舗 160×170
- 油川町村両家順帳 YK290.3-42  
村庄屋喜八、町庄屋伊右衛門  
安政4 (1857) 写 1 冊 横小 和
- 青森町惣家別相改帳 YK290.3-43  
享保10 (1725) 写 1 冊 横小 和
- 〔北日本北海道地域絵図〕 YK290.3-44  
写 1 枚 39×28
- 松前箱館之図 安政6年7月 YK290.3-45  
安政6 (1859) 写 1 舗 73×71
- 北海道国郡図 YK290.3-46  
明治2 (1869) 版式 1 舗 92×109  
(開拓使蔵板)  
註：カラフト、千島列島を含む
- 蝦夷闊境輿地全図 YK290.3-47  
嘉永7 (1854) 版式 1 舗 121×100  
註：江戸 播磨屋勝五郎発兌
- 大日本全図 YK290.3-48  
東京 嵯峨野彦太郎 明治22 (1889) 刊 1 枚 52×111
- 新撰北海道輿地全図 大須賀龍沢編 YK290.3-49  
東京 松邑孫吉 明治21 (1888) 刊 1 枚 75×74
- 〔江戸絵図 明和8年〕 YK290.3-50  
江戸 江見屋吉右衛門 明和8 (1771) 刊 1 枚 61×89
- 東都近郊全図 弘化元年 YK290.3-51  
江戸 紙屋徳八 弘化3 (1846) 刊 1 枚 70×99
- 〔御江戸絵図〕〔弘化2年〕 YK290.3-52  
江戸 村田屋彦兵衛 弘化2 (1845) 刊 1 枚 69×96
- 松栄御江戸絵図 高柴三雄図 YK290.3-53  
江戸 山城屋平助 安政2 (1855) 刊 1 枚 74×97
- 江戸絵画 (文化再板) YK290.3-54  
江戸 西村与八 刊 1 枚 76×92
- 府郷御江戸絵図 (安政改正) YK290.3-55  
高柴三雄撰誌  
江戸 須原屋茂兵衛 刊 1 枚 100×106
- 〔京絵図〕 YK290.3-56  
京都 西四辻殿蔵版 刊 1 枚 52×74
- 京都市郡名所新図 全 片岡賢三編 YK290.3-57  
京都 風月庄左衛門 明治23 (1890) 刊 1 枚 52×72
- 新增細見京絵図大全 (天保改正) 完 YK290.3-58  
中村有楽齋画  
京都 竹原好兵衛 刊 1 枚 105×74
- 東京大絵図 全 明治4年改正 YK290.3-59  
東京 吉田屋文三郎 明治4 (1871) 刊 1 枚 151×182
- 佐渡全州之図 佐渡文海写 YK290.3-60  
明治6 (1873) 再刻 1 枚 34×49  
註：初刻は天保13年 (1842)
- 淀河筋図 YK290.3-61  
大坂 播磨屋九兵衛 弘化4 (1847) 刊 1 枚 41×53
- 大坂城絵図 全 YK290.3-62  
写 1 枚 71×80

- 分間江戸図** 寛政9年3月出来 **YK290.3-63**  
 菊岡米山翁沾涼図  
 江戸 須原屋茂兵衛 寛政9(1797)刊 1枚 33×47  
 註：内題「分間江都図」  
 米山翁(1680～1747)は江戸の人、俳人
- 函館港全図** 完 児玉永成編 **YK290.3-64**  
 東京 大倉孫兵衛〔明治15(1882)〕刊 1枚 50×73
- 蝦夷地図式** 二枚 寛政12年 **YK290.3-65**  
 近藤重蔵(藤原守重)  
 寛政12(1800)写 イ、1枚83×41 ロ、1枚74×47  
 註：イ、(北海道)全図1枚 ロ、(千島列島)全図1枚  
 重蔵(1771～1829)は江戸後期旗本、探検家
- 九州之図** **YK290.3-66**  
 長崎 文錦堂 文化10(1813)刊 1枚 64×89
- 鹿児島県明細図** 全 馬場幸兵衛編 **YK290.3-67**  
 大阪 田辺要蔵 明治23(1890)刊 1枚 71×99
- 鹿児島県管内全図** 鹿児島県庁 **YK290.3-68**  
 鹿児島 吉田幸兵衛 明治31(1898)刊 1枚 93×76
- 寛永江戸絵図** **YK290.3-69**  
 写 1鋪 93×124  
 註：寛永以後の写しと思われる
- 寛文十三年弘前全図** 古松堂一春斎 **YK290.3-70**  
 明治44(1911)写 1枚 98×70  
 註：津軽伯爵家御所蔵就古図調整(明治四十四年七月古松堂一春斎)

**YK291 青森県**

- 国絵図御改ニ付書出帳陸奥国津軽領変地其外相改之候目録**  
 元禄14年4月 **YK291-1**  
 勝本有左衛門、樋口理左衛門  
 元禄14(1701)写 1冊 半紙 和
- 郷村帳** **YK291-2**  
 文政元(1818)写 1冊 横中 和
- 万覚** 弘化4年3月吉日 **YK291-3**  
 弘化4(1847)写 1冊 横小 和  
 註：村日記 丸吉持(丸山氏)
- 陸奥国郡村仮名附帳** 「弘前日記方」の印 **YK291-4**  
 享和3(1803)写 1冊 美濃 和  
 註：津軽越中守領分 陸奥国津軽郡之内五百式拾八ヶ村  
 (村名に仮名)
- 村名改称并新村創立調** 享和11年11月 **YK291-5**  
 工藤嘉左衛門、奈長岡市左衛門  
 享保11(1726)写 1冊 美濃 仮和
- 津軽郡中名字** **YK291-6**  
 昭和9(1934)写 1冊 菊 仮和  
 註：竹内蔵書  
 一、福士貞蔵氏蒐録冊子ヨリ抄録ス  
 一、福士氏何ニヨリシカ不明
- 津軽県邑雜記** 藤原行儀再輯 **YK291-7**  
 写 1冊 半紙 和
- 津軽郡中郷村名字** **YK291-8**  
 謄写 1冊 半紙 仮洋  
 註：天文拾五年(1546)記録の写

- 津軽地名考** 全 **YK291-9**  
 明治11(1878)写 1冊 半紙 和  
 (下山氏秘書)  
 註：後半に橘南谿著「東遊記」あり
- 津軽地名考** 全 **YK291-10**  
 弘化4(1847)写 1冊 半紙 和  
 (玉鈴堂)
- 津軽地理考** 全 工藤白龍 **YK291-11**  
 昭和10(1935)写 1冊 菊 和  
 註：原本松野武雄氏蔵 厚意ヲ受ケ昭和十年四月十日浄写(竹内運平先生の浄写)
- 地名考** **YK291-12**  
 写 1冊 半紙 仮和  
 註：地名一覧
- 〔津軽郡村附帳〕** **YK291-13**  
 写 1冊 横中 和  
 註：享保十一丙午年九月十九日御改之表寛政十二庚申年三月再板ニ相成候
- 〔津軽郡村附帳〕** 佐藤慶吉、藤原清芳 **YK291-14**  
 文政7(1824)写 1冊 横中 仮和  
 註：代官町家中
- 村日記** 文化3年2月 **YK291-15**  
 文化3(1806)写 1冊 横小 和  
 註：巻末に享和式壬戌歳二月書之とある
- 郷邑記** 米橋景正 **YK291-16**  
 天保3(1832)写 1冊 横小 和  
 註：惣郷村記(村名、村高等の記述)

- [津軽郡村付帳] YK291-17  
写 1冊 横小 和
- 青森県管下各大区并小区村町調 山田秀典 YK291-18  
明治11(1878)写 1冊 横小 和  
註：青森県令(第七代目青森県知事)
- 御山沢名帳略 慶応4年9月中旬 柴田助次郎 YK291-19  
慶応4(1868)写 1冊 横中 和
- 青森県八郡町村名調 明治37年8月 鎌田氏 YK291-20  
明治37(1904)写 1冊 半紙 和
- 郷邑牒 慶応2年5月 長谷秀蔵 YK291-21  
慶応2(1866)写 1冊 横小 和
- 郷村帳 YK291-22  
明治4(1871)写 1冊 横小 和  
註：天保二卯年正月改と巻末にある
- 伊呂波寄郷村々附 下沢保躬 YK291-23  
慶応元(1865)写 1冊 横小 仮和
- [御領内考程実記] YK291-24  
安政2(1855)写 1冊 半紙 和  
註：里数有故而不記之
- 伊呂波分郷村牒 土岐氏 YK291-25  
寛政11(1799)写 1冊 横小 和
- 邑覚いろは寄 熊谷林吉 YK291-26  
天保2(1831)写 1冊 横小 和
- 郷村帳 定長 YK291-27  
天保2(1831)写 1冊 横小 和
- (御)郡中村名 YK291-28  
安政4(1857)写 1冊 横小 和  
註：巻末に小嶋左近写書セルモノ武実生とある
- 郷村日記 天保7年10月 八木橋彦蔵 YK291-29  
天保7(1836)写 1冊 横小 和
- 郷村諸集記 全部 本多氏 YK291-30  
写 1冊 横中 和
- 村数記 至恵 YK291-31  
明治4(1871)写 1冊 半紙 仮和  
(森林助先生旧蔵)
- [津軽郡村付] YK291-32  
天保4(1833)写 1冊 横中 和
- 御郡内郷村并駄賃所々旧跡扣 清藤氏 YK291-33  
写 1冊 横小 和
- 津軽領分大道小道磯辺路并船路之帳 慶安2年2月 YK291-34  
慶安2(1649)写 1冊 美濃 仮和  
註：慶安貳年二月出来仕吉太夫江戸へ持参御帳
- 御郡中街道 安政6年2月13日 YK291-35  
安政6(1859)写 1冊 横小 和  
註：大保屋専助持之
- 御郡中里数并名所旧跡 YK291-36  
慶応元年仲秋下浣双舎  
慶応元(1865)写 1冊 横小 仮和  
註：御一門并門閤用達右高辻帳御家中渡高御勝手惣計諸職御家業□□定、田畑法検見検地口□回異本
- 津軽領海浜通御見分御道筋御休泊附并村高里数調帳 YK291-37  
寛政5年7月  
寛政5(1793)写 1冊 半紙 和
- [沢名付] YK291-38  
写 1冊 横小 仮和
- [覚] YK291-39  
写 1冊 横小 和  
註：名山図譜、御紋形、奥州津軽三郡、御郡内行程記、他
- 平内御通筋并海辺村々里数書 寛政5年7月 YK291-40  
寛政5(1793)写 1冊 横長 和  
註：土屋御境より南部領境迄村々里数覚
- [津軽三郡行程記] YK291-41  
明治3(1870)写 1冊 19×232
- [津軽行程記] 木立守貞誌 YK291-42  
天明4(1784)写 1冊 半紙 和
- 浅虫村より平内御通筋村々并海浜道行程調帳 YK291-43  
写 1冊 横長 和
- 御代官所村家人数之帳 天和3年2月15日 YK291-44  
清野金左衛門  
天和3(1683)写 1冊 美濃 和  
註：津軽御領内支配分八冊之内三千石五所川原下切預
- 御代官所村家人数之帳 木口四郎右衛門 YK291-45  
天和3(1683)写 1冊 美濃 和  
註：津軽御領内支配分八冊之内西浜預
- [東日流一覽 津軽地形之図] YK291-46  
写 1冊 半紙 和

- 註：津軽地形之図、長延略図津軽行程記 弘藩名数考
- 〔津刈の里母美地介黎〕** **YK291-47**  
白井秀雄（菅江真澄）  
写 1冊 半紙 仮和  
註：他「深砂祠鐘銘」「古懸山国上寺鐘銘」「湯段薬師堂建碑之文」「広寒楼記」「吉田松陰東北遊日記抄」
- 青森県下鉄道沿線風土記** **YK291-48**  
昭和4（1929）1冊 新聞切り抜き 16×26 仮洋  
註：東奥日報掲載
- 郷土地誌資料（十和田道の勝景・他）** **YK291-49**  
新聞切り抜き 1冊 菊 仮和  
註：大正四年（1915）以降十和田道の勝景（黒石からの途中）、岩木山、十和田湖、嶽と湯段、大鱈温泉、他
- 津軽郡誌類** **YK291-50**  
〔明治14（1881）〕写 1冊 半紙 和  
註：津軽一統志附巻  
津軽古図第一号～第二号 陸奥国郡誌巻之一（津軽郡）他
- 御領内村日記** **YK291-51**  
明治4（1871）写 1冊 横小 和  
註：御郡中山并古跡目録之事 御領分村日記組寄目録
- 〔手鑑〕** **YK291-52**  
写 1冊 横中 和  
註：三荘組分ノ部、三荘組分村位付ノ部、新取立村名ノ部、郡内人家数ノ部、小役米ノ部、引見早算ノ部、他
- 御秘事村日記** 天保9年11月 **YK291-53**  
天保9（1838）写 1冊 横小 仮和  
註：組別村名、組高覚秘文書
- 弘前城下在郷九浦員数** **YK291-54**  
写 1冊 半紙半 仮和
- 平内領南部領境界見分一件** **YK291-55**  
延宝8（1680）写 1冊 美濃 和  
註：田山藤左衛門・関次助（治介）・坂本十之丞等、外浜下磯左京様（黒石二代領主津軽信敏）御領分御用申付ケラレ平内御山見分ノ一件
- 津軽見聞記** 附蝦夷松前聞書 **YK291-56**  
写 1冊 半紙 和  
註：宝暦8年（1758）に津軽・松前に来た上方商人の見聞記
- 津軽名勝并産物志** 稿 小山内清隆編述 **YK291-57**  
写 1冊 美濃 仮和  
註：全体上部欠損
- 封内名数** 宝暦中編集之 **YK291-58**  
写 1冊 横小 和  
註：明治36年（1903）中村良之進の注意書きが巻末にあり
- 陸奥国津軽郡誌抄** 全 **YK291-59**  
明治9（1876）写 1冊 半紙 和  
註：明治9年改正津軽地方組・郷別村名
- 地誌材料「郡荘村沿革」** 明治17年2月 **YK291-60**  
楠美晩翠  
明治17（1884）写 1冊 半紙 仮和  
（棟方悌二旧蔵本）  
註：津軽郡荘村沿革草稿、腐蝕甚しい為取扱い注意  
晩翠（1837～1887）は幕末の津軽藩士。海事・国事に奔走、詩文家
- 御巡幸ニ付津軽郡内地名故墟類書** 稿 **YK291-61**
- 下沢保躬編集  
〔明治14（1881）〕写 1冊 半紙 仮和  
註：明治14年8月22日～29日、9月7日～11日、明治天皇県内御巡幸、本県下御通輦沿道各所故跡忠臣烈士貞婦義僕勸農墳墓等大概調
- 御巡幸沿道調**（事蹟 上申扣）下沢保躬 **YK291-62**  
明治14・15（1881・82）写 1冊 半紙 仮和
- 陸奥山水** 池龍逸士 **YK291-63**  
〔明治31（1898）〕新聞切り抜き9×20 和  
註：「池龍逸士トハ弘前ノ土藤村志津廣トイウ人ナリ」と巻尾にあり、青森県内の名勝旧蹟を100回にわたって掲載している
- 藩律** 全 **YK291-64-イ**  
写 1冊 半紙半 和  
註：藩律は弘藩名数考ともいわれる地誌、時代不明、宝暦（1751～1763）頃か
- 藩律** 全 **YK291-64-ロ**  
写 1冊 横半紙半 和
- 藩律** 全 **YK291-64-ハ**  
写 1冊 横小 和
- 津軽郡四街道** **YK291-65**  
写 1冊 半折 柏  
註：内題「津軽郡四街道順路」
- 藩律** 全 **YK291-66-イ**  
写 1冊 半紙 和  
註：本書は「弘藩名数考（本館所蔵津軽古図書保存会文庫甲5-68）」の写しか  
寛政（1789～1800）頃のものか



- 藩律 全 YK291-66-ロ  
写 1冊 半紙 和
- 史蹟及名勝指定案 (西南北中津軽郡及弘前) YK291-67  
写 1冊 半紙 仮和
- 岩木の山な〔ふ〕み 鶴舎有節述 YK291-68  
〔昭和35(1960)〕複写 1冊 美濃 仮和  
註：自筆本は「岩木の山ふみ」となっている  
自筆本〔嘉永2(1849)〕は本館所蔵KK081/ツル「鶴舎有節著書第51」にあり
- 津軽古跡名勝調 〔楠美氏編〕 YK291-69  
写 1冊 半紙 仮和 〔註：損傷甚だし〕
- 岩木山模様書 全 YK291-70  
慶応3(1867)写 1冊 半紙 和
- 津軽名数考 (東日流叢書第一巻) 一戸岳逸編 YK291-71  
青森 青森通俗図書館 昭和13(1938)謄写 1冊  
半紙 大和綴  
註：附録「津軽合浦之濫觴附鯁国之説」
- 津軽名勝と文華 千歳山 中村良之進 YK291-72  
弘前 中村八郎 昭和9(1934)石版 半紙 大和綴
- 津軽実員 全 一戸岳逸編 YK291-73  
青森 青森通俗図書館 明治13(1938)謄写 半紙  
大和綴  
註：附巻「岩木山百沢寺旧記抜書」「一統志神社録」
- 弘藩名数考 YK291-74  
写 1冊 半紙 仮和
- 寛政中津軽地誌 全 奥瀬清簡 YK291-75  
文政元(1818)写 1冊 半紙半 和  
註：内題「藩津」巻尾に「此一冊者寛改年中所調之大方也具訛謬アルハ書写之罪也」とある。清簡は清閑か(1819~1860)、幕末津軽藩士、稽古館句読師、碇ヶ関奉行、十三町奉行、留守居組番頭格用人
- 名勝誌 YK291-76  
写 1冊 美濃半 和
- 廻郷見当留牒 寛政6年6月8日 YK291-77  
寛政6(1794)写 1冊 半紙 仮和
- 南部御界山ニ磁石見当之覚 文政6年4月11日  
松田常蔵 YK291-78  
文政6(1823)写 1冊 半紙 仮和  
註：常蔵(1757~1830)は津軽藩校稽古館経学学頭、儒者、名は善奇、字は正卿、号は駒水、土地測定・地図製作・地球儀製作などもした
- YK292 青森市 東津軽郡
- 善知鳥考 西沢敬秀著 YK292-1
- 青森迺菜 全 蟹沢庄三郎著 YK292-2  
明治24(1891)写 1冊 半紙 和
- YK293 弘前市 中津軽郡
- 郷土誌 清水市太郎(外崎尋常小字校長) YK293-1  
写 1冊 半紙 仮和  
註：中津軽郡新里、境関、福田、外崎、高田、小比内村、福村(現弘前市)
- 町割方御用留 YK293-2  
町制方(三奉行、作業奉行、屋敷奉行)
- 寛政10(1798)写 1冊 半紙 仮和
- 青森県中津軽郡第六組地誌 全 明治17年2月調  
明治17(1884)写 1冊 半紙 仮和 YK293-3  
註：第六組とは、富田・原ヶ平・小沢・坂元・常盤坂・悪戸・下湯口・湯口・黒瀧の九村をいう
- 和徳村地誌 YK293-4  
写 1冊 半紙 仮和
- 陸奥国津軽郡村誌 巻の一 YK293-5  
青森県編輯(明治12年)  
明治17(1884)写 1冊 半紙 仮和  
(楠美晩翠・棟方悌二旧蔵)  
註：富田・和徳・高崎・堅田・撫牛子・大久保・津賀野・百田・清野袋・向外瀬・湯口・黒滝・常盤坂・悪戸・下湯口・小沢・坂元・原ヶ平 計18村
- 弘前市沿革概要(昭和13年)弘前市役所編 YK293-6  
弘前 編者 昭和13(1938)刊 1冊 四六 仮洋
- 弘前公園と桜花(昭和8年)弘前市役所 YK293-7  
昭和8(1933)絵はがき 8枚 9×14
- YK294 黒石市 南津軽郡
- 〔常盤村地誌編纂下組〕 YK294-1  
写 1冊 横中 和  
註：他に若松村、榊村、中嶋村、小畑村、徳下村、福嶋村
- 浅瀬石川歴史絵図 佐藤雨山 YK294-2  
写 1帖 36×523
- 津軽名所旧蹟図絵(南津軽郡)佐藤雨山 YK294-3  
昭和6(1931)謄写 1帖

## 〔日記抜書〕 YK294-4

写 1冊 半紙 仮和  
 註：矢立峠、碓ヶ関に関わる記録

## 〔日記抜書〕 YK294-5

元禄 8 (1695) ～元禄 15 (1702) 写 1冊 半紙 仮和  
 註：碓ヶ関に関わる記録

## 手牒 YK294-6

写 1冊 横中 仮和  
 註：浪岡組村々の田方・畑方・人別・戸数・建馬・郷蔵・社・神主（社司・別当…）・庄屋・五人組・医者…

## 阿闍羅山伝と附近の古跡考 YK294-7

写 1冊 半紙 仮和

## 阿闍羅山伝（翠松） YK294-8

新聞切抜き・複写 1冊 半紙 仮和

## YK295 五所川原市 北津軽郡 西津軽郡

## 三新田村日記 元文 2 歳閏 11 月 YK295-1

元文 2 (1737) 写 1冊 半紙 仮和

## 輟耕坐録 YK295-2

明治 23 (1890) 写 1冊 半紙 和  
 註：「西北歴史之内」  
 老農等相集メ、新田地方歴史上及民間ニ適切ナル事柄ヲ  
 譚語スルヲ聴キシ儘記載セシモノ（編者識より）

## 郷土調査原稿 公立羽野木沢青年学校 YK295-3

昭和 13 (1938) ガリ版刷 1冊 25 × 33 仮和

## 十三物語（補正） 福土貞蔵 YK295-4

昭和 28 (1953) 写 1冊 半紙 仮和  
 註：附、十三往来解説、安東氏系譜、十三湊新城記

## 実地より観たる十三物語 福土貞蔵 YK295-5

五所川原 五所川原公民館 昭和 28 (1953) 謄写 1冊 半紙 和

## 相内村の名勝旧蹟 YK295-6-イ

謄写 1冊 半紙 ホチキス

## 相内村名勝旧蹟 三和五郎兵衛 YK295-6-ロ

謄写 1冊 半紙 ホチキス  
 註：内題「相内村の名勝旧蹟」表紙に「昭和 12 年 8 月  
 農連視察トシテ志郎参加ノ際貰受ノ分」とある

## 内潟・相内・十三史蹟資料 YK295-7

新聞切り抜き 1冊 半紙 仮和

## YK297 むつ市 下北郡

## 宇曾利山道筋案内記 安政 3 年 6 月 19 日 貞知

安政 3 (1856) 写 1冊 横中 和 YK297-1

## YK299 県外紀行

## 日記 天保 4 年 8 月 鳴海清貞 YK299-1

天保 4 (1833) 写 1冊 半紙 仮和  
 註：旅日記（江戸～飛根）

## 北役日誌 堀三義（酒田県旧士卒） YK299-2

明治 8 (1875) 写 1冊 美濃 和  
 註：5 月 28 日～9 月 26 日  
 屯田兵編伍の為、北海道開拓地を一巡見聞した旅行記

## 旅行日記（蝦夷地旅行日記）（竹内甚左衛門 YK299-3

〔文化 6 (1809)〕 写 1冊 半紙 和  
 註：自弘前西蝦夷地宗谷迄往反、自六月廿九日至十月四日（津軽藩用人竹内衛士を名代として蝦夷地見分を行った際の日記、甚左衛門は衛士の弟、この時物頭代）

## 松前福山より蝦夷地蒼野迄海陸方位并行程記 文化 4 年 9 月

貴田十郎右衛門（蒼野詰合、津軽藩士） YK299-4  
 文化 4 (1807) 写 1冊 半紙 和  
 註：蒼野は宗谷

## 〔松前西蝦夷地小名附〕 小嶋貞邦 YK299-5

安政 6 (1859) 写 1冊 横中 和  
 註：貞邦は慶応四年野辺地に於て戦死した小嶋左近のこと、安政三年三月秘記

## 松前喜昆布（増補）全 工藤白竜選述 YK299-6

写 1冊 半紙 和  
 註：白竜は江戸後期津軽の文人 本書は白竜自筆稿本

## 蝦夷草紙（上）最上徳内常矩 YK299-7

写 1冊 半紙 仮和  
 註：松前風土記 原書は寛政 2 年（1790）に成る

## 蝦夷草紙 上、下 最上徳内常矩述 YK299-8

昭和 6 (1931) 写 1冊 美濃 和  
 註：安政 5 年（1858）、宮本主膳多龍が書き写したものを、昭和 6 年、更に書き写したものである

## 〔蝦夷嶋名産紀聞〕 YK299-9

写 1冊 半紙 仮和

## 蝦夷日記 上巻 木村謙次（謙子虚） YK299-10-上

明治 44 (1911) 複写 1冊 半紙 仮和  
 註：徳川末期の北境探検察近藤守重に従い筆記した蝦夷探検紀行日記

**蝦夷日記** 中巻 木村謙次(謙子虚) **YK299-10-中**  
明治44(1911)複写 1冊 半紙 仮和

**蝦夷日記** 下巻 木村謙次(謙子虚) **YK299-10-下**  
明治44(1911)複写 1冊 半紙 仮和

**瓢流隠鏡録** 松雲堂編 **YK299-11**  
寛政5(1793)写 1冊 半紙 和  
註:伊勢国白子村船頭幸太夫、王魯者国漂流の記

**[天明六丙午年蝦夷地見聞記]** **YK299-12**  
本多三郎右衛門利明  
天明8(1788)写 1冊 半紙 仮和  
註:合綴…蝦夷東嶋シャクシャイン一揆書留、松前累系、他

**狄蜂起松前より上下狄地迄所付覚** **YK299-13**  
則田安右衛門賀忠  
寛文10(1670)写 1冊 横長 仮和

**参考土佐漂流人始末聞書〔前編〕** **YK299-14**  
〔嘉永5(1852)写 1冊 美濃 仮和  
註:土佐国中浜万次郎(ジョン万次郎)の漂流についての聞書、記書、世間話、直話、絵図等を集めている、諸国異船御届書略写の中に津軽越中守御届の写もあり

**魯齊亞伊呂波・漂民夜話・志州鳥羽流船物語・阿蘭陀船入津風説書** 桜田維徳 **YK299-15**  
写1冊 半紙 和  
註:漂民夜話〔文化3年(1806)?〕、志州鳥羽流船物語〔宝暦9年(1759)〕、阿蘭陀船入津風説書〔寛政9年(1797)〕

**仙佐行記** 楠美則敏(莊司・太素) **YK299-16**  
慶応4(1868)写 1冊 横長 仮和  
註:則敏は晩翠の父、仙台藩、佐竹藩に出張した時の旅

行記、帰途は大館の釈迦内で終わっている

**東遊雑記** 古河辰(古川子曜) **YK299-17**  
写 1冊 半紙 和

註:この写本は津軽など脱漏あり、辰(1726~1807)は徳川時代の地図学者、備中(岡山県西部)の人

**江の嶋** 金沢 鎌倉名所記 全 **YK299-18**  
鎌倉 戸川蔵版 明治6(1873)刊 1冊 半紙 仮和

**天竺渡海物語** 〔天竺〕徳兵衛 **YK299-19**  
享保12・13(1727・28)写 1冊 半紙 仮和  
註:寛永3年(1626)より〔寛永9年(1632)までの〕角倉与市(一)船の天竺渡海道中記

**京都名所山寺廻見** 元治元年 **YK299-20**  
元治元(1864)写 1冊 横小 仮和

**袖玉町鑑** 全 〔佐竹惟親編〕 **YK299-21**  
〔江戸 楓淵舎〕慶応2(1866)刊 1冊 横小 和  
註:江戸町鑑改訂版

**漂容奇談** 吉田文次(正誉) **YK299-22**  
嘉永7(1854)写 1冊 半紙 仮和  
註:原文は嘉永5年(1852)著

**唐国浙江省寧波并台湾江漂流仕候者之口書** **YK299-23**  
宝暦5(1755)写 1冊 半紙 和  
註:寧波府定海県舟山之内花山江漂流仕候奥州仙台之者拾三人 台湾之内海山江漂流仕候伊豆国之者壹人

**独逸航行日記** 斎藤璉 **YK299-24**  
明治19・20(1886・87)写 1冊 半紙 仮和  
註:璉(1843~1917)は津軽伯爵家の家令、本書は津軽英磨のドイツ留学に随行し、ベルリン到着を見と

どけて帰国した際の旅行記  
附録「津軽英磨書簡」の原本(直筆)は本館所蔵「YK289-86-1」にある

## YK300 社会科学

## YK304 論文 随筆 雑記

県庁記 萃和茂澄 YK304-1  
写 1冊 半紙 仮和

〔意見書〕 YK304-2  
明治 写 1冊 半紙 仮和  
註：津軽家範ニツイテノ意見書 呈津観家一門三家（森岡守衛殿、津軽薫殿、津軽八十五郎殿）

独有秘簡（贈大道寺太夫書） YK304-3  
天保9（1838）写 1冊 半紙 和  
註：独有は津軽藩儒医手塚玄通の字、文化五年（1808）京都在す

土着御布告記 YK304-4  
明治3（1870）写 1冊 半紙 和  
註：内題「土着布告留記 寛政四年第八月ヨリ」

覚 YK304-5  
天保7（1836）写 1冊 半紙 仮和  
註：この年、家老笠原近江免職、津軽南部大凶作飢饉、他領へ難民離散、鬼沢村百姓一揆等あり。本書はそのような社会背景をもって書かれた御政道（財政、風儀等）改革の策、他、御触（定）など

覚 笹森百郎（勘定奉行） YK304-6  
天保元（1830）写 1冊 半紙 仮和  
註：文政13年（1830）、財政逼迫時の藩財政に対する建白書。別に「極秘記」ともいわれている

御旧式排書 全 東源左衛門 YK304-7  
写 1冊 半紙 仮和

註：南部藩士東源左衛門の意見書 末尾欠損

〔覚〕 YK304-8  
文化7（1810）写 1冊 半紙 仮和  
註：津軽領内儉約、押（横）領賄賂法度、貨殖商売等

日本之共産村落 小野武夫 YK304-9  
昭和5（1930）雑誌切り抜き 1冊 菊 仮和  
註：雑誌「改造」より  
附、無産婦人と恋愛（平林たい子） 化学的犯罪の鑑定（浅田一）

秘録 玄通上書 上下 手塚子徹 YK304-10  
明和9（1772）写 1冊 半紙 和

南濱蟾蜍会談 YK304-11  
天保5（1834）写 1冊 半紙 和  
註：濱は、タマリミズ、イヶ、蟾蜍はヒキガエル。弘前南塘溜池に住む年功歴たる老蟾の会談

存寄 YK304-12  
斎藤覚兵衛貞簡（勘定人当時御勝手方勘定小頭加勢）  
天保8（1837）写 1冊 美濃 仮和  
註：本書は勘定奉行三上助直所持の原本を安政5年（1858）間山祐之嫡子助久が写したものの。藩国策についての意見書

時務政要（弘前藩山田登建白）〔下沢保躬〕 YK304-13  
明治3（1870）写 1冊 半紙 和  
註：内題「山田登存念書、原本は嘉永5年（1852）頃の書か。安政4年（1857）に写したものを更に保躬が明治3年に写したもの

井蛙集（弘前藩政意見）全 YK304-14  
写 1冊 半紙 和

註：著者無名氏とある

存寄書 完 城東陳人稲実 YK304-15  
安政3（1856）写 1冊 半紙 和  
註：此書は寛政中期、郡奉行・勘定奉行だった赤石安右衛門行建、菊池寛司正礼が天明凶作後の農村振興策として家老の牧野左次郎恒貞に進めた藩士土着の意見書

存寄書 YK304-16  
写 1冊 半紙 和

存寄書 YK304-17  
写 1冊 半紙 和

存寄書 成田滝弥 YK304-18  
写 1冊 半紙 和  
註：赤田両組郡役調方の農政意見書

管見策 笹森百郎述（下沢久輔写） YK304-19  
文久元（1861）写 1冊 半紙半 和  
註：実は寛政年中手塚玄通（藩医・財政家）述の意見書である。紙背文書

〔天朝御壺新之御趣意根元御存被承度事〕 YK304-20  
写 1冊 半紙 仮和  
註：後尾に「青森始末大略」あり

〔無罪を責し有罪を罪し無〕 YK304-21  
写 1冊 半紙 仮和  
註：幕末津軽藩士山田登（用人）等の建白書

管見策 全部 毛内宣応著 YK304-22  
万延元（1860）写 1冊 半紙 和  
註：原文は寛政初年毛内宣応存寄書。本書は、佐々木高邦（十三奉行所）筆

**管見策 全 毛内宣応著 YK304-23**

文政12(1829)写 1冊 半紙 和  
 註：原文は寛政初年毛内宣応存寄書

**管見策 完 毛内宣応著 YK304-24**

天保7(1836)写 1冊 半紙 和  
 註：原文は寛政初年毛内宣応存寄書。附、土着一件

**管見策 完 毛内宣応著 YK304-25**

写 1冊 半紙 和  
 註：原文は寛政初年毛内宣応存寄書

**毛内宣応建白書 毛内有右衛門茂肅(宣応) YK304-26**

天明4(1784)写 1冊 半紙 仮和(400字詰原稿用紙にペン字)  
 註：天明の大飢饉に遭遇し、田畑の荒廃するのを憂え、その一策として藩士の在宅—土着政策を八代藩主信明に建議した、その建白書

**御下問伏答 木村正造・長蔵 YK304-27**

写 1冊 美濃 仮和  
 註：明治初年、生産商法についての答申

**薫子建白 菅原薫子 YK304-28**

明治2(1869)写 1冊 半紙 仮和  
 註：内題「菅原薫子建白」薫子は大宮御所息女儒 西洋模範・西洋口実は国家に不測の禍を増すことを憂えての建白書

**寛政頃存寄書 全 述者不祥 YK304-29**

写 1冊 半紙 和  
 註：津軽藩財政の批判、利用通材、仁義、制法等について

**〔誠恐誠惶謹而建白仕候〕(松平容堂) YK304-30**

松平土佐守内寺内左膳・後藤象次郎・福岡藤司・神山左多衛  
 慶応3(1867)写 1冊 半紙 仮和  
 註に慶応3年、主君(容堂)代理として、王政復古(大政奉還)を將軍慶喜に建白した

**〔檄文〕 大塩平八郎 YK304-31**

天保8(1837)写 1冊 半紙 仮和  
 註：天保乱(大塩の乱)の際、兵を挙げんと近畿の地に伝えんとして書いた檄文

**〔秘録〕 手塚子徹 YK304-32**

明和9(1772)写 1冊 半紙 仮和  
 註：商家御取立之事并用捨て有之候事、百姓御養育の事、農家并植芸産物御取立之事、大工職人御取立の事

**因州建白 YK304-33**

写 1冊 半紙 仮和  
 註：五ヶ度の建白書の内三ヶ度を略し、初度目と五ヶ度目。因州は因幡鳥取藩十二代藩主池田慶徳(1837～1877)をいう

**平沢吾介より山崎先生へ参候書贖写并先生答吾介書之写**

写 1冊 半紙 仮和 YK304-34  
 註：平沢吾介(1733～1791)は字は悌侯、名は元愷、号を旭山、菟道山樵・沢元愷ともいう。儒者。山城宇治の人。1787年夏、末弘している。山崎先生は津軽藩儒蘭洲道冲(1733～1799)のこと

**〔屯田兵事情〕 YK304-35**

〔明治(1890)〕写 1冊 半紙 仮和

**会議雑誌 YK304-36**

〔明治13～20(1880～87)〕写 1冊 半紙 仮和  
 註：社倉設立ニ付貯穀割返ノ儀、備荒貯穀之儀建議、議

事堂新築地所之儀建言書、郡区長公選ヲ希望スルノ建議案、他

**治安之策ヲ定る為メ総代人江下問ほか YK304-37**

明治11(1878)写 1冊 半紙 仮和  
 註：ほか(郡立中学校御下問、西浜役場移転可否)現中津軽郡、西津軽郡

**上書 旧臣有志総代一町田大江 YK304-38-イ**

明治21(1888)コピー 1冊 B5 仮和  
 註：津軽伯爵家、津軽地方移住ヲ願ウ建言書(伯爵津軽従三位公閣下宛)

**上書 旧臣有志総代一町田大江 YK304-38-ロ**

明治21(1888)写 1冊 美濃 和

**御下向請願書 YK304-39-イ**

士民有志惣代本多庸一、小林忠之丞、楠美太素  
 明治14(1881)コピー 1冊 B5 仮和  
 註：旧藩主津軽承昭様英磨様の御下向請願書(御家扶御中)

**御下向請願書 YK304-39-ロ**

士民有志惣代本多庸一、小林忠之丞、楠美太素  
 明治14(1881)写 1冊 美濃 和

**建言 小林和太郎 YK304-40**

明治9(1876)写 1綴 半紙 仮和  
 註：青森県令山田秀典宛、副書は同参事塩谷良翰宛、第六大区長笹森儀助宛、他、小林和太郎は第六区四小区佐井村商民

**奉呈秀磨公之草稿 明治37年11月 佐藤弥六**

明治37(1904)写 1冊 半紙 仮和 YK304-41  
 註：弥六(1842～1923)は、旧津軽藩士。幕末から明治当初にかけ国事に奔走。後親方町に洋品店開業。

郡会議員。公職を去って、町の啓蒙的指導、藩史、地方史の研究に業績を残す。紅緑の父

**建白書** (津軽藩有志中) か **YK304-42**  
文久3 (1863) 写 1冊 半紙 仮和  
註：尊皇派の建白書

### YK305 逐次刊行書 雑誌

**太政官日誌** 慶応4年 第三～十一号 **YK305-1**  
京都 村上勘兵衛 慶応 (1868) 9巻合冊 菊 仮和  
註：慶応4年2月ヨリ同年4月マデ

**太政官日誌** 明治3年 第一～七号 **YK305-2**  
東京 須原屋茂兵衛 明治3 (1870) 7巻合冊 菊 仮和  
註：明治3年正月ヨリ同年2月マデ

**太政官日誌** 明治4年 第七～百十一号 **YK305-3**  
東京 須原屋茂兵衛 明治4 (1871) 104巻合冊 菊 仮和 (下沢保躬旧蔵)  
註：明治4年2月ヨリ同年12月マデ

### YK310 政治

**県庁ヲ廃置スル儀ニ付建議** **YK310-1**  
明治19 (1886) 写 1冊 半紙 仮和  
註：青森県ヲ廃シテ弘前県ヲ置キ治庁ヲ弘前に設クルコトノ建議

**此度大変革ニ付公儀被仰出之写** **YK310-2**  
文久2～明治6 (1862～1873) 写 1冊 半紙 仮和  
註：御自筆之写、御家老口達、御用人演説、詔書写、弘前支庁、太政官、司法省、教部省、式部寮、県権参事等達、触等

**野芹** [細井甚五郎紀徳民 (如来・平洲)] **YK310-3**

文政7 (1824) 写 1冊 半紙 和  
註：細井平洲 (1728～1801) は尾張の人、江戸中期の儒者

[**太政官布告第二百五十八号**] **YK310-4**  
太政大臣三條実美  
明治6 (1873) 刊 1冊 半紙 仮和  
註：御祭日、御祝日ノ布告

**布告・布達** **YK310-5**  
明治8 (1875) 刊 1綴 菊 仮和  
註：太政大臣布告 (郵便切手・ハガキ、家禄賞典事故、新貨條例)、内務卿布達 (賞典禄奉還地所払下、諸道橋梁渡船賃)、司法卿布達 (犯罪吟味願)

**収入簿控** (弘前義会) 明治28年9月 **YK310-6**  
明治28 (1895) 写 1冊 横長 仮和  
註：弘前義会は政治結社として明治28年10月6日発会、翌29年1月中弘同志会と合同して中弘政社と改称

**発会式寄附金人名簿** (弘前義会) 明治28年10月6日  
明治28 (1895) 写 1冊 横長 仮和 **YK310-7**

**発会式来会人名** (弘前義会) 明治28年10月 **YK310-8**  
明治28 (1895) 写 1冊 横長 仮和

**会議所規則** **YK310-9**  
明治3 (1870) 写 1冊 半紙 仮和  
註：弘前藩庁時代

### YK310.9 県報 布達

**県令留** **YK310.9-1**  
明治3 (1870) 写 1冊 横中 仮和  
註：官処、藩庁、太政官、知藩事、租税署、会計署、監

正署関係、諸事凡例、市在戸口書上雛形、他

[**青森港御取開ニ付士族并商売之分共引越之布令**]  
監正署 (藩庁分課) **YK310.9-2**  
[明治3 (1870)] 写 1冊 半紙 仮和

**御布告留** **YK310.9-3**  
明治4～8 (1871～1875) 写 1冊 半紙 仮和  
註：大東宝鑑 (明治5)、民部省、大蔵省事務条件、置県、職制、府県施政順序、府県奉職規則、歳入出見込会計表、他

[**青森県監正署布達** (士族卒田畑分賦)] **YK310.9-4**  
写 1冊 横長 仮和  
註：附「口上之覚 (大坂御廻米船相流候一件)」 「鯨ヶ沢御蔵米受払之表」

**諸布達伺留** 明治5年 従3月至 **YK310.9-5**  
(弘前支庁)  
明治5 (1872) 写 1冊 半紙 仮和

**諸布告留** 明治27年1月祥日 **YK310.9-6**  
明治27 (1894) 写・新聞切り抜き 1冊 半紙 仮和  
註：勅令、首相、内務大臣演説、文部省令、内務省令、詔勅、帝国議会、他

**達** 第壹・式号 青森県参事鹽谷良翰 **YK310.9-7**  
明治8 (1875) 刊 2部合綴 半紙 仮和  
註：県地租改正之義各大区区长戸長宛

**屠畜及売肉取締規則** 屠畜及売肉取締規則執行心得  
明治25 (1892) 写 1冊 半紙 仮和 **YK310.9-8**

**劇場取締規則執行心得** 明治25年4月13日 達175号  
明治25 (1892) 写 1冊 半紙 仮和 **YK310.9-9**  
註：附 鉦泉浴場取締規則、警察非常召集規則

**青森県通達留** YK310.9-10

〔明治4(1871)〕写 1冊 半紙 和  
 註：家禄税、民事堂組織事務分掌、施政事務章程ケ条、  
 青森県役員等

**種痘告諭** (ウエホウソウノサトシ)〔青森県告諭〕

各大区正副区長 YK10.9-11-イ  
 明治8(1875)刊 1冊 半紙 仮和  
 註：附「種痘規則」

**種痘告諭** (ウエホウソウノサトシ)〔青森県告諭〕

各大区正副区長 YK310.9-11-ロ  
 明治8(1875)刊 1冊 半紙 仮和

**第拾壹号布達留** 従明治10年至明治12年

YK310.9-12-1  
 明治10～12(1877～79)刊・写 1冊 半紙 和  
 註：北海道大小区画(明治11年刊)第拾壹番御用留  
 (青森県下延戸数、各種新聞抜書、諸布達等)

**第拾貳号布達留** 従明治12年至明治13年 YK310.9-12-2

明治12～13(1879～80)刊・写 1冊 半紙 和  
 註：青森県職員録(明治12年)第拾貳番御用留(諸布達—  
 営業・税・検疫・避病院・コレラ予防・他)

**青森県令** 編年目次 YK310.9-13

東京 帝国地方行政学会 大正11(1922)刊 1冊  
 四六 仮和  
 註：発行は大正11年となっているが明治11年(1878)  
 より昭和7年(1932)まで加除されて綴られている

**青森県布達綴** No.1 明治10年 YK310.9-14-1

明治10(1877)刊 1冊(合本)四六 仮和

**青森県布達綴** No.2 明治16年6月、9月、12月分

YK310.9-14-2  
 明治16(1883)刊 1冊(合本)四六 仮和

**青森県布達綴** No.3 明治17年1月、6月

YK310.9-14-3  
 明治17(1884)刊 1冊(合本)四六 仮和

**青森県布達綴** No.4 明治17年7月、11月

YK310.9-14-4  
 明治17(1884)刊 1冊(合本)四六 仮和

**青森県布達綴** No.5 自明治17年12月至18年9月

YK310.9-14-5  
 明治17・18(1884・85)刊 1冊(合本)四六 仮和

**青森県布達綴** No.6 自明治18年8月至19年4月

YK310.9-14-6  
 明治18・19(1885・86)刊 1冊(合本)四六 仮和

**青森県布達綴** No.7 自明治20年1月至21年1月

YK310.9-14-7  
 明治20・21(1887・88)刊 1冊(合本)四六 仮和

**青森県布達綴** No.8 自明治17年至21年

YK310.9-14-8  
 明治17～21(1884～88)刊 1冊(合本)四六 仮和

**雑誌**

YK310.9-15  
 明治8～11(1875～78)写 1冊 横中 和  
 註：青森県「達」「布」の写、青森県会規則  
 区戸長事務章程、村吏給料規則、稲虫予防手宛之事、他

**諸布告類纂** 明治6年8月ヨリ至極月 YK310.9-16-1

明治6(1873)写 1冊 半紙 仮和

**諸布告類纂** 従明治10年至同19年 YK310.9-16-2

明治10～19(1877～86)写 1冊 半紙 仮和

**諸布告類纂** 明治20年 YK310.9-16-3

明治20(1887)写 1冊 半紙 仮和

**諸布告類纂** 明治21年1月ヨリ至12月 YK310.9-16-4

明治21(1888)写 1冊 半紙 仮和

**諸布告達類纂** 明治22年7月ヨリ極月にいたる

明治22(1889)写 1冊 半紙 仮和 YK310.9-16-5

**諸布告達類纂** 明治23年初月ヨリ至極月 YK310.9-16-6

明治23(1890)写 1冊 半紙 仮和

**諸布達留** 明治24年経第1月至極月 YK310.9-16-7

明治24(1891)写 1冊 半紙 仮和

**諸布告類纂** 明治25年経1月至極月 YK310.9-16-8

明治25(1892)写 1冊 半紙 仮和

**諸布告類纂** 明治26年経1月至極月 YK310.9-16-9

明治26(1893)写 1冊 半紙 仮和

**諸布告類纂** 経明治29年至同31年 YK310.9-16-10

明治29～31(1896～98)写 1冊 半紙 仮和  
 註：新聞切り抜きも合綴

**諸布達** YK310.9-16-11

明治32～34(1899～1901)写・新聞切り抜き  
 1冊 半紙 仮和

YK311 政治学 政治思想

政治原論〔主権論・政体論〕 市島謙吉講述 YK311-1  
写 1冊 半紙 仮和  
註：市島謙吉（1860～1944）は著述家、学校経営者、早稲田大学図書館長、大日本図書館協会会長等

### YK312 政治史 事情

青森県々治上意見 YK312-1  
写 1冊 半紙 仮和  
註：「青森県々治上意見」〔大道寺〕繁禎等〕「管内区域改正之事」

### YK313 地方行政（県）

官員員数及分課調（弘前県） YK313-1  
写 1冊 半紙 仮和  
註：附「学校官員々数及年給調」

県治條例 明治4年10月 YK313-2  
明治4（1871）写 1冊 半紙 仮和

摘要〔中津軽郡役所〕 YK313-3  
〔明治4～28（1871～95）〕写 1冊 半紙 和  
註：廃藩置県、五県合併、各出張所々轄、市役所町村役場位置、警察区画、第三大区（中津軽郡）、郡役所位置、里程、長官、区郡長、戸籍、社寺、他

### YK314 地方議会（県）

青森県会議日誌 一 YK314-1  
〔明治9（1876）〕刊 1冊 半紙 仮和

青森県会手続書 YK314-2  
刊 1冊 半紙 仮和

青森県第三回県会議事筆記 上 YK314-3  
明治14（1881）596頁 1冊 19×14 和

青森県第三回県会議事筆記 下 YK314-3-2  
明治14（1881）539頁 1冊 19×14 和

青森県第四回通常県会決議録 YK314-4  
〔明治15（1882）〕129頁 1冊 19×14 仮和

青森県臨時県会議事筆記 完 YK314-5  
明治14（1881）113頁 1冊 19×14 和

青森県第四回通常県会議事筆記 三冊ノ内下 YK314-6  
〔明治15（1882）〕507頁 1冊 19×14 和

青森県会規則 YK314-7  
〔明治9（1876）〕刊 1冊 半紙 仮和

区会規則（青森県） YK314-8  
明治 刊 1冊 半紙 仮和

### YK317 行政

営繕諸帳面并図式調 明治4年11月 YK317-1  
営繕署（弘前藩会計局）  
明治4（1871）写 1冊 半紙 和

### YK317.9 消防 防火

三町火消御人数御行列 天保7年11月写之 YK317.9-1  
天保7（1836）写 1冊 横小 和

火消方御用留 慶応3年2月 武田富三郎 YK317.9-2  
慶応3（1867）写 1冊 半紙半 和

### YK318 市町村自治

署用留（式番） YK318-1  
〔明治4（1871）〕写 1冊 横中 仮和  
註：藩庁（県庁）、監正署、租税署、戸籍署、山林署、元物産署、会計局、太政官（民部省、大蔵省、弁官）等の用留

郡村規則 YK318-2  
明治3（1870）写 1冊 半紙 和  
註：郡村規則、職掌規則、聴訟規則、出納規則

第三大区七八両区役所屋敷地并諸道具調帳 明治6年4月  
明治6（1873）写 1冊 半紙 和 YK318-3  
註：第三大区七（小）区は船沢村（現弘前市）大浦村（現岩木町）、八（小）区は高杉村、裾野村（現弘前市）

### YK318.3 弘前市 中津軽郡

明治七八年之証印願 YK318.3-1  
当時弘前之戸長并副戸長組頭町用係  
明治7・8（1874・75）写 1冊 半紙 仮和

諸届諸書願手扣 明治9年1月25日 YK318.3-2  
明治9～大正7（1876～1918）写 1冊 半紙 仮和  
註：弘前在住土族葛西（啓太・剛太郎……）家

景況綴 第1号〔中津軽郡役所〕 YK318.3-3  
明治11（1878）写 1冊 半紙 仮和  
註：各村景況書、十一年各村巡回日誌村落情態概略、堀越組各村の生計実況、巡回記事・親展（一町田大江）、他「思案草」「大宝恵」合綴

旧藤代組戸長職務調 溝江万蔵 YK318.3-4  
明治14（1881）写 1冊 半紙 仮和



註：万蔵は明治10年第三大区二小区副戸長・区費係だったが明治14年は？

**用心規約之儀ニ付願** YK318.3-5

中津軽郡福村規約惣代人（木村卯三郎・木村半十郎）  
明治21（1888）写 1冊 半紙 和  
註：弘前警察署長宛「火難・盗難ノ用心規約之草案」

**第二十一区五代村管費用水樋願案内帳** YK318.3-6

明治5年7月 庄屋白取久左衛門  
明治5（1872）写 1冊 半紙 和

**青森県管轄津軽郡第二十区内小二区ヨリ他府県江寄留総計**

明治5年2月改 YK318.3-7  
戸長三上虎平太 大場忠八  
明治5（1872）写 1冊 美濃 和  
註：旧弘前市内の一部

**青森県中津軽郡茂森新町古堀新割町戸籍加除調**

明治15年 松野広吉（弘前町第四戸長） YK318.3-8  
明治15（1882）写 1冊（合綴）半紙 仮和  
註：第1・2・4・5・6・7・8・11月中 8冊合綴

**YK318.4 黒石市 南津軽郡**

**第五区定理** 大平宣義 YK318.4-1

明治5（1872）写 1冊 横中 仮和  
註：南津軽郡上水木・久井名館・富柳・増館・福左内・下十川・銀・杉・松枝・女鹿沢・佐野・赤柴・樽沢・福館・郷山前・吉野田の各村の戸主名。他心得留・御布令留・規則留

**一郡町村聯合会議案** 明治13年度 YK318.4-2

明治13（1880）写 1冊 美濃 仮和  
註：南津軽郡

**緊要留** 横山龍雄（龍太郎） YK318.4-3

慶応2～明治25（1866～92）写 1冊 半紙 仮和

**規則留** 明治5年 大平宣義 YK318.4-4

明治5（1872）写 1冊 横中 仮和  
註：青森県黒石出張所留 各区役人職掌心得ノ規則書他

**通達留** YK318.4-5

明治10（1877）写 1冊 半紙 和  
註：「四位様ヨリ各村士族へ御内達」（津軽承昭公ヨリ士族ニ布セラレタル諭告書）「新撰旅団編入約法」「内務省ニ於テ新撰旅団編入巡查取扱手続」等

**会議録** 明治9年 YK218.4-6

明治9（1876）刊写 1冊 半紙 和  
註：内容に「明治八年黒石小学経費表」もあり

**一郡町村聯合会議案** 明治12年・15年 YK318.4-7

南津軽郡役所  
明治12・15（1879・82）写 1冊（2冊合綴）半紙 仮和

**YK318.5 五所川原市 北津軽郡 西津軽郡**

**第五大区六区浅井村人員年齢調帳** 明治8年12月

浅井村村用係藤田忠助 YK318.5-1  
明治8（1875）写 1冊 半紙 仮和  
註：浅井村は現五所川原市内

**〔第五大区六小区浅井村地番帳〕** YK318.5-2

写 1冊 半紙 仮和  
註：浅井村は現五所川原市内

**YK318.7 むつ市 下北郡**

**三小区会議誌（第六大区）** YK318.7-1

写 1冊 半紙 仮和

註：第六大区三小区は下北郡正津川、大畑、下風呂の三村。正津川、大畑は現大畑町・下風呂は現風間浦村

**YK319 外交 国際問題**

**外務省日誌** 明治3年自一卷至廿一卷 YK319-1

東京 大和屋喜兵衛 明治3（1870）刊 21巻合冊  
菊 仮和  
（下沢保躬旧蔵）  
註：明治3年正月元日ヨリ同年10月29日マデ

**清国事件一條** 諸布告達 明治33年 YK319-2

明治33（1900）写・新聞切抜 1冊 半紙 仮和

**北京特派員報告** YK319-3

明治34（1901）新聞切り抜キ 1冊 半紙 仮和  
註：東京日日新聞切り抜キ

**YK322 法制史**

**〔百官職掌便覧〕** 磯谷則吉 YK322-1

享和元（1801）版 1冊 横小 和  
註：法制

**職原抄** 上 北畠親房著 YK322-2-1

中原職忠 正保2（1645）重刊 1冊 美濃 和

**職原抄** 下 北畠親房著 YK322-2-2

中原職忠 正保2（1645）重刊 1冊 美濃 和

**YK322.5 武家法後期（藩政）**

**（覚書）** YK322.5-1

写 1冊 横長 仮和

註：勤方取扱覚					
[覚]	YK322.5-2	年始八朔 端午 重陽 写 1冊 美濃 和 註：七代藩主津軽土佐守信寧の時代	YK322.5-11	諸事心得覚扣 天保8年5月 相馬氏 天保8(1837)写 1冊 横小 和	YK322.5-19
嘉永2(1849)写 1冊 横中 和 註：御近習小姓井上豊吉御奉公遠慮伺ノ一件、他					
[覚]	YK322.5-3	[着服之覚] 写 1冊 横長 仮和 註：正月～六月	YK322.5-12	[勤式覚] 明和4(1767)写 1冊 横中 仮和 註：正月元日ヨリ正月廿五日マデ(藩主側近藩士の手記か)	YK322-20
写 1冊 横小 和 註：諸礼定格類例					
[覚]	YK322.5-4	江戸年中着服 写 1冊 折本 9×15 註：御家老御用人年中並不時着服	YK322.5-13	諸事日記 嘉永7年閏7月より8月下旬迄 嘉永7(1854)写 1冊 半紙 和	YK322.5-21
写 1冊 横小 和 註：諸(書)式類例・他					
御次第一列 天保5年12月 天保5(1834)写 1冊 横長 和	YK322.5-5	[江戸年中着服] 写 1冊 折本 9×15 註：御家老御用人年中並不時着服之事	YK322.5-14	江戸御供方御城内心得 文政9年3月 文政9(1826)写 1冊 横小 仮和 註：五冊之内	YK222.5-22
式礼 古山直温 写 1冊 半紙 和	YK322.5-6	御奉書等書例 安政5(1858)写 1冊 美濃 仮和	YK322.5-15	江戸御屋敷勤方御用留 天明5年正月吉日 石黒清盈 天明5(1785)写 1冊 横長 仮和	YK322.5-23
諸礼定格類例 天保4(1833)写 1冊 半紙 和	YK322.5-7	諸事日記 寛政9(1797)～天保15(1844)写 1冊 半紙 和	YK322.5-16	京都弘前藩邸年中御格帳 下沢保躬 慶応元(1865)～明治2(1869)写 1冊 半紙 仮和 註：当時、下沢は京都御屋敷役所詰公用方取次役 筆生(兼近衛家執事)	YK322.5-24
御目録格帳 草稿 写 1冊 半紙 仮和 註：文化3年(1806)～文政11年(1828)	YK322.5-8	十三別段心得日記 安政元年12月・翌正月中 安政元(1854)～2年(1855)写 1冊 半紙 和	YK322.5-17	[江戸御台所諸席御定等覚書] 写 1冊 横小 和	YK322.5-25
大概抜書 全 慶応2(1866)写 1冊 半紙 和 註：上之事 文政八年ヨリ元治元年ニ至ル 中奥御用物の印あり	YK322.5-9	御郭中日記 二 写 1冊 横半紙半 和 註：文化・文政・天保の頃の記事 御郭中御修復の事、諸扱 一は欠	YK322.5-18-1	[屋舗之部] 写 1冊 半紙 仮和	YK322.5-26
文法式 宝永3年 季冬 宝永3(1706)写 1冊 半紙 和 註：内題「温古制新」	YK322.5-10	御郭中日記 三 写 1冊 横半紙半 和 註：文化・文政・天保の頃の記事	YK322.5-18-2	武家學要 全 刊 1冊 横小 和	YK322.5-27
				諸役人順烈帳 万延元(1860)写 1冊 横長 仮和	YK322.5-28

- 註：佐竹藩
- 〔御郭内外惣而御供御先番集〕 YK322.5-29  
写 1冊 横中 和
- 御參勤 天保11年ヨリ弘化3年迄 YK322.5-30  
御書方（御側役）  
天保11（1840）写 1冊 半紙 和  
註：御參勤二付御献上御贈物并御奉文一件 3冊之内
- 御供役勤方心得同下々江被仰渡書 天保13年6月  
天保13（1842）写 1冊 半紙 和 YK322.5-31
- 御暇一件 天保10年より弘化4年迄 YK322.5-32  
御書方（御側役）  
天保10（1839）～弘化4（1847）写 1冊 半紙 和
- 両組御警衛登勤書之写 万延元年 YK322.5-33  
万延元（1860）写 1冊 横小 和
- 申合仕直留帳但出張御事筆筒江入 寛政13年  
寛政13（1801）写 1冊 横小 仮和 YK322.5-34
- 三厩手扣 天保14年10月認之 経成 YK322.5-35  
天保14（1843）写 1冊 横小 和
- 海岸廻手帳 安政5年8月3日 二唐吉次郎 YK322.5-36  
安政5（1858）写 1冊 横小 和
- 平館湊勤方〔覚〕 文政11年12月 三上幸長  
文政11（1828）写 1冊 横長 和 YK322.5-37  
註：御下浜二付扱同一件諸手形認様 公儀御目付衆御通行之節扱向一件 松前様御通行之節扱向一件
- 海岸勤補 横山直勝 YK322.5-38
- 嘉永7（1854）写 1冊 横中 和
- 辻番御條目 YK322.5-39  
貞享元（1684）～享保20（1735）写 1冊 半紙 仮和  
註：辻番御條目并御張紙附建直之修覆心得并勤方
- 和律 乾 松平左近将監 YK322.5-40- 乾（上）  
寛保2（1742）写 1冊 半紙 仮和  
註：嘉永7（1854）年の写 寛保2年、松平左近将監が命を受けて編纂した江戸幕府の法典、公事方御定書である
- 和律 坤 YK322.5-40- 坤（下）  
正徳5（1715）写 1冊 半紙 仮和  
註：嘉永7（1854）年の写
- 武家諸法度 諸家々中并旅人御関所口取扱 YK322.5-41  
源宅俊 嘉永4年7月  
嘉永4（1851）写 1冊 横小 和
- 出奔人公儀江書上并他領無宿者取扱向 YK322.5-42  
天明2（1782）～天保8（1837）写 1冊 半紙 仮和
- 刑罪大秘録 全 横山光観 YK322.5-43  
写 1冊 美濃 和  
註：文化年間以降か？ 蔵印「御日記方」
- 〔和律 乾〕 YK322.5-44- 乾  
写 1冊 半紙 和  
註：寛保2（1742）に松平左近将監（乗邑）が命を受けて編纂した江戸幕府の法典、公事方御定書である
- 〔和律 坤〕 松平左近将監 YK322.5-444- 坤  
寛保2（1742）写 1冊 半紙 和  
註：天保3（1832）年の写（相馬右太郎）
- 公儀御浦触之写 YK322.5-45  
写 1冊 半紙 仮和
- 新律綱領 首卷、卷一、卷二、卷三、卷四、卷五  
明治4（1871）写 1冊 半紙 和 YK322.5-46
- 検使御用勤方心得并転切支丹類族死骸見分覚書  
嘉永5年間2月 五十嵐張蔵 YK322.5-47  
嘉永5（1852）写 1冊 半紙 仮和  
註：紙背文書
- 御定法條々 越後屋長左衛門（土手町名主） YK322.5-48  
写 1冊 半紙 和
- 取引御定書写 乙酉年11月 YK322.5-49  
文政8（1825）写 1冊 半紙 仮和  
註：浪岡組御役所
- 諸取引御定書 文政8年4月 YK322.5-50  
文政8（1825）写 1冊 半紙 和  
註：駒越組御代官所
- 〔條目〕 YK322.5-51  
写 1冊 横長 仮和  
註：明治初年か？
- 本藩令式 人 YK322.5-52  
写 1冊 半紙 和  
註：弘前藩
- 藩令 完 YK322.5-53  
写 1冊 横 15×20 和  
註：本藩令式（弘前藩）

御定法 全 安政7(1860)写 1冊 半紙 和 註：内題「秘事心得留 全」	YK322.5-54	正之摘要集(勇)对馬富之助正之 嘉永2(1849)写 1冊 半紙 和	YK322.5-61-4	遠慮御定 文政7(1824)写 1冊 折本 10×23 註：蔵印「御日記方」	YK322.5-67
諸事御刑法心得帳 嘉永3年12月中 嘉永3(1850)写 1冊 半紙 和	YK322.5-55	本藩令式 上 写 1冊 半紙 和 註：弘前藩	YK322.5-62-上	〔御定書 下〕 写 1冊 半紙 和	YK322.5-68
罪科之者御仕置箇条(御刑法御例附)全 下沢此吉繁雄(御日記役) 寛政8(1796)写 1冊 半紙 和 註：江戸中期津軽藩家老牧野左次郎桓貞の旧蔵本の写	YK322.5-56	本藩令式 中 写 1冊 半紙 和	YK322.5-62-中	和律 全 写 1冊 半紙 和	YK322.5-69
條例秘鑑 蒔苗建州 天保6(1835)写 1冊 半紙 和 註：原冊は寛政7(1795)年、工藤奎左衛門書	YK322.5-57	本藩令式 下 写 1冊 半紙 和	YK322.5-62-下	規範 弘化2年10月 工藤祐善 弘化2(1845)写 1冊 半紙 仮和	YK322.5-70
博奕之儀ニ付僉議之口書 安政4年5月 安政4(1857)写 1冊 半紙 和	YK322.5-78	旧藩政事刑典調遺集 写 1冊 半紙 和 註：元禄年間ヨリ明治年間マデ	YK322.5-63-1	御定法書 写 1冊 半紙 和	YK322.5-71
御刑法 完 写 1冊 半紙 和	YK322.5-59	旧藩政事刑典調遺集 明治3(1870)写 1冊 半紙 和	YK322.5-63-2	御家法書 文政9年正月 文政9(1826)写 1冊 半紙 仮和	YK322.5-72
藩律 完 写 1冊 半紙 和	YK322.5-60	旧藩政事刑典調遺集 写 1冊 半紙 和 註：中津軽郡役所罫紙使用	YK322.5-63-3	御定法古格(弘前藩)上 写 1冊 半紙 和	YK322.5-73-上
公案集並正之摘要(仁) 对馬富之助正之 嘉永2(1849)写 1冊 半紙 和	YK322.5-61-1	用法秘書 横山直勝 嘉永6(1853)写 1冊 横中 和 註：湊方五行、船法度、船御條目	YK322.5-64	御定法古格(弘前藩)中 写 1冊 半紙 和 註：「妙心院公(四代藩主信政公)御代ヨリ上仙公(九代藩主寧親公)御代ニ至ル」と表紙に記されている	YK322.5-73-中
正之摘要集(義)对馬富之助正之 嘉永2(1849)写 1冊 半紙 和	YK322.5-61-2	郡台格帳 写 1冊 半紙 和 註：諸法制	YK322.5-65	御定法古格(弘前藩)下 写 1冊 半紙 和	YK322.5-73-下
正之摘要集(才)对馬富之助正之 嘉永2(1849)写 1冊 半紙 和	YK322.5-61-3	〔御刑法御定〕 寛政9(1797)写 1冊 半紙 和	YK322.5-66	御定法古格 上 写 1冊 半紙 仮和 註：弘前藩	YK322.5-74-上
				御定法古格 下	YK322.5-74-下

- 写 1冊 半紙 仮和
- 御定法古格 中** **YK322.5-75- 中**  
写 1冊 半紙 和
- 御定法古格 下** **YK322.5-75- 下**  
写 1冊 半紙 和
- 〔御定法古格 上〕** **YK322.5-76- 上**  
文久2 (1862) 写 1冊 半紙 和
- 〔御定法古格 下〕** **YK322.5-76- 下**  
文久2 (1862) 写 1冊 半紙 和
- 御定法古格 (下之巻)** **YK322.5-77**  
安政4 (1857) 写 1冊 半紙 仮和
- 御定書** **YK322.5-78**  
写 1冊 横中 和  
註：伺之部并言上之部 御家老聞届之部 御用人聞届之部 御取立向 蔵印「御日記方」
- 覚 (此度被仰渡之儀)** **YK322.5-79**  
写 1冊 半紙 仮和  
註：郡奉行より惣組代官へ。代官より、町役、村役へ。在方の者の衣服・履物・酒肴・諸見物、その他について質素、儉約すべき旨の達
- 〔御定法古格〕** **YK322.5-80**  
写 1冊 半紙 仮和
- 式令 上** **YK322.5-81- 上**  
元文5 (1740) ~文久2 (1862) 写 1冊 横中 和  
註：願・伺・屈の様式、触書等の覚書
- 式令 下** **YK322.5-81- 下**  
文久2 (1862) 写 1冊 半紙 和
- 式令 臨時** **YK322.5-81- 臨時**  
写 1冊 横中 和
- 〔覚〕** **YK322.5-82**  
写 1冊 横小 仮和  
註：文化年間 事件等
- 〔検使綱目〕** **YK322.5-83**  
写 1冊 横中 仮和  
註：宝暦年間~文化年間 変死見分義等
- 覚書 寛延4年11月 竹内長左衛門嘉兌** **YK322.5-84**  
寛延4 (1751) 写 1冊 横中 仮和  
註：取捌心得、慮外者討留、敵打、欠込者、起請文、口上、伺書等
- 刑法 横山喜兵衛直勝** **YK322.5-85**  
安政2 (1855) 写 1冊 横中 和  
註：内題「刑法秘書」
- 掌中秘鑑** **YK322.5-86**  
正徳4 (1714) ~文政8 (1825) 写 1冊 折本 7×15
- 藩律 公裁秘格** **YK322.5-87**  
藩律 弘化3 (1846) 公裁秘格 万延2 (1861) 写 1冊 横中 和
- 文化律 全** **YK322.5-88**  
写 1冊 半紙 和  
註：寛政律を改正し、文化7 (1810) 年に完成
- 検使御用勤書 文久2年10月 永井龍之助** **YK322.5-89**  
文久2 (1862) 写 1冊 半紙 仮和  
註：紙背文書
- 諸取引御定書 文政8年御改** **YK322.5-90**  
文政8 (1825) ~天保14 (1843) 写 1冊 半紙 和  
註：附其後時々取引御触書共
- 申渡書留其外心得書** **YK322.5-91**  
写 1冊 半紙 和
- 末期判元見届方心得 嘉永元年** **YK322.5-92**  
嘉永元 (1848) 写 1冊 半紙 和
- 御馬廻御減勤方 慶応2年9月 長治** **YK322.5-93**  
慶応2 (1866) 写 1冊 半紙 和
- 旧藩官制 工藤主編** **YK322.5-94**  
写 1冊 半紙 和  
註：紙背文書
- 御定覚書 桜田維徳** **YK322.5-95**  
文化11 (1814) 写 1冊 半紙 和  
註：公義・御家中・御目見以下・寺社方 (在勤加役諸組、他、外覚書 (明珠家系・鎧工角力・角力銘尽・陰陽成形図))
- 御用勤方之留帳 貞享4年2月** **YK322.5-96**  
貞享4 (1687) 写 1冊 美濃 和
- 秘事心得書 文久2年6月 成田熊之助** **YK322.5-97**  
文久2 (1862) 写 1冊 横小 和  
註：内題「御城中御郭廻見<sub>レ</sub>場所扣
- 御小姓組勤書留 (弘前藩) 豊嶋庸行** **YK322.5-98**  
写 1冊 横小 和

- 御定御貸人調帳 元治元年12月(高田文庫) YK322.5-99  
元治元(1864)写 1冊 横小 和
- 御定御貸人調帳 元治元年12月(下沢) YK322.5-100  
元治元(1864)写 1冊 横小 仮和
- 御番勤方留記 文久2年5月 YK322.5-101  
文久2(1862)写 1冊 横小 仮和
- 勤方秘書 横山直勝 YK322.5-102  
弘化4(1847)写 1冊 横小 和  
註:足軽目付勤式
- 勤方覚 YK322.5-103  
写 1冊 横小 和  
註:文化・文政年間 当番取扱之覚(非番・加番・在宿)
- 御目見以下次第帳 YK322.5-104  
写 1冊 横小 仮和
- 覚 YK322.5-105  
写 1冊 横小 仮和  
註:御上屋鋪勤方之事、他
- [御目付勤式] YK322.5-106  
安永4(1775)~文化3(1806)写 1冊 横小 和
- 役筋勤式 横山直勝 YK322.5-107  
写 1冊 横小 和  
註:内題「秘書」 御徒目付勤式
- [十三ヶ所] 勤番心得書 御用書 YK322.5-108  
[天保5(1834)]写 1冊 横小 和  
註:大間越、深浦、金井ヶ沢、十三、小泊、三厩、今別、蟹田、後潟、油川、青森、野内、碓ヶ関
- 勤仕御番記 荒木関宇兵衛 YK322.5-109  
寛政7(1795)~寛政10(1798)写 1冊 横小 仮和
- 改正職制規則 改正職制一列 YK322.5-110  
明治2(1869)写 1冊 横小 和
- 御政体御改革二付御家中御役等席緑定并御廃止役々格役准役御役免隠居嫡子准序定次第書 YK322.5-111  
明治2(1869)写 1冊 横小 和
- 旧藩御家中列集 天保11年4月15日 YK322.5-112  
天保11(1840)写 1冊 横10×24 和
- [秘儀口伝書] YK322.5-113  
写 1冊 横中 和
- 改正職制一列 明治2年7月 池田盛由 YK322.5-114  
明治2(1869)写 1冊 横小 和
- 御家中御次第 YK322.5-115  
写 1冊 横小 仮和
- 御次第 文化15年正月吉日 YK322.5-116  
文化15(1818)写 1冊 横小 和  
註:弘前藩御目見以上、以下、寺社方
- 御徒目付并足軽目付次第宿書とも諸事勤覚 嘉永2年10月上旬 YK322.5-117  
嘉永2(1849)写 1冊 横小 和
- 御次第一列 天保己亥仲夏 楠美則悠 YK322.5-118  
天保10(1839)写 1冊 横小 和
- 袖珍覚 YK322.5-119  
文政10~弘化2(1827~1845)写 1冊 横小 仮和  
註:弘前 在方 九浦 人別戸数仕分之覚  
御家中御次第、他
- 御家中御次第 弘化4年9月吉祥日 YK322.5-120  
芳賀左門  
弘化4(1847)写 1冊 横小 和
- 勤式手拍撰集 安政3年8月 YK322.5-121  
安政3(1856)写 1冊 横小 仮和  
註:盛正(花押)あり
- 御次第書 伊東祐清 YK322.5-122  
文政12(1829)写 1冊 横小 仮和
- 御役秘書袋 YK322.5-123  
写 1冊 横小 仮和  
註:安永・天明・寛政の頃御城泊番、検使(切腹・変死・死骸見分)
- 御目見以下御次第 YK322.5-124  
写 1冊 横小 和  
註:蔵印「御日記方」
- 執政職掌故 YK322.5-125  
写 1冊 横中 和  
註:宝永年間以前か
- 物奉行動式 文久元年卯月吉日 好義亭 YK322.5-126  
文久元(1861)写 1冊 半紙 仮和
- 諸役勤方 YK322.5-127  
寛文4(1664)写 1冊 半紙 仮和

- 御手廻勤格** 嘉永5年臘月 五十嵐張蔵 YK322.5-128  
嘉永5(1852)写 1冊 半紙 仮和
- 御目見以下一列御改制** 明治2年9月25日  
明治2(1869)写 1冊 半紙 和 YK322.5-129
- 青森寄合勤書** 三 YK322.5-130  
写 1冊 半紙 和  
註：内題「青森在番勤書」元禄年間～安政年間(1688～1780)
- 御役秘法之事** 横山源直勝 YK322.5-131  
安政3(1856)写 1冊 横中 和  
註：内題「御徒目付被仰付候節古役伝授」
- 諸事勤方心得** 安政4年8月 横山真勝 YK322.5-132  
安政4(1857)写 1冊 横中 和  
註：代目付心得 式不時番心得 手明き漬心得 諸はより書心得
- [当番勤方心得]** YK322.5-133  
写 1冊 横中 和  
註：延宝年間～明和年間(1673～1771)
- 御手廻急用番勤方** YK322.5-134  
写 1冊 横中 和
- 御手廻検使御用勤方留帳** YK322.5-135  
七戸金五郎源清肇  
享和2(1802)写 1冊 横中 仮和
- 御手廻御番所覚帳** 明和4年12月 YK322.5-136  
竹内長左衛門  
明和4(1767)写 1冊 横中 仮和  
註：末尾に「宝曆五乙亥年初秋吉辰 選者杉沢市太夫
- 筆者工藤空左衛門」とある。杉沢市太夫は津軽藩校法律学頭
- 御城中勤向** YK322.5-137  
延宝3(1675)写 1冊 横小 和
- 御簾番年中御供勤方并不時心得** 文政9年3月  
文政9(1826)写 1冊 横小 和 YK322.5-138
- 御目見以上以下一列御次第** 壬寅初夏 YK322.5-139  
天保13(1842)写 1冊 横小 和
- 役筋心得書** YK322.5-140  
写 1冊 横小 和  
註：内題「勤所御用下書秘鑑 全」
- 御改革御家中一列御次第帳并是迄之御役御廃止** 巳ノ6月  
写 1冊 横小 仮和 YK322.5-141
- 秘書** 嘉永7年7月 YK322.5-142  
嘉永7(1854)写 1冊 横小 仮和  
註：奉窺候部、言上之部、御家老承届候部 御用人承届之部
- 御格式御定** 嘉永2年正月吉日 神盛章 YK322.5-143  
嘉永2(1849)写 1冊 横小 和
- 御代官勤式帳** YK322.5-144  
写 1冊 半紙 和
- 秘書** 此不他見 YK322.5-145  
写 1冊 半紙 和
- 御湯治先御用扱心得書** 文化15年 佐藤新蔵  
文化15(1818)写 1冊 半紙 仮和 YK322.5-146
- 所々御出之節心得書** 全 天保7年9月 YK322.5-147  
天保7(1836)写 1冊 半紙 和
- 御家中一列御次第** YK322.5-148  
安政4(1857)写 1冊 横中 和
- 勤秘録** YK322.5-149  
写 1冊 横中 仮和  
註：申渡、言上等の法 天保4(1833)年以後の記か
- 検使勤式之写** YK322.5-150  
写 1冊 横中 仮和
- 御手廻勤向覚** 天保6年3月吉日 YK322.5-151  
天保6(1835)写 1冊 横中 仮和
- 御台所廻御取立願下書** 文久2年8月 YK322.5-152  
文久2(1862)写 1冊 横中 仮和  
註：高義(花押)あり 紙背文書
- 勤式手扣擢集** 文政11年3月吉日 守徳 YK322.5-153  
文政11(1828)写 1冊 横長 仮和
- [勤式]** YK322.5-154  
写 1冊 横中 仮和  
註：御用番認様、御城中張所之事、高岡御祭礼御用懸勤式、駒寄御用懸勤式
- 改正職制一列** 明治2年夏5月 YK322.5-155  
明治2(1869)写 1冊 横中 和  
註：御廃止役々并格段准席定 役免并隠居嫡子准席定御規則
- 勤簾簡條書** 安政4年2月 横山真勝 YK322.5-156

- 安政4(1857)写 1冊 横 21×11 仮和  
註：内題「御徒目付勤所之覚」
- 桜木御殿御番帳** 元治元年4月 **YK322.5-157**  
五十嵐所吉  
元治元(1864)写 1冊 横長 仮和  
註：五十嵐は津軽藩士。この時、京都警衛任務
- 御日記役勤向受記** **YK312.5-158**  
下沢小左衛 門藤原繁雄  
写 1冊 横中 和  
註：文政7(1824)年か、それ以降の記
- 諸事心得留** 安政3年8月 横山真勝 **YK322.5-159**  
安政3(1856)写 1冊 横中 仮和
- 浦々勤番こゝろえ附録** **YK322.5-160**  
写 1冊 横中 仮和
- 不時 上 吉 鳴海清胤** **YK322.5-161-上**  
宝暦10(1760)写 1冊 横中 和  
註：原本ヲ野呂氏ヨリ借りテ写ス  
内題「不時御用番勤方卷之上」
- 不時 下 兎 鳴海清胤** **YK322.5-161-下**  
宝暦10(1760)写 1冊 横中 和  
註：原本ヲ野呂氏ヨリ借りテ写ス  
内題「不時御用番勤方卷之下」
- 覚** **YK322.5-162**  
写 1冊 横中 仮和  
註：御定、勤式覚、演説書覚
- 〔御広間詰番格帳〕** **YK322.5-163**  
嘉永7(1854)写 1冊 横中 和
- 江戸御屋舗勤方心得書** 文化12年2月 房向  
文化12(1815)写 1冊 横小 仮和 **YK322.5-164**
- 〔江戸勤諸事取扱之事〕** **YK322.5-165**  
写 1冊 横中 和
- 御在国当番之卷** **YK322.5-166**  
写 1冊 横中 仮和
- 御手廻御番所格帳附録** 天保6年5月10日  
神宗作盛章 **YK322.5-167**  
天保6(1835)写 1冊 縦14×20 仮和
- 御手廻急用番勤方** 安永6年正月吉日 真正  
安永6(1777)写 1冊 横中 仮和 **YK322.5-168**
- 役筋秘書** 横山真勝 **YK322.5-169**  
弘化3(1846)写 1冊 横中 和  
註：御目付役勤方心得
- 御手廻一番組無足勤方留帳** 野呂景永 **YK322.5-170**  
写 1冊 半紙半 仮和  
註：御奉公見習ノ記 慶応4・明治元(1868)年頃の記か
- 御家中一列御役人衆三組頭諸者より段々相記**  
嘉永3年7月吉日 中村尚弥清真 **YK322.5-171**  
嘉永3(1850)写 1冊 横中 和
- 御供廻勤方** 文政9年3月写之 豊嶋皆仲 **YK322.5-172**  
文政9(1826)写 1冊 横中 仮和  
註：御殿の極秘の色々勤方御坐付のこと 秘事多し
- 〔御目付勤方 雑集〕** **YK322.5-173**  
元文5(1740)写 1冊 横中 和
- 御手廻検使勤方心得留記** **YK322.5-174**  
写 1冊 横中 和  
註：「末期判元見届ケ留」
- 御代官年中行事并余時取扱心得書** **YK322.5-175**  
元治元(1864)写 1冊 美濃 仮和
- 御使者心得書并見積心得** 文久2年4月 **YK322.5-176**  
文久2(1862)写 1冊 横中 仮和
- 御番割留書** 宝永6年12月28日 **YK322.5-177**  
対馬吉左衛門  
宝永6(1709)写 1冊 横長 仮和
- 御留守居組頭泊り番勤書 全** **YK322.5-178**  
写 1冊 横小 和  
註：内題「御留守居組頭御城番相勤候節取扱心得留書」
- 〔勤向心得但在勤先〕** **YK322.5-179**  
天保5(1834)写 1冊 横小 和
- 心得書(御台所方) 高義** **YK322.5-180**  
写 1冊 横中 和  
註：安政四丁己六月廿八日御役入ニ付 先役より御用伝  
心得覚
- 疵見分心得書秘事** **YK322.5-181**  
写 1冊 半紙 和
- 御用状雛形** **YK322.5-182**  
写 1冊 半紙 仮和
- 手鑑 全** **YK322.5-183**  
〔宝暦2～寛政3(1752～1791) ?〕写 1冊 半紙 和



- 註：作事奉行并作事方の諸心得、諸御定 諸取扱之事等
- 〔不時御用番勤方巻之上〕** **YK322.5-184**  
〔宝永～文化初（1704～1804）？〕写 1冊 横中 和  
註：御新初之事、御吉兆之事、御神事之一件、御施餓鬼并御法事、御茶湯之事、駒寄せ之事、目安文落書等之事、山火事之一件、他
- 変死見聞心得之事** **YK322.5-185**  
写 1冊 横長 仮和
- 〔山田登江申渡書 控〕** **YK322.5-186**  
明治3（1870）写 1冊 半紙 仮和  
註：この年山田登は藩政に異議を申し述べ藩主承昭に強請して罪せられた。その申渡書
- 御目見以下改正一列** **YK322.5-187**  
明治2（1869）写 1冊 横小 和
- 〔検使心得書〕** **YK322.5-188**  
写 1冊 横中 仮和  
註：紙背文書
- 〔勤方覚〕** **YK322.5-189**  
写 1冊 横小 和  
註：「大場御定之事」等。四浦（青森・鯨ヶ沢・深浦・十三）五浦（碓ヶ関・大間越・野内・蟹田・今別）五ヶ村（木造・板柳・浅虫・黒石・飯詰）
- 関門取建ニ付心得書** **YK322.5-190**  
写 1冊 半紙 仮和  
註：舞戸橋脇并浜町舁形内江関門御取建昼夜番人居被仰封候ニ付心得書
- 御番割 五十嵐貞隆（所吉）** **YK322.5-191**
- 文久元～慶応元（1861～1865）写 〕冊 横小 仮和
- 〔覚〕** **YK322.5-192**  
写 1冊 半紙 仮和  
註：松木屋彦右衛門跡目相続についての覚書 松木屋は文政年間以降の弘前松森町で酒造業を営んでいた豪商で藩の御用達。代々彦右衛門を称したので本書の彦右衛門はいつ頃の人物か何代目かは不明。
- 清濁文操** **YK322.5-193**  
文政13（1830）写 1冊 横中 和  
註：内題「勤方心得書記」諸目付等の勤方心得の覚書
- 御役秘法 貞昌** **YK322.5-194**  
天保5（1834）写 1冊 横中 和  
註：深浦・金井ヶ沢・十三・小泊・今別、蟹田・油川・青森漁船・野内、碓ヶ関、大間等の各勤番の勤方覚書
- 諸書留 兼治** **YK322.5-195**  
写 1冊 横中 仮和  
註：縁組、御目見、袖留、前髪執、月並出仕、御奉公見習、本苗改、名改、御紋形、駕籠、雪船并幕、養孫、他
- 弘前藩目付役秘用集** **YK322.5-196**  
安政6（1859）写 1冊 横中 和  
註：言上書、御役秘法、死骸・変死見分 船之御達向事、御極印之事 大筒方勤向 他
- 御用留** **YK322.5-197**  
天保5（1834）写 1冊 横小 和  
註：碓ヶ関、野内、三厩、青森漁船、金井ヶ沢、蓬田、大間越、深浦、十三・油川、蟹田、小泊、勤番ノ覚（勤中心得）
- 高岡御大祭御番人御社参之節御供、駒越川渡場御船奉行、**
- 検使御用勤方、転切支丹類族死骸見分** **YK322.5-198**  
文政4（1821）写 1冊 横長 仮和  
註：御手廻勤土の覚書
- 諸留帳** **YK322.5-199**  
写 1冊 半紙 和  
註：刑法（明律を土台とした寛政律か）
- 両組別段御用留** **YK322.5-200**  
天保3（1832）写 1冊 横小 和  
註：御手廻・御馬廻両組特別御用懸の覚
- 署用一切之留** **YK322.5-201**  
明治4（1871）写 1冊 横中 仮和  
註：租税署関係署用留
- 弘前本町二丁目三国屋喜右衛門公儀御呼出一件御用留** **YK322.5-202**  
差添名主岩瀬屋彦右衛門  
享和2（1802）写 1冊 半紙 仮和  
註：喜右衛門が大坂の油屋才助へ太物代銀滞の為公儀に訴えられた一件の御用留
- 鯨ヶ沢勤中心得書** **YK322.5-203**  
嘉永5（1852）写 1冊 半紙 和  
註：鯨ヶ沢奉行所勤番心得
- 〔藩政御用留〕** **YK322.5-204**  
寛永9～寛文10（1632～1670）写 1冊 半紙 仮和  
註：御家中江被仰出之諸法度・御定・申渡等
- 〔言上書一件但伝秘〕** **YK322.5-205**  
文化3～天保6（1806～1835）写 1冊 横小 仮和  
註：奉言上候御事の書式
- 東都江御飛脚路用覚書 須藤兼利 **YK312.5-206**

- 嘉永元(1848)写 1冊 横小 仮和  
 註：長尾周庸(当時藩勘定人加勢か?)之覚書の模写  
 勘定処諸廉取扱・江戸表江御飛御路用并御用物賃銭定・他
- 万覚書** YK322.5-207  
 写 1冊 横小 和  
 註：御代官役所、旅人取扱之事、諸書式、諸御用書之覚、勤方心得、他
- 書付之写**〔乗田専亮〕 YK322.5-208  
 慶応4(1868)写 1冊 横小 仮和  
 註：鬼沢村専助関係
- 諸用留 盛** YK322.5-209  
 明治3(1870)写 1冊 横小 仮和  
 註：兵制改革に伴う新規則と官員并兵隊の等級と氏名、職掌と勤務心得、他
- 諸事留帳** YK322.5-210  
 嘉永6(1853)写 1冊 横小 和  
 註：江戸詰合之節
- 〔御剪纸留〕** 五十嵐所吉 YK322.5-211  
 天保5(1834)写 1冊 半紙半 仮和
- 御触事 種々** YK322.5-212  
 文化15～天保6(1818～1835)写 1冊 横中 仮和  
 註：家老・用人・大目付・目付・組頭等からの諸事御触留 紙背文書
- 諸覚書** 相馬石太郎 YK322.5-213  
 天保4(1833)写 1冊 横中 和  
 註：病気差合断状達、御城代登城退出共達、江戸より御遣飛脚到着之節、他  
 附(別添)「御目付より諸士江之文法」

- 御口達之写** YK322.5-214  
 写 1冊 横長 仮和  
 註：郡奉行・御用人からの御口達 巳年凶年救済の件
- 〔覚〕** 外崎勇次郎 YK322.5-215  
 写 1冊 横長 仮和  
 註：格外御省略被仰出候儀
- 〔覚〕** 岩崎元次郎 YK322.5-216  
 写 1冊 半紙 仮和  
 註：浪岡三組御代官宛
- 諸願文集** YK322.5-217  
 写 1冊 半紙 和  
 註：諸書付并御請豎横御定、書式、文例
- 諸願規範** 工藤祐善 YK322.5-218  
 弘化2(1845)写 1冊 半・紙 仮和  
 註：在御暇、御薬、御紋形、足袋、月代執歩行、駕籠、湯治、雪船、養女、嫡孫承祖、養子之各部
- 口書写** YK322.5-219  
 天保7(1836)写 1冊 半紙 仮和  
 註：内題「死骸引渡一札」
- 口達** YK322.5-220  
 天保7(1836)写 1冊 半紙 仮和  
 註：平賀六ヶ組(大鰐・尾崎・和徳・堀越・大光寺・猿賀)代官宛の御自筆の写。御家老・御用人・郡奉行・勘定奉行の口達・演説・書取・御諭書・覚等
- 〔申付書〕** 伊藤善兵衛(郡奉行) YK322.5-221  
 天保13(1842)写 1冊 半紙 仮和  
 註：大鰐三組代官宛、郡奉行よりの申付書(衣服・家作・

飲食等二関スル覚)

- 当用臨時扱向覚** YK322.5-222  
 嘉永5(1852)写 1冊 横中 仮和  
 註：内題「御代官当用臨時扱向覚」  
 御収納皆済注進認方、種初取置御断書、雪浅深水張御断書、切支丹証文認方、他
- 諸用秘鑑** 相馬常德 YK322.5-223  
 写 1冊 横中 仮和  
 註：惣組村々庄屋、安政二卯年調表惣組人数、大門寺五重塔御修覆勸化、御収納米皆済注進諸様、切支丹御改証文之事、他書式覚
- 裏印留手控** 神盛助 YK322.5-224  
 文久2(1862)写 1冊 横中 仮和  
 註：御勘定所役人による証文裏印の書留控  
 御払方に武田熊七(金木屋)の名がある
- 諸事心得手扣**〔横山喜兵衛〕 YK322.5-225  
 安政3(1856)写 1冊 横中 仮和  
 註：喜兵衛は作事吟味役格勘定人、内容〈御家老御用人・頭付之面々之頭江御礼廻之事、年中御祝儀事、毎月諸願差出候定日、凶事心得、他〉
- 御用之帳** 六番 YK321.5-226  
 貞享4～元禄14(1687～1701)写 1冊 美濃 和  
 註：御蔵印「御日記方」(朱)
- 覚** YK322.5-227  
 写 1冊 半紙 仮和  
 註：御軍政御改革に伴う御組入之規則御定の覚
- 諸願書付一件** YK322.5-228  
 写 1冊 横小 和

- 註：御紋形、御役免、縁組、湯治、月代執、幕、制外、沓粒金丹、変死見分、他
- 敵敷御儉約被仰出向々江被仰付箇條調** YK322.5-229  
留書頭  
文化4～7(1807～1810)写1冊 半紙 仮和  
註：附、文政十年諸廉御定并足渡調帳(御公務方)
- 御書付写** YK322.5-230  
延享4(1747)写1冊 半紙 仮和  
註：御朱印人馬之定
- 廻国使心得** YK322.5-231  
写1冊 横小 和  
註：原書山鹿素行著「廻国使」内題「廻国使見聞品々」
- 国都分制 全** YK322.5-232  
写1冊 半紙 仮和  
註：国都分割(国体考量之事、弘前考量之事、他)国制官職・禄位考・家柄御定之事・町家御触書制禁・戒奢考等
- 御馬廻御番所格帳写** YK322.5-233  
写1冊 横小 和
- 覚 北原惣藏** YK322.5-234  
〔嘉永7(1854)〕〔明治2(1869)〕写1冊 半紙 仮和  
註：敵討願之儀・変死之儀 式通 「郡奉行・町奉行・勘定奉行」「町方同心」宛
- 郡台凡例** YK322.5-235  
〔貞享～文化(1684～1817)〕写1冊 半紙 和  
註：郡奉行勤務の覚書
- 勤行録 上〔中〕** YK322.5-236- 上
- 〔天保9(1838)〕写1冊 半紙 和  
註：内題「御手廻勤行正伝録上」「同中」(上中合本)
- 勤行録 下** YK322.5-247- 下  
〔天保9(1838)〕写1冊 半紙 和  
註：内題「御手廻勤行正伝録下」
- 南部旧例集 公斎看山** YK322.5-238  
安政6(1859)写1冊 半紙 和
- 手拍** YK322.5-239  
慶応2(1866)写1冊 横中 仮和  
註：中隊指令士勤務、御濟口之写、諸覚、改正職別一列、職正一列
- 御代官当用勤書** YK322.5-240  
〔元禄11～文化12(1698～1815)〕写1冊 半紙 和  
註：御収納皆済註進認方、種初取置御断書 雪浅深水張御断書、切支丹証文認方、御尋之者相改候証文認方、首縊之者扱向、他
- 檢使 御茶壺 御用留** YK322.3-241  
天保8(1837)写1冊 横中 仮和  
註：於青盛浜書(紙背文書)変死之檢使、死骸見分之覚、御手廻勤方(御茶壺)町廻御定書、他
- 〔覚〕 今直藏 YK322.5-242  
文久2(1862)写1冊 半紙 仮和  
註：奢侈の風俗(衣服等)引き締めについて
- 諸取引御定書 御代官** YK322.5-243  
文政8(1825)写1冊 半紙 和  
註：商家諸取引(主として米穀)
- 〔諸役被仰付書〕 YK322.5-244  
寛政6～安政4(1794～1857)写1綴 横長～小 仮和
- 御手廻四番組勤方留記 野呂三藏景行** YK322.5245  
天保14(1843)写1冊 横中 仮和  
註：初而御目見之節より記
- 〔覚〕 YK322.5-246  
文化2(1862)写1冊 半紙 仮和  
註：他領からの旅人取り扱いの御達(郡奉行後藤門之丞より惣組御代官宛)并送状認方之事(代官所留書)
- 覚書 久武** YK322.5-247  
写1冊 横中 和  
註：勤方覚書「岩木川洪水之事、古懸不動尊御出汗、御家老衆御宅ニ而凶年被仰渡有之節御用人衆取扱一件、変死之者検査御定、他」
- 御沙汰済部寄** YK322.5-248  
慶応元(1865)写1冊 横中 仮和  
註：文久3年(1863)元治元年(1864)の御沙汰(一の部より十の部まで)留書集
- 〔御勘定奉行より書上之写〕 YK322.5-249  
文化2(18(05))写1冊 横長 仮和  
註：江戸民家町家数、武家人数、御霊屋、御精進日、公義衆称呼御触書之儀、切支丹相改候証文之事、駄下御定駄賃、他
- 〔勤番留書〕 YK322.5-250  
〔延享元～天保13(1744～1842)〕写1冊 横長 仮和  
註：南部八戸藩

- 覚書 壹 三卷之内 武元 YK322.5-251  
元文元(1736)写 1冊 (帖) 8×15 (15折)  
註：御中小姓勤番覚書
- 諸願大概 YK322.5-252  
文政12(1829)写 1冊 横中 和  
註：御礼廻之事、諸書付并請豎横御定、諸願書付、諸伺書付などの書式例
- [御触留] YK322.5-253  
寛文11～延享3(1671～1746)写 1冊 半紙 仮和  
註：跡式願之事、城詰之諸事、他
- 離縁之妻懐妊之一条并服忌 YK322.5-254  
[文政11(1828)]写 1冊 半紙 和  
註：各藩の幕府への伺書并御付札
- [御目付触覚] YK322.5-255  
文久4(1864)写 1冊 半紙 仮和  
註：縁組願、前髪執願、名改願、惣髮願、摘髮願、剃髮願、諸役御取立願、御礼廻之儀、他
- [御触留荒増覚書] YK322.5-256  
寛政8～天保8(1796～1837)写 1冊 半紙 和
- [檢使覚帳] YK322.5-257  
宝暦3～文化14(1753～1817)写 1冊 横中 仮和  
註：御用人中江差出候書付才覚、罪人仕置之次第、御仕置場之図
- 油川別段九月十月中勤中留帳 YK322.5-258  
嘉永5(1852)写 1冊 半紙 和
- 変之節諸廉詰人夫調帳 武田 YK322.5-259  
[慶応3(1867)?]写 1冊 半紙半 和
- 註：変事の際に於ける組頭、奉行、大目付、町年寄、御作事方、御像様堂、御藏、御馬屋、牢屋、揚屋、学校……等への詰人足の覚
- 御省略之写 YK322.5-260  
慶応4(1868)写 1冊 半紙 半和  
註：格外御省略之儀、末尾に鎮撫総督より御渡御書付之写あり
- [凶事御用状留] YK322.5-261  
[文政4～明治2(1821～1869)]写 1冊 美濃 和
- 京都御守衛御警衛心得之條々 YK322.5-262  
[文久3(1863)?]写 1冊 半紙 和  
註：禁裏御所為御守衛、近衛様為御警衛京都詰心得
- 臨時扱向手鏡 YK322.5-263  
[安政元～文政5(1772～1822)?]写 1冊 横中 仮和  
註：御収納米皆済注進認方、種籾取置御改書認様、切支丹証文認方之事、御切紙願書口上之覚、碇ヶ関御関所江出人下書、変死倒死之者見分之儀被仰付候向、他
- 諸用秘鑑 YK322.5-264  
写 1冊 横中 仮和  
註：大光寺組関係 [明和8(1771)～文化6(1809)?] 雑条、在役御免引之事、御触書、口上之覚、黒石様似通行之節扱向之事、他
- 清濁文操 式 相馬書留 YK322.5-265  
天保2(1831)写 1冊 横中 和  
註：内題「秘書手控懷牒」  
用意書、山林、田圃諸覚、奉言上候御事、ヶ條書之事、足輕目付諸覚、御極印図書覚、他
- 秘事心得書 YK322.5-266  
写 1冊 横小 和  
註：御匝月、御寺拝礼、御施餓鬼、御目見立、惣登城日、三斗俵之部、在方之者諸役御免引、称呼定、諸触、語御礼廻、諸願
- 知行俵子金給 俵子知行金給 金給知行俵子 相当書 YK322.5-267  
写 1冊 美濃半 和
- 旧弘前藩禄制 外 YK322.5-268  
写 1冊 半紙 仮和
- 知行俵子金給 俵子知行金給 金給知行依子 相当調帳 YK322.5-269  
天保4年4月之写 横山真勝  
天保4(1833)写 1冊 横小 仮和
- 覚書(遠慮御免諸事) YK322.5-270  
写 1枚 36×48
- 親類書直鑑 YK322.5-271  
[明治初年力]写 1冊 半紙 和  
註：親類書文例 親類書認方大概覚 御代々様御家督御入部御代年号月日
- 御家中一列御次第書 文政13年4月改 YK322.5-272  
文政13(1830)写 1冊 横中 和
- 御家中一列御次第 文政13年神無月 YK322.5-273  
文政13(1830)写 1冊 横小 和  
註：附「黒石家中次第」
- 御家中一列 天保7年 YK322.5-274  
天保7(1836)写 1冊 横小 和
- 御家中一列 慶応元年10月 YK322.5-275

- 慶応元(1865)写 1冊 横小 和
- 御次第一列** YK322.5-276  
写 1冊 横小 和
- 古格文集** 文化13歳8月 YK322.5-277  
文化13(1816)写 1冊 横中 仮和  
註:内題「諸御礼廻」
- 御礼廻** YK322.5-278  
写 1冊 横小 仮和
- 〔覚〕** YK322.5-279  
写 1冊 横小 仮和  
註:津軽旧藩士家格(諸御定法)津軽領内覚書、他
- 〔家中規式覚書〕** YK322.5-280  
写 1冊 横小 和  
註:縁組、御役御免、隠居、嫡子、湯治、御目見、袖留、月並、御奉公見習、名改、惣髪、附添、在御暇、御紋形、駕籠、雪船、養女、養子、他
- 両組勤仕古実拾要 全** YK322.5-281  
嘉永4(1851)写 1冊 横中 和  
註:御番所之事、勤番心得、御定、御手廻急用番検使勤方心得并古格、変死見分秘事記、他
- 俣市太郎初而御目見之節より留記** 安政5年6月  
野呂景行 YK322.5-282  
安政5(1858)写 1冊 半紙 仮和  
註:以降慶応3年(1867)までの加筆あり
- 管〔官〕中秘策 徳川時代** 自卷之一至卷之十完  
写 1冊 半紙 和 YK322.5-283
- 柳営秘鑑 卷ノ一** YK322.5-284-1  
写 1冊 美濃 和  
註:原始叙列
- 柳営秘鑑 卷ノ二** YK322.5-284-2  
写 1冊 美濃 和
- 柳営秘鑑 卷ノ三** YK322.5-284-3  
写 1冊 美濃 和
- 柳営秘鑑 卷ノ四** YK322.5-284-4  
写 1冊 美濃 和
- 柳営秘鑑 卷ノ五** YK322.5-284-5  
写 1冊 美濃 和
- 柳営秘鑑 卷ノ六** YK322.5-284-6  
写 1冊 美濃 和
- 柳営秘鑑 卷ノ七** YK322.5-284-7  
写 1冊 美濃 和
- 柳営秘鑑 卷ノ八** YK322.5-284-8  
写 1冊 美濃 和
- 柳営秘鑑 卷ノ九** YK322.5-284-9  
写 1冊 美濃 和
- 柳営秘鑑 卷ノ十終** YK322.5-284-10  
写 1冊 美濃 和
- 殿居囊(武家必学両面折本)完** YK322.5-285  
京都 訂書堂〔天保8(1837)〕刊 1冊 21×6 折本  
註:武家年中行事、武家諸役班別、服忌令公案集成、武家心得草
- 武家懐宝** YK322.5-286  
自楽蔵版〔天保3(1832)〕1冊 横小 和
- 青標昏(紙)〔武家秘冊両面折本〕** YK322.5-287  
江戸 忍酒屋 天保11(1840)刊 1冊 21×6 折本  
註:「武家諸法度附勤向申合令条」「屋敷内諸の例附両番所略図」「武器及行列具の例」「衣服制度的例」他
- 雑書集 全** YK322.5-288  
〔明治元・2(1868・69)〕写 1冊 菊 和  
註:勘定奉行配下〔鯨ヶ沢〕別段締役か、湊目付あたりの留書、覚書
- 〔当席御目録書法〕 佐藤新蔵** YK322.5-289  
文政13(1830)写 1冊 半紙 仮和  
註:佐藤新蔵は弥六・紅緑の祖
- 家屋舗売渡一札之事** 文政6年 YK322.5-290  
喜右衛門ほか 金沢屋孫兵衛あて  
文政6(1823)写 1枚 29×40
- 家屋舗永代相渡証文之事** 文政9年 YK322.5-291  
向外瀬村弥八郎 清五郎あて  
文政9(1826)写 1枚 32×43
- 預中金子之事** YK322.5-292  
胡桃館村与兵衛外に二名連印 乗田安右衛門あて  
延宝3(1675)写 1枚 28×38
- 家屋舗譲受願書** YK322.5-293  
木村庄蔵 工藤小兵衛あて  
慶応2(1866)写 1枚 25×34
- 〔武芸稽古奨励の御触書〕 野呂此母** YK322.5-294

- 写 1通 15×143  
註：末尾に「右之趣 釜菟多門より被仰付候 以上」とある。多門は安政6年(1859)、12代藩主津軽承昭の用人となる
- 於評定所監察申渡之覚 YK322.5-295  
写 1通
- 於取上村御仕置場申渡之覚 YK322.5-296  
検使竹内屯助  
文政10(1827)写 1通  
註：和田鎮六に付する検使の処刑宣告書
- 於取上村御仕置場申渡之覚 YK322.5-297  
検使竹内屯助  
文政10(1827)写 1通  
註：木造村出生無宿銀蔵に対する検使の処刑宣告書
- 御評定所相詰候様被仰付状 YK322.5-298  
松山善左衛門 大坂屋留兵衛あて  
写 1通
- 参勤時分之儀御伺に付御奉書 9月14日 YK322.5-299  
津軽越中守(信政)あて  
寛文元(1661)写(原本)1通  
註：稲葉美濃守正則、阿部豊後守忠秋、松平伊豆守信綱、酒井雅楽守忠清より
- 紺屋町名主岩見忠兵衛口上書 YK322.5-300  
写 1通
- 娘勘当之儀覚 篠崎東四郎 YK322.5-301  
写 1通
- 永代売渡申家屋敷之事 元禄15年 YK322.5-302
- 御蔵町弥五左衛門 兵庫屋甚兵衛あて  
元禄15(1702)写 1枚 32×41
- YK322.9 他藩(近県)
- 移住士族取扱規則 YK322.9-1  
〔明治?〕刊 1冊 菊 仮和  
註：函館県のものか
- YK324 民法 私法
- 印鑑(鑑)天保4年11月 YK324-1  
天保4(1833)写 1冊 横小 和
- 印鑑帳(第二大区八小区陸奥国津軽郡苗生松村) YK324-2  
葛西弥四郎(村用孫)  
明治9年(1876)写 1冊 美濃 和  
註：苗生松村は現南津軽郡平賀町、その前は大光寺村に属す
- 印鑑簿 明治41年7月20日 YK324-3  
明治41(1908)写・押印 1冊 半紙 和
- 讓請状 宮川富三郎 YK324-4  
明治7(1874)写 1冊 半紙 仮和
- 家範草案及修正案意見 YK324-5  
写 1冊 半紙 仮和
- 戸籍取扱心得 明治24年1月 YK324-6  
明治24(1891)写 1冊 半紙半 仮和
- 戸籍問合ヶ条並宿村送之者手続等 YK324-7  
戸籍方(青森県第三大区)  
〔明治7(1874)〕写 1冊 半紙 和
- 戸籍編整給料并入費調帳 明治6年3月 YK324-8  
津軽郡第四区(戸長大平良太郎、副戸長鎌田健三郎、山内吉左衛門、工藤善作)  
明治6(1873)写 1冊 半紙 仮和  
註：津軽郡第四区は後の第二大区一小区(現浪岡町黒石市ノ一部)である。青森県権参事那須均宛
- YK327 司法制度 訴訟手続法
- 落着一件集 全 YK327-1  
天保7(1836)写 1冊 半紙 和  
註：江戸幕府評定所判決集
- 佐藤範了監倉入事件 YK327-2  
明治7・8(1874・75)写 1冊 半紙 仮和  
註：弘前士族佐藤範了、賜禄渡方之儀ニ付、青森県エ御呼出之事件
- YK330 経済
- 藩実経済話 完 YK330-1  
写 1冊 半紙 和  
註：伴才助存意、手塚玄通述、他  
附録 出入御役定之覚
- 〔通考録〕 YK330-2  
写 1冊 半紙 仮和  
註：津軽三郡(鼻和平賀田舎一円郡)
- 建富誌 YK330-3  
写 1冊 半紙 和  
註：本館所蔵岩見文庫「経済秘書」(GK-330-2)と内容が同じである

- 通考富国抜書 全** YK330-4  
安永8 (1779) 写 1冊 半紙 和  
註：弘前藩の経済について。本書は天保8年 (1837) の写し。本館所蔵岩見文庫「通考録」(GK330-1)、八木橋文庫「通考録」(YK330-2)と内容が殆んど同じ。
- 通考中** YK330-5  
写 1冊 14×22 和  
註：弘前藩の経済について。本館所蔵岩見文庫「通考録」(GK330-1)、八木橋文庫「通考富国抜書」(YK330-4)と内容が全く同じ。
- 経済秘録 全** YK330-6  
写 1冊 半紙 和
- 経済通考 全** 同々斎独有 (手塚玄通) YK330 7  
写 1冊 半紙 和  
註：治乱、盛衰、乱本、治本、禁末、利権、刑罰、地理
- 食貨制 全** YK330-8  
写 1冊 半紙 仮和  
註：漢文
- 青龍先生校正 王制之一卷** YK330-9  
写 1冊 半紙 仮和  
註：巻尾に「安永六丁酉 (1777) 六月 丁子 令授乳井文次郎」とある。文次郎は、乳井貢の次男市左衛門建をいう。
- YK337 貨幣 通貨**
- 古金銀鉄調牒 五十嵐長蔵・斎藤兵内** YK337-1  
嘉永3 (1850) 写 1冊 横中 仮和
- 諸事御本当** YK337-2  
写 1冊 半紙 和  
註：御家中段取引、新知被下置候節地元割合御定、諸職工諸家業御役定、諸湊荷揚荷積御役杣取物炭釜御役水下出人夫出銭沖出御役供、他
- 御国産薬種四拾品直段 寛政12年3月御触出** YK337-3  
文政11 (1828) 写 1冊 半紙 仮和
- 鑄貨図録 (重訂) 乾 佐野英山編** YK337-4-1  
大阪 蝶葉堂刊 大正9 (1920) 1冊 半紙 和  
註：我邦旧貨幣鑄造に関する事項、上編銭座、下編金銀座
- 鑄貨図録 (重訂) 坤 佐野英山編** YK337-4-2  
大阪 蝶葉堂刊 大正9 (1920) 1冊 半紙 和
- YK338 金融 銀行**
- 夜具無尽帳** YK338-1  
安政3 (1856) 写 1冊 半紙 仮和
- 無尽帳 鈴本屋伊兵衛** YK338-2  
文久2～慶応3 (1862～1867) 写 1冊 半紙 仮和
- 古借年賦 (十二年調)** YK338-3  
文政13 (1830) 写 1冊 半紙 仮和
- 家中融通構〔講〕趣意書 対馬定右衛門** YK338-4  
写 1冊 半紙 仮和
- 無尽帳 嘉永7年10月 相馬景茂** YK338-5  
嘉永7 (1854) 写 1冊 横長 仮和
- 積立金出入勘定簿 弘前商業青年会** YK338-6  
明治25・26 (1892・93) 写 1冊 半紙 仮和
- 私立銀行始末** YK338-7  
写 1冊 半紙 仮和
- 始末書 (弘前銀行)** YK338-8  
弘前銀行大鱈支店主任 石川利三郎  
大正8 (1919) 写 1冊 半紙 仮和  
註：弘前銀行頭取成田助宛
- 無尽帳** YK338-9  
明治? 写 1冊 半紙 和  
註：南郡相館村 相馬蚊籠 (筆之助) 所持とある
- 青森質屋営業組合規約 長谷川才太郎・外** YK338-10  
明治37 (1904) 刊 1冊 四六 仮大和綴
- 借用申銭之覚 天明6年** YK338-11  
柿崎藤四郎等連印、秋田屋吉左衛門あて  
天明6 (1786) 写 1枚 30×57
- YK342 財政史 事情**
- 御朱印御改付御領知郷村帳覚書 宝永8年3月** YK342-1  
長尾只右衛門  
宝永8 (1711) 写 1冊 半紙 仮和  
註：内 玄桂院様御在世之御名有之御書付三通入
- 津軽知行高之帳 正保2年12月28日** YK342-2  
津軽土佐守  
正保2 (1645) 写 1冊 美濃 仮和
- 陸奥国津軽郡高辻村々牒 寛文4年5月7日** YK342-3  
津軽越中守  
寛文4 (1664) 写 1冊 半紙 和  
註：陸奥国津軽郡郷村牒、宝永八年卯正月晦江戸表江差登せ候扣、唐牛十郎左衛門覚書一通入

- 陸奥国津軽郡郷村帳 貞享元年 6 月 15 日 YK342-4  
津軽越中守  
貞享元 (1684) 写 1 冊 半紙 和  
註：陸奥国津軽郡郷村牒、宝永八年卯正月晦日江戸表江  
差登せ候扣、唐牛十郎左衛門覚書壱通入 (なし)
- 上野国勢田郡津軽伊織上知郷村高帳 元禄 2 年 10 月  
〔弘前日記方〕の印 YK342-5  
元禄 2 (1689) 写 1 冊 半紙 仮和  
註：左下欠損
- 陸奥国津軽領郷帳一冊 元禄 14 年 11 月 YK342-6  
津軽越中守  
元禄 14 (1701) 写 1 冊 半紙 和  
註：文化四丁卯年 御用所御扣之表・写
- 黒石郷村高辻帳 写 正徳 2 年 YK342-7  
〔弘前日記方〕の印  
正徳 2 (1712) 写 1 冊 美濃 仮和
- 郷村帳之内唯今取扱之村無御座分其向寄之村々之内ニ而高  
仕分村相立候帳 享保 11 年 11 月 工藤嘉左衛門、奈良  
岡市左衛門 YK342-8  
享保 11 (1726) 写 1 冊 美濃 和
- 陸奥国津軽郡郷村高辻帳 延享 3 年 YK342 9  
津軽出羽守  
延享 3 (1746) 写 1 冊 半紙 仮和  
註：宝永八年之御帳之通
- 陸奥国津軽郡之内郷村高帳 寛政 5 年 2 月 YK342-10  
寛政 5 (1793) 写 1 冊 美濃 仮和  
註：安永 7 (1778) ~天明 2 (1782)
- 陸奥国津軽郡之内郷村高帳 寛政 5 年 7 月 YK342-11  
寛政 5 (1793) 写 1 冊 美濃 和  
註：天明 7 (1787) ~寛政 3 (1791)
- 陸奥国津軽郡之内郷村高帳 寛政 5 年 2 月 YK342-12  
寛政 5 (1793) 写 1 冊 美濃 仮和  
註：天明 7 (1787) ~寛政 3 (1791)
- 惣百性〔姓〕作人本高共取ヶ帳 明和 2 年 2 月 YK342-13  
後藤十蔵 一戸与次右衛門 岡倉庄介  
明和 2 (1765) 写 1 冊 美濃 和
- 陸奥国之内領知郷村高辻帳 津軽少将 YK342-14  
明治 2 (1869) 写 1 冊 美濃 和  
註：是迄書出候高辻帳表より分裂仕候
- 俵元新田浅井村田畑調書帳 文政 3 年 4 月 YK342-15  
庄屋吉左衛門  
文政 3 (1820) 写 1 冊 半紙 和  
註：卷末文化九壬申年 (1812) 八月
- 増館官所支配浪岡組高館村田畑持切調書上帳 YK342-16  
明治 3 年閏 10 月 代庄屋作之助  
明治 3 (1870) 写 1 冊 半紙 和
- 陸奥国津軽郡田舎庄俵元新田浅井村畑方一抱坪坪切相当調帳 YK342-17  
明治 4 年 4 月 庄屋久司  
明治 4 (1871) 写 1 冊 半紙 和
- 陸奥国津軽郡平賀庄大光寺組松崎村田畑生荒一抱坪切分地  
相当調帳 明治 4 年正月 庄屋弥四郎 YK342-18  
明治 4 (1871) 写 1 冊 半紙 和
- 貞享高目録 右同被仰出書 YK342-19  
大道寺隼人、間宮求馬 貞享 3 (1686) 田村藤太夫、
- 津軽鞠負、津軽将監、津軽玄蕃 貞享 4 (1687)  
写 1 冊 半紙 仮和
- 陸奥国津軽郡之内郷村高帳 弘前藩 YK342-20  
明治 3 (1870) 写 1 冊 半紙 和  
註：式拾壹冊之内式拾壹番
- 陸奥国盤城国之内郷村高辻帳 明治 2 年 4 月 YK342-21  
津軽式部少輔  
明治 2 (1869) 写 1 冊 半紙 和  
註：本家より□□御書出ニ相成候高辻表より分裂仕候
- 陸奥国津軽郡支配高調 YK342-22  
明治 2 (1869) 写 1 冊 半紙 仮和  
註：明治二己巳年十一月朝廷へ差上候
- 陸奥国津軽郡郷村高辻帳 享保 9 年 11 月 YK342-23  
享保 9 (1724) 写 1 冊 美濃 和
- 黒石通十郎左衛門様御領分ニ罷出之代地之帳 YK342-24  
明暦 2 年 10 月 21 日 深津徳蔵  
明暦 2 (1656) 写 1 冊 美濃 仮和
- 陸奥国津軽郡伊達郡領知田畑町歩人数帳 享保 6 年 8 月 YK342-25  
津軽土佐守家来 落合大右衛門  
享保 6 (1721) 写 1 冊 半紙 仮和
- 秘詞 YK342-26  
写 1 冊 半紙 仮和  
註：郷村高帳
- 〔郷村高帳〕 YK342-27  
写 1 冊 半紙 仮和  
註：宝永、享保、安永、寛政、享和、文化



- [郷村高帳] YK342-28  
写 1冊 横中 和
- 此度御書立式拾式ヶ村并御書立二無之候入込村々高共調帳  
写 1冊 半紙 和 YK342-29
- 西蝦夷地之内場所附目録 YK342-30  
元治元(1864)写 1冊 半紙 仮和  
註:安政6年(1859)、西蝦夷地之内津軽越中守為陣屋  
附被下候場所
- 松前西蝦夷地被下地所運上金高帳 慶応4年6月  
慶応4(1868)写 1冊 半紙 仮和 YK342-31
- 弘前藩金穀人民松前非常出入帳 YK342-32  
天保11年以降  
天保11(1840)以降 写 1冊 半紙半 和  
註:弘前藩三奉行秘事記
- [蝦夷地御開拓ニ付御用途之廉々凡積り書] YK342-33  
写 1冊 半紙 仮和
- 秘書 全 YK342-34  
写 1冊 横中 仮和  
註:「御家中御給禄調 御目見以上」「御目見以下御給分  
並合御定之部」
- 要集秘録 下沢此吉繁雄 YK342-35  
文化12(1815)写 1冊 半紙 和  
註:文政11(1828)年までの記事あり、殆んど文化年  
間の給禄調、蔵印「御日記方」、下沢は弘前藩御日記役、  
俳人でもあった。号は五友、桂花亭
- 御免引御定書 役所(惣組御代官) YK342-36  
文政11(1828)写 1冊 半紙 仮和
- 註:諸郷役御免引方之儀
- 秘曙草昏〔秘曙草紙〕 YK342-37  
写 1冊 半紙 仮和  
註:寛政頃の津軽藩勘定奉行三橋勘之丞の津軽藩財政に  
関する覚書(大谷津七郎所存交趣・江戸御国御払米之  
大略・銀納産物之大路・樋口弥三郎所存之趣等)
- 御下浜諸入用市中割合御聞届帳 YK342-38  
嘉永4(1851)写 1冊 横長 仮和  
註:内題「御下浜元金調并諸色買物勘定帳」
- 本県エ〔へ〕差出候扣へ〔エ〕 YK342-39  
明治5(1872)写 1冊 半紙 仮和  
註:大蔵省官員出張ニ付、旧藩官貯米粉、村費ニ而困貯  
粉、用水田山等の調べ
- [口上之覚] YK342-40  
寛政7~享和3(1795~1803)写 1冊 横長 仮和  
註:鍛冶家業関係(紺屋町二唐家)
- 極秘記(建白)全 笹森百太郎著(勘定奉行) YK342-41  
天保元(1830)写 1冊 半紙 和  
註:文政13年(1830)の財政逼迫時の藩財政に対する  
建白書(天保元年笹森百太郎覚と内容同じ)本書は嘉  
永3(1850)の写
- 覚 笹森百太郎〔(勘定奉行)〕 YK342-42  
天保元(1830)写 1冊 半紙 和  
註:文政13年(1830)の財政逼迫時の藩財政に対する  
意見書(変作年数古人申伝、凶作之年承候・御在世年数・  
御省略・財用増減の各箇條)
- 江戸御合力并被下方御元帳写 YK342-43  
弘化3(1846)写 1冊 半紙 和
- 註:時の藩主は順承(第十一代藩主、侍従)、天保年間より、  
藩財政窮迫、この年(弘化3年)には、藩債償還不能  
となり財政窮乏に陥っている
- 覚 山内忠蔵 YK342-44  
写 1冊 半紙 仮和  
註:勘定方関係
- 江戸御小納戸金大都調 YK342-45  
〔弘化3(1846)?〕写 1冊 半紙 仮和  
註:天明3年(1783)からの調べ
- 御下浜元金調并諸色買物勘定帳 YK342-46  
写 1冊 横長 仮和
- 料理人指引調帳 YK342-47  
嘉永4(1851)写 1冊 横長 仮和
- 郡政局御有合錢大都取調帳 YK342-48  
〔明治2(180)〕写 1冊 半紙 和
- 三都文政元戊寅年与市様并両御晋請御入用三都文政五年年  
御米賦御借財高 YK342-49  
文化13~文政5(1816~1822)写 1冊 横長 仮和  
註:三都御借財 文化十三子京大坂 文政元寅京大坂  
同年江戸文化十四丁丑三都御米賦金(上々様御合力并  
知行渡高)
- 年中日々雇受払帳 YK342-50  
天保3(1832)写 1冊 横長 仮和
- 御払米通 多助(亀甲町月行事野村屋儀三郎組)  
慶応2(1866)写 1冊 横中 仮和 YK342-51
- 安政初年津軽藩財政状況調 YK342-52

- 勘定奉行・勘定小頭  
安政元(1854)写 1冊 半紙半 和  
註:嘉永年中のこと、本書は文久2年(1862)の写(貞幹)
- 低簿抄書** YK342-53  
明治3(1870)写 1冊 半紙 和  
註:低簿(=下帳面・控帳)
- 〔公廩費用家禄調〕** YK342-54  
明治2(1869)写 1冊 半紙 和  
註:公廩(=役所・官衙)
- 〔覚え(御勝手向趣意書)〕〔藤〕潜竜** YK342-55  
天明5(1785)写 1冊 美濃 和  
註:御繰合御永久御立直御趣向日録、当辰納懸以来九月迄御繰合御差略目録、当辰御取蔵ヲ以御国江戸上方惣御入用江割合目録、他
- 郷蔵屋祢ふき替并所々手入之諸入用調書上ヶ帳** YK342-56  
庄屋才吉・七左衛門(懸合)  
嘉永3(1850)写 1冊 半紙 和
- 〔御用金銭受払通〕〔高杉組〕** YK342-57  
写 1冊 横 16×23 仮和
- 文久三亥年十一月より元治元子年十月中役所惣勘定**  
対馬儀兵衛・高橋平司〔高杉組御代官?〕 YK342-58  
元治2(1865)写 1冊 半紙 和
- 御用金銭受払通** 高杉組 YK342-59-1  
万延元(1860)写 1冊 横 16×23 仮和  
註:高杉組御代官 唐牛十太郎 花田運吉
- 御用金銭請払通** 高杉組 YK342-59-2  
文久元(1861)写 1冊 横 16×23 仮和
- 註:高杉組御代官 唐牛十太郎 花田運吉
- 金銭請払通** 高杉組 YK342-60  
明治3(1870)写 1冊 横 16×23 仮和
- 御銭受取通** 三国屋嘉左衛門 YK342-61  
安政7(1860)写 1冊 横 15×20 仮和  
註:高杉組御代官様宛
- 御印方上納御公務諸渡方共上納 作事山方納日々減立合届**  
**御買下箇切減立合見届 鯨ヶ沢町奉行より御下荷物附上**  
紙御蔵奉行 YK342-62  
嘉永5(1852)写 1冊 横中 和
- 御払手形 作事御規数 預 振込 仮上納 羽紙 人參**  
**内借渡 正銭人參 前繰渡** YK342-63  
嘉永5(1852)写 1冊 横中 和
- 御城中廻通留帳** YK342-64  
嘉永5(1852)写 1冊 横中 和
- 裏印十日調御払月調 作事御規数月調 年中御定讓調**  
嘉永5(1852)写 1冊 横中 和 YK342-65
- 日々諸品渡寄帳** 紙御蔵奉行 YK342-66  
嘉永5(1852)写 1冊 横中 和
- 日々裏印手形留帳** 紙御蔵奉行 YK342-67  
嘉永5(1852)写 1冊 横中 和
- 諸廉通留牒** YK342-68  
嘉永5(1852)写 1冊 横中 和
- 紙御蔵大帳** 弍番 YK342-69-1  
嘉永5(1852)写 1冊 横中 和
- 紙御蔵大帳** 弍番 YK342-69-2  
嘉永5(1852)写 1冊 横中 和
- 紙御蔵大帳** 三番 YK342-69-3  
嘉永5(1852)写 1冊 横中 和
- 紙御蔵諸品仕切讓受大帳** YK342-70  
嘉永5(1852)写 1冊 横中 和
- 紙御蔵諸品小書諸品仕切讓受諸品落** YK342-71  
前田長九郎・山形喜興吉  
嘉永5(1852)写 1冊 横中 和
- 紙御蔵卷帳** 紙御蔵奉行 YK342-72  
嘉永5(1852)写 1冊 横中 和
- 紙御蔵惣勘定大帳** 弍番 藤原高義 YK342-73-1  
嘉永6(1853)写 1冊 横中 和
- 紙御蔵惣勘定大帳** 弍番 藤原高義 YK342-73-2  
嘉永6(1853)写 1冊 横中 和
- 紙御蔵惣勘定大帳** 三番 藤原高義 YK342-73-3  
嘉永6(1853)写 1冊 横中 和
- 紙御蔵諸品小書諸品仕切讓渡諸品落** YK342-74  
藤原高義  
嘉永6(1853)写 1冊 横中 和
- 紙御蔵諸品仕切讓渡大帳** 藤原高義 YK342-75  
嘉永6(1853)写 1冊 横中 和
- 紙御蔵惣勘定切組有増留帳** YK342-76  
前田彦左衛門・葛西忠兵衛

- 天保5(1834)写 1冊 半紙 半和  
 註：文政12年(1829)諸品御買下帳、同寄帳、御印方諸品上納請帳、同寄帳、御公務方諸渡方……略……、紙御蔵諸品請払惣勘定帳、惣勘大帳
- 金銀米錢早割 裕齋著** **YK342-77**  
 嘉永4(1851)木版 1冊 横小 和  
 註：別名「万代重宝記」
- 米直段金銀兩替拾ヶ年平均帳** **YK342-78**  
 戸田左五兵衛・田山藤左衛門  
 [元禄3(1690)]写 1冊 美濃 仮和  
 註：蔵印「弘前日記方」津軽伊織上ヶ地収納米拾ヶ年平均あり
- 永代禄留写** **YK342-79**  
 明治3・4(1870・1871)写 1冊 横中 仮和  
 註：租税署・監正署・社寺署・会計局・県庁の覚書(浪岡組・増館組・常盤組・柏木組・飯詰・俵元新田両組関係)
- 養財方御用差引帳 今村九左衛門** **YK342-80**  
 慶応元(1865)写 1冊 横長 和
- 豊凶録 卷之壹** **YK342-81-1**  
 明治26(1893)写 1冊 半紙 仮和  
 註：文化10年(1813)ヨリ文化14年(1817)マデ卷之二・三欠本
- 豊凶録 卷之四** **YK342-81-2**  
 明治27(1894)写 1冊 半紙 仮和  
 註：万延2(1861)ヨリ明治2(1869)マデ卷之二・三欠本
- 御国益筋仕法書 天保14年12月** **YK342-82**  
 大羽屋喜三郎(江戸深川木場)

- 天保14(1843)写 1冊 半紙 和  
 註：御勝手向御取直シ之仕様
- 必用覚留 安政4年6月** **YK342-83**  
 安政4(1857)写 1冊 横中 仮和  
 註：金銭入、出貨、御内恵、出払、宝帰、貨貸、荊預
- 御切米受取通帳 天保2年2月 松野伊平** **YK342-84**  
 天保2(1831)写 1冊 横中 仮和
- 手控秘事記** **YK342-85**  
 写 1冊 横長 仮和  
 註：御家中知行俵子金銀給御扶持元高并御役知、勤料御目見以上之分〔寛政10年(1798)〕、御郡内人別戸数牛馬船総括〔寛政9年(1797)〕
- 覚** **YK342-86**  
 文政13(1830)写 1冊 横中 仮和  
 註：碇ヶ関御切米渡帳、碇ヶ関町同心山中御扶持帳、碇ヶ関御蔵米関係、他
- 〔陸奥国津軽郡之内小屋舗村・下目内沢村・飛内村・馬場尻村物成郷村高証文〕 諸星内蔵助** **YK342-87-イ**  
 元禄11(1698)写 1冊 美濃 仮和  
 註：津軽越中守殿役人衆中(宛)
- 〔陸奥国津軽郡之内小屋舗村・下目内沢村・飛内村・馬場尻村物成郷村高証文〕 諸星内蔵助** **YK342-87-ロ**  
 元禄11(168)写 1冊 美濃 仮和  
 註：津軽越中守殿役人衆中(宛)2枚欠除
- 〔津軽越中守御預り地相改書付帳〕 戸田佐五兵衛・田山藤左衛門(津軽越中守家来)** **YK342-88**  
 元禄3(1690)写 1冊 美濃 仮和  
 註：津軽采女・津軽伊織知行(小屋舗村・飛内村・馬場

- 尻村・下目内沢村)
- 〔津軽伊織知行物成帳〕** **YK342-89**  
 丸山次郎右衛門・小崎九左衛門・福士七左衛門  
 元禄2(1689)写 1冊 美濃 仮和  
 註：津軽伊織并津軽采女家来より御勘定所への差出書
- 安政之頃御家中禄取高之調** **YK342-90**  
 写 1冊 半紙半 仮和  
 註：石取并俵子百俵金給拾五両以上
- 終身賞典禄之儀大道寺繁禎ヲ以テ東京御家邸ヨリ御礼之趣キ写ス** 明治11年第4月18日 **YK342-91**  
 明治11(1878)写 1冊 半紙 仮和
- 目録 弘前県** **YK342-92**  
 明治4(1871)写 1冊 半紙 和  
 註：米金渡・貸付金・産物基立調、産物有品調、藩債調、米金渡調の覚(大蔵省へ差出扣)
- 赤田組石野村・胡桃館村茂合三拾人用諸役人賄定格帳**  
 文政9年12月 古坂庄兵衛 奥瀬和次郎 **YK342-93**  
 文政9年(1826)写 1冊 半紙 和  
 註：庄屋預 石野村分と胡桃館分の2冊合綴 現北津軽郡板柳町・鶴田町の一部
- 御巡見方御用ニ付御賄米請取通帳 天保9年6月**  
 大鱈組手代 **YK342-94**  
 天保9(1838)写 1冊 横中 仮和
- 大鱈組村々御巡見方御用懸合御手当割合御聞届伺帳**  
 天保11年7月 御巡見方懸合 大鱈組手代 **YK342-95**  
 天保11(1840)写 1冊 横長 仮和
- 道路及橋梁人馬其他諸式遣立帳** 明治14年7月

- 御通輦係 戸長役場議員重立惣代人** YK342-96  
明治14(1881)写 1冊 横中 仮和
- 中崎村諸入用払覚帳 慶応元年并辰年迄** YK342-97  
庄屋甚四郎  
慶応元~明治4(1865~71)写 1冊 横長 仮和  
註:藤代組中崎村岩谷甚四郎
- 御材木并高瀬御船万御勘定之事** YK342-98  
松浦伊兵衛、林吉右衛門  
延宝6(1678)写 1通
- 津軽伊織上ヶ地書上** YK342-99  
元禄3(1690)写 1巻 31×240  
註:弘前日記方の印あり
- 津軽十郎左衛門様御領分ニ罷成代地之帳** 明暦3年  
村上弥三兵衛 YK342-100  
明暦3(1657)写 1冊 半紙倍
- 買越米調達金上納受取覚** YK342-101  
成田吉左衛門、鹿内定吉連印 猿賀村伝吉あて  
天保6(1835)写 1枚 33×12  
註:裏判あり
- 別段調達金上納覚** YK342-102  
郡所小頭 宇野兵助あて  
天保9(1838)写 1枚 33×16
- 上納控 忠三郎** YK342-103  
慶応3(1867)写 1通 折紙  
註:上納金の覚書
- 楮仕立方並紙漉御元入金差上一件** YK342-104  
三国屋久左衛門
- 万延元(1860)写 1冊(合綴)  
註:(1)楮仕立方並紙漉御入金として千五百両三ヶ年割にて差上度旨申出之覚 三国屋久左衛門より杉沼七郎兵衛(東長町名主)あて  
(2)差上金の儀ニ付覚 杉沼七郎兵衛より松善之丞(町年寄)あて  
(3)上納金の儀ニ付覚町年寄より成田孫六(町奉行)あて  
(4)御取立願之儀ニ付御内意 町年寄より成田孫六あて附:難渋之方江手当差遣候表 三国屋久左衛門  
(5)町奉行覚  
(6)勘定奉行御内意(弘前表帯刀不可)
- 御払米ニ付口上書** 三国屋伊三郎 YK342-105  
写 1通
- 草稿** YK342-106  
明治( )か 写 1通  
註:当六月府藩県石高二応金札御割渡正金引換上納の件
- YK345 租税**
- 伺留** 四冊之内 YK345-1  
明治5(1872)写 1冊 半紙 仮和  
註:租税、地券関係
- 覚** YK345-2  
写 1冊 半紙 和  
註:(御台所御用)荷売頭の覚書
- 所々湊出入御役帳** 弘化2年2月 YK345-3  
弘化2(1845)写 1冊 横中 和
- 湊方歩付心得并御役出入覚留** 嘉永5年3月 YK345-4  
佐々木源太八  
嘉永5(1852)写 1冊 横中 仮和
- 註:鯨ヶ沢湊出入御役并歩付心得、歩付物之部、出入物御役定、出入御差留
- 青森湊口出入御役御定帳写** 文政7年10月 YK345-5  
文政7(1824)写 1冊 半紙 仮和  
註:原本は宝暦8年(1758)、勘定奉行工藤三之助、三上久太郎、釜薙兵左衛門が青森町奉行・同湊日付宛に書き記したもの
- 租税課記録** 明治2年7月ヨリ同3年9月迄 YK345-6  
明治2~3(1869~1870)写 1冊 半紙 仮和  
註:大蔵省、府県、民部省、太政官等からの諸達
- 地租改正貢租地価算出スル概略** YK345-7  
明治8(1875)写 1冊 半紙 仮和
- 地券申請取調規則** 明治5年11月18日 YK345-8  
明治5(1872)写 1冊 半紙 仮和
- 元弘前県税則** 明治4年10月 YK345-9  
明治4(1871)写 1冊 半紙 仮和
- 諸印紙税法** 明治37年3月 YK345-10  
明治37(1904)写 1冊 半紙 仮和
- 山林原野地価取調書上帳** YK345-11  
〔明治9(1876)〕刊 1冊 半紙 仮和
- 船税取立帳及船税請取証入** 明治9年ヨリ13年迄用之 YK345-12  
明治9~13(1876~80)1袋(1綴)17×24 仮和  
註:表紙には37枚とるあが実は41枚、第四大区七小区(現稲垣村・木造町等)
- 地租改正條例**(第二百七十二号)明治6年 YK345-13

- 明治6(1873)写 1冊 半紙 仮和
- 地租改正二付人民心得書** 明治7年11月20日  
明治7(1874)写 1冊 半紙 仮和 **YK345-14**
- 地券渡方心得書** **YK345-15**  
明治 写 1冊 半紙 仮和
- 家禄税御規則写** **YK345-16**  
明治7(1874)写 1冊 半紙 仮和  
註：布告へ明治6年(1873)
- 地租改正二付伺之儀** 打越太次郎 **YK345-17**  
明治8(1875)写 1冊 半紙 仮和  
註：打越太次郎は弘前鷹匠町住、士族、青森県権参事 那須均宛
- 地価取調帳雛形** **YK345-18**  
明治8・9(1875・6)写 1冊 半紙 仮和
- 他価取調書上帳**(第一号ノ内巻) **YK345-19-1**  
〔明治8・9(1875・76)〕写 1冊 美濃 仮和
- 他価取調書上帳**(第二号ノ内巻) **YK345-19-2**  
〔明治8・9(1875・76)〕写 1冊 美濃 仮和
- 地券二付追々御達** 明治6年第1月 **YK345-20**  
明治6(1873)写 1冊 半紙 仮和  
註：青森県那須権参事の演達、笹森儀介(助)宛弘前地券局(県庁弘前出張地券掛伊東正良)書類等
- 論出調査表** 明治24年10月 **YK345-21**  
中津軽郡豊田村部内  
明治24(1891)写 1冊 半紙 仮和  
註：田(反別、地価、地租)一ヶ年論出調査表
- 附、西津軽郡大戸顔付、弘前市(税)
- 第廿七区田野沢村より広戸村迄七ヶ村当地方調入費総計書上帳** 明治6年第3月 **YK345-22**  
明治6(1873)写 1冊 半紙 和  
註：現深浦町
- 第壹号ヨリ第四号ニ至ル別紙材料書ノ説明書** **YK345-23**  
〔明治19(1886)〕写 1冊 半紙 仮和  
註：第壹号「明治8年地租改正反別収穫ト旧税法比較調」第贰号「津軽五郎旧定積表」第参号「上下北郡三戸郡旧定積表」第四号「津軽五郡畑旧石盛表」
- 堀越組御用銭受払勘定帳** **YK345-24**  
大荘〔庄〕屋(溝江万蔵)  
明治3(1870)写 1冊 半紙 仮和  
註：「慶応四辰年十月より明治式己九月中」「明治二己ノ十月より同三年ノ九月中」の合冊(1868～1870)
- 明治十年自七月至十二月第二大区九小区石畑小杉四ツ屋村費用清算表** 山谷甚三郎 相馬与八郎 古川喜太郎  
明治10(1877)写 1冊 半紙 和 **YK345-25**
- 柏木組村々田畑当御収納免目録帳奥** 嘉永5年10月  
馬場十次 大沼又太郎 **YK345-26**  
嘉永5(1852)写 1冊 半紙 和
- 〔猿賀組村々田畑宅地取調帳〕** **YK345-27**  
〔明治8～12(1875～1879)〕写 1冊 半紙 仮和  
註：現黒石市・南津軽郡尾上町・田舎館村ニ属スル一部
- 田舎館組村々当御収納米別免目録** 文化12年11月  
野呂五左衛門・一戸与五右衛門 **YK345-28**  
文化12(1815)写 1冊 半紙 和
- 田舎館組役所御用銭受払惣勘定帳** **YK345-29**  
勤中手代・勘定懸合  
安政2(1855)写 1冊 半紙 和  
註：天保十二丑年十二月より翌寅年十一月中(1841～1842)、天保十三寅年十二月より翌卯年十一月中(1842～1843)
- 巻反当平均帳** 明治8年6月 **YK345-30**  
明治8(1875)写 1冊 半紙 仮和  
註：津軽郡国吉村(現弘前市東目屋)より地租改正係に提出する「何村収穫調」の雛形
- 駒越組御用銭受払勘定帳** 明治3年9月 **YK345-31**  
大庄屋  
明治3(1870)写 1綴 半紙 仮和  
註：他に「駒越組村々御用銭差引帳」「何組御用銭受払勘定帳」が合綴
- 駒越組村々南溜池雇人夫代銭人別判帳** 安政5年8月  
御代官 **YK345-32**  
安政5(1858)写 1冊 半紙 和
- 高杉組宮館村・折笠村・中別所村田畑高免目録**  
文化9年6月 庄屋弥五左衛門 **YK345-33**  
文化9(1812)写 1冊 半紙 仮和  
註：合冊「高杉組宮館村・折笠村・中別所村田畑別免目録(文化八年)」
- 高杉村々明治元辰ノ十一月ヨリ同三巳ノ九月中御用銭平分割調帳**(扣へ) 明治4年5月 対馬儀兵衛(大庄屋)  
明治4(1871)写 1冊 半紙 仮和 **YK345-34**  
註：三巳は三年の間違いであろう
- 高杉組御用銭受払勘定帳**(明治二巳ノ十一月より同三年午ノ十月中) 明治4年6月 大庄屋 **YK345-35**

- 明治4 (1871) 写 1冊 半紙 和  
註：大庄屋 (対馬儀兵衛・高橋平司) の帳
- 当御収納米并売米共覚帳** 文久2年12月 **YK345-36**  
岩谷甚四郎  
文久2 (1862) 写 1冊 横長 仮和  
註：藤代組中崎村 (現弘前市) 岩谷家
- YK350 統計**
- [人別戸数田畑牛馬齢共調雛形] **YK350-1**  
寛政10 (1798) 写 1冊 半紙 仮和
- YK351 青森県**
- [郷村町在調帳] **YK351-1**  
写 1冊 半折 和
- 御郡内人別戸数調総括牒** **YK351-2**  
安政6 (1859) 写 1冊 横小 和  
註：弘前・在方・九浦・人別戸数仕分之覚 (馬数・牛数・船数共)
- 御郡内人別戸数調総括牒** **YK351-3**  
慶応2 (1866) 写 1冊 横小 和  
註：弘前・在方・九浦・人別戸数仕分之覚 (馬数・牛数・船数共)
- 寺社門前人別戸数諸工諸家業総括牒** **YK351-4**  
元治元 (1864) 写 1冊 半紙 和  
註：弘前、在方、浦々、隠
- 寺院人別戸数総括牒** **YK351-5**  
元治元 (1864) 写 1冊 半紙 和  
註：弘前、在方、浦々
- 九浦町中人別戸数諸工諸家業総括牒** 全 **YK351-6**  
元治元 (1864) 写 1冊 半紙 和  
註：青森、鯨ヶ沢、深浦、十三、碓ヶ関、大間越、野内、蟹田、今別
- 御郡内人別宗旨分并戸数諸工諸家業牛馬総括牒** 全 **YK351-7**  
元治元 (1864) 写 1冊 半紙 和  
註：内題「弘前在方九浦人別戸数仕分之覚」
- 御郡内人別戸数并牛馬船数増減調牒** **YK351-8**  
文化7 (1810) 写 1冊 半紙 和
- 御郡内人別戸数調惣括牒** **YK351-9**  
嘉永6 (1853) 写 1冊 半紙 仮和  
註：弘前・在方・九浦 (牛・馬・船数共)
- [海岸村日記] **YK351-10**  
嘉永2 (1849) 写 1冊 長小 和  
註：浅虫村より黒崎村に至る海岸村の男女別人数并戸数
- 管内一覧表** 明治7年11月彫刻 (官准) **YK351-11**  
青森県蔵版 明治7 (1874) 刊 1枚 30×109 (折)  
註：内題「青森県治一覧概表」
- 種々留帳** 明治15年 **YK351-12**  
明治15 (1882) 写 1冊 横中 仮和  
北門 (中村良之進) 旧蔵力  
註：青森県内一覧
- 覚** **YK351-13**  
明治2 (1869) 写 1冊 半紙 仮和  
註：津軽領内土地田畑、土農工商人口、寺社牛馬船、国産、鉾山、湊、隣境、松前、造酒屋、兵隊之調等々
- 青森貫属士族卒戸数表 **YK351-14**  
写 1冊 半紙 仮和  
註：紙背文書
- 各組村々当戸数人別諸工諸家業牛馬職去辰八月より当巳七月迄増減惣括帳** **YK351-15**  
明治2年8月 民事属事 (郡政調方)  
明治2 (1869) 写 1冊 (11冊合綴) 半紙 仮和  
註：横内、浪岡、高杉、大光寺、田舎館、大鰐、駒越、和徳、堀越、後潟、油川の11組
- 御蔵町端和徳町端人別戸数帳** 明治2年11月 **YK351-16**  
岩見忠兵衛  
明治2 (1869) 写 1冊 半紙  
註：弘前革師の人別戸数調
- YK352 青森市 東津軽郡**
- 油川村名前** **YK352-1**  
安政4 (1857) 写 1冊 長小 仮和
- [平館戸数・船調] **YK352-2**  
写 1冊 横長 仮和  
註：平館村、根岸村、野田村、今津村
- YK353 弘前市 中津軽郡**
- (土手町居下軒数根帳)** 名主高嶋屋半左衛門 **YK353-1**  
文政10 (1827) 写 1冊 美濃 和  
布表紙 書袋入
- 土手町居下家数帖** 土手町名主吉田新吉 **YK353-2**  
慶応3 (1867) 写 1冊 美濃 和  
布表紙 書袋入  
註：表紙裏 慶応三丁卯年、土手町居下軒数根帳、六月

- 上旬改之
- 〔土手町居下軒数根帳〕 YK353-3  
土手町名主吉田新吉  
慶応2(1866)写 1冊 美濃 和  
布表紙 書袋入  
註：表紙裏 慶応三丁卯年、土手町支配家業帳、六月中旬改之
- 弘前町中諸職家業軒数調牒 寛政8年4月 YK353-4  
寛政8(1796)写 1冊 半紙 和
- 和徳町西側坂之上人別調帳 YK353-5-1  
蝦屋与八(月行事)  
明治2(1869)写 1冊 半紙 和
- 和徳町西側四丁目五丁目借屋人別調帳 YK353-5-2  
蝦屋与八(月行事)  
明治2(1869)写 1冊 半紙 和
- 和徳町西側四丁目五丁目大屋人別調帳 YK353-5-3  
蝦屋与八(月行事)  
明治2(1869)写 1冊 半紙 和
- 和徳町西側六丁目八丁目大屋人別調帳 YK353-5-4  
蝦屋与八(月行事)  
明治2(1869)写 1冊 半紙 和
- 和徳町西側六丁目ヨリ九丁目借屋人別調帳 YK353-5-5  
蝦屋与八(月行事)  
明治2(1869)写 1冊 半紙 和
- 弘前町中人別戸数諸工諸家業総括牒 全 YK353-6  
元治元(1864)写 1冊 半紙 和
- 市中戸数人別大惣括帳(下書) YK353-7  
小宮山万左衛門(市井人別惣括上締)  
明治3(1870)写 1冊 半紙 和  
註：弘前
- 本町支配新寺町人別戸数調牒 YK353-8-1  
加賀屋清三郎(月行事)  
明治2(1869)写 1冊 半紙 和
- 本町支配新寺町人別戸数調牒 YK353-8-2  
大高屋長左衛門(月行事)  
明治2(1869)写 1冊 半紙 和
- 駒越村費用清算表 明治12年自7月至12月 YK353-9  
中津軽郡駒越村  
明治12(1879)写 1冊 半紙 和
- 弘前市統計一斑 大正7年 弘前市役所編 YK353-10  
弘前 編者 大正8(1919)刊 1冊 17×10 仮洋
- 弘前市勢一覧 昭和10年 弘前市役所編 YK353-11  
弘前 編者 昭和10(1935)刊 1冊 13×20 仮洋  
註：付録「最新弘前市全図」
- 弘前市勢一覧 昭和26年度 弘前市役所編 YK353-12  
弘前 編者 昭和26(1951)刊 1冊 菊 仮洋
- YK354 黒石市 南津軽郡
- 藩中戸数人口書 黒石藩 YK354-1  
明治2(1869)写 1冊 半紙 和  
註：黒石藩知藩事ヨリ按察府へ
- 市在戸口書上雛形 杉館分控 YK354 2  
明治3(1870)写 1冊 半紙 仮和
- 浪岡組人別戸数諸工諸家業馬共惣括帳 YK354-3  
民事属事(成田栄助・渋谷祐作)  
明治2(1869)写 1冊 半紙 和
- 尾崎組村々戸数人別増減惣括帳 YK354-4  
山崎忠之進・打越太次郎  
明治2(1869)写 1冊 半紙 和  
註：山崎・打越は民事局属事か？
- 〔猿賀組村々戸数人別田畑馬数惣括帳〕 YK354-5  
清藤伝吉  
写 1冊 横小 和  
註：嘉永年間か
- 第二大区九小区沖館村費用精算表(明治9年自1月至12月) 明治10(1877)写 1冊 半紙 和 YK354-6
- YK355 五所川原市 北津軽郡 西津軽郡
- 鱈ヶ沢管村地価大略見込 YK355-1  
明治5(1872)写 1冊 半紙 和  
註：第26、27、28区村々田畑代金大略
- 各村調日記(二十六、二十七、二十八、二十九区) 明治6(1873)写 1冊 半紙 仮和 YK355-2  
註：内題「調済日記」旧高杉組十面沢、旧赤石組(出来島村から大間越村まで)、鱈ヶ沢町の村々
- YK356 八戸市 十和田市 三沢市 上北郡 三戸郡
- 物産取調書 大芦頭三 YK356-1  
明治10(1877)写 1冊 半紙 仮和  
註：陸奥国北郡第七大区(現野辺地町・七戸町)明治9年(1876)物産高取調

## YK367 家庭 性問題

〔覚〕 黒石瀧五郎・木村左源太 YK367-1  
写 1冊 半紙 仮和  
註：金屋村六右衛門娘なよとその夫伝法屋重助との雛縁の一件について

大坂屋与兵衛娘身売証文 YK367-2  
天明4(1784)写 1枚 24×32

## YK369 社会病理 社会事業

秘系由緒伝 元和7～寛永8(1621～1631) YK369-1  
安政2(1855)写 1冊 半紙 和  
註：乞食、非人、袖乞、穢多等に関わりあり

明治十三年五月十五日午後第十二時弘前元寺町ヨリ出火罹災取調書類綴〔中津軽郡役所編〕 YK369-2  
明治13(1880)写 1冊 半紙 仮和  
註：附、罹災町数絵図共

灰燼遺事 明治13年5月16日来 YK369-3  
〔中津軽郡役所〕  
明治13(1880)写 1冊 半紙 仮和  
註：明治13年5月15日 弘前大火

弘前大火 明治13年5月15日 YK369-4  
明治13(1880)写 1冊 半紙 仮和  
註：罹災人救助、見舞等、死傷人、消防夫負傷についても。

罹災者名簿 昭和3年4月18日 YK369-5  
弘前市役所庶務係  
昭和3(1928)謄写 1冊 半紙 仮和  
註：昭和3年4月18日、弘前市で大火、富田町・山道

町・品川町など650戸、一大小、二大小が焼ける

## YK370 教育

私立教育講習会設立ノ旨意書 YK370-1  
写 1冊 半紙 仮和  
註：西津軽郡木造地方の教育研修会設立の趣旨、会規則

青森県弘前市学事一覧(大正6年) YK370-2  
弘前市役所編  
弘前 編者 大正6(1917)刊 1冊 18×10 仮洋

青森県弘前市学事一覧 大正8年4月調 YK370-3  
弘前市役所編  
弘前 編者 大正8(1919)刊 1冊 15×10 仮洋

## YK370.9 往来物

百姓往来 相馬秀之助 YK370.9-1  
写 1冊 半紙 和

武具短歌 全 山鹿素行撰・加藤涼友考 YK370.9-2  
江戸 須原屋茂兵衛版 明和9(1772)1枚 折

女消息往来 YK370.9-3  
大坂 河内屋茂兵衛 嘉永5(1852)刊 1冊 半紙 和

女庭訓教文庫 YK370.9-4  
江戸 森屋治郎兵衛 嘉永4(1851)刊 1冊 半紙 和

自遺往来 YK370.9-5  
刊 1冊 美濃 和  
註：別名「江戸往来」(往来物)

両点庭訓往来(首書絵抄)全 YK370.9-6

東都 山口屋藤兵衛 慶応2(1866)刊 1冊 美濃 和

庭訓往来 YK370.9-7  
東都 鶴屋金助 文化11(1814)刊 1冊 美濃 和

寿世江戸往来(頭覚絵入)完 YK370.9-8  
東都 森屋治兵衛 文政13(1830)刊 1冊 美濃 和  
註：内題「自遺往来」

女実語教(天保改正)全 YK370.9-9  
江戸 山口屋藤兵衛 刊 1冊 美濃 和

女大学 益軒貝原先生述 YK370.9-10  
江戸 須原屋茂兵衛 文政12(1829)刊 1冊 美濃 和  
註：他に南京八景、十二月色紙和歌、源氏物語、世嗣草などあり

〔諸国尽・京都町尽・官名尽〕 YK370.9-11  
伝法比丘昭乗  
慶安2(1649)写 1冊 39×9 折本

改正日本国尽 東海道 附無人嶋二 YK370.9-12  
瓜生寅  
〔東京 名山閣 明治7(1874)〕刊 1冊 半紙 仮和  
亀甲小学(現弘前市立時敏小学校)旧蔵  
註：八冊の内1冊、瓜生寅は幕末明治時代の洋学者、実業家(1842～1913)

東海道往来 大橋重雅書 YK370.9-13  
東都 永楽屋丈助 弘化2(1845)刊 1冊 美濃 和  
註：附 書札集(大橋重幸書)

商売往来絵字引 又玄斎南可 YK370.9-14  
東都 大和屋喜兵衛 刊 1冊 美濃半 和



- 女用文章袖硯** 笠亭(仙果)編 YK370.9-15  
 江戸 須原屋茂兵衛 刊 1冊 美濃半 和  
 註:笠亭は江戸後期の戯作者、狂歌師
- 御家商売往来** YK370.9-16  
 東都 山崎屋清七 刊 1冊 美濃半 和
- 婚礼往来 全** YK370.9-17  
 刊 1冊 美濃 平和
- 隅田川往来(龍田詣)** YK370.9-18  
 江戸 山田屋庄兵衛 刊 1冊 美濃半 和
- 近道予宝** YK370.9-19  
 東都 森屋治兵衛 嘉永5(1852)刊 1冊 美濃半 和
- 子供節用集(嘉永改正)全** YK370.9-20  
 刊 1冊 美濃半 和  
 註:内題(別題)「日用重宝万文字尽」
- 国尽編尽名がしら** YK370.9-21  
 刊 1冊 美濃半 和
- 女今川教訓鏡** YK370.9-22  
 東都 森屋治兵衛 刊 1冊 美濃半 和
- 童子千字文** YK270.9-23  
 東都 森屋治兵衛 弘化2(1845)刊 1冊 美濃半 和
- 小野篁歌字尽** YK370.9-24  
 東都 森屋治兵衛 刊 1冊 美濃半 和
- 物嗅状** YK370.9-25  
 写 1冊 半紙 和
- 弘前往来** YK370.9-26  
 写 1冊 半紙 和  
 註:巻尾に「戌十月」「兼松作」とある。これが兼松成言(石居)の作とするならば、江戸定府の士だった彼が国下り蟄居を命ぜられて弘前に移り住むようになったのは安政4年(1857)以降であるから、在弘中の戊年は文久2年(1862)ということになる
- YK372 教育史 事情**
- 勤敷帳** 慶応3年 工藤久三郎 YK372-1  
 慶応3(1867)写 1冊 半紙 仮和  
 註:敷は式か、学問所規則
- 津軽維新前の学校** 百川烟霞 YK372-2  
 明治35(1902)新聞切り抜き 1冊 19×27 仮和  
 註:弘前新聞連載
- 弘前教育史資料(雑)** YK372-3  
 写 1冊 半紙 仮和  
 註:延宝三年二月日記(最始ノ一例)  
 藤崎幼君水死異説、誓願寺由緒、光信公法会始末、津軽一統志編纂始末、他
- 教育史稿 附録** YK372-4  
 写 1冊 半紙 仮和  
 註:稽古館資料
- 稽古館創記** YK372-5  
 写 1冊 半紙 仮和  
 註:寛政4~嘉永7(1792~1854)
- 学問所諸礼教授方御用留** 三浦浅右衛門 YK372-6  
 嘉永4(1851)写 1冊 横中 仮和
- 学校御家第** YK372-7  
 写 1冊 半紙半 仮和  
 註:朝推ト御家第ノ照合表
- 学校文通式** YK372-8  
 寛政8(1796)写 1枚 半紙  
 註:小司、学則、添学頭、勘定役ヨリ総司、小司、学頭、添学頭、勘定役へ
- 弘前藩城中稽古館御規数帳ひかへ** YK372-9  
 写 1冊 半紙 仮和  
 (樋口建良ヨリ譲ラレ下沢継志斎旧蔵)  
 註:内題に清算不仕候とある
- 古稽古館淵鑑録 中 共三冊(上巻欠)** YK372-10-中  
 [竹内安久]  
 [安政6(1859)]写 1冊 半紙 和  
 註:寛政年間時之家老津軽永孚エ学校掛竹内衛士ヨリ創業新築万般論談評定書。安政六己未歳晩於艸舎暗牕下大稿記ヨリ描彩也。
- 古稽古館淵鑑録 下 共三冊(上巻欠)** YK372-10-下  
 [竹内安久]  
 [安政6(1859)]写 1冊 半紙 和
- 弘前藩貢進生一件記録 全** YK372-11  
 明治4(1871)写 1冊 半紙 仮和(下沢保躬旧蔵)  
 註:弘前藩公用局の蔵印あり
- 惣司取扱手録 伴才助** YK372-12  
 写 1冊 半紙 仮和  
 註:伴才助は寛政12年(1800)12月、津軽藩校稽古館五代総司となる
- [学問所覚書] YK372-13

写 1冊 半紙 仮和  
 註：天保三年稽古館組織学校御取建の事、維新前後の稽古館、他

**[藩校覚書]** YK372-14

〔寛政7(1795)〕写 1冊 半紙 仮和  
 註：学校御建立之趣旨(一役一人江御渡御書付)  
 学校入学之儀(触)

**素問講解(弘前医学館課講)** YK372-15

写 1冊 半紙 仮和  
 (弘前医 手塚氏旧蔵本)  
 註：森林助 昭和4年之ヲ求ム

**学田調医学校ニ係ル諸学校ニ係ル書類** YK372-16

〔明治10~12(1877~1879)〕写 1冊 半紙 仮和  
 註：「学田告諭書」并関係書類、学資金収徴法拔書、弘前公立医学校設置関係書類

**[小学校木柄] 駄送帳** 明治9年5月 YK372-17

藤田窓助  
 明治9(1876)写 1冊 横中 和

**YK373 教育政策 教育制度**

**学区取締職制 青森県** YK373-1

明治7(1874)写 1冊 半紙 仮和

**町村立小学校則** 明治16年第2月20日御達 YK373-2

明治16(1883)写 1冊 横中 仮和

**YK375 学習指導 教育課程(教科書)**

**郷土地理取扱に関する研究 佐藤雄次郎** YK375-1

大正10(1921)ガリ版 1冊 半紙 仮和

**青森県地誌略 全 松森豊編輯** YK375-2

東京 博文堂 明治21(1888)1冊 半紙 和

**青森県地理書 全 成田三千郎編** YK375-3-イ

東京 鎌田政憲 明治27(1894)1冊 半紙 和

**青森県地理書 全 成田三千郎編** YK375-3ロ

東京 鎌田政憲 明治27(1894)1冊 半紙 和

**陸奥地誌略 全 中嶋健三編輯** YK375-4-イ

弘前 秋元源吾 明治14(1881)1冊 半紙 和

**陸奥地誌略 全 中嶋健三編輯** YK375-4-ロ

弘前 秋元源吾 明治14(1881)1冊 四六 和

**青森県地誌 全 帰山信順** YK375-5

青森 成田泰 明治26(1893)1冊 半紙 和

**陸奥地誌略 全 青森県師範学校編** YK375-6

弘前 秋元源吾 明治12(1879)1冊 半紙 和

**教授参考地誌 城東一心居士** YK375-7

大正9(1920)謄写 1冊 半紙 仮和  
 註：1、青森県諸誌 2、西津軽郡諸誌 3、岩崎村誌  
 4、津軽史 5、附録。一心居士とは何人か、南津軽郡  
 出身の西津軽郡(岩崎村あたり)の教員か。神という押  
 印あり。

**諺号大日本分図手鏡 全 高橋正賢** YK375-8

東京 和泉屋甚右エ門 明治9(1876)刊 1冊  
 横(美濃半) 和

**日本地誌略附図 三 上田正庸** YK375-9

東京 江藤喜兵衛 明治10(1877)刊 1冊 半紙 和

**刪修近古史談 一 大槻盤溪(清崇)** YK375.9-1-1

東京 大槻修二 明治26(1893)刊 1冊 半紙 和  
 註：初代明治14(1881)

**刪修近古史談 二 大槻盤溪(清崇)** YK375.9-1-2

東京 大槻修二 明治26(1893)刊 1冊 半紙 和

**刪修近古史談 三 大槻盤溪(清崇)** YK375.9-1-3

東京 大槻修二 明治26(1893)刊 1冊 半紙 和

**刪修近古史談 四止 大槻盤溪(清崇)** YK375.9-1-4

東京 大槻修二 明治26(1893)刊 1冊 半紙 和

**小学生徒訓條 田寺兆** YK375.9-2

東京 江島喜兵衛 明治15(1882)刊 1冊 半紙 和

**東北教科用かなづかひ 全 松尾捨次郎** YK375.9-3

弘前 文港堂 明治30(1897)1冊 菊 和

**YK376 初等・中等教育**

**昭和六年弘中嶽事件(新聞切抜外書類綴)** YK376-1

昭和6(1931)切抜・写・謄 横半紙 仮和  
 註：昭和39年(1964)整理

**学友通信 学友通信会(東奥義塾)編** YK376-2

弘前 編者 明治21~24(1888~91)16冊(合  
 本)四六・菊 仮洋  
 註：明治21年1(1888)第5・6・7・8号 明治22  
 年(1889)第9号 明治23年(1890)第22・23・  
 24・26・27・28・29号 明治24年(1891)第31・  
 33・35・37号  
 東奥義塾同窓会の機関紙(月刊)

**YK379 社会教育 成人教育**

**弘前道場鑑** YK379-1

複写(カーボン)1冊 半紙 仮和  
 註:明治館・北辰堂・城陽会・求道館・精交会  
 原本は明治42・44(1909・11)に書かれたもので小野  
 芳次郎氏旧蔵

**YK382 風俗史 民俗史****津軽俗説選** YK382-1

青森県立図書館青森県叢書刊行会編  
 昭和26(1951)226頁 菊 仮洋  
 註:青森県叢書第一編

**津可留俗説選 全** YK382-2

昭和11(1936)謄写 1冊 半紙 和

**津軽俗説選 坤 工藤白龍著** YK382-3

大正元(1912)写 1冊 半紙 和  
 註:棟方悌二氏所蔵本(原作者工藤白龍の自筆本と称するもの)の書写

**津軽俗説選後拾遺 津軽俗説選後々拾遺 完** YK382-4

工藤白龍著  
 大正元(1912)写 1冊 半紙 和  
 註:棟方悌二所蔵本(原作者工藤白龍の自筆本と称するもの)の書写

**奥民図彙 比良野貞彦著** YK382-5

昭和36(1961)複写 1冊 114頁 B5 仮和  
 註:弘前市坂本弘氏蔵本を複写した三部の内の一部。  
 もう一部も本館所蔵(K382 ヒラ)、他に県立図書館発行「奥民図彙」(K382 ヒラ)がある。  
 貞彦は江戸中期、津軽藩江戸定府の士。武術にすぐれ、  
 面をよくし、外浜人、嶺雪と号す。本書は天明8年(1788)

の探訪記録だろうといわれている。

**猥褻風俗史 宮武外骨編輯** YK382-6

大阪 編者 明治44(1911)刊 1冊 半紙 和  
 註:宮武(1867~1955)は明治文化史研究者、在野、  
 反骨のジャーナリスト

**YK384 社会風俗****山ノ上人別 全 元治元年5月** YK384-1

元治元(1864)写 1冊 横小 和  
 註:箱館千代ヶ台詰合某氏書写

**弘藩明治一統誌月令雑報摘要抄 内藤官八郎** YK384-2

写 1冊 半紙 仮和  
 註:文政年度より明治の開新に至る弘前藩内の風俗を記す(写本)

**弘藩明治一統誌月令雑報摘要抄 内藤官八郎** YK384-3

写 1冊 半紙 仮和  
 註:大正3年(1914)黙斎(棟方悌二)の写し、内題「弘藩風俗雑考」(文政年度~明治開新)、本書は黙斎の写しの写し

**〔吉原〕さいけん** YK384-4

江戸 玉屋山三郎 嘉永6(1853)刊 1冊 半紙半 和

**アリス国辞彙 全 (宮武)外骨** YK384-5

東京 著者 昭和4(1929)刊 1冊 98頁 和  
 註:別名、吉原訛言集、傾城嬌舌篇、楽境艶詞録、悪所色音考、北狄蛮語箋

**文しなん 全** YK384-6

刊 1冊 半紙半 和  
 註:艶道通信

**記録** 昭和9年7月 弘前貸座敷組合 YK384-7

昭和9(1934)写 1冊 半紙 仮洋  
 註:貸座敷業より料理店に転業の件など

**YK385 祭社 年中行事****〔年中行事御祝献立並三方等御飾〕** YK385-1

写 1冊 半紙 仮和  
 註:正月、節句、月見、誕生日など

**〔今年中行事 一〕** YK385 2

写 1冊 半紙 和  
 註:御当家年中行事 正月元日より同七日まで

**今年中行事 二** YK385-3

写 1冊 半紙 和  
 註:御当家年中行事 正月八日より同晦まで

**今年中行事 三** YK385 4

写 1冊 半紙 和  
 註:御当家年中行事 二月三月

**今年中行事 四** YK385-5

写 1冊 半紙 和  
 註:御当家年中行事 三月

**今年中行事 五** YK385-6

写 1冊 半紙 和  
 註:御当家年中行事 四月

**〔今年中行事 六〕** YK385-7

写 1冊 半紙 和  
 註:御当家年中行事 五月

〔今年中行事 七〕 写 1冊 半紙 和 註：御当家年中行事 六月	YK385-8	年中行事記 全 安政2(1855)写 1冊 横中 和	YK385-18	婚礼之書 行之式 森内図書繁富 文政4(1821)写 1冊 半紙 和 註：嘉永6(1853)書写	YK386-4
今年中行事 八 写 1冊 半紙 和 註：御当家年中行事 七月八月	YK385-9	〔年中行事之覚〕 写 1冊 半紙 和	YK385-19	御婚礼御申合帳 文久元年9月 神太郎吉内 文久元(1861)写 1冊 半紙 仮和	YK386-5
今年中行事 九 写 1冊 半紙 和 註：御当家年中行事 九月十月	YK385-10	五節供之次第 天保5年 相馬寛治 天保5(1834)写 1冊 半紙 仮和 註：原本は正徳4年(1714)	YK385-20	婚礼之書 草之礼式 全 森内図書繁富撰書 文政4(1821)写 1冊 半紙 仮和	YK386-6
今年中行事 十 写 1冊 半紙 和 註：御当家年中行事 十一月十二月	YK385-11	御名御祝儀御規式帳(御留守) 写 1冊 横長 仮和	YK385-21	御婚礼御申合帳 万延元年4月 進藤太郎左衛門様内 成田長左衛門 万延元(1860)写 1冊 半紙 仮和	YK386-7
年始御次第書 文政6(1823)写 1冊 横中 和	YK385-12	歳時記 完 刊 1冊 半紙 和 註：書名は「歳時」ではないか	YK385-22	御申合帳 写 1冊 半紙 仮和 註：山中専蔵内 村田伴右衛門 田中宗右衛門様御内 小村伊三郎様	YK386-8
御年始御礼御坐敷附 写 1冊 半紙 仮和	YK385-13	上巳之節供 写 1冊 半紙 仮和 註：年中行事、三月三日	YK385-23	表使御祝儀御申合帳 安政3年3月 山中兵部内佐野久太郎 安政3(1856)写 1冊 半紙 仮和	YK386-9
〔殿中年中行事扣帳〕 享和3(1803)写 1冊 半紙 和 註：付、御用格帳之内拾式ヶ条	YK385-14	<b>YK386 冠婚葬祭</b>		表使御祝儀御申合帳 安政3年12月 杉山龍蔵内太田新左衛門 安政3(1856)写 1冊 半紙 仮和	YK386-10
〔江戸諸勤年中行事〕 写 1冊 横中 和	YK385-15	〔婚姻之書〕 安政2(1855)写 1冊 半紙 和 註：行之礼式 草之礼式	YK386-1	御婚姻御申合帳 福土源助 写 1冊 半紙 仮和	YK386-11
御留守御規式御煤取より御年始御祝儀 写 1冊 横中 和	YK385-16	婚礼之書真行書 森内図書繁富撰書 文政4(1821)写 1冊 半紙 和 註：大正6(1917)中村良之進書写 婚礼之卷上、下 婚礼之書 行之礼式 婚礼之書 草之礼式	YK386-2	婚礼之書 草之式 森内図書繁富撰書 文政4(1821)写 1冊 半紙 和	YK386-12
江戸御年始御規式覚 写 1冊 横14×21 仮和	YK385-17	閑雲漫筆 婚姻 下沢閑雲編 写 1冊 半紙 和 註：津軽士民通例略婚姻式拔萃	YK386-3	御葬送御行烈 天保4年7月3日	YK386-13

- 天保4(1833)写 1冊 6×17 仮和  
註：津軽寧親の葬送行列帳
- 上仙院様三回御忌御法事勤書** YK386-14  
天保6(1835)写 1冊 横 14×12 和
- 政徳院様御葬送御行列** 元治2年2月 YK386-15  
元治2(1865)写 1冊 横長 仮和  
註：政徳院は津軽順承(11代藩主)
- 高源院様御法事御番人相勤候一件** 文政12年11月  
文政12(1829)写 1冊 半紙半 和 YK386-16  
註：高源院は津軽信枝(2代藩主)
- 御婚禮御申合帳控** 明治8年4月 YK386-17  
丈人様内斎藤常太郎  
明治8(1875)写 1冊 半紙 仮和
- 御申合帳** 文久2年2月吉日 今助九郎方見積 YK386-18  
文久2(1862)写 1冊 半紙 仮和
- 御申合帳** 天保15年11月 YK386-19  
山中内膳内佐野久太郎  
天保15(1844)写 1冊 半紙 仮和
- 御婚禮ニ付御規式帳** 寛政9年2月28日 YK386-20  
寛政9(1797)写 1冊 半紙 仮和
- 御申合帳**(唐牛三左衛門内 福土源助) YK386-21  
写 1冊 半紙 仮和
- 上仙院様御葬送御行列** 天保4年7月3日 YK386-22  
御用懸者頭田中左次馬 同御目付安西平十郎  
天保4(1833)写 1冊 6×17 仮和  
註：上仙院は津軽寧親
- 御葬送御行列帳** 嘉永4年10月10日 YK386-23  
仁左衛門  
嘉永4(1851)写 1冊 横小 和  
註：十代藩主津軽信順室金(仙桜院)の葬送
- 御法事帳町奉行代** 对馬久米次郎 YK386-24  
天明4(1784)写 1冊 半紙 和  
註：戒香院(七代藩主津軽信寧)様御法事
- 葬祭式之伝** 外ニ一軸有 斎藤鋳右衛門規房 YK386-25  
寛政3(1791)写 1冊 半紙 和  
註：喪葬略式伝聴書
- 御婚禮御申合帳** 慶応3年6月吉日 YK386-26  
長利薩摩内見積方  
慶応3(1867)写 1冊 半紙 仮和
- 表御使御結納御婚禮御祝儀御規式帳** 万延元年4月  
黒石源助 YK386-27  
万延元(1860)写 1冊 半紙 和
- 御婚禮見積帳** 万延2年2月 YK386-28  
万延2(1861)写 1冊 半紙 仮和
- 覚** YK386-29  
写 1通  
註：婚禮の時の荷物目録か
- 御申合帳** 間山文蔵様見積 YK386-30  
写 1冊 半紙 和
- 御結納御祝儀御申合帳** 万延2年2月 YK386-31  
太田新左衛門  
万延2(1861)写 1冊 美濃 仮和
- 〔御申合帳〕** YK386-32  
写 1冊 半紙 仮和
- 御申合帳** 高杉寅太郎様見積 YK386-33  
写 1冊 半紙 和
- 御吉例金勤書** 天保9年5月 YK386-34  
御弘方御金奉行  
天保9(1838)写 1冊 半紙半 和
- 〔安政三丙辰年九月五日迄瑞祥院様御法会被為濟候処ニ而十二月七日八日両日旧家之面々江被下方 人別帳〕**  
藤原武正 YK386-35  
慶応元(1865)写 1冊 半紙 半和
- 〔婚禮乃巻〕** YK386-36  
小笠原御家流四礼師範家元 日野資休  
大正3(1914)写 1冊 半紙半 仮和  
註：付、神前結婚式(大正15、小野才吉)
- 喰初髪置袴着元服之巻** YK386-37  
写 1冊 半紙 仮和
- 元服之巻** 石井治兵衛 YK386-38  
文政9(1826)写 1冊 横中 和  
註：原本 貞享元(1684)
- 報恩寺江之御行列** 安政2年8月 YK386-39  
安政2(1855)写 1冊 横小 和  
註：津軽承祐御葬送行列
- 三ノ御丸御番所勤向并御逝去ニ付御廟所勤向共** YK386-40  
安政2年3月 一戸正秀  
安政2(1855)写 1冊 横小 和

- 古世喜世差当支度入用諸払留 **YK386-41**  
安政2 (1855) 写 1冊 横中 仮和
- 送状 小野川遠江 斎藤長門あて **YK386-42**  
天保7 (1836) 写 1通  
註：黒石小野川遠江配下盛田長門娘まさ婚姻送状
- 〔法事案内状〕 **YK386-43**  
写 1通
- YK387 礼儀作法 社交**
- 給仕配膳仕様 文化2年11月 **YK387-1**  
文化2 (1805) 写 1冊 半紙 仮和
- 殿様御上下御道中規式 **YK387-2**  
写 1冊 横小 仮和
- 客様御受候節一行二行御給仕全書 成田房好 **YK387-3**  
元禄10 (1697) 写 1冊 横11×15 仮和
- 大御規式御供立御行例〔列〕帳 文化3年12月5日 **YK387-4**  
文化3 (1806) 写 1冊 豎長 仮和  
註：文政八年 文政九年
- 〔諸御礼之式〕 **YK387-5**  
写 1冊 横中 和  
註：大目付覚書
- 旧藩御給仕式 明治35年5月 **YK387-6**  
明治35 (1902) 写 1冊 半紙 仮和
- 諸礼躰方九冊之書 **YK387-7**  
写 1冊 半紙 和  
註：九冊之内 万躰之書 (三) 通之次第 (四) 酌之次第
- (五) 喰初之次第 (六)
- 嘉礼 口授之部 素閑星野尚賢 **YK387-8**  
寛政11 (1799) 写 1冊 半紙 和  
註：大内雜類、武家雜類
- 御規式御能之節要脚広蓋取扱之記 **YK387-9**  
元文元 (1736) 写 1冊 横宇 仮和
- 御鷹献上 天保2年より安政5年迄 **YK387-10**  
御書方 (御側役)  
天保2 (1831) ~安政5 (1858) 写 1冊 半紙 和  
註：附. 別紙「御鷹箱絵図面」「鷹献上日数之覚」(文化14~天保4)「御鷹早献上之覚」(文政元・2・4)
- 御献上物調 **YK387-11**  
写 1冊 横中 和  
註：十代藩主津軽信順公の時代
- 御献上御馬附添登一件 文久元年4月 有海 **YK387-12**  
文久元 (1861) 写 1冊 横長 仮和
- 御馬附添登ニ付万留牒 安政2年4月 有海 **YK387-13**  
安政2 (1855) 写 1冊 横長 仮和
- 暑中御勤一件 嘉永3年より安政5年迄 **YK387-14**  
御書方 (御側役)  
嘉永3 (1850) ~安政5 (1858) 写 1冊 半紙 和
- 公義御祝儀帳 天保12年より嘉永4年迄 **YK387-15**  
御書方  
天保12 (1841) ~嘉永4 (1851) 写 1冊 半紙 和
- 江府所々御出先 上 **YK387-16-上**  
文化15 (1818) 写 1冊 半紙倍 和
- 江府所々御出先 中 **YK387-16-中**  
文化15 (1818) 写 1冊 半紙倍 和  
註：下巻 欠
- 御参府御供登調 万延元年9月 **YK387-17**  
万延元 (1860) 写 1冊 横長 仮和
- 若殿様御行列帳 嘉永6年正月大安日 **YK387-18**  
嘉永6 (1853) 写 1冊 横長 仮和  
註：津軽十一代藩主順承の世子承祐が、將軍に謁し、従五位下、大隅守となった際の御参府御行列
- 江戸江之御行列帳 宝暦11年3月 **YK387-19**  
宝暦11 (1761) 写 1冊 横小 和
- 御行烈〔列〕帳 天保5年10月 **YK387-20**  
天保5 (1834) 写 1冊 横小 和
- 御行列帳 弘化2年正月吉祥日 **YK387-21**  
弘化2 (1845) 写 1冊 横小 和
- 〔御国許江御発駕取扱一件〕 門馬永胤 **YK387-22**  
安永8 (1779) 写 1冊 横中 和  
註：附. 御暇被蒙仰候節取扱、末尾に安永十年、寛政四年、寛政五年の記あり
- 〔御道中御番割之帳并御役附御道中掟関札打御宿取江之書付并御道積〕 **YK387-23**  
写 1冊 横小 仮和
- 〔参勤日程次第〕 **YK387-24**  
文化元 (1804) ~安政2 (1855) 写 1冊 84×32  
註：津軽藩

- |  |          |   |           |  |          |
|--|----------|---|-----------|--|----------|
| 〔参勤御道中割并御行列并宿役〕<br>写 1冊 横小 和   | YK387-25 | 仮名文 安政6年<br>安政6(1859)写 1冊 半紙 仮和<br>工藤祐喜(弘前藩祐筆)旧蔵<br>註：内容「仮名文」「古人文章稿」「書札」の合綴                     | YK387-35  | 谷能飛々起〔谷の響〕 卷の一～四<br>平尾魯仙著<br>新聞切り抜き 1冊 菊 和   | YK388-3  |
| 御判物御行列 嘉永7年9月<br>嘉永7(1854)写 1冊 縦 8×18 和  | YK387-26 | 〔書札札〕<br>安政2(1855)写 1冊 横半紙 和  | YK387-26  | おかね話 平尾魯仙(再話斎藤正)<br>昭和38(1963)新聞切り抜き 1冊 28×20 仮和<br>註：陸奥新報掲載、津軽怪奇談集「谷の響」から           | YK388-4  |
| 御家老中江御請御返事認方覚(弘前藩制)<br>文政5(1822)写 1冊 半紙 仮和                                     | YK387-27 | 万葉之書 七ノ二<br>天明4(1784)写 1冊 半紙 和<br>隨古堂(星野六蔵)旧蔵<br>註：上原八左衛門定宣―水嶋ト也之成―伊藤甚右衛門幸氏―(略)―平田九郎兵衛貴徳ヨリ星野六蔵へ | YK387-37  | 魯仙視聽録(抄録)全<br>新聞切り抜き 1冊 菊 仮洋   | YK388-5  |
| 両組町廻之節文法心得<br>写 1冊 半紙 仮和<br>註：寛政年間、御手廻組、御馬廻組                                   | YK387-28 | 御官金受取書付<br>安永7(1778)写 1通<br>註：津軽出羽守藤原信明従五位下諸大夫成御官物之事  | YK387-38  | 北秋田郡伝説集<br>大正10～昭和10(1921～1935)写 1冊 半紙 仮和<br>註：北鹿新聞、秋田魁新聞、その他に掲載                     | YK388-6  |
| 夢見覚留 安政4年6月<br>安政4(1857)写 1冊 横中 仮和<br>註：諸祝儀、諸見舞、下土産、臨時到来品、御台所より内贖蔵、贈進品高義(花押)あり | YK387-29 | 御使者勤方之控 津軽越中守使者神宗作<br>写 1通  | YK387-39  | 合浦奇談 卷ノ二 図絵 全 中村雲台月川<br>明治23(1890)写 1冊 半紙 仮和<br>註：平尾魯仙著「合浦奇談卷ノ二」の図絵とその説明のみを抽出して写したもの | YK388-7  |
| 津軽家臣諸願書 山鹿高之<br>寛政6(1794)写 1冊 横中 和   | YK387-30 | YK388 伝説 民話〔昔話〕   |           | 谷の響 上(全五冊合本) 平尾魯仙<br>写(ペン) 1冊 21×14 ノート<br>註：卷ノ一より卷ノ五迄、明治24年(1891)中村月川の写             | YK388-8  |
| 〔移徒之式・年賀之式〕<br>文政9(1826)写 1冊 横中 和  | YK387-31 | 陸奥の奇談 中村北門(良之進)編<br>写 1冊 半紙 仮和<br>註：卷之一、続卷之二、首卷之一、以上の合本   | YK388-1   | 谷の響 附録 図絵 全 平尾魯仙<br>写 1冊 半紙 仮和<br>註：明治24年(1891)中村雲台月川の写                              | YK388-9  |
| 書札文法詩歌 十二<br>写 1冊 美濃 仮和  | YK387-32 | 津軽奇談集 第一輯<br>中村良之進(北門)編輯<br>明治35(1902)写 1冊 半紙 仮和  | YK388-2-1 | むかしのものがたり<br>写 1冊 横中 和   | YK388-10 |
| 書札文法<br>写 1冊 半紙 仮和<br>森林助旧蔵  | YK387-33 | 津軽奇談集 第二輯<br>中村良之進(北門)編輯<br>昭和元(1926)写 1冊 半紙 仮和   | YK388-2-2 |  |          |
| 書札文集 藤原惟清<br>文政13(1830)写 1冊 半紙 和<br>註：内題「当用書札」「書札文法」                           | YK387-34 |   |           |  |          |

YK390 国防 軍事

海国兵談 天(第一卷～第四卷) 林子平 YK390-1-1  
写 1冊 半紙 仮和

註: 原本寛政3年(1791)板刻、天明6年(1786)自序

海国兵談 地(第五卷～第十二卷) 林子平 YK390-1-2  
写 1冊 半紙 仮和

海国兵談 人(第十三卷～第十六卷) 林子平 YK390-1-3  
写 1冊 半紙 仮和

### YK391 軍備 軍事行政

徴兵令 同附録 太政官・陸軍省 YK391-1  
明治5・6(1872・73)写 1冊 半紙 仮和

第二大区九小区沖館村年齢証書 明治7年第7月  
明治7(1874)写 1冊 半紙 和 YK391-2  
註: 沖館村は現南津軽郡平賀町

徴兵調(第二六区四小区) 明治7年6月 YK391-3  
明治7(1874)写 1冊 半紙 和  
註: 現田舎館村・黒石市の一部、明治6年分

第二大区四小区徴兵連名簿 明治7年11月 YK391-4  
明治7(1874)写 1冊 半紙 和  
註: 附「徴兵免役」

### YK392 軍事史 事情

松前表江臨時渡海之御人数百五拾人一備戦法 YK392-1  
文化5年従3月 佐野吉郎兵衛  
文化5(1808)写 1冊 横長 和

松前箱館陣營式百人詰行列 安政3年 YK392-2

安政3(1856)写 1冊 横小 和  
註: 附 安政六年三月大将須藤五郎大夫詰合惣人数名簿

三厩御備図 源ノ貞隆(五十嵐所吉) YK392-3  
写 1冊 半紙 仮和

松前非常并東海岸非常御人数割 文久3年4月 YK392-4  
小野籠太郎・五十嵐所吉  
文久3(1863)写 1冊 横中 仮和

海岸御備御武器不足品并痛品留帳 弘化2年4月  
弘化2(1845)写 1冊 横長 仮和 YK392-5  
註: 御武具蔵

非常并台場大砲賦 安政元年 YK392-6  
安政元(1854)写 1冊 横中 和  
註: 附 慶応4(1868)御武具蔵御有合大小砲并甲冑  
両組加役御徒御中小姓加役家格以上二三男兵士加勢共  
調之表、明治2(1869)御有合御武器調(武庫方)

東領海為固出張人数調 二冊之内 表右筆 YK392-7-1  
〔明治元(1868)〕写 1冊 半紙 仮和  
註: 青森、油川、蟹田、平館、三厩出張人数(旧幕府脱  
艦箱館表掠奪いたし候二付)

西領海為固北領海為固出張人数調 二冊之内 表右筆  
写 1冊 半紙 仮和 YK392-7-2  
註: 西…鰺ヶ沢、赤石、深浦  
北…小泊、薄市、十三、木造出張人数(旧幕府艦箱館表  
致掠奪候二付)

法令定約鰺ヶ沢防禦手順調 明治2年12月 YK392-8  
打越定行  
明治2(1869)写 1冊 半紙 和  
註: 大斥候扣

〔御国元海岸御固御人数并御武器書〕 天保14年3月  
津軽大隅守 YK392-9  
天保14(1843)写 1冊 半紙 和  
註: 附、領分海岸江異国船漂着沖合等ニ相見得候書留他、  
御添書付一

非常御備方巻件 天保2年10月 YK392-10  
天保2(1831)写 1冊 横中 和  
註: 嘉永6(1853)年の写

海防私議 上下全 長山貫(樗園) YK392-11  
嘉永7(1854)写 1冊 半紙 和  
註: 著者曰「西洋ノ兵書ニ依テ本邦古来之戦法ト彼此照  
查シテ編集ス」(水戦之部、陸戦之方)

御触留并諸事日記(海岸心得) YK392-12  
安政2～4(1855～1857)写 1冊 半紙 和  
註: 浦御触写  
海岸防備関係(三厩、青森、平館、特ニ鰺ヶ沢)

海防策 工藤祐喜 YK392-13  
嘉永7(1854)写 1冊 美濃 仮和  
註: 内題「海防策衆論」松平越中守上書、御使番衆同、  
松平加賀守、松平肥前守、松平越前守、御本丸御目付  
……閑臆独語(松田脩)

御領内非常海岸三拾騎御備兵糧秣雜器調 YK392-14  
明治2(1869)写 1冊 半紙 仮和

軍役凡例並役制人数割並御触 YK392-15  
嘉永6(1853)写 1冊 半紙 和

御備立御内習御行列 弘化3年4月12日 YK392-16  
弘化3(1846)写 1冊 横小 和



- 諸手旗本人数積 YK392-17  
写 1冊 横中 和  
註：諸手旗本拾壹備人数割、兵粮積、旗本人数積、乗馬、夫馬、兵粮積
- 御先手御旗奉行軍調書 寅ノ10月 YK392-18  
写 1冊 横長 仮和
- 箱館鎮営背旗之図 楠美藤徳 YK392-19  
写 1冊 横長 仮和
- 弘前旗旗考 中村良之進 YK392-20  
大正4(1915)写 1冊 半紙 仮和  
註：原本は「明和七寅(1770)八月藍原悦蔵通貨・戸沢弥大蔵盛徳著」
- 背旗之図 YK392-21  
写 1冊 横長 仮和  
註：津軽藩御印背旗之図
- 〔松前并平館御固所御備大砲調〕 貴田稲城 YK392-22  
写 1冊 横長 仮和  
註：文久年中(1861～1864)
- 非常御用ニ付碇ヶ関詰人馬并石川詰人馬共差引帳 慶応4年5月ヨリ YK392-23  
慶応4(1868)写 1冊 横長 仮和
- 兵員調 弘前県軍事局 YK392-24  
〔明治4(1871)〕写 1冊 半紙 仮和  
註：附「兵員年給調」「屯集所入費調」「軍事関渉入費調」
- 御軍役写 野呂謙堂(番頭) YK392-25  
写 1冊 半紙 仮和

## YK393 戦争 戦略 戦術(戦史 戦記)

- 〔第二軍従軍記(日清戦争)〕 YK393-1  
明治27(1894)切り抜き 1冊 半紙 仮和  
註：附「毛利家の従軍者家族慰問」(毛筆)
- 大鱈四ヶ組農兵組立下書 御代官 YK393-2  
文久3(1863)写 1冊 横長 仮和
- 清英戦記 上 長山貫(樗園) YK393-3-1  
嘉永2(1849)写 1冊 半紙 和  
〔森林助旧蔵〕  
註：長山貫は江戸時代末期の西洋兵学などを研究した儒者
- 清英戦記 下 長山貫(樗園) YK393-3-2  
嘉永2(1849)写 1冊 半紙 和  
〔森林助旧蔵〕
- 琉球軍記 天 YK393-4-1  
写 1冊 半紙 和  
註：内題「琉球静謐記 卷之一」内容は津島勲功琉球軍記
- 琉球軍記 地 YK393-4-2  
写 1冊 半紙 和  
註：卷之二・三
- 琉球軍記 人 YK393-4-3  
写 1冊 半紙 和  
註：卷之四・五
- YK395 軍備品
- 海辺通湊并町奉行所飾物員数調帳 YK395-1

寛政5(1793)写 1冊 半紙 和

- 軍役凡例 YK395-2  
写 1冊 半紙 仮和
- 製作之卷 安政元年2月 横山直勝 YK395-3  
安政元(1854)写 1冊 横中 和  
註：軍用之品々製作之件(印・験付のことなど)
- 御軍役并製作写 嘉永6年12月 YK395-4  
角田弥八(御手廻老番組番頭)  
嘉永6(1853)写 1冊 半紙 仮和
- 兵士前甲冑明細調帳 三 万延元年4月 YK395-5  
御武具奉行  
万延元(1860)写 1冊 美濃 和  
蔵印：御日記方
- 兵士前甲冑明細調帳 五 万延元年4月 YK395-6  
御武具奉行  
万延元(1860)写 1冊 美濃 和  
蔵印：御日記方
- 義家朝臣鎧着用図 YK395-7  
写 1冊 半紙 仮和  
註：左中将義貞朝臣記鎧可着次第之事(八幡太郎義家之被着次第也)
- 本朝軍器考集古図説序 卷之上上 共四 YK395-8-1  
日下部景衡編、蜂谷広成画  
京・江戸 書坊柳枝軒 元文5(1740)刊 1冊 半紙 和
- 本朝軍器考集古図説 卷之上下 共四 YK395-8-2  
日下部景衡編、蜂谷広成画  
京・江戸 書坊柳枝軒 元文5(1740)刊 1冊 半紙 和

**本朝軍器考集古図説 卷之下上 共四 YK395-8-3**

日下部景衡編、蜂谷広成画  
京・江戸 書坊柳枝軒 元文5 (1740) 刊 1冊 半紙 和

**本朝軍器考集古図説 卷之上下 共四 YK395-8-4**

日下部景衡編、蜂谷広成画  
京・江戸 書坊柳枝軒 元文5 (1740) 刊 1冊 半紙 和

**江戸表江御武器御登せ調帳 YK395-9**

写 1冊 半紙 仮和  
註：文政5年、文政11年、文化9年、文政7年、文政13年御登せ品（武器類）

**六具之伝記 YK395-10**

安永3 (1774) 写 1冊 半紙 和  
星野六蔵（尚賢）旧蔵  
註：伊藤幸氏—石川久忠—加藤貞懿—平田九郎兵衛貴徳ヨリ星野六蔵へ

**制作御定 野呂謙堂 YK395-11**

写 1冊 半紙 仮和  
註：内題「御合験制作」合験は合標（あいじるし）のこと

**YK396 陸軍****歩操新式 〔一〕 本間寿輔・高島秋帆 YK396-1-1**

元治元 (1864) 宋版 1冊 半紙半横 16×11 和  
註：生兵教練

**歩操新式 〔二〕 本間寿輔・高島秋帆 YK396-1-2**

元治元 (1864) 木版 1冊 半紙半横 16×11 和  
註：再刻小隊教練

**歩操新式 〔三〕 本間寿輔・高島秋帆 YK396-1-3**

元治元 (1864) 木版 1冊 半紙半横 16×11 和  
註：大隊教練 上

**歩操新式 〔四〕 本間寿輔・高島秋帆 YK396-1-4**

元治元 (1864) 木版 1冊 半紙半横 16×11 和  
註：大隊教練 中

**歩操新式 〔五〕 本間寿輔・高島秋帆 YK396-1-5**

元治元 (1864) 木版 1冊 半紙半横 16×11 和  
註：大隊教練下 附録（田辺良輔輯） 鼓譜（犬飼清信著）

**射的預教 YK396-2**

刊 1冊 懷中本 和  
註：射撃教本

**停止行進保安勤務 YK396-3**

刊 1冊 懷中本 和  
註：本隊ノ安全ヲ保護スル為ノ勤務ノ教則

**歩兵内務省第二版附録 陸軍省 YK396-4**

東京 編者 明治8 (1875) 刊 1冊 美濃半 和

**守衛勤務概則 全 陸軍省 YK396-5**

東京 編者 明治7 (1874) 刊 1冊 美濃半 和

**YK399 古代兵法（軍学）****国土分制 貴田長太夫親豊著 YK399-1**

享保21 (1736) 写 1冊 半紙 和  
註：著者は徳川中期津軽藩士兵学師範

**火船之伝法 YK399-2**

写 1冊 半紙 仮和

**勘助流門人名前 YK399-3**

文政13 (1830) 写 1冊 半紙半 和  
註：内題「山本勘助流兵学岡本先生門人誓約及伝授之次第」文政13年以降加筆あり

**古戦咄之事 YK399-4**

写 1冊 美濃半 仮和  
註：那須資徳公 (1672～1708) 自筆

**全書兵法聞書 寅ノ8月8日分相済 YK399-5-1**

〔貞享3 (1686)〕 写 1冊 美濃半 仮和  
註：那須資徳公 (1672～1708) 自筆

**全書兵法聞書 寅ノ9月17日分済也 YK399-5-2**

〔貞享3 (1686)〕 写 1冊 美濃半 仮和  
註：那須資徳公 (1672～1708) 自筆

**全書聞書 四之上内 11月朔日相済 YK399-6**

〔貞享3 (1686)〕 写 1冊 美濃半 仮和  
註：山鹿藤助高基（山鹿素行の長男）よりの聞書、那須資徳公 (1672～1708) の自筆

**兵法聞書 四之上内 貞享4年2月朔日 YK399-7**

貞享4 (1687) 写 1冊 美濃半 仮和  
註：山鹿藤助高基（山鹿素行の長男）よりの聞書、那須資徳公 (1672～1708) の自筆

**雑戦戦法 磯谷十助久英講話 YK399-8**

写 1冊 横中 仮和  
註：磯谷十助 (1657～1718) は津軽藩山鹿流兵学者（山鹿素行の高弟）

**練兵説略 全 山鹿素水著 YK399-9**

積徳堂蔵梓 嘉永4 (1851) 1冊 美濃 和

**愛宕大権現兵法秘伝 YK399-10**

写 1袋 (8点)  
註:「十字大事」「兵法秘密神伝・曼荼羅・守護 (7枚)」

於宇和野両組頭三拾騎一備同三拾騎二備陰陽奇正戦法并応  
変之業 YK399-11

写 1冊 半紙 和  
註:宇和野は、現弘前市常盤坂南裏一帯、文政3年(1820)  
以降、藩の御陣立の場(操練場・演習地)

兵法秘伝書 成田源左衛門尉資敬 YK399-12  
文政2(1819)写 1冊 美濃半 和

兵用帥語録 YK399-13  
安永3(1774)写 1冊 美濃半 和  
(星野六藤旧蔵本)

註:伊藤甚右衛門幸氏〔享保3(1718)〕一石川半兵久  
忠一加藤猪右衛門貞懿一平田九郎兵衛貴徳ヨリ星野六  
蔵へ相伝

兵術秘要録 全 YK399-14  
安永3(1774)写 1冊 半紙 和  
(星野六藤旧蔵本)

註:小笠原大膳大夫長時一同右近大夫貞慶一山家内蔵助  
友閑一上原八左衛門定宣一水嶋卜也之成一伊藤甚右衛  
門幸氏一石川半平久忠一加藤猪右衛門貞懿一平田九郎  
兵衛貴徳ヨリ星野六蔵へ伝授

初啓中段・二啓機・明・三啓当敵相伝聞書 YK399-15  
写 1冊 横小 和

和漢軍書要覧 全 YK399-16  
弘化3(1846)写 1冊 半紙 和  
註:原本は吉田一保著(明和7年1770刊、安永7年  
1778改)

武教全書 上 阿武教小学 山鹿義呂(素行) YK399-17  
〔弘化4(1847)〕刊 1冊 横中 和  
註:自序 明暦2年(1656)

武教日用職書・武教啓蒙 YK399-18  
貴田親豊・黒石貞幹  
大正9(1920)写 1冊 半紙 仮和  
註:本書は黙斎棟方悌二自筆写本  
職書…親豊(徳川中期津軽藩士兵学師範)著、(享保9、  
1724) 啓蒙…貞幹(経武堂学生)叙、(天保15、1844)

全書講談書留 天明7年丁未11月吉旦始 YK399-19  
天明7(1787)写 1冊 半紙 仮和  
註:津軽藩士「山鹿八郎左衛門講談」

城築 YK399-20  
(武教全書家伝秘書卷ノ十)  
写 1冊 半紙 仮和  
(森林助旧蔵)  
註:本註磯谷久英并貴田親豊之冠書其外之諸註三卷之秘  
意抜書

三重伝 完 貴田孫太夫邦定 YK399-21  
寛政4(1792)写 1冊 横中 和  
註:一戸亀市宛「太極之図」「斎家」「賓礼」

〔兵法秘伝〕 YK399-22  
写 1冊 横中 和

一騎調尽(歌尽)全 加藤熙(榊陰) YK399-23-イ  
京都 勝村治右衛門 文久3(1863)刊 1冊 美濃 和

一騎調尽(歌尽)全 加藤熙(榊陰) YK399-23-ロ

軍用末書抄出(四神配当ノ図) YK399-24

写 1冊 美濃半 仮和  
星野氏旧蔵

三才大絵図 山鹿素行 YK399-25  
明暦2(1656)写 1枚 134×82

軍法相伝之誓約 YK399-26  
享保2(1717)写 1枚 37×46  
註:小笠原一左衛門(長円)から山野十右衛門へ差出し  
たもの

## YK400 自然科学

## YK419 和算 中国算法

## 諸用留

文久4(1864)写 1冊 横小 和  
 註：内題「控」「算用秘」  
 後半〔金木屋従業員名簿〕

## 〔算用手鑑〕

写 1冊 横小 和

## 九章門掃除術 全 竹内清承等

寛政7(1795)写 1冊 半紙 和  
 註：和算  
 巻尾に「……………於稽古館十二月巻成」とある

## 初学算方

写 1冊 半紙 仮和

## 九月試算題

安政6(1859)写 1冊 半紙 仮和  
 註：和漢算法の問題

## 算法初学抄 首巻

写 1冊 半紙 和

## 九章門掃除術 竹内清承・伊藤影正・杉沢孝戸編

文政9(1826)写 1冊 半紙 和  
 註：原本は寛政7年(1795)  
 清承(通称甚左衛門)は津軽寧親公代の曆学家

## 九章問忘学留

写 1冊 横中 仮和

## 新篇塵劫記 上

〔文政2(1819)〕刊 1冊 20×14  
 註：塵劫は「キワメテ長イ時間」永劫

## YK449 曆学 時法

## 定朔草稿 文政14年

文政14(1831)写 1冊 半紙 仮和  
 註：内題「文政十四年辛卯気朔曆草稿」

## 慶応二丙寅曆

江戸 近江屋 慶応2(1866)刊 1冊 菊 和

## 季節・十干・十二支・月語源

写 1枚 32×45

## 稽古館曆 文化15年 稽古館推測

文化15(1818)刊 1枚 19×16

## YK451 気象学

## 雨雲量器書類(中津軽郡東目屋村)自明治26年至大正元年 須藤千尋(雨量器取扱人)

明治26~大正元(1893~1912)写 1冊 美濃(大) 仮和

## 丙寅歳晴雨考 慶応2年

村田尺蠖子・古山漸斎  
 仙台 伊勢屋半右衛門 慶応2(1866)刊 1冊  
 半紙半 和

## YK453 地震学

津軽震災資料 全 小野士格調査(筆者清野) 大正7(1918)写 1冊 半紙 和

## YK419-9

註：自永禄二年(1559)至明治三年(1870)

## 〔江戸表より申来候九州変之事〕

写 1冊 半紙 和  
 註：8月9日の北九州一帯の大風・大地震と、その被害  
 〔文政11年〕

## 郡内昔大変事調

写 1冊 横中 和  
 註：昔大變之事〔北宗景祐4(1037)~明和3(1766)〕  
 西ノ浜上磯通、外浜上磯通、外浜下磯通、西浜下磯通…  
 …(大地震・凶作・村廻り)

## YK460 生物学 博物学

## 物品識名 乾 水谷豊文著

尾張 永楽堂 文化6(1809)1冊 半紙半 和  
 註：水・金・石・土・火・草・造・木・虫・魚(鱗)介・禽・獸ノ以呂波別ニヨル和名・漢名

## 物品識名 坤 水谷豊文著

尾張 永楽堂 文化6(1809)1冊 半紙半 和

## 物品識名拾遺 乾 水谷豊文著

尾張 永楽堂 文政8(1825)1冊 半紙半 和

## 物品識名拾遺 坤 水谷豊文著

尾張 永楽堂 文政8(1825)1冊 半紙半 和

## YK469 人類学

## 津軽地方人の指紋の調査研究

ガリ版 1冊 半紙 仮和  
 註：調査対象 千年村男女

## YK470 植物学

本県三高山の植物帯 岩木山に就て YK470-1  
佐藤雨山  
大正 13 (1924) 1 冊 新聞切り抜き 20 × 38 仮和

津軽雑草図説 (畑地・路傍雑草編) YK470-2  
佐藤耕次郎 (雨山)  
黒石 著者 昭和 18 (1943) 謄写 1 冊 150 頁 仮洋  
註：南津軽郡尾上町金田国民学校農芸部印刷発行  
雨山 (1893 ~ 1959) は植物・民俗学・郷土史の研究家、  
柴田女子高校教員として授業中に倒れ死去

すみれ類の研究 (県産) 佐藤雨山 YK470-3  
青森県南津軽郡教育会理科研究部 昭和 2 (1927) 謄  
写 1 冊 半紙 仮洋  
註：雨山は本名耕次郎 (1893 ~ 1959)、黒石の人、植  
物学者、民俗学・郷土史研究家、柴田女子高校で授業  
中倒れ死去

## YK489.8 哺乳類奇蹄目

群馬分類 地 伝書之部 YK489.8-1  
寛政 3 (1791) 写 1 冊 半紙 和  
星野尚賢旧蔵  
註：原著者は菊地通か、巻尾に「……令門子写之以蔵于  
家塾……」とある。尚賢は六歳、号は素閑、津軽藩江  
戸定府ノ士、祐筆、後、物頭格錠口役。上田流書家

## YK490 医学

食事養生解 高井伴寛思明著 YK490-1  
〔江戸 須原屋茂兵衛 文化 12 (1815)〕刊 1 冊  
美濃半 和  
註：別名「食事戒」高井は通称文左衛門、号は蘭山 (1762

~ 1838)、江戸中期戯作者、江戸御組屋敷与力

津軽医史 第 8 号 松木明知 YK490-2  
弘前市 著者 昭和 39 (1964) 謄写 1 冊 半紙  
ホチキス  
註：江戸時代の蝦夷地における所謂腫病について (其二)

痘科秘要 YK490-3  
写 1 冊 美濃 仮和  
註：田幡仲盈著の写本

## YK492 臨床医学 治療法

禁灸撰 YK492-1  
写 1 冊 横中 仮和  
註：内題「灸治考」

## YK498 衛生学

覚 YK498-1  
写 1 冊 半紙 仮和  
註：暴瀉病治療、素人心得

## YK499 薬学

寄応丸御用留 小野圭庵 YK499-1  
慶応 3 (1867) 写 1 冊 半紙 和  
註：圭庵は津軽藩医小野元秀の養子 (完造)、慶応 3 年  
矢野元策と共に、奇応丸式剤の調合を仰せ付けられる

子玄子産論薬名録 中野久助 YK499-2  
慶応 2 (1866) 写 1 冊 半紙半 和  
註：巻末に「丸山氏於薬局所中野久助写取之」とある

採薬略記草 YK499-3

写 1 冊 横中 仮和  
註：行岳 (浪岡) 組本郷、青森街道高田村、下湯、大柳  
辺、行岳組中野村、行岳八幡宮、駒籠村、浅虫、善知鳥、  
蟹田、砂ヶ森、ほろ月、三厩、宇鉄

摘要方笈 和田周隣 YK499-4  
安政 7 (1860) 写 1 冊 美濃半 和  
註：和漢薬処方

薬調合之覚 YK499-5  
写 1 冊 横長 和  
註：弘前本町香具屋丸山薬局記録

一粒金丹治症 YK499-6  
天明 7 (1787) か 写 1 枚 (木版刷) 21 × 27

一粒金丹試功 YK499-7  
寛政 11 (1799) 写 1 枚 (木版刷) 28 × 40  
註：奥州津軽医官和田玄春製

一粒金丹試功 YK499-8  
写 1 枚 (木版刷) 28 × 38

## YK500 工学

## YK502 技術史 工学史

工業ニ関スル件 青森県工業学校 YK502-1  
写 1冊 半紙 仮和  
註：津軽の工業沿革（織物、酒類、漆器、蔓細工）

## YK517 河川工学

南溜池御普譜一系 嘉永5年 勘定所作事方 YK517-1  
嘉永5（1852）写 1冊 半紙 仮和  
註：弘化五申年（1848）正月三上喜左衛門殿御日記【虫食】  
穿鑿致候南溜池御普請方之議〔慶長17年（1612）南溜池（鏡ヶ池）縄張以降〕

駒越組五代村門前村築館村諸橋書上帳 明治5年7月 YK517-2  
庄屋白取久左衛門  
明治5（1872）写 1冊 半紙 和

岩木川橋梁架設ニ付御補助願 YK517-3-イ  
明治16（1883）コピー 1冊 24×18 仮和  
註：駒越、岩木橋架設の歎（嘆）願書、御家扶御中となっている

岩木川橋梁架設ニ付御補助願 YK517-3-ロ  
明治16（1883）写 1冊 美濃 仮和

## YK521 日本建築

匠工秘伝書 川村甚助 YK521-1  
写 1冊 半紙 仮和  
註：本書ハ津軽ニ行ハレシ大工式ノ大事也

## YK526 各種の建築

御城郭廻御作事御修復覚書 YK526-1  
高倉次郎五郎、工藤左五右衛門、鈴木治左衛門、外崎左助、其田左五右衛門  
元禄14（1701）写 1冊 半紙 和

御城郭廻御作事御修復覚書 YK526-2  
高倉次郎五郎、工藤左五右衛門、鈴木治左衛門、外崎左助、其田左五右衛門  
元禄14（1701）写 1冊 美濃 仮和  
註：御日記方の朱印あり

弘前城廓中廓外御絵図 第一 一戸岳逸編 YK526-3  
写 1冊 半紙 仮和  
（絵図折込）

本丸建物図 YK526-4  
写 1冊 79×50

敦賀津軽屋敷 覚 田丸広隆 YK526-5  
文化6（1809）写 1冊 半紙 和

敦賀御屋鋪御修復留帳 文化13年閏8月 YK526-6  
文化13（1816）写 1冊 半紙 仮和

京阪越藩邸故事図叢 全 YK526-7  
写 1冊 美濃 和  
註：御勝手方の黒印あり

敦賀当御屋鋪往古御建物拈 YK526-8  
写 1冊 半紙 仮和  
註：当御屋鋪間数覚（但シ東西南北）、御長屋、御蔵

津軽藩政時代之公衙蔵庫古図式 中村良之進 YK526-9  
写 1冊 半紙倍 仮和

註：他に沖館村図式、大鱈温泉場の図、碓ヶ関図式、碓ヶ関仮屋御座敷間取略図、雲野御牧野之図、黒石領境界図、大森古城の図、君墓絵図面

津軽藩諸役所倉庫図式一部 YK526-10  
写 1冊 半紙 和

柳原御屋鋪之図 YK526-11  
元文4（1739）1鋪 79×160 寛政8（1796）1鋪 88×185 1袋  
註：寛政八年図は損傷甚し 附：江戸西御長屋割ノ図

常盤坂御茶屋廻絵図 YK526-12  
文政3（1820）1鋪 80×71

松前福山馬形本陣之図 森林助 YK526-13  
大正13（1924）写 1鋪 63×55

〔千代台御陣屋杉植付図〕 YK526-14  
安政4（1857）写 1鋪 56×41

弘前廻学校構井所々御覚 御宝蔵紙 【虫食】 YK526-15  
写 1冊 24×32 仮和  
註：虫損本の為、不明箇所所々有り

稽古館図式 YK526-16  
写 1袋（3枚）  
註：「古学校図 1枚 50×39」  
「弘前稽古館図（昭和5、森林助素鶴写了）1枚 40×55」 「学校図 1枚 68×73」

柳営秘図 全 YK526-17  
写 1枚 82×55

## YK527 住宅

- 〔絵図面類〕 YK527-1  
写 1 袋  
註：袋の表書「図武并積書入」、楠美家増改築図面3 鋪、積帳1 冊（横長仮和）
- YK559 兵器 軍事工学（築城）
- 城取縄張伝解 全 YK559-1  
写 1 冊 半紙 仮和
- 合武三当流紙鍊鉄秘極巻 YK559-2  
天保15（1844）写 1 冊 半紙 仮和  
註：矢野安盛—森重鞆負—友沢又兵衛から山屋鉄太郎へ与えた紙煉銃製法秘伝書。合武三当流の祖は森重鞆負由〔（1759～1816）、周防の人、幕府御書院与力〕
- 火箭之巻 YK559-3  
文政5（1822）写 1 冊 半紙 仮和  
註：井上左太夫正清ヨリ芳賀吉蔵へ
- 覚 YK559-4  
写 1 冊 横長 仮和  
註：御家中武芸（砲術）出精之面々流派別一覧
- 玉町并出人数名前 万延元年9月13日 YK559-5  
万延元（1860）写 1 冊 横小 仮和  
註：於箱館千代台
- 量鏡規 YK559-6  
万延元（1860）写 1 冊 横小 和  
註：自矩算法及勾配打法、井上左太夫正清・長谷川小四郎より秘奥の伝授、宛名欠除
- 稲留流鉄炮之事 古内武之助康久 YK559-7

- 文久元（1861）写 1 冊 横中 和  
註：稲留伊賀守綱信—岩津角兵衛尉秋次—相馬兵助家次—中島兵助家正—中島兵助家包—中島兵助家喜より享保20年（1735）古川主典へ
- 棒火矢仕出之法 盛利 YK559-8  
安政3（1856）写 1 冊 横長 仮和
- 嘉永二己酉年心覚代 源之貞隆（五十嵐所吉） YK559-9  
嘉永2（1849）写 1 冊 横小 仮和  
註：五十嵐貞隆は幕末津軽藩における西洋砲術師範篠崎進（下曾根金三郎門下・免許皆伝）門弟取扱
- 筒薬口伝書 竹森郷右衛門定久 YK559-10  
文化3（1806）写 1 冊 10×25 仮和  
註：木村勘之丞宛。定久は、津軽藩砲術師範竹森郷右衛門定則（？～1726）のあとか
- 十二斤ランケ夏納海岸礮車台覚 YK559-11  
大工焚五郎 弘前御役人中あて  
写 1 通  
註：海岸砲車台の見積り書
- YK569 鉱業経済 経営（鉱業史）
- 御山法書 竹内三之助直正 YK569-1  
嘉永7（1854）写 1 冊 半紙 和  
註：一部損傷ヒドシ
- 山機祿 YK569-2  
写 1 冊 半紙 仮和  
註：道法の事、かな場、金名子人別、鉄道具、床屋道具、汰り場、鉛石金焼方之事、床屋吹方之事、素吹銅吹方之事、鞆之事

- 御山法書 全 YK569-3  
写 1 冊 横中 和  
註：東照宮様より之五十三ヶ條〔元和元年（1615）〕、山之山四ツ留結様、金格子之定法、アヲリイロノ覚、吹ク、絞リノ事、他
- 尾太銅鉛山旧記 田村吉蔵 YK569-4  
天保2（1831）写 1 冊 半紙 和  
註：原本は文化初年既存、道法之事、山中小屋数、由来その他、鋪穿方割合その他、金場三ヶ所、金名子人別、か 称山見様之事他、諸国かね山之事、汰り場、吹方等
- YK575 燃料 発火物
- 玉屋秘伝書（日本—江戸及本家玉屋銀蔵家伝）文化元年  
文化元（1804）写 1 冊 横中 仮和 YK575-1  
註：「玉家」の初代清吉（市兵衛）が、鍵屋から分家して独立したのが文化7年（1810）だから、本書が書かれた文化元年というのは？ また銀蔵とは？
- YK583 木工業 木製品
- 細工寸法古形ヨリ写・外 YK583-1  
明治19（1886）1 袋（横中4、図2、断片3）  
註：直方伝法〔弘化4年（1847）〕細工註文留帳（安政5年（1858））他
- YK588 食品工業
- 菓子仕立法 安永6年2月 YK588-1  
安永6（1777）写 1 冊 半紙 和  
註：江戸御屋鋪に而出来
- 町中酒造稼石高調 YK588-2  
弘化5（1848）写 1 冊 美濃 仮和

註：弘化四年公義御申渡書写 公義御鑑札之写（形、寸法、厚サ）酒造石高并町々酒屋

**新法焼酎及醬油伝授記** 明治14年12月8日 **YK588-3**  
関新兵衛  
明治14（1881）写 1冊 16×14 和  
註：発明人 仁木清五郎（大阪府）、伝授人 関新兵衛（函館区）

**大坂伊丹酒之秘法也** 安政4巳正月写 **YK588-4**  
安政4（1857）写 1冊 横 16×21 仮和

### YK590 家事（家政学）

**〔収支覚書〕** **YK590-1**  
写 1冊 横長 仮和  
註：家計簿

**万党内央** 弘化2年9月 蝦名盛衡 **YK590-2**  
弘化2（1845）写 1冊 横小 和  
註：収支覚帳

**衆法家伝秘事記** 太田正利 **YK590-3**  
写 1冊 横中 仮和  
註：傘張り方、鏡磨方、のりノ妙法、鍍金法、染入紋之法、虱ヲ去法、万年酢ノ法、他

### YK591 家庭経済

**太次郎夫婦諸入用留帳** 文久元年2月 **YK591-1**  
文久元（1861）写 1冊 横長 仮和

**諸入用留** **YK591-2**  
写 1冊 横長 仮和

### YK596 食物 料理

**献立記 熟意其外** **YK596-1**  
写 1冊 横中 仮和

**見聞諸法集 全** **YK596 2**  
写 1冊 横中 和  
註：料理

**式日御祝御料理帳** 栗原徳建 **YK596-3**  
文化11（1814）写 1冊 横小 仮和

**年中御規式御献立** **YK596-4**  
写 1冊 横中 仮和

**御賄方行事書抜** **YK596-5**  
元文年（1736～1740）写 1冊 半紙 和

**見聞手帳** 安永7年12月中旬 木村久富 **YK596-6**  
安政7（1778）写 1冊 横小 仮和

**卓袱会席御献立** 文化2年10月19日 **YK596-7**  
斎藤茂安  
文化2（1805）写 1冊 横中（美濃）仮和

**行幸御成献立** **YK596-8**  
嘉永4（1851）写 1冊 横中（美濃）和  
註：日根九郎兵衛—森下又右衛門—福永又兵衛—西村左助—石井治兵衛—三浦丹次郎ヨリ斎藤林吉宛

**包丁秘伝** **YK596-9**  
写 1冊 横小 和  
註：魚・鳥の包丁の入れ方

### YK600 産業

#### YK602 産業史 事情 物産

**津軽興業誌** 藤田貞元 **YK602-1**  
明治18（1885）写 1冊 半紙 和

**津軽興業誌** 乾坤共 藤田貞元編 **YK602-2**  
明治18（1885）写 1冊 竖 19×14 和

**津軽古今工商農功績伝記目次** **YK602-3**  
写 1冊 半紙 仮和

#### YK606 学会 協会 会議（博覧会 共進会）

**精英会規則** 精英会事務所 **YK606-1**  
中津軽郡富田村 編者 明治20（1887）刊 1冊  
6頁 仮和  
註：現弘前市富田、徳性涵養、知識拡張、殖産興業ヲ図ル一ノ學術公会

**博覧会事務局達** **YK606-2**  
明治5（1872）写 1冊 18×14 和  
註：現東北6県に該当する地方の産物に関して

**博覧会旅行参考書** **YK606-3**  
写 1冊 横美濃半 仮和

**第三回内国勸業博覧会綴** 明治22年 **YK606-4**  
明治22・23（1889・90）写 1冊 半紙 仮和  
註：弘前市役所書類綴

#### YK609 度量衡

**秤改方仕方牒** 天保2年 **YK609-1**



- 天保2(1831)写 1冊 半紙 仮和
- 袖珍略記** YK609-2  
写 1冊 横小 仮和  
註：斤量積(紙分、細物荒物、食分、材木、魚、粕類)
- YK610 農業**
- 当耕作日記** YK610-1  
鎌田平八郎・宇野兵助・鎌田平次郎・山内庄助  
天保8(1837)写 1冊 横長 仮和  
註：浪岡組
- 村縮御條書** 元治元年4月 内山章国 YK610-2  
元治元(1864)写 1冊 横中 和  
註：章国は平賀郡唐竹住
- 御馬廻御藏方勤書諸手形認様** 天保4年6月2日  
天保4(1833)写 1冊 半紙半 和 YK610-3  
註：後表紙に「天保四癸巳年福士権蔵ヨリ借用六月二日於板柳御藏長屋写之」とある
- 稼穡夜話 完** 芳賀貞由(東郊野老) YK610-4  
文化13(1816)写 1冊 半紙 和  
註：農業よばなし  
茗(茶)、楮、蚕養、塩竈、石油、五器椀、藍、紅花、煙草
- 願書并御濟口共写書之帳** YK610-5  
佐藤久次郎(赤石組小屋敷村)  
天保13(1842)写 1冊 半紙 仮和
- 農業往来(改正)全** YK610-6  
木版 1冊 半紙 和
- 稼穡書拔** YK610-7  
写 1冊 半紙 仮和  
註：後半は「百性位付貴賤之論」
- 禹貢田賦解** 永孚津輕輯熙著 YK610-8  
文化2(1805)写 1冊 美濃 仮和  
註：内題「聖代田賦考」  
著者は弘前藩家老、藩校稽古館初代総司
- 農業全書(再板)一** 宮崎安貞編録 YK610-9-1  
(京都瑞錦堂蔵版)文化12(1815)刊 1冊 半紙 和  
註：元板 元禄10年(1697)、  
卷之一「農事総論」凡十ヶ條
- 農業全書(再板)二** 宮崎安貞編録 YK610-9-2  
(京都瑞錦堂蔵版)文化12(1815)刊 1冊 半紙 和  
註：卷之二「五穀之類」凡十九種
- 農業全書(再板)三** 宮崎安貞編録 YK610-9-3  
(京都瑞錦堂蔵版)文化12(1815)刊 1冊 半紙 和  
註：卷之三「菜之類」凡十六種
- 農業全書(再板)四** 宮崎安貞編録 YK610-9-4  
(京都瑞錦堂蔵版)文化12(1815)刊 1冊 半紙 和  
註：卷之四「菜之類」凡廿三種
- 農業全書(再板)五** 宮崎安貞編録 YK610-9-5  
(京都瑞錦堂蔵版)文化12(1815)刊 1冊 半紙 和  
註：卷之五「山野菜之類」凡十八種
- 農業全書(再板)六** 宮崎安貞編録 YK610-9-6  
(京都瑞錦堂蔵版)文化12(1815)刊 1冊 半紙 和  
註：卷之六「三草之類」凡十一種
- 農業全書(再板)七** 宮崎安貞編録 YK610-9-7  
(京都瑞錦堂蔵版)文化12(1815)刊 1冊 半紙 和  
註：卷之七「四木之類」凡四種
- 農業全書(再板)八** 宮崎安貞編録 YK610-9-8  
(京都瑞錦堂蔵版)文化12(1815)刊 1冊 半紙 和  
註：卷之八「菓木之類」凡十七種
- 農業全書(再板)九** 宮崎安貞編録 YK610-9-9  
(京都瑞錦堂蔵版)文化12(1815)刊 1冊 半紙 和  
註：卷之九「諸木之類」凡十五種
- 農業全書(再板)十** 宮崎安貞編録 YK610-9-10  
(京都瑞錦堂蔵版)文化12(1815)刊 1冊 半紙 和  
註：卷之十「生類養法」凡三種 「菓種之類」凡廿二種
- 農業全書(再板)十一** 貝原樂軒著 YK610-9-11  
(京都瑞錦堂蔵版)文化12(1815)刊 1冊 半紙 和  
註：卷之十一「附録」
- 弘前市農業要覧** 昭和26年度 YK610-10  
弘前市役所(勸業課農林係)編  
弘前 編者 昭和26(1951)刊 1冊 12×18 仮洋
- YK611 農業経済**
- 小嶋長兵衛より斗代米願立書付写** 明治5年9月  
小嶋村百姓并越石百姓共 YK611-1  
明治5(1872)写 1冊 半紙 和
- 式分水三分水四分水之取立受払** 明治6年4月吉日  
明治6(1873)写 1冊 横中 仮和 YK611-2
- YK611.2 土地制度 小作問題**
- 飯詰組俵元新田村々分限帳** 文久元6月 YK611.2-1

- 藤田源太郎  
文久元(1861)写 1冊 横中 和
- 陸奥国津軽郡小沢村平賀荘坂元村御検地水帳 YK611.2-2  
〔貞享4(1687)〕写 1冊 美濃 和
- 田舎庄之内横内組・浦町組・油川組・後潟組水帳数覚  
対馬万右衛門支配 YK611.2-3  
貞享4(1687)写 1冊 美濃 和
- 田舎庄之内田舎館組・浪岡組・増館組・藤崎組水帳数覚  
清野金右衛門支配 YK611.2-4  
貞享4(1687)写 1冊 美濃 和
- 田舎庄之内飯詰組・広田組・金木組水帳数覚 YK611.2-5  
佐藤太右衛門支配  
貞享4(1687)写 1冊 美濃 和
- 田舎庄之内常盤組・柏木組・赤田組・広須組水帳数覚  
小山笹右衛門支配 YK611.2-6  
貞享4(1687)写 1冊 美濃 和
- 平賀庄之内尾崎組・大光寺組・猿賀組水帳数覚  
戸田左五兵衛支配 YK611.2-7  
貞享4(1687)写 1冊 美濃 和
- 平賀庄之内大鱈組・堀越組・和徳組水帳数覚 YK611.2-8  
山田源右衛門支配  
貞享4(1687)写 1冊 美濃 和
- 鼻和庄之内堀越組・藤代組水帳数覚 YK611.2-9  
野呂理右衛門支配  
貞享4(1687)写 1冊 美濃 和
- 鼻和庄之内高杉組・赤石組水帳数覚 YK611.2-10
- 菊池四郎右衛門支配  
貞享4(1687)写 1冊 美濃 和
- 陸奥国津軽郡田舎庄下目内沢村御検地水帳 YK611.2-11  
検地人水木兵助、斎藤次郎兵衛 目付笹村喜兵衛  
元禄4(1691)写 1冊 美濃 仮和
- 浪岡組村々田畑当仕付高反別書上帳 慶応2年10月  
御代官 YK611.2-12  
慶応2(1866)写 1冊 半紙 和
- 貞享年中より宝暦年中迄田畑惣調帳 文政10年6月  
庄屋又吉 YK611.2-13  
文政10(1827)写 1冊 横長 仮和
- 田畑高反別御取ヶ帳 宝暦8年8月 YK611.2-14  
日沼村手代葛西利右衛門  
宝暦8(1758)写 1冊 半紙 和
- 地方秘書 式 YK611.2-15  
写 1冊 半紙 仮和  
註：桂光院様御代正保二年国絵図御改ニ付同年十二月廿八日之日附ニ而御書出之扣
- 持抱田方実数取調書上帳 明治3年閏10月 YK611.2-16  
百姓孫右衛門  
明治3(1870)写 1冊 半紙 和
- 御引上田畑調 完 明治3年10月 YK611.2-17  
明治3(1870)写 1冊 半紙 仮和  
註：安藤蔵
- 大鱈組石川村六右衛門田畑高反別帳 宝暦8年8月  
手代高山孫十郎 YK611.2-18  
宝暦8(1758)写 1冊 半紙 和
- 宮館・折笠・中別所・高杉四ヶ村領持抱田方之内御買入田方調帳 明治3年11月 百姓弥五左衛門 YK611.2-19  
明治3(1870)写 1冊 半紙 仮和
- 枝川村孫次郎作左衛門知行反別帳 宝暦5年2月  
工藤右次 YK611.2-20  
宝暦5(1755)写 1冊 半紙 和
- 浪岡組田山堰捨水十川留切新堰高田堰藤五郎堰水下反別帳  
文政8年11月 赤坂村庄屋又吉 YK611.2-21  
文政8(1825)写 1冊 半紙 仮和  
註：別記 代庄屋又吉
- 田畑当仕付目録 慶応4年7月 郡奉行 YK611.2-22  
慶応4(1868)写 1冊 半紙 和
- 御再検御竿之表田畑高反別坪寄帳 寛延4年11月  
百姓佐左衛門 YK611.2-23  
寛延4(1751)写 1冊 半紙 仮和
- 田山堰流水下反別書上帳 明和5年6月 YK611.2-24  
乗田安左衛門  
明和5(1768)写 1冊 半紙 仮和  
註：田山堰奉行乗田安左衛門の覚
- 田畑高反別坪切帳 文政12年6月 YK611.2-25  
清藤伝吉  
文政12(1829)写 1冊 横長 和
- 和徳組富田村屋敷裏畑高反別相改小水帳下書 明和9年4月  
清之丞 YK611.2-26  
明和9(1772)写 1綴 半紙 仮和  
註：紙背文書

- 〔御用留帳〕〔庄屋茂助〕 YK611.2-27  
天保4～8(1833～1837)写 1冊 半紙 仮和  
註：御演説書之写、草木之根菜を喰て毒消し法、御用状之写(御代官)、検見御定目
- 秘書 YK611.2-28  
寛政9(1797)写 1冊 横中 和  
註：農事関係(津軽田畑割合実儀算功記)
- 津軽田畑割合実儀算功記 YK611.2-29  
〔宝暦14(1764)〕写 1冊 横中 和
- 御検見覚書 YK611.2-30  
天保9(1838)写 1冊 横中 仮和  
註：検見算之事、外 検見之諸定、諸心得等
- 〔口上之覚〕 YK611.2-31  
写 1冊 横長 仮和  
註：赤石組広戸村(現深浦町内)某ノ口上覚書、(田地証文関係)
- 力作考 佐藤伊三郎 YK611.2-32  
文久元(1861)写 1冊 半紙 仮和  
註：乳井貢制地考之大略、相坂文之助所考、安永丁酉草之大略、竹内甚左衛門推考、著者所考
- 御検見方心得 盛茂 YK611.2-33  
天保8(1837)写 1冊 横中 和
- 御検見一件 則安 YK611.2-34  
慶応3(1867)写 1冊 横中 仮和  
註：代官内検見心得之儀、御検見御條目、大廻心得之事、大廻江之紙面、弁之法、他
- 御検見秘書 清定 YK611.2-35
- 文久元(1861)写 1冊 横小 和  
註：御検見勤方心得、ほか覚書
- 〔御検見御條目〕 YK611.2-36  
安永元(1772)写 1冊 横長 仮和
- 〔御検見御條目覚 壱通〕 YK611.2-37  
〔文化14(1817)〕写 1冊 横長 仮和
- 田畑要用記 YK611.2-38  
写 1冊 横小 和  
註：田数者、弁之事、小役米御定、村平均覚、田見取算法、畑取米算法、小役算法、早掛割
- 〔定積之覚書〕 YK611.2-39  
写 1冊 横長 仮和  
註：水田附加の租税計算法
- 地利乗除記 蟹沢行恭 YK611.2-40  
天保5(1834)写 1冊 横中 和  
註：検地検見算など
- 田畑相当調之一件留記 坤 YK611.2-41  
文政10(1827)写 1冊 半紙 和  
註：赤田・広田・金木組(現五所川原市・北津軽郡の一部)関係
- 〔検地一許〔秘〕事記〕 YK611.2-42  
河村名主・組頭・惣百性  
写 1冊 半紙 和  
註：検地仕様之事、田地見様之事、新田見立之事、検地案内之者誓詞前書、名主組頭百性より取候証文之事、差上申一札之事
- 御検地心得書 YK611.2-43
- 安政3(1856)写 1冊 半紙 和
- 西広畑耕地繩入改帳 藤田源太郎 YK611.2-44  
写 1冊 半紙 仮和  
註：第五大区六小区浅井村字西広(現五所川原市)
- 御検見方大廻并〔小検見〕勤方定法書 上下全 野宮理右衛門・対馬万右衛門・長尾戸左衛門 YK611.2-45  
元禄16(1703)写 1冊 半紙 和  
註：野宮・対馬・長尾共に郡奉行、御検見仕様定法・検見算方、御検見方大廻并小検見人勤方心得覚書
- 〔検見法御改正之御触〕 YK611.2-46  
青森県権参事那須均・各大区正権区长  
明治6(1873)写 1冊 半紙 仮和  
註：検見心得書、内見帳雛形
- 〔手鑑〕 YK611.2-47  
〔明治2(1869)？〕写 1冊 横中 仮和  
註：郡内田方、牛馬、家数調、御代官役所、畑作物大都調、上納方勘定、亀ノ甲御蔵、青森御蔵、嘉永七年田畑仕付調、他、(虫食い少々あり)
- 田畑かたの便らん 広愛 YK611.2-48  
写 1冊 横中 仮和  
註：田方・畑方(上中下)、五ッ口小役米、田方成之定法、御検見引方算法、御検見引帳奥書、小役之訳、川除普請之事、百性山作人夫勤方、他
- 常御検地手控 神 盛昉 YK611.2-49  
慶応2(1866)写 1冊 横中 仮和  
註：尾崎組関係
- 地方之巻 検見 YK611.2-50  
写 1冊 半紙 仮和

註：耕学之心得、土見様之事、検見御定目、舛之寸法、御郡中之上田場、田之心得、苜稻之事、稻名、検見算法畑之小役、御検見引高算、検見仕様之事、福士助太郎算法、他

**地方口決集 全** YK611.2-51  
〔寛政7(1795)?〕写 1冊 半紙 和  
註：検地仕様之覚、御竿奉行勤方之覚

**覚** YK611.2-52  
写 1冊 半紙 仮和  
註：御検地関係、他

**地方口決集并寛政年中被仰付検見仕法** YK611.2-53  
盈進堂主人 菊水  
文久3(1863)写 1冊 半紙 仮和  
註：検地仕様、御竿奉行、御検見等関係

**地方口決集 介 奥瀬和次郎藤原清簡** YK611.2-54  
写 1冊 半紙 和  
註：自貞享2年至文化10年(1685~1813)凡129年也、御検地関係、小役米、津出米、三新田御検地、御検見條目の事等 清簡は、幕末津軽藩士(勘定奉行、用人等)

**御郡内田畑実儀算勘目録** 寛政7年7月 YK611.2-55  
寛政7(1795)写 1冊 横中 仮和  
註：上・中・下村田方、畑方、小役米、検見引方算、御検見引帳奥書、川除普請仕様、百性山作人夫勤方御定、樋代銭割合、御検見御條目之事、定積之覚、仕

**覚** YK611.2-56  
写 1冊 折本 17×8  
註：人役之事、畑方、上村・中村・下村定積之事、田物成之事、小役米之事

**〔村鑑〕** YK611.2-57  
万延元(1860)写 1冊 横中 和  
註：御定積之事、三新田御物成之事、小役米之事、算法・検見、大廻心得之事、苜稻之事、田畑位付之事、他

**津軽田畑美(算)法 全** YK611.2-58  
写 1冊 半紙半 仮和  
註：内題「津軽田畑算法 外算法」当地税ノ定、御国今世田畑算法、検見検地算法、他

**御検見御検地手鑑** 横山真勝 YK611.2-59  
慶応2(1866)写 1冊 横中 和  
註：年貢之覚、御検見御條目之事、御検見立合勤方心得、升寸法秘事、見取算法之事、黒石田法、黒石蔵外之事、他

**〔村鑑〕** YK611.2-60  
写 1冊 横中 仮和  
註：五人組、検見関係等

**御免引一件三席沙汰留** YK611.2-61  
〔伊藤八郎太正良〕  
弘化4(1847)写 1冊 半紙 仮和  
註：和徳組・堀越組関係

**田畑山方秘書** YK611.2-62  
〔宝暦14(1764)〕写 1冊 横手 和  
註：御検見御用留、御検見所心得、斗代田方御検見、大廻心得、諸普請、免定吟味、樋代銭割合、山方、開発普請、川除普請

**今井氏覚書** YK611.2-63  
〔文化11(1814)?〕写 1冊 横小 和  
註：粹粉、小役米、分米成米、検見引方算法、新田口米津出米、田畑合人口小米、樋代銭割合算、稲穂粉数、御検見方算法、田畑方小役、諸家業御役銭定、他

**稲稈植付并苜立見廻廻郷帳** 天保2年 YK611.2-64  
天保2(1831)写 1冊 横小 和  
註：高杉・広須・木作・赤石・駒越・藤代各組村々之見聞

**黒石御領田方作人判帳** 安政6年正月 YK611.2-65  
宇野兵三郎  
安政6(1859)写 1冊 横長 仮和

**豊富開発田方略図** YK611.2-66  
安政5(1858)写 1枚 27×207  
註：木造新田豊富村(現西津軽郡車力村)の開発

**三本木平開業之記** 吉岡龍太郎編 YK611.2-67  
昭和12(1937)プリント(謄写)1冊 半紙 和  
註：原本は万延元年(1860)、新渡戸伝が口授、その長子十次郎が代筆したもの

**県令須知外篇(二・三・四)・豊譚藪(卷之上)** 下沢保躬  
明治7(1874)写 1冊 横中 仮和 YK611.2-68  
註：県令須知外篇(村里、検見、稲草、坪刈、早損、水損、風損、取箇、取立、水利、用水、川除)農譚藪(三卷ノ内、享保7年鹿峰田理著)

**〔蔵前川下げ一件〕** YK611.2-69  
〔文化10(1813)?〕写 1冊 半紙 仮和  
註：十三町奉行所関係

**〔川普請覚書〕** YK611.2-70  
写 1冊 半紙 仮和

**陸奥国津軽郡鼻和庄・赤石組支配出来嶋村銀納田方・生荒一抱坪切分地相当調帳** 明治4年4月 打越次太郎(調方少属) YK611.2-71  
明治4(1871)写 1冊 半紙 和

田畑芋入詰入費仮割帳 明治8年旧12月 YK611.2-72

一戸尔之助(村用係)

明治8(1875)写1冊 横中 仮和

註:新山村(現南津軽郡尾上町)の分

高杉組宮館・析笠・中別所・高杉四ヶ村領田畑生荒取調持  
高帳 YK611.2-73

明治4年9月 対馬弥五左衛門(百姓)

明治4(1871)写1冊 横長 仮和

黒石領田方作人寄判帳 慶応4年正月 YK611.2-74

慶応4(1868)写1冊 横長 仮和

註:小屋敷村、株梗ノ木村、下目内沢村、上目内沢村、  
田中村(現黒石市)

増館組村々当田方塊搔夫喰米貸附人別判帳 文政11年4月

文政11(1828)写1冊 横長 仮和 YK611.2-75-1

〔増館組村々当田方塊搔夫喰米貸附人別判帳〕

写1冊 横長 仮和

YK611.2-75-2

吉野田増館下十川人夫小前差引未納取調牒 明治12年5月

宇野唯八(元郵用係)

YK611.2-76

明治12(1879)写1冊 横長 仮和

覚 川上清三郎

YK611.2-77

貞享2(1685)写1通 31×43

御用物上納米借用証文

YK611.2-78

大光寺組手代山口清之丈、佐藤伴内 古田屋小治郎あて

天保12(1841)写1通

註:承印あり

中畑村等開発覚書 黒石九左衛門

YK611.2-79

貞享3(1686)写1通

註:目屋文書

畑年数手形 宮館村助左衛門

YK611.2-80

安永2(1773)写1枚 24×68

### YK611.39 飢饉 備荒 荒政 三倉制度

〔多免志草 乾・坤〕 山形宇兵衛長年 YK611.39-1

嘉永2(1849)写1冊 半紙 和

註:八十六歳の著、不作の年の天候、その他稲作関係記事、  
乾之巻〔天明四年(1784)ヨリ文化九年(1812)マデ〕  
「文化十年(1813)ヨリ天保五年(1832)マデ」、坤之  
巻「天保六年(1835)ヨリ弘化三年(1846)マデ」

〔郡奉行中より御渡書付之写〕

YK611.39-2

慶応2(1866)写1冊 半紙 仮和

註:この年、天候不順大凶作に付、心得べきこと并質素、  
儉約等について

〔天明癸卯年所々騒動留書〕

YK611.39-3

北津軽郡役所

明治17(1884)56頁 15×19 仮洋

元禄八年之不作ニ付津軽大飢饉津軽ノ者南部盛岡江参直ニ  
致咄候覚

YK611.39-4

写1冊 半紙 和

天明凶歳日記・天保凶荒録抄合本

YK611.39-5

昭和11(1936)ガリ版刷 1冊 半紙 仮和

註:青森郷土会叢書第十一巻

〔天保凶耕録〕

YK611.39-6

内藤官八郎草稿、木坂三五六改編

明治27(1894)写1冊 半紙 和

旧津軽藩内天明凶作概況 森矯

YK611.39-7

明治39(1906)写1冊 半紙 仮和

註:原文は福井蒼湖の父春潮の手記か 本書は昭和13  
年(1938)小野慎吉氏が、森矯氏蒐集郷土史資料より  
写したもの

天明癸卯年所々騒動留書 中津軽郡役所

YK611.39-8

明治18(1885)写1冊 半紙 仮和

秘記 某

YK611.39-9

天保8(1837)写1冊 半紙 和

註:この年、奥羽・関西凶作、特に津軽は半作、餓死  
45000人、離散10000人。大阪では大塩平八郎の乱あり。  
某の憂歎の書

〔御自筆以御書付被仰出候御請言上〕

YK611.39-10

写1冊 横長 仮和

註:紙背文書

御自筆之写

YK611.39-11

天保4(1833)写1冊 半紙 仮和

註:「御自筆之写」「御家老衆御口達」、当時の藩主は十代  
信順 藩士の俸禄一日四合に菜銭渡しにすることの御達

天保凶耕録 中村雪松(良之進)筆

YK611.39-12

明治27(1894)写1冊 半紙 和

註:東奥日報1472号~1496号内藤官八郎旧稿、木坂  
三五六改編

津軽地方凶荒誌 全 外崎覚編

YK611.39-13

写1冊 半紙 和

註:表紙裏に「本書ハ外崎覚氏ハ諸書ヨリ集メタル津軽  
地方凶荒一件ナルモノヨリ抜書シタルモノナリ 原書ハ  
未定稿ニシテ二冊トナリ市役所ニアリ」と書いてある

- 元禄八年凶荒記事 YK611.39-14  
写 1冊 半紙 和  
註：本書は写本だが、原著者も、写本者・年代等も不明、(旧蔵「岩見文庫」)
- 饑饉の戒し免 YK611.39-15  
明治18(1885)写 1冊 半紙 和  
(農商工公報)
- 東日流飢饉詞 YK611.39-16  
写 1冊 半紙 和
- 津軽飢饉記(号耳目心痛記)上中下全 YK611.39-17  
添田儀左衛門貞俊著、木立要左衛門守貞編  
天明3(1783)写 1冊 半紙 和  
註：「耳目心痛記」は元禄8年、9年(1695、1696)の飢饉の有様を添田貞俊が書いたもの 本書は木立守貞が巻末に津軽玄藩の覚書その他国中人数積米穀の員数、元禄8年の天気等を附記したもの
- 〔凶作時水稲作り覚書〕藤岡玄春 YK611.39-18  
宝暦5(1755)写 1冊 半紙 仮和
- 旧津軽藩社倉ニ関スル調査 YK611.39-19  
写 1冊 半紙 仮和  
註：四代藩主津軽信政公(1656～1710)代ヨリ明治11年(1878)頃迄
- 救荒便覧 遠藤通(白鶴義齋) YK611.39-20  
天保4(1833)刊 1冊 折本 7×16
- 豊凶考 YK611.39-21  
写 1冊 半紙 仮和  
註：元和元年ヨリ慶応元年マデ(1615～1865)
- 御国豊凶考 文久3年正月 YK611.39-22  
写 1冊 半紙 和  
註：内題「天文風雨伝」(明治25年マデ)後半「豊凶秘録」、  
「慶応二丙寅年豊凶考」(半紙半)、「稼穡秘録」
- 飢饉実況(青森・岩手・宮城・福島県下) YK611.39-23  
石浜特派員  
明治35(1902)新聞切り抜き 1冊 美濃 仮和
- YK611.6 農業協同組合 農業団体
- 中津軽郡清水村農会規則議案 YK611.6-1  
写 1冊 半紙 仮和
- YK612 農業史 事情
- 〔天保四年癸巳凶荒日記〕 YK612-1  
天保4(1833)写 1冊 半紙 仮和  
註：七月ヨリ十一月マデ
- 御蔵御條目 YK612-2  
宝暦9(1759)写 1冊 半紙 和  
註：寛政9(1797)年、於五所川原書之者也
- 御蔵勤略書覚書 天保9年臘月 五十嵐盛貞 YK612-3  
天保9(1838)写 1冊 半紙 仮和  
註：紙背文書
- 御蔵立合心得書 好裕 YK612-4  
写 1冊 半紙半 和
- 御蔵勤心得書 YK612-5  
写 1冊 横中 仮和  
註：弘化3(1846)年以後の写か
- 〔浪岡御蔵奉行勅方覚〕 YK612-6  
慶応2(1866)写 1冊 横中 仮和
- 〔買入米割付覚書〕 YK612-7  
安政6(1859)写 1冊 横長 仮和  
註：大光寺組小和森村
- 天明騒動記 全 杉山龍江 YK612-8  
明治18(1885)写 1冊 半紙 和  
註：中津軽郡郡長として「天明ノ飢饉ノ情况ヲ記シタルモノヲ各村ニ配付シ、克ク勤儉以テ凶荒ノ予備ヲナサンコトヲ切望シテノ論達」
- 御国元枝葉論 YK612-9  
文政11(1828)写 1冊 半紙 仮和  
註：農業政策論
- 〔御蔵加役心得書〕 YK612-10  
写 1冊 横長 仮和  
註：役方勤心得覚書
- 御演説書 釜泡伊太郎 YK612-11  
〔文政13(1830)〕写 2冊 半紙 仮和  
註：釜泡は郡奉行、本書は惣組御代官宛、内1冊は岩木川御普請関係書
- 〔御触書〕 YK612-12  
天保8(1837)写 1冊 半紙 和  
註：田畑売買に関する触(郡奉行山形宇兵衛)
- 於宝恵 YK612-13  
文久2(1862)写 1冊 横小 和  
註：天保12年(1841)より慶応元年(1865)迄  
猿賀組村々関係(種初、夫食米勘定等)

- |   |          |  |          |   |          |
|---|----------|--|----------|---|----------|
| 高杉組村々村備初御引合帳<br>慶応元(1865)写 1冊 横中 仮和                               | YK612-14 | 秘書<br>〔文化元(1804)?〕写 1冊 半紙半 和<br>註：田畑成米、御収蔵米内訳、常府御家中地方知行、江戸御知行、上方御家中知行、流木御郡中御収蔵高調、御家中知行高              | YK612-24 | リ文政10年マデ<br>天明7～文政10(1787～1827)写 1冊 半紙 仮和   | YK612-31 |
| 青森御蔵惣勘定手扣〔三浦元作〕<br>天保9(1838)写 1冊 横中 仮和                            | YK612-15 | 手鑑<br>安政6(1859)写 1冊 横中 厚 仮和<br>註：別大帳払留、米屋手印貸、貸大帳留、三渡御蔵順、正米貸受取留、内覚正米口、山払留、内覚仕分之口、諸渡米之口                | YK612-25 | 田舎館組村々駄下増銭勘定帳 従天保2年至慶応2年<br>天保2～慶応2(1831～66)<br>写 1冊(6冊合綴) 半紙 仮和<br>註：天保2年(1831)水木円八・清藤左兵衛、天保3年(1832)水木円八・工藤永蔵、嘉永7年(1854)安政2年(1855)同・安政3年(1856)御代官、慶応2年(1866)成田滝弥・高松弥伝次 | YK612-32 |
| 〔御蔵面積覚書〕<br>写 1冊 横長 仮和  | YK612-16 | 賄初留<br>嘉永4(1851)写 1冊 横長 仮和<br>註：天保12年～嘉永2年(1841～1849)大間越郷蔵ニ而譲受并取立覚                                   | YK612-26 | 御省略向申付候覚<br>写 1通  | YK612-33 |
| 八幡御蔵内勘心覚 源貞隆〔五十嵐所吉〕<br>嘉永元(1848)写 1冊 横長 仮和<br>註：八幡村は金木新田(現中里町)    | YK612-17 | 広須木作両組村々田畑御収納米調帳<br>安政5年4月<br>安政5(1822)写 1冊 横小 和   | YK612-27 | YK614 農業工学  |          |
| 青森御蔵新穀月目録留<br>今平吉・晴山常太郎(青森御蔵奉行)<br>慶応4～明治2(1868～1869)写 1冊 横長 仮和   | YK612-18 | 〔各組用水開発〕<br>写 1冊 半紙 仮和   | YK612-28 | 第二十一区新岡村溜池取調書上帳 明治5年7月<br>今権四郎(代荘屋)<br>明治5(1872)写 1冊 半紙 和   | YK614-1  |
| 青森御蔵旧穀月目録扣<br>今平吉・晴山常太郎(青森御蔵奉行)<br>慶応4～明治2(1868～1869)写 1冊 横長 仮和   | YK612-19 | 御郡内郷蔵初引入高留帳 弘化4年6月<br>弘化4(1847)写 1冊 横小 和   | YK612-29 | 覚〔阿保小十郎〕<br>〔明治5(1872)〕写 1冊 半紙 仮和<br>註：木造新田牛瀨村領開発用水(溜池・堰・川等)の儀  | YK614-2  |
| 御収納差引帳〔源〕貞隆〔五十嵐所吉〕<br>嘉永元(1848)写 1冊 横長 仮和                         | YK612-20 | 高杉御蔵奉行動中取扱一式<br>1袋(26点)<br>註：五十嵐所吉貞隆、高杉御蔵奉行勤務中書類〔初御蔵惣勘目録外11点 八幡御蔵手鑑并諸事覚書(嘉永元年)・高杉御蔵御収納差引帳(安政4年)外12点〕 | YK612-30 | 駒越組真土龍ノ口両村用水樋并橋木柄願案内帳<br>明治5年7月 庄屋佐藤次郎助<br>明治5(1872)写 1冊 半紙 仮和  | YK614-3  |
| 鯨ヶ沢御蔵過米牒〔御蔵巻頭〕<br>天保3(1832)写 1冊 横長 仮和                             | YK612-21 | 駄下米高目足平均足一件(新ニ申立候儀共)天明7年ヨ  |          | YK615 作物栽培 病虫害  |          |
| 御蔵方万覚<br>写 1冊 横小10×14 仮和<br>註：知行米・御切米・御扶持渡并諸渡共御渡買上一紙帳、葛西永司覚(算法・他) | YK612-22 |  |          | 御郡中耕作伝書<br>天保5(1834)写 1冊 半紙 和   | YK615-1  |
| 〔御蔵米〕<br>天明4(1784)木版 1冊 横小 和                                      | YK612-23 |  |          | 板柳御蔵勤中留帳・松前ソウヤ詰御用并諸事覚書・床前〔舞〕御蔵御用留(四冊合本) 七戸金五郎   | YK615-2  |

- 文化7・10・文政3(1810・1813・1820)写 1冊  
半紙 仮和(七戸氏旧蔵本)
- 豊凶兆録** **YK615-3**  
写 1冊 半紙 仮和  
註:豊作之作、不作之年人前兆、土見様之事、凶年ヲ知ル事
- 耕作口伝書** 明治5年5月 宇野珍助 **YK615-4**  
明治5(1872)写 1冊 半紙 和  
註:珍助は増館官所支配浪岡組赤坂村(現黒石市内)の人
- 三新田農術覚書 全** **YK615-5**  
安永2(1773)写 1冊 半紙 和  
註:内題「広須組三新田農術覚書」
- 耕作晰 全** 中村喜時編 **YK615-6**  
安永5(1776)写 1冊 半紙 和  
註:編者は田舎館・浪岡・増館三ヶ組の大庄屋
- 耕作晰** 中村喜時編 **YK615-7**  
安永5(1776)コピー本 1冊 半紙 和
- 耕作考** 山形宇兵衛長年編 **YK615-8**  
写 1冊 半紙 和  
註:「農諭」[文化8(1811)]黒羽藩家老鈴木武助正長(為蝶軒)著、その他「農業夢物語」「一戸左五右衛門上書」「年熟不熟之考」「古老留記之抜書一条」「耕作要録」「紙面(成田六左衛門)」「耕作口伝記之抜書」
- [農書]** [篠園の散人] **YK615-9**  
安永7(1778)写 1冊 半紙 和  
註:諸作物栽培について
- 耕作口伝記** 工藤 **YK615-10**  
明治14(1881)写 1冊 半紙 仮和  
註:後半「土見様之事」「東方朔置文之事」「世間善悪ノ覚」「月令博物筌ヨリ抜書」
- 耕作口伝記** 明治9年旧正月2日 福田嘉助 **YK615-11**  
明治9(1876)写 1冊 半紙 和  
註:世中善悪見様之事、土見様之事、凶年を知る事
- 耕作綱目 全部** **YK615-12**  
写 1冊 半紙 和  
註:内題「農民家業」
- 農業余話抄** **YK615-13**  
刊本 1冊 半紙 仮和  
註:巻尾に「弘化二(1845)乙巳年九月二十一日山内小十郎より貰」とある
- 津軽郡耕作考** 下沢保躬編輯 **YK615-14**  
弘前 小田桐基 明治14(1881)刊 1枚 半紙(広)
- YK617 工芸作物**
- 漆仕立方御渡場抱地一件** **YK617-1**  
[明治6・7(1873・1874)]写 1冊 横中 仮和  
註:第二大区一小区・二小区、第五大区一小区(現在ノ黒石市・浪岡町・常盤村・藤崎町)関係
- 会津藩漆木始り次第 全** **YK617-2**  
享保12(1727)写 1冊 横中 仮和  
註:末尾に「右祖父森喜代松所蔵本森林助識」とある
- 漆仕立場所御竿入案内帳** 文政9年6月 **YK617-3**  
宇野又吉(赤坂村漆方)  
文政9(1826)写 1冊 半紙 仮和  
註:文化9年(1812)より文政3年(1820)迄の植付
- 覚 赤坂村は現黒石市内
- 漆木家伝書** **YK617-4**  
寛政13(1801)写 1冊 半紙 和  
註:成田五右衛門累代之家伝書か 漆水植仕立之由来、種蒔・培養方法等
- 雑記 己亥初冬** **YK617-5**  
[安永9(1780)]写 1冊 半紙 仮和  
註:御郡内漆木について
- 文化年中より漆方御用状留写書上帳** 嘉永7年7月  
尾崎組手代 **YK617-6**  
嘉永7(1854)写 1冊 半紙 仮和
- 漆林の履歴** 東日流叢書第二巻 一戸岳逸編 **YK617-7**  
昭和14(1939)謄写 1冊 半紙 仮和  
註:附録 和田正純著「藩中薬品考」
- 楮蒔付方仕様** 天保2年 **YK617-8**  
天保2(1831)写 1冊 半紙 仮和
- [覚]** **YK617-9**  
写 1枚 横長  
註:漆関係
- 漆木仕立場処之儀ニ付伺** **YK617-10**  
第二大区一ノ小区高館村大平兵左衛門 上十川村宇野忠兵衛 赤坂村宇野兵助 本郷村鎌田形助  
明治7(1874)写 1枚 半紙  
註:第二大区一ノ小区は旧浪岡組 高館村、上十川村、赤坂村は現黒石市 本郷村は現浪岡町
- 奉差上一札証文之事** **YK617-11**  
明治8(1875)写 1枚 半紙



註：漆山にて栗木伐取の件について

### YK619 農産製造

教草 丹波修治・他述、溝口月耕・他画 YK619-1  
 明治5～9(1872～76)刊 1袋(30枚) 37×50  
 註：一覽物 8枚(油・蜜蜂・鷹狩・褐腐・紅・豆腐・  
 澱粉上下) 教草22枚(第壹～第廿参うち第三欠) 教草  
 No1～22、一覽No23～30

### YK620 園芸

草木育種 上下 YK620-1  
 写 1冊 14×20 和

### YK625 果樹園芸

接木留 YK625-1  
 写 1冊 横小 仮和  
 註：りんご接木

### YK629 造園

御庭石見立方取扱一件 文政7申年申5月より酉年中  
 [高屋小平太] 尚善 YK629-1  
 文政7・8(1824・25)写 1冊 横中 仮和  
 註：尚善は文化13年(1816)お庭方見習のため江戸  
 へ上り、柳島屋敷頭・お庭方取扱いとなる。文政13年  
 (1830)塩焼見習の為赤穂に出向するまで津軽と江戸を  
 往復すること四たびとあるから、本書はその間に書いた  
 ものだらう。

弘前公園内樹木名札掛用調査表 国宝昭和13年4月  
 青森営林局植生調査係調(村井) YK629-2  
 昭和13(1938)写 1冊 30×23 仮和

註：弘前市公園事務所控

### YK635 畜産

蠶飼養法記 全 野本道玄 YK635-1  
 青森県養蠶組合联合会 昭和6(1931)40頁 半紙 和

梁河養蚕法聞書 天保7年8月 YK635-2  
 保村治右衛門・豊沢元治郎  
 天保7(1836)写 1冊 半紙 和

### YK641 畜産経済 経営

[覚] YK641-1  
 慶応2(1866)写 1冊 半紙 仮和  
 註：馬売買御締方并子附増之儀二付委細ヶ条

### YK645 家畜

牛馬蕃殖筋之義 [儀] 坂部三十郎 YK645-1  
 [明治10(1877)]写 1綴 半紙 仮和  
 註：南部地矢津頭 [谷地頭] (現三沢市) 広沢牧場関係  
 坂部から区務所宛の調書

馬請取通 天保9年10月 三上繁太郎 YK645-2  
 天保9(1838)写 1冊 横中 仮和

黒石表江弘馬見届帳 安政6年8月15日より5日之間  
 相馬三右衛門(牛馬取扱) YK645-3  
 安政6(1859)写 1冊 横長 仮和

黒石表江弘馬見届ヶ帳 文久2年8月20日より5日之間  
 相馬三右衛門(牛馬取扱) YK645-4  
 文久2(1862)写 1冊 横長 仮和

金木同新田両組村々当有牛馬惣括帳 嘉永3年6月12日  
 より改 YK645-5

嘉永3(1850)写 1冊 横小 仮和

年々出生駒改相勤覚帳 寛政4年7月 YK645-6  
 寛政4(1792)写 1冊 横小 仮和  
 註：浦町組、横内組、後潟組、油川組、青森町、野内町、  
 蟹田町、今別町、津軽坂、瀧野沢、入内、雲谷御牧方共外ヶ  
 浜廻り取扱

黒石市売買馬控 相馬三右衛門(牛馬取扱) YK645-7  
 元治元(1864)写 1冊 横長 仮和

馬調方御用状留帳 相馬三右衛門(牛馬取扱) YK645-8  
 慶応3(1867)写 1冊 横長 仮和

### YK651 森林経済 経営(林制史)

岩木山境内小沢分帳 寛政9年2月25日 YK651-1  
 神和治郎 寛政9(1797)神氏  
 弘化3(1846)写 1冊(合)半紙 仮和

諸書付写手扣 柴田専助藤原利 YK651-2  
 明治2(1869)写 1冊 横中 仮和  
 註：山方小使兼山役人の記録

要用書付留 葛西清仲 YK651-3  
 慶応4～明治4(1868～1871)写 1冊 横中 仮和  
 註：山奉行支配下の山方物書の記録か

[所持仕罷有候漆仕立山旧記書写] YK651-4  
 写 1綴 半紙 仮和  
 註：他に「浪岡組高館村田山并仕立山抱山漆仕立出仕分  
 書上帳(文政四辛巳年)庄屋弥七郎」等合冊

材木直段并駄賃帳 元治元年9月 YK651-5  
元治元(1864)写 1冊 横中 和

柵木舞諸材木松皮并杉皮芦御払直段帳 天保8年10月  
天保8(1837)写 1冊 横小 和 YK651-6

上山通り岸焼并秣場其外仕立抱山木立模〔様共〕見分場所  
ノ手扣帳 柴田専助(藤原利正) YK651-7  
明治2(1869)写 1冊 横中 仮和  
註:増館組、浪岡組、猿賀組、大光寺組、尾崎組、堀越組、  
和徳組、駒越組関係

地払御極印別紙留 天保2年6月 YK651-8  
天保2(1831)写 1冊 横小 和

諸材木杣取手帳 安政3年8月 藤田淳太郎 YK651-9  
安政3(1856)写 1冊 横中 和  
註:内題「諸材木算法記」筆者は俵元新田(現五所川原  
市)浅井村庄屋か

万覚帳 慶応元年〔斎藤助作〕則正 YK651-10  
慶応元(1865)写 1冊 横小 和  
註:則正は西津軽郡森田村の小戸六溜池工事を完成させ  
た木造代官所の斎藤助作則正のことか 内容は山役人  
使用御極印図、山林関係覚書

材木御定直段附 宝暦年中御定法 YK651-11  
写 1冊 横小 仮和

地払御極印打入・酒道具封印・稲草焼失見分 YK651-12  
慶応2年三上正芳  
慶応2(1866)写 1冊 横中 和

材木規範 明治3年 YK651-13

明治3(1870)写 1冊 横中 和

流木之記録 YK651-14  
〔文化2~7(1805~1810)?〕写 1冊 半紙 仮和  
註:杣入沢所  
附「目屋野沢惣山有木見分取調帳」(文化12年(1815年))

心覚帳 明治4年 柴田利政 YK651-15  
明治4(1871)写 1冊 横中 仮和  
註:山林方席御改革など

湯船・小屋敷山方一条留帳 天保12年 YK651-16  
天保12(1841)写 1冊 半紙 仮和  
註:赤石組支配(現鯉ヶ沢町)破損甚シ

諸山之内上山通より西之浜通迄中山通より外浜通古懸山迄  
御山所書上之覚 YK651-17  
天明4(1784)写 2冊合併 横長 仮和  
(下沢継志斎旧蔵)  
註:天明凶荒後の調査に係る

後潟・四戸橋両村末木御用材擢落山中打入書上帳  
慶応元年 相馬石太郎(末木懸合) YK651-18  
慶応2(1866)写 1冊 半紙 仮和  
註:御役木之内、江戸御登世、御極印并御用御極印共

陸奥国津軽郡内山中出材木石目高代金附調帳 YK651-19  
寛政5年 田中左次馬(津軽出羽守家来)  
寛政5(1793)写 1冊 半紙 和

旧津軽藩山林制度ノ概略参考書 YK651-20  
〔明治24(1891)?〕写 1冊 半紙 仮和

津軽藩林制要領 YK651-21  
活版1并筆写ノ合本 半紙 仮和

註:活版「青森県管内旧津軽藩林制要領」(明治24年  
1891)筆写「山方、流木寸定、諸材木杣取役沖出役割  
合積之事・他」(寛政7年1795)

仕立山絵図 兼平村 YK651-22  
明治13(1880)写 1冊 美濃 和  
註:巻尾に「宝暦四甲戌年六月二日ヨリ十八日迄館山相  
廻り見分之上図之 工藤万左衛門」「于時明治十三年  
四月七日写取」とある

〔岸焼願書一件〕 YK651-23  
寛政10(1798)写 1冊 半紙 仮和  
註:赤石組支配湯船村・小屋敷村(現鯉ヶ沢町)関係

御留記之上村々御廻郷御入用之分 YK651-24  
写 1冊 半紙 仮和

青森県管内旧津軽藩林制要領 YK651-25  
鳴海謙六・永沢孫三郎(旧津軽藩吏事務引継掛り)  
明治24(1891)活版 1冊 半紙 仮和

御極形帳 YK651-26  
写 1冊 横小 和  
註:十二支、山中、沖出、流木等、御極印ノ図

弘前営林署業務の内容 YK651-27  
〔昭和8(1933)〕写 1冊 半紙 仮和  
註:岩木山、暗門滝、瑪耶溪、藤田農場、弘前公園、  
津軽塗、あけび、蔓細工、他

喫飯録 明治9年第10月 小二区会所 YK651-28  
明治9(1876)写 1冊 横長 仮和

材木出証文 YK651-29  
万治3~4(1660~1661)写 2枚

- YK658 林産製造**
- 百沢炭釜日誌控 明治22年12月 黒石源司 **YK658-1**  
明治22(1889)写 1冊 横中 仮和
- 赤石組支配小屋敷村岸焼御済口帳 **YK658-2**  
赤石組御代官  
享和2(1802)写 1冊 半紙 仮和  
註：郡奉行より山岸の野火焼きに対する注意
- YK659 狩猟**
- 猟具猟法 明治26年3月12日謄写之勅令第84号  
明治26(1893)写 1冊 半紙 仮和 **YK659-1**
- 狩猟規則施行細則 明治26年3月12日謄写之 **YK659-2**  
明治26(1893)写 1冊 半紙 仮和
- 貯蓄銃炮願・軍用銃讓受届 **YK659-3**  
高尾彦五郎・同直作  
明治6・24(1873・91)写 1綴 半紙 仮和  
註：青森県知事 佐和正宛
- YK660 水産業**
- 〔松前鯡稼一件〕 **YK660-1**  
嘉永5(1852)写 1冊 半紙 和
- 鯡ノ由来記 下沢保躬 **YK660-2**  
明治18(1885)写 1冊 半紙 仮和  
註：鯡漁事考記  
附録「西蝦夷日誌初篇」(松浦武四郎源弘著)
- YK670 商業**
- 商売往来 全 **YK670-1**  
写 1冊 半紙 仮和
- YK672 商業史 事情**
- 〔商家年代記〕 **YK672-1**  
天保9～嘉永5(1838～1852)写 1冊 半紙 仮和
- 日市御締合被仰付書之写 **YK672-2**  
文政9(1826)写 1冊 半紙 和  
註：居鯖、触壳、日市の荷売等の漁肴商売の規制
- 長屋より和徳江引移手当願ニ付覚 **YK672-3**  
大坂屋与兵衛  
天明2(1782)写 1枚 24×32
- 覚 中野屋次五郎 大坂屋長次郎あて **YK672-4**  
天明5(1785)写 1枚 24×29  
内容：借金返済不可能の理由説明
- 覚 三上重蔵 大坂屋留吉あて **YK672-5**  
天明8(1788)写 1枚 24×26  
註：酒五斗代借用手形
- 家財渡方之覚 山本四郎左衛門、山本清兵衛連印 大坂屋留兵衛 大坂屋長次郎あて **YK672-6**  
寛政2(1790)写 1枚 24×26
- 借用之覚 後藤十次郎 大坂屋長二郎あて **YK672-7**  
寛政7(1795)写 1枚 25×20
- 本町町内之者願 **YK672 8**  
文化3(1806)写 1通 32×42  
註：三国屋喜右衛門の恩赦願
- 覚 三国屋六三郎 前田亀次郎あて **YK672-9**  
文化9(1812)写 1通 31×39  
註：上納金につき金木屋へ交渉のこと
- 覚 三国屋三之丞、太三郎連印 金木屋富七あて **YK672-10**  
文化10(1813)写 1通 31×39  
註：金木屋より借用の上納銭のこと (YK672-9と関連文書)
- 覚 中野屋作兵衛 大坂屋留兵衛あて **YK672-11**  
文政3(1820)か 写 1枚 28×11  
註：銭預り証文
- 受合金証文 **YK672-12**  
中野屋作十郎 大坂屋留兵衛あて  
天保3(1832)か、写 1枚 24×14
- 〔上納金不納仕罷有候由ニ付〕 **YK672-13**  
文化年間か 写 1通  
註：金木屋より差出したものか (三国屋太三郎、同三之丞に關係あり)
- YK673 商店 販売**
- 万覚帳 金木屋万次良 **YK673-1**  
慶応2(1866)写 1冊 横小 和
- 〔覚〕財方御用差引帳 今村九左衛門 **YK673-2**  
慶応2(1866)写 1冊 横長 和
- 〔覚〕財方〔差〕引帳 今村九左衛門 **YK673-3**  
慶応3(1867)写 1冊 横長 和
- 御上様永納帳 今村九左衛門 **YK673-4**

- 宝暦4～嘉永4(1754～1851)写 1冊 横長 和
- 判取帳** 宇野兵三郎 **YK673-5**  
 明治6(1873)写 1冊 横長 和  
 註：印税取扱人青森県中属小川涉の証あり
- 家業再興心願帳** 文久2年正月 柳屋重吉 **YK673-6**  
 文久2(1862)写 1冊 半紙 仮和  
 註：宇野兵三郎宛口上
- 大宝栄** 慶応3年 武田幸太郎 **YK673-7**  
 慶応3(1867)写 1冊 横小 和  
 註：内題「絹布丈割留」
- 御金少々拝借願** 小嶋喜七 工藤富吉あて **YK673-8**  
 写 1通
- 大津屋本家再興ニ付証文之事** **YK673-9**  
 大津屋久蔵外連印 大津屋治右衛門 同孝助あて  
 文政3(1820)写 1通  
 註：東長町月行事藪屋吉左衛門 名主増田屋幸助の承届の印あり
- 家業再興証文覚** **YK673-10**  
 高浜屋音七外連印 大津屋御本家あて  
 慶応4(1868)写 1通
- YK674 商品広告**
- 商標** **YK674-1**  
 1冊(11点貼付) 24×19 仮和  
 註：弘前市内商店商標
- YK678 貿易**
- 箱館表交易趣意書** 詰合手代 **YK678-1**  
 安政6(1859)写 1冊 半紙 仮和
- 自由交易保護税ト利害及実施之結果如何** **YK678-2**  
 明治20年4月1日 赤石定蔵(東京)  
 明治20(1887)写 1冊 半紙 仮和
- YK683 海運**
- 青森日記** 真正 **YK683-1**  
 天保8(1837)写 1冊 半紙 仮和  
 註：紙背文書
- 平館湊御番所仕切帳** 安政6年9月 **YK683-2**  
 五十嵐所吉 吉崎栄太郎  
 安政6(1859)写 1冊 横長 仮和
- 平館湊船手取扱之覚** **YK683-3**  
 写 1冊 横長 和
- 覚(公儀御浦触一件)** 嘉永6年3月 源宅俊 **YK683-4**  
 嘉永6(1853)写 1冊 横小 和
- 漢五行書并船御條目留** 天保13年2月17日 **YK683-5**  
 天保13(1842)写 1冊 横中 仮和
- 湊方五行浦高札案** **YK683-6**  
 写 1冊 横中 和  
 註：湊方五行…文政9(1826)写 蒔苗園吉・角田宇源治 浦高札案…明治3(1870)写
- 青森湊目付御用留** **YK683-7**  
 文久2(1862)写 1冊 半紙 仮和  
 註：紙背文書
- 諸湊勤書規格** 神盛章 **YK683-8**  
 弘化3(1846)写 1冊 横小 仮和  
 註：諸湊 難船破船寄物支配火事水死荷打諸事変難取扱留
- 公儀浦御触留** 松浦甚五左衛門〔御用人〕 **YK683-9**  
 天明3(1783)写 1冊 半紙 仮和  
 註：天明3年は大凶作の年 御城米積入の件 郡奉行、青森、鯉ヶ沢、深浦、野内、大間越、今別、蟹田各奉行所宛
- 万留覚帳** **YK683-10**  
 嘉永元(1848)写 1冊 半紙 和  
 註：積米定書、荷揚心得之事、鯉ヶ沢御條目、湊方五行心得之事、他
- 万秘記** 保尚 **YK683-11**  
 弘化2(1845)写 1冊 横中 和  
 註：内題「湊方五行事」(海運関係の書)
- 船御條目** 天保4年正月 相馬石太郎 **YK683-12**  
 天保4(1833)写 1冊 横中 仮和
- 御廻船請負証文** 文政10年2月 **YK683-13**  
 文政10(1827)写 1冊 横中 和  
 註：内題「御廻船御雇方御請負証文之事」(江戸御廻米積船御雇方御請負方)
- 鯉ヶ沢問屋共附舟名前記** 天保14〔15〕年晩秋日 **YK683-14**  
 天保15(1844)写 1冊 横小 和
- 湊出入役帳** 嘉永3年5月改 **YK683-15**  
 嘉永3(1850)写 1冊 横小 仮和
- 青森湊口出入御役帳** **YK683-16**  
 嘉永6(1853)写 1冊 横小 和

- 註：青森湊於御番所写之
- 湊口手鑑** 嘉永2年5月 **YK683-17**  
 嘉永2(1849)写 1冊 横中 和  
 註：木綿筒見切、三御関所并湊口出入御役、杉帆柱沖出御役、桧雑木出沒之目録、矢来木沖役、港口出物御停止
- 湊方出入物御役帳** 嘉永3年5月 山中兵部 **YK683-18**  
 嘉永3(1850)写 1冊 半紙 和  
 註：本書は五十嵐〔所吉(貞隆)〕が安政6年(1859)平館湊に於いて写したもの
- 去ル巳十月より午九月出入調** 安政5年 **YK683-19**  
 安政5(1858)写 1冊 横小 和  
 註：浦々の出入御役銭調
- 両浜駄下米締方一件** **YK683-20**  
 写 1冊 横中 和  
 註：鯨ヶ沢湊、青森湊
- 〔湊方五行並廻切手書様〕 **YK683-21**  
 写 1冊 横長 仮和
- 御用書写** **YK683-22**  
 写 1枚 16×70  
 註：御廻船積入方差支之義
- 差下申東海廻船之事** **YK683-23**  
 弘前御廻米一手取扱 鳥羽屋清次郎 同道樹連署 弘前御屋舗あて  
 天保12(1841)写 1通  
 註：弘前屋舗に宛てられた廻米送状
- 通航御免状横浜ヨリ津軽在所エ** 東京軍務官 **YK683-24**  
 写 1枚 20×14
- 註：津軽越中守家来高木万次郎上下3人横浜より英国蒸気便船にて青森までの通航許可状
- 松前沖口役所出切手** **YK683-25**  
 写 1枚 17×16
- YK684 河航 運河 渡船**
- 駒越渉場常役并年中長賃留帳** 明治6年 **YK684-1**  
 福島三郎兵衛(組頭)  
 明治6(1873)写 1冊 半紙 和
- YK685 道路運輸**
- 〔道中記留〕 **YK685-1**  
 写 1冊 横小 和  
 註：江戸より弘前迄 百八拾四里八丁
- 御郡中所々道法并駄賃附留帳** 文久2年4月 **YK685-2**  
 藤田氏  
 文久2(1862)写 1冊 横中 仮和
- 道法駄賃帳** 盛永 **YK685-3**  
 写 1冊 横小 仮和
- 駄賃定行程記** **YK685-4**  
 写 1冊 横小 和  
 註：御領分中所々街道駄賃定
- 所々街道駄賃御定** **YK685-5**  
 写 1冊 横小 和  
 註：弘前より碓ヶ関通秋田积廻内迄
- 道中日記** 宇野兵三郎 **YK685-6**  
 文政3(1820)写 1冊 横中 仮和
- 註：6月、自赤坂(黒石)至恐山(下北)
- 道中日記(宇野氏)** **YK685-7**  
 嘉永6(1853)写 1冊 横小 仮和  
 註：二月廿九日 出立 六月廿二日帰着  
 往…碓ヶ関、秋田、越後、福井、京都、大坂、堺 復…名古屋、江戸、日光、仙台、秋田、八森、深浦、五所川原
- 道中日記** 明治12年第4月20日出立 長尾氏 **YK685-8**  
 明治12(1879)写 1冊 横小 6×17 仮和  
 註：4月20日出立、同年7月末帰着、往…碓ヶ関、秋田、新潟、松本、(中山道)、大坂、堺、吉野、神戸、兵庫、明石 復…三田、京都、伊勢、(東海道)江戸、日光、仙台、花巻、小坂、碓ヶ関 經由
- 御郡中御街道賃附日記** 竹内氏 **YK685-9**  
 写 1冊 横小 和
- 弘前ヨリ江戸本所マデ道中記** 阿保貞節 **YK685-10**  
 写 1冊 横小 和
- 〔道中記〕 **YK685-11**  
 写 1冊 横小 和  
 註：江戸本所二ツ目ヨリ福島、山形、碓ヶ関經由弘前迄
- 道中記** 天保6年7月(石岡正秀) **YK685-12**  
 天保6(1835)写 1冊 横小 和  
 註：江戸本所二ツ目ヨリ弘前迄 小坂通道中記 七月吉日
- 秋藩行記** 慶応4年5月 **YK685-13**  
 慶応4(1868)写 1冊 横中 仮和  
 註：5月27日ヨリ6月15日マデ
- 道中記(津軽道中記)** **YK685-14**  
 写 1冊 折本8×16

- 註：「津軽道中記」の表書のある袋入れ 従奥州津軽弘前小坂通江戸迄行程
- 道中印鑑牒** 飛鳥才兵衛（楠美太素内） **YK685-15**  
写 1冊 横長 和
- 〔道中記〕** **YK685-16**  
写 1冊 横小 仮和  
註：御郡中御街道并従弘前至江戸（小坂通）  
里程駄賃附道中記
- 京都より木曾路津軽迄道中記略ス** 慶応4年3月吉日  
中村（弘前） **YK685-17**  
慶応4（1868）写 1冊 横小 和  
註：覚 京より津軽迄下り道中略記
- 江戸本所二ツ目より小坂通道中記** 文化7年8月  
黒石久馬吉 **YK685-18**  
文化7（1810）写 1冊 横小 和  
註：八月 駄賃記入
- 〔道中記〕** **YK685-19**  
写 1冊 横長 仮和  
註：陸路…弘前より夫々東海道伊勢路、越後高田、青森  
南部仙台桑折、名古屋、奈良、日光、松島 海上…鱒ヶ  
沢より下関、兵庫  
附…妙薬拔書
- 御道中十八日振小坂通** 寛政13年3月 **YK685-20**  
黒石久馬吉（弘前家中）  
寛政13（1801）写 1冊 横中 仮和  
註：弘前より江戸マデ
- 道中諸払覚帳** 弘化4年2月吉日 岩谷氏 **YK685-21**  
弘化4（1847）写 1冊 横中 仮和
- 註：伊勢、京都、大坂、高野山詣りの諸払い 二月吉日
- 南部通江戸道中記** 全 小野又右衛門 **YK685-22**  
写 1冊 横中 和  
註：野内口より南都仙台江戸表江之道中記 伊達郡桑折  
より仙台街路順記 伊達郡桑折より仙台南部通街道順記  
桑折ヨリ三戸、野辺地、野内、青森、浪岡、弘前マデ
- 小坂通道中記** 全 **YK685-23**  
写 1冊 横中 和  
註：江戸本所二ツ目御上屋敷表通門ヨリ弘前城内御玄関  
マデ
- 道中日記覚帳** 宇野忠右衛門 **YK685-24**  
天明8（1788）写 1冊 横中 仮和  
註：三月十一日ヨリ四月廿九日マデ 浅虫口ヨリ南部通、  
東海道、伊勢、京都、大坂、高野山詣り
- 道中日記并掌中控共** 文久3年5月 成田高行 **YK685-25**  
文久3（1863）写 1冊 横中 仮和  
註：五月十一日（弘前）ヨリ六月朔日（江戸）マデ 碓ヶ  
関、大館、久保田、天童、二本松、白川、宇都宮經由
- 旅行心得伝記** 安政2年11月於東都写之 **YK685-26**  
安政2（1855）写 1冊 横中 和  
註：旅行心得方伺之部
- 〔道中記〕** 川越次泰 **YK685-27**  
元治元（1864）写 1冊 横小 仮和  
註：弘前より京都迄北国通道中記
- 御道中御手道具帳** 文久元年正月 **YK685-28**  
文久元（1861）写 1冊 半紙 和
- 旅籠** 安政6年3月23日 **YK685-29**
- 安政6（1859）写 1冊 横中 仮和
- 万覚書** 天和3年4月15日 長尾奥左衛門 **YK685-30**  
天和3（1683）写 1冊 横小 和
- 外浜通貨銭直払定例書** 文化6年6月 **YK685-31**  
文化6（1809）写 1冊 半紙 仮和
- 所々湊并御関所出入物御役改帳** **YK685-32**  
宝永8（1711）写 1冊 横小 仮和
- 碓ヶ関御関所御出入人別調書上帳扣** **YK685-33-1**  
安政6（1859）写 1冊 横長 仮和  
註：八月中
- 碓ヶ関御関所御出入人別調書上帳扣** **YK685-33-2**  
万延2（1861）写 1冊 横長 仮和  
註：去十二月中
- 碓ヶ関御関所御出入人別調書上帳扣** **YK685-33-3**  
文久元（1861）写 1冊 横長 仮和  
註：七月中
- 駄賃帳** 安政6年 山形喜与吉（弘前） **YK685-34**  
安政6（1859）写 1冊 横中 仮和
- 〔駄賃帳〕** **YK685-35**  
写 1枚 横長
- 碓ヶ関御関所口出入人別調書上帳扣**（7月中）  
安政4年8月 **YK685-36-1**  
安政4（1857）写 1冊 横長 仮和
- 碓ヶ関御関所口出入人別調書上帳** **YK685-36-2**  
写 1冊 横長 仮和

- 註：年月不明
- 碓ヶ関御関所口出入人別調書上帳** (3月中) **YK685-36-3**  
安政7年4月  
安政7(1860)写 1冊 横長 仮和
- 碓ヶ関御関所口出入人別調書上帳** (十一月中)  
万延元年12月 **YK685-36-4**  
万延元(1860)写 1冊 横長 仮和
- 碓ヶ関御関所口出入人別調書上帳** **YK685-36-5**  
写 1冊 横長 仮和  
註：年月不明
- 碓ヶ関御関所口出入人別調書上帳** (六月中)  
文久元年〔7〕月 **YK685-36-6**  
文久元(1861)写 1冊 横長 仮和
- 碓ヶ関御関所口出入人別調書上帳** **YK685-36-7**  
写 1冊 横長 仮和  
註：年月不明
- 大日本海陸行程図鑑** **YK685-37**  
東都 須原屋茂兵衛 天保7(1836)刊 1冊 美濃半 和  
註：内題「日本道中記図鑑」
- 東海道道中記** **YK685-38**  
江戸 山口屋藤兵衛 刊 1冊 懐中本 和
- 五海道中細見記** **YK685-39**  
江戸 須原屋茂兵衛 安政5(1858)1冊 横小 和
- 東海道千里の友** 松井嘉久述 **YK685-40**  
江戸 須原屋茂兵衛 享保17(1732)刊 1冊 横中 和  
註：東海道駄賃附并問屋村
- 東海木曾両道中懐宝図鑑** **YK685-41**  
江戸 須原屋茂兵衛 天保13(1842)刊 1冊  
美濃半 和
- 道中行程明細記** **YK685-42**  
東都 和泉屋市兵衛 嘉永3(1850)刊 1冊 18×9  
折本
- 陸奥出羽国郡行程全図** 橋本玉蘭齋謙識 **YK685-43**  
刊 1枚 91×144  
註：文化5年(1808)以降 江戸時代の図
- 〔日本行程図〕 中島翠堂(彭) **YK685-44**  
嘉永7(1854)刊 1枚 37×51
- 東海道中仙道道法早算用道中記** **YK685-45**  
刊 1枚 38×50  
註：袋裏に「富士川岩淵御小休所 藤田藤右衛門」とある
- 真誠講** **YK685-46**  
〔明治10(1877)〕刊 1綴(3冊)横小 仮和  
註：発起 内国通運会社 講元 佐々木荘助
- 乗合馬車取扱規則** **YK685-47**  
写 1冊 半紙 仮和  
註：弘前～浪岡間
- 差上申通シ人夫御受負御証文之事** **YK685-48**  
御雇頭 宗七  
天保14(1843)写 1通
- 先触** 弘前 野呂此母 **YK685-49**  
元治2(1865)写 1通 折紙
- 註：大津草津より北国通り津軽碓ヶ関まで(下り)
- 先触** 弘前 赤石礼次郎 **YK685-50**  
元治2(1865)写 1通 折紙  
註：大津草津より木曾路津軽碓ヶ関まで(下り)
- 先触** 若林和泉 **YK685-51**  
慶応4(1868)写 1通  
註：箱館裁判所御用(一日市より黒石通り青森まで)
- 人夫触** 弘前藩 **YK685-52**  
明治4(1871)写 1通 折紙  
註：釈迦内より久保田それより小坂通東京表まで(上り)
- 先触** 鎌田作蔵 **YK685-53**  
写 1通 折紙  
註：根部田村より上ノ国まで、馬入用触状

## YK700 芸術

## YK702 美術史 芸術史

津軽書家画家一覧 釈了悟 YK702-1  
大正4(1915)写 1冊 半紙 洋綴  
註：本書は昭和8年(1933)野呂力再々写

## YK705 逐次刊行書 雑誌

青森美術 19 竹浪次郎編 YK705-1  
弘前 編者(青森美術社)刊 19頁 B5 仮洋

## YK706 学会 協会(展覧会)

東日流会出品目録 YK706-1  
明治45(1912)写(ガリ版)1冊 半紙 仮和

志士遺墨 附志士忌辰表 東京 青山会館 YK706-2  
昭和2(1927)刊 1冊 四六 仮和  
森素鶴(林助)旧蔵

## YK709 国宝 古器 骨董

国宝・重美・史蹟・天然名勝地一覧 YK709-1  
青森県 昭和24年6月1日 社会教育課宗教係  
昭和24(1949)謄写 1冊 半紙 ホチキス

正倉院志 大竹西崖 YK709-2  
東京 田島志一(審美書院)明治43(1910)刊 1冊  
半紙 和  
註：西崖は本名塩沢峰吉(1868～1927)、駿河の人、東洋美術史家

## YK720 絵画 書道

近世名家書画談 二編 卷之一 YK720-1-1  
安西於菟(雲煙)編次  
天保15(1844)刊 1冊 半紙 和  
註：雲煙子は徳川中・後期の書画商、画家、江戸の人

近世名家書画談 二編 卷之二 YK720-1-2  
安西於菟(雲煙)編次  
天保15(1844)刊 1冊 半紙 和

近世名家書画談 二編 卷之三 YK720-1-3  
安西於菟(雲煙)編次  
天保15(1844)刊 1冊 半紙 和

満都迺奈美(松の濤) YK720-2  
写 1冊 半紙半 和  
註：鶴舎有節・艸々庵千葉山月・兼平亀綾・松山雲章・  
下沢保躬・松山雲隨・三上千年・蓑虫山人・大道寺繁禎・  
その他文人・画人の書画

書画帖 YK720-3  
〔嘉永2(1849)写 1冊 18×14 折本  
註：為山の己酉夏の序と句がある 為山は江戸の俳人、  
関氏、別号、月の本、梅の本、梅閑人、正風園 奥州  
須賀門の俳人多代女の句、江戸の俳人西馬の句、その  
他多くの俳人の句や絵

書画帖 YK720-4  
写 1冊 12×9 折本  
註：明治期に於ける津軽の書家・画家の書画を集めて  
ある 工藤仙乙(1839～1895)、千葉艸々(1832～  
1900)、榊田蘭堂(1844～1923)、工藤青山(1873  
～1946)、高山文堂(1849～1931)、工藤仙来(1863  
～1944)…等の書画

倭漢書画集覧 博覧軒誌(編) YK720-5  
華木堂 天保10(1839)刊 1冊 横小 和  
森素鶴(林助)旧蔵  
註：内題「和漢書画一覧」

書画帖 YK720-6  
〔明治33(1900)・37(1904)〕写 1冊 12×17 折本  
註：露堂・文泉・他

近世名家書画談(三編)雲煙安西虎著 YK720-7  
江戸 和泉屋金右衛門 天保2(1831)刊 1冊 半紙 和  
註：安西雲烟(1806～1852)は江戸の書画商、画家  
通称虎吉、諱は於菟・武、字は山君、号は舟雪 序は菊地氏・  
塘氏(嘉永5年1852)、朝川氏(嘉永4年1851)

近世名家書画談 二編 四 YK720-8  
雲煙子 安西於菟編  
江戸 和泉屋金右衛門 天保15(1844)刊 1冊  
半紙 和  
註：安西於菟は安西虎のこと

日本書画人名辞書続編 中 YK720-9  
杉原夷山 加藤樸堂編  
刊 1冊(102頁)半紙 和

津軽書画家伝 YK720-10-イ  
郷土文化研究倶楽部同人編  
刊 1冊(74頁)半紙 和

津軽書画家伝 YK720-10-ロ  
郷土文化研究倶楽部同人編  
コピー 1冊(74頁)半紙 和  
註：巻尾に釣月小山内健三郎編とある

書画帖 YK720-11



安政3～慶応3(1856～1867)写 1冊 美濃 和  
 註:序は麓樵(安政5年)、跋は(上田)槐堂(安政3年)、  
 高如禪(高山文堂)、(福島)晁山、水魚庵(三谷句仏)、(清  
 藤)玉泉、(三上)仙年、(兼松)石居、虚舟(北岡太淳)、  
 (金原)南孩、(長利)仲聰、他の書画

**皆真帖** **YK720-12**

[明治2～13(1869～80)?] 1冊 22×15 折本  
 註:仙禽巢、[松山]雪章、[平井]東堂、[兼松]石居、  
 [工藤]仙乙、[平尾]魯仙、[新井]勝峰、[野沢]如洋、  
 [松山]雪随[下沢]保躬、[山上]魯山、蓑虫山人、[大  
 道寺]繁禎…等の書画

**[書画帖]** **YK720-13**

写 1冊 18×11 折本  
 註:[北岡]虚舟、[兼平]亀綾、[平尾]蘆川、[福島]  
 晁山、[長利]仲聰…等の書画

**大日本書画人名鑑** **YK720-14**

写 1冊 横小 和  
 註:附「歴代名公画譜人名記」(中国)「落款印譜」

**日本書画人名辞書続編 上** 杉原子幸編 **YK720-15-1**

東京 松山堂 大正6(1917)74頁 菊 和

**日本書画人名跡書続編 下** 杉原子幸編 **YK720-15-2**

東京 松山堂 大正6(1917)56頁 菊 和

**日本書画人名跡書続編 附卷名家書画談 完**

杉原子幸編 **YK720-15-3**  
 東京 松山堂 大正6(1917)140頁 菊 和

**本町大坂屋書画帖写し** **YK720-16**

写(ペン・鉛筆)1冊 四六 ノート  
 註:初頭に「本町大坂屋所蔵書画帳 成田夜雨様写す」

と書かれている 夜雨は本名直道(1884～1970)、弘  
 前の俳人 附「観瀧紀行」

**綴長鳥** **YK720-17**

安政5(1858)写 1冊 18×14 折  
 註:宮本棟月(久三郎、馬蘭亭ト号ス)の還曆を祝い、  
 長寿を祈っての寄せ書き 鶴舎有節の序 凌雲堂・亀  
 綾・晁山・雲崖・蘆川の絵画、茂樹・大足・由道・仲聰・  
 仲舟・春章等の和歌

**YK721 日本画**

**寒葉齋画譜之序** **YK721-1-1**

宝暦10～13(1760～1763)刊 1冊 美濃 和  
 註:中華三山林衍撰 呉興費雲嘉題職 東都井通熙子対  
 撰、他

**寒葉齋画譜 卷之一 建凌岱孟喬** **YK721-1-2**

東都 須原屋市兵衛 宝暦12(1762)刊 1冊 美濃 和  
 註:寒葉齋は建部綾足の画号(別号、建凌岱・建長江)、  
 本姓喜多村、幼名金吾久域、後に孟喬、綾足 俳号涼袋(涼  
 岱)など(1719～1774)、津軽出身の俳人・文人・画人

**寒葉齋画譜 卷之二 建凌岱孟喬** **YK721-1-3**

東都 須原屋市兵衛 宝暦12(1762)刊 1冊 美濃 和

**寒葉齋画譜 卷之三 建凌岱孟喬** **YK721-1-4**

東都 須原屋市兵衛 宝暦12(1762)刊 1冊 美濃 和

**寒葉齋画譜 卷之四 建凌岱孟喬** **YK721-1-5**

東都 須原屋市兵衛 宝暦12(1762)刊 1冊 美濃 和

**秋田の画人** **YK721-2**

写(複写)1冊 半紙 仮洋  
 註:江戸時代初期から現代藤田嗣治(1886～1968)

あたりまで 168名の小伝

**弘前静岡小絵馬** **YK721-3**

(弘前)太田一通(静岡)凧八  
 東京 宮尾しげを 昭和25(1950)写 1冊 美濃 和

**画帳 平尾魯仙** **YK721-4**

文久2(1862)写 1冊 25×33 折本  
 註:杭戸から暗門へ 杭戸は杭止とも杭人とも書き、現  
 岩木町内 時門は現西目屋村暗門の滝

**俳画帖 村上契月** **YK721-5**

写 1冊 半紙半 仮和  
 註:契月は弘前の人(村上利右衛門子孫)俳人、別号彩  
 雲居、太平会所属 他不詳 本帖は大正から昭和初期  
 にかけての作か

**浮世絵師百家美人画譜 前野春亭臨摹** **YK721-6**

大阪 滑稽新聞社 明治41(1908)半紙 和

**墨梅要論集 秘伝 故梅顛翁著** **YK721-7**

明治22(1889)写 1冊 半紙 和  
 註:三楽梅翁序は安政5年(1858)となっている 三  
 楽梅翁は油川明誓寺八代住職 大井鶴嶺の号、書画に  
 秀いで墨梅を得意とし、画道雅名を梅顛とした

**入門中心底之支** **YK721-8**

木村富太郎、熊井原四郎連書 工藤五鳳あて  
 天保9(1838)写 1校 33×48  
 註:画道入門願書

**梅顛手簡** **YK721-9**

写 1通  
 註:梅顛は、油川明誓寺八代住職 大井鶴嶺のこと 梅  
 花を得意とした。

- YK724 材料と技法**
- 漢書指南** 乾 建凌岱孟喬 (寒葉齋) 著述 **YK724-1-1**  
江戸 須原屋市兵衛 京都 菱屋孫兵衛 享和2 (1802) 板 1冊 美濃 和  
註：寒葉齋 (1719～1774) は建部綾足=喜多村金吾久域 (津軽藩家老喜多村校尉政方の次男) 俳人、文人、画人
- 漢書指南** 坤 建凌岱孟喬 (寒葉齋) 著述 **YK724-1-2**  
江戸 須原屋市兵衛 京都 菱屋孫兵衛 享和2 (1802) 板 1冊 美濃 和
- YK728 書道**
- 屑紙集** 五 (名流手蹟集) **YK728-1**  
明治34 (1901) 新聞切り抜き 1冊 24×14 仮和  
註：日本新聞連載
- 三体千字文** 巖谷修筆 **YK728-2**  
東京 榊原友吉 明治18 (1885) [130頁] 1冊 美濃 和
- 本朝名家手簡** 上巻 山内香雪 **YK728-3**  
天寧閣蔵板 1冊 美濃 和  
註：香雪 (1799～1860) は徳川末期の書家、会津の人
- 草書要領** (晋) 王羲之 (唐) 虞世南等集 **YK728-4**  
彤雲山房 天宝11 (752) 刊 1冊 美濃 和
- 書札法体** 字訓 **YK728-5**  
写 1冊 横 (半紙半) 仮和
- 書礼文法** 大内 公家 百官 **YK728-6**  
写 1冊 横中 仮和
- 書礼文法** 卷之一～六 **YK728-7**  
写 1冊 横中 和
- 三体文淵遺珠** 柴田汶嶺 **YK728-8**  
東都 須原屋茂兵衛 天明3 (1783) 刊 1冊 半紙半 和  
註：汶嶺 (1756～1801)、もと芝田氏、名は央、字は子華、別号は修芝 江戸中期の書家 沢田東江の門人
- 〔手本〕** 百川学庵書 **YK728-9**  
弘化3 (1846) 写 1冊 半紙 (広) 仮和  
註：学庵 (1739～1849) は玉川 (章) の子 津軽藩の抱え絵師 文人 通称文平、字は璞、別号は名山など11にも及んだ
- 〔手本〕** 小山内暉山書 **YK728-10**  
嘉永6 (1853) 写 1冊 半紙 (広) 仮和  
註：暉山 (1811～1894) は、通称寛蔵、名は浚淳、津軽藩士、書家 藩校稽古館副司、後師範学校書道教師
- 四字楷書** 全 高山静書 **YK728-11**  
明治9 (1876) 写 1冊 22×16 和  
註：静 (1849～1931) は、号は文堂、弘前の書家 和歌、詩文も能くす
- 寿筵帖** 山崎道冲並門人 **YK728-12**  
安永7 (1778) 刊 1冊 27×15 和  
註：安永7年11月15日藩主津軽信寧公四十の賀につき祝の能開催、70歳以上の老人に能見物を許し、金帛を与う 本帖は山崎蘭洲及びその門人遠の祝賀献詩の墨本 (法帖)
- 草字彙** 子丑 豎菴石梁編 **YK728-13-1**  
東京 武田伝右衛門 明治13 (1880) 刊 1冊 半紙 和  
註：豎菴石梁は清の人 乾隆の頃 (江戸中期後半) の書家
- 草字彙** 寅卯 豎菴石梁編 **YK728-13-2**  
東京 武田伝右衛門 明治13 (1880) 刊 1冊 半紙 和
- 草字彙** 辰巳 豎菴石梁編 **YK728-13-3**  
東京 武田伝右衛門 明治13 (1880) 刊 1冊 半紙 和
- 草字彙** 午未 豎菴石梁編 **YK728-13-4**  
東京 武田伝右衛門 明治13 (1880) 刊 1冊 半紙 和
- 草字彙** 申酉 豎菴石梁編 **YK728-13-5**  
東京 武田伝右衛門 明治13 (1880) 刊 1冊 半紙 和
- 草字彙** 戌亥 豎菴石梁編 **YK728-13-6**  
東京 武田伝右衛門 明治13 (1880) 刊 1冊 半紙 和
- 草書韻会** 卷之上 錦谿張天錫編 **YK728-14-1**  
京都 秋田屋平左衛門 慶安4 (1651) 刊 1冊 美濃 和  
弘前藩医官洪江氏旧蔵本  
註：張天錫は明の人、洪武の頃の書家か
- 草書韻会** 卷之下 錦谿張天錫編 **YK728-14-2**  
京都 秋田屋平左衛門 慶安4 (1651) 刊 1冊 美濃 和  
弘前藩医官洪江氏旧蔵本
- 東堂先生書** 安政6年 平井東堂 **YK728-15**  
安政6 (1859) 写 1冊 美濃 仮和  
註：東堂 (1813～1872) は津軽藩江戸定府の士 書家で名は俊章、字は伯民、通称修理 維新後、弘前に帰住
- 古学二千字文** 全 **YK728-16**  
写 1冊 半紙 和
- 其角書面之写** 秀山堂溪人書 **YK728-17**  
慶応4 (1868) 写 1冊 半紙 和

- 無等先生法帖** 無等道人書 **YK728-18**  
写 1冊 28×15 和
- 素文先生書法** 隨宜堂素文書 **YK728-19**  
写 1冊 18×25 和  
森素鶴（林助）旧蔵  
註：素文は津輕藩江戸定府の士で書家だった星野素閑（六蔵）の門人、田茂神素文のこと 江戸中期後半の頃か
- 裁牘十詞** 上 沢田東洋 **YK728-20-1**  
京都 勝村治右衛門〔天保11（1840）〕刊 1冊  
半紙 和  
註：東洋は名は哲、字は文明、江戸中期の書家 沢田東江の孫にして書を能くせり
- 裁牘十詞** 下 沢田東洋 **YK728-20-2**  
京都 勝村治右衛門〔天保11（1840）〕刊 1冊  
半紙 和
- 東江先生書話** 附東江先生書語 沢田東江 **YK728-21**  
安永6（1777）刊 1冊 美濃 和  
註：東江先生書話（橋圭橋編録）並東江先生書語（東江源鱗文龍著）合綴 東江（1732～1796）は江戸中期の書家 号は初め東郊 別号多し
- 東江先生書牘**〔和文章〕 沢田東江 **YK728-22**  
東都 藻雅堂舟本嘉助 天明3（1783）刊 1冊 美濃 和  
註：和文章は別名春宴帖
- 〔漢詞書帖〕 山崎蘭洲書 **YK728-23**  
写 1冊 27×14 折本
- 桃華仙如旭行草** 桃華仙如旭 **YK728-24**  
写 1冊 30×12 折本
- 註：如旭は足立嘉一、実は一町田にして足立氏の養子となり、幼より書を能くす 祖父一町田笑堂（稽古館書学士）に似たり 東京に出て一家をなす
- 上田流** 隨昔堂素学書 **YK728-25**  
文化2（1805）写 1冊 39×9 折本  
註：素学は上田流書家 佐々木末吉のこと
- 〔暉山臨本〕 〔小山内〕暉山書 **YK728-26**  
明治18（1885）写 1冊 28×9 折本  
註：暉山75歳の時の書
- 〔今川了俊愚息仲秋制詞条々〕 **YK728-27**  
野呂忠左衛門  
延享4（1747）写 1冊 38×18 折本  
註：忠左衛門（1675？～1747）は津輕藩祐筆、書家、野呂流書道の創始者、号は如水
- 〔書帖〕 庸行書 **YK728-28**  
写 1冊 39×13 折本
- 隨古堂素閑先生真蹟** 隨古堂素閑書 **YK728-29**  
写 1冊 42×11 折本  
註：素閑は星野六蔵（？～1824）のこと 津輕藩江戸定府の士 祐筆 上田流の書家で当時、江戸三筆の一人 和歌もよくした
- 行書** **YK728-30**  
写 1冊 25×19 和
- 〔書礼集〕 隨古堂〔上田〕素鏡書 **YK728-31**  
東都 須原屋四郎兵衛 寛延3（1750）木版 半紙横 和  
註：素鏡（1698～1771）は江戸中期津輕藩定府の士、書家 信州上田の人、書を能くして上田流の祖となる 津輕6代藩主信著に仕え祐筆となる
- 〔手本〕 関其寧書 **YK728-32**  
〔安永2（1773）〕写 1冊 20×27 大和綴  
註：其寧（1733～1800）は江戸中期の書家 南楼と号す 土浦侯に仕う
- 〔手本〕 隨古堂〔星野〕素閑書 **YK728-33**  
寛政6（1794）写 1冊 19×11 折本  
註：内題「琵琶行并序」
- 赤壁賦** 〔高山〕文堂書 **YK728-34**  
写 1冊 28×9 折本
- 〔手本〕 **YK728-35**  
写 1冊 35×8 折本  
註：〔上田流〕
- 〔手本〕 〔平井〕東堂（俊章）書 **YK728-36**  
慶応2（1866）写 1冊 28×9 折本
- 〔暉山臨本〕 〔小山内〕暉山書 **YK728-37**  
写 1冊 28×9 折本
- 如旭書** 〔足立〕如旭 **YK728-38**  
写 1冊 29×9 折本
- はつ秋かな文** 素滴書 **YK728-39**  
明治2（1869）写 1冊 22×9 折本
- 女消息往来** 〔高山〕文堂書 **YK728-40**  
写 1冊 19×9 折本
- 〔状の文〕 **YK728-41**  
写 1冊 19×8 折本

- [手本] 隨古堂〔上田〕素鏡書 YK728-42  
写 1冊 35×7 折本
- [瀬川采女が妻の玉章の写] YK728-43  
〔横岡〕恩山書  
明治21(1888)写 1冊 26×10 折本  
註：恩山65歳の書 恩山(1824～1818)は津軽藩の書家別号君山、竹圃老人、通称才吉、字は貞喜
- 素鑑老翁書 YK728-44  
写 1冊 36×8 折本  
註：素鑑は上田流書家星野素閑か
- [手本] 隨古堂〔上田〕素鏡書 YK728-45  
写 1冊 34×8 折本
- [手本一] 〔棟方〕蠅山書 YK728-46-1  
写 1冊 28×9 折本  
註：1、程正叙視箴 2、明陳白沙菊逸説  
蠅山(1836～?)は旧津軽藩士、通称熊太郎、後、角馬、別号月海、書画を能くす 明治37～8年頃没 70余歳
- [手本二] 〔棟方〕蠅山書 YK728-46-2  
写 1冊 28×9 折本
- [手本一] 玉転書 YK728-47-1  
写 1冊 美濃 和  
註：玉転は弘化・嘉永頃の人、弘前隣松寺住職 関思恭(別号鳳岡、草書が工みで草聖と称せられた)を学んで能書なり
- [手本二] 玉転書 YK728-47-2  
写 1冊 美濃 和
- [神代文字伝書] 鶴屋有節 YK728-48
- 安政5〔1858〕写 1冊 19×10 折本  
註：有節より藤丘並樹に授与した書
- 十三湊往来 YK728-49  
貞享元(1684)写 1冊 33×7 折本  
註：表紙裏に「筆者不相知間裏書御免」とある
- 清書秘極書 YK728-50  
寛文6(1666)写 1冊 18×9 折本
- [書帖] 隨古堂〔上田〕素鏡書 YK728-51  
嘉永3(1850)写 1冊 40×14 仮和
- 手習仕用集 上下〔梅菴〕 YK728-52  
元禄6(1693)写 1冊 半紙 和
- 寛齋書 相馬寛齋 YK728-53  
写 1冊 半紙 和  
工藤祐喜(弘前藩祐筆)旧蔵  
註：寛齋(1791～1862)は津軽藩士、書家。名は清茂、通称伊三郎 藩校稽古館書学教授。本藩の三筆の一人と称された 33歳で失明、筆を絶つ
- 米南宮少年上人帖(富巻叟模写) YK728-54  
文久2(1862)写 1冊 半紙(広) 和  
註：「三月六日米芾書」「文久二辛戌年暮春晦日富昏園主人応需書」「文久二辛戌年三月廿九日書 阿曾忠温」とある
- 近衛流消息 YK728-55  
刊 1冊 半紙 和
- 皇国千字文解 完 藤川忠猷著 YK728-56  
明治2(1869)写 1冊 半紙 和
- 消息〔工藤〕素濟書 YK728-57
- 写 1冊 美濃 仮和  
註：素濟は津軽藩右筆 工藤彦四郎のこと 星野素閑(上田流)の門人
- 新玉(習字手本) YK728-58  
明治23(1890)写 1冊 半紙 仮和  
註：(南津軽郡)杉館村 松崎小学生徒 祖馬勝麿の所有であった
- 百忍の図 佐々木玄龍識 YK728-59  
享保元(1716)写 1冊 美濃 和  
註：玄龍ハ元禄(1688～)以後ノ人カ 幕府ノ書家 享保10年(1725)頃、津軽藩ニ召シ抱エラレタ後藤仲龍ハソノ第一ノ門人
- 弘前の書道 大正9年1月稿了 黙齋学人 YK728-60  
大正9(1920)写 1冊 半紙 仮和  
註：黙齋は棟方悌二(1870～1925)の号
- 謙齋聞書 一〔鶴屋有節〕 YK728-61  
写 1冊 横長 12×23 和  
註：謙齋は有節の号の一つ 書道外の覚書もあり
- YK730 版画
- 赤穂義士 YK730-1  
版 1枚 34×95
- YK739 篆刻 印譜
- 八体印譜 石原宗平編 YK739-1  
甲府 編者 明治41(1908)刊 1冊 19×12 和
- 本朝画家落款印譜 上 狩野素川寿信編 YK739-2  
東京 大倉書店 刊 半紙 和

- 註：狩野素川寿信は潮音斎又は三龍と号す  
明治30年(1897)没、年84歳
- 印譜并序** **YK739-3**  
写 1冊 半紙 和  
註：裏表紙に「山形岳泉所蔵 本藩印譜」の記あり 岳泉は平尾魯仙の高弟
- 応諾集** **YK739-4**  
写・押印 1冊 美濃 和
- 諸県(省・府)印鑑** **YK739-5**  
明治5～7(1872～74)写・押印 1冊 美濃 仮和
- 藩印** **YK739-6**  
写 1枚 17×13  
註：「弘前藩」の朱印
- YK751 陶磁工芸**
- 三河古瓦譜 完** 金子居水編 **YK751-1**  
愛知県 三河資料刊行会 昭和10(1935)刊 1冊  
美濃 和
- 楽焼秘伝** 附吉右衛門家景訳 達冬峰 **YK751-2**  
明治6(1873)写 1冊 横中 仮和
- 日本陶器全書(鑑定備考)巻二** **YK751-3-1**  
大西林五郎編  
東京 藤井利八(松山堂)大正2(1913)刊 1冊  
半紙 和
- 日本陶器全書(鑑定備考)巻三** **YK751-3-2**  
大西林五郎編  
東京 藤井利八(松山堂)大正2(1913)刊 1冊
- 半紙 和
- 日本陶器全書(鑑定備考)巻四** **YK751-3-3**  
大西林五郎編  
東京 藤井利八(松山堂)大正2(1913)刊 1冊  
半紙 和
- YK752 漆工芸**
- 塗物秘伝書** **YK752-1**  
昭和42(1967)コピー 1冊 横(半紙) 仮和  
註：原本は弘化3年(1846)、弘前市茂森町柴田三郎が伝授された秘書 所有者は在府町柴田政雄氏 コピーは昭和42.5.15
- YK756 金工芸**
- 若殿様御着領御製作書 御武器奉行** **YK756-1**  
安政5(1858)写 1冊 半紙 和  
註：若殿様とは、後の12代藩主津軽承昭のことか
- 無盾鎧 比良野貞彦** **YK756-2**  
寛政4(1792)写 1冊 半紙 仮和  
註：比良野貞彦は江戸中期、津軽藩江戸定府の士 武術・唐画にすぐれる
- 刀剣或問 水心子正秀** **YK756-3**  
文化3(1806)写 1冊 半紙 和
- 太刀目録古案 全** **YK756-4**  
安永3(1774)写 1冊 半紙 和  
星野六蔵(尚賢)旧蔵  
註：水嶋ト也之成一伊藤甚右衛門幸氏一(略)一平田九郎兵衛貴徳ヨリ星野六蔵へ
- 諸国刀鍛冶年表 嘉永3年迄** **YK756-5**  
嘉永3(1850)写 1冊 半紙 仮和  
〔星野家旧蔵〕
- 鎧伝来奥秘巻講聴録 全** **YK756-6**  
写 1冊 半紙 仮和
- YK767 声楽**
- 〔津軽のうた〕** **YK767-1**  
昭和4～14(1929～1939)新聞切り抜き 1冊  
17×24 和  
註：盆唄、十三の砂山、昔のお手玉唄 鯉漁場の船歌、青森県行進曲 津軽民謡今昔(成田雲竹)
- YK768 邦楽**
- 山科の段 八段目(下) 忠臣講釈(ひらがな六行)**  
西宮新六 **YK768-1**  
刊 1冊 半紙 仮和  
註：内題「太平記忠臣講釈」
- 峯能松風 手琴** **YK768-2**  
写 1冊 美濃 和  
註：内題「生田流箏曲繁撫之譜」
- 獅子舞関係新聞抜書** **YK768-3**  
大正15～昭和14(1926～39)新聞切り抜き 半紙  
ホチキス  
註：大正15年・昭和11年・14年(東奥日報)  
昭和13年(?)昭和14年(弘前新聞)
- 雑劇曲弁起** **YK768-4**  
〔文化5(1808)〕写 1冊 半紙 和  
註：内題「戯頌弁起(じょうるりべんき)」

笛 田辺尚雄 YK768-5

東京 江島伊兵衛 昭和 22 (1947) 刊 1冊 菊 和  
 註：内題「笛—その芸術と科学」  
 田辺尚雄 (1883～?) は東洋音楽研究者、東京生

### YK772 演劇史

津軽に於ける演劇稿〔下沢陳平〕 YK772-1

写 1冊 半紙 和

### YK773 能 狂言

〔日記抜書 (御能・狂言)〕 YK773-1

寛永 7 (1630)～天和 2 (1682) 写 1冊 半紙 仮和

〔御能組〕 (亥ノ九月廿三日初日) YK773-2

写 1冊 横長 仮和

### YK788 相撲 競馬

万覚帳 (相撲等) 葛西佐一郎 YK788-1

享保 5 (1720) 写 1冊 横小 仮和  
 註：内容は天和元年 (1681) より宝暦 9 年 (1759) ま  
 でが書かれている

### YK789 武道

弘前藩武芸資料 YK789-1

写 1冊 半紙 仮和  
 註：旧記伝類抜書、弓道、長刀術、馬術、剣術、槍術、炮術、  
 忍術、他

御書付之写 YK789-2

写 1冊 半紙 仮和

註：甲冑・鎧・長刀・太刀等着具心得

御書付之写 YK789-3

文化 5 (1808) 写 1冊 半紙 仮和  
 註：甲冑・鎧・長刀・太刀等着具心得

兵法伝記 YK789-4

宝暦 8 (1758) 写 1帖 折本  
 註：鹿嶋神伝八代長沼四郎左衛門尉国郷より、堀五百八  
 郎へ伝授した「直心影流究理之巻」

諸事留書 YK789-5

写 1冊 横小 和  
 註：剣・弓・砲・馬鎧等武術

覚 YK789-6

写 1冊 横長 仮和  
 註：梶派一刀流兵法剣術專業稽古名簿  
 〔自天明 6 年 (1786) 至天保 10 年 (1839)〕

覚 YK789-7

写 1冊 横長 仮和  
 註：当田流剣術 戸田八十八門弟名簿

剣術心法 YK789-8

写 1冊 半紙半 和  
 註：内題「沢難和尚神妙録」

引目并鳴弦伝 全 吉川源十郎従安 YK789-9

宝暦 4 (1754) 写 1冊 半紙 仮和

馭術伝書 全 工藤祐憲 YK789-10

慶応元 (1865) 写 1冊 半紙 和  
 註：松平隠岐守様御家来十河団次より毛利讃岐守様御嫡  
 匡民公江呈書写

下馬抄 全 YK789-11

写 1冊 半紙 和

要馬秘伝 YK789-12

写 1冊 半紙 仮和

乗馬大意 全 木立守貞 YK789-13-イ

安永 4 (1775) 刊 1冊 半紙 和  
 註：木立要左衛門守貞は高麗流馬術の師範で、津軽寧親  
 (1761～1833 藩主期間 1778～1784) の家臣

乗馬大意 全 木立守貞 YK789-13-ロ

安永 4 (1775) 刊 1冊 半紙 和

須鞍流馬術 初巻 YK789-14

写 1冊 半紙 和  
 註：三上遊濟—田村青石濟—山田須右衛門—三上民部—  
 平身平四郎—桑田自栄—桑田忠左衛門—桑田五左衛門—  
 秋元金九郎—桑田清蔵—桑田忠作

秘書 全 橘安久 YK789-15

嘉永 4 (1851) 写 1冊 半紙 仮和  
 註：義経流剣術伝

清浄霊剣秘書 今八郎次寛衆 YK789-16

文政 10 (1827) 写 1冊 半紙 仮和  
 註：永山幸吉宛、今八郎次寛衆は津軽藩繩術日流の伝承  
 者でもある

止心流柔初心抄 山田藤左衛門秀治 YK789-17

元禄 2 (1689) 写 1冊 横小 和  
 註：渋谷治助宛

軍星霊剣 YK789-18

- 万延元(1860)写 1冊 横中(美濃)和  
 註:甲十斎——楽軒藤原政朝(津軽玄蕃)——(略)田中宗右衛門藤原真武ヨリ竹中武右衛門宛 天明6年(1786)
- 本覚克己流和術** 横山喜兵衛真勝 **YK789-19**  
 天保14・13(1843・1842)写 1冊 横中(美濃)和  
 註:「新影治源繩許」「繩一流之秘術」「三道具伝書(田村流)」「信南流棒」「信南流許之巻」も合綴
- 大内無辺流秘師記** 竹内健助 **YK789-20**  
 天保13(1842)写 1冊 美濃半 和  
 註:大内無辺は出羽国横手郡大内庄の人 無辺の編み出した槍術が後津軽藩に伝えられた
- 八條流教格兩巻口伝書 全** **YK789-21**  
 天明元(1781)写 1冊 横中(美濃)和  
 註:「八條流教之鞍之巻」「八條流格之鞍之巻」の兩巻従元祖八條江州九伝小笠原小兵衛盛昌一木立民部守義一(略)一木立要左衛門〔守貞〕ヨリ高松九左衛門宛 木立家は代々津軽藩馬役・馬術師範
- 止心流柔秘伝抄** **YK789-22**  
 元禄2(1689)写 1冊 横小 和  
 註:蒲生氏長、隠岐時尚、今村正貞、国安久寛、山田暉治、山田藤左衛門〔秀治〕
- 北辰堂史** 佐藤〔鉄男〕(執筆責任者) **YK789-23**  
 昭和9(1934)謄写 1冊 半紙 仮和  
 註:明治16年創設の文武両道の講習場、現弘前市長坂町 北辰堂
- 剣術之評** **YK789-24**  
 文政12(1829)写 1冊 半紙 仮和  
 註:末尾に「従山定授之 尚行」とある
- 林崎新夢想流居合指南免許状** **YK789-25**  
 享保2(1717)写 1枚 28×51  
 註:山形半十郎(茂高)から間山甚左衛門尉へ
- 一刀流門弟誓詞** **YK789-26**  
 寛政3～文政6(1791～1823)写 1通  
 註:目録免許
- 相馬伝秘** 木立孤随子 **YK789-27**  
 文化12(1815)写 1通  
 註:良馬七段之相法(初伝)
- 一刀流門弟誓詞** **YK789-28**  
 文久元～明治3(1861～1870)写 1通
- 〔一刀流〕相伝起請文** **YK789-29**  
 文政10～12(1827～1829)写 1通  
 註:菊池平司(清行)、都谷森源吾(当茂)、後藤理門(奇英)
- YK791 茶道**
- 古義数奇道承統略記** **YK791-1**  
 写 1冊 半紙 仮和  
 註:野本道玄茶道系図
- 遠州流茶事覚書** 秩父宗波 **YK791-2**  
 写 1冊 半紙 仮和
- 茶祖伝**(蓮意菴伝エル) 北川正喜 **YK791-3**  
 写 1冊 美濃 仮和
- 美留奈〔茶人系譜〕** 一草主人 **YK791-4**  
 〔天保5(1834)〕写 1冊 半紙半 和  
 註:内題「古今茶人系譜」
- 原本 天保3年(1832)半静庵鈴木政通述
- 古儀茶道の栞** 三浦元衛編 清風舎 **YK791-5**  
 明治36(1903)活 1冊 半紙 和  
 註:古儀数奇茶道業教順序目録、古義数奇茶道承統略譜、跋(外綺覚誌)
- 楽銘物之器** 北川正喜 **YK791-6**  
 写 1冊 美濃 仮和
- 名物釜之扣** 北川正喜 **YK791-7**  
 文化9(1812)写 1冊 美濃 仮和
- 遠州好之図** 北川正喜 **YK791-8**  
 写 1冊 美濃 仮和
- 千家棚物飾** 北川族 **YK791-9**  
 文化4(1807)写 1冊 美濃 仮和
- 千家釜切形写** 三拾式 北川正喜 **YK791-10**  
 文化10(1813)写 1冊 半紙 仮和
- 遠州流平唐もの取扱次第** **YK791-11**  
 写 1冊 美濃半 仮和
- 茶器参考録 天** **YK791-12-1**  
 享保19(1734)写 1冊 美濃 和  
 (秩父家旧蔵)
- 茶器参考録 地** **YK791-12-2**  
 元文4(1739)写 1冊 美濃 和  
 (秩父家旧蔵)
- 茶器参考録 人** **YK791-12-3**  
 写 1冊 美濃 和

(秩父家旧蔵)

蓮花翁口授書入 盆香合、茶杓、軸飾、壺飾、茶筌飾、名物飾、全 **YK791-13**

享和3(1803)写 1冊 美濃 仮和

註：巻末に「享和三亥初夏宗貫ヨリ写 黙雷庵」とある  
宗貫は万代屋宗貫(江戸初期の堺の茶人)のことか律集〔第一上〕大森一点齊宗震(正之) **YK791-14-1**  
文政9(1826)写 1冊 半紙 和

註：表紙裏に「明治42年秋8月 石州流茶人菅原氏ヨリ譲受」とあり、秋田市茶町菊の丁菅原新五郎の印がある

律集〔第一下〕大森一点齊宗震(正之) **YK791-14-2**  
文政9(1826)写 1冊 半紙 和律集〔第二〕大森一点齊宗震(正之) **YK791-14-3**  
文政9(1826)写 1冊 半紙 和律集〔第四〕大森一点齊宗震(正之) **YK791-14-4**  
文政9(1826)写 1冊 半紙 和律集〔第十二〕大森一点齊宗震(正之) **YK791-14-5**  
文政9(1826)写 1冊 半紙 和律集〔第十三〕大森一点齊宗震(正之) **YK791-14-6**  
文政9(1826)写 1冊 半紙 和**YK792 香道**香の書(米川流)〔北川正喜〕 **YK792-1**  
写 1冊 半紙 仮和

註：巻頭に安永4年(1775)旭速亭梅溪定橘誌「朧月友」あり

**YK793 花道**

〔六角池坊立花秘伝書〕

写 1冊 半紙倍 和

註：「真花の事」「花伝書」

**YK798 室内遊戯**

対末貝覆口伝 全

寛政2(1790)写 1冊 半紙 和

星野六蔵(尚賢)旧蔵

註：水嶋卜也之成一伊藤甚右衛門幸氏一(略)一平田九郎兵衛貴徳ヨリ星野六蔵へ

「貝合対末之口伝」「貝合之事」

対末貝覆口伝 全

寛政2(1790)写 1冊 半紙 和

星野六蔵(尚賢)旧蔵

**YK793 花道****YK793-1****YK800 語学****YK811 音韻 文字**

同文通考 二 新井白石

刊 1冊 半紙 和

蔵印「御日記方」

註：別名「書契文談」「文字考」

四巻のうち巻一・三・四は本館所蔵・W811-38にあり

仮名仕近道

宝暦4(1754)写 1冊 半紙 和

註：原本は曾我丹波守平古祐著

**YK813 辞書**

諺草 一 貝原好古(恥軒)纂輯

田中庄兵衛 元禄14(1701)刊 1冊 半紙 和

註：好古(1664~1700)は貝原益軒の叔兄樂軒の子  
江戸初期の儒者

諺草 二 貝原好古(恥軒)纂輯

田中庄兵衛 元禄14(1701)刊 1冊 半紙 和

諺草 三 貝原好古(恥軒)纂輯

田中庄兵衛 元禄14(1701)刊 1冊 半紙 和

諺草 四 貝原好古(恥軒)纂輯

田中庄兵衛 元禄14(1701)刊 1冊 半紙 和

諺草 五 貝原好古(恥軒)纂輯

田中庄兵衛 元禄14(1701)刊 1冊 半紙 和

諺草 六 貝原好古(恥軒)纂輯

田中庄兵衛 元禄14(1701)刊 1冊 半紙 和



諺草 七 貝原好古(恥軒)纂輯 YK813-1-7  
田中庄兵衛 元禄14(1701)刊 1冊 半紙 和

万語解 上中下合冊 鶴屋有節 YK813-2  
写 1冊 半紙 仮和  
註:有節(1808~1871)は幕末津軽の俳人、本姓武田、通称乙吉、音吉、紙背文書

商家日用新語(頭書註解) 嶋村利助 YK813-3  
東京 英蘭堂 明治5(1872)刊 1冊 半紙半 和

久良偈乃朋涅(くらげのほね) YK813-4  
写 1冊 懐中本 和  
註:辞書的内容

### YK816 作文

草案 YK816-1  
写 1冊 半紙 仮和

和文章 YK816-2  
写 1冊 横中 仮和

大和文章 YK816-3  
写 1冊 半紙 和  
中村雲台旧蔵  
註:元は「ちらしの千話文」

文のひな形 しん板 YK816-4  
刊 1冊 半紙半 和  
註:艶道通信

### YK818 方言 俗語

津軽方言考 松平円次郎 YK818-1  
写(ペン書)1冊 原稿紙 仮和  
註:末尾に「明治34年(1901)「帝国文学」より昭和2年(1927)9月25日吉彦抄す」とある 吉彦は姓は斎藤、弘前出身の民俗学、方言研究家(1904~1930)

藻汐草 上原熊次郎・阿部長三郎 YK818-2  
寛政4(1792)刊 1冊 横中 和  
註:別名「蝦夷方言」「蝦夷人言葉集」

弘前方言録 YK818-3  
写 1冊 半紙 仮和

俚俗方言訓解 全 氷海山人 YK818-4  
文化6(1809)写(ペン書)1冊 ノート(20×16)  
註:工藤祐司氏より借写

津軽方言辞典(材料)(雑稿) 斎藤吉彦 YK818-5  
昭和2(1927)写 1袋 原稿用紙902(+10)枚  
バラ  
註:吉彦(1904~1930)は弘前出身の民俗学・方言研究家、本稿未完成のまま没

### YK825 文法

訓訳示蒙 乾 物茂郷(荻生徂徠) YK825-1-1  
江戸 須原屋市兵衛 明和3(1766)刊 1冊 半紙 和

訓訳示蒙 坤 物茂郷(荻生徂徠) YK825-1-2  
江戸 須原屋市兵衛 明和3(1766)刊 1冊 半紙 和

### YK829 東洋諸語

梵字 全 YK829-1  
写 1冊 半紙 和

〔アイヌ語彙〕 YK829-2  
写 1冊 横小 和

### YK833 英語辞典

英和対訳袖珍辞書 YK833-1  
堀達之助編、堀越亀之助増補  
江戸 慶応2(1866)再版 1冊 998頁 横16×20 洋  
註:初版は文久2年(1862)江戸

## YK900 文学

## YK910.2 日本文学史 文学者研究

**内海翁年算略** 下書(初稿) 鶴屋有節 YK910.2-1  
 慶応2(1866)写 1冊 半紙 仮和  
 註:内海翁(1761~1837)は、弘前の商人、俳人、書家、内海草坡のこと 有節(1808~1871)は、草坡の弟子弘前の商家に生まれ、本姓武田、俳人、歌人

## YK911 詩歌

**十二重楼** (清抒情詩) 池田秋旻訳・嶺南写 YK911-1  
 明治36(1903)写 1冊 半紙 和  
 註:支那乾隆年間の作に係る一篇の時謡

**流星集 今流星** YK911-2  
 明治36~37(1903~1904)写 1冊 半紙 和  
 註:感傷詩集  
 附録 和歌、二十六字詩、俳諧  
 流星は本名は邦器、今武平(今東光・日出海の父)の兄宗蔵の子 東奥日報記者 64歳没

**詩歌雑集** YK911-3  
 写 1冊 横中 和  
 註:往古より明治15年(1882)1月あたり(明治14年、明治天皇が津軽を御巡幸)までの詩歌を集めている 特に明治初期の作品が多い 末尾近くに津軽の大道寺繁禎・長利仲聰等の和歌もみえる

**風流勸進帖** 弘前 竹屋慶助 YK911-4-イ  
 文化14(1817)刊 1冊 半紙 和  
 註:発句并狂歌摺物所竹屋慶助は三谷句仏のこと 独狐(現弘前市)十面山感応寺境内田植塚(芭蕉句)建立記念帖〔遠藤〕文石が文化4年に撰したものを、その子

文石が亡き父の遺志を継いで文化14年に上板した 文石は弘前本町商人金屋兵右衛門(1751~1817)、万草亭とも号す 序文は北斗庵〔角田〕其友(1746~1828)、跋文は松浦居士〔福井〕春湖 和歌7、詩2、狂歌3、俳諧連歌1巻、発句236

**風流勸進帖** YK911-4-ロ  
 1冊 半紙 和  
 (文化14年刊本ノ写シ)

**津軽郡内名所和歌集 完** 下沢保躬編輯 YK911-5  
 明治20(1887)写 1冊 半紙 和  
 註:下沢保躬(1838~1896)は津軽藩の生んだ国学者、史家 号は閑雲、鏡湖楼、花陰、玄風 本書の内容は津軽古歌集、神社奉納歌、千年山の歌及句等 山崎蘭洲等の漢詩もあり

**寿筵帖** YK911-6  
 大正3(1914)写 1冊 横長(菊)大和綴  
 註:津軽ノ俳人近藤宜峰(真性)70歳の年を祝って記念に送った歌、俳諧、絵などを綴った冊 序は大道寺繁禎(七十翁)繁禎の和歌、二世綾袋、葛遊家守愚等の句、黙水の漢詩、春堂の絵などがある

**丹穂のつ幾** 藤原久武 YK911-7  
 写 1冊 美濃 和  
 註:丹穂は「堆」「にほ(にお)」「稲堆」「稲叢(稲藁塚)、つ幾は「月」  
 久武は津軽藩学問所御用係、用人、歌人喜多村源八久武(1787~1851)のこと  
 表紙に「喜多村監物」の貼り紙あり(?)

**合浦友千鳥集** 津軽琢玄 YK911-8-イ  
 東京 北畠茂兵衛 明治19(1886)1冊 半紙 和  
 註:日熙上人40歳を迎えた寿を賀した詩歌集

琢玄は西津軽郡木造村(現在町)実相寺住職(旧津軽藩士)

**合浦友千鳥集** 津軽琢玄 YK911-8-ロ  
 東京 北畠茂兵衛 明治19(1886)1冊 半紙 和

**合浦友千鳥集** 津軽琢玄 YK911-8-ハ  
 東京 北畠茂兵衛 明治19(1886)1冊 半紙 和

**〔詩歌集〕** YK911-9  
 [明治23(1890)]写 1冊 半紙 仮和  
 註:「明治廿三年紀元節」「三月・五月・十月・十一月御歌会兼題」他 津軽の長利仲聰・下沢保躬・津軽承昭・大道寺繁禎・土門八郎・本行寺協日熙等の名がみえる  
 「津軽故人六歌仙(下沢保躬輯)」抄や今幹斎等の漢詩等もある

**梅雨感吟集**〔横出享貞ノ親族編〕 YK911-10  
 明治17(1884)活(17頁)1冊 菊 和  
 註:享貞の父横山武邦(五十回忌)、母豊江の法会時の掲額(弘前本行寺)の唐詩、和歌 武邦は津軽藩剣術兵学、馬術教授 天保6年(1833)33歳で死去

**金沢名勝題詠集** 附金沢文庫略考 全 YK911-11  
 佐藤忠蔵(柳辺)  
 神奈川県 著者 明治20(1887)1冊 半紙 和

**信達歌**(東奥名区) 乾 YK911-12-1  
 熊阪邦(台州)著、熊阪秀(盤谷)註  
 江戸 須原屋嘉助 天明7年(1787)刊 1冊 美濃 和  
 註:台州(1739~1803)は徳川中期の儒者、名は定邦、通称宇右衛門、陸奥伊達郡の人 盤谷はその子、徳川末期の儒者

**信達歌**(東奥名区) 坤 YK911-12-2  
 熊阪秀君実(盤谷)編著、熊阪宇右衛門(台州)撰

江戸 須原屋嘉助 天明7年(1787)刊 1冊 美濃 和

### 詩歌纂叢

YK911-13

写 1冊 半紙 仮和

註：楠正成和歌、景山(徳川斎昭)漢詩、明治31年天長節 御題詠進、紀元節詠進歌、宮中御歌会、蜀山人、祝凱旋、西郷銅像除幕式(山縣侯祝詞、勝伯和歌、宮嶋祭文等)蜀山人、太田南畝の狂歌、他高崎正風、佐藤弘毅等の和歌多数(漢詩・俳句もあり)

### 和漢年代歌 松江廬玄淳撰

YK911-14

弘前 稽古館 文化10(1813)刊 1冊 半紙 和

註：松江は鈴木玄淳の号 鈴木を廬と修す 字は子朴。徳川末期の漢学者 常陸多賀郡の人

### くさのたれ

YK911-15

写 1冊 17×13 折本

註：江湖翁の書〔佐野〕正庸、〔長利〕仲聰、〔下沢〕保躬、〔長利〕龍雄…等の和歌、九江の漢詩、如月の俳句等

### 〔和歌漢詩集〕

YK911-16

明治26(1893)写 1冊 半紙 仮和

註：編纂者不明 巻尾に下沢保躬朱人れの「元松崎小学校教員藤田保一君(松崎小三代目校長)追悼額」の和歌あり

### 正報狂歌・都々逸集

YK911-17

新聞切り抜き 1冊 半紙 和

註：弘前大正報切り抜き  
「昭和6年5月28日買入」と裏表紙にある

### YK911.1 和歌

### 一休和尚亀川新右門狂答記〔一休亀川狂歌問答〕

寛政8年正月

YK911.1-1

寛政8(1796)写 1冊 半紙 仮和

### 可楽先生詠歌 字徳敬統

YK911.1-2-イ

乳井字徳著、乳井龍雄編

東京 単美社 昭和12(1937)覆刻 1冊 美濃 和  
註：原本は宝暦11年(1761)の書 可楽先生は添田儀左衛門貞俊(1639～1701)のこと、弘前藩家老、武芸家、歌人、書家 字徳は乳井貢(1712～1792)のこと、経世家、勘定奉行 龍雄(1879～1962)は乳井貢の五代目、実業家

### 可楽先生詠歌 字徳倭統

YK911.1-2-ロ

乳井字徳著、乳井龍雄編

コピー 1冊 半紙版 和

### 愚吟集

YK911.1-3

明治26(1893)写 1冊 半紙 仮和

### 津軽古今歌人伝 下沢保躬

YK911.1-4

明治18(1885)写 1冊 半紙 仮和

註：凡五百余名

### 摘題和歌集

YK911.1-5

寛永元(1624)写 1冊 横(半紙)和

註：類題集 原本は編者・成立未詳 所載歌の下限は新統古今集(1439年成立)あたりかそれ以前かと言われている

### 狂歌五百題〔奇々羅金鶏編〕

YK911.1-6

江戸 岡田屋嘉七 文化8(1811)刊 1冊 B7 和

註：奇々羅金鶏(1767～1809)は江戸中期の医家・狂歌師

### 掌中類題草野集 地

YK911.1-7

明治21(1888)写 1冊 半紙半 和

註：文化年間の末、東都尚古堂(岡田屋嘉七)発行の原本を写したと思われる 原本は、江戸の歌人木村樞園が、長流・契沖以降の秀歌を博搜選出したもの

### 諸商売安心狂歌集 天保9年閏4月上旬

YK911.1-8

天保9(1838)写 1冊 横中 仮和

註：「和州田江村誓明寺様御歌」となっている

### 歌集 全

YK911.1-9

明治13(1880)写 1冊 半紙半 和

註：明治13年3月24日 田村安満の序あり  
大道寺繁禎・毛内瀧子・下沢保躬・長利仲聰・小山内清俊・神昌勝・土門実俊・宮田充・八木沢貞行・他、特に仲聰に次いで保躬の和歌が多い

### 家政歌集〔玉田延太郎(家政)〕

YK911.1-10

昭和8(1933)活 1冊 半紙 和

註：玉田延太郎(家政)(1874～1933)は弘前の実業家、歌人 題字は中村不析(1866～1943、画家)書 末尾に追悼歌、外崎則守(津軽ノ歌人)の跋あり

### 恰野集 序

YK911.1-11

写 1冊 半紙 仮和

註：原本(和歌類題集)は、清原雄風(国学者、豊後の人、文化7年1810没、64歳)編 序は文化3年(1806)加藤千蔭(書画家)の文

### 邦内歌人小伝 釣月小山内健三郎編

YK911.1-12

写(ペン)1冊 ノート(20×12)仮

註：釣月(1844～1925)は弘前の画家 字は清英。明治36年教職退職、弘前絵画会長、著書津軽画人伝など

### 奉賀和歌下書

YK911.1-13

文政4(1821)写 1冊 半紙 仮和

註：文政3年12月、津軽寧親公が侍従に任ぜられ、翌

4年4月帰国、翌5月の昇進御祝の際に詠んだ和歌と思われ

**花翁遺詠 内山覚弥** YK911.1-14-イ

〔昭和10(1935)〕活 1冊 半紙 和

註：覚弥(1852～1933)は旧津軽藩士、地方産業振興に尽力。弘前公園の桜の恩人 市会議員数期 和歌は長利仲聴、大道寺繁禎、次いで弥富破摩雄に師事 晩年、花翁と称した

**花翁遺詠 内山覚弥** YK911.114-ロ

〔昭和10(1935)〕活 1冊 半紙 和

**津軽郡内名所和歌集 完 下沢保躬編集** YK911.1-15

写 1冊 半紙 和

註：YK911-5と若干編集内容が違うところあり 漢詩も戴せられていない

**明治花月歌集 一～三合本 下沢保躬編集** YK911.1-16

弘前・東京 編者 明治10(1877)3冊 合綴 菊 和

註：永禄の頃より明治に至るまで貴賤親疎を言わず未だ上梓していない歌々を集めてあり、津軽の歌人の多くが紹介されている 巻第一(春夏)、巻第二(秋冬・恋)、巻第三(雑)

**辛酉自正月至七月同詠五題 顕幽無敵連** YK911.1-17

文久元(1861)写 8冊合綴 半紙 仮和

註：1～7月各月同詠五題 附「文台納追加」下沢久輔(保躬)の歌や評もあり

**津軽古今狂歌大成集 巻 第一** YK911.1-18

下沢閑雲(保躬)編集

〔明治15～20(1882～87)？〕写 1冊 半紙 仮和

**和歌浦浪 卷廿四 下沢保躬** YK911.1-19

写 1冊 半紙 仮和

註：金井ヶ浦の記、陸奥国南津軽碓ヶ関、他表紙に「白井秀雄別冊トス」とある

**陸奥柏葉吟社撰歌集 大正3年の巻** YK911.1-20

対馬以佐美 編

南津軽 柏木 編者 大正3(1914)活 1冊 四六 仮和

註：対馬以佐美(1860～1928)は柏木町村(現平賀町)の生まれ 県会議員、村長、歌人、稲迺舎松園と号す

**〔歌集〕 山野元孝・斎藤規房** YK911.1-21

写 1冊 半紙 和

註：元孝は津軽文林詩文集下巻「邦内歌人目録」にその名あり 津軽藩神道家・数学家・兵学者・勘定奉行等であった山野元命(～1723)のあとか？ 規房は通称八郎左衛門(1769～1839)、弘前藩学問所和学方御用係・高岡祭司役手伝

**津軽順承朝臣詠草 二冊ノ内一** YK911.1-22-1

津軽順承

写 1冊 22×17 和

註：順承は津軽11代藩主、号は長楽庵、俳名は梅翁

**津軽順承朝臣詠草 二冊ノ内二** YK911.1-22-2

津軽順承

写 1冊 20×17 和

**君が世の恵 下沢保躬編** YK911.1-23

東京 藤沢徳兵衛 明治10(1877)1冊 菊 和

註：保躬の祖母90歳、母60歳の寿を祝った歌集 塩谷時敏並びに長利仲聴の序あり

**津軽名所詠歌帖 大道寺繁禎編** YK911.1-24

弘前市 編者 大正5(1916)1冊 半紙 大和綴

註：大正4年(1915)陸軍特別大演習統監のため御来弘の大正天皇に献納した就将吟社(社長大道寺繁禎)社員の津軽五郡中、山野河沼神社等の勝地詠歌帖

**和歌調乃伝 藤原惟清** YK911.1-25

文政12(1829)写 1冊 20×14 和

註：巻末に「右一冊ハ安倍仲昌より致借用写之者也 藤原規冲 判」とある

**三部抄** YK911.1-26

写 1冊 横長(16×23) 仮和

註：津軽藩書家(滝本流後諏訪流)、長柄奉行格、高岡神社祭司役諏訪門兵衛行宅の写本 内容は詩歌之大概、秀歌之体大略、未来記、雨中吟

**家津登 油煙斎貞柳** YK911.1-27

大坂 誉田屋久兵衛 享保14(1729)刊 1冊 半紙 和

註：狂歌 別名「家土産」「家津と」「家つと」 貞柳(1654～1734)は本姓榎並氏、通称永田善八、江戸前中期の狂歌師 家は代々菓子商で鯛屋山城椽と称す

**〔御詠草〕** YK911.1-28

写 1冊 半紙半 和

註：裏表紙内側に「土井利位様奥様御筆御詠草永尾多免」とある 土井利位(1789～1848)は下総古河藩主、晩年老中首座

**斎藤八郎左衛門規房遺稿** YK911.1-29

享和4年正月より文化2年まで 斎藤規房

享和4～文化2(1804～1805)写 1冊 横長 和

註：規房(1769～1839)は斎藤八郎左衛門規勇(規敦)の子 津軽藩神学師範を経て学問所和学方御用係・高岡祭司役手伝 和学・歌道にもすぐれ、来遊の菅江真澄(白井秀雄)と詠歌の交歓を行っている

- 齋藤熊蔵規冲歌稿 齋藤規冲 YK911.1-30  
写 1冊 横長 和  
註：規冲は齋藤規房（1769～1839）の子 神学歌道に勝れ、津軽藩学問所和学士となっている 万延2年（1861）没
- 齋藤規文歌稿 齋藤規文 YK911.1-31  
写 1冊 横長 和  
註：規文（のりあや）は初め規重、規泰、名富太郎 齋藤規冲の子、規房の孫 津軽藩国学師範、家学に長じ歌を詠むことを能くす
- 〔花に寄する祝い〕〔応需晁山〕編書 YK911.1-32  
弘化（1847）写 1冊 16×14 折本  
註：後藤奇倫（多宮）、大和田長丸（権作）、矢部茂貞（菱屋武兵衛）、齋藤規重（富太郎）、猪股茂永（久吉）、長利仲聴（掃部）、齋藤規冲（熊蔵）等31名の和歌 晁山は福島晁山（幕末弘前の絵師）のことか
- 信義公御自詠歌写（佐野）楽長 YK911.1-33  
コピー 1冊 半紙 大和綴  
註：原文は明治45年（1912）書 信義は津軽三代藩主（1619～1655）佐野楽翁（1838～1923）は平曲伝承者、津軽藩士楠美太素の子、佐野茂助の養子、名は吉郎兵衛
- 玉串 鶴舎有節篇 YK911.1-34  
写 1冊 半紙 仮和
- 〔和歌集〕藤田貞固詠、藤田貞元書 YK911.1-35  
写 1冊 半紙 仮和  
註：貞元（1848～？）は貞固（津軽藩士、旗奉行、持槍奉行等、歌人）の長男 貞元は実業家、著述家、「津軽興業誌」等の著者
- 淳宮高松宮両殿下奉迎歌集 YK911.1-36  
大正10年8月2日 中畑勝次郎編  
弘前 編者（就将吟社）  
大正10（1921）刊 1冊 四六 大和綴  
註：淳宮は大正天皇第二王子秩父宮雍仁親王、高松宮は同第三王子宣仁親王
- 豊臣秀吉詠歌 文禄元年3月11日 YK911.1-37  
文禄元（1592）写 1枚 31×22
- YK911.3 俳諧
- 万家人名録 初編 柿耶丸長斎輯 YK911.3-1-1  
文化10（1813）刊 1冊 半紙 和  
註：俳諧、伝記 画…雪峰永井大次郎
- 万家人名録 二編 柿耶丸長斎輯 YK911.3-1-2  
文化10（1813）刊 1冊 半紙 和
- 万家人名録 三編 柿耶丸長斎輯 YK911.3-1-3  
文化10（1813）刊 1冊 半紙 和
- 万家人名録 四編 柿耶丸長斎輯 YK911.3-1-4  
文化10（1813）刊 1冊 半紙 和
- 万家人名録 五編 柿耶丸長斎輯 YK911.3-1-5  
文化10（1813）刊 1冊 半紙 和
- 津軽史料 文学 YK911.3-2  
元治元（1864）写 1冊 横小 仮和  
註：俳句
- 荻斎遺稿 YK911.3-3  
天明元（1781）刊 1冊 半紙 和  
註：瓜流遺稿選
- 梅か香乃碑 YK911.3-4  
大正4（1915）石版 1冊 半紙 和  
註：水雞庵三味の序辞（大正6年）吉村椿園の序（大正4年）あり
- 鏡池連南塘連俳句第一集 YK911.3-5-1  
写 1冊 横中 和  
註：江戸末期、竹𠩺・玉応・文露・菊夫・文蝶の句集
- 鏡池連南塘連俳句第二集 YK911.1-5-2  
写 1冊 横中 和  
註：江戸末期、婀柳・奸静・玉雄・素碍・風月・萊山・孤月・一旦・宜徳・卓夫ノ句集
- 鏡池連南塘連俳句第三集 YK911.3-5-3  
写 1冊 横中 和  
註：江戸末期、菊丸・良月・巻之・一空・紫蘭・玩水・三巴・桜醉・外数十家ノ句集
- 類題発句集 夏 蝶夢編 YK911.3-6-1  
写 1冊 半紙半 和  
註：本館に同書安永3年（1774）版春夏秋冬雑15冊（W911.3-106）あり 睡花堂蝶夢（1732～1795）は京都の俳人 帰白院11世住職 深浦の俳人竹越里桂の師
- 類題発句集 雑之部 蝶夢編 YK911.3-6-2  
写 1冊 半紙半 和
- 智恵鏡 上 YK911.3-7-1  
写 1冊 半紙半 和  
註：文窓・守愚・椽月・其静・素石・蘭山・石水・他多数ノ句（巻上中だけ、下なし）
- 知恵鏡 中 YK911.3-7-2

写 1冊 半紙半 和

**葛松居守愚句抄** 大正9年12月 篠崎桃月 **YK911.3-8**  
大正9(1920)写 1冊 半紙 和  
註：宮崎守愚は名荘七、大正14年(1925)没 野崎真清の後を受け、俳句の宗匠 桃月はその弟子

**古津くえ** 巴琉里桂共編 **YK911.3-9-イ**  
京都 橘屋治兵衛〔明和7(1770)〕刊 1冊 半紙 和  
註：深浦の俳人大高千円(定政)追悼句集 里桂の師睡花堂蝶夢(京都)の序がある 巴琉は千円の子大高杏因定司(医師)、里桂は千円の弟子竹越貞泰(深浦の廻船問屋)のこと

**布津くえ**(古津くえ) **YK911.3-9-ロ**  
巴琉里桂共編(筆者 弘前 下沢谷水)  
大正7(1918)写 1冊 半紙 仮和

**温湯芭蕉翁塚文章** 正風仏仙宗匠外詩発句集 **YK911.3-10**  
コピー 1冊 半紙大 仮和  
註：温湯は旧山形村(南津軽郡)、現黒石市

**俳諧廻連歌法式** 丈石斎宗順・垂仙郷禹足 **YK911.3-11**  
天明4(1784)写 1冊 半紙 和  
註：禹足から館山調布に授与した秘伝書 丈石斎宗順は享保時代の俳人 京都の生まれで、本名は早川知雄

**秘書執居録** 全 **YK911.3-12**  
写 1冊 半紙 仮和  
註：神道・古今三鳥秘伝・三鳥秘事・古今三鳥密伝・古今和歌集三鳥口伝・俳諧一座千句之法・他 芭蕉翁桃青伝

**会式・連衆心得・執筆法様** 丈石斎宗順 **YK911.3-13**  
〔天明4(1784)〕写 1冊 半紙 仮和  
註：亭主方心得の事・連衆心得の事・執筆法様

**あき机** 片谷呉江 **YK911.3-14**  
安永4(1775)複写 1冊 半紙 仮和  
註：片谷呉江(1749～1796)(弘前の俳人)が、師宮坂贅江・兄片谷贅喬のために編した追悼句集

**乙二発句集** **YK911.3-15**  
写 1冊 半紙 和  
註：乙二(おつに)(1755～1823)は陸前白石城下千手院住職(権大僧都)、俳人、俗称岩間清雄 松窓の別号がある

**鶴羽立紀行** 吉川五明 **YK911.3-16**  
安永4(1775)写(ペン書)1冊 原稿用紙 仮和  
註：鶴羽立(つるはだち)は現黒石市温湯の別名 吉川五明は徳川中期の俳人(秋田に生る)本書は幕末明治の俳人三森幹雄「俳哲五明集上巻」を明治31年(1898)に写したもの

**当季五題**(戌九月会) 東根通郷中 **YK911.3-17**  
写 1冊 半紙 仮和  
註：朶光・悦二・北寿・湖月・浴人・里泉・志耕等の句 東根通は津軽平野南東郡の山麓沿(黒石、尾上、平賀、大鰐等)

**冬五題**(戌十月会) **YK911.3-18**  
東根通社中 月番 鶴社  
写 1冊 半紙 仮和  
註：朶光・松風・子良・北寿・湖月・悦二・里泉・志耕等の句 東根通は津軽平野南東部の山麓沿(黒石、尾上、平賀、大鰐等)

**当季発句**(戌十二月会) **YK911.3-19**  
東根社中 月番 大根子  
写 1冊 半紙 仮和

註：朶光・悦二・北寿・子良・如菴・松風・湖月・高夫・里泉・光流等の句 東根通は津軽平野南東部の山麓沿、大根子は現田舎館村

**なも仏** 二夜庵 編 **YK911.3-20**  
寛政5(1793)写 1冊 半紙大 仮和  
註：二夜庵は弘前出身の江戸宗匠遠藤貞松のこと 江戸に正風道場を主宰し、芭蕉百回忌追善興には本書を出版した 随斎夏目成美の序がある

**此春帖** 明和5年〔津軽文卿撰〕 **YK911.3-21**  
明和5(1768)写 1冊 半紙 仮和  
註：本書は高山文堂所蔵の「此君亭聯歌集」の写し 此君亭は津軽文卿(三代藩主信義の弟百助信隆の四代目百助朝喬、1732～1776)のこと 書院大番頭兼寺社奉行、俳人 文卿・友山・風石・蘭薫・風石・文黛・薯子・崎雀・麦川・子閨・如人・文笙・里桂・贅江・他

**古今集** 明治34年 **YK911.3-22**  
明治34(1901)写 1冊 半紙 和  
註：抜萃発句(全国各地)当調発句抜書巻之一

**夢想之連歌** **YK911.3-23**  
寛文9(1669)写 1冊 半紙 仮和  
註：信政、為経、惣代、信寛、為元、三甫、初白、求己、吉映、朝忠、重家、泰定、重季、相経、他

**〔俳諧六々之巻〕** 一志庵一峯 **YK911.3-24**  
寛政4(1792)刊 1冊 半紙 和  
註：芭蕉翁百周忌法菴の吟の句集

**合浦舍利母石**〔三谷句仏撰〕 **YK911.3-25**  
慶応元(1865)刊 1冊 半紙 和  
註：句仏(1794～1867)は津軽藩、研師・俳人 本書のはし書は弘前の国学者・歌人長利仲聴誌 巻尾欠落

**岩木山句集 全** YK911.3-26

慶応2 (1866) 刊 1冊 半紙 和  
 註：弘前の医学者・歌人長利仲聴の題字、幕末津軽の俳人鶴舎有節の序がある 良水・山月・孤川・柳川・宝井・朶光・五明・草坡・句仏等の句多数

**子規** YK911.3-27

〔弘前〕艸々庵社 明治25 (1892) 刊 1冊 半紙 和  
 註：弘前天満宮境内の芭蕉翁二百年祭建碑記会出版句集 評者は艸々庵山月 (千葉胤任)、閑窓庵 (野崎真清)

**雪の曙** YK911.3-28

〔千葉艸々庵山月 野崎真清共編〕  
 〔弘前〕村山染年 明治34 (1901) 刊 1冊 半紙 和  
 註：艸々庵 (周助・胤任) は俳人、元津軽藩士、三谷句仏の高弟 真清は弘前の商人、三谷句仏の弟子 艸々庵の没後、あとをうけて本書を完結 弘前の国学者・歌人長利仲聴の序、弘前藩元家老、学校惣司、初代弘前図書館長大道寺繁禎の跋あり 俳句の筆者は鶴舎有長、彫刻者は樋口辰平

**三節会 (戊十二月 有摺物)** YK911.3-29

写 1冊 半紙 仮和  
 註：北寿、湖月、鶴子、悦二、柳枝、子良、流雲、朶光、英里、如道の句

**月並会 (亥六月七題)** YK911.3-30

東根通社中 月番 鶴社  
 写 1冊 半紙 仮和  
 註：東根通は津軽平野南東部の山麓沿 (黒石、尾上、平賀、大鰐等) 悦二・朶光・北寿・湖月・松風の句

**雑吟様** YK911.3-31

写 1冊 半紙 和  
 註：黒石神明宮額上・同愛宕宮・同天神宮・大円寺・天満宮・黒森山永代額・猿賀山永代額・黒石稲荷宮・馬場尻稲荷宮  
 点者は担斎 (1767～1848、三谷句仏ノ父)・短長子・大椿堂・桂風・一風等

**月次発句合 四** YK911.3-32

〔天保12 (1841)〕刊 1冊 半紙 和  
 註：埜月庵来評「連月句合」催司 玉杯 来村 花月 蓼莪

**月次発句合 七** YK911.3-33

〔嘉永2 (1849)〕刊 1冊 半紙 和  
 註：六草庵撰月次句合 催司 菊籬 兎雪 瓢二

**黄華庵句集 上** YK911.3-34-上

微雨舎夜来・一窓菴二有編  
 大坂 塩屋忠兵衛〔文化7 (1810)〕刊 1冊 半紙 和  
 註：春之部・夏之部

**黄草菴句集 下** YK911.3-34-下

微雨舎夜来・一窓菴二有編  
 大坂 塩屋忠兵衛〔文化7 (1810)〕刊 1冊 半紙 和  
 註：秋之部・冬之部

**木の実艸々庵句集**〔千葉艸々庵〕 YK911.3-35

大正6 (1917) 写 1冊 半紙 和  
 註：内題「艸々庵句選鴨脚樹 (オウキヤクジュ、いちようの樹)」一月より十二月まで 艸々庵は元弘前藩士・俳人、(1832～1900) 三谷句仏の高弟

**当季発句** YK911.3-36

写 1冊 半紙 仮和  
 註：子山、松月、峰月、朶光等の句

**俳仙集 小山内鈞月** YK911.3-37

明治43 (1910) 写 1冊 美濃 和  
 註：別名「俳諧十大歌僊」「三十六歌僊」「俳諧三十六歌仙」(俳諧・絵画) 原本は蕪村画・編 (寛政11年刊) 鈞月 (1844～1925) は弘前の画家 (弘前絵画会長)

**雅号由来記 蘆花附録** YK911.3-38

蘆花吟社 写 1冊 半紙 仮和  
 註：大正維新記念

**高判帳**〔鶴舎有節篇〕 YK911.3-39

明治2・3 (1869・1870) 写 1冊 半紙 和  
 (千載葦蔵) 藤田「鶴屋蔵書」  
 註：千載葦 (庵) は津軽の俳人鶴舎有節 (1808～1871) の号

**発句集 (乙二撰)** YK911.3-40

写 1冊 半紙 仮和  
 註：緑々庵寸松追善句 附：熊野宮額上発句会 (高砂点) 乙二は姓は亘理 (1758～1823)、江戸中期の俳人、陸前白石城下千住院住職、別号松窓

**千草集 明治15年旧正月より** YK911.3-41

明治15 (1882) 写 1冊 半紙 仮和

**禅味俳壇第参回互選集 大正8年11月** YK911.3-42

大正8 (1919) 写 1冊 半紙 仮和  
 註：句数140、出句者 (14人) 熊谷孤舟・本間醒月・沢田無縫・三浦漣仙・横山醉紅・櫛引秋雨・鈴木万松・本堂聴雨・三浦園休・花田月松・桐原鷺月・鳴海良光・糸岡・露香・今泉鉄扇 (弘前西茂森禅林)

**諸句競集 春** YK911.3-43

刊 1冊 半紙 和

- 註：内題「春乱題句競」(六草庵判)
- 当季発句** 立秋文久2年独興 **YK911.3-44**  
文久2(1862)写 1冊 半紙 和
- 春季発句集** 慶応元年3月独興 **YK911.3-45**  
慶応元(1865)写 1冊 半紙 和  
註：慶応2年独興「四季岩木山句集并歳旦」もあり
- 歌仙乃心得** (三界庵如来宗匠伝授) **YK911.3-46**  
写 1冊 半紙半 仮和  
註：如来は黒石の人 数年京都に在して二条殿下の俳道御相伴衆 弘化3年(1846)死去
- 王かゝ見** (我鏡) 月江亭素吟 **YK911.3-47**  
嘉永6(1853)写 1冊 19×16 和  
註：内題「懐中秋鏡集艸」聞学、奥の細道、俳祖蕉翁の縁記、芭蕉翁口授古式、発句体十六篇之事
- 申年月並** **YK911.3-48**  
写 1冊 横小 仮和
- 俳諧名家全書** 松窓菴乙二 **YK911.3-49**  
写 1冊 美濃半 仮和  
註：乙二は姓は亙理(ワタリ)(1758～1823)江戸中期の俳人 陸前白石城下千手院住職 紙背文書
- 発句集** **YK911.3-50**  
〔天保12(1841)〕写 1冊 半紙 仮和  
註：内海草坡点、三栄堂点、三栄堂評、三谷句仏評あり
- 蕉風俳諧万春楽** 三楽園編 **YK911.3-51**  
慶応元(1865)写 1冊 半紙 仮和  
註：三楽園は山本梅暁(通称源四郎)、黒石の人 明治14年没 附「御年始御規式取扱控」(天保11年・安政4年)、本書は大正5年(1916)の写本
- 古尽** (古づくし) **YK911.3-52**  
文化8(1811)写 1冊 半紙 和  
註：鼻和の庄折笠(現弘前)の古碑など 吟岱・鶴孝・里川・暁台・白雄・一有・呉江・巴一・胡山・草坡・五友・乙彦等の句がみえる
- 時雨会句集** **YK911.3-53**  
明治35(1902)写 1冊 横(半紙) 仮和  
註：岩内(北海道)文友会の時雨会
- 五十韻** 此君亭 **YK911.3-54**  
写 1冊 21×15 仮和
- 俳諧算木立** 全 柳々庵青鶴 **YK911.3-55**  
明治6(1873)写 1冊 B7 和
- 冬季発句附合集** 嘉永元年 **YK911.3-56**  
嘉永元(1848)写 1冊 横中 仮和  
註：魚交、巴江、成空、雲帯、朗光、艶月、春色、乙丸、赤格、全、一瓢、他の句
- 洛陽東山双林寺前芭蕉堂闌更二見せ候発句集** 寛政元年中秋より 盤谷主風吾舟 **YK911.3-57**  
寛政元(1789)写 1冊 半紙半 仮和  
註：闌更(1726～1798)は高桑氏 加賀金沢に生まれ、俳諧を希因に学んで半化坊と号し、中年京都に移り住んで医を業とする傍ら俳諧に遊び、東山の双林寺の中に南無庵を修し許六の刻んだ芭蕉像を安置して芭蕉堂と号した
- 新玉摺集・此華集** (合巻) 文政2年 **YK911.3-58**  
文二(写生)  
文政2(1819)写 1冊 横中 和
- 註：新玉摺集は寛政12年刊 有名十俳人士朗・長斉・乙二・大江丸・道彦等の句がある 此華集(この花集)は長月庵輯、大江丸・乙二・不二庵・長斉、その他若翁・魚隠・百堂等の句がある
- 弘前名家百韻集** 〔玄々編〕 **YK911.3-59**  
木活 1冊 半紙半(小) 仮和  
註：発行者、発行年不明 裏表紙内側に「祝詞玄々舎」とある 玄々舎は弘前明教寺、玄々はここの住職(十世知教、明治11年往生56歳)、駒水社の一員で俳人 百人は俳諧の素人が多く俳名がない、苗字または屋号の一字と名の一字を組合せた署名(武熊・武又・片惣・玉英・竹方・近広・野常・野儀・大九・大金・今万・増惣…)
- 本日草** 天明4年孟夏吉日 **YK911.3-60**  
大坂弘前藩定府 小見山氏 蟻国記  
天明4(1784)写 1冊 半紙半 仮和  
註：大阪弘前藩定府御馬廻格勘定小頭小見山直右衛門が天明4年初夏公務で越前敦賀に往来した時の俳句旅日記の写し 蟻国は小見山直右衛門の俳号
- 一翁四哲膾炙員外** 完 水魚庵句仏 **YK911.3-61**  
文久3(1863)写 1冊 16×14 和  
註：水魚庵は三谷句仏(1794～1867)の号の一つ 津軽藩の研師・俳人 本書の内題は「一翁四哲之内一節有之句四季些注」一翁は芭蕉、四哲は門人の其角・嵐雪・去来・丈草をいう
- 一翁四哲膾炙員外** (水魚庵句仏翁註) 後篇(前篇欠) **YK911.3-62**  
写 1冊 半紙半 仮和  
註：守愚の書き入れた朱書あり 守愚は宮崎莊七、津軽の俳人宮崎寸松・露牛のあと 総帥野崎真清のあとを受け俳句の宗匠 大正14年(1925)没
- 雪之花** 文政9年5月吉日 **YK911.3-63**



- 文政9(1826)写 1冊 半紙半(小) 仮和  
旧蔵：千歳庵宗匠玉斧(鶴舎有節)  
註：選者は宮崎露牛・北斗庵(角田其友)、三谷担斎等  
点者は三谷担斎、万三吾(内海草坡)等「板柳会」「四  
季類題発句集抜書」などもあり
- 俳諧附合小鏡・俳諧発句小鏡 合巻** YK911.3-64  
天保15(1844)? 写 1冊 半紙半 和  
註：表紙が「当世風流地口須天宝」になっている、俳諧  
附合小鏡は雪中庵蓼太編、門人牛家著、原文は安永4  
(1775)刊 俳諧発句小鏡ハ雪中庵蓼太辻、雪太郎三口  
編、天明7年(1787)序
- 俳句集** YK911.3-65  
文政年間前半(1818～1823)か 写 1冊 横中 仮和  
註：黒石秋葉堂・弘前稲荷宮・熊野宮・天満宮・久渡寺額・  
燈籠(担斎点)、弘前護穀神額燈籠(桂花亭点)、弘前  
弁天堂(万三吾点)、他
- 群鳥句集 第一輯** 群鳥社(三浦石雨)編 YK911.3-66  
弘前 編者 昭和9年(1934)1冊 四六 仮和  
註：雑誌「群鳥」の句集 自由律俳句の荻原井泉水の序  
文、音羽派の統帥柳田流矢の跋や句がある 渋茶会の  
竹内竹童等の句がみえる
- 発句抜書** YK911.3-67  
写 1冊 横中 仮和  
註：芭蕉・其角・嵐雪・去来・嵐蘭・支考・許六・白雄・  
暁台・蕪村・道彦・土朗・蓼太・乙二・一茶・成美等  
の句 紙背文書
- 俳諧小袋 東江舎葛遊(守愚)** YK911.3-68  
明治17(1884)写 1冊 半紙半 仮和  
註：「明治十六年旧五月時鳥会・他」「明治十七年旧五月  
時鳥相撲会」明治17年、東江舎葛遊は奇出舎寸海と改

- 名、別号守愚 守愚は宮崎壮七、野崎真清の後を受け  
俳句の宗匠 大正14年(1925)没
- こしきすみ** YK911.3-69  
〔明和6(1769)〕写 1冊 半紙半 和  
註：「こしきすみ」は「五色墨」か 俳諧十二歌仙が内  
容 雪中老人(蓼太)の句などがある
- 都の錦**〔宮崎守愚〕 YK911.3-70  
写 1冊 半紙半 和  
註：明治26年(1893)から明治32年(1899)までの  
翁講・他の句〔福井〕句彦・〔宮崎〕守愚・〔村山〕染年・  
〔成田〕一星・石水・江山・文窓・菊雄・其静等の名が  
みえる
- 鳩乃智恵 上** YK911.3-71  
写 1冊 美濃半 和  
註：明治15年・16年(1882～3)四季句(月並高判)〔篠崎〕  
桃月(山水舎)、文窓・嵐石・江山・遊月等の句、表紙  
裏に明治42年(1909)桃月作の句の書き込みあり
- 守愚句抄 夏之部** 大正10年 YK911.3-72  
〔宮崎守愚〕  
大正10(1921)写 1冊 半紙半 和
- 葛乃葉**〔岩崎守愚〕 YK911.3-73  
写 1冊 半紙半 和  
註：大正5～6(1916～7)年に詠んだ俳句 裏表紙に「大  
正九年五月 宮崎大先生より仙台へ移りし時に貰ひし物  
なる事 山水舎 桃月」とある 桃月は篠崎桃月のこと
- 十七句法廿五ヶ条抄書附合諸体発句切字** YK911.3-74  
葛遊(奇山舎〔宮崎〕守愚)  
写 1冊 半紙半 和

- 鶏阿波勢**〔宮崎守愚〕 YK911.3-75  
写 1冊 横中 和  
註：明治30～31(1897～98)翁講、常盤軒・万代社・  
万松社月次、他 閑窓庵(野崎真清)・艸々庵(千葉胤任)  
選、温故堂静山評等
- 俳諧 乾乃巻**〔宮崎守愚〕 YK911.3-76  
写 1冊 横中 和  
註：明治32(1899)年翁講、春季・秋季角力会、雪・角  
力会(温故堂静山評)〔福井〕句彦、〔村山〕染年、〔成田  
長庚舎〕一星、〔宮崎〕守愚、〔篠崎山水舎〕桃月、〔野崎  
閑窓庵〕真清、蘿生、其静、乙松、遊月、観山、茂松等
- 水魚庵句集 椽の実** YK911.3-77-イ  
葛松居守愚(宮崎守愚)輯  
大正2(1913)謄写版印 1冊 半紙半 和  
註：水魚庵は三谷句仏(1794～1867)の別号 葛  
松居は宮崎守愚の高祖父宮崎露牛の別号でもあった  
本書は句仏の名を不朽に伝えんと句仏誕生を去ること  
120年に発行した
- 水魚庵句集 椽の実** YK911.3-77-ロ  
葛松居守愚(宮崎守愚)輯  
大正2(1913)謄写版印 1冊 半紙半 和
- 歌僊式 全**〔鶴舎有節〕 YK911.3-78  
写 1冊 半紙 和  
註：僊は仙 俳諧における歌仙のやり方、きまりなどに  
ついて
- 俳人石** 天保4年嘉永6年 下沢陳平編 YK911.3-79-1  
写 1冊 半紙 仮和  
註：天保4年(1833)より嘉永6年(1853)までの津  
軽の俳人人名録、動向、略伝 三谷垣斎翁小伝、百川  
学庵小伝もあり 紙背文書

**俳人石 続編 自安政元年至万延元年 YK911.3-79-2**

下沢陳平編

写 1冊 半紙 仮和

註：安政元年（1854）より万延元年（1860）までの津軽の俳人人名録、動向、略伝、紙背文書

**枯菊のまき 文久元年 如風・一色 YK911.3-80**

文久元（1861）写 1冊 半紙 仮和

**津軽俳諧小史（田の人寄書） YK911.3-81**

大正4（1915）新聞切り抜き 1冊 半紙 和

註：大正4年7・8月弘前新聞連載「津軽俳諧小史（俳味会に現れたる）」「俳味会陳列品目録」

俳味会は俳諧に関する図書及び俳諧師の筆蹟をも合わせて陳列して一般の縦覧に供する団体 田の人（円洒人）については不明

**養老会月並 明治44季12月 YK911.3-82**

明治44（1911）写 1冊 半紙 仮和

註：承露庵寿山撰〔近藤〕宣峰、〔鶴舎〕有長、嵐月、千杉、路水の句

**落葉搔 YK911.3-83**

写 1冊 半紙 仮和

註：内題「俳諧（俳諧）伝書」

古今集三鳥秘伝、季吟家芭蕉家二十五ヶ条六々庵巴静伝 正風芭蕉体奥義伝秘蘊集等

**青森県俳句史（東奥日報連載） YK911.3-84**

昭和33（1958）新聞切り抜き 1冊 半紙 仮和

註：明治26年（1893）佐藤紅緑 上京の頃から、昭和20年（1945）終戦のあたりまで

**津軽俳諧年表 第一未定稿文政元年迄 YK911.3-85**

下沢陳平編

写 1冊 半紙 和

註：陳平（1881～1923）は下沢保躬の二男 弘前の文筆家、郷土研究家 遊雲・継志斎と号す 本館所蔵「K911.3 ツガ」は本書の写と思われる

**〔句集〕 YK911.3-86**

写 1冊 横小 仮和

註：巻頭「千種正二位大納言源有政卿」とある 巻末と共に不明瞭 峨眉・如松・呉竹・万里・道彦・春湖・梧桐・一水・蓼太・大江丸・一瓢等、多くの俳人の句がある

**〔句集 九三子先生点評〕 YK911.3-87**

写 1冊 半紙半 仮和

註：九三子は落合専右衛門（正徳～天明三 1783年）青森の人 酒造業、船問屋、屋号伊勢屋、姓は辻ともいい、名は親義 町年寄 天明3年の大飢饉の時、傘連判の請願者の起草者とみなされ、同年12月卒死 前句付けの点者（送者）をしたほどの俳諧の宗匠でもあった

**〔句集〕 YK911.3-88**

写 1冊 横長 仮和

註：集中「文政八乙酉二月 東岱舎 万三吾両評」（1825）とある 東岱舎は浦圭、津軽藩医三上耕庵（～1829）、万三吾は内海草坡（1761～1837）のこと

**葉る之湯貴 はるさむ うめ YK911.3-89**

太平会（閑村山人）

昭和7（1932）写 1冊 半紙 仮和

註：題「春の雪」「春寒」「梅」太平会の〔村上〕契月（後藤）東華・〔野呂〕新緑・〔長谷川〕草人木などの名が鉛筆書きでメモされている 桂閑村（1869～1945）は弘前の人 俳人 明治32年、佐藤紅緑等と太平会を組織し、後に東奥俳壇選者となった 本名修五郎

**〔句集〕 YK911.3-90**

写 1冊 半紙 仮和

註：題「菊」「秋雨」「後の月」「行秋」「時雨」「初雪」「雪」「冬籠」「霰」「寒」「水僊（仙）」「小春」「雪吹（吹雪）」

**蘆弾翁年回集 拔萃〔谷水 下沢陳平〕 YK911.3-91**

写 1冊 半紙 仮和

註：表紙内側に「最初ニ草坡翁ノ年譜及草坡翁詠言アリコノニツハ他書ニアルヲ以て写サズ、以下本文ヲ拔萃セリ」とある 本文（原文）は草坡門人〔三谷〕句仏・〔鶴谷〕有節編

**〔謙齋聞書（壬寅）〕 謙齋（鶴屋有節）編 YK911.3-92**

天保13（1842）写 1冊 半紙 和

註：謙齋編の句集 壬寅は天保13年 有節（1808～1871）は幕末津軽の俳人 千載庵とも号す この時34歳（表紙裏には時年三十二とある）

**拙句襍（集） YK911.3-93**

東風庵簡山

明治16（1883）写 1冊 半紙 和

**〔句集〕 YK911.3-94**

写 1冊 横（菊） 仮和

註：真清・蘿丸・巴水の3名の俳句、真清は野崎九兵衛（1827？～1904）またの俳名巻代・万喜代、号は五支堂・閑窓庵

**俳諧百一集 越中康工選 YK911.3-95**

〔明和2（1765）〕写 1冊 美濃 和

註：「宝曆十四年甲申（1764）夏五月八椿舎自序」となっている 康工（よしやす）は越中戸出の人 尾崎氏ハ椿舎、六壁庵と号した 本書の内容は芭蕉以下著名俳人100人の像を描き、それに各代表作一句ずつを題したもの

- [春興摺] YK911.3-96  
刊 5枚入1袋  
註:1、元文6年(1741) 20×56 2、安政4年(1857) 21×28 3、文久2年(1862) 18×25 4、明治29年(1896) 21×57 年号不明 18×51
- [胡沙晴]〔音好篇〕 YK911.3-97  
嘉永5(1852)刊 1冊 四六 和  
註:嘉永子春 逸瀕序あり
- 義峯院殿山月孤園居士十三回忌追善 YK911.3-98  
写 1綴 短冊 25×4  
註:山月とあるから千葉艸々庵(1832～1900)の  
ことか 1枚目に艸々庵翁の句がある
- [句集] YK911.3-99  
刊 1冊 半紙 和  
註:明和か安永の頃と思われる日本各地の「春興」「歌仙」「歳旦」「歳暮」等の俳句が集められている「津軽弘前之部」として(津軽)文卿、その女、(片谷)呉江、(今泉)文笙、(福井)翠石、他多くの「弘前連中」の句が載っている
- 行々子 葛松居(宮崎守愚) YK911.3-100  
写 1冊 横中 和  
註:「ぎょうぎょうし」(ヨシキリの異名)  
守愚は宮崎荘七、俳句の宗匠、弘前から仙台へ移住、大正14年(1925)没 葛松居は守愚の先祖宮崎露牛(1774～1822)の別号でもあった
- 春季則吟 三題 与玉斧 睦月 蓬萊社中 YK911.3-101  
文久4(1864)写 1冊 半紙(小) 仮和  
註:七甲翁(三谷句仏)古稀(70歳)の祝いの句集か  
三題「猫の恋」「霞」「花」  
玉斧は鶴屋有節(1808～1871)のこと、別号千歳  
幕末津軽の俳人、句仏の後継者 裏表紙に「文久四甲  
子年正月 蓬萊居松志」とある
- 蓼太句集 上下 蓼太 YK911.3-102  
江戸 西村源六・戸倉屋喜兵衛 明和6(1769)刊 1冊  
半紙 和  
註:南畝・吐月序
- 当季発句 嘉永3年 東根通り社中 YK911.3-103  
嘉永3(1850)写 1冊 半紙 和  
註:題「初嵐」「踊」「萩の花」「女郎花」「鶉」  
里泉・虎風・如筵・悦二・朶光・柳枝・湖月等の句
- 発句合外浜名所雙六 YK911.3-104  
刊 1枚 120×79
- [鶴含有節句帳] 鶴含有節 YK911.3-105  
写 1冊 19×18 折本  
註:初めに工藤仙乙(1839～1895)の能画あり  
鶴含有節(1808～1871)は幕末津軽の俳人、千載庵  
と号す 本姓武田、通称乙吉(音吉)、舎は屋とも谷と  
も書くことあり
- 当季発句 YK911.3-106  
万延元(1860)写 1冊 半紙 仮和  
註:山月、子良、二柳、左右、朶光、慈柳  
山月は千葉艸々庵のことか
- 俳諧之連歌(春夏秋)蝶非 其水 文波 YK911.3-107  
写 1冊 横(美濃半) 仮和
- 艸稿 YK911.3-108  
写 1冊 半紙 仮和  
註:作者不詳  
(下沢)五友考あり 五友は江戸中期津軽の俳人 桂花  
亭の別号あり 表祐筆、御日記役
- 発句襍 YK911.3-109  
写 1冊 半紙 仮和  
註:大友千賀之助・草々庵(千葉山月)・東風庵・紫孤庵(野  
崎真清)・星霜庵北正宗・古松庵月霜(八戸):芋魚庵遊月・  
不識庵等の評 古今発句集
- 不断桜 YK911.3-110  
〔明治25～31(1892～1898)〕写 1冊 半紙半  
仮和  
註:江山、(村山)染年、(福井)句彦、(宮崎)守愚、(成  
田)一星、観山、三千雄、椽月、青鷺、桃月、文窓、遊月、  
一水、…等の句、柿の舎江山還暦賀会、賀章
- かれ野の日(独吟歌仙) 葛松居 YK911.3-111  
写 1冊 半紙 仮和  
註:葛松居は津軽の俳句の宗匠守愚(宮崎荘七)の別号  
葛松居宮崎露牛(1774～1822)のあと 仙台に移住、  
大正14年(1925)没
- 三千雄追善 月相撲 合会 天 明治30年9月  
句仏宗匠撰 YK911.3-112  
明治30(1897)写 1冊 半紙 和  
註:この句仏は、三谷句仏の高弟千葉艸々庵山月(1832  
～1900)の別号(特に名乗ることを師に許された)
- 養老会句集 壹 YK911.3-113-1  
明治15・大正元～6(1882・1912～17)写 1冊(13  
冊合本)半紙 和  
註:養老会月並撰句、奈良茶会、句南社発句会等、殆ん  
ど葛乃家玉斧(葛松居守愚)考 宜峰・寿山・藤山・一丸・  
南松・千杉・観山・和泉…等の句
- 養老会句集 貳 YK911.3-113-2  
大正7・8・11・12(1918・19・22・23)写 1冊(8

冊合本) 半紙 和

註: 翁会発句合(初鳥・帰雁・堇・春風・野山焼・菊植  
…) 葛松居守愚考 宜峰・観山・蕉月・乙松・椽月・竹  
水・水月・月舟・窓月・峰月・一丸・千杉…等の句

**養老会句集 参** **YK911.3-113-3**

明治40～大正6(1907～1917)写 1冊(17冊合冊)  
半紙 和

註: 南松考 奈良茶会等 楽水・如遊・竹水・宜峰・千  
杉・寿山・一丸・嵐月・華月・緑水・観山・羽山・和泉・  
月丸・月人・乙松・柴葉・嘯月・末流…等の句

**養老会句集 四** **YK911.3-113-4**

[明治44～大正6(1911～1917?)]写 1冊(17  
冊合本) 半紙 和

註: 南松・千杉・緑水・一丸・嵐月・華月・寿月・宜峰・  
成月・藤山・不識・五井・有長・江山・不澄・文靜・湖雲・  
窓旭・観山・松居・和泉・乙松・柴葉・月人・竹水・嘯月・  
五峯・末流…等の句

**養老会句集 五** **YK911.3-113-5**

明治40～44(1907～1911)写 1冊(8冊合本)横  
(美濃半) 和

註: 窓旭撰、梅丹・文靜・江山・宜峰・五井・湖雲・緑  
水・嵐月・一丸・遊之・霞松・如遊・有長・千杉・寿山・  
藤山・南松…等の句

**養老会句集 六** **YK911.3-113-6**

写 1冊(10冊合本)横(美濃半) 和

註: 主として柿の家江山撰が多い(時雨・弥生・五月・若葉・  
風待・菊合・霖雨・秋等) 他は窓旭・一丸撰 嵐月・一丸・  
窓旭・南松・有長・宜峰・緑水・五井・文靜・江山・文窓・  
遊文・如遊・湖雲…等の句

**養老会句集 七** **YK911.3-113-7**

明治41・大正6・昭和元(1908・1917・1926)写  
1冊(10冊合本)横(美濃半) 和

註: 五井・洗竹堂・遊之・南松等の撰  
嵐月・有長・緑水・文靜・一丸・宜峰・湖雲・霞松・如  
遊・乙松・和泉・可然・羽山・千杉・五峰・遊之・南松・  
窓旭・霜降・文窓・江山・蘭堂…等の句

**養老会句集 八** **YK911.3-113-8**

大正4・大正6(1915・1917)写 1冊(5冊合本)  
横中 和

註: 一丸・下手丸撰 月丸・寿山・嵐月・成月・華月・  
千杉・宜峰・羽山・藤山・和泉・竹水・七六・月人・子杉・  
緑木・観山…等の句

**養老会句集 九** **YK911.3-113-9**

明治44・大正4(1911・1915)写 1冊(4冊合本)  
横中 仮和

註: 孝暁・一丸撰 南松・一丸・有長・寿山・千杉・緑  
水・宜峰・歛山・翫山・藤山・涼岱・嵐月・五塔下・羽山・  
月丸・月人…等の句

**養老会句集 拾** **YK911.3-113-10**

明治42～44(1909～1911)写 1冊(4冊合本)  
24×22 和

註: 千載庵鶴舎有長考 嵐月・遊之・一丸・緑水・宜峰・  
南松・江山・窓旭・文靜・霞松・湖雲・不識・寿山…  
等の句

鶴舎有長(1850～1912)は本名敬次郎、弘前浜の町  
の人俳句・歌もやり、書は草坡流3代目格

**養老会句集 拾壹** **YK911.3-113-11 (1)～(4)**

写 1袋(折本1、大和綴1、仮和1、1枚物1)

註: 秋日和(枳々斎千杉選)、運座拔萃「思無邪」(勝荘  
庵錦風)、他2点

月丸・和泉・一丸・華月・竹水・寿山・宜峰・観山・千

杉・稚堂・二喬・銀升・米翠・玄石・文杏・素文・晋風・  
遠思・泰枝・錦風・月人・乙松…等の句

**群居帖 全 鶴舎有節** **YK911.3-114**

写 1冊 15×7 折本

**庚申紀行 全 博雲斎鷺雪** **YK911.3-115**

[寛政12(1800)]写 1冊 半紙半 和

註: 鷺雪は大阪の豪商、津軽家御用達、本姓喜多川 茨  
木屋和助のこと 生没不詳 寛政12年、俳人半輪を伴  
い、藩の勘定小頭佐藤運右衛門(俳号画梁)の案内で  
大阪から津軽に下り、数ヶ月滞在、この地の俳人と交  
遊した その時の俳句紀行が本書である 竹巢月居の  
序がある

**合浦舍利母石 水魚庵〔三谷句仏〕撰** **YK911.3-116**

慶応元(1865)刊 1冊 半紙 和

註: はし書は長利仲聴、あと書は鶴舎有節

**〔新季寄〕〔菅沼〕奇淵** **YK911.3-117**

大阪 塩屋忠兵衛 安政7(1860)刊 1冊 懷中本 和  
註: 奇淵は大阪の俳人、号は七彩堂

**滑稽太平記〔北藤浮生〕** **YK911.3-118**

写 1冊 半紙 和

**諸国翁墳記** **YK911.3-119**

京都 橘屋治兵衛 刊 1冊 半紙 和

註: 日陰塚(津軽日向台) 落葉塚(津軽黒石法眼寺) 翁  
塚(津軽如菜社) 月夜塚(津軽慈雲寺) 等もあり

**酒懷帑(紙) 卷之一〔三谷句仏〕** **YK911.3-120**

写 1冊 懷中本 12×9 和

註: 奇人談

女夫清水 明治18年 千葉草々庵 YK911.3-121

明治18年(1885)刊 1冊 半紙半 仮和

註：草々庵(明治の津軽の大宗匠)、(野崎)真清(草々庵没後の津軽俳壇の総帥)、千浦による嶽温泉紀行の句集

遊魚集の発端 三谷句仏 YK911.3-122

写 1冊 半紙 仮和

註：句集「遊魚集」発刊の端緒を記したもの「古今にわたりて可然句百余吟」あり

文字摺艸 壬辰橘月 葛松居(宮崎守愚) YK911.3-123

明治25(1892)写 1冊 16×12 仮和

註：文字摺艸は「ネジバナ」の別名か 季は夏 橘月も陰暦5月の異名(初夏)、葛松居(守愚)については別記

くさのみだれ 艸々庵句仏 YK911.3-124

写 1冊 20×14 折

註：艸々庵句仏は弘前の俳人、津軽藩士千葉胤任(1832～1900)のこと 三谷句仏の高弟 特に許されて艸々庵句仏とも号した

芦野の月 YK911.3-125

明治30(1897)版 1冊 半紙 仮大和綴

註：巻尾に「明治三十年仲秋 金木の里 会林しるす」とあるが、この年は芭蕉句碑が芦野公園に建った年であり、会林とは碑陰に記されている雲上(金木山雲祥寺和尚)達であろう 本書には発起者(岡本)清雄、(高橋)月村、(虎谷)一虎の句もみえる

玉あられ 春〔東々園〕 YK911.3-126

文政11(1828)写 1冊 16×12 和

註：土郎・道彦・大江丸・成美・月居・乙二・蒼虬等の句を集めてある

YK911.4 雑俳 川柳

黒石坂ノ上神明宮永代額上会紙 YK911.4-1

艸々庵 宗匠評 明治12年卯月

明治12(1879)写 1冊 半紙 仮和

身代り地藏尊一夜額 明治16年旧七月 YK911.4-2

会林

明治16(1883)写 1冊 半紙 和

註：墨点 東風葺 朱点 其楽

神明宮額上万三吾大撰 文政6年5月16日 YK911.4-3

目賀田氏

文政7(1824)写 1冊 横長 仮和

青陽草 YK911.4-4

写 1冊 半紙 仮和

長題(花の極楽 極楽・他)大正元年8月17日

大正元(1912)写 1冊 半紙 仮和 YK911.4-5

註：一丸・桜処・鬼仏・宜峰・竹子・竹水等の句

万句寄 文久2年3月・6月 鶴舎有節(自筆)

文久2(1862)写 1冊 横中 和 YK911.4-6

註：「白雲関天満太神献額発句会」「熊野宮献額発句会」「員外五十吟」末尾に「右九千四百五十吟之内也」「文久二壬戌年六月廿七日つるのやの有節しるす」とある 有節(1808～1871)は幕末津軽の俳人、本姓武田内海草坡・三谷句仏・平田鉄瓶の門人

猿賀山深砂宮永代額上 YK911.4-7

万三吾評 文政7年11月15日

文政7(1824)写 1冊 横長 仮和

註：猿賀山深砂宮は現南津軽郡尾上町猿賀神社 万三吾は弘前の商人・俳人内海草坡(1761～1837)のこと

五文字文音 YK911.4-8

写 1冊 横中 仮和

長題五文字集 YK911.4-9

万延2(1861)写 1冊 横中 仮和

註：水魚庵(三谷句仏)点、上風点

〔額上発句集〕 YK911.4-10

写 1冊 半紙 仮和

註：深妙宮(現尾上町猿賀神社)…万三吾(内海草坡)撰 天保4年(1833)…〔三谷〕句仏評 天保6年(1835)八王子宮…〔内海〕草坡・〔三谷〕句仏評

慈雲院永代額 YK911.4-11

万三吾評 文政9丙戌10月12日

文政9(1826)写 1冊 横長 仮和

註：慈雲院は現在廃寺 明治初期新寺町現在の弘前高校東側にあった 万三吾は弘前の商人・俳人内海草坡(1761～1837)のこと

〔句集〕 YK911.4-12

写 1冊 半紙 和

註：天保14年金木組豊岡村神明宮額上(担斎点)同 15年 林鐘深砂宮額上(同判)天満宮額角力会(東岱舎・万三吾点)鬼神宮永代願(万三吾選)神明宮永代額(大椿堂・担斎評)文化14年大門寺天満 宮相撲会(東岱舎・万三吾判)

山鳥の尾 木猴舎・錦弓庵両評 月次前句 YK911.4-13

写 1冊 半紙 和

註：木猴舎は津軽藩勘定奉行・長柄奉行などを務め、俳人としても前句の点者として名高い樋口勘解由(1790?～1861)のこと 錦弓庵については?

- 山時鳥** YK911.4-14  
月前句梅花無尽蔵惣会紙 安政6末年  
安政6(1859)写 1冊 半紙 和
- [句集] YK911.4-15  
写 1冊 半紙 仮和  
註：如筵・朶光・英里等の句
- [句集] YK911.4-16  
写 1冊 半紙 仮和  
註：一旭・倉竹・柳山・露竹・五湖・柳水・美木・曲  
師・孔桐等の句
- [句稿] YK911.4-17  
写 1冊 半紙 仮和  
註：明治初年(但し明治8年1875以降)のものと思わ  
れる
- 雑俳懐昏** 明治20年(秀風) YK911.4-18  
明治20(1887)写 1冊 半紙 仮和  
註：内題「明治十六年旧九月 六年のたはむれ」  
墨点者 東風庵 ○点者 一笙庵 文笙  
朱点者 松風亭 其楽
- 稲荷宮永代額上** 文久元年6月 YK911.4-19  
〔催主 朶光〕  
文久元(1861)写 1冊 横小(半紙判と合綴) 仮和  
註：合綴「二年作」は水魚庵考、鹿内朶流の孫朶光の序  
あり 弘前・黒石・田舎館・平賀・尾上等の住人の句  
多数
- 猿賀額燈籠** 前句 五文字 亥旧8月14日夜宮  
東風庵・東根舎評 YK911.4-20  
〔明治20(1887)〕写 1冊 半紙 和
- [句集] YK911.4-21  
写 1冊 横長 仮和
- [句集] YK911.4-22  
写 1冊 横長 仮和
- 名吟楚呂飛** 明治19年8月ヨリ YK911.4-23  
明治19(1886)写 1冊 横長 仮和  
註：文笙・其楽・左右・静風等の評
- 狂句太郎** 全 白露庵朝山(三上秀格)編 YK911.4-24  
弘前 秋元源吾 明治17(1884)刊 1冊 半紙半 和  
註：落花坊校閲、酔卿山人序
- 雑俳〔俳〕集** YK911.4-25  
写 1冊 横長 仮和
- 中里八幡宮永代額** YK911.4-26  
写 1冊 横長 仮和
- YK911.6 歌謡
- 時務作千代久礼**〔時務策チヨボクレ〕 YK911.6-1  
写 1冊 半紙 和  
註：幕末老中阿部正弘の政治を諷す
- 和漢朗詠集**(頭書講釈)四季之部 上 YK911.6-2-1  
東都 西村屋与八郎 刊 1冊 美濃 和
- 和漢朗詠集**(頭書講釈)雑之部 下 YK911.6-2-2  
東都 西村屋与八郎 刊 1冊 美濃 和
- YK911.9 俗曲 俗謡
- 百々一函絵の序** YK911.9-1  
写 1冊 半紙 和  
註：序文(隆達節のこと)と歌詞
- 当時はやりうた** 明治2己巳年拔書 YK911.9-2  
明治2(1869)写 1冊 半紙半 和
- 臍穴口説** YK911.9-3  
写 1冊 横中 仮和
- YK913 小説
- 夢の松風** 上中下 下沢久舗(保躬) YK913-1  
文久2(1862)写 1冊 半紙 和  
註：内題「極秘 夢廻松風 全」小説 明和天明中  
津軽騒動「此書ハ乳井貢ノ作ト云」(本書序書込)
- 愛宕邯鄲枕** 上下 下沢保躬 YK913-2  
明治9(1876)写 1冊 半紙 和  
註：津軽藩家老隈部伊織〔元禄14～寛保2(1701～  
1742)〕事件を扱ったもの
- 愛宕邯鄲枕** 前篇 全 工藤祐房 YK913-3  
天保7(1836)写 1冊 半紙 和
- 愛宕邯鄲枕** YK913-4  
写 1冊 半紙 和
- 文集倶楽部** 松韻編 YK913-5  
明治32(1899)1冊 新聞切り抜き 38×18 和  
註：弘前新聞連載
- 林檎箆**(万朝短篇小説集)第一集 YK913-6  
明治43(1910)1冊 新聞切り抜き 19×14 仮和

- [朝夷三郎] 真龍齋貞水講演 YK913-7  
切り抜き 1冊 半紙 仮和  
註：朝夷三郎は鎌倉時代の武将 朝比奈義秀のこと
- 家老銘々伝 長谷川伸 YK913-8  
昭和7(1932)切り抜き 1冊 菊 仮洋  
註：文藝春秋(十年ノ五号)より 津軽頼母模宏の記事あり
- [東鑑慶天間記 自卷之一至卷之九] YK913-9  
写 1冊 半紙 和  
蔵印「奥文庫」  
註：弘前城御殿備付書籍
- 滑稽噓尽戯 初編五 一瓢舎半升 YK913-10  
写 1冊 半紙半 和  
註：内題「御国巡覧滑稽噓つき毛」  
本館所蔵同書初編1～8(GK913-6,13)あり
- 夢之松風 [松風軒] YK913-11  
天明7(1787)写 1冊 半紙 和  
註：巻尾に文化13(1816)年とあるのは、その時、製本し直したのか
- 夢能松風 松風軒 YK913-12  
天明6(1786)写 1冊 半紙 和
- 佳人之奇遇 卷一 東海散士(柴四郎)著 YK913-13-1  
東京 著者 明治24(1891)1冊 半紙 和  
註：柴四郎(1852～1922)は斗南藩子弟。陸軍大将柴五郎の兄 政治家
- 佳人之奇遇 卷二 東海散士(柴四郎)著 YK913-13-2  
東京 著者 明治24(1891)1冊 半紙 和
- 佳人之奇遇 卷三 東海散士(柴四郎)著 YK913-13-3  
東京 著者 明治24(1891)1冊 半紙 和
- 佳人之奇遇 卷四 東海散士(柴四郎)著 YK913-13-4  
東京 著者 明治24(1891)1冊 半紙 和
- 佳人之奇遇 卷五 東海散士(柴四郎)著 YK913-13-5  
東京 著者 明治24(1891)1冊 半紙 和
- 佳人之奇遇 卷六 東海散士(柴四郎)著 YK913-13-6  
東京 著者 明治24(1891)1冊 半紙 和
- 佳人之奇遇 卷七 東海散士(柴四郎)著 YK913-13-7  
東京 著者 明治24(1891)1冊 半紙 和
- 佳人之奇遇 卷八 東海散士(柴四郎)著 YK913-13-8  
東京 著者 明治24(1891)1冊 半紙 和
- 佳人之奇遇 卷九 東海散士(柴四郎)著 YK913-13-9  
東京 著者 明治24(1891)1冊 半紙 和
- 佳人之奇遇 卷十 東海散士(柴四郎)著 YK913-13-10  
東京 著者 明治24(1891)1冊 半紙 和
- 貞婦貞鑑実之巻 後編 鼻山人著 YK913-14  
写 1冊 四六 和
- 佐々木巖柳敵討 YK913-15  
写 1冊 半紙 和
- 小笠原伊勢 妙溪小史 YK913-16  
写 1冊 半紙 和  
註：小笠原伊勢ハ信浄(信清)、津軽初期ノ家臣 大浦三老ノ一人
- 松垣山名誉碑文 上 春光舎風禽 YK913-17-1  
東京 法木徳兵衛 明治17(1884)1冊 美濃半 和
- 松垣山名誉碑文 下 春光舎風禽 YK913-17-2  
東京 法木徳兵衛 明治17(1884)1冊 美濃半 和
- 御国巡覧滑稽噓月毛(津軽道中譚)八巻全 YK913-18  
一瓢舎半升  
大正元(1912)写 1冊 半紙 和  
註：原作は万延元年(1860)の作だが、本書は、下沢谷水(陳平)の写である 序の写は下沢閑雲(保躬)筆
- 忠勇相馬大作(千代田文庫66) YK913-19  
春江堂編集部編  
東京 編者 刊 1冊 190頁 菊半 仮洋  
註：長編講談
- 天下茶屋真伝記 上 YK913-20-1  
[明和9(1772)]写 1冊 半紙 和  
註：内題「天下茶屋敵討真伝記」
- 天下茶屋真伝記 中 YK913-20-2  
[明和9(1772)]写 1冊 半紙 和
- 敵討孝勇記 完 YK913-21  
慶応3(1867)写 1冊 半紙 和
- 賊禁秘誠談 全(従一至十) YK913-22-イ  
写 1冊 半紙 和  
註：石川五右衛門伝
- 賊禁秘誠談 乾(従一至五) YK913-22-ロ-1  
写 1冊 半紙 和
- 賊禁秘誠談 坤(従六至十) YK913-22-ロ-2

- 写 1冊 半紙 和
- 蠡海雜録** YK913-23  
〔貞享2(1685)〕写 1冊 (5巻合冊) 半紙 和  
註：由井正雪実録(従一至拾 5巻)  
蠡海は、漢書「以蠡測海」(カイガラニテ海ヲ測ルハ識見ノ狭キニ喩ウ) からとったことばか
- 大久保儀勇伝 壺** 阿部九十郎宗郷 YK913-24-1  
慶応元(1865)写 1冊 半紙 和  
註：行年六十七歳写之となっているが、原作者や筆者については不明
- 大久保儀勇伝 三** 阿部九十郎宗郷 YK913-24-2  
慶応元(1865)写 1冊 半紙 和
- 大久保儀勇伝 四** 阿部九十郎宗郷 YK913-24-3  
慶応元(1865)写 1冊 半紙 和
- 大久保儀勇伝 五終** 阿部九十郎宗郷 YK913-24-4  
慶応元(1865)写 1冊 半紙 和
- 大久保日記之内秘書也** 安部九十郎宗郷 YK913-24-5  
慶応4(1868)写 1冊 半紙 和  
註：「齡七拾歳二而」とある
- 西国順礼女敵討 地(中)** YK913-25-1  
写 1冊 半紙 和
- 西国順礼女敵討 人(下)** YK913-25-2  
写 1冊 半紙 和
- このぬし(新著小説)全** YK913-26  
紅葉山人(尾崎紅葉)  
明治24(1891)写 1冊 半紙 和
- 註：内題「新作 此ぬし」(明治23年9月発行)
- 太平記抜書** YK913.4-1  
写 1冊 半紙 和
- 兵法修練談** YK913.5-1  
写 1冊 半紙 和  
註：塚原卜伝、佐々木岸柳、宮本武蔵
- ことばの花(落嘶)[立川焉馬]** YK913.5-2  
文政6(1823)写 1冊 半紙半 仮和  
註：別名「落嘶六義」
- 文の栞** YK913.5-3  
刊 1冊 美濃半 和
- 六道侍会録 全 佚斎〔丹羽〕樗山** YK913.5-4  
宝暦6(1756)写 1冊 半紙 和  
註：内題「六道土会録」〔原文は享保14年(1729)著〕
- 娘節用 二編 曲山人作・画** YK913.5-1  
東京 武田政吉 明治15(1882)刊 1冊 懷中本 和  
註：内題「仮名文章娘節用 後編上之巻」  
曲山人(～1836)は江戸の生まれ、人情本作者  
三文舎自楽などの号あり
- 娘節用 三編 曲山人作・画** YK913.5-2  
東京 武田政吉 明治15(1882)刊 1冊 懷中本 和  
註：内題「仮名文章娘節用 三編上之巻」
- YK914 随筆 小品 評論**
- つがるの山と川** 北畠八穂 YK914-1  
1冊 新聞切り抜き B5
- 閑散余録 全** 南川維遷士長(金溪) YK914-2  
安永2(1773)写 1冊 半紙 和  
註：明和七年(1770)序 金溪は伊勢の人
- 黒甜瑣語 一編 自卷之一至卷之五 全** YK914-3-1  
人見寧子安(長流、蕉雨齋)  
秋田 成見書店 明治29(1896)活 1冊 半紙 和  
註：子安(1818～1861)は徳川中期の国学者、秋田藩士
- 黒甜瑣語 二編 自卷之一至卷之五 全** YK914-3-2  
人見寧子安(長流、蕉雨齋)  
秋田 成見書店 明治29(1896)活 1冊 半紙 和
- 黒甜瑣語 三編 自卷之一至卷之五 全** YK914-3-3  
人見寧子安(長流、蕉雨齋)  
秋田 成見書店 明治29(1896)活 1冊 半紙 和
- 黒甜瑣語 四編 自卷之一至卷之五 全** YK914-3-4  
人見寧子安(長流、蕉雨齋)  
秋田 成見書店 明治29(1896)活 1冊 半紙 和
- 雅止焉随筆** 笹森建雄 YK914-4  
写 1冊 半紙 和  
註：建雄は序左衛門とも称し、学問に通じ、射術・槍術・書道にも達していた 津軽9代藩主寧親公時代勘定奉行を20余年勤めた
- なぐさみ草 五冊全** 瑞竜軒恕翁 YK914-5  
延享5・寛延元(1748)刊 1冊(5冊合冊) 半紙 和  
註：一、寿草、二、<sup>さいわい</sup>幸草、三、<sup>おかし</sup>奇笑草、四、なぐさみ草、五、耳ふれ草
- 年山紀聞 第一** 安藤年山 YK914-6-1  
東都 北沢伊八 文化元(1804)写 1冊 美濃 和



註：年山（1659～1726）は江戸時代中期の国学者、水戸藩士、名は為章、通称右平、新介、本書は随筆

**年山紀聞 第二 安藤年山** YK914-6-2

東都 北沢伊八 文化元（1804）写 1冊 美濃 和

**年山紀聞 第三 安藤年山** YK914-6-3

東都 北沢伊八 文化元（1804）写 1冊 美濃 和

**年山紀聞 第四 安藤年山** YK914-6-4

東都 北沢伊八 文化元（1804）写 1冊 美濃 和

**年山紀聞 第五 安藤年山** YK914-6-5

東都 北沢伊八 文化元（1804）写 1冊 美濃 和

**年山紀聞 第六終 安藤年山** YK914-6-6

東都 北沢伊八 文化元（1804）写 1冊 美濃 和

**看板夢之枕** YK914-7

写 1冊 半紙 和

註：内題「略書や物嗅（臭）ものの夢嘶」

**見聞可笑袋 卷之上中下 自笑今独楽** YK914-8

安永5（1776）写 1冊 半紙 和

**百川文平学庵随筆 全** YK914-9

百川璞私記（下沢保躬写）

明治8（1875）写 1冊 半紙 仮和

註：学庵（1799～1849）は通称文平、字は璞、号は他に名山等11

**津軽富士高調子（一名桧垣山名誉碑文虚偽皮剥）稿**

**雲遊（酔月）閑人編集** YK914-10

明治21（1888）写 1冊 半紙 仮和

註：下斗米秀之進（相馬大作）事件を抜っている 本書

の写者は下沢保躬

### YK915 日記 紀行

**松前紀行（帰雁の伴侶）翠葉** YK915-1

大正7（1918）新聞切り抜き 1冊 B6 仮洋

**安門記 吉田豊房** YK915-2

文久3（1863）写 1冊 半紙半 和

註：内題「西遊安門記」

**紀行 下沢保躬** YK915-3

明治21（1888）写 1冊 半紙 仮和

註：五所川原紀行、辛崎紀行、板留中野紀行、新里村小学校を看る文

明治廿五年一月御歌会初勅題「日出山」

**嵩温泉日記 鶴屋有節述** YK915-4

昭和35（1960）複写 1冊 美濃 仮和

註：嵩は「だけ」「嶽」

自筆本〔嘉永2（1849）〕は本館所蔵KK081 ツル「鶴舎有節著書77」にあり

**松前紀行 全 平尾魯僊** YK915-5

安政2（1855）写 1冊 美濃 和

註：魯僊（1808～1880）は幕末頃の津軽の画人、国学者松前遊歴は安政2年6月11日～7月13日（33日間）

**〔鎮西紀行〕** YK915-6

明治35（1902）写 1冊 半紙 和

註：浄写したのは明治39年（1906）8月8日

同行者姓名は記してあるが、著者自身の姓名不明（著者は青森県尋常師範学校卒、奈良師範学校教師のように思われる）奈良、熊本往復の紀行文である

**木曾路之記 上・下 貝原篤信（益軒）** YK915-7

京都 茨木多左衛門 正徳3（1713）刊 1冊 美濃半 和

註：宝永6（1709）序「東山道西帰之記序」

**雪乃母呂太奇 菅江真澄** YK915-8

寛政8（1796）写 1冊 美濃 和

註：寛政8年10月23日、西津軽郡深浦の竹越家を出発し、11月1日、中津軽郡西目屋村の暗門の滝を見て、また深浦に戻ったまで記されている 但し本書には帰途立石野過ぎて深浦に着くまでの文章が約1頁分欠けている 本書には「昭和4年5月83翁（高山）文堂記」の鑑定書がついている 絵は入っていない

**津軽九十三里田舎免久利 乾坤二冊の中抜萃** YK915-9

写 1冊 半紙 仮和

註：原本は天保2年（1831）の記 初度の冬旅…石渡—亀ヶ岡—十三の浦—相内—三厩—今別—平館—奥内—油川—青森—浅虫—青森—油川—新城—浪岡—藤崎—弘前 二度の冬旅…高杉—川村—妙堂崎—桑の木田—木作—館岡—車力—十三—小泊

### YK917 諷刺 滑稽

**雑言** YK917-1

寛政4～文政10（1792～1827）写 1冊 半紙 和

註：「寛政四壬子年落書 桜田維徳聞書」とある 津軽信順・家老笠原八郎兵衛に対するものなどもあり

**新吉原言葉 嘉永6年7月～8月** YK917-2

嘉永6（1853）写 1通

**〔落書〕** YK917-3

写 1校 16×23

註：京都（中京区）寺町三条上る大正寺（天性寺）門に張られていた落書 因州鳥取藩主松平相模守（池田慶

徳)が水戸烈公の五男、将軍徳川慶喜の兄であるため、逆賊としての汚名を着せられた落書

### YK918 全集 撰集

#### 宇野斗維全集 完 YK918-1

宇野喜一郎(斗維)著 村上民蔵(尸龍)編  
南津軽郡上十川 編者(歳寒塾)昭和8(1933)謄写  
1冊 半紙 仮和  
註:斗維(喜一郎)(1867~1909)は南津軽郡赤坂村(現黒石市)の生まれ 最初に「宇野斗維先生伝」あり  
第壹巻「斗維清狂詩集」第貳巻「奥乃真弓鍋倉山人歌集」  
第参巻「古剣老夫文集」

#### 尸龍山人初集 第一・二巻 村上民蔵著 YK918-2-1

南津軽郡歳寒塾・江湖新聞社 昭和8(1933)謄写  
1冊 半紙 仮和  
註:村上民蔵(1879~1962)は南津軽郡六郷村上十川(現黒石市)の人 元小学校長、東奥日報社黒石支局主任  
第一巻 小歌帖「津軽男乃子乃歌」全 第二巻 小詩巻  
「東北辞人之詩」完

#### 尸龍山人初集 第三巻 村上民蔵著 YK918-2-2

南津軽郡歳寒塾・江湖新聞社 昭和8(1933)謄写  
1冊 半紙 仮和  
註:小文稿「土百姓の子が文 上」

#### 尸龍山人初集 下巻 村上民蔵著 YK918-2-3

南津軽郡歳寒塾・江湖新聞社 昭和10(1935)謄写  
1冊 半紙 仮和  
註:「土百姓の子が文 下」

#### 尸龍山人初集 村上民蔵著 YK918-2-4

南津軽郡歳寒塾・江湖新聞社 昭和12(1937)謄写  
1冊 半紙 仮和

註:続我小歌帖、続我小詩巻、我小文稿拾遺合

#### 尸龍山人喜憂回顧録 第一巻 村上民蔵 YK918-2-5

黒石市 移山蔵・江湖書院 昭和33(1958)謄写  
1冊 半紙 仮和  
註:先考五十回忌記念

### YK919 日本漢詩文

#### 吉田松陰東北遊日記 附詩歌草稿 吉田松陰 YK919-1

嘉永4(1851)~嘉永5(1852)写(影印本)1冊  
半紙 和  
註:從十二月十四日至翌年正月廿七日、四月四日

#### 東北遊日記 上 吉田松陰 YK919-2-上

尊攘堂 刊 1冊 半紙 和

#### 東北進日記 下 吉田松陰 YK919-2-下

尊攘堂 刊 1冊 半紙 和

#### 津軽古今事実文編 卷一(下稿)下沢保躬編 YK919-3

明治23(1890)写 1冊 半紙 仮和  
註:日本近世詩文集混入ス

#### 他山文鈔 工藤主善 YK919-4

明治17(1884)活版 1冊 14×23 和  
註:YK919-47と同本

#### 〔詩文集〕 YK919-5

写 1冊 半紙 和  
註:[安永7~天保3(1778~1832)?]集  
呈津軽校尉書(北城貞亮)呈藤子壯書(伴建伊)玉川追  
福寄梅詩 呈山崎敬夫書(沢元愷)報沢元愷書(山崎  
道冲)神宮寺并古懸山国上寺鐘銘、他  
後半…欠

#### 稽古館詩稿 乾 YK919-6

天保4(1833)写 1冊 半紙 仮和  
註:附「稽古館生員肄業作」  
「成田求馬戦死伝(明治3年-1870-)」

#### 回天詩史 上・下 藤田彪(東湖) YK919-7

写 1冊 半紙 和  
註:末尾に「昭和4年(1929)乙巳仲秋文堂静八十三齡書」  
とある 文堂は高山静(1849~1931)、弘前の書家

#### 質疑篇 五井純禎子祥甫(蘭洲) YK919-8-1

大阪 文淵堂・得宝堂 明和3(1766)刊 1冊 美濃 和  
註:蘭洲(1697~1762)は大阪の人 享保17年(1732)  
から元文5年(1740)まで津軽藩士として文学振興に  
尽くした 瑣語と合刻

#### 瑣語 上 五井純禎子祥甫(蘭洲) YK919-8-2

大阪 文淵堂・得宝堂 明和3(1766)刊 1冊 美濃 和  
註:「質疑篇」と合刻

#### 瑣語 下 五井純禎子祥甫(蘭洲) YK919-8-3

大阪 文淵堂・得宝堂 明和3(1766)刊 1冊 美濃 和

#### 瑣語 上 五井純禎子祥甫(蘭洲) YK919-9-上

大阪 松村九兵衛 明和4(1767)刊 1冊 美濃 和  
註:合剤の質疑篇なし

#### 瑣語 下 五井純禎子祥甫(蘭洲) YK919-9-下

大阪 松村九兵衛 明和4(1767)刊 1冊 美濃 和

#### 榴窠遺稿 全 川村榴窠(善之進) YK919-10-イ

弘前 川村善一 明治18(1885)活(72頁)1冊 菊 和  
註:榴窠(1826~1868)ハ津軽藩校稽古館学士、儒者、  
漢詩人

**榴窠遺稿** 全 川村榴窠(善之進) YK919-10-口

弘前 川村善一 明治18(1885)活(72頁)1冊 菊 和  
 註:榴窠(1826~1868)ハ津輕藩校稽古館学士、儒者、漢詩人

**鶏肋集** 卷之一~四 伴建尹(才助) YK919-11

寛政6(1794)写1冊 美濃 和  
 註:建尹(?~1803)は津輕藩校稽古館第五代総司

**鶏肋集** 全 伴建尹(才助) YK919-12-イ

黒石 赤坂屋宇野金一 昭和27(1952)謄1冊  
 半紙 洋  
 (伴氏蔵板)

**鶏肋集** 全 伴建尹(才助) YK919-12-ロ

黒石 赤坂屋宇野金一 昭和27(1957)謄1冊  
 半紙 洋  
 (伴氏蔵板)

**時勢論** 天 吉田寅次郎藤原矩方(松陰) YK919-13-1

写1冊 半紙 和

**時勢論** 地 吉田寅次郎藤原矩方(松陰) YK919-13-2

写1冊 半紙 和

**四時幽賞詩** 喜多村校尉政方(耕道軒) YK919-14-イ

宝永5(1708)刊(コピー)1冊 美濃 和  
 註:政方(1682~1729)は津輕藩家老・兵学者 金吾久域(建部綾足)の父

**四時幽賞詩** 喜多村校尉政方(耕道軒) YK919-14-ロ

宝永5(1708)写1冊 美濃 和

**先生西京紀行** 開雲堂耕道(喜多村校尉政方) YK919-15

写1冊 美濃 和  
 註:先生は政方を指す

**幽囚録** 全 吉田寅次郎(松陰) YK919-16

東京 吉川半七 明治24(1891)刊1冊 半紙 和

**閑雲漫筆** 壺 下沢保躬編輯 YK919-17

写1冊 半紙 仮和  
 註:漢詩文集

**鶏肋集** 卷之五 伴建尹 YK919-18

昭和11(1936)写1冊 美濃 仮和  
 註:全五巻のうち。建尹(タケタダ)は通称才助、字は元尹、号は松軒 津輕藩校稽古館第五代総司

**策問一道** 川村直良 YK919-19

写1冊 半紙 仮和  
 註:直良(1826~1868)は通称善之進 津輕藩校稽古館学士 儒者にして漢詩人 号は榴窠(りゅうか)

**雜珮彙稿**(陸奥山崎蘭洲先生雜珮彙稿) YK919-20

竹内升輯  
 安永7(1778)刊1冊 半紙 和  
 註:升は衛士軌当、津輕9代藩主寧親の用人 山崎道冲(蘭洲)の門人、詩文をよくした

**詩文歌**〔手塚強〕 YK919-21

写1冊 半紙 仮和

**津輕名所事蹟 詩文集** 一 下沢保躬編 YK919-22-1

明治8(1875)写1冊 半紙 和  
 註:長楽園詩歌、分類三十首詩集、豊楽亭記、伊東綏之詩文、喜多村文藻詩、津輕八景詩歌、長崎金城詩文、他

**津輕名所事蹟 詩文集** 二 下沢保躬編 YK919-22-2

明治8(1875)写1冊 半紙 和  
 註:回貞郷詩集、渋谷孝昌詩集、伊東綏之詩文、岸生元詩文、今敬一詩

**津輕名所事蹟 詩文集** 三 下沢保躬編 YK919-22-3

明治8(1875)写1冊 半紙 和  
 註:平岡惟寅・川村直良・百川学庵・百川玉川詩文、蘭州先生遺稿抄、三谷担斎詩集、寿筵帖、学庵遺稿、他

**津輕名所事蹟 詩文集** 四・五 YK919-22-4

下沢保躬編  
 明治8(1875)写1冊 半紙 和  
 註:三谷担斎詩文、柳亭詩抄、戸沢盛養稿、天明以来諸君詩文

**津輕名所事蹟 詩文集** 六・七 YK919-22-5

下沢保躬編  
 明治8(1875)写1冊 半紙 和  
 註:生斎詩鈔(冢岸太冲)、西海採葉紀行(北岡太淳)…欠

**津輕名所事蹟 詩文集** 八 下沢保躬編 YK919-22-6

明治8(1875)写1冊 半紙 和  
 註:上田槐堂浄稿 自巻第一至巻第十 拔萃

**津輕名所事蹟 詩文集** 九・十 YK919-22-7

下沢保躬編  
 明治8(1875)写1冊 半紙 和  
 註:小堂詩文集(戸沢勝之丞)、手塚進爾詩集、北岡虚舟詩文、飛鳥謙詩文、他

**禪榻余韻** 卷之一 YK919-23-1

古道人 大道彰真(山口彰真)  
 大正12(1923)活1冊 半紙 和  
 註:彰真(1865~1937)は別に古松とも称す 弘前

- 長勝寺 39 世太平山総司職 漢詩人
- 禪榻余韵 卷之二** YK919-23-2  
古道人 大道彰真(山口彰真)  
大正 12 (1923) 活 1 冊 半紙 和
- 詩文雑集** YK919-24  
写 1 冊 半紙 和  
註: 凌雲堂会詩押三十韻(工藤懿文・津軽範疇・他)  
凌雲堂会詩(神盛憲・北原高丕) 土岐貞範・他  
雑集(山崎明・斎藤規勇・戸沢惟頭・唐牛満春・他)
- 回貞郷詩集 全** 廻間庶安 YK919-25  
写 1 冊 半紙 和  
註: 回貞郷は廻間庶安(通称新助)のこと 山崎蘭洲の門人(文化 2 年没 70 歳) 津軽藩用人竹内軌当、山崎明(蘭洲)の跋がある 本書は明治 18 年(1885)の写し
- 忠臣蔵夜討詩** 秀山堂溪人 YK919-26  
慶応 4 (1868) 写 1 冊 半紙 仮和
- 今古詩文叢集 卷一** 下沢閑幽(保躬)編 YK919-27-1  
写 1 冊 半紙 和  
註: 草山染抜萃、英国政事概論序、近世詩史抜萃、兼松成言詩文、海浦義観詩、他
- 今古詩文叢集 卷二** 下沢閑幽(保躬)編 K919-27-2  
写 1 冊 半紙 和  
註: 甕江文集抜萃、他(川田剛先生文稿)、平尾魯仙伝跋・他(工藤他山)、岩木川并板留詩(谷山春窓)、他
- 幹斎遺稿** 今君栗(弘貞) YK919-28  
青森市 長谷川有造 明治 31 (1898) 活 1 冊 美濃(小) 和  
註: 君栗(1833~1892)は通称敬一、幹斎は号 幕末
- の津軽藩侍医、詩文をよくす 北海道大学総長今裕の父
- 鷗盟集 上** 弘前吟社編 YK919-29-1  
弘前 編者 大正 9 (1920) 活 1 冊 半紙 和  
註: 斎藤積翠、工藤乾外、八木沢鷗汀、生駒旭軒、関鉄雪、松野翠華、長谷川山岳、若山江村、今桐林
- 鷗盟集 下** 弘前吟社編 YK919-29-2 イ  
弘前 編者 大正 9 (1920) 活 1 冊 半紙 和  
註: 斎藤鶴汀、山口大道、葛西壳愁、竹内蘭山、三上合浦、花田瓊山、小館海月、藤田巖嶺、丸瀬槐谷、清水柏堅
- 鷗盟集 下** 弘前吟社編 YK919-29-2 ロ  
弘前 編者 大正 9 (1920) 活 1 冊 半紙 和
- 詩稿** YK919-30  
安政 6 (1859) 写 1 冊 半紙 和(藩校稽古館原稿紙使用)  
註: 葛西貞茂、松田典孝、鹿内喜清、久我定由、楠美太素、高橋清晴、清藤唯貫、戸沢盛養、毛内由迪、赤松貞敬、清藤唯儀、他
- 鏡湖社友詩** YK919-31  
天保 2 (1831) 写 1 冊 半紙 和  
註: 同人、秋元良(澹水)、岸通(生斉)、長崎弼(金城)、土岐貞範(西野)、一朝田朝行(笑堂)、松井勝善(城南)、清野直(南嶺)
- 東日流文林詩文集 津軽書画家歌人俳人小伝** 四冊合巻 YK919-32  
高山文堂補筆写(原作小山内釣月編)  
大正 9 (1920) 写 1 冊 半紙 仮和  
註: 文堂は本名静(1849~1931)、弘前の書家 釣月は本名健三郎(1844~1925)、弘前の画家
- 泰眠遺稿** YK919-33
- 膳写版印本 1 冊 四六 仮和  
註: 泰眠は高杉真竜(1885~1945)のこと 曹洞宗 弘前照源寺 19 世 後、隣松寺 32 世 本書は漢詩集、長勝寺 40 世住職小館潭玄の序がある
- 抄録** [下沢陳平]編 YK919-34  
写 1 冊 半紙 仮和  
註: 西遊詩稿、[伊東]梅軒詩集、鷹城詩華第三輯、口書刊行会本事実文編(雪窓五弓久文編)
- 分題三十首** [筆者 伴建尹] YK919-35  
写 1 冊 半紙 仮和  
註: 津軽藩儒医山崎蘭洲(1733~1799)及門下津軽貞正・津軽模宏・伴建尹・唐牛満春・工藤彝・竹内軌文等の漢詩
- 錦洞詩鈔 全** 木村錦洞(文献) YK919-36  
札幌 著者 昭和 13 (1938) 1 冊 半紙 和  
註: 木村文献は旧名千代吉 弘前の生まれ 1865~?  
元裁判所書記 漢詩人
- 今古詩文叢集 卷三** 下沢保躬編輯 YK919-37  
[明治 24 (1891)?] 写 1 冊 半紙 和  
註: 全国からの詩文を集めている
- 長楽園詩集** [津軽信寿著] 泰白玉甫選 YK919-38  
享保 2 (1717) 写 1 冊 半紙 仮和  
註: 末尾に「明治七年十一月一日 自楠美君借写 下沢保躬 明治卅七年十二月廿五日文堂再写、明治四十三年五月十七日 黙斎再写」とある 従って、本書は、明治 43 年(1910) 黙斎(棟方悌二)の筆
- 蘭洲先生並建尹詩文集稿** 山賄蘭洲・伴建尹 YK919-39  
写 1 綴 美濃・半紙 仮和  
註: 二人の自筆の綴 蘭洲(1733~1799)は道冲、通称凶書、名は明、津軽藩大儒 建尹( ~1803)は、

その門人、名は才助、後に藩校稽古館第五代総司

**生齋詩稿 全 岸達仲 YK919-40**

明治42(1909)活 1冊 半紙 和

註：生齋は弘前の生まれ 医師となって鱈ヶ沢に移住  
姓は笹森改め岸、名は通、字は達仲(太仲ともいう)、別  
号 江山(1790～1847) 陸前静堂岩村章の序並跋あり

**静渊居詩稿 上下合本止〔秋元澹水〕 YK919-41**

天保3(1832)写 1冊 半紙 和

註：友人櫻齋 百川璞(学庵)の序あり 澹水は秋元  
杢之丞、実は三上耕庵(医者)の二男 月下園(俳人)  
の弟 書や詩をよくす

**暢幽閣詩抄 全 三岳 長谷川有造 YK919-42**

青森市 著者 昭和3(1928)1冊 半紙 和

註：有造(1856～1932)は弘前の生まれ 医師 鱈ヶ  
沢 病院長を経て、青森市に開業(1890) 熱心なキリ  
スト教信者で、漢詩にも長じていた

**照陵草稿 文化七庚午 YK919-43**

文化7(1810)写 1冊 半紙 仮和

註：漢詩集「庚午正月当高照門予時為有司」「高岡雪」「山  
中詠懐」「登嶽」「奉賀一淨師移転橋雲寺」「古城春望」、他

**幹齋遺稿 校正刷 長谷川有造編 YK919-44**

青森市 編者 明治31(1898)1冊 菊 和

註：幹齋は幕末の津軽藩侍医 姓は今、名は弘貞、字は  
君栗、通称敬一、別号猶存(1833～1892) 有造(1856  
～1932)は弘前の生まれ 医師(青森市で開業)

**〔辛酉稿集〕 YK919-45**

写 1冊 美濃半 和

註：辛酉稿(苗 清永)七言律、五言絶句(苗 清永)、  
七言絶句(苗 清永) 巻尾に「右辛酉稿集 服 元喬」

とある

**東隅詩稿 鶴沼国懋 YK919-46**

羽後国(秋出県) 亀田町 鶴沼国蒙 明治36(1903)

1冊 半紙 和

**他山文鈔(中洲三島先生評黙) 単 YK919-47**

工藤主善著 外崎覚編

弘前 小笠原精一 明治17(1884)1冊 半紙 和

註：主善(1818～1889)は津軽藩士、教育者、学者  
陸羯南はその門弟 覚(1859～1932)は他山の子、  
漢字者、史家、漢学者三島毅(岡山県出身、中洲と号す)  
に従学する

**天 文稿 百川章 YK919-48**

写 1冊 半紙 和

註：章は字は達文、屯助と称す 号は玉川、寛政8年  
(1796)21歳で藩校学頭、文化2年(1805)病没 百  
川学庵はその次男 合冊「尺牘」、他

**南嶺雜詩 YK919-49**

写 1冊 半紙 仮和

註：南嶺は号、姓は清野、諱は直、字は温夫、通称有次  
郎、津軽藩士、他不詳、本書の中に嘉永元年没した三  
谷担斎を詠んだ「哭担斎翁」という詩があることから  
幕末の詩人であろう

**奥東風雅 一 清水伯堅(孝太郎)編 YK919-50-1**

青森 凌滄詩団 大正10(1921)1冊 美濃半 和

森素鶴(林助)旧蔵

**奥東風雅 二 清水伯堅(孝太郎)編 YK919-50-2**

青森 凌滄詩団 大正10(1921)1冊 美濃半 和

森素鶴(林助)旧蔵

**奥東風雅 三 清水伯堅(孝太郎)編 YK919-50-3**

青森 凌滄詩団 大正10(1921)1冊 美濃半 和

森素鶴(林助)旧蔵

**初夏遊一輪山・季夏遊護国山 YK919-51**

写 1冊 半紙 和

註：稽古館の用紙使用、一町田(朝行)の直筆、朝行は  
号は笑堂、稽古館書学士、朝行の外、杉内成範、長崎弼、  
黒滝僚師、釜范元濤、伊東祐綏、赤松貞敬、戸沢利貞、  
成田利用、清藤唯儀、木村文献、川村直良…等の漢詩

**合浦紀行 ほか 傍島正郡 YK919-52**

写 1冊 半紙 仮和

註：兼松成言関係の写し等多し 巻頭に「明治甲戌  
(1871)之春日石居成言記」あり 他に巡凶五日記、展  
覧手録、朔地襟言、家有無録、葬祭略式、行蔵独倚楼隨筆、  
清水居記、五十音図略解

正郡は幕末～明治の東津軽郡平内居住の歌人

**松前紀行〔唐牛大六〕 YK919-53**

〔寛政5(1793)〕写 1冊 半紙 仮和

註：表紙に「唐牛先生遺稿」とあるから、寛政5年ロ  
シア使節来航の際、応接にあたる幕府宣諭使を警護す  
る津軽藩士の一人だった筆談儒員の唐牛大六(稽古館  
儒者満春先生)のことと思う

**故山遊艸 甲 谷口雲仙(俊夫) YK919-54**

東京 漢詩壇社 昭和29(1954)謄写 20頁 半紙

仮大和綴

註：著者は弘前出身、書家谷口英堂の長男、東京府立工  
芸学校教授で書をよくした 本書は津軽を題材にした  
漢詩集

**漢詩文集 YK919-55**

写 1冊 半紙 仮和

註：「次松齋春雪次韻」「呈松齋沢君」他「長泥記行」

北地三千里啣 金山大白玉 **YK919-56**  
天保9(1838)か 写 1枚

**YK920 中国文学**

古文析義雋 **YK921-1**  
(清)林西仲編(日本)金龍道人選閱  
京都 守口屋九左衛門 明和8(1771)刊 1冊 美濃 和  
註：「津経文学山崎明跋」あり

笑府 **YK927-1**  
陳奮翰訳 全(清)墨憨(日本)風来山人刪訳  
東京 武田伝右衛門 刊 1冊 半紙 和  
註：風来山人は平賀源内(1726～1779)、原本は安永  
5年(1776)撰城書坊